

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第584集

みなみひづめしょうじぐち

# 南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査

2011

岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室  
(財)岩手県文化振興事業団

# 南日詰小路口 I・II 遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査

## 序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を越す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史を生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは、県民のみならず国民の財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターでは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、経営体育成基盤整備事業南日詰地区に関連して、平成21年度に発掘調査された紫波町南日詰小路Ⅰ・Ⅱ遺跡の調査成果をまとめたものです。南日詰小路Ⅰ・Ⅱ遺跡は、12世紀の平泉藤原氏の一族「比爪氏」の居館として『吾妻鏡』に記載される「比爪館」と推定される比爪館跡の南東側に位置する遺跡です。今回の調査により、南日詰小路Ⅰ・Ⅱ遺跡では、古代の竈穴住居跡、12世紀の建物跡や溝跡、井戸跡などの集落跡、近世の屋敷地に関連するや建物跡や溝跡・土坑などの遺構の他、多くの貴重な遺物が確認されました。

今回の調査成果は、比爪館を拠点とする12世紀の「比爪」の様子を知ることができる、貴重な資料となるものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室、紫波町教育委員会、矢巾町教育委員会をはじめとする関係各位に深く感謝の意を表します。

平成23年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団  
理事長 池田 克典

## 例 言

- 1 本報告書は、岩手県紫波郡紫波町南日詰小路口26-2ほかには所在する南日詰小路口Ⅰ遺跡、岩手県紫波郡紫波町南日詰小路口54-1ほかには所在する南日詰小路口Ⅱ遺跡の発掘調査成果を収録したものである。
- 2 本遺跡の調査は、経営体育成基盤整備事業南日詰地区に伴う緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課と岩手県盛岡地方振興局農政部農村整備室（現盛岡広域振興局）との協議を経て、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。なお、費用負担は岩手県教育委員会が岩手県盛岡広域振興局農政部に農家負担分を補助している。
- 3 岩手県遺跡台帳に登録される南日詰小路口Ⅰ遺跡・南日詰小路口Ⅱ遺跡の遺跡番号と遺跡略号は、次のとおりである。

南日詰小路口Ⅰ遺跡 LE43-1123/MHSⅠ-09  
南日詰小路口Ⅱ遺跡 LE43-1131/MHSⅡ-09
- 4 発掘調査の調査面積・期間・担当者は、次のとおりである。

南日詰小路口Ⅰ遺跡 5,825㎡(本調査3,159㎡、確認調査2,666㎡)／平成21年4月8日～11月17日  
南日詰小路口Ⅱ遺跡 6,461㎡(本調査2,011㎡、確認調査4,450㎡)／平成21年4月8日～11月17日  
阿部勝則・川又 晋・中村絵美・八重畑ちか子
- 5 室内整理の期間と担当者は、次のとおりである。

平成21年11月1日～平成22年3月31日／阿部勝則・川又 晋・八重畑ちか子
- 6 野外調査における基準点測量・航空写真撮影は、次の機関に委託した。

基準点測量：北栄調査設計株式会社  
航空写真撮影：東邦航空株式会社
- 7 遺物の分析・鑑定は、次の機関に委託した。

石材鑑定：花崗岩研究会（代表矢内桂 ）、炭化材樹種鑑定：阿部利吉（前岩手県木炭協会）  
放射性炭素年代測定：加速器研究所、種実同定：バリノ・サーヴェイ株式会社  
木製品の樹種同定：木工舎「ゆい」、木製品の保存処理：岩手県立博物館
- 8 発掘・整理・報告は、次の方々にご指導・ご協力いただいた（順不同・敬称略）。

斎藤邦雄・佐藤嘉広・櫻井友梓（岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課）、花巻博文・桜井芳彦・米川保史（紫波町教育委員会）、西野 修（矢巾町教育委員会）、八重樫忠郎・及川 司・菅原計二・木澤慎輔（平泉町教育委員会）、井上雅孝（滝沢村教育委員会）矢萩昭二・東本茂樹（八輪平市教育委員会）。大沼 巖・大沼傳悦・大沼信行・大沼ケフ子（地権者）、かばら建設。吾妻醸造造店。
- 9 本報告書の執筆は、Ⅰ章を岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室に依頼した。Ⅱ～Ⅶ章は、阿部勝則（Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ-2・Ⅴ・Ⅵ）・川又 晋（Ⅳ-1）・八重畑ちか子（Ⅴ-1）が分担して執筆した。文末に（氏名）を記してある。Ⅷ章は、鑑定委託先に依頼した原稿を掲載した。報告書の編集・校正は、阿部と川又が行った。
- 10 本遺跡の調査成果は、先に遺跡公開における「現地説明会資料」（平成21年10月24日）や、当センター主催の遺跡報告会（平成22年2月13日）、「平成21年度発掘調査報告書」（岩文振第571集）などで概要を報告・発表しているが、本書の内容が優先するものである。
- 11 本遺跡の調査で得られた一切の資料は、岩手県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。

# 凡 例

## 1 掲載図版等について

### (1) 掲載図版の構成

図版構成は、遺構・遺物に分けている。遺構図版は、堅穴住居跡・建物跡・土坑・土器埋設遺構・道路状遺構の順で種類毎に掲載した。遺物図版は、縄文時代の土器・石器、古代の土師器・須恵器・石製品、12世紀のかわらけ、国産陶器（常滑・渾美・水沼・須恵器系）、中国産磁器（白磁・青磁・青白磁）・中世の陶磁器、近世・近代の陶磁器、石製品、金属製品、ガラス製品、木製品、土製品、動物遺体、植物遺体の種類毎に図版を作成し、出土地点・層位（上→下）を基準に掲載した。別に出土地点別の遺物集成図も作成している。遺物の掲載番号は、掲載順に連番とし、図版・写真図版とも同一番号とした。掲載遺物にはすべて観察表を付した。観察表内の（ ）内の数値は残存値、<>内数値は推定値である。

### (2) 掲載図版の縮尺

掲載図版の縮尺は以下を原則としたが、一部変更したところもあり、各図にスケール・総尺を付した。

#### a 遺構図版

堅穴住居跡の平・断面図1/50、炉跡の平・断面図1/30、建物跡の平・断面図1/100、土坑の平・断面図1/40、溝跡・道路状遺構の平・断面図1/80、土器埋設遺構の平・断面図1/40

#### b 遺物図版

土器1/3、土製品1/2、剥片石器1/2、礫石器1/3、石製品1/2、陶磁器1/3、鉄製品1/3、ガラス製品1/3、木製品1/3

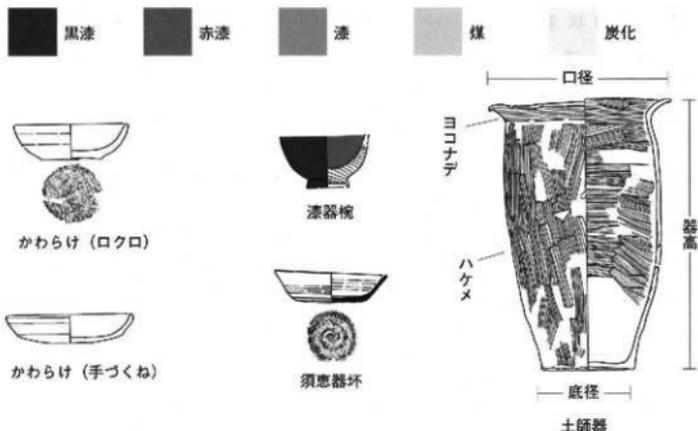
#### c 写真図版

遺構の写真図版の縮尺は不定である。遺物の写真図版の縮尺は、概ね図版と同一縮尺になることを基本として編集したが、一部変更したところもあり、各図に縮尺を付した。

### (3) 図版の凡例

図中に使用した記号と網かけの凡例は以下のとおりである。それ以外については、個々の図版毎に凡例を示している。

#### 遺物



# 目 次

I	調査に至る経過	1
II	遺跡の位置と立地	2
1	遺跡の位置と地理的環境	2
2	遺跡の立地と周辺の地形・地質	2
3	基本土層	2
4	周辺の遺跡	3
III	調査・整理の方法	4
1	野外調査	4
(1)	野外調査の方法	4
(2)	野外調査の経過	5
2	室内整理	9
(1)	室内整理の方法	9
(2)	室内整理の経過	10
IV	南日詰小路Ⅱ遺跡	29
1	検出遺構	29
(1)	検出遺構の概要	29
(2)	建物跡・柱列跡・柱穴群	29
(3)	土坑・井戸跡	32
(4)	溝跡	45
(5)	道路状遺構	61
2	出土遺物	62
(1)	出土遺物の概要	62
(2)	縄文時代の遺物	62
(3)	12世紀の遺物	62
(4)	中世の遺物	63
(5)	近世・近代の遺物	63
(6)	石製品	63
(7)	金属製品	63
(8)	木製品	64
(9)	土製品	64
(10)	動物遺体	64
(11)	植物遺体	64

V	南日詰小路口Ⅱ遺跡	149
1	検出遺構	149
	(1) 検出遺構の概要	149
	(2) 竪穴住居跡	149
	(3) 建物跡・柱列跡・柱穴群	150
	(4) 土坑・井戸跡	154
	(5) 溝跡	163
	(6) 土器埋設遺構	171
2	出土遺物	173
	(1) 出土遺物の概要	173
	(2) 縄文時代の遺物	173
	(3) 古代の遺物	173
	(4) 12世紀の遺物	173
	(5) 中世の遺物	174
	(6) 近世・近代の遺物	174
	(7) 石製品	174
	(8) 金属製品	174
	(9) ガラス製品	175
	(10) 木製品	175
	(11) 土製品	175
	(12) 動物遺体	175
	(13) 植物遺体	175
VI	総括	247
1	12世紀の遺構と遺物	247
	(1) 遺構	247
	(2) 遺物	248
2	近世から近代にかけての屋敷地	249
	(1) 遺構	249
	(2) 遺物	249
	(3) 文書・絵図・地籍図・航空写真	250
	(4) 歴史的変遷	251
3	まとめ	252
VII	分析・鑑定	259
1	木製品樹種同定	259
2	種実同定	270
3	放射性炭素年代測定	273
	報告書抄録	391

## 図版目次

第1図	遺跡の位置	13	第37図	S K34 ~ 38	103
第2図	周辺の地形	14	第38図	S D01	104
第3図	周辺の遺跡	15	第39図	S D03 ~ 06	105
第4図	基準点・トレンチ位置図	16	第40図	S D07・19・20	106
第5図	検出而標高・基本土層位置図	17	第41図	S D08・13 ~ 16・26	107
第6図	基本土層（南口詰小路口 I 遺跡）	18	第42図	S D09 ~ 11	108
第7図	基本土層（南口詰小路口 II 遺跡）	19	第43図	S D12・17・18	109
第8図	遺構配置全体図	20	第44図	S D21 ~ 23・25	110
第9図	遺構配置図1・4	21	第45図	S D24・30 ~ 32	111
第10図	遺構配置図2	22	第46図	S D27・33	112
第11図	遺構配置図3	23	第47図	S D28・42	113
第12図	遺構配置図5	24	第48図	S D34平面図（Q区全体）	114
第13図	遺構配置図6	25	第49図	S D34・35平面図（Q区北側）	115
第14図	遺構配置図7	26	第50図	S D34・36平面図（Q区南側）	116
第15図	遺構配置図8	27	第51図	S D34断面図（1）	117
第16図	遺構配置図9・10	28	第52図	S D34断面図（2）	118
	〈南口詰小路口 I 遺跡〉		第53図	S D35断面図	119
第17図	H3・H4区ピット①・②	83	第54図	S D37・43・45、S X01平面図	120
第18図	H3・H4区ピット③・④	84	第55図	S D36・45、S X01断面図	121
第19図	I区ピット①・②	85	第56図	S D38 ~ 41・44	122
第20図	I区ピット③・④（1）	86	第57図	縄文土器、石製品、かわらけ（1）	123
第21図	I区ピット④（2）	87	第58図	かわらけ（2）	124
第22図	M区ピット	88	第59図	かわらけ（3）	125
第23図	N区ピット	89	第60図	かわらけ（4）	126
第24図	Q区ピット	90	第61図	かわらけ（5）	127
第25図	S区ピット	91	第62図	かわらけ（6）	128
第26図	S B01 ~ 09	92	第63図	かわらけ（7）	129
第27図	S B10 ~ 12	93	第64図	かわらけ（8）	130
第28図	S K01 ~ 05	94	第65図	国産陶器：常滑（1）	131
第29図	S K06 ~ 09	95	第66図	国産陶器：常滑（2）	132
第30図	S K10 ~ 13	96	第67図	国産陶器：瀬美（1）	133
第31図	S K14 ~ 19	97	第68図	国産陶器：瀬美（2）	134
第32図	S K20 ~ 23	98	第69図	国産陶器：水沼・須恵器系	135
第33図	S K24 ~ 27	99	第70図	中国産陶磁器：白磁・青磁・青白磁、 中世の陶磁器	136
第34図	S K28 ~ 31	100	第71図	近世・近代の陶磁器	137
第35図	S K32	101	第72図	石製品、金属製品	138
第36図	S K33・39 ~ 41	102			

第73図	木製品 (1) .....	139	第107図	S D110 ~ 112 .....	217
第74図	木製品 (2) .....	140	第108図	S D113 ~ 116・120 .....	218
第75図	木製品 (3) .....	141	第109図	S D117 ~ 119・121・125・126 .....	219
第76図	木製品 (4) .....	142	第110図	S D122・123 .....	220
第77図	木製品 (5) .....	143	第111図	S D124・127 .....	221
第78図	遺構別出土遺物集成図 (1) .....	144	第112図	縄文土器、石器 .....	222
第79図	遺構別出土遺物集成図 (2) .....	145	第113図	土師器 (1) .....	223
第80図	遺構別出土遺物集成図 (3) .....	146	第114図	土師器 (2) .....	224
第81図	遺構別出土遺物集成図 (4) .....	147	第115図	須恵器、石製品 .....	225
第82図	遺構別出土遺物集成図 (5) .....	148	第116図	かわらけ .....	226
(南口詰小路II遺跡)					
第83図	S I101・102 .....	193	第117図	国産陶器：常滑 (1) .....	227
第84図	S I103 (1) .....	194	第118図	国産陶器：常滑 (2) .....	228
第85図	S I103 (2) .....	195	第119図	国産陶器：渥美・須恵器系、 中四産磁器：白磁・青白磁、中世の磁器 .....	229
第86図	A・E1区ピット①・②、B区ピット .....	196	第120図	近世・近代の陶磁器 (1) .....	230
第87図	A・E1区ピット③・E2・E3区ピット .....	197	第121図	近世・近代の陶磁器 (2) .....	231
第88図	C・D区ピット平面図 .....	198	第122図	近世・近代の陶磁器 (3) .....	232
第89図	C区ピット断面図 .....	199	第123図	近世・近代の陶磁器 (4) .....	233
第90図	G2・G3区ピット平面図 .....	200	第124図	近世・近代の陶磁器 (5) .....	234
第91図	G2・G3区ピット断面図 .....	201	第125図	石製品、金属製品、ガラス製品 .....	235
第92図	G4区ピット①・② .....	202	第126図	木製品 (1) .....	236
第93図	G4区ピット③・G5区ピット .....	203	第127図	木製品 (2) .....	237
第94図	G6区ピット .....	204	第128図	木製品 (3) .....	238
第95図	S B101 ~ 103 .....	205	第129図	木製品 (4) .....	239
第96図	S B104 ~ 109 .....	206	第130図	木製品 (5) .....	240
第97図	S B110 ~ 113 .....	207	第131図	木製品 (6) .....	241
第98図	SK101 ~ 104・111 ~ 113・117・118 .....	208	第132図	遺構別出土遺物集成図 (1) .....	242
第99図	S K105 .....	209	第133図	遺構別出土遺物集成図 (2) .....	243
第100図	S K106 ~ 109 .....	210	第134図	遺構別出土遺物集成図 (3) .....	244
第101図	S K110・114 ~ 116 .....	211	第135図	遺構別出土遺物集成図 (4) .....	245
第102図	S K119 ~ 122 .....	212	第136図	遺構別出土遺物集成図 (5) .....	246
第103図	S K123 ~ 126 .....	213	第137図	井戸跡集成図 .....	255
第104図	S K127・128、S Z101 .....	214	第138図	絵図 .....	256
第105図	S D101 ~ 105 .....	215	第139図	地絵図 .....	257
第106図	S D106 ~ 109 .....	216	第140図	近世から近代にかけての丘敷地の周辺図 .....	258

## 表 目 次

第1表 周辺の遺跡一覧表……………	11	第24表 建物跡・柱列跡観察表……………	176
第2表 遺構一覧表・基準点一覧表……………	12	第25表 柱穴観察表……………	177
〈南日詰小路ⅠⅠ遺跡〉			
第3表 建物跡・柱列跡観察表……………	65	第26表 土坑・井戸跡観察表……………	182
第4表 柱穴観察表……………	66	第27表 溝跡観察表……………	183
第5表 土坑・井戸跡観察表……………	70	第28表 土器埋設遺構観察表……………	183
第6表 溝跡観察表……………	71	第29表 出土地点別かわらけ重量表……………	184
第7表 道路状遺構観察表……………	65	第30表 出土地点別土師器重量表……………	186
第8表 出土地点別かわらけ重量表……………	72	第31表 出土地点別須恵器重量表……………	186
第9表 遺構別出土遺物一覧表……………	75	第32表 遺構別出土遺物一覧表……………	187
第10表 縄文土器観察表……………	75	第33表 縄文土器観察表……………	188
第11表 石製品観察表……………	75	第34表 石器観察表……………	188
第12表 かわらけ観察表……………	76	第35表 土師器・須恵器観察表……………	188
第13表 国産陶器観察表……………	78	第36表 石製品観察表……………	188
第14表 中国産陶磁器観察表……………	79	第37表 かわらけ観察表……………	189
第15表 中世の陶磁器観察表……………	80	第38表 国産陶器観察表……………	189
第16表 近世・近代の陶磁器観察表……………	80	第39表 中国産磁器観察表……………	190
第17表 石製品観察表……………	80	第40表 中世の磁器観察表……………	190
第18表 金属製品観察表……………	80	第41表 近世・近代の陶磁器観察表……………	190
第19表 木製品観察表……………	81	第42表 石製品観察表……………	190
第20表 土製品観察表……………	81	第43表 金属製品観察表……………	191
第21表 動物遺体観察表……………	81	第44表 ガラス製品観察表……………	191
第22表 植物遺体観察表……………	82	第45表 木製品観察表……………	191
〈南日詰小路Ⅱ遺跡〉			
第23表 竪穴住居跡観察表……………	176	第46表 土製品観察表……………	191
		第47表 動物遺体観察表……………	191
		第48表 植物遺体観察表……………	192

## 写真図版目次

写真図版1	航空写真、かわらけ	279	写真図版37	S D30 ~ 33	315
写真図版2	国産陶器、中国産磁器	280	写真図版38	S D34 (1)	316
写真図版3	航空写真 (1)	281	写真図版39	S D34 (2)	317
写真図版4	航空写真 (2)	282	写真図版40	S D34遺物出土状況	318
写真図版5	航空写真 (3)	283	写真図版41	S D35 (1)	319
〈南口詰小路口 I 遺跡〉					
写真図版6	H1 ~ II4区	284	写真図版42	S D35 (2)	320
写真図版7	I区 (1)	285	写真図版43	S D36、S X01 (1)	321
写真図版8	I区 (2)	286	写真図版44	S D36、S X01 (2)	322
写真図版9	J・K・L区	287	写真図版45	S D37・38・41・42	323
写真図版10	L・M・N区	288	写真図版46	S D39・40・43 ~ 45	324
写真図版11	O・P区	289	写真図版47	縄文土器、石製品、かわらけ (1)	325
写真図版12	Q区	290	写真図版48	かわらけ (2)	326
写真図版13	R1・R2区	291	写真図版49	かわらけ (3)	327
写真図版14	R3・S区	292	写真図版50	かわらけ (4)	328
写真図版15	S B01 ~ 05・07 ~ 09	293	写真図版51	かわらけ (5)	329
写真図版16	S B10 ~ 12	294	写真図版52	かわらけ (6)	330
写真図版17	I区柱穴	295	写真図版53	国産陶器：常滑 (1)	331
写真図版18	S K01 ~ 04	296	写真図版54	国産陶器：常滑 (2)、瀬美 (1)	332
写真図版19	S K05 ~ 07	297	写真図版55	国産陶器：瀬美 (2)、 水沼、須恵器系 (1)	333
写真図版20	S K08 ~ 11	298	写真図版56	国産陶器：須恵器系 (2)、 中国産陶磁器、中世の陶磁器	334
写真図版21	S K12 ~ 15	299	写真図版57	近世・近代の陶磁器	335
写真図版22	S K16・18 ~ 20	300	写真図版58	石製品、金属製品、木製品 (1)	336
写真図版23	S K17・21 ~ 24	301	写真図版59	木製品 (2)	337
写真図版24	S K25 ~ 28	302	写真図版60	木製品 (3)	338
写真図版25	S K29 ~ 31・34	303	写真図版61	木製品 (4)	339
写真図版26	S K32	304	写真図版62	木製品 (5)	340
写真図版27	S K33・35 ~ 38	305	写真図版63	土製品、動物遺体、植物遺体	341
写真図版28	S K39 ~ 41	306	〈南口詰小路口 II 遺跡〉		
写真図版29	S D01・07	307	写真図版64	A区	342
写真図版30	S D03 ~ 06	308	写真図版65	B区	343
写真図版31	S D08 ~ 10	309	写真図版66	C区	344
写真図版32	S D11 ~ 15・26	310	写真図版67	D区	345
写真図版33	S D16 ~ 18	311	写真図版68	E区	346
写真図版34	S D19 ~ 22	312	写真図版69	F区	347
写真図版35	S D23 ~ 25	313	写真図版70	G1・G2区	348
写真図版36	S D27・28	314			

写真図版71	G 3・G 4区	349	写真図版93	S D115～120	371
写真図版72	G 5・G 6区	350	写真図版94	S D121・124～126	372
写真図版73	S 1101・102	351	写真図版95	S D122・123	373
写真図版74	S 1103 (1)	352	写真図版96	S D127	374
写真図版75	S 1103 (2)	353	写真図版97	縄文土器、石器、土師器 (1)	375
写真図版76	S B101～103、柱穴 (1)	354	写真図版98	土師器 (2)、須恵器、石製品	376
写真図版77	S B104～113	355	写真図版99	かわらけ、国産陶器：常滑 (1)	377
写真図版78	柱穴 (2)	356	写真図版100	国産陶器：常滑 (2)	378
写真図版79	柱穴 (3)	357	写真図版101	国産陶器：深美、須恵器系、 中国産磁器、中世の磁器	379
写真図版80	S K101～104	358	写真図版102	近世・近代の陶磁器 (1)	380
写真図版81	S K105	359	写真図版103	近世・近代の陶磁器 (2)	381
写真図版82	S K106～108	360	写真図版104	近世・近代の陶磁器 (3)	382
写真図版83	S K109～112	361	写真図版105	近世・近代の陶磁器 (4)	383
写真図版84	S K113～115	362	写真図版106	近世・近代の陶磁器 (5)	384
写真図版85	S K116～118	363	写真図版107	石製品、金属製品、ガラス製品	385
写真図版86	S K119～122	364	写真図版108	木製品 (1)	386
写真図版87	S K123～126	365	写真図版109	木製品 (2)	387
写真図版88	S K127・128、S Z 101	366	写真図版110	木製品 (3)	388
写真図版89	S D101～105	367	写真図版111	木製品 (4)	389
写真図版90	S D106～108	368	写真図版112	土製品、動物遺体、植物遺体	390
写真図版91	S D109～111	369			
写真図版92	S D112～114	370			

## I 調査に至る経過

南日詰小路Ⅰ遺跡は、「経営体育成基盤整備事業 南日詰地区」のは場整備事業工事に伴い、その事業区域内に存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

本地区は、紫波郡紫波町南日詰に位置し、東側を北上川、南側を流名川、西側を国道4号に囲まれた約90haの水田地帯である。本事業は、平成12年からは場整備の区画整理、用水路のバイパス化、道路及び排水路の新設、改良により、農作業の効率化、生産コストの削減、生産性の向上等を図り、農地集積による安定した経営体および担い手農家の育成を目的として、着手したものである。

本事業の施工にかかる埋蔵文化財の取扱いについては、岩手県盛岡地方振興局農政部農村整備室(現岩手県盛岡広域振興局)から平成18年9月28日付盛農整第470号「は場整備事業における埋蔵文化財の試掘調査について」により、岩手県教育委員会に対して試掘調査の依頼を行った。

依頼を受けた県教育委員会は、平成18年10月20、23、24日に試掘調査を実施し、工事に着手するには南日詰小路Ⅰ遺跡の発掘調査が必要となる旨を、平成18年11月2日付教生第1044号「埋蔵文化財の試掘調査について」により回答を行った。

この調査結果に基づき、当室から平成18年11月15日付盛農整第572号「埋蔵文化財試掘調査結果に係る工法協議について」、平成19年1月29日付盛農整第681号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」及び平成20年3月12日付盛農整第573号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」により県教育委員会に対して、盛土工法による保存個所と発掘調査による記録保存個所についての協議を行った。

その後、これまでの経過を踏まえ、平成21年4月1日付けで財団法人岩手県文化振興事業団との間で委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなった。

南日詰小路Ⅱ遺跡は、「経営体育成基盤整備事業 南日詰地区」のは場整備事業工事に伴い、その事業区域内に存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

本地区は、紫波郡紫波町南日詰に位置し、東側を北上川、南側を流名川、西側を国道4号に囲まれた約90haの水田地帯である。本事業は、平成12年からは場整備の区画整理、用水路のバイパス化、道路及び排水路の新設、改良により、農作業の効率化、生産コストの削減、生産性の向上等を図り、農地集積による安定した経営体および担い手農家の育成を目的として、着手したものである。

本事業の施工にかかる埋蔵文化財の取扱いについては、岩手県盛岡地方振興局農政部農村整備室(現岩手県盛岡広域振興局)から平成18年9月28日付盛農整第470号「は場整備事業における埋蔵文化財の試掘調査について」により、岩手県教育委員会に対して試掘調査の依頼を行った。

依頼を受けた県教育委員会は、平成18年10月20、23、24日に試掘調査を実施し、工事に着手するには南日詰小路Ⅱ遺跡の発掘調査が必要となる旨を、平成18年11月2日付教生第1044号「埋蔵文化財の試掘調査について」により回答を行った。

この調査結果に基づき、当室から平成18年11月15日付盛農整第572号「埋蔵文化財試掘調査結果に係る工法協議について」、平成19年1月29日付盛農整第681号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」及び平成20年3月12日付盛農整第573号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」により県教育委員会に対して、盛土工法による保存個所と発掘調査による記録保存個所についての協議を行った。

その後、これまでの経過を踏まえ、平成21年4月1日付けで財団法人岩手県文化振興事業団との間で委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなった。(岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室)

## II 遺跡の位置と立地

### 1 遺跡の位置と地理的環境

本遺跡の所在する紫波町は、岩手県内陸部に位置し、北は盛岡市・矢巾町・西は平石町、南は花巻市に接している。面積約239.03km<sup>2</sup>、人口3万4千人である（平成21年現在）。岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、農業・酒造・観光などを柱に発展を目指す町である。

南日詰小路口Ⅰ遺跡は、紫波郡紫波町南日詰字小路口1-26ほかに所在し、紫波町域の南側にあり、JR東北本線日詰駅より直線距離で南東約2km付近に位置する。同地点は北緯39度31分53秒、東経141度10分12秒付近に位置する。同じく南日詰小路口Ⅱ遺跡は、紫波郡紫波町南日詰字小路口54-1ほかに所在する遺跡である。同地点は北緯39度31分52秒、東経141度10分5秒付近に位置する。両遺跡は東北新幹線を挟んで隣接し、東側をⅠ遺跡、西側をⅡ遺跡としている。

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、国土交通省国土地理院発行5万分の1地形図「H誌」(NJ-54-13-15:平成11年発行)、同2万5千分の1地形図「H誌」(NJ-54-13-15-2:平成元年発行)の図幅に属する。

### 2 遺跡の立地と周辺の地形・地質

紫波町の地形は、西側に奥羽山脈、東側に北上山地があり、中央を北上川が南流しており、北上川流域で都市化が進む中央を挟んで、東側と西側で大きく分かれる。北上川に西側から注ぎ込む滝名川、東側から北上川に注ぎ込む常川、赤沢川などによって、北上川の両側には低地が形成されている。特に西側の低地は大きく開けており、同地域は、小麦栽培など県内有数の穀倉地帯である。滝名川上流には山王海ダムが設けられ、下流域の水利の確保に貢献している。

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、遺跡の東側を流れる北上川によって形成された河岸低地に立地する。遺跡の現況は水田・畑地である。遺跡周辺の地形を大きく見ると、奥羽山脈の裾野である西側から北上川が流れる東側に向かって緩やかに傾斜している。調査区の標高は92～93mである。参考までに、比叡跡は、北上川右岸の低位段丘の突端部に位置しており、当遺跡を含む12世紀の遺跡群が立地する低地部より一段高い面に立地している。

### 3 基本土層

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、調査範囲全体が、南北400m、東西600m、面積は12,286m<sup>2</sup>の広い範囲に及ぶが、調査区は、ほ場整備事業の対象範囲で、田面の整備は、調査開始前に既に終了していた。調査範囲は、未着手となっていた用水路・排水路・農道部分について事業開始前に調査を行ったものである。調査範囲は、幅1.5～8m前後、長さ25～450m前後の細長い調査区が20か所以上に及んだ。そのため各調査区で1か所から2か所程度基本土層を確認するための掘り下げを行い、表土・盛土の厚さ、包含層の有無、遺構検出の確認を行った。なお、平成18年度の試掘調査後に行われた田区のほ場整備の事業に伴い、調査対象範囲に盛土が施されていた箇所が多く、試掘報告で確認された土層堆積状況と異なる部分があった。

#### (1) 各観察地点の土層の堆積状況と遺構検出

北上川右岸に形成された低地に立地する南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、礫層・砂層など河川堆積物によって覆われている。その地形を生かした当地の主な土地利用は、近世以降において水田・畑地が営

まれていることが確認できる（註1）。広範囲に及ぶ地点で上層の確認を行った結果、地山面が落ち込む埋没沢状の地形が数か所で確認された。現在は画一的な水田が形成され、西から東にかけて緩やかに傾斜する地形だが、かつては随所に沢が入り込み、微高地が点在する地形であったと推測される。例えば、A・E区は西側に向かって低くなり、現在の五郎沼と当遺跡の間の地形は、落ち込んで低くなるようである。

## (2) 基本土層

地点により若干の差がみられるが、遺跡全体の土層の堆積状況と基本土層は次のとおりである。

- I層 10Y R3/2～2/2 黒褐色 層厚10～110cm 締り疎 現表土（盛土、旧耕作土を含）
- II層 10Y R2/2 黒褐色 層厚0～40cm シルト 締り中（12世紀の遺物包含層）
- III層 10Y R4/4 褐色 層厚20～40cm 砂質粘土層 締り密 いわゆる地山
- IV層 7.5Y R4/6 灰黄褐色 層厚50cm以上 礫層 基盤となる礫層

## 4 周辺の遺跡

紫波町の遺跡数は、325遺跡（平成17年現在）を数える。第3図には、そのなかで本遺跡周辺に分布する遺跡を明示した。南日詰小路口I・II遺跡は、かつてはI～III遺跡として3か所に分かれていたようである（註2）。平成18年度に事業予定地であった字小路口一帯で試掘調査が行われ、全城から12世紀の溝跡や土坑などの遺構や包含層、遺物などが確認され、遺跡の範囲は字小路口一体に広がることが判明した。遺跡の名称は、試掘調査報告の時点で新幹線東側をI遺跡、両西側をII遺跡として報告されている（註3）。

平泉藤原氏に関連する遺跡として、平泉藤原氏の一族比爪（桶爪）氏の居館として『吾妻鏡』に記載される「比爪館」と推定される比爪館跡がある。比爪館跡（現赤石小学校付近）は、紫波町教育委員会によって、これまで断続的に調査が行われており、館跡を囲む大溝跡や、その内部に建物跡や井戸跡などが確認されており、12世紀の拠点的な遺跡と考えられている。館跡の南側には五郎沼がある。南日詰小路口I・II遺跡は、比爪館跡の南東側約0.6kmに位置する遺跡であり、位置的にも密接な関連が窺える遺跡である。

また、比爪館跡の周辺をみると、館跡と北上川との間に12世紀の遺物が散布する、あるいはその可能性がある遺跡が複数分布することが知られている（註4）。そのなかで、南口詰経塚遺跡では、昭和9年の郷倉建設の際、12世紀の経塚が発見されたとされている。この地域からやや南東側に離れた下川原I・II遺跡でも、平成19・20年度調査で12世紀の遺構・遺物が確認されている。南日詰小路口I・II遺跡は、このように比爪館周辺に広がる12世紀の遺跡群のなかのひとつであり、それらの遺跡群のなかで大規模な調査が初めて行われた遺跡である。今回の南日詰小路口遺跡の調査によって、「比爪」の様子を具体的に知ることができる手がかりが得られることが期待された。なお、昭和50年に東北新幹線の建設に伴って調査された大銀遺跡は、今回の南日詰小路口I・II遺跡の調査範囲内にあたり、調査地点は、いわゆる小路口原敷付近に該当する。報告によれば、大銀遺跡の調査では屋敷跡に関連する遺構は確認されておらず、12世紀のかわらけと類推される遺物が出した旨が報告されている（註5）。

### 註

- (1) 弘化3年（1846年）の絵図及び19世紀末頃の地籍図などによる。
- (2) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター・2004ほか。
- (3) 岩手県教育委員会2008
- (4) 羽柴2006ほかの文献による。
- (5) 岩手県教育委員会1979

### Ⅲ 調査・整理の方法

#### 1 野外調査

##### (1) 野外調査の方法

###### a 調査区の設定と命名

遺跡は、Ⅰ・Ⅱ遺跡が隣接している。調査区の地区割にあたっては、Ⅰ・Ⅱ遺跡共通で、各区域に A・B・…（アルファベット大文字）の地区名を付した。また、広範囲の調査区の測量を行うために、Ⅰ・Ⅱ遺跡共通で、基準点4点、補点24点を設定し、測量の基準とした。

###### b 遺構の名称

検出された遺構の名称は、遺構の種類に応じてアルファベットで略号化し、検出順にそれぞれ番号を付けて、S I 01・S K 02のように命名した。精査の過程や終了後に検討した結果、遺構ではないと判断したものや、遺構の種類を変更した番号については、混乱を防止するために欠番とした。本調査で使用した遺構略号と遺構名は以下に記したとおりである。

S I：竪穴住居跡、S B：掘立柱建物跡・柱列跡、S K：陥し穴状遺構・土坑・井戸跡、S N：焼土遺構、S Z：土器埋設遺構、S D：溝跡

報告にあたっては、現場で命名した遺構名をそのまま使用しているため一部欠番を生じている。検出された遺構種別・検出数・遺構名は以下に記したとおりである。なお、遺構名の一覧表は第2表に記した。

遺構種別：遺構名（遺構数）

###### Ⅰ遺跡（01～）

掘立柱建物跡・柱列跡：S B 01～12（12）、柱穴状土坑：P 1～284（278）

土坑・井戸跡：S K 01～41（41）

溝跡：S D 01～45（43）※S D 02・29：欠番

その他（道路状遺構）：S X 01（1）

###### Ⅱ遺跡（101～、柱穴は1001～）

竪穴住居跡：S I 101～103（3）

掘立柱建物跡・柱列跡：S B 101～113（13）、柱穴状土坑：P 1001～1350（347）

土坑・井戸跡：S K 101～121（21）

溝跡：S D 101～127（27）

土器埋設遺構：S Z 101（1）

###### c 試掘・粗掘と遺構検出

当初、幅1～2m、長さ5～10mのトレンチを地形に応じて任意の場所に入れ、土層の堆積状況を把握した。試掘溝の設定にあたっては、平成18年度の試掘調査の成果を考慮しながら、計92本の試掘溝を入れた。試掘の結果、遺構・遺物が存在する可能性が低いと判断された区域は、試掘調査のみで調査を終えている。それ以外の区域においては、試掘にもとづいて表土掘削を行った。調査区全体の表土の厚さは20～30cm程あり、包含する遺物はほとんどないことを確認し、基本的には重機により表土除去を行った。遺構検出は人力で行い、遺構の検出は、Ⅲ層の黄褐色土層、一部ではⅡ層黒褐色土層（包含層中）で行った。

#### d 精査

検出された遺構は、原則として住居跡などの大形の遺構の場合は4分法、土坑類は2分法で行った。溝跡では適宜上層観察用のベルトを残して精査を進めた。精査の各段階において必要図面の作成や写真撮影を適宜行っている。

遺構内出土の遺物は、埋土で可能な限り分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則として地点ごとに出土した層位を記して取り上げ、適宜、写真撮影・図面作成をしている。

また、現場での記録作成では、上記の図面・写真以外にField・Card（以下F・Cと略す）を使用して、遺跡の調査経過や遺構の精査の進捗状況を記録している。

#### e 実測・写真撮影

トレンチ位置図・個々の遺構平面図については、グリッド杭・水糸によって設けられた基準から計測する簡易造り方測量ではなく、電子平板を用いて図化作業を行った。断面実測については、任意の高さを基に設定した水糸を基準として計測し、1/20を基本としてマイラー用紙に記録した。

写真撮影は、デジタルカメラ1台、モノクローム6×9cm判1台、補助用としてコンパクトデジタルカメラ1台を使用して調査員が行った。撮影に際しては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを使用した。実際の撮影は各種遺構の埋土堆積状況、掘り上げ状況、遺物の出土状況などについて行っている。また、調査区の様子と遺跡の現況を把握するため、2回に分けて航空写真撮影を行った。

#### f 土層注記

断面図作成後に土層注記を行った。観察項目は、色調・土性・締まり・混入物などである。基本的には『新版標準土色帳』（1990年版、小山正忠・竹原秀雄編・著）をもとに行っているが、締まりは、密・やや密・中・やや疎・疎、の5段階で判断した。個々の遺構の埋土堆積状況は、自然か人為かの判断と、埋没している土の起源を把握することを課題とした。層名は調査区内に見られる基本的な土層をローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、遺構内埋土をアラビア数字（1・2・3）で表した。層位の細分の必要が生じた場合は、小文字のアルファベットを付し、1a・1b・1c・・・などと表わした。ただし、実際の注記内容は、担当調査員が個々の遺構を観察して行った。煩雑な業務に追われ、調査員間で記載内容が統一されなかった部分があるが、報告に際しては調査時の記録をそのまま掲載した。

#### g 土壌水洗

古代の堅穴住居跡の焼土などについて、動物遺体が存在する可能性や製鉄関連の遺構である可能性を考慮し、住居跡のカマドの埋土及び焼土を採取し、水洗い・天日での乾燥・篩（5mm・3mm・1mm）による仕分けを行った。この工程を経て得られた遺物に、動物遺体（焼骨）・植物遺体（種子）がある。

#### （2）野外調査の経過

南口話小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡の調査経過を時系列で記載すると次のようになる。

- 3月23日（月）現地確認
- 4月7日（火）1000～1100、住民説明会に係る協議。農村整備室、於埋蔵文化財センター
- 4月7日（火）1800～1900、地域住民への説明会。於地域活力センター
- 4月8日（水）1300、資材搬入 調査開始
- 4月10日（金）1330～1630、調査区についての現地協議 農村整備室
- 4月15日（水）1330～1815、調査区についての現地協議 農村整備室
- 4月21日（火）1000～1200、調査区についての現地協議 農村整備室

- 4月27日(月) 基準点設置(1回目) 北栄調査設計株式会社  
5月25日(月) 基準点設置(2回目) 北栄調査設計株式会社  
5月26日(火) 14:00～16:00、部分終了確認  
5月28日(木) 10:00～11:00、J R近接工事に係る打ち合わせ、於J R土木技術センター  
7月7日(火) 航空写真撮影(1回目) 東邦航空株式会社  
7月11日(土) 11:00～12:00、西部公民館古代史講座見学会 見学者65名  
8月20日(木) 10:00～11:00、J R近接工事に係る現地打ち合わせ 仙建工業株式会社  
8月21日(金) 発掘体験1名  
8月28日(金) J R近接工事に係る「工事施工に伴う覚書」の締結  
9月3日(木) 基準点打設(3回目) 北栄調査設計株式会社  
9月4日(金) 10:30～12:00、部分終了確認(2回目)  
9月4日(金) 15:00～16:00、J R近接工事に係る打ち合わせ、於J R土木技術センター  
9月11日(金) 調査区についての現地協議、農村整備室  
9月24日(木) 調査区についての現地協議、農村整備室  
9月28日(土) 13:30～14:30、赤石地区日誌館懇話会見学会 見学者30名  
10月2日(金) 紫波町教育委員会による電柱移設部分の試掘対応  
10月5日(月) 設計変更に伴う現地協議、農村整備室  
10月20日(火) 欠中町教育委員会 西野修氏による調査指導  
10月21日(水) 10:30～12:00、部分終了確認(3回目)  
10月24日(土) 10:30～12:00、現地公開 見学者100名  
10月28日(水) 航空写真撮影(2回目) 東邦航空株式会社  
11月6日(金) 15:30～16:15、終了確認(4回目、最終)  
11月10日(火) 岩手県教育委員会 佐藤嘉広・櫻井友梓氏による調査指導  
11月17日(火) 調査終了、資材搬出

#### 作業員の稼働人数

作業員は登録人数32人で調査を開始した。調査の延べ稼働日数131日、一日平均の稼働人数は約26.8人で作業を行った。

#### 調査区

調査対象範囲は、ほ場整備事業のうち農道・用水路・排水路の部分であり、田区については、すでに整備が終了していた。調査区は、最小1×73m、最大5×257mの範囲で、調査区数は19箇所(A～S区※枝番有り)に及んだ。そのため便宜的にアルファベット大文字A・B・C……で調査区名を付した。調査箇所が分断された場合や追加された場合は、必要に応じて枝番を付した。

#### 基準点測量

4・5・9月の3回に分けて基準点打設を行った。支障物件が多く、4月の調査開始時点で調査区の詳細な境界が明示されていなかったことから、調査区の確定作業の進捗に合わせて、基準点打設を進めた。打設した基準の杭は、基準点4点・補点21点(区画点)である。

#### 航空写真撮影

調査の進捗に合わせて7月と10月の2回撮影を行った。それぞれ撮影対象となった範囲は異なる。

#### 現地公開など

7・9・10月の3回行った。7・9月は外部より依頼された見学会に対応したものである。10月は

調査機関が主体となって行った現地公開で、見学者は100名であった。

その他、8月21日に体験発掘1名の受け入れを行っている。

#### 調査指導

10月20日に矢巾町教育委員会の西野修氏に來跡いただき、現地指導をいただいた。Q区で調査中の大溝跡について、その性格が不明であったため、運河の可能性の有無などについて指導をいただいた。その際、S X101について遺跡状遺構の可能性について示唆を受けた。

11月10日には、柳之御所遺跡を調査している岩手県教育委員会の佐藤広広・櫻川友樟氏から指導を得る機会を得た。なお、10月24日に行った現地公開の際には、來跡された平泉町教育委員会の方々から多くのご指導をいただいた。また、紫波町教育委員会の方々には、現地に来ていただいた際、随時ご指導をいただいた。

#### 部分終了確認

調査の進捗に合わせて、4回に分けて行われた。詳細は以下のとおりである。

- ・5月26日：部分終了確認（1回目）（A・B・C・D区：1,445㎡）
- ・9月4日：部分終了確認（2回目）（L・K・N・O・P・R3・E・F区：4,151㎡）
- ・10月21日：部分終了確認（3回目）（M・I・R1・R2・H1区：2,333㎡）
- ・11月6日：終了確認（4回目：最終）（Q・J・S・H2・3・4・G区：4,354㎡）

5月に終了した調査区については、当方で埋め戻しを行ったが、9月以降に終了した調査区については、廃土処理、埋め戻し作業も含めて、事業の委託業者（かばら建設）に引き渡しを行った。

#### 調査員の異動

4・5月：阿部・川又・中村、6月：阿部・川又、7月：阿部・川又・八重畑（7月21日～）、8・9・10・11月：阿部・川又・八重畑

当初、3人体制で調査を開始したが、5月末で1名が配置換えとなり、6月から7月中旬は2名体制で調査を行った。その後は1名加わって再び3人体制で調査を行った。調査員の異動により当初計画した分掌を見直し、I・II遺跡の調査をそれぞれ並行して行うこととした。I・II遺跡ともに9月以降でなければ調査着手できない箇所があったことから、最終的に2か所に分かれての並行調査を余儀なくされることを見込まれたことから判断したものである。調査の総括・調整を阿部が行い、I遺跡の調査を川又、II遺跡の調査を阿部が行い、八重畑がこれを補助した。本報告書の内容も、担当した遺跡と調査区について記載している。

#### 調査区確定のための現地確認と設計変更

4月の調査着手時点で調査範囲を示す境界杭は明示されておらず、工事図面に示された調査範囲と、現地において実際に調査を行う範囲には、誤差があることが常態化していた。そのため調査区については、開始前に現地で確認を行いながら調査を進行した。調査開始後に繰り返し行われた現地協議への対応も通常の調査体制とは異なる事態で、調査員1名は調査に専念できない事態が常態化した。

また、調査開始後に生じた設計変更にも対応して調査を進めた。当初の計画に含まれていなかった部分については、10月5日に現地で確認を行い、必要な部分について調査を行った。

#### 支障物件への対応

調査に際しての主な支障物件に以下のものがあつた。

- ・東北電力の電柱（F区）
- ・NTTの鉄柱（E区）
- ・ケーブルテレビの鉄柱（R区）

### ・仮設パイプライン（E・R区）

これらの物件は、調査開始前に移設・撤去が行われなかったため、これらの支障物件を抱えたまま調査は開始された。

そのため、E区、F区、R区については、はじめに物件を避けた形での調査となり、その後に移設・撤去された跡地について調査を行った。結果として本来1回で行える調査を2～4回に分けて行っており、不本意ながら非効率的な調査を進めざるをえなかった。

なお、東北電力の電柱の移設に際しては、紫波町教育委員会対応で試掘調査が行われている。

また、調査区の周辺の田区は麦が撒かれていたため、麦刈の時期（7月）まで現農道を維持して調査を行った。また、調査区域外への排土場の確保についても、許可を得たのは、調査開始9日後の4月16日で、17日以降に重機による表土削削を開始した。このことも調査の進行が遅れた要因のひとつとなった。庭上の仮置きあたっては、すでに整備の終了しているD区に仮置きするため、委託者の指示でシートを敷いた上に仮置きした。埋め戻しの際には、シートの回収も行ったが、9月以降の調査終了箇所については、調査終了後に円滑に工事着手するため、埋め戻し作業とシートの回収作業についても、ほ場整備の委託業者に引き継ぎを行った。

その他、調査区Q区の西側に隣接する、ほ場整備地外のD区では、田植に伴い、随時土側溝の用水配水が機能していた。そのため調査区Q区は、9月下旬の稲刈り後に調査することとなった。

### J R 近接工事

J R 近接工事の対象範囲については、J R の許可をもらう手続きが必要であったが、調査開始前に手続きは進められていなかったため、調査開始後に手続きを進めることとなった。対象とされた区域は、新幹線西側の調査区G区3,079㎡である。

事務手続きに関しては、5月28日にJ R で打ち合わせを行った。その後、事業と調査を1本化して事務手続きが進められ、8月28日には「工事施工に作る覚書」を締結した。

現場においては、8月20日にJ 近接工事の資格業者である仙建工業株式会社と作業内容の打ち合わせを行った後、9月1日に施工計画を提出し、9月4日にJ R で具体的な打ち合わせを行い、9月1日～10月30日までの「近接工事協議済証」（盛土技設21第83号）を得た。現場では、資格業者の仙建工業株式会社に委託し、重機による削削及び排土の運搬作業を9月7日～10月7日の間行った。

実際の調査では、掘削作業を南側から北側に順次行う予定であったが、調査開始後に調査区途中（G4区）にあるJ R 高架からの昇降口に隣接する範囲の設計変更箇所が出たため、当初の予定を変更して、南側（G5・6区）→北側（G1・2区）→南側（G3・4区）と場所を反転しての非効率的な調査を行った。G区の調査は、遺構密度が高かったため、当初予定の10月30日までに終了できず、11月13日まで期間を延長して行った。

### 事前の調査条件の整備と調査への影響

以上のような諸々の調査条件の制約のもとに調査は進行した。結果的に調査着手が遅れ、9月以降に開始となったG・Q区が、他の区域と比べて遺構密度が高く、出土遺物量も多かった。本来であれば、もっとも時間を掛けて慎重に調査すべき区域であったが、予定期間7か月中約1か月半しか期間を割けなかったことが悔やまれる。そのため調査精度は他区より劣っており、残念な結果になった。

今回の調査は、事前の調査条件の整備が、いかに調査精度に影響を与えるか。また条件が整わない状況のなかで、とりあえずできるところから、と安易に調査着手することが、いかに非効率的な調査に直結するか、痛感させられた調査であった。

安易な調査着手は、担当調査員の負担が大きく、非効率的な精度の低い調査を行わざるをえない場

合が多い。事前の条件整備を確実にすることが、経費節減も含めた円滑な調査を進めるための必須条件となることは自明のことである。今後の教訓としたい。

## 2 室内整理

### (1) 室内整理の方法

#### a 遺構に関わる記録

電子平板で測量したデータについては、現場で入手した情報をそのまま保存することとし、手実測で記録したその他の実測図を読み込んでデジタル化して、点検・合成、図版作成を行った。

デジタル写真は、撮影したすべての写真データを保存対象として整理・収納した。撮影されたフィルムはネガアルバムに密着写真と一組にして収納した。

#### b 遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、細片は別として、出土地点・層位等を登録した遺物Noを破片に注記した。その後、出土地点・層位ごとに仕分けを行い、遺構ごと、遺構外出土の遺物はグリッドごとに接合・復元作業を行った。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮小して図化した。石材・炭化材・炭化種実・放射性炭素年代測定分析は外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影はセンター内の専門技師1名が行った。

#### c 遺物の選別・図化の基準

遺物の整理・報告にあたっての作業・記録作成は以下の方針を進めた。報告書に掲載された遺物は出土した遺物のすべてではなく、整理のなかで設定した基準を基に選別した一部の資料である。以下に選別基準を明示する。今回は、限られた整理期間のなかで、できるかぎり情報を提供しようと努めたが、担当者の力量不足により、不十分に終わった部分がある。掲載にあたっては、時代別・遺物の種類別に掲載し、別に出土地点ごとの集成図も作成し、掲載した。

#### 土器類（縄文土器・土師器・須恵器・かわらけ）

はじめに出土地点別に重量計測を行った。土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合した土器については、原則としては計測値（器高・口径・底径）1箇所以上計測可能なもの（器形が把握できるもの）を立体土器として登録し、図化した。破片資料は、優先的に口縁部破片や底部破片を選別したが、一部胴部破片も選んでいる。かわらけは、原則1/2以上残存するか、図化により計測値が復元可能なものについて掲載することとし、一部の遺構内資料については、残存率が不良なものについても掲載している。掲載にあたっては、縄文土器・土師器・かわらけと種類別に分けて掲載した。

#### 陶磁器類（12世紀、中世、近世、近代）

陶磁器は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、選別した資料について図・写真を掲載した。12世紀の陶磁器類については、国産陶器（常滑・瀬美・水沼・須恵器系）・中国産磁器（白磁・青磁・青白磁・陶器）に分類した。すべてについて観察表を掲載し、一部について図・写真を掲載した。陶磁器類の分類については、平泉町の八重樫忠郎氏にご指導いただいた。近世・近代の陶磁器については、陶器・磁器に大別して、出土地点別に掲載した。遺構（屋敷地）の存続年代に係わることから、近代の陶磁器類についても可能なかぎり掲載したが、整理期間の制約などから、出土したすべての資料内容を提示することができなかった。

#### 土製品

土製品は、出土したすべてを対象として、仕分け・登録作業・計測・分類を行い、一部について、

観察表・写真を掲載した。

#### 石器・石製品

石器は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、さらに一部資料について図化を行い、写真・観察表を掲載した。石製品は、出土したすべてを対象として、仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。

#### 金属製品

金属製品には、鉄製品・銭貨がある。鉄製品は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。

#### ガラス製品

ガラス製品は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、一部について観察表・図・写真を掲載した。

#### 木製品

木製品は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、遺存状態や器種の同定が可能なものを優先して選別したものについて、観察表・図・写真を掲載した。なお、掲載のみならず、不掲載の遺物についても報告に必要と判断したものについては、専門家による樹種同定を行い、分析結果を掲載した。一部の近世の遺物を除いて、掲載遺物は保存処理を施した。

#### 動物遺体

すべてを対象として、個々に仕分け・登録・計測・分類作業を行い、全点について観察表を作成し、一部について写真掲載とした。動物遺体については佐々木務氏に同定していただいた。

#### 植物遺体

種実・炭化材とも、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行った。植物遺体（種子・炭化したものも含む）については、観察表と写真を掲載した。また代表的な遺物は、外部の専門機関に分析同定を依頼した。炭化材は観察表のみの掲載とし、樹種名を掲載するに留めた。なお、遺構内出土の一部の資料について、専門家による樹種同定と放射性炭素年代測定を行い、分析結果を掲載した。

#### d 報告書の編集

報告書の内容は、I遺跡（H区を除く）の遺構分を川又、II遺跡のS I 103堅穴住居跡を八重畑、それ以外を阿部が執筆した。図版は、II遺跡の遺構分を八重畑、それ以外の遺構は川又、遺物は阿部が編集した。写真図版は川又が編集した。全体の編集は阿部・川又が行った。

### (2) 室内整理の経過

室内整理の期間は、平成21年11月1日～平成22年3月31日で、延べ日数は97日である。整理に従事した作業員は4名である。野外調査で得られた遺物、実測図、写真などの各種資料は室内整理の段階で整理方針に基づいて処理し、整理を行い、報告書作成とともに資料化を図った。

なお、整理途中の中間報告であったが、以下に示した機会において調査成果の概要報告を行った。

12月5日（土）平泉フォーラム  
2月13日（土）岩手県埋蔵文化財センター主催の遺跡報告会  
2月19日（金）平泉遺跡群調査整備指導委員会  
3月4日（木）紫波郷土史同好会

第1表 周辺の遺跡一覧表

No	遺跡コード	遺跡名	種別	時代	所在地	調査状況
1	E06-0370	高瀬上野沢	遺跡地	縄文・古墳	高瀬上野沢	
2	E06-0368	高瀬下野沢	遺跡地	平安	高瀬下野沢	
3	E06-0372	高瀬野沢	遺跡地	古墳	高瀬野沢	
4	E06-0366	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
5	E06-0365	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
6	E06-0367	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
7	E06-0307	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
8	E06-0303	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
9	E06-0333	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
10	E06-0308	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
11	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
12	E06-0308	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
13	E06-0309	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
14	E06-0310	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
15	E06-0302	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
16	E06-0303	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
17	E06-0305	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
18	E06-0307	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
19	E06-0307	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
20	E06-0308	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
21	E06-0309	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
22	E06-0309	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
23	E06-0310	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
24	E06-0307	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
25	E06-0308	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
26	E06-0309	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
27	E06-0307	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
28	E06-0307	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
29	E06-0307	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
30	E06-0309	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
31	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
32	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
33	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
34	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
35	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
36	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
37	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
38	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
39	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
40	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
41	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
42	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
43	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
44	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
45	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
46	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
47	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
48	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
49	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
50	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
51	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
52	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
53	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
54	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
55	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
56	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
57	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
58	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
59	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
60	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
61	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
62	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
63	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
64	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
65	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
66	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
67	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
68	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
69	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
70	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
71	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
72	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
73	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
74	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
75	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
76	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
77	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
78	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
79	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
80	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	
81	E06-0306	高瀬	遺跡地	古墳	高瀬	

第2表 遺構一覽表  
南日誌小路口Ⅰ遺跡

遺構名	遺構	種別	位置	遺構名	遺構	種別	位置
SK01	柱列跡	HD		SK20	溝跡	N	
SK02	柱列跡	HD		SK21	溝跡	N	
SK03	柱列跡	HD		SK22	溝跡	N	
SK04	北文土層跡	H3		SK23	溝跡	H1	
SK05	柱列跡	H3		SK24	溝跡	H1	
SK06	北文土層跡	H3		SK25	溝跡	H1	
SK07	柱列跡	HD		SK26	溝跡	H1	
SK08	柱列跡	HD		SK27	溝跡	L	
SK09	北文土層跡	HD		SK28	溝跡	J	
SK10	北文土層跡	I		SK29	瓦葺	SR41~42瓦	瓦葺
SK11	北文土層跡	I		SK30	溝跡	R3	
SK12	北文土層跡	M		SK31	溝跡	R3	
SK13	土塊	I		SK32	溝跡	H3	
SK14	土塊	I		SK33	溝跡	R3	
SK15	土塊	I		SK34	溝跡	Q1/Q2	
SK16	土塊	I		SK35	溝跡	Q2	
SK17	土塊	I		SK36	溝跡	Q2	
SK18	土塊	I		SK37	溝跡	Q2	
SK19	土塊	I		SK38	溝跡	T13	
SK20	土塊	I		SK39	溝跡	T34	
SK21	土塊	I		SK40	溝跡	H1	
SK22	土塊	H1		SK41	溝跡	H3	
SK23	土塊	H1		SK42	溝跡	S	
SK24	土塊	H1		SK43	溝跡	H1	
SK25	土塊	H1		SK44	溝跡	Q2	
SK26	土塊	H1		SK45	溝跡	H1	
SK27	土塊	H1		SK46	溝跡	Q2	
SK28	土塊	H1		SK47	溝跡	Q2	
SK29	土塊	H1		SK48	溝跡	Q2	
SK30	土塊	H1		SK49	溝跡	Q2	
SK31	土塊	H1		SK50	溝跡	Q2	
SK32	土塊	H1		SK51	溝跡	Q2	
SK33	土塊	H1					
SK34	土塊	H1					
SK35	土塊	H1					
SK36	土塊	H1					
SK37	土塊	H1					
SK38	土塊	H1					
SK39	土塊	H1					
SK40	土塊	H1					
SK41	土塊	H1					
SK42	土塊	H1					
SK43	土塊	H1					
SK44	土塊	H1					
SK45	土塊	H1					
SK46	土塊	H1					
SK47	土塊	H1					
SK48	土塊	H1					
SK49	土塊	H1					
SK50	土塊	H1					
SK51	土塊	H1					
SK52	土塊	H1					
SK53	土塊	H1					
SK54	土塊	H1					
SK55	土塊	H1					
SK56	土塊	H1					
SK57	土塊	H1					
SK58	土塊	H1					
SK59	土塊	H1					
SK60	土塊	H1					
SK61	土塊	H1					
SK62	土塊	H1					
SK63	土塊	H1					
SK64	土塊	H1					
SK65	土塊	H1					
SK66	土塊	H1					
SK67	土塊	H1					
SK68	土塊	H1					
SK69	土塊	H1					
SK70	土塊	H1					
SK71	土塊	H1					
SK72	土塊	H1					
SK73	土塊	H1					
SK74	土塊	H1					
SK75	土塊	H1					
SK76	土塊	H1					
SK77	土塊	H1					
SK78	土塊	H1					
SK79	土塊	H1					
SK80	土塊	H1					
SK81	土塊	H1					
SK82	土塊	H1					
SK83	土塊	H1					
SK84	土塊	H1					
SK85	土塊	H1					
SK86	土塊	H1					
SK87	土塊	H1					
SK88	土塊	H1					
SK89	土塊	H1					
SK90	土塊	H1					
SK91	土塊	H1					
SK92	土塊	H1					
SK93	土塊	H1					
SK94	土塊	H1					
SK95	土塊	H1					
SK96	土塊	H1					
SK97	土塊	H1					
SK98	土塊	H1					
SK99	土塊	H1					
SK100	土塊	H1					

遺構名	遺構	種別	位置	遺構名	遺構	種別	位置
SK101	溝跡	N		SK111	溝跡	H1	
SK102	溝跡	N		SK112	溝跡	H1	
SK103	溝跡	N		SK113	溝跡	H1	
SK104	溝跡	H1		SK114	溝跡	H1	
SK105	溝跡	H1		SK115	溝跡	H1	
SK106	溝跡	H1		SK116	溝跡	H1	
SK107	溝跡	H1		SK117	溝跡	H1	
SK108	溝跡	L		SK118	溝跡	H1	
SK109	溝跡	J		SK119	溝跡	H1	
SK110	溝跡	L		SK120	溝跡	H1	
SK111	溝跡	J		SK121	溝跡	H1	
SK112	溝跡	L		SK122	溝跡	H1	
SK113	溝跡	L		SK123	溝跡	H1	
SK114	溝跡	L		SK124	溝跡	H1	
SK115	溝跡	L		SK125	溝跡	H1	
SK116	溝跡	L		SK126	溝跡	H1	
SK117	溝跡	L		SK127	溝跡	H1	
SK118	溝跡	L		SK128	溝跡	H1	
SK119	溝跡	L		SK129	溝跡	H1	
SK120	溝跡	L		SK130	溝跡	H1	
SK121	溝跡	L		SK131	溝跡	H1	
SK122	溝跡	L		SK132	溝跡	H1	
SK123	溝跡	L		SK133	溝跡	H1	
SK124	溝跡	L		SK134	溝跡	H1	
SK125	溝跡	L		SK135	溝跡	H1	
SK126	溝跡	L		SK136	溝跡	H1	
SK127	溝跡	L		SK137	溝跡	H1	
SK128	溝跡	L		SK138	溝跡	H1	
SK129	溝跡	L		SK139	溝跡	H1	
SK130	溝跡	L		SK140	溝跡	H1	
SK131	溝跡	L		SK141	溝跡	H1	
SK132	溝跡	L		SK142	溝跡	H1	
SK133	溝跡	L		SK143	溝跡	H1	
SK134	溝跡	L		SK144	溝跡	H1	
SK135	溝跡	L		SK145	溝跡	H1	
SK136	溝跡	L		SK146	溝跡	H1	
SK137	溝跡	L		SK147	溝跡	H1	
SK138	溝跡	L		SK148	溝跡	H1	
SK139	溝跡	L		SK149	溝跡	H1	
SK140	溝跡	L		SK150	溝跡	H1	

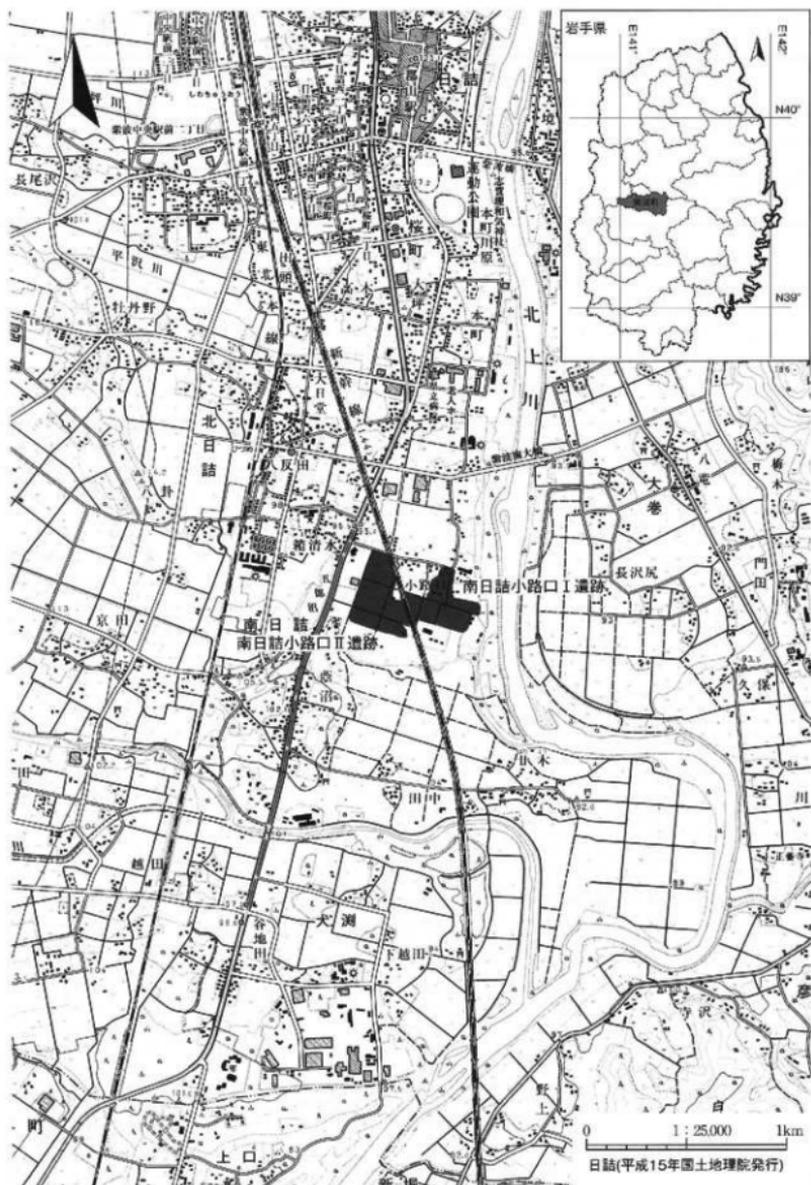
南日誌小路口Ⅱ遺跡

遺構名	遺構	種別	位置	遺構名	遺構	種別	位置
SK101	溝跡	N		SK111	溝跡	H1	
SK102	溝跡	N		SK112	溝跡	H1	
SK103	溝跡	N		SK113	溝跡	H1	
SK104	溝跡	H1		SK114	溝跡	H1	
SK105	溝跡	H1		SK115	溝跡	H1	
SK106	溝跡	H1		SK116	溝跡	H1	
SK107	溝跡	H1		SK117	溝跡	H1	
SK108	溝跡	L		SK118	溝跡	H1	
SK109	溝跡	J		SK119	溝跡	H1	
SK110	溝跡	L		SK120	溝跡	H1	
SK111	溝跡	J		SK121	溝跡	H1	
SK112	溝跡	L		SK122	溝跡	H1	
SK113	溝跡	L		SK123	溝跡	H1	
SK114	溝跡	L		SK124	溝跡	H1	
SK115	溝跡	L		SK125	溝跡	H1	
SK116	溝跡	L		SK126	溝跡	H1	
SK117	溝跡	L		SK127	溝跡	H1	
SK118	溝跡	L		SK128	溝跡	H1	
SK119	溝跡	L		SK129	溝跡	H1	
SK120	溝跡	L		SK130	溝跡	H1	
SK121	溝跡	L		SK131	溝跡	H1	
SK122	溝跡	L		SK132	溝跡	H1	
SK123	溝跡	L		SK133	溝跡	H1	
SK124	溝跡	L		SK134	溝跡	H1	
SK125	溝跡	L		SK135	溝跡	H1	
SK126	溝跡	L		SK136	溝跡	H1	
SK127	溝跡	L		SK137	溝跡	H1	
SK128	溝跡	L		SK138	溝跡	H1	
SK129	溝跡	L		SK139	溝跡	H1	
SK130	溝跡	L		SK140	溝跡	H1	
SK131	溝跡	L		SK141	溝跡	H1	
SK132	溝跡	L		SK142	溝跡	H1	
SK133	溝跡	L		SK143	溝跡	H1	
SK134	溝跡	L		SK144	溝跡	H1	
SK135	溝跡	L		SK145	溝跡	H1	
SK136	溝跡	L		SK146	溝跡	H1	
SK137	溝跡	L		SK147	溝跡	H1	
SK138	溝跡	L		SK148	溝跡	H1	
SK139	溝跡	L		SK149	溝跡	H1	
SK140	溝跡	L		SK150	溝跡	H1	

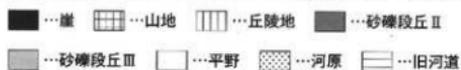
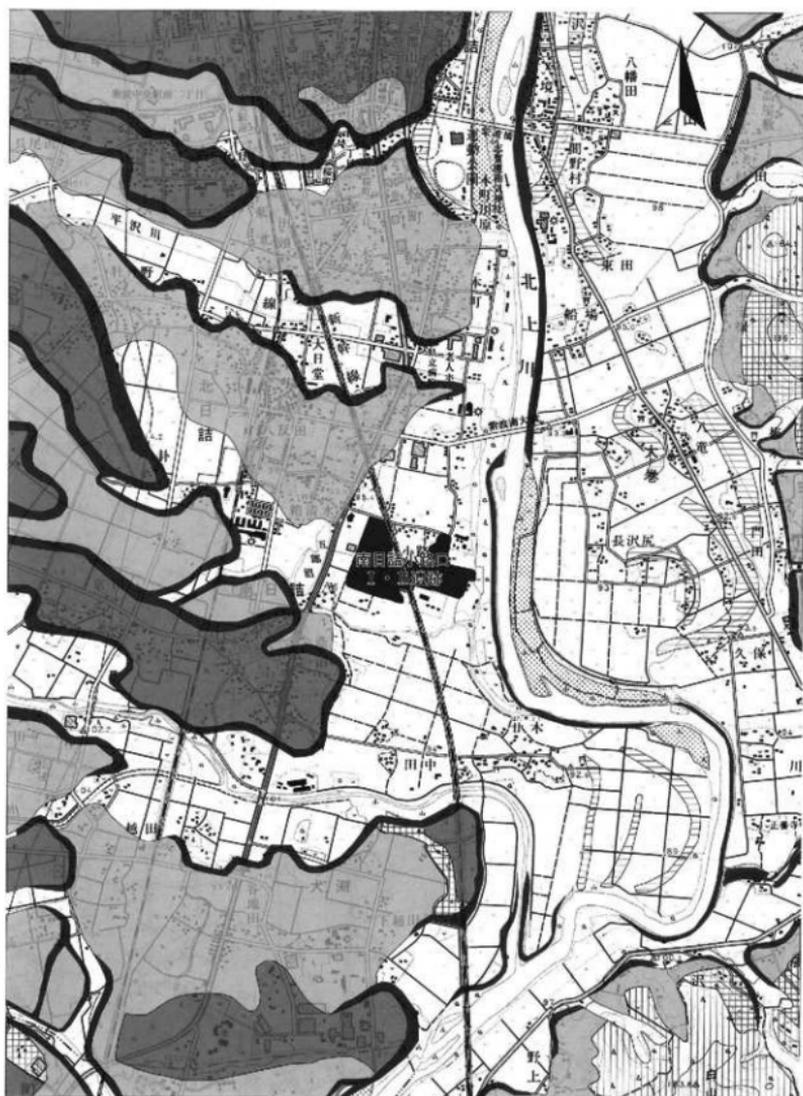
遺構名	遺構	種別	位置	遺構名	遺構	種別	位置
SK136	土塊	G4		SK216	溝跡	H1	
SK137	土塊	G4		SK217	溝跡	H1	
SK138	土塊	G4		SK218	溝跡	H1	
SK139	土塊	G4		SK219	溝跡	H1	
SK140	土塊	G4		SK220	溝跡	H1	
SK141	土塊	G4		SK221	溝跡	H1	
SK142	土塊	G4		SK222	溝跡	H1	
SK143	土塊	G4		SK223	溝跡	H1	
SK144	土塊	G4		SK224	溝跡	H1	
SK145	土塊	G4		SK225	溝跡	H1	
SK146	土塊	G4		SK226	溝跡	H1	
SK147	土塊	G4		SK227	溝跡	H1	
SK148	土塊	G4		SK228	溝跡	H1	
SK149	土塊	G4		SK229	溝跡	H1	
SK150	土塊	G4		SK230	溝跡	H1	
SK151	土塊	G4		SK231	溝跡	H1	
SK152	土塊	G4		SK232	溝跡	H1	
SK153	土塊	G4		SK233	溝跡	H1	
SK154	土塊	G4		SK234	溝跡	H1	
SK155	土塊	G4		SK235	溝跡	H1	
SK156	土塊	G4		SK236	溝跡	H1	
SK157	土塊	G4		SK237	溝跡	H1	
SK158	土塊	G4		SK238	溝跡	H1	
SK159	土塊	G4		SK239	溝跡	H1	
SK160	土塊	G4		SK240	溝跡	H1	
SK161	土塊	G4		SK241	溝跡	H1	
SK162	土塊	G4		SK242	溝跡	H1	
SK163	土塊	G4		SK243	溝跡	H1	
SK164	土塊	G4		SK244	溝跡	H1	
SK165	土塊	G4		SK245	溝跡	H1	
SK166	土塊	G4		SK246	溝跡	H1	
SK167	土塊	G4		SK247	溝跡	H1	
SK168	土塊	G4		SK248	溝跡	H1	
SK169	土塊	G4		SK249	溝跡	H1	
SK170	土塊	G4		SK250	溝跡	H1	

基準点一覽表

點名	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)
基-101	-5189.756	28239.36	93.167
基-102	-5199.198	28269.751	92.866
基-103	-51972.813	28776.602	93.099
基-104	52025.620	29117.245	92.612
PC 01	51844.000	28	



第1図 遺跡の位置

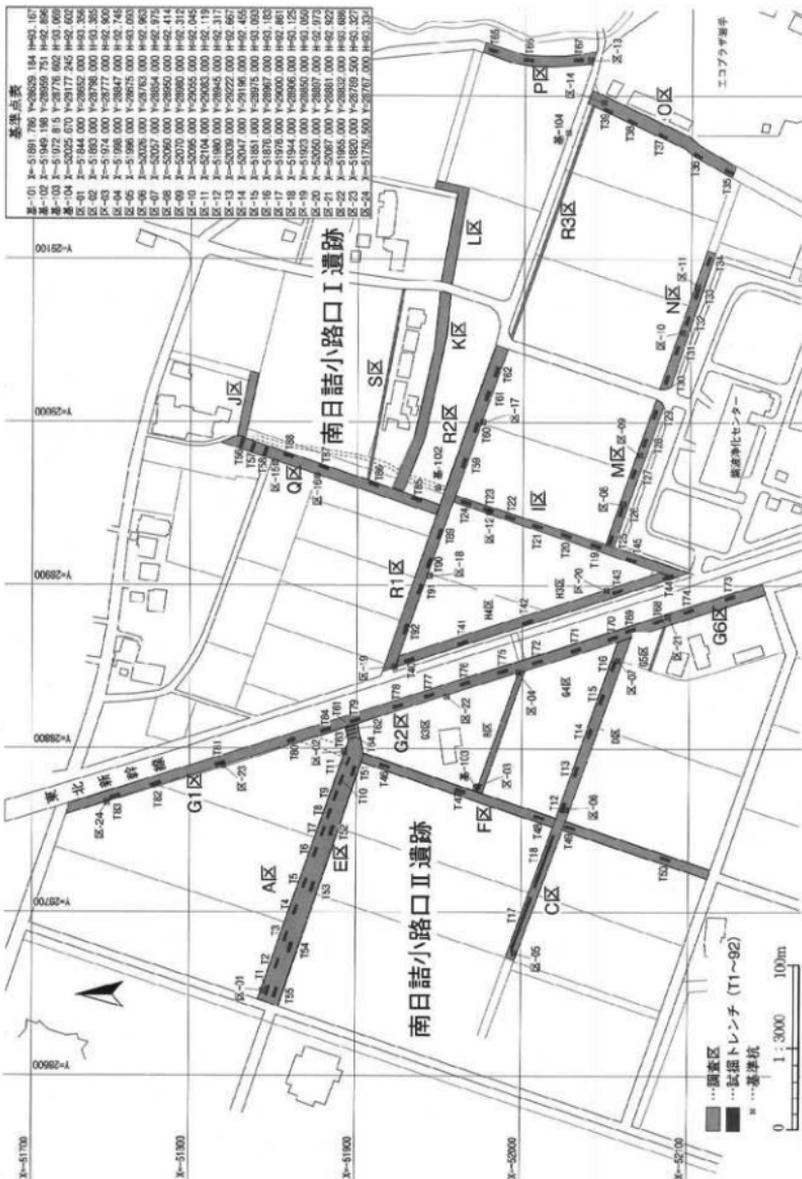


0 1:25,000 1km  
 日誌(平成15年国土地理院発行)

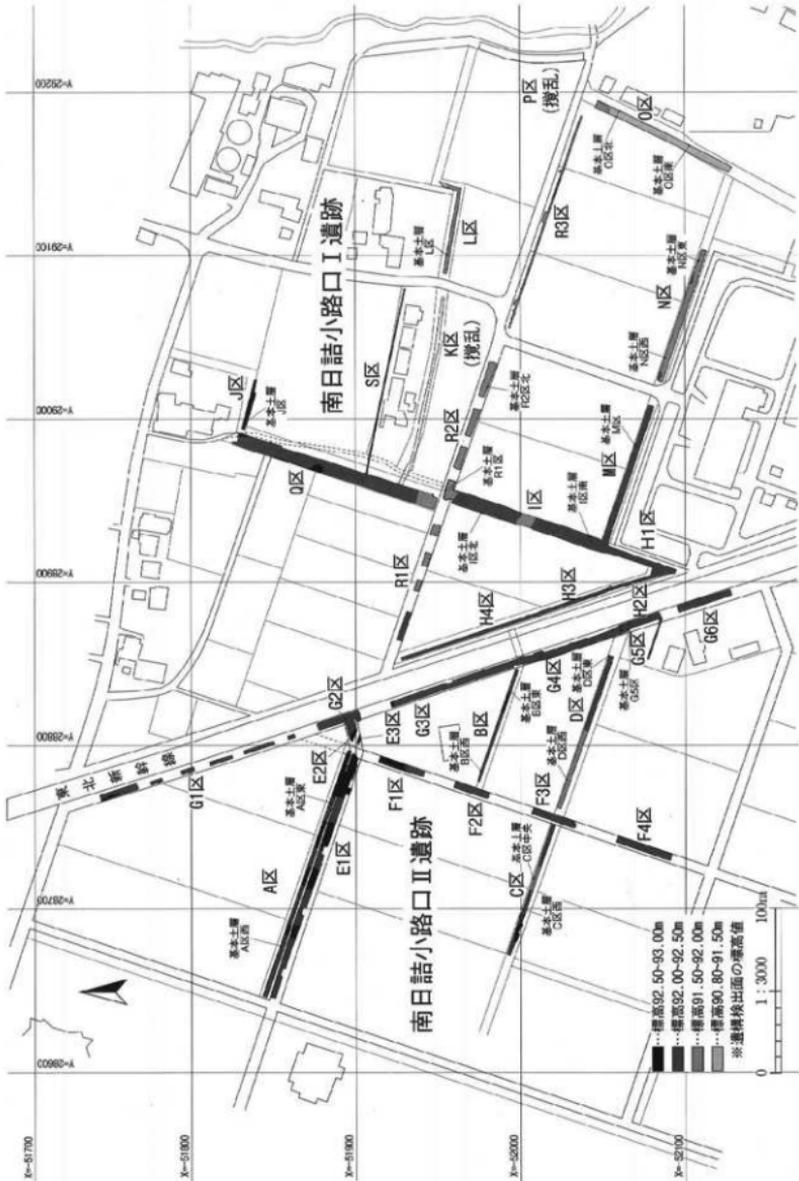
第2図 周辺の地形



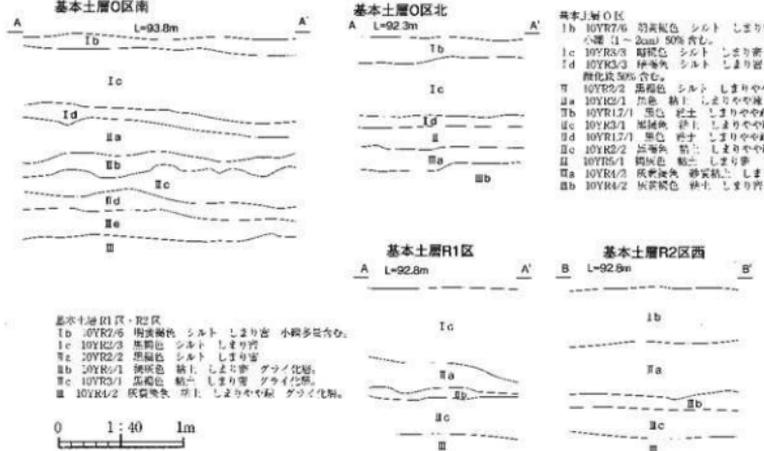
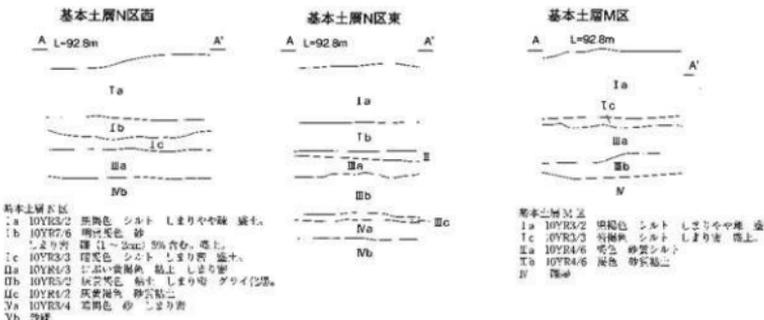
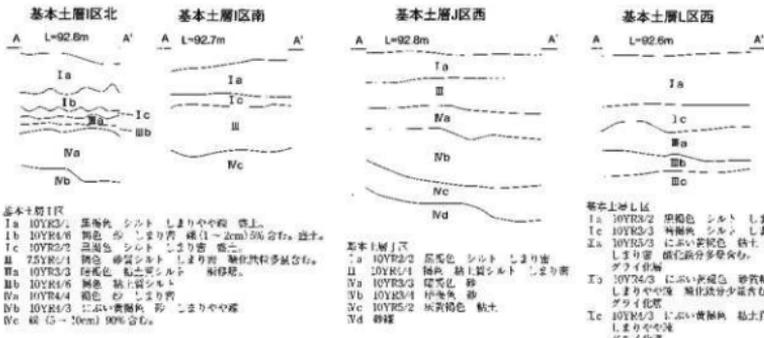
第3図 周辺の遺跡



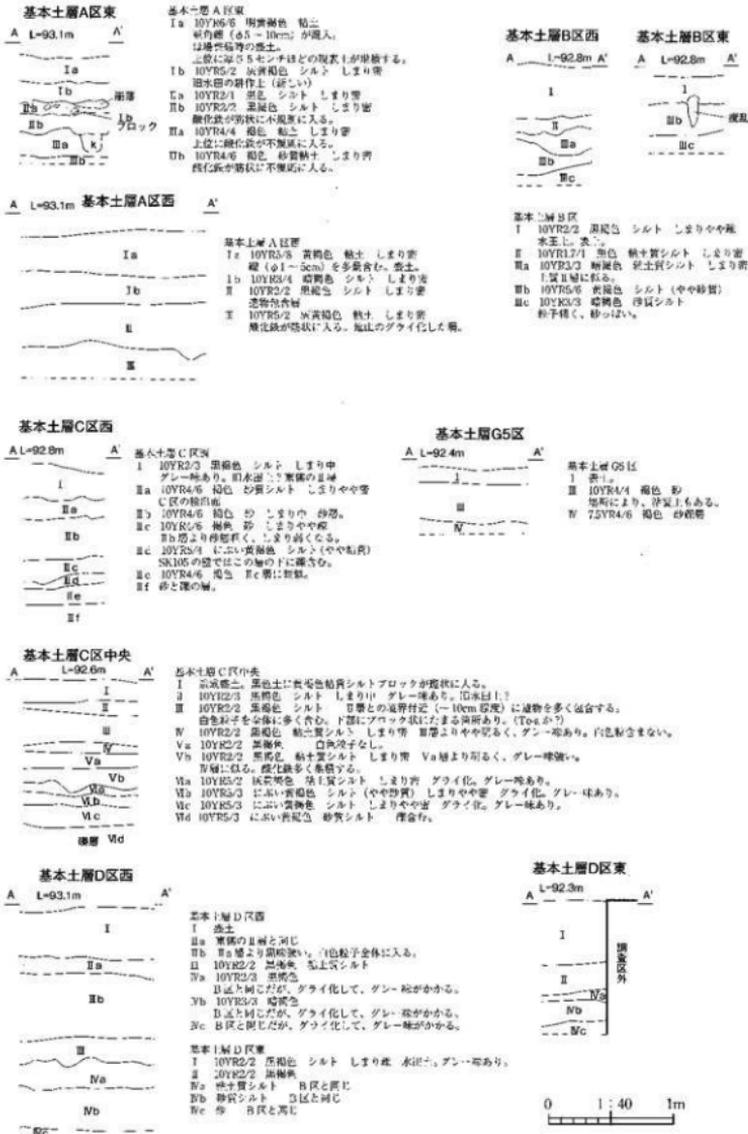
第4図 陸奥市・トレンチ発掘図



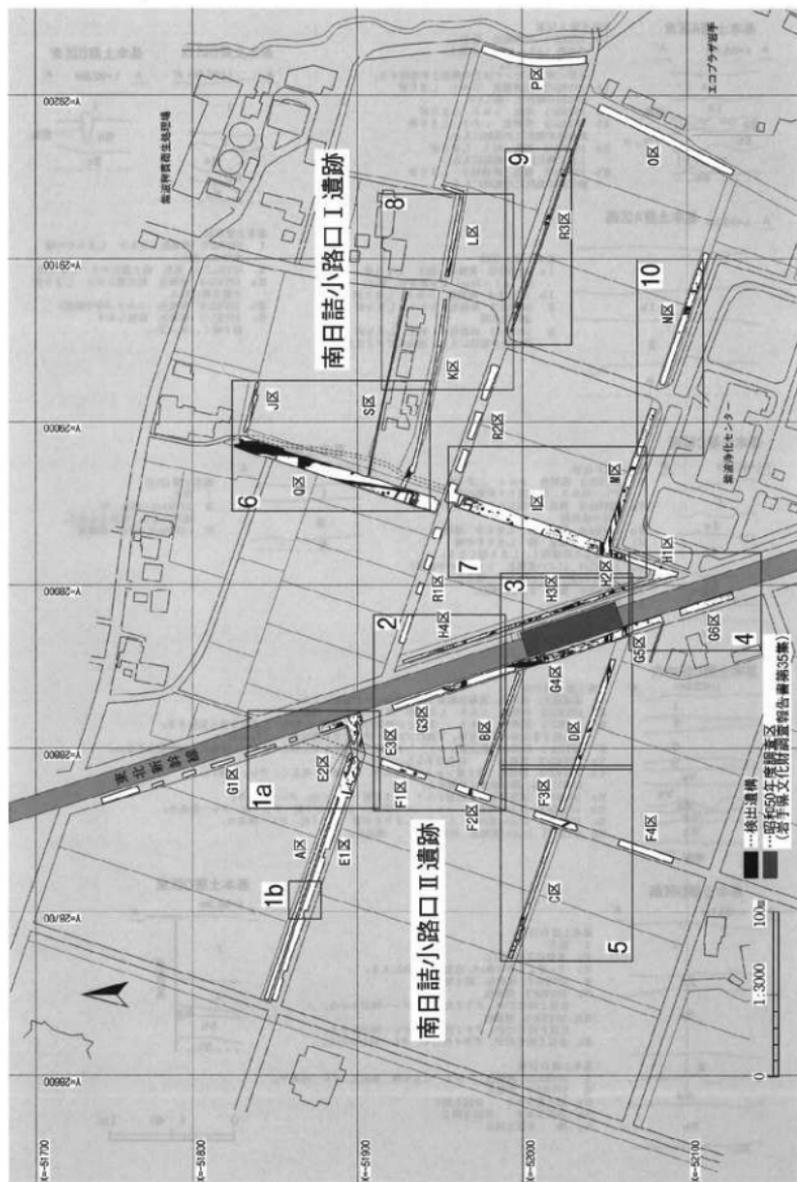
第5図 検出面標高・基本土層位置圖



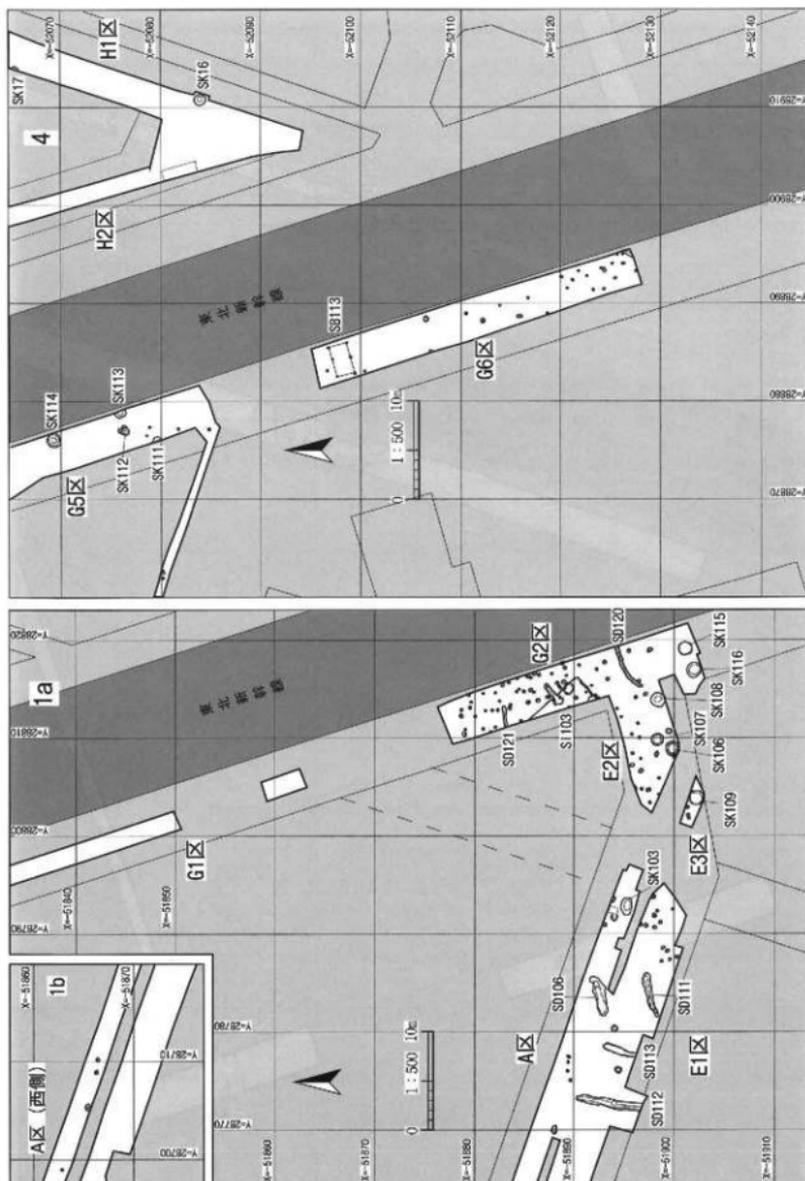
第6図 基本土層 (南日誌小路口I遺跡)



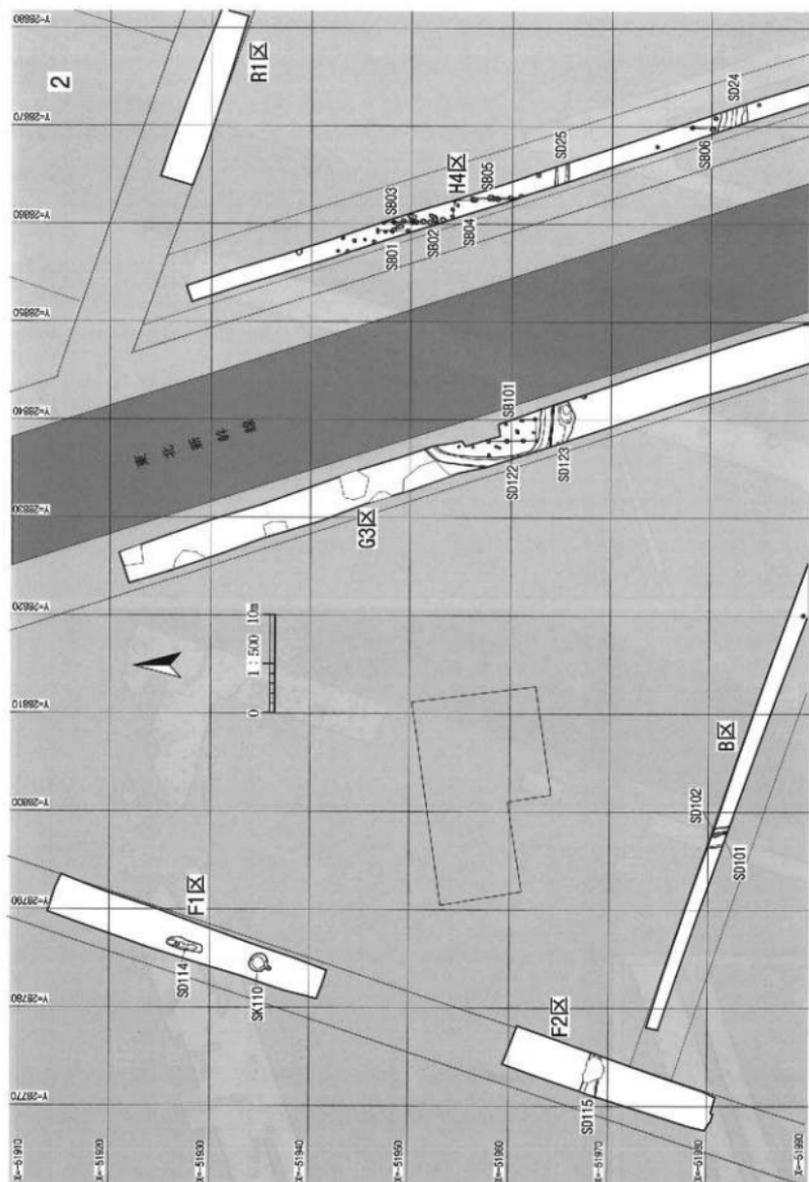
第7図 基本土層 (南日詰小路II遺跡)



第 5 図 遺構配置図(全体図)

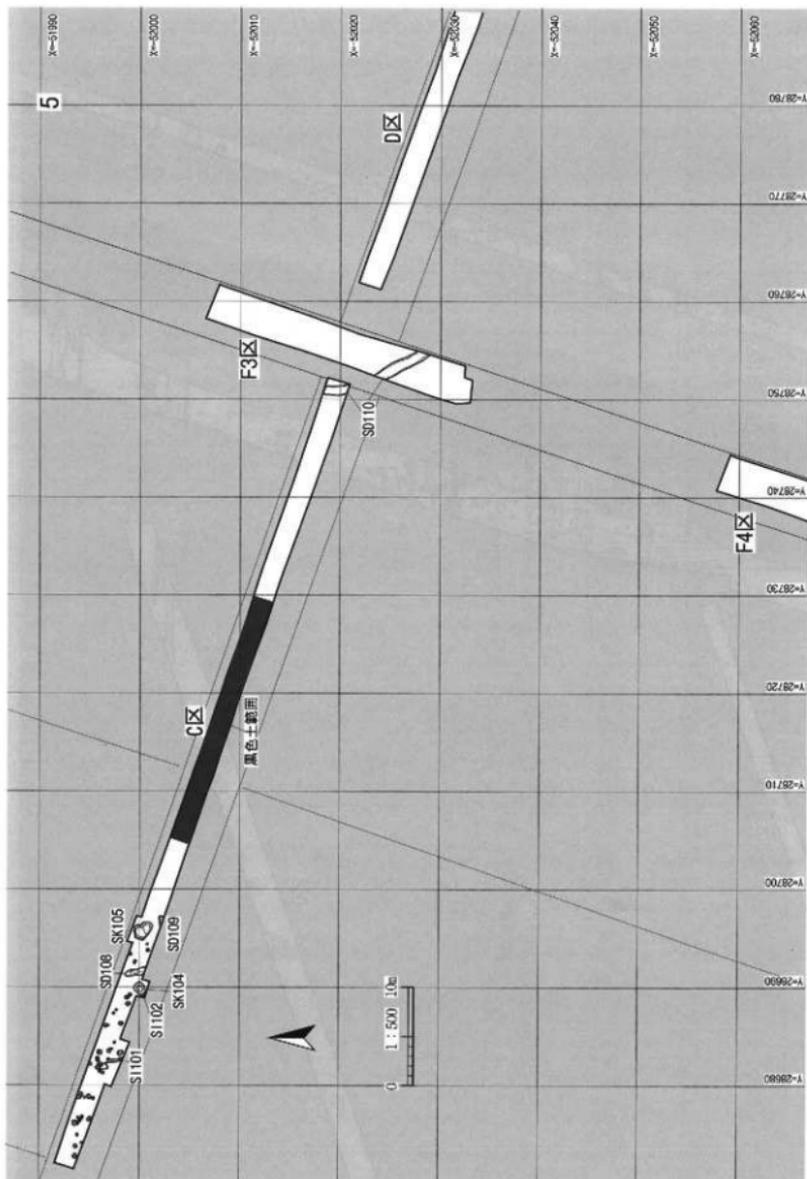


第9図 遺構配置図1・4

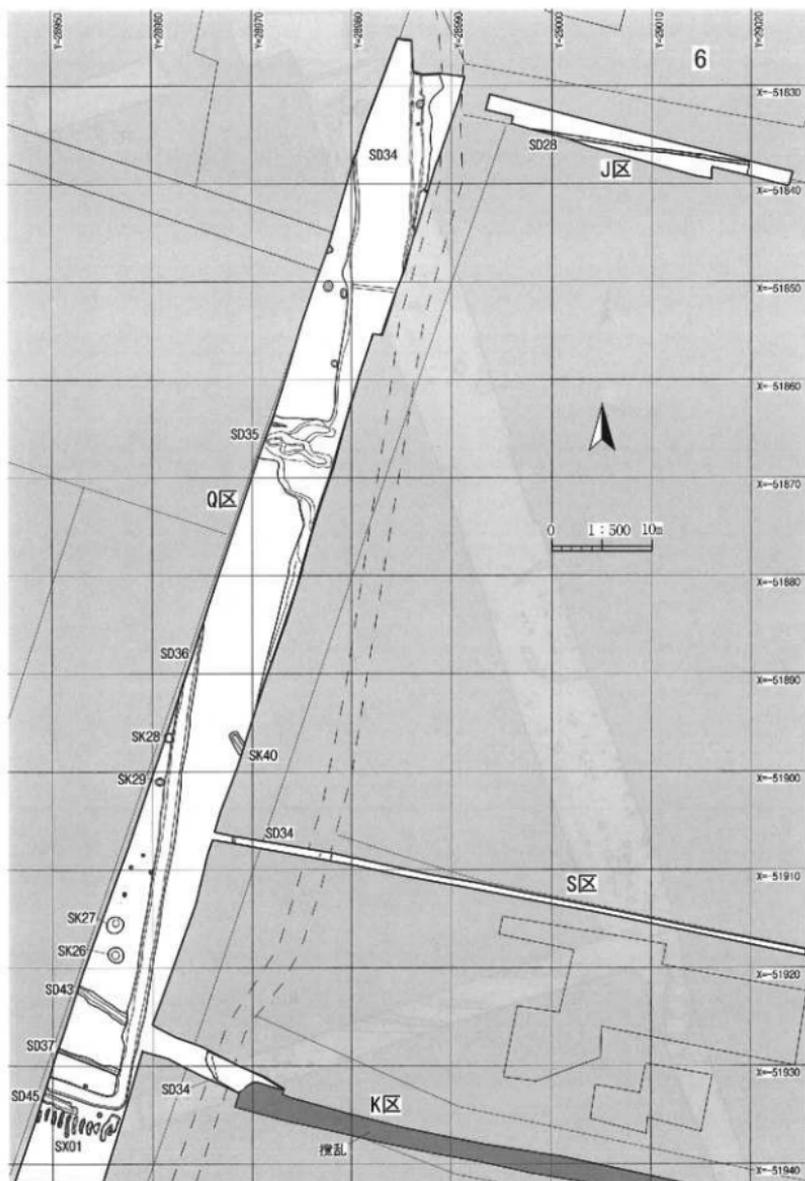


第10図 遺構配置図2

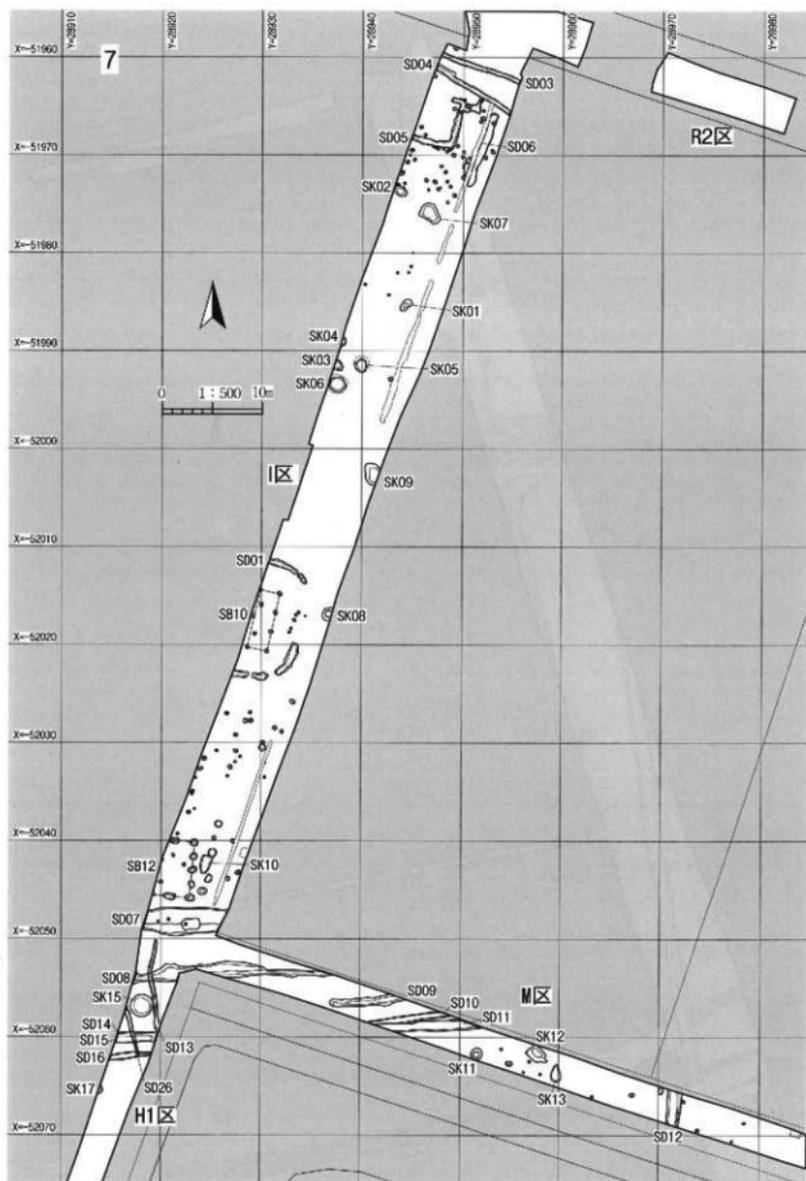




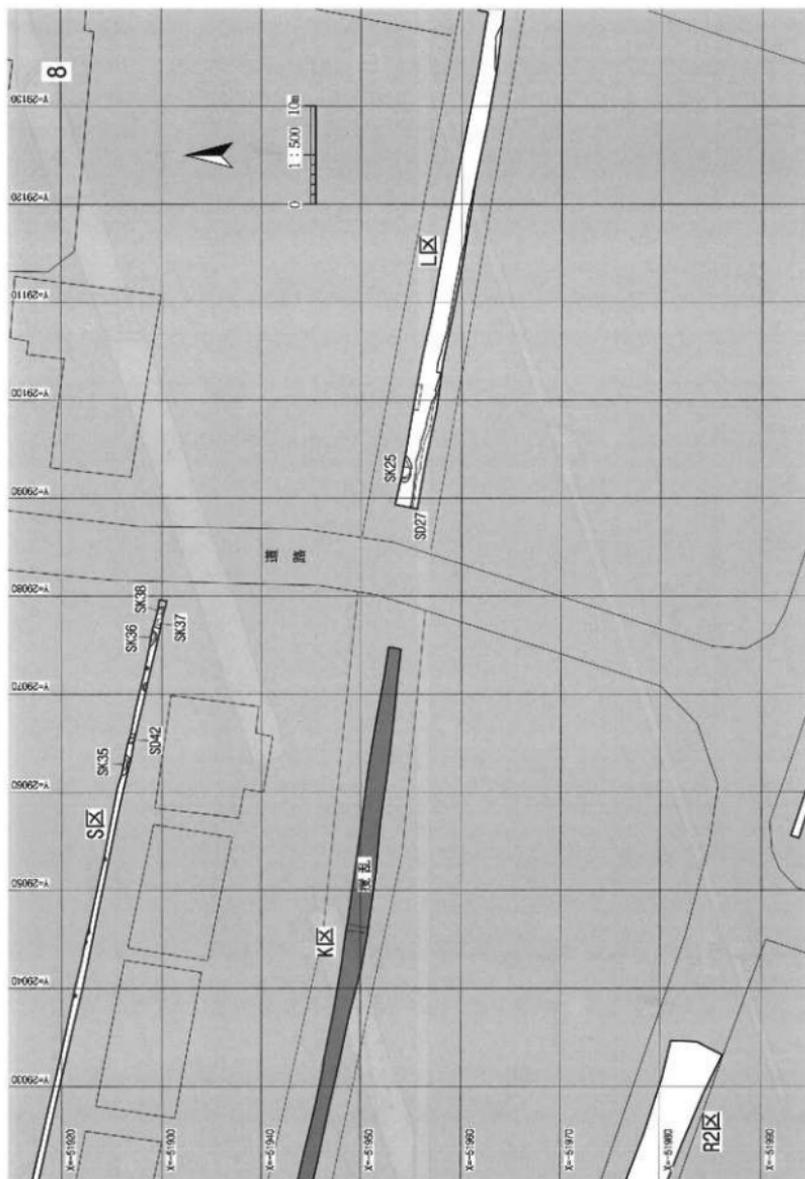
第 12 图 遺構配置圖 5



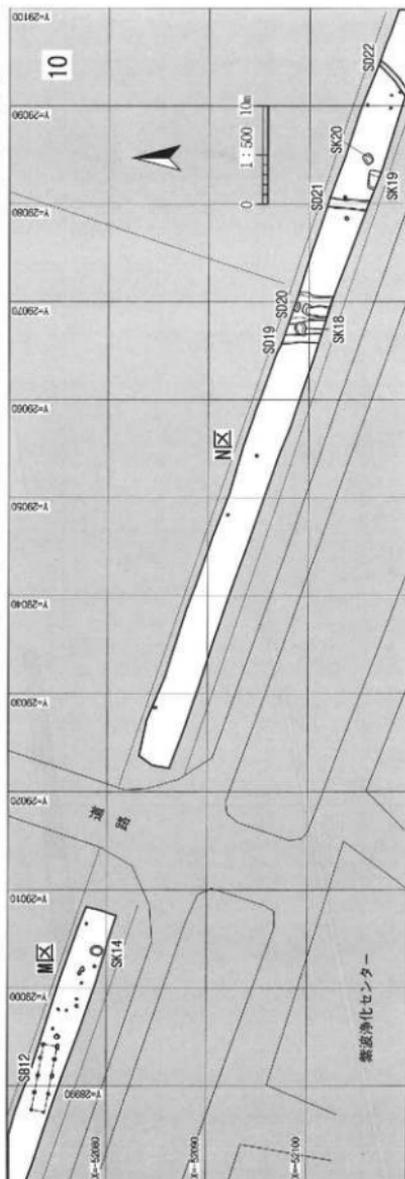
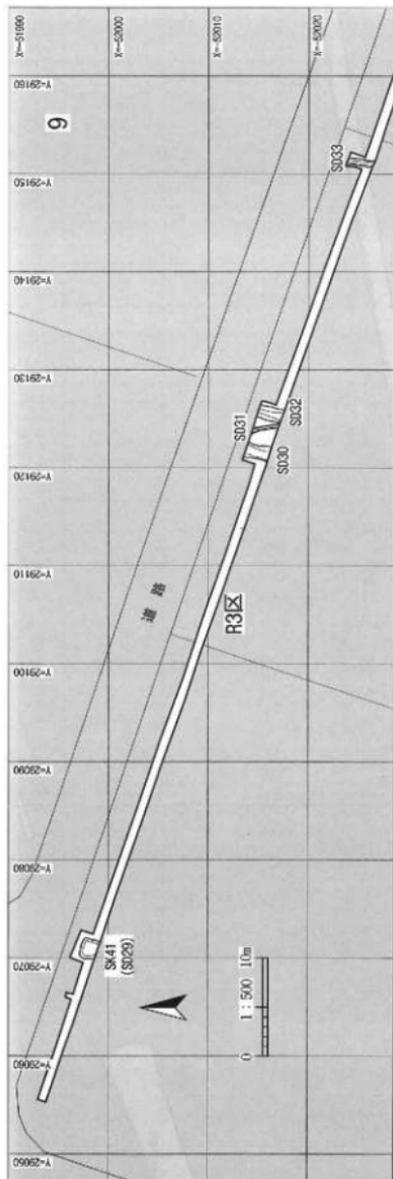
第13図 遺構配置図6



第 14 図 連構配置図 7



第 15 区 編 織 配 置 図 8



第 16 図 遺構配置図 9・10

## IV 南日詰小路口 I 遺跡

### 1 検出遺構

#### (1) 検出遺構の概要

検出された遺構は、建物跡・柱列12棟、柱穴278個、土坑（井戸跡含）41基、溝跡43条、道路状遺構1か所である。時代的には、12世紀のもの、近世・近代のもの、所属時期不明のものに大別される。記載にあたっては、遺構の種類ごとに記述することとする。

#### (2) 建物跡・柱列跡・柱穴群

柱穴群278個を確認した。そのなかから、建物跡あるいは柱列を構成するもの12棟について、建物跡・柱列跡として報告する。調査区の制約から、柱列としたものでも建物跡の一部の可能性があるため名称は一連の遺構名を付した。時期的には大きく12世紀のものと近世以降のものに大別される。

#### SB01柱列跡

遺構（第26図、写真図版15）

〔位置・検出状況〕II 4区。III層で柱穴群を検出した。構成建物は南西側の調査区域外に延びる可能性がある。

〔重複関係〕なし。

〔平面形式〕不明である。規模215m以上。3個の柱穴（P209・214・218）から構成される。P206との組合せで、建物跡を構成する可能性もある。

〔建物方位〕N-4°-E。

〔柱間寸法〕柱間1.50mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

#### SB02柱列跡

遺構（第26図、写真図版15）

〔位置・検出状況〕H 4区。III層で柱穴群を検出した。構成建物は東西の調査区域外に延びる可能性がある。

〔重複関係〕SB03柱列跡と重複するが新旧関係は不明である。

〔平面形式〕不明である。1間×2間以上の掘立柱建物である。規模(7.18)×(2.53)m以上。3個の柱穴（P202・205・212）から構成される。

〔建物方位〕N-0°-E。

〔柱間寸法〕柱間1.80mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### S B03柱列跡

遺構（第26図、写真図版15）

〔位置・検出状況〕 H 4区。Ⅲ層南西の調査区域外に延びる可能性がある。

〔重複関係〕 S B02柱列跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔平面形式〕 不明である。規模（7.54）×2.32m以上。3個の柱穴（P202・210・216）から構成される。

〔建物方位〕 N - 0° - E。

〔柱間寸法〕 柱間2.00mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### S B04掘立柱建物跡

遺構（第26図、写真図版15）

〔位置・検出状況〕 II 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は南西側の調査区域外に延びる。

〔重複関係〕 S B05柱列跡と重複する。柱穴の切り合いから、S B04掘立柱建物跡が新しい。

〔平面形式〕 3×1間以上の掘立柱建物である。5.81×3.23m以上。5個以上の柱穴から構成される。南西側に展開する建物跡の一部である可能性がある。

〔建物方位〕 N - 88° - W（梁）、N - 2° - E（桁）。

〔柱間寸法〕 1.80m（梁）、1.80～2.00m（桁）である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### S B05柱列跡

遺構（第26図、写真図版15）

〔位置・検出状況〕 II 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は西側の調査区域外に延びる可能性がある。

〔重複関係〕 S B04掘立柱建物跡と重複する。柱穴の切り合いから、S B05柱列跡が古い。

〔平面形式〕 3個（P189・191・193）の柱穴から構成される。西側に展開する建物跡の束端を構成している可能性がある。

〔建物方位〕 N - 4° - W。

〔柱間寸法〕 1.80～2.00mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### S B06掘立柱建物跡

遺構（第26図）

〔位置・検出状況〕 H 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は東西南北の調査区域外に延びる可能性がある。

〔重複関係〕 なし。

〔平面形式〕 2個（P183・184）の柱穴から構成される柱列である。東西南北方向に延びて建物を構成する可能性がある。

[建物方位] N-5°-E。

[柱間寸法] 柱間200mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

#### S B07柱列跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。東西の調査区域外に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 2個の柱穴 (P170・171) から構成される。東西方向に延びる建物跡の可能性がある。

[建物方位] N-4°-E。

[柱間寸法] 柱間188m。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降の可能性がある。

#### S B08柱列跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は東西の調査区域外に延びる。

[重複関係] 位置的にはS D23溝跡・S K23土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

[平面形式] 3個 (P166・168・169) の柱穴から構成される。西側に展開する建物跡の東端を構成する可能性がある。

[建物方位] N-5°-E。

[柱間寸法] 柱間200mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降の可能性がある。

#### S B09掘立柱建物跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] II3・4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] S K22土坑と重複し、S K22土坑に切られている。

[平面形式] 5個 (P161・162・164・231※検出のみ・284) の柱穴から構成される。1間×3間以上の建物跡で、西側に延びる可能性がある。

[建物方位] N-85°-W (梁)、N-5°-E (桁)。

[柱間寸法] 2.00～2.30m (梁・桁) である。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明だが、12世紀の可能性がある。

#### S B10掘立柱建物跡

遺構 (第27図、写真図版16)

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

## 1 検出遺構

[平面形式] 3間×1間以上の掘立柱建物である。7個の柱穴（P7・8・9・10・18・115・116）で構成され、規模は、6.00×2.00mである。すぐ西側が調査区外であり、これより規模の大きい建物となる可能性もある。

[建物方位] N-13° - E。[柱間寸法] 2.00m。

[付属施設] 外側を巡るS D01溝跡のほぼ中央にS B10掘立柱建物跡が位置する。S D01がS B10の周溝として構築された可能性が高いと考えられる。

遺物 なし。

時期 不明。

### S B11掘立柱建物跡

遺構（第27図、写真図版16）

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[平面形式] 4間×1間以上の掘立柱建物である。9個の柱穴（P97・98・102～106・112・113）で構成され、規模は、南北5.60m、東西3.70m以上である。西側部分は調査区外で不明である。

[建物方位] N-6° - E。

[柱間寸法] 南北方向は1.40m、東西方向は2.00mである。

遺物（第57・72図、写真図版51・62）

[かわらけ] P113でロクロかわらけ大（101）が出土した。この他にも、P105で7.0g、P106で0.9gのかわらけが出土している（不掲載）。

[金属製品] P112では、寛永通寶（612）が埋土位で出土している。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S B12掘立柱建物跡

遺構（第27図、写真図版16）

[位置・検出状況] M区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[平面形式] 4間×1間の掘立柱建物である。10個の柱穴（P127・128・129・130・131・135・134・133・132・149）で構成され、規模は、6.72×1.44mである。

[建物方位] N-80° - E。

[柱間寸法] 東西方向は1.68m、南北方向は1.44mである。

遺物 なし。

時期 不明。

### (3) 土坑・井戸跡

用途不明のものを含む穴を一括した。41基ある。このなかには、井戸跡7基も含まれている。時期は、12世紀、近世から近代以降、時期不明のもの、に大別される。

### S K01土坑

遺構（第28図、写真図版18）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-42°-Eである。規模は、開口部径1.43×0.84m、底部径0.70×0.42m、深さ0.42mである。

[埋土・堆積状況] 1～3層に分層した。1・2層は黒色シルト、3層は黒褐色粘土質シルトである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ7.1g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK02土坑

遺構 (第28図、写真図版18)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-47°-Wである。規模は、開口部径1.33×0.86m、底部径0.81×0.57m、深さ0.36mである。

[埋土・堆積状況] 1～4層に分層した。1層は黒褐色シルト、2・3層は黒色シルト、4層は褐灰色粘土である。1～4層とも砂や粘土のブロックが多く混入する。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

### SK03土坑

遺構 (第28図、写真図版18)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。精密した部分から、開口部の平面形は楕円形、長軸方向は北西-南東方向に近いと推定される。短軸方向は、開口部径0.96m、底部径0.78mで、深さは0.90mである。

[埋土・堆積状況] 1～4層に分層した。1・2層は黒色シルト、3・4層は黒色粘土質シルトである。4層以外、特に1層は砂のブロックが多く混入する。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近ではやや外傾し、底部付近では開口部よりも外側へ張り出す。底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ24.4g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK04土坑

遺構 (第28図、写真図版18)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。精密した部分から、開口部の平面形は円形に近いと推定される。

[埋土・堆積状況] 1～4層に分層した。1～3層は黒褐色シルト、4層は黒色シルトである。砂や

## 1 検出遺構

粘土のブロック、礫などが少量ずつ混入する。

〔壁・壁面〕Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ9.0g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK05土坑

遺構（第28図、写真図版19）

〔位置・検出状況〕Ⅰ区北側、Ⅲ層上面で検出した。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向は $N-1^{\circ}-W$ である。規模は、開口部径 $1.41 \times 1.08$ m、底部径 $1.15 \times 0.90$ m、深さ $0.91$ mである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色シルトの単層である。径 $5 \sim 20$ cmの礫を大量に含む。

〔壁・底面〕Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では直立し、底部付近では開口部より外側へ張り出す。底面はほぼ平坦であるが、中央部が周辺より若干へこんでいる。

遺物（第69図、写真図版55）

〔かわらけ〕かわらけ383.9g（不掲載）。

〔国産陶器〕須恵器系甕（357）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK06井戸跡

遺構（第29図、写真図版19）

〔位置・検出状況〕Ⅰ区北側、Ⅲ層上面で検出した。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕開口部の平面形は円形に近く、長軸方向は $N-83^{\circ}-E$ である。規模は、開口部径 $1.65 \times 1.50$ m、底部径 $1.29 \times 1.20$ m、深さ $0.91$ mである。

〔埋土・堆積状況〕1～5層に分層した。1層が黒褐色シルト、2層がにぶい黄褐色砂質シルト、3層が黒色粘土質シルト、4層が褐色シルト、5層がにぶい黄褐色砂である。いずれの層もブロック状の混入物が多い。

〔壁・底面〕Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では直立し、底部付近では開口部より外側へ大きく張り出す。底面はほぼ平坦である。底面付近では湧水が著しい。

遺物（第73図、写真図版58）

〔かわらけ〕かわらけ228.2g（不掲載）。

〔木製品〕部材（701）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK07土坑

遺構（第29図、写真図版19）

〔位置・検出状況〕Ⅰ区北側、Ⅲ層上面で検出した。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕開口部の平面形は台形に近く、長軸方向は $N-34^{\circ}-W$ である。規模は、開口部径 $2.27$

×1.82m、底部径1.63×1.17m、深さ0.35mである。

[埋土・堆積状況] 1～5層に分層した。1・4・5層が黒色シルト、2層が褐色砂、5層が褐色粘土で、いずれも砂や黄褐色土の粒を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 (第67図、写真図版54)

[国産陶器] 渥美窯産壺 (332)。底面直上、中央部にまとまって出土している。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S K08井戸跡

遺構 (第29図、写真図版20)

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。開口部の平面形は円形と推定される。深さは0.76mである。

[埋土・堆積状況] 1・2層に分層した。1層は黒色粘土質シルト、2層は褐色粘土質シルトで砂を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、底部付近では直立する。底面はほぼ平坦である。

遺物 (第57図、写真図版47)

[かわらけ] かわらけ27.9g (不掲載)。

[石製品] 石球 (5)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S K09土坑

遺構 (第29図、写真図版20)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。開口部の平面形は楕円形に近いと推定される。深さは0.58mである。

[埋土・堆積状況] 1～5層に分層した。1・2層が黒色粘土質シルト、3層が暗褐色粘土、4層が黒色砂質シルト、5層が褐色砂である。壁際や底面付近に黄褐色粘土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

### S K10土坑

遺構 (第30図、写真図版20)

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-20°-Eである。規模は、開口部径1.88×1.04m、底部径1.64×0.71m、深さ0.32mである。

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1～4層とも黒褐色シルトで、砂や黄褐色土のブロックを含む。  
[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ43.0g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SK11井戸跡

遺構 (第30図、写真図版20)

[位置・検出状況] M区中央、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形はほぼ円形に近く、長軸方向はN-1°-Eである。規模は、開口部径1.20×1.14m、底部径0.67×0.60mである。

[埋土・堆積状況] 6層に分層した。黒褐色土・黒色土・黄褐色土で構成される。2～5層は粘土または粘土質シルトで、下位の4～6層はしまりが疎である。全体的に、黄褐色土ブロックや礫が比較的多く含まれる。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ22.0g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SK12土坑

遺構 (第30図、写真図版21)

[位置・検出状況] M区中央、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] P148に東壁を切られる。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-46°-Wである。規模は、開口部径1.82×1.36m、底部径1.29×0.56m、深さ0.39mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。1層は黒褐色シルト、2層は黒色粘土質シルトである。3層は褐色土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ2.4g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SK13土坑

遺構 (第30図、写真図版21)

[位置・検出状況] M区中央、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、北側が尖った形状である。長軸方向はN-4°-Eである。

[埋土・堆積状況] 黒色シルトの単層で、黄褐色土ブロックを少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

## S K 14土坑

遺構 (第31図、写真図版21)

[位置・検出状況] M区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は円形に近い。長軸方向はN-9°-Eである。規模は、開口部径1.24×1.04m、底部径0.96×0.78m、深さ0.08mである。

[埋土・堆積状況] 黒色粘土質シルトの単層で、礫を多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。非常に浅く、壁の立ち上がりは不明瞭である。底面は、やや凹凸がある。

遺物 なし。

時期 不明。

## S K 15土坑

遺構 (第31図、写真図版21)

[位置・検出状況] H 1区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部2.31×2.26m、底部1.17×1.57m、平深さ0.25m。面形は円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

## S K 16土坑

遺構 (第31図、写真図版22)

[位置・検出状況] H 1区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.18×1.09m、底部0.54×0.48m、深さ0.39m。平面形は円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

## S K 17土坑

遺構 (第31図、写真図版23)

[位置・検出状況] H 1区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部0.9×(0.3)m、底部0.24×0.12m、深さ0.48m。平面形は円形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### SK18土坑

遺構 (第31図、写真図版22)

- [位置・検出状況] N区中央、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] SD19土坑に西側を切られる。  
[規模・平面形] 重複のため詳細は不明である。開口部の平面形は歪な楕円形で、長軸方向は東西方向に近いと推定される。短軸径は、開口部で1.10m、底部で0.70m前後である。  
[埋土・堆積状況] 黒色土の単層で、褐色土のブロックを少量含む。  
[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面は凹凸が多く、中央付近が盛り上がる。  
遺物 かわらけ15.7g (不掲載)。  
時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK19土坑

遺構 (第31図、写真図版22)

- [位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。南側は調査区外にある。[重複関係] なし。  
[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。北・東壁は直線的であり、三角形のような平面形が想定される。深さは0.39mである。  
[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒色シルト、2層は黒褐色粘土質シルトで大きめの粘土ブロックを含む。  
[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。  
遺物 かわらけ12.4g (不掲載)。  
時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK20土坑

遺構 (第32図、写真図版22)

- [位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。  
[規模・平面形] 開口部の平面形は長方形に近い。長軸方向はN-58°-Eである。規模は、開口部径1.01×0.82m、底部径0.84×0.50m、深さ0.15mである。  
[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、砂ブロックを多量含む。  
[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は凹凸が多い。  
遺物 (第72図、写真図版62)  
[金属製品] 嘉祐通寶 (613)。  
時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SK21土坑

遺構 (第32図、写真図版23)

- [位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外に続く。  
[重複関係] なし。  
[規模・平面形] 規模は、開口部1.5×(0.5)m、底部1.2×(0.45)m、深さ0.11m。平面形の過半は調査区域外にかかるが、平面形は円形基調のようである。  
[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土で構成される。  
[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はやや凹凸がある。北側の壁を一部

掘り過ぎている。

遺物 (第71図、写真図版57)

[出土状況] 埋土から磁器が出土している。

[陶磁器] 磁器の碗1点 (504)、皿 (505)。

時期 出土遺物から、近世以降と推測される。

#### SK22井戸跡

遺構 (第32図、写真図版23)

[位置・検出状況] II 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] P230に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.97×1.90m、底部0.85×0.78m、深さ0.72m。平面形は円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 (第70図、写真図版56)

[出土状況] 埋土から陶磁器が出土した。

[陶磁器] 白磁の皿1点 (403)。

時期 出土遺物から12世紀と推定される。

#### SK23井戸跡

遺構 (第32図、写真図版23)

[位置・検出状況] II 4区。Ⅲ層で褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.40×(1.30)m、底部0.80×0.75m、深さ0.85m。平面形は円形基調である。底面は隅丸方形に形状になる。

[埋土・堆積状況] 褐色土・黄褐色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

#### SK24土坑

遺構 (第33図、写真図版23)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外に続く。

[重複関係] P18に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.0×(0.2)m、底部径は不明。深さ0.36m。平面形は円形基調と推定されるが、平面形の過半は調査区域外であり、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### S K25土坑

遺構（第33図、写真図版24）

〔位置・検出状況〕 L区西側、Ⅲ層上面で検出した。北側は調査区外である。〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 詳細は不明である。深さは0.51mである。

〔埋土・堆積状況〕 3層に分層した。いずれも黒色シルトで、下位の2・3層は粘土質である。3層は地山のブロックを多く含む。

〔壁・底面〕 Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、一部では階段状となる。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

### S K26井戸跡

遺構（第33図、写真図版24）

〔位置・検出状況〕 Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 開口部の平面形はほぼ円形で、長軸方向はN-38°-Wである。規模は、開口部径1.65×1.49m、底部径0.81×0.75m、深さ1.02mである。

〔埋土・堆積状況〕 6層に分層した。黒褐色土・黄褐色土・黒色土で構成される。下位は黒褐色土と黄褐色砂が交互に堆積し、しまりが疎である。

〔壁・底面〕 Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、底部付近では直立する。底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ215.3g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S K27井戸跡

遺構（第33図、写真図版24）

〔位置・検出状況〕 Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 開口部の平面形はほぼ円形で、長軸方向はN-62°-Eである。規模は、開口部径1.74×1.64m、底部径0.73×0.65m、深さ1.12mである。

〔埋土・堆積状況〕 7層に分層した。黒褐色土・暗褐色土・褐色土で構成される。下位は黒褐色土と褐色土が交互に堆積し、しまりが疎である。

〔壁・底面〕 Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、一部では開口部より外側へ広がる。底部付近では直立に近い。底面はほぼ平坦である。

遺物（第57・65図、写真図版47・53）

〔かわらけ〕 粒状高台（103）。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて計274.1g出土した。

〔国産陶器〕 常滑窯産甕（302～304）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

## S K28土坑

遺構（第34図、写真図版24）

〔位置・検出状況〕 Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。

〔重複関係〕 S D36溝跡に東側を切られる。

〔規模・平面形〕 開口部の平面形は円形に近い。長軸方向はN-2°-Wである。規模は、開口部の長軸径0.89m、底部径0.81×0.68m、深さ0.54mである。開口部の短軸径は重複のため不明である。

〔埋土・堆積状況〕 2層に分層した。いずれも黒褐色土である。1層は土器片や粘土粒を大量に含む。

〔壁・底面〕 Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦で、礫層が露出する。

遺物（第57図、写真図版47・63）

〔かわらけ〕 手づくね小（104・105・107）、手づくね大（106・108～110）。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて7,680.3g出土した。

〔土製品〕 土燵（801～803）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

## S K29土坑

遺構（第34図、写真図版25）

〔位置・検出状況〕 Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 開口部の平面形はほぼ円形である。長軸方向はN-89°-Wである。規模は、開口部径0.85×0.80m、底部径0.52×0.41m、深さ0.53mである。

〔埋土・堆積状況〕 2層に分層した。いずれも黒褐色シルトで、2層は褐色土のブロックを多く含む。

〔壁・底面〕 Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面が狭く、断面形は「V」字状となる。

遺物 かわらけ812g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

## S K30土坑

遺構（第34図、写真図版25）

〔位置・検出状況〕 H3区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部1.43×1.25m、底部0.83×0.80m、平面形は円形である。深さ0.65m。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土・黒色土・灰黄褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

## S K31土坑

遺構（第34図、写真図版25）

〔位置・検出状況〕 H3区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東西方向が調査区域外である。

〔重複関係〕 S K32土坑を切っている。西側調査区域に別遺構が重複していた可能性がある。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部2.45×（2.35）m、底部1.31×1.28m、深さ0.76m。平面形は円形に近いと推定される。

## 1 検出遺構

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はIV層を掘り込んでつくられている。底面は平坦である。底面を一部掘り過ぎている。

遺物 (第71図、写真図版57)

[出土状況] 磁器が出土している。

[陶磁器] 磁器の碗1点 (506)。

時期 出土遺物と遺構の状態から、近世以降と推測される。

### S K 32土坑

遺構 (第35図、写真図版22)

[位置・検出状況] H 3区。III層で、炭化物が混入する黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] S K 31土坑を切っている。

[規模・平面形] 規模は、開口部2.65×1.48m、底部2.22×1.08m、深さ0.42m。平面形は長方形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。炭化物を多く含んでいる。

[壁・底面] 壁・底面はIV層を掘り込んでつくられている。底面は平坦である。

[その他の付属施設] 土坑内に木枠が設けられていた。木枠の大きさは、長さ210cm、幅100cm、深さ30cmの横長の箱である。厚さは6cmである。材質はマツ属複雑管束亜属との結果を得ている。底板は4枚の横長の板を並べてつくられている。側板と底板は要所が鉄釘で留められていた。底板の中央にも短軸方向に留板が設けられていた。埋土内で確認された木片が蓋か否かは判別がつかなかった。木枠内には、小さな炭片がざっしりと詰まっていた。精査期間は雨天などの悪天候中ではあったが、炭は湿気を含むものであった。木枠内からは、炭化材のほかは漆塗膜 (漆器?)・動物遺体が出土している。

[性格] 用途を類推するのは容易ではないが、本土坑は、木枠を埋設するために掘り込まれた土坑であり、近世屋敷地に伴う地下の取蔵施設と推測される。

遺物 (第72図、写真図版62・67)

[出土状況] 木枠として用いられた材・鉄釘、木枠内から炭化材・漆膜・動物遺体が出土している。

材はマツ属複雑管束亜属と同定された。炭化材はマツ属複雑管束亜属・コナラ属コナラ亜属コナラ節と同定された (第Ⅶ章第2節)。漆膜は、内面朱・外面黒の碗の塗膜と判断された。ともに不掲載である。

[鉄製品] 鉄製品 (611)。

[動物遺体] 魚骨 (901・902)。焼骨である。

時期 炭化材を年代測定した結果、270±30ryBP、16世紀から18世紀で17世紀頃の可能性が高い、との結果が出ている (第Ⅶ章第3節)。出土遺物と遺構の状態から近世以降と判断される。

### S K 33土坑

遺構 (第36図、写真図版27)

[位置・検出状況] H 3区。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.30×(0.39)m、底部0.80×(0.30)m、深さ0.21m。平面形は円形基調と推測される。大半は調査区域外であり、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

#### S K 34土坑

遺構 (第37図、写真図版25)

[位置・検出状況] H 3区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.15×0.76m、底部0.69×0.39m、深さ0.36m。平面形は楕円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

#### S K 35土坑

遺構 (第37図、写真図版27)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。調査区境部分では、開口部径2.14m、底部径1.08m、深さ0.69mである。

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1・3層が黒褐色土、2・4層が褐色土で、いずれも粘土質シルトである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は大きな凹凸がある。

遺物 なし。

時期 不明。

#### S K 36土坑

遺構 (第37図、写真図版27)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。調査区境部分では、開口部径2.14m、底部径1.00m、深さ0.72mである。

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1層が黒褐色土、2層が褐色土、3層が黒色土で、いずれも粘土または粘土質である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はほぼ直立し、一部で開口部より外側へ膨らむ。

[付属施設] 底面でピット1個(P1)を確認した。北側が調査区外にあるため全体は不明であるが、調査区境部分での開口部径が0.22m、深さ0.12mである。

遺物 かわらけ182.4g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### S K 37土坑

遺構 (第37図、写真図版27)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

## 1 検出遺構

〔重複関係〕 S K38土坑に東側を切られる。

〔規模・平面形〕 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。平面形は円形に近いと推定される。底部径は0.68×0.49m、深さは0.73mである。

〔埋土・堆積状況〕 最上位は黒褐色の粘土質シルトである。下位～底面付近については記録がない。

〔壁・底面〕 Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦である。

遺物 重複する S K38土坑出土分も含め、かわらけ200.3gが出土している。取り上げの段階で混合してしまった。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S K38土坑

遺構（第37図、写真図版27）

〔位置・検出状況〕 S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

〔重複関係〕 S K37土坑を切る。

〔規模・平面形〕 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。平面形は円形、長軸方向は南北方向に近いと推定される。規模は、東西方向で開口部径0.98m、底部径0.50m、深さ1.01mである。

〔埋土・堆積状況〕 2層に分層した。いずれも黒褐色土で、粘土質である。2層は黄褐色土のブロックや礫を多く含む。

〔壁・底面〕 Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 S K37土坑出土分も含め、かわらけ200.3gが出土した。取り上げの段階で混合してしまった。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S K39土坑

遺構（第36図、写真図版28）

〔位置・検出状況〕 H3区。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〔重複関係〕 S D39溝跡と重複し、S D39溝跡に切られている。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部1.2×(0.8)m、底部1.04×(0.6)m、平面形は円形基調と推測される。深さ0.68m。

〔埋土・堆積状況〕 暗褐色土・黒色土・黒褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅣ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は直立ぎみに立ち上がる。壁を一部掘り過ぎていて。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### S K40陥し穴

遺構（第36図、写真図版28）

〔位置・検出状況〕 Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区外にある。〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。開口部の平面形は細長い溝形と推定され、長軸方向はN-32°-Wである。短軸方向では開口部径0.96m、底部径0.37mで、深さ1.39mである。

〔埋土・堆積状況〕 6層に分層した。黒色土・褐色土・黒褐色土・黄褐色土で構成される。いずれも

粘土質で、下位の2～4層はしまりが疎である。

〔壁・底面〕Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、底部付近では直立する。

遺物 なし。

時期 遺物は出土していないが、形態から縄文時代と推定される。

#### SK41土坑

遺構（第36図、写真図版28）

〔位置・検出状況〕R3区西側、Ⅲ層上面で検出した。南側は調査区外にある。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕一部が調査区外にあるため詳細は不明である。平面形は正方形に近いと推定される。東西方向では開口部径2.08m、底部径1.46mで、深さ0.78mである。

〔埋土・堆積状況〕2層に分層した。1層は黒色粘土で、白色粘土ブロックを多く含む。2層は黒褐色粘土である。

〔壁・底面〕Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、湧水が著しく、グライ化している。

遺物（第58・65図、写真図版51・57）

〔かわらけ〕ロクロ小（117）、ロクロ大（118・119）、手づくね小（120）、手づくね大（121・122）。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて1,890.2g出土している。

〔陶器〕常滑窯産片口鉢（307）、常滑窯産甕（308）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### （4）溝 跡

溝状を呈する遺構で43条検出された。各区域で検出されているが、調査区の制約から遺構そのものが調査区域外に延びるため、遺構全体に対する調査箇所が部分に留まったものが多い。また、同一の溝跡を別々の調査区で調査している場合もあるが、調査時には調査の便を図って、それぞれに名称を付した。報告にあたっては、命名が異なる溝跡でも同一遺構の可能性がある場合は、その旨を記載することとした。

#### SD01溝跡

遺構（第38図、写真図版29）

〔位置・検出状況〕I区南側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕半円状に湾曲する。a～eの5か所に分かれているが、遺構の上位が削平された可能性が高く、本来連続した1つの溝であった可能性が高い。ただし、b～c間は空白域が広く、もともと途切れていた可能性もある。幅は開口部0.93m、底部幅0.63mで、深さは0.25mである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色土の単層で、黄褐色土の粒を少量含む。

〔壁・底面〕Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は小さな凹凸が多い。

〔付属施設〕プランの内側にSB10（P7～10・17～19・115・116）を検出している。位置関係から、SD01溝跡がSB10掘立柱建物跡の周溝として構築された可能性が高いとかがえられる。他にピットP11～16を検出しているが、配列に規則性は見出せず、SD01溝跡との関連は不明である。

遺物 なし。

## 1 検出遺構

時期 不明。

### S D03溝跡

遺構 (第39図、写真図版30)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外へ続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-70°-W、確認できた長さは8.20mである。幅は開口部0.52m、底部0.38mで、深さは0.23mである。

[埋土・堆積状況] 黒色土の単層である。にぶい黄褐色粘土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物 かわらけ38.4g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S D04溝跡

遺構 (第39図、写真図版30)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外へ続く。

[重複関係] S D05溝跡と重複する。前後関係は不明である。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-58°-W、確認できた長さは8.61mである。幅は開口部0.71m、底部0.32mで、深さは0.28mである。

[埋土・堆積状況] 黒色土の単層で、にぶい黄褐色粘土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物 (第70・72図、写真図版56・58)

[かわらけ] かわらけ2.826.2g (不掲載)。

[中国産陶器] 褐釉陶器壺 (401)。

[石製品] 碁石 (603)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### S D05溝跡

遺構 (第39図、写真図版30)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。東端は調査区外へ続く。

[重複関係] S D04溝跡、P 29・57・63～65・108・117・118と重複するが、前後関係は不明である。P 57・63・64・117・118はS D05溝跡の底面で確認した。

[規模・平面形] 基本的には直線状であるが、中央付近が90°に近い角度で屈曲する。北端では分岐し、一端がS D04溝跡と合流する。幅は開口部0.71m、底部0.32m、深さ0.28mである。

[埋土・堆積状況] 黒色土の単層で、にぶい黄褐色粘土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物 (第65図、写真図版53)

【かわらけ】かわらけ771.8g（不掲載）。

【国産陶器】常滑窯産片口鉢（305）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### S D06溝跡

遺構（第39図、写真図版30）

【位置・検出状況】I区北側、Ⅲ層上面で検出した。

【重複関係】西壁の大部分を攪乱に切られる。P56を底面で検出した。

【規模・平面形】ほぼ直線状であり、長軸方向はN-19°-E、全長7.93mである。幅は開口部1.39m、底部1.22m、深さ0.17mである。

【埋土・堆積状況】黒褐色土の単層で、黄褐色土のブロックを多く含む。

【壁・底面】Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物 かわらけ246.8g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### S D07溝跡

遺構（第40図、写真図版30）

【位置・検出状況】I区南側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外へ続く。

【重複関係】攪乱に中央部分を切られる。

【規模・平面形】調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-90°-E、確認できた長さは7.74mである。幅は開口部2.89m、底部2.45mで、深さは0.19mである。

【埋土・堆積状況】2層に分層した。1層は黒褐色土、2層は黒色土で、いずれも粘土質である。2層は砂のブロックを多く含む。

【壁・底面】Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁の立ち上がりは緩く、壁と底面の境界は明瞭ではない。底面はほぼ平坦である。南側が北側より1段高く、2つの溝が平行に重なるような状況である。

【付属施設】底面でピット3個（P1～3）を確認した。配列に規則性は見出せない。

遺物（第67・71図、写真図版54・57・63）

【かわらけ】かわらけ269.8g（不掲載）。

【陶磁器】深美窯産陶器甕（333）、陶器鉢？（501）、磁器湯呑（507）。

【植物遺体】種子：クルミ（951）。

時期 出土遺物から、近世以降と推定される。

#### S D08溝跡

遺構（第41図、写真図版31）

【位置・検出状況】H1区北側～M区西側、Ⅲ層上面で検出した。

【重複関係】S D13溝跡に西側を切られる。

【規模・平面形】調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-88°-E、確認できた長さは19.17mである。幅は開口部0.72m、底部0.34mで、深さは0.14mである。

【埋土・堆積状況】2層に分層した。1層は暗褐色土、2層は黒褐色土で、いずれも礫を少量含む。

西端では1・2層に分かれるが、東側では2層のみである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。中央～西側付近では南側が北側よりも一段低く、2つの溝が平行に重なるような状況である。

遺物 (第67・72図、写真図版54・58)

[かわらけ] かわらけ131.4g (不掲載)。

[国産陶器] 瀬美窯産甕 (334・335)。

[石製品] 砥石 (601)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD09溝跡

遺構 (第42図、写真図版31)

[位置・検出状況] M区西側、Ⅲ層上面で検出した。東端は調査区外にある。「重複関係」なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-85°-E、確認できた長さは6.92mである。幅は、開口部0.78m、底部0.40mで、深さは0.13mである。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土の単層で、酸化鉄の粒を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁の立ち上がりは緩く、底面との境界が不明瞭である。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

#### SD10溝跡

遺構 (第42図、写真図版31)

[位置・検出状況] M区西側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外にある。

[重複関係] SD11溝跡を切る。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-82°-E、確認できた長さは7.62mである。幅は開口部0.58m、底部0.41mで、深さは0.10mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、礫を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 (第69図、写真図版55)

[かわらけ] かわらけ30.7g (不掲載)。

[国産陶器] 須恵器系鉢 (358)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD11溝跡

遺構 (第42図、写真図版32)

[位置・検出状況] M区西側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] SD10溝跡に切られる。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-86°-E、確認できた長さは8.64mである。幅は開口部1.11m、底部0.87mで、深さ0.27mである。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土の単層である。酸化鉄の粒を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 (第57図、写真図版47)

[かわらけ] ロクロ大 (111)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて1,233.6g出土している。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD12溝跡

遺構 (第43図、写真図版32)

[位置・検出状況] M区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-4°-E、確認できた長さは3.49mである。幅は開口部1.37m、底部0.74m、深さ0.29mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。いずれも黒色土で、2・3層は粘土質である。3層は黄褐色土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。西壁は外傾し、東壁は階段状である。底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ210.0g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD13溝跡

遺構 (第41図、写真図版32)

[位置・検出状況] H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD08溝跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ (10.0) m、幅0.39m、底面の幅0.13m、深さ0.21mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD14溝跡

遺構 (第41図、写真図版32)

[位置・検出状況] H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD15溝跡を切り、SD26溝跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ (3.91) m、幅0.65m、底面の幅0.36m、深さ0.17mである。東西方向に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第57図、写真図版32)

[出土状況] 埋土から、かわらけが出土している。

[かわらけ] 手づくねかわらけ1点 (112)。

時期 出土遺物から、12世紀の可能性がある。

#### SD15溝跡

遺構 (第41図、写真図版32)

[位置・検出状況] II 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD14・26溝跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(3.52)m、幅(0.42)m、底面の幅(0.37)m、深さ0.05mである。東西方向に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD16溝跡

遺構 (第41図、写真図版33)

[位置・検出状況] II 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD14・15溝跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(4.02)m、幅0.71m、底面の幅0.43m、深さ0.07mである。東西側に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第65・70図、写真図版53・56)

[出土状況] 埋土から12世紀の遺物が出土している。

[国産陶器] 常滑窯産の甕1点(306)。

[中国産陶磁器] 白磁の小甕1点(404)。

時期 出土遺物から12世紀の可能性がある。

#### SD17溝跡

遺構 (第43図、写真図版33)

[位置・検出状況] II 2区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.00)m、幅2.04m、底面の幅0.47m、深さ0.26mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第76・77図、写真図版61・63)

[出土状況] 埋土から木製品が出土した。

[木製品] 杭4点(723～726)、樽の蓋1点(727)。[植物遺体] マツボックリ(952)・モモ(953)。

時期 出土遺物から近世以降と推測される。

#### SD18溝跡

遺構(第43図、写真図版33)

[位置・検出状況] H2区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.94)m、幅1.28m、底面の幅0.95m、深さ0.11mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD19溝跡

遺構(第40図、写真図版34)

[位置・検出状況] N区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] SK18土坑を東側で切る。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-1°-W、確認できた長さは3.66mである。幅は開口部0.99m、底部0.80m、深さ0.24mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒色粘土質シルト、2層は灰黄褐色粘土である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ4.9g(不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD20溝跡

遺構(第40図、写真図版34)

[位置・検出状況] M区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-10°-E、確認できた長さは3.46mである。幅は開口部2.59m、底部0.66m、深さ0.38mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒褐色粘土質シルト、2層は黒色粘土で、いずれも黄褐色土や砂のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面は、中央部分が一段深くなる。

遺物(第57図、写真図版51)

[かわらけ] ロクロ小(113)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて187.7g出土した。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SD21溝跡

遺構 (第44図、写真図版34)

[位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-6°-E、確認できた長さは3.91mである。幅は開口部0.98m、底部0.68m、深さ0.26mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。黒褐色土・黒色土・にぶい黄褐色土で構成され、2・3層は粘土質である。3層は混合土であるが、にぶい黄褐色土の割合が高い。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

### SD22溝跡

遺構 (第44図、写真図版34)

[位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-50°-E、確認できた長さは4.12mである。幅は開口部0.57m、底部0.37m、深さ0.06mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。1・2層は黒色シルト、3層は黒褐色シルトである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

### SD23溝跡

遺構 (第44図、写真図版35)

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.84)m、幅0.51m、底面の幅0.38m、深さ0.28mである。東西に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

### SD24溝跡

遺構 (第45図、写真図版35)

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.94)m、幅2.61m、底面の幅0.42m、深さ0.65mである。東西に直

線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第71・77図、写真図版57・62)

[出土状況] 埋土から陶磁器・木製品が多く出土した。

[陶磁器] 陶器2点：片口鉢1点(502)、擂鉢1点(503)。磁器5点：碗(508～509)、小碗(510)、皿(511)、徳利(512)、火入れ(513)。

[木製品] 漆器の碗4点(728～731)、桶樽の側板1点(732)、把手1点(733)、棒状1点(734) 杭1点(735)。計8点。

時期 出土遺物から近世以降と考えられる。

### SD25溝跡

遺構 (第44図、写真図版35)

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.95)m、幅1.35m、底面の幅0.79m、深さ0.30mである。東西に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第57図、写真図版47)

[出土状況] 埋土から12世紀の遺物が出土している。

[かわらけ] ロクロかわらけ大3点(114～116)。

時期 出土遺物から12世紀と推測される。

### SD26溝跡

遺構 (第41図、写真図版32)

[位置・検出状況] H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD14・15・16溝跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(5.01)m、幅0.32m、底面の幅0.12m、深さ0.15mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

### SD27溝跡

遺構 (第46図、写真図版36)

[位置・検出状況] L区西側、Ⅲ層上面で検出した。北壁側の一部のみを検出した。遺構南側の大部

## 1 検出遺構

分は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 主体部は調査区外にあるとみられ、詳細は不明である。確認できた部分はほぼ直線状で、長軸方向は西北西-東南東である。L区の東側でも溝の一部とみられる部分を検出しているが、同一遺構だとすれば、確認できた部分だけで50mの長さになる。L区西端部分では、深さ0.46mである。ただし、南壁を検出していないため、遺構の規模は不明であり、最深部はこれより深くなる可能性がある。

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1・2層は黒色、3層は黒褐色の砂質シルトで、黄褐色土粒を含む。層間の4層は黒色の粘土質土である。

[壁・底面] III層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面については、確認できた部分が僅かであるため詳細は不明である。

遺物 かわらけ211.7g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SD28溝跡

遺構 (第47図、写真図版36)

[位置・検出状況] J区、III層上面で検出した。東側は攪乱により削平され、西側は調査区外へ続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-81°-W、確認できた長さは19.99mである。幅は開口部0.32m、底部0.21m、深さは0.36mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、黄褐色土粒を含む。

[壁・底面] III層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ48.4g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SD30溝跡

遺構 (第45図、写真図版37)

[位置・検出状況] R3区中央、III層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-16°-E、確認できた長さは2.41mである。幅は開口部1.29m、底部0.84m、深さ0.25mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒褐色、2層は黒色の粘土質シルトで、いずれも黄褐色土や砂のブロックを含む。

[壁・底面] III層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ318.1g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

### SD31溝跡

遺構 (第45図、写真図版37)

[位置・検出状況] R3区中央、III層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-13°-W、確認できた長さは2.85mである。幅は、開口部0.37m、底部0.20m、深さ0.19mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色粘土質シルトの単層で、黄褐色土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ4.3g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD32溝跡

遺構（第45図、写真図版37）

[位置・検出状況] R3区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-16°-Eである。確認できた長さは2.41mで、幅は開口部1.40m、底部0.47m、深さ0.60mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色粘土質シルトの単層で、黄褐色土粒を含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ75.5g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD33溝跡

遺構（第46図、写真図版37）

[位置・検出状況] R3区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] ほぼ直線状で、長軸方向はN-6°-Eである。確認できた長さは2.58mで、幅は開口部0.66m、底部0.29m、深さ0.39mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分類した。いずれも黒褐色の粘土質土で、2層は黄褐色土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ42.8g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### SD34溝跡

遺構（第48～52図、写真図版38～40）

[位置・検出状況] Q1・Q2区・S区・K区、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外へ続く。

Q1・Q2区に隣接する出では、調査期間中に稲作が行われており、Q1区東側・南側にあった道路部分とQ2区全体は、稲刈りが終了するまで表土除去ができない状況であった。

最初、Q1区の西側（道路を除いた部分）に3箇所のトレンチ（T56～58）を入れたところ、多くの遺物が出したが、トレンチはSD34の遺構内にすっぽり取まっており、この時点では遺構であるとの認識はできなかった。

次に、このQ1区西側部分全体の表土除去を行った。トレンチで状況がよく分からなかったことと、遺物の出が多かったことから、バックホーでは最小限の表土のみを除去し、その後スコップで段階

的に掘り下げた。数段階掘り下げた所で、Q1区南西隅にSD34の西岸となる地山面が現れ、ようやく地山と埋土の境界線を面的に捉える事が出来た。

その後、Q1区東側道路部分も調査可能となり、西岸と平行する東岸部分を確認した。ここでようやくSD34の西岸を把握することができた訳だが、溝跡にしては幅が広すぎるのではないかという印象を受けたため、この時点では、自然の沢跡と考えた。

精査を進め、壁や底面など遺構の形状が明らかになるにつれ、自然の流路ではなく人工的に掘り込まれた遺構であると判断し、SD34溝跡とした。

Q1区部分のみ、先行して完掘までの作業を行った。掘削りが完全に終了した後、南側のQ2区部分の表土除去を行い、Q1区の続きの部分を検出した。S区・K区部分を検出したのはさらに後である。

以上が調査経過である。遺構であることをなかなか判断できなかったことから、SD34埋土中の遺物を、当初は遺構外出土としてかなり取り上げている。遺物観察表で、「Q1区Ⅱ層」出土と表記されているものは、「SD34埋土1層」に該当する。また、「Q1区沢跡」とはSD34溝跡のことである。トレンチT56～58出土遺物も、SD34埋土のものである。本来であれば、表記を修正・整理した上で報告するべきであったが、時間的制約の中、不十分な整理のままで掲載せざるを得なかった。

[重複関係] SD35溝跡と合流する。新旧関係は不明であり、同時存在の可能性もある。

[規模・平面形] ほぼ直線的であるが、軸方向が少しずつ変化する。Q1区ではほぼ南北方向だが、Q2区で北北東～南南西方向にやや軸方向が変わり、S区・K区まで至る。

長さは、Q1区北端部からK区まで合わせると約105mとなる。

幅・深さは、断面B(Q1区)で、開口部幅7.64m、底部幅5.37m、深さ1.01mである。また断面E(S区)では、開口部幅10.30m、底部幅8.80m、深さ0.86mと、断面Bより広くなる。遺構の規模が非常に大きいため、調査区内で幅が計測できる所はこの2箇所のみである。Q1区、S区とも、東岸側の方が西岸側より検出面標高が高く、もともと東側の方が地形的に高かったようである。

北側の調査区外については、そのまま北方向へ直線的に続いていると思われる。一方南側は、K区で確認できた部分を見ると、東側へ大きく進路を変えるようにも見えるが、周辺の調査区で続きは見つかっておらず、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 断面A～C(Q1区)では、大まかに3層に分層できる。1層は黒～暗褐色土主体である。遺物の小破片が多く含まれる。2層は、黒褐～黒色の粘土質土を主体とする。東壁付近では、粘土質土と砂が交互に堆積した状況である。この層が遺物を最も多く含み、1層より大きな破片が多い印象を受ける。3層は砂を主体とする。遺物量は2層より少ないが、完形に近いかわらけなども出土している。なお、Q1区では、埋土中だけでなくその上の表土(I層)中にも細かい遺物片が多く含まれていた。

断面D(Q2区)・E(S区)・F(K区)では、黒褐色シルト主体である。下位に砂を多く含む。[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られ、底面は裸層である。壁は外傾する。Q1区の東壁の一部は、階段状になる。底面はほぼ平坦である。

[付属施設] 副穴4個(P1～4)を、北側の東壁付近で確認した。橋脚等の可能性を想定したが、配列に規則性は見出せない。

遺物(第58～60・65～70・73・74図、写真図版48～50・53～56・59・63)

[かわらけ] ロク小(123～143)、ロク口人(144～169)、手づくね小(170～177・183・185)、手づくね大(178～182・184・186)、柱状高台(187・188)、内折れ(189)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて86,779.3g出土している。ただし上で述べたように、Q1区遺構外出土として掲載し

たものの中にもSD34埋土中のものが含まれるので、総出土量はこれを上回る。

[国産陶器] 常滑窯産：片口鉢 (309・316・317)、壺 (310・312・313・320)、甕 (311・314・315・318・319)。瀬美窯産：片口鉢 (337・342)、甕 (338～341・343)。水沼窯産：甕 (354)。須恵器系：甕 (359)、甕 (360～363)。

[中国産磁器] 白磁：四耳壺 (405～408・410～413・420)、碗 (409)、小壺 (414)。青磁：碗 (428・429)。

[木製品] 漆器椀 (702～704)、曲物蓋 (705・706・708)、曲物底板 (707)、折敷? (708)、杓子 (709)、下駄 (711)、形代 (712・713)。

[植物遺体] 種子：モモ (954)、アサ・カナムグラ (955)、サナエタテ・ヤナギタテ近似種 (956)、クルミ (957)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。出土した木炭を年代測定したところ、11～12世紀との結果を付いている (第VII章第3節参照)。

### SD35溝跡

遺構 (第49・53図、写真図版41・42)

[位置・検出状況] Q2区北側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] SD34溝跡と合流する。新旧関係は不明であり、同時存在の可能性もある。

[規模・平面形] 基本的には直線状である。長軸方向はN-69°-Wで、北北西-東南東の方向である。確認できた長さは7.42mである。調査区に直交する方向であるため、確認できた範囲は短い。幅は、調査区境の断面Gで、開口部4.40m、底部2.46m、深さは1.46mである。開口部は東側へ行くほど広くなり、SD34溝跡と合流する。

[埋土・堆積状況] 3箇所 (断面G～H) で覆土断面を記録している。断面Gは調査区西境、断面Hは調査区中央で、これらは溝の短軸方向であり、断面Iは長軸方向である。G・Hは、それほど距離が離れていないにも関わらず、堆積状況に違いがみられる。G断面付近では、上位が黒褐色シルト、中位～下位が黒色粘土質シルトである。これに対し、H断面では、上位の東側が黒褐色シルト主体、西側が砂主体で、埋土の下位に砂礫層が存在する。この砂礫層は、自然の層 (IV層) に非常に類似するが、遺物が多く出土している。

[壁・底面] 底面は、地点により深い所と浅い所があり、状況は一律ではない。東側では二股に分かれる。

遺物 (第61～63・66・68・69・70・74・75図、写真図版50・51・53～56・60・63)

[かわらけ] ロクロ小 (190～218)、ロクロ大 (219～225)、手づくね小 (226～232)、手づくね大 (233～240)、柱状高台 (241～244)、内折れ (245)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて68,358.6g出土している。

[国産陶器] 常滑窯産：甕 (321・323)、片口鉢 (322)。瀬美窯産：片口鉢 (344～347)。水沼産：甕 (355)。

[中国産陶磁器] 褐釉陶器甕 (402)、白磁四耳壺 (415)。

[木製品] 曲物底板 (714)、折敷? (715)、ちゅう木 (716)、漆塗り板材 (717a・b)、柱根 (718)。718は、調査区境の断面G付近で出土した。尖った方を下にし、やや傾いているが直立に近い状態であった。断面形が八角形に加工されている。溝に架けられた橋脚であるという可能性を視野に入れ、注意して調査を行ったが、その場に埋設されていたという状況は確認できなかった。

[土製品] 土壺 (804)、羽口 (805)。

[植物遺体] 種子：クルミ (958・959)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。出土した木炭を年代測定したところ、11～12世紀との結果を得ている (第Ⅶ章第3節参照)。

#### S D36溝跡

遺構 (第50・55図、写真図版43・44)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。北側と西側は調査区外にある。

[重複関係] S K28土坑を切る。南側でS D43溝跡とS D37溝跡が重複する。

[規模・平面形] 基本的には直線状であるが、南側で屈曲し、屈曲点から北側と西側へ伸びている。屈曲角度は83度である。長軸方向は、北側ではN-9°-E、西側ではN-74°-Eであり、確認できた長さは、北側で44.00m、西側で7.60mである。幅は開口部1.50m、底部1.12mで、深さ0.74mである。[埋土・堆積状況] 5箇所(断面J～N)で覆土断面を記録している。分層の仕方は地点により異なるが、黒褐色～黒色のシルト主体で、地点により黄褐色土や砂のブロックを含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面は平坦である。

遺物 (第63・66・68・69・72図、写真図版52・54～56・58・63)

[かわらけ] ロクロ小 (246・247・249)、ロクロ大 (248)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて8,738.1g出土している。

[陶器] 常滑窯産甕 (324)、深美窯産甕 (348・349)、須忠器系甕 (364・365)。

[金属製品] 皇末通寶 (614)。

[動物遺体] ウマの臼歯 (903)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。出土した木炭を年代測定したところ、11～12世紀との結果を得ている (第Ⅶ章第3節参照)。

#### S D37溝跡

遺構 (第54図、写真図版45)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] 東側でS D36溝跡と合流する。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-68°-W、確認できた長さは6.49mである。幅は開口部0.56m、底部0.22m、深さ0.26mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色シルトの単層で、黄褐色土ブロックと炭化物を僅かに含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ71.9g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

#### S D38溝跡

遺構 (第56図、写真図版45)

[位置・検出状況] H3区、Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] P262・263・265と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ (4.42) m、幅1.03m、底面の幅0.93m、深さ0.20mである。南北に直

線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD39溝跡

遺構 (第56図、写真図版46)

[位置・検出状況] H3区。Ⅲ層で褐灰色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD40溝跡と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.75)m、幅0.85m、底面の幅0.46m、深さ0.18mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 褐灰色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第75図、写真図版61)

[出土状況] 埋土から木製品が出土している。

[木製品] 部材? 1点(719)。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明である。

#### SD40溝跡

遺構 (第56図、写真図版46)

[位置・検出状況] H3区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD39溝跡と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.52)m、幅1.19m、底面の幅0.89m、深さ0.15mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

[付属施設] なし。

遺物 (第72図、写真図版48)

[出土状況] 埋土から石製品が出土している。

[石製品] 硯1点(605)。

時期 時期が判断できる出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD41溝跡

遺構 (第56図、写真図版45)

[位置・検出状況] H3区。Ⅲ層で褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.96)m、幅1.61m、底面の幅1.44m、深さ0.09mである。南北に直

線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD42溝跡

遺構 (第47図、写真図版45)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-9°-E、確認できた長さは0.53mである。幅は開口部0.97m、底部0.30m、深さ0.33mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色粘土質シルトの単層である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、東壁は開口部付近が大きく広がる。

遺物 なし。

時期 不明。

#### SD43溝跡

遺構 (第54図、写真図版46)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] 東側でSD36溝跡と合流する。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-56°-W、確認できた長さは5.92mである。幅は、開口部1.16m、底部0.41mで、深さ0.20mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色シルトの単層である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、凹凸が多い。

遺物 なし。

時期 不明。

#### SD44溝跡

遺構 (第56図、写真図版46)

[位置・検出状況] H3区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] P251・252・272・273と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.15)m、幅1.71m、底面の幅0.75m、深さ0.73mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第66図、写真図版54)

[出土状況] 埋土から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 常滑窯産の甕1点(325)。

時期 出土遺物から12世紀の溝跡の可能性がある。

#### SD45溝跡

遺構 (第54・55図、写真図版46)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区内で途切れ、西側は調査区外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-67°-W、確認できた長さは3.73mである。幅は、開口部0.69m、底部0.46m、深さ0.08mである。

[埋土・堆積状況] 黒色粘土質シルトの単層である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁の立ち上がりは不明瞭である。底面はほぼ平坦であるが、細かい凹凸が多い。

遺物 なし。

時期 不明。

#### (5) 道路状遺構

1か所確認された。いわゆる波板状凹凸といわれるものである。

#### SX01道路状遺構

遺構 (第54・55図、写真図版43・44)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 直線状の短い溝が、ほぼ等間隔に連続する。SX01a～jとした。各溝の計測値は第7表に示した。長軸方向は、隣接するSD45溝跡やSD36溝跡とはほぼ直交する。aの西側、jの東側調査区外には、同様のものが連続する可能性が高い。

[埋土・堆積状況] 黒色粘土質土の単層である。底面直上では、小礫が多く出土した。

[壁・底面] 壁の立ち上がりは不明瞭である。底面には凹凸が多い。

遺物 かわらけ320.7g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

## 2 出土遺物

### (1) 出土遺物の概要

南日詰小路口1遺跡の出土遺物は、縄文時代の土器、石製品、12世紀のかわらけ、国産陶器、中国産磁器、中世の陶磁器、近世の陶磁器、石製品、金属製品、木製品、土製品、動物遺体、植物遺体である。図版は遺物の種別ごとに作成し、出土地点別に編集した。なお、一部遺構名の訂正に誤りがあったために掲載が前後している遺構がある。また、出土地点別に異なる種類の遺物の出土状況を把握するため、遺構内出土遺物について出土地点毎の集成図を作成した。以下、遺物の種別ごとに詳述する。

### (2) 縄文時代の遺物

#### 縄文土器 (第57図、写真図版47、第10表)

縄文土器は1041.9g出土した。4点を掲載した。いずれも遺構外で、O区南端から出土している。縄文時代晩期の土器片である。3は注口土器の破片である。

#### 石製品 (第57図、写真図版47、第11表)

5は径3.2～3.5cmの石球で、石材は安山岩である。時期の詳細は不明だが、ここに含めた。

### (3) 12世紀の遺物

12世紀の遺物の内訳として、かわらけ・国産陶器・中国産陶磁器がある。

#### かわらけ (第57～64図、写真図版47～52、第12表)

かわらけは、320,177.9g出土した。掲載したのは177点(15,640.4g)である。内訳としては、ロクロかわらけの大小・手づくねかわらけの大小・柱状高台・内折れかわらけがある。ロクロかわらけは、器高のある碗形のかわらけがある。手づくねかわらけには、口縁部を面取りしているものと、面取りしていないものがあり、調整は1段などで、2段などで多いが、3段以上の多段なこともある。器壁は薄手で胎土も混入物が少ない。微量だが骨針が含まれるものも数例ある。色調は、赤みの強いものが多い。ロクロかわらけは、手づくねかわらけに比べて、より砂礫が混じる傾向がある。色調もより赤みが強い傾向がある。153・160は、粘土板の継目が確認できる。262・270は、燈明皿として使用された痕跡を残す。柱状高台は、ロクロの痕跡が残る台部の径は4cm前後のものが多い。台部は、小型のものは平坦だが、大きいものは中央がややくぼむものもある。内折れかわらけは、口縁部が強く屈曲する皿形のかわらけだが、小破片であり、詳細は不明である。ロクロかわらけと手づくねかわらけの比率をみると、ロクロかわらけの比率が高いように思われる。しかし、ロクロかわらけの方が、つくりが丈夫なため、破片でも残存率が良く、残存率の選別基準では、ロクロかわらけの方が、より多く掲載遺物として採取されている可能性があることにも留意しておく必要である。

遺構別にみると、出土量が多いのは、S D34・35溝跡である。S K28土坑からは手づくねかわらけがまとまって出土している。S K28土坑は、手づくねかわらけのみが出土している。270は、燈明皿として使用した痕跡が残る手づくねかわらけ小である。

#### 国産陶器 (第65～69図、写真図版53～56、第13表)

常滑窯産陶器は3,539.0g出土した。すべて破片である。30点(3151.0g)を掲載した。器種には壺・壺・片口鉢がある。309は片口鉢の底部片である。内面に金が付着しており、砂金をすり潰し、金粉にした作業の痕跡と推測される。310の底部の突起は焼成の際に付着した土塊のようである。326は、筋文壺の破片である。S D34溝跡から多く出土している。

深美窯産陶器は5,588.4g出土した。すべて破片である。23点(5,112.1g)を掲載した。器種には壺と片口鉢がある。深美窯産陶器は、常滑窯産陶器に比べて胎土が均一で灰白色の色調を呈する。331は袈裟博文壺である。344は片口鉢の片口部である。S D34溝跡から多く出土している。

351・355は水沼窯産の陶器と思われる。354は縦耳が付く壺である。すべて掲載した。

須恵器系陶器は2,796.5g出土した。13点(2,243.4g)掲載している。器種には壺・壺・鉢がある。

#### 中国産陶磁器(第70図、写真図版56、第14表)

中国産陶磁器は1,117.3g出土した。30点(691.4g)掲載した。陶器と磁器がある。401・402は陶器である。磁器は、白磁が多く、青白磁・青磁が少量ある。器種は壺(Ⅱ・Ⅲ系)と碗(Ⅰ～Ⅴ類)・皿(Ⅴ・Ⅵ類)がある。全破片81片のうち、壺類が53片と占める全体に割合が高い。出土地点をみると、S D34溝跡から多く出土している。405は、四耳壺の耳部である。408・410・411は四耳壺の口縁部、412は四耳壺の耳が着いていた体部片。413は水注の注口が付く部分の胴部破片と思われる。414は小壺の壺で回転糸切りの痕跡がある貴重な事例である。Ⅱ系で黄褐色の色調である。421は碗である。424は水注の口縁部で、口縁端部の形状が四耳壺と異なる。426は皿、428・429は青磁碗の破片、430は青白磁の合子の蓋で、膨らみのある部分が真ん中付近と思われる。

#### (4) 中世の遺物

108.7g出土し、2点(100.2g)を掲載した(第70図、写真図版56、第15表)。451は伊豆沼産の陶器の口縁部片と思われる。452は中国産の青磁碗の破片である。

#### (5) 近世・近代の遺物

陶器・磁器がある(第71図、写真図版57、第16表)。総量3,324.7g出土した。うち14点(1,103.8g)を掲載した。S D07・24溝跡、S K21・31土坑からの出土で、いずれも近世の屋敷地に伴う遺構である。特にS D24溝跡は、Ⅱ遺跡のS D127溝跡と連続する阿・遺構と推測される溝跡で、屋敷跡の周囲を取り囲む一連の溝跡と推測されるものである。S D24溝跡からは、陶器・磁器が出土している。502は片口鉢。503は摺鉢片。ともに陶器である。磁器としては碗・皿・徳利・火鉢などが出土している。18世紀に属するものも含まれるが、19世紀後半の明治時代の碗皿類が主体である。

#### (6) 石製品

石製品は5点出土した(第72図、写真図版58、第17表)。601・602は砥石である。石材は石英安山岩である。603は黒色の扁平な円礫で、基石として使用されたものであろうか。中国産陶器(401)とともに出土していることから、12世紀の可能性はある。石材は頁岩である。604も砥石で各面を使用しており、特に側面の擦痕が著しい。いずれの砥石も一端または両端を欠き、完形品はない。605は凝灰岩製の硯である。

#### (7) 金属製品

金属製品は5点出土した(第73図、写真図版58、第18表)。内訳は鉄釘1点、銭貨4点である。S K32内に埋設されていた木枠の板材を留めていた鉄釘のうち、1点のみ掲載した。611は鉄釘で断面が四角形のものである。銭貨は全点掲載した。612は寛永通寶(新寛永:初鑄年1697年)、613は嘉祐通寶(初鑄年1065年)、614は阜宋通寶(初鑄年1038年)、615は寛永通寶(古寛永:初鑄年1636年)である。616は、鍛冶滓と考えられる破片である。製品ではないが、ここに含めた。

### (8) 木製品

木製品は35点掲載した(第73～77図、写真図版58～62、第19表)。出土した遺構から12世紀に属するものと近世以降に属するものに大別される。S D34溝跡から出土した702・703・704の漆器椀は内外面黒漆である。樹種はケヤキである。705・706・707・708は曲物の蓋か。樹種はアスナロ・スギである。711は茶碗の下駄の歯部。樹種はアスナロである。712・713は欠損品であるが形代の可能性がある。716はちゅう木か。樹種はスギである。717は黒漆が塗られている板材である。樹種はアスナロである。折敷などと同じ材が使用されている。718は、12世紀のものと同推測される大形の柱材で、断面形が八角形に向取りされ、先端も整形されている。樹種はマツ属複雑管束木属である。先端が炭化しているようにも見受けられる。

723～735は近世以降のものと同推測される遺物である。723～726は、木杭か。一端を鋭角に整形している。樹種はモクレン属である。728～731は漆器の椀で内面赤・外面黒漆である。樹種はブナ属である。12世紀の漆器と用材が異なる点が注目される。727は樽の蓋。樹種はヒノキである。732は桶椀類の側板で、樹種はスギである。733は樽の持ち手部分と同推測される。樹種はスギである。材の樹種同定結果については、第Ⅶ章第1節を参照されたい。

### (9) 土製品

土製品は1,912.4g出土した(写真図版63、第20表)。内訳は、土壁・羽口・円盤状土製品である。写真のみの掲載で6点掲載した。土壁と思われる破片は全1,825.7g出土している。すべて破片で、木舞の跡は確認できていない。掲載したのは4点(801～804、488.2g)である。805は輪の羽口の破片と思われる。ササが入る。806は円盤状の上製品である。壁土は12世紀の可能性があるが、他の羽口片や円盤状の上製品の時期は明確ではない。

### (10) 動物遺体

動物遺体は、写真のみの掲載で4点(12.0g)掲載した(写真図版63、第21表)。確認できた種はウマ、魚骨・大型哺乳類であるが、小片のため詳細は不明である。S K32土坑からは魚類と思われる焼骨片が出土している。木枠内の炭化材とともに出土したものである。

### (11) 植物遺体

植物遺体には種実(99.8g)がある(写真図版63、第22表)。全点について観察表を掲載し、9点(36.5g)を写真掲載した。5点を鑑定して確認できた種別には、モモ・アサ・カナムグラ・サナエダテ近似種・ヤナギダテ近似種・オニグルミがある。955・956は出土した椀内部の土のなかから出土した種実で、アサ・カナムグラ、サナエダテ近似種・ヤナギダテ近似種であるとの鑑定結果を得ている。952はS D17溝跡から出土した。マツボックリである。

炭化材は1,851.2g出土した。そのうち4点(試料No1896・1915・1920・1758)について放射性炭素年代測定を行った(第Ⅶ章第3節)。

第3表 建築物・柱列跡観察表

建物の名称	住所	不滅・柱列跡	X座標 (m)	Y座標 (m)	面積/円積 (㎡)	瓦葺・瓦葺	土	式	東側の柱等 (北・東、><は不明)	時期	備考	調査年度
SD01	柱列跡	H4	51948.142	28859.308	3	(3.00)	-	P218-P214-P209		近世以降		25 15
SD02	柱列跡	H4	51950.143	28860.154	0	(3.63)	-	P212-P205-P202	SD02<-SD03	近世以降		26 15
SD03	柱列跡	H4	51949.323	28860.216	0	(4.08)	-	P210-P104-P203	SD03<-SD02	近世以降		26 15
SD04	竪立柱列跡	H4	51956.483	28861.636	-1	6.00	1.66	P197-P194-P192-P190-P188	SD04<-SD05	近世以降		26 15
SD05	柱列跡	H4	51958.045	28862.671	3	(3.78)	-	P193-P191-P189	SD05<-SD04	近世以降		26 15
SD06	竪立柱列跡	H4	51979.078	28869.845	3	(2.06)	-	P184-P183		近世以降		26 15
SD07	柱列跡	H4	51996.975	28875.857	3	(3.87)	-	P171-P170		近世以降		26 15
SD08	柱列跡	H4	51999.903	28876.921	3	(3.77)	-	P169-P168-P166		近世以降		26 15
SD09	竪立柱列跡	H4	52006.651	28878.287	4	(6.14)	2.23	P164-P221-P162-P161-P284	SD08<-SD23<-SK23	近世以降		26 15
SD10	竪立柱列跡	I	52017.419	28900.284	13	6.03	(3.03)	P007-P006-P009-P004-P115-V018-P116	SD09<-SK22	19世紀		26 15
SD11	竪立柱列跡	I	52042.801	28921.200	6	5.64	(3.72)	P057-P068-P103-P104-P105-P104-P112-P113-P102		不詳	外周:SD01	27 16
SD12	竪立柱列跡	M	52073.759	28940.906	80	6.78	1.43	P127-P126-P125-P130-P131-P132-P134-P135-P133-P132-P149		不詳	19世紀	27 16

第7表 道路状況観察表

場所名	区域	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	方向 (N・S・E)	開口部長 (m)	開口部幅 (m)	底辺長 (m)	次底辺 (m)	北点 (m)	備考
SK03-a	Q	51955.09	28945.71	92.04	15	1.23	0.26	1.11	0.21	1.43	
SK03-b	Q	51953.82	28949.37	92.04	17	1.31	0.25	1.15	0.15	0.04	
SK01-c	Q	51955.12	28950.09	92.03	7	1.35	0.34	1.30	0.21	0.05	
SK01-d	Q	51953.10	28950.87	92.04	13	1.67	0.32	1.40	0.15	0.10	
SK03-e	Q	51955.54	28951.50	91.99	10	2.27	0.34	2.06	0.19	0.10	
SK01-f	Q	51953.73	28952.23	91.98	8	1.85	0.32	1.66	0.26	0.06	
SK01-g	Q	51955.55	28952.90	91.97	10	1.52	0.38	1.33	0.19	0.11	
SK03-h	Q	51950.16	28953.62	91.99	10	1.38	0.51	1.20	0.32	0.07	
SK01-i	Q	51958.44	28954.41	92.02	17	1.12	0.55	0.90	0.42	0.06	
SK01-j	Q	51955.04	28955.26	92.01	35	2.96	1.26	-	-	0.15	

※ (SK01) を除くものは断面法についての調査である。

第4表 柱穴観察表

(残存率)

法名	区域	柱中口	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	掘門部長 (m)	開口部幅 (m)	底部長 (m)	底口幅 (m)	比高 (m)	建物	基礎関係等 (注<等>、<は不明>)	備考
P001	I	Ⅲ	-51981.34	28944.82	91.97	0.26	0.23	0.12	0.10	0.16			
P002	I	Ⅲ	-51982.02	28941.56	91.96	0.26	0.21	0.12	0.07	0.19			
P003	I	Ⅲ	-51982.03	28943.47	91.98	0.20	0.19	0.09	0.08	0.11			
P004	I	Ⅲ	-51983.21	28940.25	91.99	0.25	0.21	0.10	0.08	0.23			
P005	I	Ⅲ	-51984.28	28942.57	91.97	0.28	0.19	0.09	0.09	0.27			
P006	I	Ⅲ	-51984.90	28942.80	91.99	0.44	0.39	0.21	0.23	0.49			
P007	I	Ⅲ	-52014.82	28931.96	91.91	0.49	0.37	0.15	0.13	0.17			SB10
P008	I	Ⅲ	-52016.71	28931.29	91.93	0.42	0.35	0.14	0.12	0.17			SB10
P009	I	Ⅲ	-52018.66	28931.02	91.98	0.40	0.38	0.11	0.10	0.19			SB10
P010	I	Ⅲ	-52029.67	28930.56	91.94	0.44	0.38	0.13	0.11	0.29			
P011	I	Ⅲ	-52017.09	28934.42	91.92	0.18	0.16	0.10	0.09	0.17			
P012	I	Ⅲ	-52016.71	28933.76	92.01	0.31	0.26	0.16	0.13	0.22			
P013	I	Ⅲ	-52016.95	28933.48	92.02	0.27	0.25	0.10	0.07	0.12			
P014	I	Ⅲ	-52017.48	28933.33	92.04	0.32	0.26	0.14	0.12	0.09			
P015	I	Ⅲ	-52018.33	28933.01	92.08	0.27	0.23	0.11	0.06	0.07			SB10
P016	I	Ⅲ	-52018.68	28932.83	92.05	0.27	0.24	0.10	0.08	0.10			SB10
P017	I	Ⅲ	-52013.97	28930.01	91.97	0.45	0.35	0.15	0.11	0.17			
P018	I	Ⅲ	-52017.11	28929.54	92.03	0.38	0.33	0.14	0.10	0.11			SB10
P019	I	Ⅲ	-52018.85	28929.29	91.94	0.24	0.33	0.21	0.18	0.21			
P020	I	Ⅲ	-52025.85	28933.28	92.01	0.36	0.37	0.12	0.09	0.16			
P021	I	Ⅲ	-21959.01	28949.09	91.70	(0.50)	0.25	(0.20)	0.18	0.18			調査区外
P022	I	Ⅲ	-51965.48	28952.03	91.92	0.27	0.24	0.14	0.09	0.25			
P023	I	Ⅲ	-51966.23	28951.94	91.99	0.30	0.37	0.33	0.24	0.17			
P024	I	Ⅲ	-51966.39	28931.76	92.03	0.33	0.30	0.20	0.16	0.16			
P025	I	Ⅲ	-51965.30	28949.06	91.92	0.35	0.35	0.28	0.26	0.22			
P026	I	Ⅲ	-51961.98	28947.18	91.80	(0.30)	0.30	0.18	0.13	0.13			調査区外
P027	I	Ⅲ	-51967.15	28945.81	91.79	0.35	0.34	0.11	0.07	0.37			
P028	I	Ⅲ	-51969.10	28919.41	91.92	0.33	0.33	0.15	0.12	0.28			
P029	I	Ⅲ	-51969.12	28947.00	92.06	0.30	(0.15)	0.12	0.11	0.10			P029<SD05
P030	I	Ⅲ	-51969.67	28960.01	92.01	0.29	0.23	0.21	0.20	0.11			
P031	I	Ⅲ	-51970.19	28949.94	92.01	0.33	0.28	0.19	0.17	0.23			
P032	I	Ⅲ	-51969.60	28952.58	92.05	0.53	0.33	0.29	0.18	0.17			
P033	I	Ⅲ	-51970.23	28952.70	91.96	0.23	0.33	0.25	0.24	0.28			
P034	I	Ⅲ	-51969.99	28949.85	92.00	0.43	0.37	0.22	0.20	0.12			
P035	I	Ⅲ	-51969.65	28948.30	91.93	0.32	0.26	0.19	0.16	0.28			
P036	I	Ⅲ	-51971.14	28947.77	91.87	0.33	0.23	0.12	0.11	0.49			
P038	I	Ⅲ	-51971.23	28948.21	92.09	0.34	0.28	0.19	0.11	0.13			
P039	I	Ⅲ	-51972.70	28948.35	91.99	0.31	0.26	0.18	0.15	0.20			
P040	I	Ⅲ	-51973.22	28948.72	91.98	0.28	0.24	0.14	0.13	0.16			
P041	I	Ⅲ	-51974.11	28949.11	92.04	0.40	0.36	0.22	0.20	0.10			
P042	I	Ⅲ	-51974.83	28948.42	92.05	0.30	0.27	0.23	0.19	0.11			
P043	I	Ⅲ	-51973.45	28947.51	92.04	0.36	0.31	0.20	0.19	0.08			
P044	I	Ⅲ	-51973.33	28947.70	92.04	0.18	0.16	0.12	0.11	0.09			
P045	I	Ⅲ	-51972.84	28947.19	91.81	0.44	0.35	0.17	0.12	0.32			
P046	I	Ⅲ	-51973.54	28946.50	92.00	0.23	0.19	0.13	0.11	0.09			
P047	I	Ⅲ	-51972.53	28946.30	91.83	0.40	0.31	0.23	0.16	0.23			
P048	I	Ⅲ	-51973.32	28944.02	91.80	0.20	(0.10)	0.15	0.10	0.26			P048<SD02
P049	I	Ⅲ	-51972.87	28944.11	91.83	0.29	0.26	0.11	0.10	0.23			
P050	I	Ⅲ	-51972.89	28943.42	91.78	0.31	0.25	0.14	0.11	0.34			
P051	I	Ⅲ	-51971.91	28943.82	91.93	(0.35)	0.30	0.28	0.25	0.19			調査区外
P052	I	Ⅲ	-51970.74	28944.37	91.90	0.39	0.31	0.28	0.17	0.27			
P053	I	Ⅲ	-51969.43	28941.85	91.83	0.42	0.38	0.13	0.08	0.38			
P054	I	Ⅲ	-51969.09	28944.66	92.11	0.20	0.16	0.08	0.05	0.09			
P055	I	Ⅲ	-51967.89	28946.22	92.03	0.29	0.27	0.18	0.14	0.15			
P056	I	Ⅲ	-51966.74	28935.07	91.87	0.40	0.36	0.26	0.16	0.26			P056<SD05
P057	I	Ⅲ	-51964.47	28951.74	91.85	0.33	0.23	0.18	0.13	0.29			P057<SD05
P058	I	Ⅲ	-51970.45	28945.12	92.06	0.38	0.28	0.24	0.16	0.15			
P059	I	Ⅲ	-51972.32	28950.01	92.08	0.39	0.34	0.29	0.24	0.11			
P060	I	Ⅲ	-51969.38	28947.98	92.04	0.25	0.20	0.13	0.09	0.13			
P061	I	Ⅲ	-51969.23	28947.24	91.91	0.26	0.25	0.10	0.07	0.21			
P062	I	Ⅲ	-51969.31	28947.48	92.08	0.33	0.29	0.21	0.19	0.09			
P063	I	Ⅲ	-51965.00	28950.28	91.86	0.30	-	0.13	0.11	0.29			P063<SD06、P118
P064	I	Ⅲ	-51964.57	28950.61	91.91	0.30	-	0.10	0.10	0.27			P064<SD05、P118
P065	I	Ⅲ	-51964.41	28950.02	91.76	0.32	0.29	0.16	0.14	0.39			調査区外
P066	I	Ⅲ	-52025.95	28936.56	92.03	0.25	0.32	0.19	0.16	0.16			
P067	I	Ⅲ	-52026.95	28936.93	91.70	0.30	0.25	0.12	0.10	0.47			
P068	I	Ⅲ	-52027.79	28935.50	91.87	0.52	0.45	0.15	0.10	0.38			調査区外
P069	I	Ⅲ	-52007.74	28938.96	91.84	0.46	0.38	0.16	0.13	0.32			
P070	I	Ⅲ	-52028.92	28932.15	92.01	0.37	0.35	0.14	0.11	0.22			
P071	I	Ⅲ	-52029.97	28930.21	92.05	0.45	(0.30)	0.25	(0.20)	0.18			P071<P072
P072	I	Ⅲ	-52030.42	28930.12	91.80	0.76	0.71	0.53	0.41	0.43			P072<P071
P073	I	Ⅲ	-52029.22	28927.47	92.09	0.38	0.33	0.16	0.11	0.11			

第4表 柱穴觀察表

(西暦)

測点名	区域	吹出点	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口幅長さ (m)	開口幅傾斜 (°)	底層片数 (枚)	底層厚さ (cm)	土高差 (m)	雑物	土質(傾斜率 計<縦>、<横>)	備考
P074	I	Ⅲ	-52030.78	28925.53	91.96	0.26	0.23	0.12	0.08	0.27			
P075	I	Ⅲ	-52031.26	28924.28	91.87	0.44	0.42	0.11	0.09	0.26			
P076	I	Ⅲ	-52032.63	28923.90	91.92	0.31	0.29	0.15	0.14	0.28			
P077	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P078	I	Ⅲ	-52030.84	28927.48	91.97	0.41	0.34	0.19	0.14	0.24			
P079	I	Ⅲ	-52031.39	28927.90	91.88	0.24	0.22	0.11	0.10	0.34			
P080	I	Ⅲ	-52031.93	28927.41	92.14	0.27	0.16	0.15	0.12	0.10			
P081	I	Ⅲ	-52022.47	28926.91	91.94	0.46	0.39	0.24	0.21	0.26			底面に礫 残曲に礫
P082	I	Ⅲ	-52032.03	28930.28	91.84	0.31	0.29	0.21	0.16	0.35			
P083	I	Ⅲ	-52033.52	28930.37	92.02	0.28	0.24	0.17	0.15	0.18			
P084	I	Ⅲ	-52033.39	28929.61	92.05	0.26	0.06	0.13	0.10	0.11			
P085	I	Ⅲ	-52033.52	28923.28	92.06	0.25	0.22	0.12	0.12	0.13			
P086	I	Ⅲ	-52034.97	28923.12	92.05	0.40	-	0.22	0.21	0.17			P086<-P087
P087	I	Ⅲ	-52035.20	28922.02	92.09	0.25	-	0.17	0.11	0.11			P087<-P086
P088	I	Ⅲ	-52028.47	28931.33	91.75	0.41	0.37	0.12	0.11	0.43			→P118
I089	I	Ⅲ	-52036.73	28923.91	92.00	0.23	0.19	0.12	0.11	0.20			
P090	I	Ⅲ	-52037.09	28922.73	91.97	0.39	0.35	0.20	0.13	0.26			
P091	I	Ⅲ	-52039.28	28921.62	92.11	0.28	0.26	0.14	0.12	0.14			
P092	I	Ⅲ	-52038.31	28925.77	92.00	0.73	0.70	0.58	0.54	0.22			
P093	I	Ⅲ	-52039.73	28925.29	91.88	0.42	0.38	0.24	0.23	0.33			
P094	I	Ⅲ	-52040.05	28927.22	91.97	0.45	0.35	0.20	0.17	0.23			
P095	I	Ⅲ	-52043.23	28927.74	91.96	0.52	0.37	0.26	0.17	0.23			
P096	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P097	I	Ⅲ	-52039.96	28921.18	92.00	0.50	-	0.32	0.29	0.28	SB11	P097<-P098	底面に礫
P098	I	Ⅲ	-52040.01	28921.32	91.93	0.65	-	0.35	0.26	0.34	SB11	P098<-P097	底面に礫
P099	I	Ⅲ	-52041.96	28920.16	92.15	0.30	-	0.20	-	0.11			測点区外 →P090
P100	I	Ⅲ	-52041.51	28921.23	92.00	0.37	0.26	0.16	0.12	0.23			
I101	I	Ⅲ	-52044.16	28919.97	91.96	0.38	0.37	0.27	0.24	0.29			
P102	I	Ⅲ	-52045.49	28919.31	92.03	-	-	-	-	0.23	SB11		測点区外
P103	I	Ⅲ	-52040.20	28923.27	91.92	0.76	0.73	0.57	0.53	0.20	SB11		底面に礫
P104	I	Ⅲ	-52041.63	28923.28	91.94	0.76	0.62	0.57	0.46	0.27	SB11		
P105	I	Ⅲ	-52042.99	28923.10	91.85	0.62	0.61	0.67	0.37	0.39	SB11		底面に礫
P106	I	Ⅲ	-52044.44	28923.00	91.92	0.72	0.56	0.58	0.48	0.27	SB11		
P107	I	Ⅲ	-52043.88	28926.60	91.90	0.46	0.40	0.33	0.26	0.34			
P108	I	Ⅲ	-51989.40	28918.60	91.83	0.42	0.36	0.18	0.16	0.37			P108<-SD06
P109	I	Ⅲ	-52041.23	28925.18	91.83	0.86	0.84	0.68	0.64	0.38			
P110	I	Ⅲ	-52043.80	28924.76	91.92	0.87	0.64	0.77	0.43	0.34			
P111	I	Ⅲ	-52045.12	28924.19	91.84	0.86	0.75	0.49	0.39	0.41			
P112	I	Ⅲ	-52045.81	28922.97	91.96	0.98	0.65	0.54	0.47	0.38	SB11		
P113	I	Ⅲ	-52045.65	28920.86	92.01	1.16	0.65	0.99	0.20	0.35	SB11		
P114	I	Ⅲ	-52042.45	28922.30	92.06	0.36	0.32	0.19	0.12	0.17			
P115	I	Ⅲ	-52020.23	28928.58	91.98	0.37	0.33	0.16	0.14	0.19			
P116	I	Ⅲ	-52044.38	28925.93	91.90	0.42	0.31	0.17	0.12	0.25			
P117	I	Ⅲ	-51965.60	28919.60	91.84	0.37	0.34	0.18	0.15	0.24			P117<-SD06
P118	I	Ⅲ	-51965.09	28920.51	91.87	-	-	0.13	0.14	0.28			P118<-SD06 P118<-P063-P094
P119	M	Ⅲ	-52061.17	28954.15	91.88	0.26	0.25	0.06	0.04	0.30			
I120	M	Ⅲ	-52062.44	28957.03	91.91	0.27	0.25	0.18	0.12	0.29			
P121	M	Ⅲ	-52063.53	28956.41	91.93	0.25	0.21	0.16	0.09	0.29			
P122	M	Ⅲ	-52063.73	28958.14	92.11	0.26	0.21	0.14	0.12	0.12			底面に礫
P123	M	Ⅲ	-52066.07	28963.34	91.85	0.34	0.31	0.19	0.16	0.27			
P124	M	Ⅲ	-52062.62	28954.91	92.09	0.71	0.45	0.43	0.26	0.15			
I125	M	Ⅲ	-52065.40	28970.26	91.96	(0.76)	0.30	0.53	0.30	0.25			測点区外
P126	M	Ⅲ	-52069.48	28973.89	91.97	0.36	0.32	0.21	0.13	0.11			
P127	M	Ⅲ	-52072.43	28987.62	91.78	0.26	0.23	0.11	0.09	0.22	SB12		
P128	M	Ⅲ	-52072.72	28989.32	91.80	0.36	0.33	0.25	0.20	0.18	SB12		
P129	M	Ⅲ	-52073.08	28991.09	91.83	0.36	0.32	0.18	0.17	0.17	SB12		
I130	M	Ⅲ	-52073.32	28992.90	91.86	0.35	0.29	0.22	0.16	0.13	SB12		
P131	M	Ⅲ	-52073.64	28994.22	91.85	0.35	0.30	0.21	0.20	0.17	SB12		
P132	M	Ⅲ	-52074.15	28989.18	91.86	0.31	0.25	0.22	0.17	0.13	SB12		
P133	M	Ⅲ	-52074.54	28991.01	91.76	0.39	0.35	0.29	0.23	0.18	SB12		
P134	M	Ⅲ	-52074.76	28992.70	91.78	0.40	0.30	0.21	0.16	0.21	SB12		
P135	M	Ⅲ	-52075.05	28994.01	91.85	0.53	0.33	0.29	0.17	0.15	SB12		
P136	M	Ⅲ	-52065.82	28987.29	91.97	0.55	0.33	0.40	0.19	0.16			
P137	M	Ⅲ	-52074.05	28995.02	91.88	0.52	0.46	0.21	0.17	0.12			
P138	M	Ⅲ	-52074.60	28995.82	91.90	0.26	0.24	0.14	0.12	0.10			
P139	M	Ⅲ	-52073.14	28997.79	91.81	0.27	0.17	0.10	0.09	0.16			
P140	M	Ⅲ	-52073.56	28997.89	91.87	0.19	0.17	0.10	0.09	0.10			
I141	M	Ⅲ	-52076.59	28998.18	91.87	0.34	0.28	0.22	0.15	0.08			
P142	M	Ⅲ	-52076.99	28998.67	91.86	0.25	0.18	0.12	0.07	0.09			
P143	M	Ⅲ	-52077.48	29000.49	91.86	0.22	0.18	0.11	0.10	0.09			
P144	M	Ⅲ	-52077.56	29001.94	91.82	0.99	0.40	0.33	0.15	0.15			

第4表 柱穴觀察表

(続前)

遺構名	区域	柱出箇	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z差 (m)	門戸延長 (m)	開口部型 (m)	底部長 (m)	底部幅 (m)	此差 (m)	注	遺構関係等 (目次、>、<不明)	備考
P145	M	II	-52078.79	29002.18	91.83	0.26	0.25	0.13	0.12	0.10			
P146	M	II	-52077.99	29006.34	91.94	0.25	0.22	0.13	0.12	0.10			
P147	M	II	-52066.35	28972.46	91.96	0.39	0.33	0.21	0.17	0.21			
P148	M	II	-52066.35	28966.77	91.81	0.34	0.35	0.12	0.09	0.33		P148>SK12	
P149	M	II	-52073.64	28987.21	91.80	0.18	0.13	0.13	0.10	0.16		SH12	
P150	M	II	-52070.57	28972.25	91.83	0.23	0.17	0.11	0.05	0.28			
P151	M	II	-52068.73	28928.51	91.91	0.21	0.21	0.13	0.11	0.22			
P152	N	II	-52103.74	29078.46	91.74	0.38	0.32	0.26	0.21	0.22			
P153	N	II	-52084.83	29028.57	91.81	0.31	0.34	0.14	0.10	0.26			
P154	N	II	-52091.92	29048.25	91.70	0.29	0.21	0.22	0.09	0.14			
P155	N	II	-52094.80	29054.36	91.67	0.30	0.23	0.10	0.10	0.20			
P156	N	II	-52103.56	29080.67	91.66	0.29	0.24	0.09	0.07	0.30			
P157	N	II	-52108.12	29091.65	91.83	0.21	0.18	0.16	0.12	0.14			
P158	N	II	-52105.77	29090.08	91.79	0.29	0.17	0.15	0.14	0.22			
P159	N	II	-52108.09	29080.78	91.81	0.30	0.22	0.18	0.12	0.13			
P160	N	II	-52109.05	29081.36	91.88	0.25	0.23	0.13	0.11	0.12			
P161	IIA	II	-52007.96	28970.03	92.02	0.86	0.61	0.55	0.48	0.44	SP08		
P162	IIA	II	-52006.00	28979.31	91.94	0.47	0.44	0.26	0.00	0.47	SD09		
P163	IIA	II	-52003.27	28978.53	92.29	0.29	0.25	0.17	0.00	0.10			
P164	IIA	II	-52003.69	28977.26	91.89	0.70	(0.50)	0.39	0.33	0.48	SD09		調査区外
P165	IIA	II	-52002.61	28976.87	92.40	0.23	0.19	0.10	0.10	0.10			
P166	IIA	II	-52001.74	28976.85	92.25	0.36	0.29	0.29	0.23	0.15	SD08		北面に壁
P167	IIA	II	-52001.07	28977.36	92.22	0.51	0.40	0.33	0.24	0.18			東面に壁
P168	IIA	II	-52000.93	28976.98	92.25	0.26	0.23	0.14	0.10	0.12	SP08		
P169	IIA	II	-51997.93	28976.96	92.04	0.30	(0.30)	0.20	(0.15)	0.32	SP08		調査区外
P170	IIA	II	-51997.92	28975.84	92.01	0.36	0.30	0.25	0.22	0.23	SP07		
P171	IIA	II	-51996.06	28975.94	91.96	0.48	0.40	0.19	0.13	0.41	SP07		
P172	IIA	II	-51995.67	28975.80	92.08	0.63	0.59	0.47	0.43	0.27			
P173	IIA	II	-51996.02	28977.97	92.16	0.54	0.38	0.19	0.19	0.37			
P174	IIA	II	-51994.53	28974.30	92.16	0.24	0.28			0.68			西側に壁
P175	IIA	II	-51993.31	28974.87	92.06	0.42	0.35	0.21	0.19	0.29			
P176	IIA	II	-51993.39	28973.89	92.07	(0.40)	0.48	0.20	0.18	0.34			調査区外 北面に壁
P177	IIA	II	-51991.97	28974.00	92.27	0.31	0.26	0.15	0.11	0.10			
P178	IIA	II	-51991.93	28974.32	92.31	0.25	0.21	0.14	0.11	0.06			
P179	IIA	II	-51991.85	28973.44	92.16	0.40	0.39	0.19	0.16	0.17			
P180	IIA	II	-51991.11	28974.59	92.22	0.27	0.21	0.15	0.11	0.15			P180>SK24
P181	IIA	II	-51994.72	28972.27	91.86	0.30	0.28	0.18	0.08	0.49			
P182	IIA	II	-51990.39	28970.87	92.16	0.37	0.32	0.26	0.19	0.15			
P183	IIA	II	-51980.11	28969.73	91.92	0.34	0.49	0.25	0.23	0.36	SD01		
P184	IIA	II	-51978.08	28969.88	91.90	0.42	0.35	0.19	0.16	0.44	SD06		
P185	IIA	II	-51974.52	28967.91	91.97	0.36	0.28	0.14	0.13	0.38			
P186	IIA	II	-51963.60	28965.07	91.95	0.40	0.40	0.20	0.12	0.45			
P187	IIA	II	-51960.90	28962.79	92.17	0.50	(0.25)	0.25	(0.13)	0.21			調査区外
P188	IIA	II	-51960.22	28962.59	91.87	0.70	(0.30)	0.36	0.12	0.49	SD04		調査区外
P189	IIA	II	-51959.81	28962.68	92.13	0.41	0.34	0.29	0.26	0.18	SP05		
P190	IIA	II	-51958.65	28962.56	92.04	0.30	0.43	0.24	0.22	0.32	SD04	P190>P191	
P191	IIA	II	-51958.03	28962.63	92.09	(0.75)	(0.60)	0.32	0.26	0.26	SP05	P191>P190	
P192	IIA	II	-51964.31	28962.45	92.11	(0.63)	0.60	0.21	0.13	0.26	SD01	P192>P190	
P193	IIA	II	-51956.04	28962.61	92.15	0.35	(0.25)	0.16	0.14	0.25	SD06	P193>P192	
P194	IIA	II	-51964.31	28962.45	92.06	0.45	(0.20)				SD01		調査区外
P195	IIA	II	-51954.66	28961.90	92.05	0.31	0.23	0.16	0.01	0.31			
P196	IIA	II	-51954.12	28961.50	91.91	0.36	0.30	0.15	0.13	0.45			
P197	IIA	II	-51954.12	28960.79	92.18	0.34	0.29	0.22	0.20	0.17	SD04		
P198	IIA	II	-51952.40	28960.68	92.02	(0.40)	(0.30)	0.24	0.16	0.37			P198>P200、P201
P199	IIA	II	-51952.45	28960.20	92.09	(0.80)	(0.40)	0.29	0.28	0.29			P199>P200
P200	IIA	II	-51952.48	28960.43	92.12	(0.40)	(0.30)	(0.20)	0.20	0.30			P200>P206、P199
P201	IIA	II	-51951.38	28960.89	92.15	(0.60)	0.30	0.19	0.19	0.24			P201>P198
P202	IIA	II	-51951.88	28960.17	92.18	0.48	0.45	0.38	0.31	0.26	SD02		
P203	IIA	II	-51951.23	28960.23	92.13	0.53	0.51	0.37	0.32	0.27	SD03		
P204	IIA	II	-51950.48	28960.17	92.04	0.46	0.41	0.27	0.18	0.38			
P205	IIA	II	-51950.13	28960.16	91.97	0.41	0.34	0.19	0.15	0.43	SD02		
P206	IIA	II	-51949.96	28999.33	92.05	0.35	(0.30)	0.18	0.15	0.35			P206>P207、P208
P207	IIA	II	-51950.13	28999.72	92.15	(0.60)	0.40	0.22	0.20	0.26			P207>P206、P208
P208	IIA	II	-51949.90	28999.44	92.12	0.30	(0.30)	0.19	0.17	0.26			P208>P206、P207
P209	IIA	II	-51949.68	28959.26	92.12	0.28	0.27	0.16	0.15	0.27	SD01		
P210	IIA	II	-51949.24	28960.37	92.17	0.49	0.42	0.30	0.26	0.26	SD03		
P211	IIA	II	-51948.96	28959.73	92.29	0.73	0.41	0.44	0.30	0.14			
P212	IIA	II	-51948.28	28960.16	92.11	0.43	0.37	0.21	0.14	0.25	SD02		
P213	IIA	II	-51948.36	28959.44	92.29	0.80	(0.30)	0.21	0.11	0.17			P213>P214
P214	IIA	II	-51948.12	28959.26	92.00	0.40	(0.30)	0.29	0.13	0.46	SD01		714>P213
P215	IIA	II	-51947.44	28959.17	92.26	0.32	0.25	0.15	0.14	0.19			
P216	IIA	II	-51947.23	28960.16	92.23	0.50	(0.25)	(0.30)	(0.15)	0.22	SD03		調査区外

第4表 柱穴観察表

(順左)

洪峰名	区域	検出箇	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z標高 (m)	断面部長 (m)	断面幅 (m)	底深 (m)	底深 (m)	底深 (m)	底深 (m)	備考
P217	H4	Ⅲ	-51946.69	28850.15	92.28	(0.20)	0.20	0.16	0.10	0.19		P217><P218
P218	H4	Ⅲ	-51946.67	28859.37	92.00	(0.30)	0.25	0.16	0.12	0.43	SB01	P218><P218
P219	H4	Ⅲ	-51946.30	28838.15	92.04	0.38	0.23	0.15	0.12	0.43		
P220	H4	Ⅲ	-51945.37	28858.36	92.14	0.21	0.22	0.13	0.10	0.33		
P221	H4	Ⅲ	-51944.29	28858.27	92.08	0.36	0.30	0.21	0.17	0.35		
P222	H4	Ⅲ	-51943.65	28857.18	92.15	0.31	0.28	0.15	0.13	0.35		
P223	H4	Ⅲ	-51943.19	28858.54	92.25	0.29	0.34	0.10	0.07	0.21		
P224	H4	Ⅲ	-51942.63	28857.23	92.26	0.28	0.25	0.12	0.10	0.20		
P225	H4	Ⅲ	-51938.75	28867.12	92.37					0.13		調査区外
P226	H4	Ⅲ	-51933.15	28860.45	92.17	0.53	0.43	0.43	0.37	0.20		
P227	H4	Ⅲ	-51999.15	28875.66	92.20	-	-	0.19	0.18	0.24		P227><SD23
P228	H4	Ⅲ	-51999.05	28875.99	92.17	-	-	0.23	0.18	0.21		P228><SL23 調査区外
P229	H4	Ⅲ	-51999.32	28876.98	92.15	(0.20)	(0.13)	(0.15)	(0.10)	0.25		P229><SL23
P230	H4	Ⅲ	-52003.81	28878.93	92.22	0.44	0.32	0.18	0.15	0.18		P230><SK22
P231	H4	Ⅲ	30004.13	28879.43		(0.7)	(0.3)	-	-	-	SB09	調査区外 検出のみ
P232	Q2	Ⅲ	-51909.68	28867.92	92.14	0.37	0.31	0.25	0.22	0.32		
P233	Q2	Ⅲ	-51912.46	28867.26	92.25	0.43	0.31	0.31	0.18	0.20		
P234	Q2	Ⅲ	-51932.00	28863.32	92.07	0.30	0.29	0.27	0.24	0.11		
P235	Q2	Ⅲ	-51934.96	28864.68	91.90	0.30	0.42	0.32	0.28	0.19		
P236	Q2	Ⅲ	-51906.46	28869.07	92.37	0.29	0.25	0.19	0.15	0.12		
P237	Q1	Ⅲ	-51846.72	28877.86	91.35	0.90	(0.60)	0.45	(0.45)	0.66		調査区外
P238	Q2	Ⅲ	-51850.37	28877.72	91.79	1.10	0.89	0.62	0.34	0.62		
P239	Q2	Ⅲ	-51831.25	28879.28	91.76	0.99	0.60	0.75	0.34	0.32		
P240	Q2	Ⅲ	-51838.42	28878.34	91.69	0.75	0.57	0.54	0.35	0.23		
P241	Q2	Ⅲ	-51910.19	28869.85	92.29	0.43	0.37	0.30	0.19	0.17		
P242	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P243	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P244	S	Ⅲ	-51921.28	28839.23	92.21	0.31	0.23	0.18	0.14	0.24		
P245	S	Ⅲ	-51922.39	28844.63	92.28	0.60	(0.15)	0.40	(0.10)	0.11		調査区外
P246	S	Ⅲ	-51922.60	28845.73	92.09	0.60	(0.20)	0.35	(0.15)	0.11		調査区外
P247	S	Ⅲ	-51904.33	28833.12	92.29	0.32	0.27	0.19	0.13	0.14		
P248	S	Ⅲ	-51926.28	28870.70	92.17	0.80	(0.35)	0.50	(0.25)	0.30		調査区外
P249	S	Ⅲ	-51928.54	28872.38	91.95	0.29	0.27	0.14	0.13	0.35		
P250	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P251	H3	Ⅲ	-52025.72	28886.90	91.69	0.40	0.33	0.25	0.18	0.67		P251><SD44
P252	H3	Ⅲ	-52034.83	28886.02	92.09	0.30	0.20	0.19	0.15	0.25		P252><SL44
P253	H3	Ⅲ	-52010.60	28881.38	91.90	(0.50)	(0.33)	(0.40)	(0.20)	0.58		P253><SK30 調査区外
P254	H3	Ⅲ	-52011.56	28881.25	91.96	0.40	0.35	0.14	0.01	0.52		
P255	H3	Ⅲ	-52014.40	28882.73	91.88	(0.40)	(0.30)	(0.25)	(0.25)	0.55		調査区外
P256	H3	Ⅲ	-52014.29	28880.96	92.10	0.29	0.24	0.13	0.10	0.32		
P257	H3	Ⅲ	-52014.51	28880.99	92.08	0.38	0.29	0.32	0.21	0.34		
P258	H3	Ⅲ	-52013.83	28882.85	91.97	0.32	0.27	0.21	0.18	0.15		
P259	H3	Ⅲ	-52017.16	28882.97	92.02	0.27	0.25	0.13	0.09	0.40		
P260	H3	Ⅲ	-52017.00	28882.19	92.24	0.31	0.23	0.12	0.12	0.18		
P261	H3	Ⅲ	-52016.89	28882.54	92.08	(0.30)	(0.20)	(0.25)	(0.15)	0.32		
P262	H3	Ⅲ	-52017.69	28883.55	92.17	0.36	0.34	0.29	0.26	0.21		
P263	H3	Ⅲ	-52019.10	28883.82	92.02	0.64	0.54	0.35	0.28	0.21		
P264	H3	Ⅲ	-52019.70	28882.76	92.26	0.35	0.31	0.29	0.23	0.16		
P265	H3	Ⅲ	-52020.84	28883.06	92.09	0.25	0.22	0.10	0.08	0.29		
P266	H3	Ⅲ	-52020.84	28884.46	92.25	0.24	0.20	0.14	0.12	0.16		
P267	H3	Ⅲ	-52022.96	28884.19	92.23	0.26	0.21	0.13	0.12	0.22		
P268	H3	Ⅲ	-52023.47	28884.40	91.89	0.55	0.46	0.29	0.18	0.51		
P269	H3	Ⅲ	-52021.45	28884.73	92.13	0.25	0.23	0.18	0.11	0.30		
P270	H3	Ⅲ	-52023.80	28885.18	92.11	0.49	0.41	0.18	0.13	0.28		
P271	H3	Ⅲ	-52021.62	28886.61	92.06	0.42	0.30	0.26	0.23	0.33		
P272	H3	Ⅲ	-52024.29	28886.94	91.87	0.30	(0.25)	0.21	0.15	0.49		P272><SL45
P273	H3	Ⅲ	-52025.97	28886.09	91.81	(0.30)	(0.20)	(0.15)	0.10	0.36		P273><SF44
P274	H3	Ⅲ	-52029.82	28888.19	92.07	(0.35)	(0.25)	(0.30)	(0.20)	0.38		調査区外
P275	H3	Ⅲ	-52031.79	28887.92	91.99	0.27	0.20	0.13	0.08	0.38		
P276	H3	Ⅲ	-52030.01	28890.37	92.11	(0.40)	(0.30)	(0.30)	(0.20)	0.30		調査区外
P277	H3	Ⅲ	-52035.81	28888.75	92.03	(0.30)	(0.15)	0.16	0.14	0.41		P277><SL40
P278	H3	Ⅲ	-52037.42	28889.81	91.96	-	-	-	-	0.50		P278><SK30 調査区外
P279	H3	Ⅲ	-52038.01	28889.65	91.90	0.62	0.48	0.34	0.22	0.46		
P280	H3	Ⅲ	-52038.77	28890.40	92.12	0.43	0.28	0.20	0.18	0.25		
P281	H3	Ⅲ	-52032.09	28888.99	92.13	(0.40)	(0.20)	(0.30)	(0.20)	0.19		調査区外
P282	H3	Ⅲ	-52032.63	28889.04	92.18	0.42	0.31	0.20	0.16	0.19		
P283	H3	Ⅲ	-52032.42	28888.21	92.08	0.35	0.30	0.25	0.13	0.23		
P284	H3	Ⅲ	-52010.26	28879.10	92.10	(0.70)	(0.30)	(0.65)	(0.20)	0.34	SB09	調査区外

第5表 土坑・井戸跡観察表

遺跡名	地区	区域	検出箇所	X座標 (m)	Y座標 (m)	方眼番号 (m)	中層面 (m)	坑口面 (長×幅) (m)	埋土厚 (m)	埋土長 (m)	底深 (m)	底積 (m)	底積率 (%)	土質上の構成状況 (土質・土質)	付帯施設 (小竈、火盆、水溝)	調査時期	調査者	図面編号	写真編号
SK01	北	Ⅰ	Ⅰ	-51965.29	28944.36	51.91	約97.5	4.2	1.43	0.64	0.70	0.2	0.31	雑草土・黒色土	不明	不明	不明	28	15
SK02	北	Ⅰ	Ⅱ	-51973.72	28943.05	51.69	約97.5	4.7	1.23	0.68	0.41	0.27	0.36	雑草土・黒色土	不明	不明	不明	28	16
SK03	北	Ⅰ	Ⅲ	-51983.52	28927.54	51.29	約97.5	—	0.78	0.90	0.02	0.78	0.90	雑草土・黒色土	不明	不明	不明	28	17
SK04	北	Ⅰ	Ⅳ	-51989.69	28908.21	50.71	約97.5	—	0.10	0.30	0.70	0.20	0.49	雑草土・黒色土	不明	不明	不明	28	18
SK05	北	Ⅰ	Ⅴ	-51995.41	28899.92	50.40	約97.5	-1	1.11	1.09	1.15	0.90	0.91	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK06	北	Ⅰ	Ⅵ	-51995.41	28872.52	50.12	約97.5	8.0	1.65	2.01	2.59	1.30	0.91	雑草土・土質・雑草土・黒色土	不明	不明	不明	28	19
SK07	北	Ⅰ	Ⅶ	-51970.01	28940.73	50.51	約97.5	-3.1	2.27	2.83	4.03	1.17	0.35	雑草土・土質・土質	不明	不明	不明	28	19
SK08	北	Ⅰ	Ⅷ	-5200.55	28940.69	50.50	約97.5	—	1.30	0.70	0.41	0.49	0.76	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK09	北	Ⅰ	Ⅸ	-5203.59	28911.11	50.37	約97.5	—	1.20	1.44	1.44	—	0.38	雑草土・雑草土・雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK10	北	Ⅰ	Ⅹ	-5203.59	28904.46	50.34	約97.5	20	1.98	1.04	1.64	—	0.38	雑草土・雑草土・雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK11	北	Ⅰ	Ⅺ	-5203.59	28901.03	50.31	約97.5	1	1.20	1.14	0.67	0.60	1.01	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK12	北	Ⅰ	Ⅻ	-5203.59	28897.83	50.28	約97.5	-16	1.62	1.38	1.29	0.63	1.03	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK13	北	Ⅰ	Ⅼ	-5203.59	28895.03	50.25	約97.5	1	1.78	0.99	1.43	0.68	0.13	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK14	北	Ⅰ	Ⅽ	-5203.59	28892.05	50.22	約97.5	9	2.25	2.04	0.96	0.78	0.69	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK15	北	Ⅰ	Ⅾ	-5206.64	28918.15	50.67	約97.5	7	2.31	2.38	1.77	1.39	0.25	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK16	北	Ⅰ	Ⅿ	-5206.64	28916.78	50.64	約97.5	-11	1.18	1.59	0.54	0.88	0.39	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK17	北	Ⅰ	ⅰ	-5208.57	28918.09	50.71	約97.5	—	0.90	0.91	0.54	0.72	0.68	雑草土・雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK18	北	Ⅰ	ⅱ	-5208.57	28916.78	50.68	約97.5	6	1.12	1.12	0.98	0.72	0.19	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK19	北	Ⅰ	ⅲ	-5210.61	28927.29	50.82	約97.5	—	0.90	1.26	1.26	0.39	0.39	雑草土・雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK20	北	Ⅰ	ⅳ	-5210.61	28925.02	50.79	約97.5	8	0.71	0.95	0.91	0.35	0.15	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK21	北	Ⅰ	ⅴ	-5216.65	28964.74	51.43	約97.5	—	1.90	0.90	2.20	0.45	0.11	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK22	北	Ⅰ	ⅵ	-5200.27	28877.64	50.33	約97.5	—	1.97	1.90	0.86	0.78	0.72	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK23	北	Ⅰ	ⅶ	-5200.38	28976.36	51.54	約97.5	—	1.40	1.30	0.90	0.75	0.65	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK24	北	Ⅰ	ⅷ	-51992.62	28974.80	51.54	約97.5	—	1.00	0.90	1.06	0.79	0.31	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK25	北	Ⅰ	ⅸ	-51992.62	28972.28	51.51	約97.5	—	2.33	0.90	1.06	0.79	0.31	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK26	北	Ⅰ	ⅹ	-51992.62	28969.76	51.48	約97.5	—	1.65	1.49	0.81	0.75	1.07	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK27	北	Ⅰ	ⅺ	-5191.47	28946.33	51.30	約97.5	38	1.74	1.64	0.73	0.65	1.17	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK28	北	Ⅰ	ⅻ	-5196.64	28941.38	51.30	約97.5	62	0.89	0.76	0.81	0.68	0.54	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK29	北	Ⅰ	ⅼ	-5190.06	28940.69	51.30	約97.5	-2	0.89	0.90	0.52	0.41	0.36	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK30	北	Ⅰ	ⅽ	-5201.60	28938.58	51.30	約97.5	80	1.42	1.26	0.85	0.86	0.65	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK31	北	Ⅰ	ⅾ	-5207.62	28936.58	51.30	約97.5	0	2.45	2.25	1.57	1.28	0.87	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK32	北	Ⅰ	ⅿ	-5203.01	28877.19	50.11	約97.5	-2.5	0.25	0.33	0.38	0.25	0.38	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK33	北	Ⅰ	ⅿ	-5203.01	28877.19	50.11	約97.5	-19	2.65	1.48	2.22	1.08	0.42	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK34	北	Ⅰ	ⅿ	-5203.01	28900.00	50.11	約97.5	-1.90	0.30	0.60	0.30	0.21	0.21	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK35	北	Ⅰ	ⅿ	-5206.73	28926.28	51.30	約97.5	61	1.15	0.76	0.69	0.30	0.58	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK36	北	Ⅰ	ⅿ	-5196.33	28902.64	51.30	約97.5	—	2.14	0.46	1.06	0.20	0.69	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK37	北	Ⅰ	ⅿ	-5169.13	29077.75	52.54	約97.5	—	1.70	0.44	1.00	0.20	0.73	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK38	北	Ⅰ	ⅿ	-5169.13	29077.75	52.54	約97.5	—	1.48	0.60	0.68	0.49	0.73	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK39	北	Ⅰ	ⅿ	-5192.96	29038.28	52.28	約97.5	—	0.86	0.60	1.04	0.00	0.68	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK40	北	Ⅰ	ⅿ	-6003.60	28988.74	52.75	約97.5	—	0.71	0.90	0.90	0.15	0.15	雑草土	不明	不明	不明	28	19
SK41	北	Ⅰ	ⅿ	-5196.82	28968.51	52.02	約97.5	-7.02	0.24	0.96	1.74	0.37	1.30	雑草土・土質	不明	不明	不明	28	19
SK42	北	Ⅰ	ⅿ	-5198.25	28976.85	51.33	約97.5	—	2.08	1.08	1.46	1.40	0.78	雑草土	不明	不明	不明	28	19



第8表 出土地点別かわらけ重量表  
野穴住居跡(SI)

No.	区	住居地点	種別	重量(g)
1	G2	SI03	灰土	24.9
2	G2	SI03 P2	灰土	1.0
				合計 25.9

## 柱穴(P)

No.	区	住居地点	種別	重量(g)
1	I	P022	灰土	2.6
2	I	P025	灰土	6.6
3	I	P026	灰土	8.0
4	I	P022	灰土	51.9
5	I	P028	灰土	12.6
6	I	P029	灰土	43.0
7	I	P030	灰土	3.1
8	I	P031	灰土	8.5
9	I	P033	灰土	10.9
10	I	P034	灰土	14.7
11	I	P035	灰土	10.6
12	I	P037	灰土	2.7
13	I	P038	灰土	1.9
14	I	P039	灰土	10.3
15	I	P041	灰土	51.5
16	I	P043	灰土	23.3
17	I	P046	灰土	12.6
18	I	P048	灰土	12.3
19	I	P050	灰土	7.6
20	I	P052	灰土	1.7
21	I	P053	灰土	114.2
22	I	P055	灰土	4.4
23	I	P056	灰土	29.8
24	I	P057	灰土	51.7
25	I	P058	灰土	8.0
26	I	P060	灰土	2.1
27	I	P061	灰土	3.7
28	I	P065	灰土	26.8
29	I	P062 南半	灰土	29.3
30	I	P106	灰土	7.0
31	I	P106	灰土	0.9
32	I	P108	灰土	68.7
33	I	P109	灰土	47.4
34	I	P111	灰土	24.6
35	I	P113	灰土	197.8
36	I	P146	灰土	8.9
37	II	P172 西半	灰土	3.8
38	II	P182 北半	灰土	4.4
39	II	P186 西半	灰土	5.0
40	II	P187 南半	灰土	2.9
41	II	P188 東半	灰土	6.3
42	II	P190 東半	灰土	20.5
43	II	P191 東半	灰土	14.0
44	II	P195 北半	灰土	5.2
45	II	P196 東半	灰土	6.4
46	II	P200 南半	灰土	3.4
47	II	P201 西半	灰土	3.9
48	II	P202 東半	灰土	31.1
49	II	P206 南半	灰土	1.2
50	II	P206 南半	灰土	3.3
51	II	P207 北半	灰土	3.9
52	II	P208 北半	灰土	0.9
53	II	P212 南半	灰土	34.4
54	II	P214 東半	灰土	32.5
55	II	P216 東半	灰土	27.3
56	II	P219 南半	灰土	18.6
57	II	P222 西半	灰土	19.5
58	II	P230	灰土(SK)	90.4
59	II	P232	灰土	3.9
60	II	P233	灰土	8.1
61	II	P237	灰土	220.7
62	II	P238 南半	灰土	23.7
63	II	P238	灰土	76.4
64	II	P239	灰土	239.0
65	II	P240 東半	灰土	125.1
66	II	P240	灰土	125.2
				合計 1,968.2

## 土坑・井戸跡(SK)

No.	区	住居地点	種別	重量(g)
1	I	SK01 西半	灰土	7.1
2	I	SK03 東半	灰土	15.1
3	I	SK03 南半	灰土	9.3
4	I	SK04 東半	灰土	21.4
5	I	SK05 中央	灰土	31.9
6	I	SK05 西半	灰土	296.0
7	I	SK05 西半	灰土	19.6
8	I	SK05 西半	灰土	6.3
9	I	SK06 西半	灰土	5.3
10	I	SK03 北半	灰土	3.8
11	I	SK05	灰土	3.8
12	I	SK06	灰土	35.9
13	I	SK06 東半	灰土	35.0
14	I	SK06 西半	灰土	137.3
15	I	SK06	灰土	228.2
16	I	SK10	灰土	47.9
17	II	SK11 東半	灰土	18.3
18	II	SK11 南半	灰土	3.7
19	II	SK12 北半	灰土	22.0
20	II	SK15 南半	灰土	21.8
21	II	SK15 北半	灰土	9.1
22	II	SK16 東半	灰土	15.7
23	II	SK16 西半	灰土	12.5
24	II	SK18	灰土	13.7
25	II	SK19	灰土	15.7
26	II	SK22 ベルトA	灰土	1.8
27	II	SK22 ベルトA	灰土	1.8
28	II	SK22 ベルトA	灰土	46.7
29	II	SK22 東半	灰土	33.5
30	II	SK22 西半	灰土	31.0
31	II	SK22 西半	灰土	16.0
32	II	SK22 西半	灰土	16.0
33	II	SK23 ベルトB	灰土	11.1
34	II	SK23 南半	灰土	19.2
35	II	SK23 北半	灰土	19.6
36	II	SK26 東半	灰土	80.8
37	II	SK26 東半	灰土	130.5
38	II	SK27 西半	灰土	130.0
39	II	SK27 北半	灰土	41.1
40	II	SK27 北半	灰土	27.4
41	II	SK28	灰土	240.7
42	II	SK28	灰土	431.4
43	II	SK28	灰土	69.2
44	II	SK28	灰土	71.9
45	II	SK29	灰土	81.2
46	II	SK36	灰土	5.8
47	II	SK36	灰土	17.6
48	II	SK37 東半	灰土	30.3
49	II	SK37 東半	灰土	200.5
50	II	SK37 東半	灰土	304.9
51	II	SK37 東半	灰土	294.9
52	II	SK37 東半	灰土	63.0
53	II	SK37 東半	灰土	226.7
54	II	SK37 東半	灰土	13.7
55	II	SK41	灰土	806.3
56	II	SK41	灰土	55.9
57	II	SK41	灰土	50.7
58	II	SK41	灰土	50.7
59	II	SK41	灰土	50.7
60	II	SK41	灰土	50.7
61	II	SK41	灰土	50.7
62	II	SK41	灰土	50.7
63	II	SK41	灰土	50.7
64	II	SK41	灰土	50.7
65	II	SK41	灰土	50.7
66	II	SK41	灰土	50.7
67	II	SK41	灰土	50.7
68	II	SK41	灰土	50.7
69	II	SK41	灰土	50.7
70	II	SK41	灰土	50.7
71	II	SK41	灰土	50.7
72	II	SK41	灰土	50.7
73	II	SK41	灰土	50.7
74	II	SK41	灰土	50.7
75	II	SK41	灰土	50.7
76	II	SK41	灰土	50.7
77	II	SK41	灰土	50.7
78	II	SK41	灰土	50.7
79	II	SK41	灰土	50.7
80	II	SK41	灰土	50.7
81	II	SK41	灰土	50.7
82	II	SK41	灰土	50.7
83	II	SK41	灰土	50.7
84	II	SK41	灰土	50.7
85	II	SK41	灰土	50.7
86	II	SK41	灰土	50.7
87	II	SK41	灰土	50.7
88	II	SK41	灰土	50.7
89	II	SK41	灰土	50.7
90	II	SK41	灰土	50.7
91	II	SK41	灰土	50.7
92	II	SK41	灰土	50.7
93	II	SK41	灰土	50.7
94	II	SK41	灰土	50.7
95	II	SK41	灰土	50.7
96	II	SK41	灰土	50.7
97	II	SK41	灰土	50.7
98	II	SK41	灰土	50.7
99	II	SK41	灰土	50.7
100	II	SK41	灰土	50.7

## 溝跡(SD)

No.	区	住居地点	種別	重量(g)
1	I	SD03	灰土	36.4
2	I	SD04 東半	灰土	1,602.7
3	I	SD04 西半	灰土	1,278.7
4	I	SD04 中央	灰土	1,448
5	I	SD06 南側	灰土	2,826.2
6	I	SD05 北側	灰土	2,811
7	I	SD05 南側	灰土	436
8	I	SD06	灰土	4,461
9	I	SD07	灰土	771.8
10	I	SD07	灰土	2,563
11	I	SD07	灰土	2,563
12	I	SD07	灰土	5.0
13	I	SD07	灰土	202.8
14	I	SD07	灰土	10.4
15	I	SD07	灰土	12.3
16	I	SD07	灰土	36.3
17	I	SD08 東側	灰土	20.0
18	I	SD08 西側	灰土	131.4
19	I	SD08	灰土	13.4
20	I	SD10	灰土	30.7
21	I	SD11	灰土	30.3
22	I	SD11	灰土	15.2
23	I	SD11	灰土	69.1
24	I	SD11	灰土	210.5
25	I	SD11	灰土	76.4
26	I	SD11	灰土	70.6
27	I	SD11	灰土	241
28	I	SD11	灰土	54.2
29	I	SD11	灰土	65.3
30	I	SD11	灰土	26.3
31	I	SD11	灰土	15.8
32	I	SD11	灰土	196.8
33	I	SD11	灰土	1.4
34	I	SD12	灰土	1,233.6
35	I	SD12	灰土	510.0
36	I	SD14 南半	灰土	42.8
37	I	SD14 北半	灰土	233.9
38	I	SD14	灰土	62.6
39	I	SD14	灰土	27.7
40	I	SD14	灰土	99.8
41	I	SD14	灰土	651.9
42	I	SD17 東半	灰土	132.7
43	I	SD18	灰土	51.4
44	I	SD19	灰土	24.4
45	I	SD19	灰土	4.9
46	I	SD19	灰土	4.9
47	I	SD20	灰土	187.7
48	I	SD23 西半	灰土	30.5
49	I	SD23 西半	灰土	36.9
50	I	SD24	灰土	67.4
51	I	SD24	灰土	25
52	I	SD25 東半	灰土	26.9
53	I	SD25	灰土	5.0
54	I	SD25	灰土	44.2
55	I	SD25	灰土	170.7
56	I	SD25	灰土	38.1
57	I	SD25	灰土	35.5
58	I	SD25	灰土	152.9
59	I	SD27	灰土	475.2
60	I	SD27	灰土	208.2
61	I	SD27	灰土	3.5
62	I	SD28	灰土	211.7
63	I	SD28	灰土	84.4
64	I	SD30 ~ 33	灰土	338.1
65	I	SD30 南側	灰土	41
66	I	SD30 南側	灰土	33.3
67	I	SD30 南側	灰土	4.3
68	I	SD30 南側	灰土	73.5
69	I	SD30 南側	灰土	75.5
70	I	SD30 南側	灰土	25.7
71	I	SD30 南側	灰土	17.1
72	I	SD30 南側	灰土	42.8
73	I	SD30 南側	灰土	36

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
57	K	SD34 西側	歩道上	504.1	
58	Q1	SD34	橋上	20.15	
59	Q1	SD34	橋上	18.00	
60	Q1	SD34	橋上	11.61	
61	Q1	SD34	橋上	9.10	
62	Q1	SD34	橋上	5.72	
63	Q1	SD34	橋上	2.04	
64	Q1	SD34	橋上	1.15	
65	Q1	SD34	橋上	0.91	
66	Q1	SD34	橋上	472.4	
67	Q1	SD34	橋上	2.16	
68	Q1	SD34	橋上	1.21	
69	Q1	SD34	橋上	2.60	
70	Q1	SD34	橋上	1.80	
71	Q1	SD34	橋上	1.18	
72	Q1	SD34	橋上	75.9	
73	Q1	SD34	橋上	80.6	
74	Q1	SD34	橋上	58.8	
75	Q1	SD34	橋上	67.4	
76	Q1	SD34	橋上	48.9	
77	Q1	SD34	橋上	66.6	
78	Q1	SD34	橋上	56.7	
79	Q1	SD34	橋上	80.6	
80	Q1	SD34	橋上	180.9	
81	Q1	SD34	橋上	14.3	
82	Q1	SD34	橋上	490.9	
83	Q1	SD34	橋上	34.9	
84	Q1	SD34	橋上	42.8	
85	Q1	SD34	橋上	180.6	
86	Q1	SD34	橋上	12.18	
87	Q1	SD34	橋上	77.1	
88	Q1	SD34	橋上	204.0	
89	Q1	SD34	橋上	3.73	
90	Q1	SD34	橋上	307.5	
91	Q1	SD34	橋上	12.67	
92	Q1	SD34	橋上	107.0	
93	Q1	SD34	橋上	183.0	
94	Q1	SD34	橋上	309.6	
95	Q1	SD34	橋上	1.15	
96	Q1	SD34	橋上	1.62	
97	Q1	SD34	橋上	1.13	
98	Q1	SD34	橋上	3.20	
99	Q1	SD34	橋上	6.00	
100	S	SD34	橋上	679.9	
101	S	SD34	橋上	69.5	
102	Q2	SD35 北側	橋上	507.4	
103	Q2	SD35	橋上	2.89	
104	Q2	SD35	橋上	8.82	
105	Q2	SD35	橋上	41.20	
106	Q2	SD35	橋上	12.03	
107	Q2	SD35	橋上	190.0	
108	Q2	SD35	橋上	3.46	
109	Q2	SD35	橋上	792.8	
110	Q2	SD35	橋上	3.74	
111	Q2	SD35	橋上	70.4	
112	Q2	SD35	橋上	7.78	
113	Q2	SD35	橋上	1.33	
114	Q2	SD35	橋上	3.92	
115	Q2	SD35	橋上	11.21	
116	Q2	SD35	橋上	22.74	
117	Q2	SD35	橋上	40.4	
118	Q2	SD35	橋上	1.07	
119	Q2	SD35	橋上	20.1	
120	Q2	SD36	橋上	1.81	
121	Q2	SD36	橋上	949.9	
122	Q2	SD36	橋上	410.1	
123	Q2	SD36	橋上	753.7	
124	Q2	SD36	橋上	1.85	
125	Q2	SD36	橋上	1.12	
126	Q2	SD36	橋上	791.1	
127	Q2	SD36	橋上	40.4	
128	Q2	SD36	橋上	1.09	
129	Q2	SD36	橋上	1.02	
130	Q2	SD36	橋上	33.9	
131	Q2	SD37	橋上	71.9	
132	H3	SD46	橋上	71.9	
133	H3	SD46	橋上	85.2	

区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)

道路状道橋(SX)

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	Q2	SD31	橋上	1.44	
2	Q2	SD31	橋上	7.72	
3	Q2	SD31	橋上	22.2	
4	Q2	SD31	橋上	66.8	
				合計	320.7

H区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	H	田代		9.9	
2	H	田代		33.1	
				合計	43.0

H3区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	H3	田代		3.0	
2	H3	田代		82.6	
				合計	85.6

H4区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	H4	田代		17.1	
2	H4	田代		10.2	
				合計	27.3

区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	T	田代		7.6	
2	T	田代		1.6	
3	T	田代		40.7	
4	T	田代		20.3	
5	T	田代		29.1	
7	T	田代		387.5	
8	T	田代		59.4	
9	T	田代		385.4	
10	T	田代		709.3	
11	T	田代		111.1	
12	T	田代		360.4	
13	T	田代		705.8	
14	T	田代		1214.1	
15	T	田代		1380.7	
16	T	田代		287.6	
17	T	田代		107.4	
18	T	田代		990.9	
19	T	田代		5.5	
20	T	田代		5.6	
				合計	8,343.7

J区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	J	田代		80.9	
				合計	80.9

K区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	K	田代		496.6	
2	K	田代		637.3	
3	K	田代		96.9	
4	K	田代		3.9	
				合計	1,294.7

L区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	L	田代		34.3	
2	L	田代		23.6	
3	L	田代		4.3	
				合計	62.2

M区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	M	田代		13.7	
				合計	13.7

N区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	N	田代		6.2	
2	N	田代		12.6	
				合計	18.8

O区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	O	田代		1.68	
2	O	田代		724.5	
				合計	2,465.4

Q1区

No	区	出入口地点	幅	長さ	車線(m)
1	Q1	田代		5.5	
2	Q1	田代		1,332.2	
3	Q1	田代		2,240.6	
4	Q1	田代		11,692.5	
5	Q1	田代		1,367	
6	Q1	田代		1,876.9	
7	Q1	田代		1,102.4	
8	Q1	田代		2,070.7	
9	Q1	田代		1,066.6	
10	Q1	田代		991.6	
11	Q1	田代		2,720.0	
12	Q1	田代		1,207.9	
13	Q1	田代		1,125.7	
14	Q1	田代		1,301.5	
15	Q1	田代		981.6	
16	Q1	田代		1,250.9	
17	Q1	田代		3,749.9	
18	Q1	田代		1,106.6	
19	Q1	田代		934.5	
20	Q1	田代		31,431	
21	Q1	田代		32.7	
22	Q1	田代		31,470	
23	Q1	田代		2,760.9	
24	Q1	田代		1,483.3	
25	Q1	田代		3,208.8	
26	Q1	田代		812.9	
27	Q1	田代		2,064.4	
28	Q1	田代		1,266.7	
29	Q1	田代		1,266.7	
30	Q1	田代		21,250	
31	Q1	田代		16.9	
32	Q1	田代		852.3	
33	Q1	田代		1,002.6	
34	Q1	田代		2,525.7	
35	Q1	田代		6,799	
36	Q1	田代		4,006.9	
37	Q1	田代		886.7	
38	Q1	田代		1,289.5	
39	Q1	田代		478.9	
40	Q1	田代		2,421	
41	Q1	田代		2,958.2	
42	Q1	田代		1,422.5	
43	Q1	田代		1,62.2	
44	Q1	田代		922.9	
45	Q1	田代		1,542.3	
46	Q1	田代		2,183.3	
47	Q1	田代		2,27.5	
48	Q1	田代		1,256.6	
49	Q1	田代		219.2	
				合計	90,997.7

## 2 出十遺物

## Q2区

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1	Q2	Q2<西溝	瓦二	189.0
2	Q2	Q2<西溝	瓦一	5.6
3	Q2	Q2<中央	2層一次土	1,073.7
4	Q2	Q2<中央	土器	738.9
5	Q2	Q2<中央	瓦一	296.9
6	Q2	Q2北側	瓦二 (SU91, 空)	2,756.2
				合計 4,980.3

## R1区

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1	R1	R1R	瓦二	13.9
2	R1	R1R東溝	瓦一	1,000.2
3	R1	R1R	瓦一	17.3
				合計 1,031.4

## R1.5区

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1	R1.5	R1.5区	瓦一	1,630.1
				合計 1,630.1

## R2区

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1	R2	R2区東	1層	7.0
2	R2	R2<中央	1層	1,102
3	R2	R2区西	1層	335.0
				合計 1,444

## R3区

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1	R3	R3<中央	1層	51.0
				合計 51.0

## S区

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1	S	S区東	1層	193.9
				合計 193.9

## トレンチ

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1	T	T24	1層	4.7
2	N	T30	瓦二	52.7
3	O	T35	瓦一	17.1
4	O	T36	瓦一	2.7
5	H	T40	1層耕作土	10.9
6	H	T41	1層耕作土	20.7
7	H	T42	1層耕作土	46
8	H	T43	1層耕作土	205
9	H	T44	1層耕作土	3.3
10	Q1	T56	瓦一	2,371.5
11	Q1	T57	瓦一	2,538.9
12	Q1	T57	-	400.1
13	Q1	T58	瓦一	1,081.9
14	Q1	T58	瓦一	1,203.3
15	Q1	T58	1層	3,900.9
16	R2	T59	瓦一	192.1
17	R2	T60	瓦一	225.7
18	Q2	T78	-	1,269.8
19	R1	T89	瓦一	61.0
20	R1	T90	-	23.7
21	K	T92	1層	25.3
22	O	OR西側トレンチ	瓦一	1,172.1
23	O	OR東側トレンチ	瓦一	2,577.3
24	O	Oxトレンチ	瓦一	1,628.2
25	Q1	Q1区トレンチ	-	470.1
26	Q1	Q1区トレンチ	-	471.3
27	Q1	Q1区トレンチ	-	322.7
28	Q2	Q2区トレンチ	瓦一	798.5
29	Q2	Q2区トレンチ	瓦一	158.4
30	R3	R3区トレンチ	瓦一	208.4
				合計 22,986.1

## その他

No	区	出土地点	層位	数量(g)
1		不明		65.6
				合計 65.6

## 遺構種別ごと

No	遺構名	数量 (g)	比率 (%)	
1	層位層跡 (SU)	36.0	0.01%	
2	瓦二 (P)	1,986.2	0.62%	
3	瓦一 (NK)	11,522.7	3.60%	
4	瓦一 (SD)	171,730.7	53.64%	
5	遺構法層跡 (SN)	329.7	0.01%	
6	1層	156.4	0.05%	
7	1層	8,343.7	2.61%	
8	1層	80.9	0.03%	
9	1層	1,200.2	0.38%	
10	1層	42.2	0.01%	
11	1層	13.7	0.00%	
12	1層	16.3	0.03%	
13	1層	2,405.4	0.75%	
14	1層	95,779.0	29.91%	
15	1層	3,262.7	1.00%	
16	1層	133.9	0.04%	
17	トレンチ	22,986.1	7.05%	
18	不明	65.6	0.02%	
		合計	320,177.9	100.00%









第14表 中国産陶磁器觀察表

(重量) (容積)

標本 No.	出土地	形状	種類	分類	高さ (cm)	口径 (cm)	重量 (g)	容積 (cc)	備考	年月	調査 者
401	I SD01	双耳	白磁	瓶	11.7	11.7	120	120	12世紀	70.56	
402	Q2 SD05	三ツシ	白磁	香	11.7	11.7	444	444	12世紀	70.56	
403	I SK22	西平	白磁	茶	11.7	11.7	19	19	12世紀	70.56	
404	III SD16	施郎 (No.2)	白磁	小瓶	11.7	11.7	55	55	12世紀	70.56	
405	Q1 SD26	青釉	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	145	145	12世紀	70.56	
406	Q1 SD31	青釉	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	135	135	12世紀	70.56	
407	Q2 SD24	青釉	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	236	236	12世紀	70.56	
408	Q1 SD31	中央	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	94	94	12世紀	70.56	
409	Q1 SD24	南東	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	77	77	12世紀	70.56	
410	Q2 SD31	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	61	61	12世紀	70.56	
411	Q2 SD31	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	109	109	12世紀	70.56	
412	Q2 SD31	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	26	26	12世紀	70.56	
413	Q2 SD34	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	263	263	12世紀	70.56	
414	Q2 SD31	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	88	88	12世紀	70.56	
415	Q2 SD36	青釉	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	1049	1049	12世紀	70.56	
416	I K 26	中央	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	90	90	12世紀	70.56	
417	K 26	東朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	177	177	12世紀	70.56	
418	O 26	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	1243	1243	12世紀	70.56	
419	Q1 Q1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	87	87	12世紀	70.56	
420	Q1 SD24	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	136	136	12世紀	70.56	
421	Q1 Q1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	136	136	12世紀	70.56	
422	Q1 Q1E	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	194	194	12世紀	70.56	
423	Q1 Q1E	中央	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	86	86	12世紀	70.56	
424	Q1 Q1E	中央	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	213	213	12世紀	70.56	
425	Q1 Q1E	中央	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	65	65	12世紀	70.56	
426	Q1 Q1E	中央	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	107	107	12世紀	70.56	
427	Q2 Q2E	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	138	138	12世紀	70.56	
428	Q2 SD04	中央	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	261	261	12世紀	70.56	
429	Q2 SD31	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	37	37	12世紀	70.56	
430	Q1 Q1E	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	27	27	12世紀	70.56	
-	Q2 SD01	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	27	27	12世紀	70.56	
-	II SD24	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	31	31	12世紀	70.56	
-	III SD29	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	204	204	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	32	32	12世紀	70.56	
-	Q2 SD31	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	190	190	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	34	34	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	5	5	12世紀	70.56	
-	Q2 SD36	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	173	173	12世紀	70.56	
-	Q2 SD31	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	20	20	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	82	82	12世紀	70.56	
-	Q2 SD24	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	23	23	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	34	34	12世紀	70.56	
-	Q2 SD24	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	152	152	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	220	220	12世紀	70.56	
-	Q2 SD04	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	97	97	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	88	88	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	30	30	12世紀	70.56	
-	Q2 SD36	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	19	19	12世紀	70.56	
-	Q2 SD36	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	172	172	12世紀	70.56	
-	Q2 SD33	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	73	73	12世紀	70.56	
-	Q2 SD33	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	38	38	12世紀	70.56	
-	Q2 SD33	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	149	149	12世紀	70.56	
-	Q2 SD33	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	142	142	12世紀	70.56	
-	H T43	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	34	34	12世紀	70.56	
-	Q1 Q1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	23	23	12世紀	70.56	
-	Q1 Q1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	55	55	12世紀	70.56	
-	Q1 Q1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	474	474	12世紀	70.56	
-	Q2 Q2E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	78	78	12世紀	70.56	
-	Q2 Q2E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	215	215	12世紀	70.56	
-	Q2 Q2E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	76	76	12世紀	70.56	
-	Q2 Q2E	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	88	88	12世紀	70.56	
-	R1 R1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	159	159	12世紀	70.56	
-	RI1 R1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	83	83	12世紀	70.56	
-	S SD24	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	99	99	12世紀	70.56	
-	I RC68	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	147	147	12世紀	70.56	
-	N NI1	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	322	322	12世紀	70.56	
-	Q2 SD04	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	373	373	12世紀	70.56	
-	I SD07	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	40	40	12世紀	70.56	
-	Q1 SD04	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	39	39	12世紀	70.56	
-	Q2 SD31	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	22	22	12世紀	70.56	
-	Q2 SD34	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	06	06	12世紀	70.56	
-	Q2 SD36	ベルトC	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	10	10	12世紀	70.56	
-	K 26	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	40	40	12世紀	70.56	
-	Q1 Q1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	23	23	12世紀	70.56	
-	Q1 Q1E	南朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	04	04	12世紀	70.56	
R3	R3E	北朝	白磁	四耳瓶	11.7	11.7	15	15	12世紀	70.56	

第15表 中世の陶磁器観察表

(採定値)(存在数)

視察 No	区域名	出土地点	層位	器種	形状	分類	計測値(cm)		重量 (g)	備考	時期	図版 No	写真 No	
							口径	底径						
451	I	SD07 東塚	埋土上層	鉢	鉢	実徳系陶器	-	-	35.7	伊豆川産	東北地方産	13~14世紀後	70	56
452	Q1	Q1区 中央	Ia層	皿	底平	青磁	(4.6)	(2.6)	64.5	徳吉産	14~15世紀	15世紀前半	70	56
-	O	O区 山崎町	II層	皿	底平	青磁	-	-	4.4	-	14~15世紀	14世紀前半	-	-
-	R3	SD29	埋土上層	碗	侈形	青磁	-	-	4.1	-	11~15世紀	-	-	-

第16表 近世・近代の陶磁器観察表

(採定値)(存在数)

視察 No	区域名	出土地点	層位	器種	形状	分類	計測値(cm)		重量 (g)	色澤	胎土	備考	時期	図版 No	写真 No	
							口径	底径								
501	I	SD07 中央	埋土11層	鉢?	陶器	不明	-	-	52.7	灰色	水刷	19世紀末?	71	57		
502	II4	SD24	埋土1層 (No12)	片口鉢	陶器	平底水	(12.8)	5.5	32	111.6	鈍い青緑	灰緑?	見込み品の志	江戸後期	71	57
503	H5	SD24	埋土1層 (No1)	璃鉢	陶器	不明	-	-	52.8	鈍い青緑	なし	おろしり組い	江口後期?	71	57	
504	II6	SK21	埋土1層 (No1)	皿	磁器	不明	-	(3.4)	16.0	白色	黒磁網	不明?	71	57		
505	II7	SK21	埋土1層 (No2)	皿?	磁器	不明	-	-	5.5	白色	赤付	江口後期?	71	57		
506	II8	SK31 東平	埋土1層	鉢?	磁器	不明	-	(2.5)	4.7	鈍い黄緑	灰緑?	明治?	71	57		
507	I	SD07 西塚	埋土上層	茶呑	磁器	不明	(6.8)	4.5	6.8	33.3	白色	上縁付	赤色使用	20世紀	71	57
508	II4	SD21	埋土1層 (No11)	碗	磁器	不明	(7.6)	-	5.3	40.6	白色	赤付	明治?	71	57	
509	H5	SD24	埋土1層 (No5)	碗	磁器	透?	(8.1)	5.0	3.6	67.6	白色	赤付	明治?	71	57	
510	II6	SD21	埋土1層 (No2)	小皿	磁器	不明	8.0	3.6	4.3	55.5	白色	黒磁網?	プリント?	明治?	71	57
511	II7	SD24	埋土1層 (No20)	皿	磁器	赤付?	(8.2)	3.6	2.3	45.1	白色	赤付	黒おこし皿	19世紀中頃	71	57
512	II8	SD21	埋土1層 (No16)	湯呑	磁器	小形	2.8	-	(9.0)	43.4	白色	黒磁網?	明治?	71	57	
513	H9	SD24	埋土1層 (No7)	大入	磁器	赤付?	(11.1)	8.4	9.5	308.0	白色	赤付 赤付	明治?	71	57	
514	II3	II3区	1層	皿	磁器	赤付?	(26.0)	(14.8)	3.7	219.0	白色	赤付	明治?	71	57	

第17表 石製品観察表

(採定値)(存在数)

視察 No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	石材	産地	時代	備考	図版 No	
					長さ	幅	厚さ							
601	I	P074	埋土上層	磁石	(12.65)	3.6	2.85	218.3	石炭炭山石	美奈山脈	新元代新第三紀	4層使用?	72	58
602	I	P074	埋土上層	磁石	9.2	(9.55)	(5.65)	67.3	石炭炭山石	美奈山脈	新元代新第三紀	4層使用?	72	58
603	I	SD04 東塚	埋土1層	磁石	2.15	1.96	0.7	4.3	頁岩	美奈山脈	新元代新第三紀	球状に成形	72	58
604	M	SD08 西平	埋土	磁石	(11.4)	6.45	3.25	409.7	石炭炭山石	美奈山脈	新元代新第三紀	-	72	58
605	H3	SD40	埋土1層	磁石	(14.8)	7.2	3.05	480.6	菊灰岩	美奈山脈	新元代新第三紀	一面を欠片	72	58

第18表 金属製品観察表

(採定値)(存在数)

視察 No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	備考	時期	図版 No	写真 No
					長さ	幅	厚さ					
611	II	SK32 東平内	埋土	鉄釘	4.4	0.6	0.4	0.7	鉄鋼	不明	72	58
612	I	P112	埋土上層	銅水筒蓋	外径1.93×1.97	内径0.58×0.66	0.11	11	外縁部欠損	新嘉次、初騎年1697~	72	58
613	N	SK20	埋土	銅水筒蓋	外径2.36×2.35	内径0.77×0.75	0.12	22	裏面、外内縁部、留付	初騎年1056(北宋)、表面草書流すい	72	58
614	Q2	SD36 西塚	埋土上層	銅水筒蓋	外径2.03×2.07	内径0.6×0.6	0.09	12	外縁を欠く	新嘉次、初騎年1697~	72	58
615	H2	H2区	北層	銅水筒蓋	外径2.50×2.50	内径	0.18	27	外縁内部欠損	古徳水、初騎年1636~	72	58
616	Q1	SD34 南側	埋土2層	銅水筒蓋	-	-	-	206.9	留付有り(反動小)、内縁に鉄釘が付着、 表面縁部を平かに反動付	-	58	-

第19表 木製品観察表

(続前)

調査No	区域名	出土地点	層位	品名	形状	寸法 (mm)		重量 (g)	材質	備考	年代	図録No
						長さ	厚さ					
701	I	S306	埋土2層	笥材	板状	85.9	7.2	4.7	アスタロ		12世紀	73
702	Q2	S304	埋土 (No17)	漆器柄	板状	16.6	7.2	5.8	ケヤキ	内外国産	12世紀	73
703	Q1	S304	埋土 (No19)	漆器柄	板状	(16.6)	(7.4)	(5.7)	ケヤキ	内外国産	12世紀	73
704	Q2	S304上層	埋土	漆器柄	板状	-	(7.4)	(5.1)	ケヤキ	内外国産	12世紀	73
705	Q2	S304下層	埋土2層~埋土3層	漆器柄	板状	7.9	6.0	0.9	アスタロ	板状の板	12世紀	74
706	Q1	S301	埋土 (No20)	漆器柄	板状	63.8	(3.1)	1.2	アスタロ	板状の板	12世紀	74
707	Q1	S301	埋土3層	漆器柄	板状	(12.1)	(4.2)	0.9	アスタロ	漆器の板	12世紀	74
708	Q1	S301上層	埋土	漆器柄	板状	41.0	14.5	1.3	スギ		12世紀	74
709	Q1	S301	埋土6層	漆器柄	板状	31.8	(3.1)	0.9	アスタロ		12世紀	74
710	Q2	S302ベクトC	埋土2層~埋土3層	漆器柄	板状	(17.1)	7.8	0.5	スギ	板の部分を欠く	12世紀	74
711	Q2	S304ベクトC	埋土2層~埋土3層	漆器柄	板状	8.0	15.2	2.0	アスタロ	板の部分を欠く (裏面に腐り残っている)	12世紀	74
712	Q2	S304ベクトC	埋土2層~埋土3層	漆器柄	板状	(14.9)	3.8	0.4	スギ		12世紀	74
713	Q2	S304北側	埋土	漆器柄	板状	20.9	3.1	0.9	ヒノキ	腐り欠	12世紀	74
714	Q2	S306ベクトH	埋土下層 (砂層層)	漆器柄	板状	(28.0)	(11.1)	1.6	スギ		12世紀	74
715	Q2	S306ベクトH上層	埋土下層	漆器柄	板状	(11.6)	(7.3)	0.6	スギ		12世紀	74
716	Q2	S306ベクトH	埋土下層 (砂層層)	漆器柄	板状	33.6	2.2	0.6	スギ	片端に腐り欠	12世紀	74
717a	Q2	S306ベクトH	埋土下層 (砂層層)	漆器柄	板状	16.5	(2.7)	0.7	アスタロ	片端に腐り欠	12世紀	74
717b	Q2	S306ベクトH	埋土下層 (砂層層)	漆器柄	板状	16.9	(3.1)	0.3	アスタロ	片端に腐り欠	12世紀	74
718	Q3	S305	埋土1層 (砂層層)	漆器柄	板状	(105.8)	3.4	29.6	マツ	断面八角形 腐り欠	12世紀	75
719	24	S309ベクトL	埋土2層~埋土3層	漆器柄	板状	21.9	2.0	9.3	スギ	内外国産	12世紀	75
720	Q2	S308	埋土	漆器柄	板状	29.8	4.5	1.2	スギ	内外国産	12世紀	75
721	L	L.S. 南側落ち込M SD27 ?	埋土	漆器柄	板状	-	(6.2)	(5.7)	ケヤキ	内外国産	12世紀	75
722	Q1	T36	埋土	漆器柄	板状	(10.1)	2.9	0.5	スギ	腐り欠、片端に腐り欠	12世紀	75
723	11c	SD17	埋土2層 (No17)	漆器柄	板状	148.3	4.4	3.8	マツ	断面八角形 一端が欠	近世	76
724	11c	SD17	埋土2層 (No19)	漆器柄	板状	130.4	-	-	φ47	ケレン製 一端が欠	近世	76
725	11c	SD17	埋土2層 (No19)	漆器柄	板状	133.5	10.9	8.2	φケレン製	一端が欠	近世	76
726	11c	SD17	埋土2層 (No4)	漆器柄	板状	121.5	4.9	2.7	φケレン製	一端が欠	近世	76
727	11c	SD17	埋土2層 (No1)	漆器柄	板状	13.0	12.5	1.1	ヒノキ	端の部分が欠	近世	77
728	11a	SD24	埋土2層 (No15)	漆器柄	板状	-	(5.2)	(3.0)	マツ	内外国産、外周腐	近世	77
729	11a	SD24	埋土2層 (No23)	漆器柄	板状	-	(5.0)	(6.2)	マツ	内外国産、外周腐	近世	77
730	11a	SD21	埋土2層 (No24)	漆器柄	板状	-	(5.4)	(3.8)	マツ	内外国産、外周腐	近世	77
731	11a	SD28	埋土2層 (No21)	漆器柄	板状	-	(4.8)	(4.0)	マツ	内外国産、外周腐	近世	77
732	11c	SD04	埋土2層 (No40)	漆器柄	板状	40.3	4.9	1.0	スギ	特、漆の痕	近世	77
733	11c	SD04	埋土2層 (No11)	漆器柄	板状	36.1	4.7	1.4	スギ	漆の痕	近世	77
734	11c	SD04	埋土2層 (No22)	漆器柄	板状	29.6	2.0	0.25	アスタロ	腐り欠	近世	77
735	11c	SD04	埋土2層 (No41)	漆器柄	板状	124.1	7.3	4.3	ケレン製	腐り欠	近世	77
736	H3	SK32	埋土2層 (No2)	漆器柄	板状	-	-	-	-	-	-	62
737	H3	SK32	埋土2層 (No1)	漆器柄	板状	-	-	-	-	-	-	62

※各層は1層~4層を示す。

第20表 土製品観察表

(前巻)

調査No	区域名	出土地点	層位	品名	形状	寸法 (mm)			重量 (g)	材質	備考	図録No
						長さ	幅	高さ				
801	Q2	SK28	埋土1層	土器	丸型	99.0	99.0	25	163.7	褐色	-	63
802	Q3	SK28	埋土1層	土器	丸型	99.5	99.5	26	81.3	褐色	-	63
803	Q4	SK28	埋土1層	土器	丸型	80.0	47.7	23	75.1	褐色	-	63
804	Q1	SK35 西側トレンチ	埋土1層	土器	丸型	72.0	66.0	15.0	128.1	褐色	-	63
805	Q2	SK35 西側トレンチ	埋土1層	土器	丸型	84.4	62.7	22.9	21.3	スギ色	-	63
806	O	OSI 南側トレンチ	埋土2層	土器	丸型	3.4	3.3	1.0	11.9	浮砂を含む	-	63

第21表 動物遺体観察表

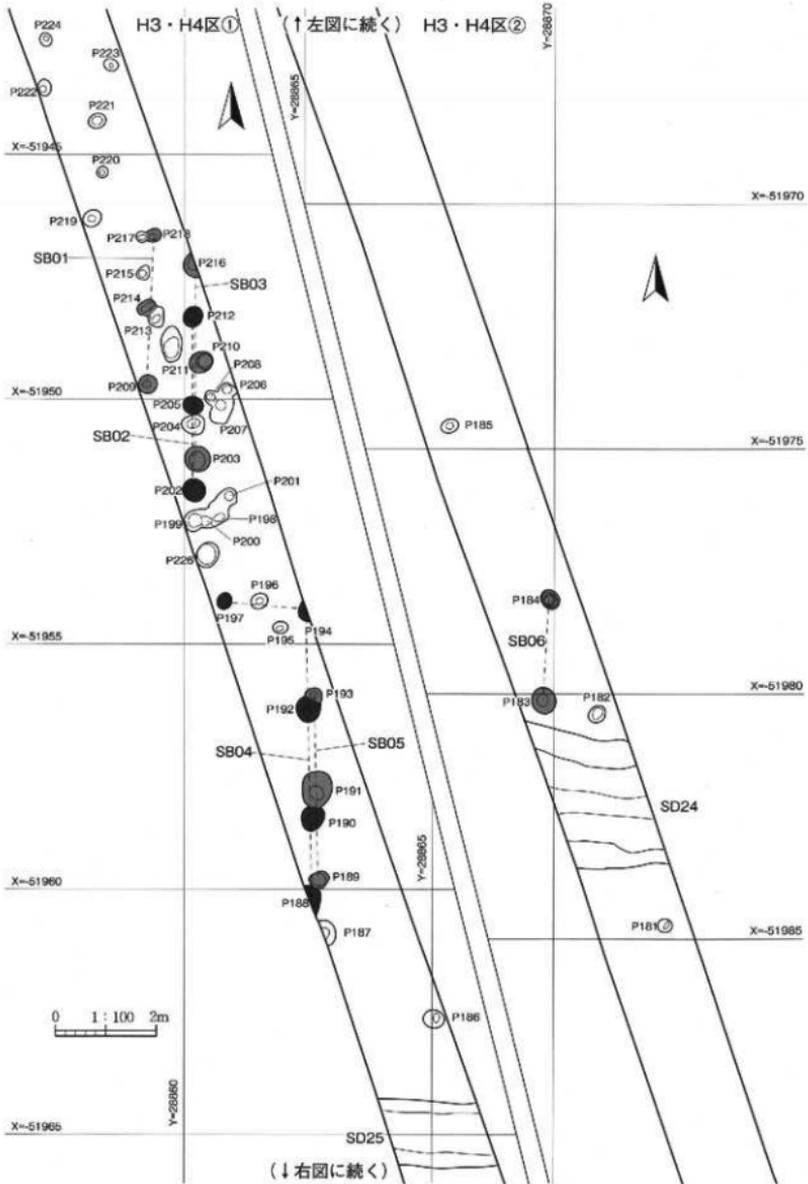
(前巻)

調査No	区域名	出土地点	層位	品名	形状	長さ	幅	高さ	重量 (g)	備考	図録No	写真No	
													901
902	1B	SK32	埋土2層 (炭化物)	不明	不明	-	-	-	○	0.08	名頭	-	63
903	Q2	SK36 ベクトC	埋土1層	不明	不明	-	-	-	×	0.9	名頭	-	63
904	Q1	T36 北側トレンチ	埋土1層	不明	不明	-	-	-	×	11.0	大型骨片	-	63

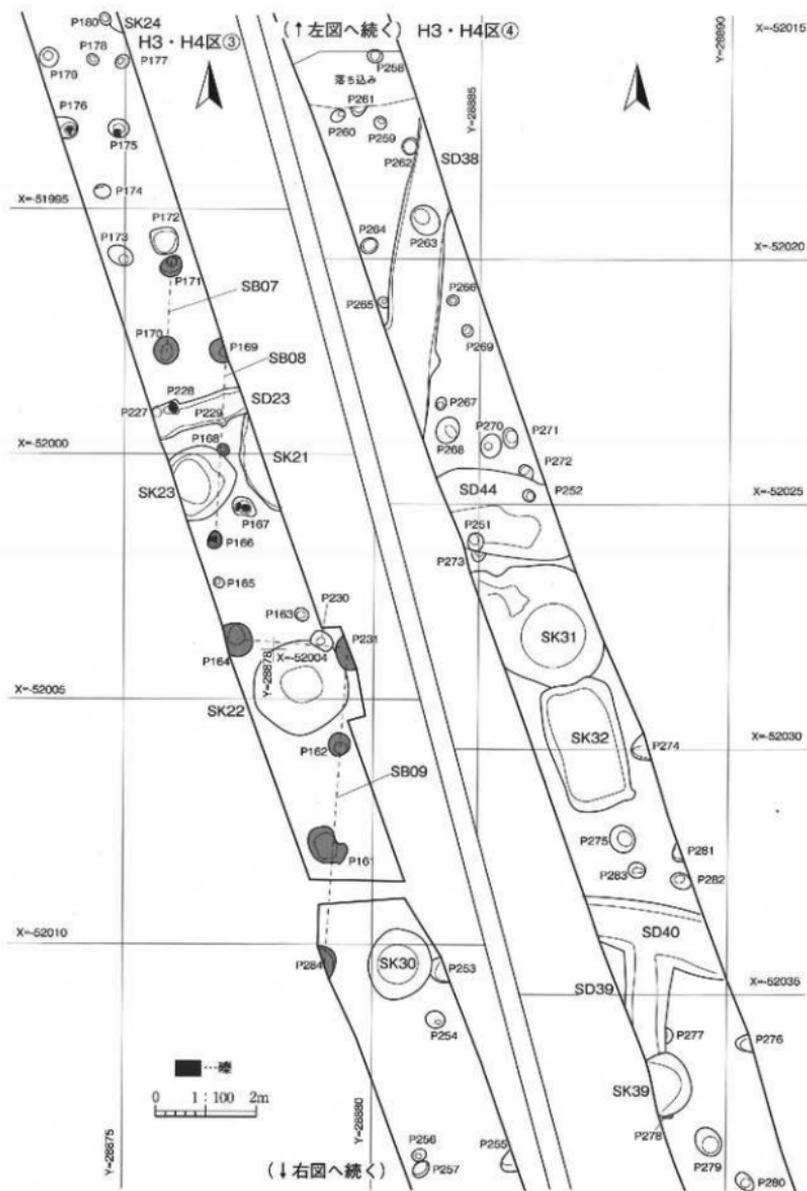
第22表 植物遺体観察表

(※重量: (円全量))

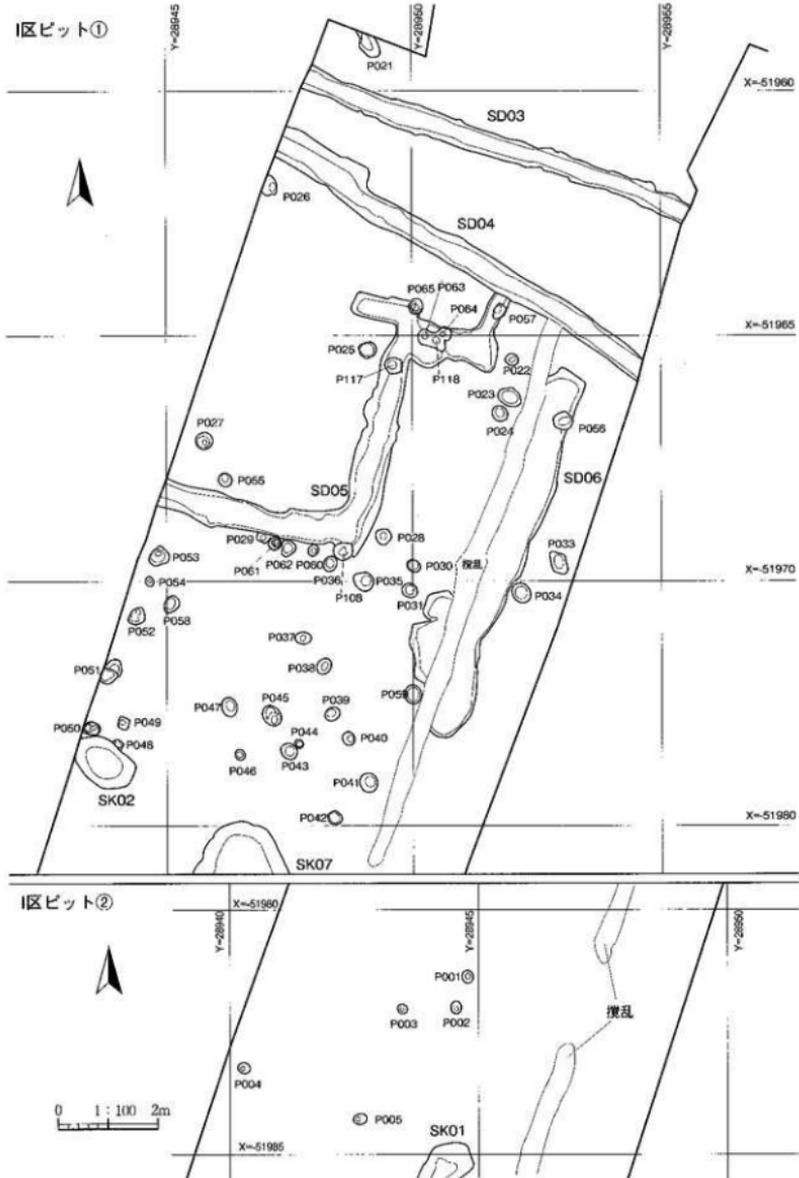
掲載No	区域名	出土地点	層位	種名	重量(g)	備考	図説No	写真No
951	I	SD07	底面	クルミ?	6.2		-	63
952	II	SD17	埋土中位	マツゴツクリ	6.7		-	63
953	H2	SD17	(No.14)	モモ	2.9		-	63
954	Q1	SD31 南側	埋土2層~底面	モモ	4.5	分析2.7g	1	63
955	Q1	SD34	底面703 (No.19) 内の土	不明小さいもの	0.2	分析 - 5	-	63
956	Q1	SD34	底面703 (No.19) 内の土	不明小さいもの	-	分析 6	-	63
957	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	クルミ	5.1	分析5.1g	1	63
958	Q2	SD35 南側	埋土1層	クルミ	4.4		-	63
959	Q2	SD35 ベルトII	埋土3層	クルミ	6.5		-	63
-	Q2	P235		クルミ	2.5		-	-
-	I	SK06 東平	埋土3層	モモ	0.6		-	-
-	H3	SK32 西側	埋土2層 (炭化材) 上位	モモ	0.8	分析0.8g	1	-
-	I	SD04	埋土1層	モモ	0.7		-	-
-	I	SD04 東側	埋土1層	モモ	0.2		-	-
-	I	SD07	底面	モモ	0.8		-	-
-	II	SD17	埋土中位	モモ	15.2		-	-
-	H4	SD24	埋土2~3層	不明	0.6		-	-
-	Q1	SD34	底面703 (No.19) 内の土	不明小さいもの	0.1		-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	モモ	1.5		-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	クルミ	3.0		-	-
-	Q2	SD34 北ベルト	埋土1層	クルミ	1.8		-	-
-	Q2	SD35 南側	埋土1層	クルミ	2.8		-	-
-	Q2	SD35 南側	埋土1層	クルミ	1.3		-	-
-	Q2	SD35 ベルトH	埋土1層	クルミ	1.7		-	-
-	Q2	SD35 ベルトH	埋土下位 (砂礫層)	クルミ	3.6		-	-
-	Q2	SX01 ベルト		クルミ	1.6		-	-
-	H	T43	II層	モモ	1.2		-	-
-	Q1	Q1区 南側	II層 (5回目)	モモ	1.4		-	-
-	Q1	Q1区 北側	II層 (7回目)	クルミ	4.1		-	-
-	Q1	T58 北端	II層	モモ	1.1		-	-
-	Q1	T58 北端	II層	モモ	6.5		-	-
-	Q1	T58	II層	クルミ	5.2		-	-
-	Q1	T58	II層	モモ	1.8		-	-
-	Q1	Q1区	排土	クルミ	1.7		-	-
-	Q2	T58	II層	モモ	1.6		-	-



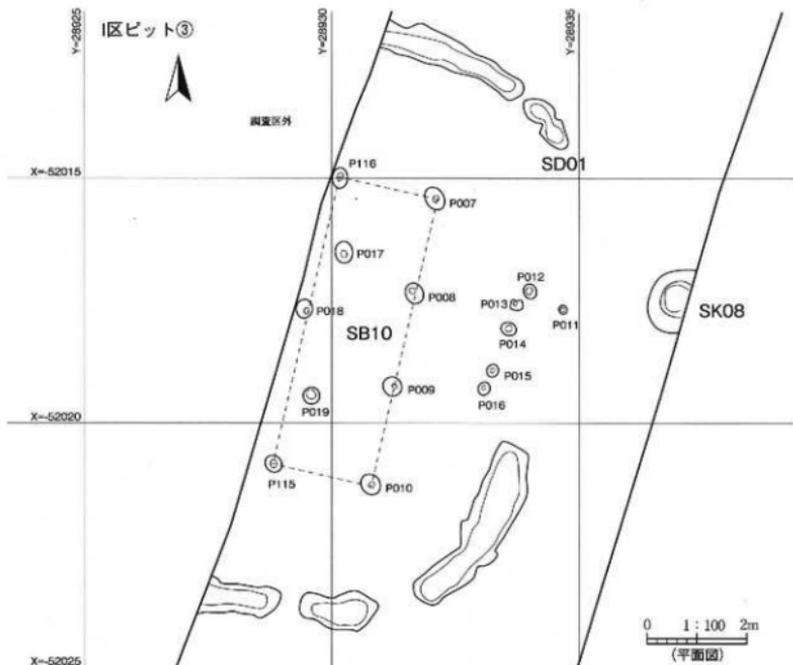
第17図 H3・H4区ピット①・②



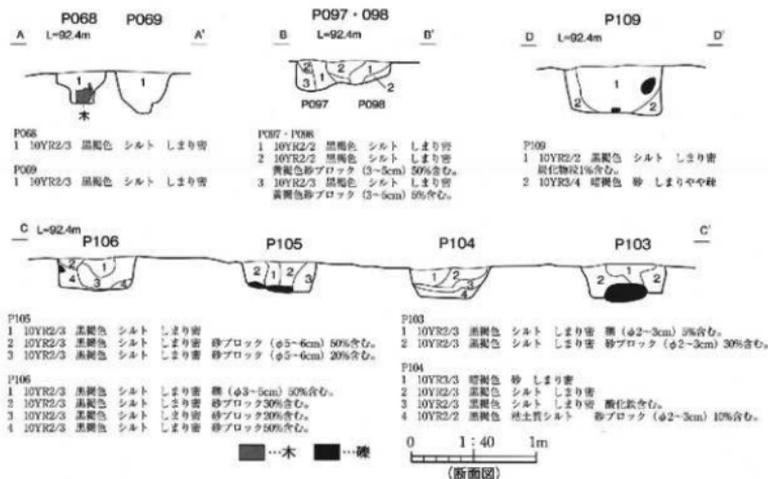
第18図 H3・H4区ピット③・④



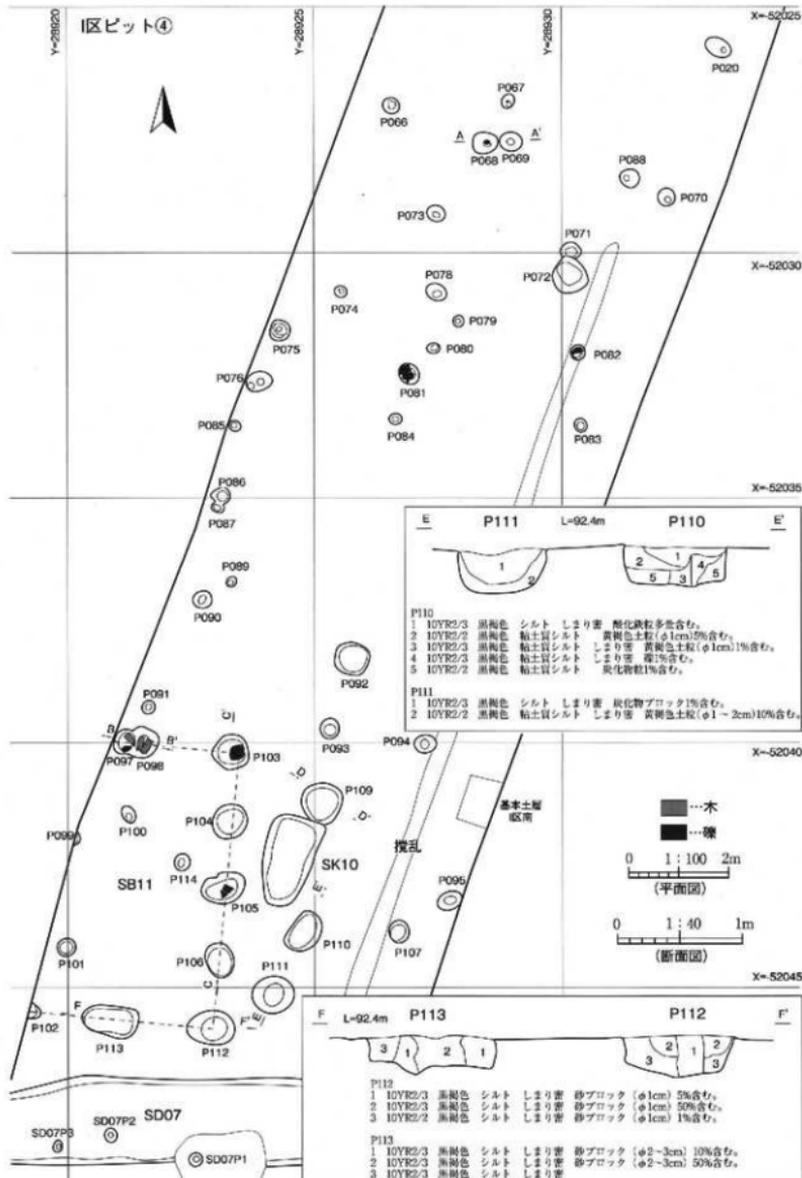
第19図 I区ビット①・②



Ⅰ区ビット④断面図

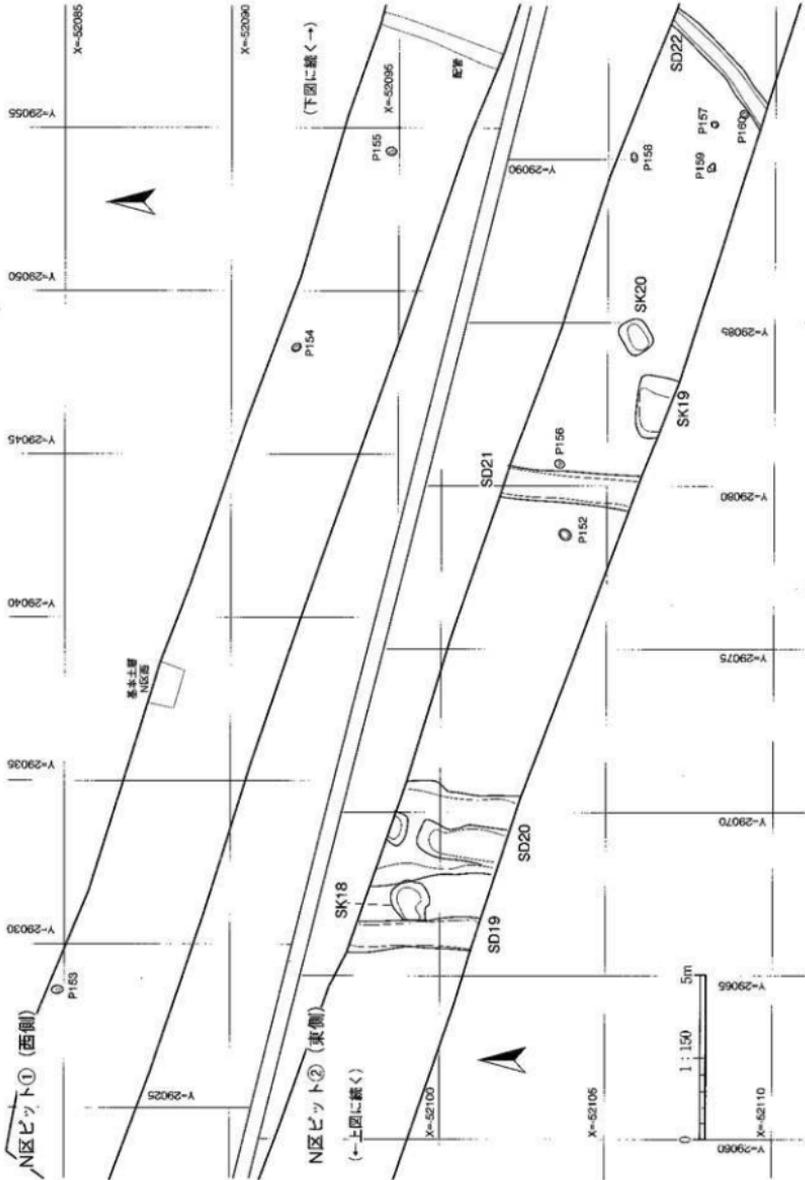


第20図 Ⅰ区ビット③・④(1)



第21図 区ビット④(2)



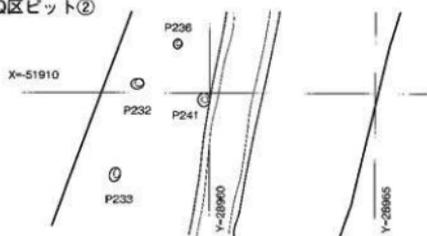


第23図 N区ビット

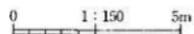
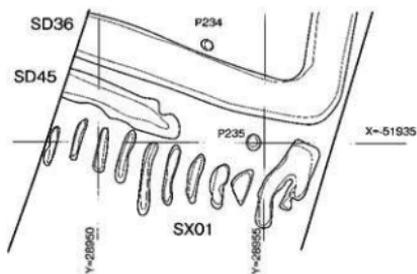
Q区ビット①



Q区ビット②



Q区ビット③



第24図 Q区ビット

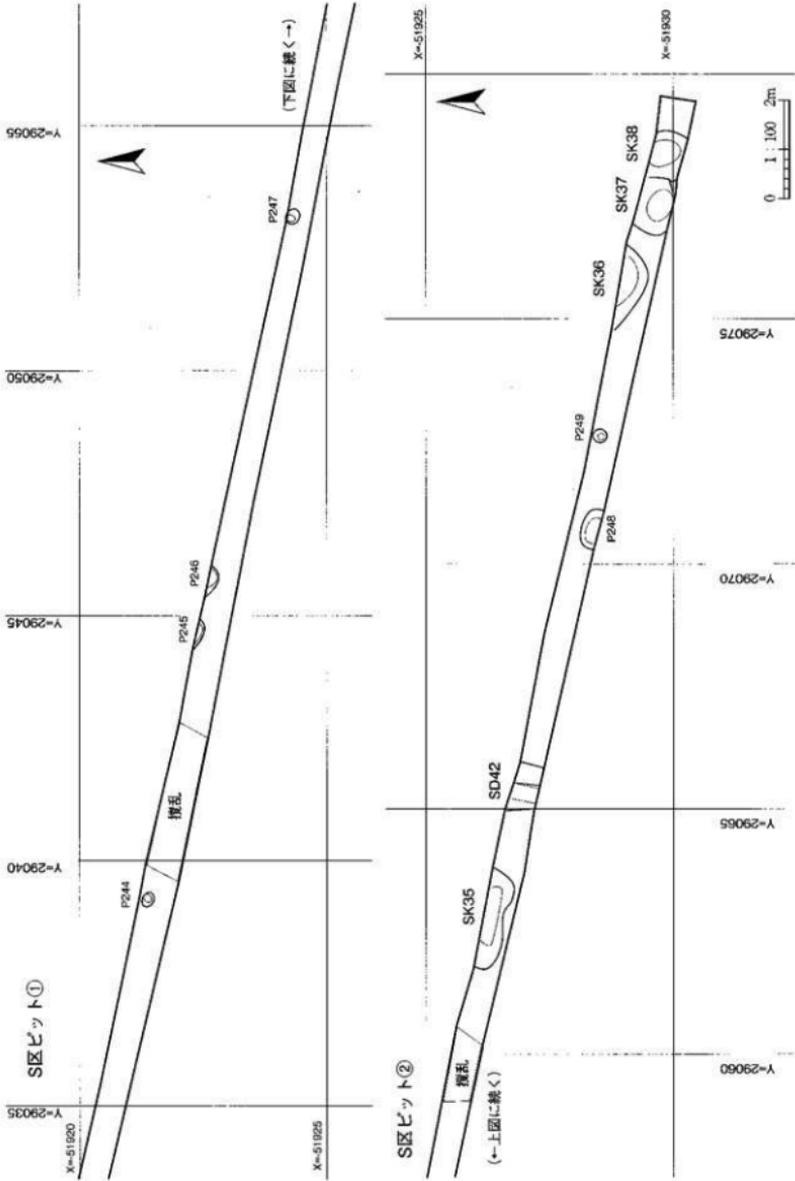
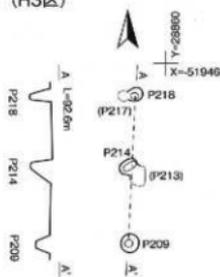
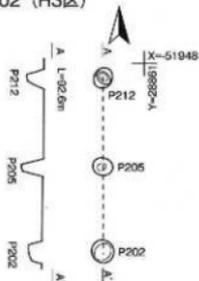


図 52 ビット区 S 区 図 52 概

SB01 (H3区)



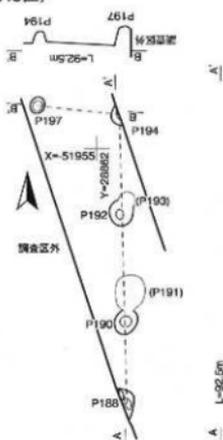
SB02 (H3区)



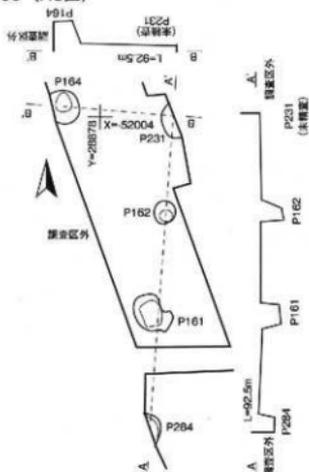
SB03 (H3区)



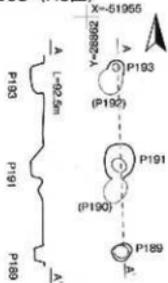
SB04 (H3区)



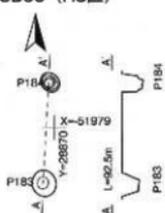
SB09 (H3区)



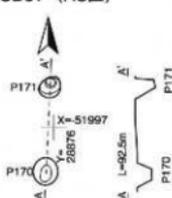
SB05 (H3区)



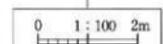
SB06 (H3区)



SB07 (H3区)

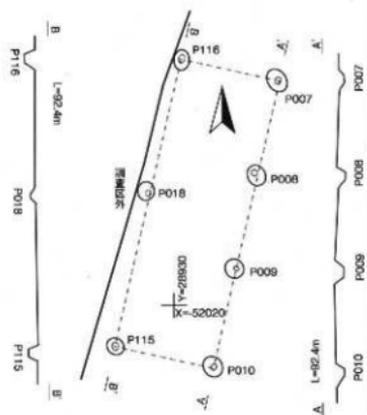


SB08 (H3区)

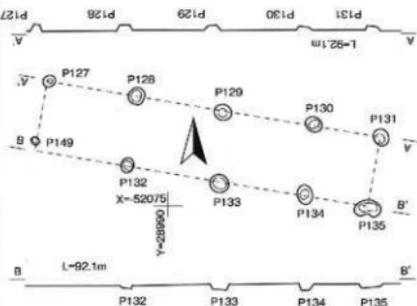


第 26 图 SB01 ~ 09

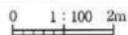
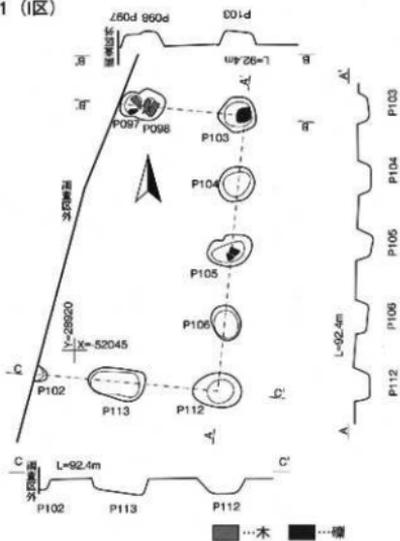
SB10 (I区)



SB12 (M区)

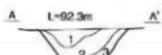
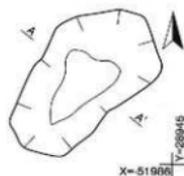


SB11 (II区)



第27図 SB10 ~ 12

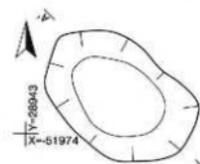
SK01 (I区)



SK01

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
砂ブロック (φ3cm) 5%含む。
- 3 10YR2/1 黒褐色 粘土質シルト しまり密

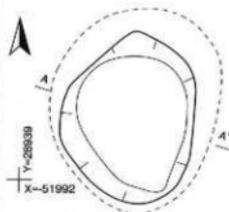
SK02 (I区)



SK02

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
砂ブロック (φ5cm) 5%含む。埋め戻し。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
灰色粘土ブロック (φ2cm) 3%  
-砂ブロック (φ2cm) 3%含む。埋め戻し。
- 3 10YR1.7/1 黒色 シルト しまり密  
灰色粘土ブロック (φ2cm) 10%  
-砂ブロック (φ2cm) 10%含む。埋め戻し。
- 4 10YR4/1 褐色 粘土 しまりやや緩  
砂ブロック (φ3cm) 10%含む。埋め戻し。

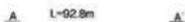
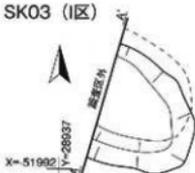
SK05 (I区)



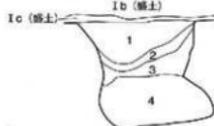
SK05

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
礫 (5-20cm) 多量・砂ブロック (1cm) 10%含む。  
埋め戻し。

SK03 (I区)



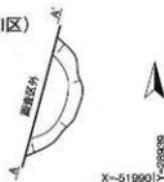
Ia (盛土)



SK03

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
- 2 砂ブロック (φ2-5cm) 5%含む。埋め戻し。
- 3 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
砂ブロック (φ2-5cm) 10%含む。埋め戻し。
- 4 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密  
砂ブロック (φ2-5cm) 30%含む。埋め戻し。
- 5 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまりやや緩  
自然埋戻。

SK04 (I区)



Ia (盛土)



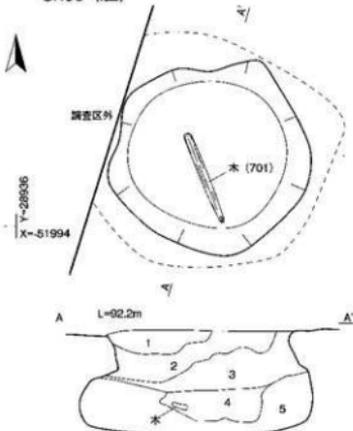
SK04

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト  
砂ブロック (φ1cm) 10%含む。埋め戻し。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト  
粘土ブロック (φ1-2cm) 5%含む。埋め戻し。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト  
粘土ブロック (φ3-5cm) 5%・礫 (φ5cm) 2%含む。埋め戻し。
- 4 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
深い層状の褐色粘土含む。埋め戻し。



第28図 SK01～05

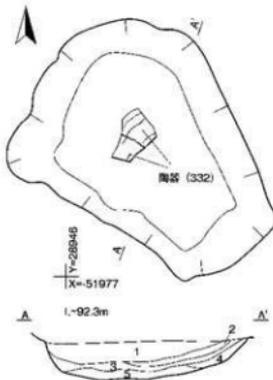
SK06 (I区)



SK06

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 海山粒20%含む。
- 2 10YR5/2 濃い黄褐色 砂質シルト しまり密 器状の酸化鉄を含む。
- 3 10YR17/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎 器状の酸化鉄を含む。
- 4 10YR1/1 極淡色 シルト 砂質ブロック状5%含む。
- 5 10YR1/3 に近い黄褐色 砂 しまり疎 器状の酸化鉄・黒色シロブロックを含む。

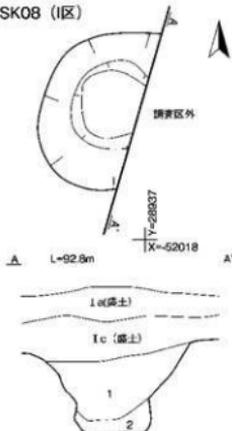
SK07 (I区)



SK07

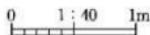
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 黄褐色土粒 ( $\phi=1\text{mm}$ ) 1%含む。自然堆積。
- 2 10YR4/4 褐色 砂 しまり密 自然堆積。
- 3 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 砂10%含む。自然堆積。
- 4 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 砂50%含む。自然堆積。
- 5 10YR4/1 褐色色 粘土 しまり密 砂10%・酸化鉄を含む。自然堆積。

SK08 (I区)

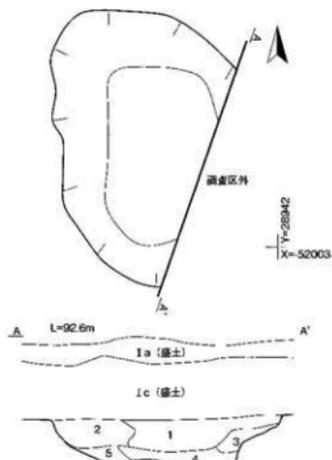


SK08

- 1 10YR17/1 黒色 粘土質シルト しまり密
- 2 10YR1/1 極淡色 粘土質シルト しまりやや疎 砂少量含む。



SK09 (I区)

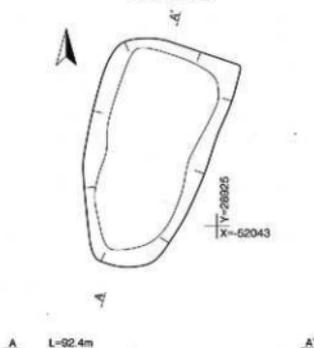


SK09

- 1 10YR17/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎
- 2 10YR17/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎 に5%黄褐色粘土ブロック ( $\phi=10\text{cm}$ ) 少量含む。
- 3 10YR3/3 暗褐色 粘土 しまり密
- 4 10YR2/1 黒色 砂質シルト しまりやや疎 に5%黄褐色粘土ブロック ( $\phi=5\text{cm}$ ) 5%含む。
- 5 10YR4/4 褐色 砂 しまり密

第29図 SK06~09

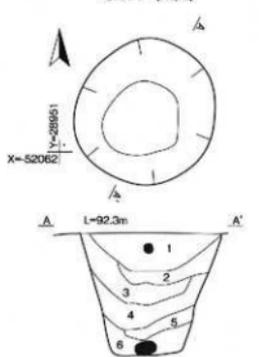
SK10 (I区)



SK10

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
砂・黄褐色土ブロック含む。底の脱し。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
黄褐色土ブロック・砂含む。底の脱し。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
砂・黄褐色土ブロック1層より少量含む。底の脱し。
- 4 10YR2/3 黄褐色 砂質シルト  
砂多量含む。底の脱し。

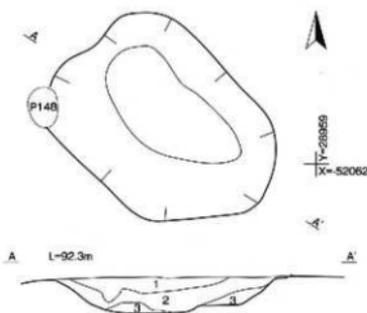
SK11 (M区)



SK11

- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密  
礫 (5cm) 1%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密  
黄褐色土ブロック (3-5cm) 10%含む。
- 3 10YR2/1 黒色 粘土 しまり密
- 4 10YR2/1 黒色 粘土 しまり密や中密  
黄褐色土ブロック 10%含む。
- 5 10YR5/6 黄褐色 粘土 しまり疎
- 6 10YR2/3 黒褐色 砂 しまり疎  
礫 (5-10cm) 33%含む。

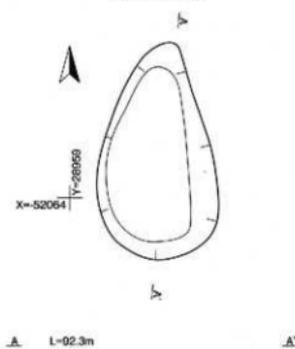
SK12 (M区)



SK12

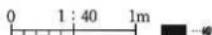
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
黄褐色土塊2%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
- 3 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密  
褐色粘土ブロック (φ3-6cm) 60%含む。

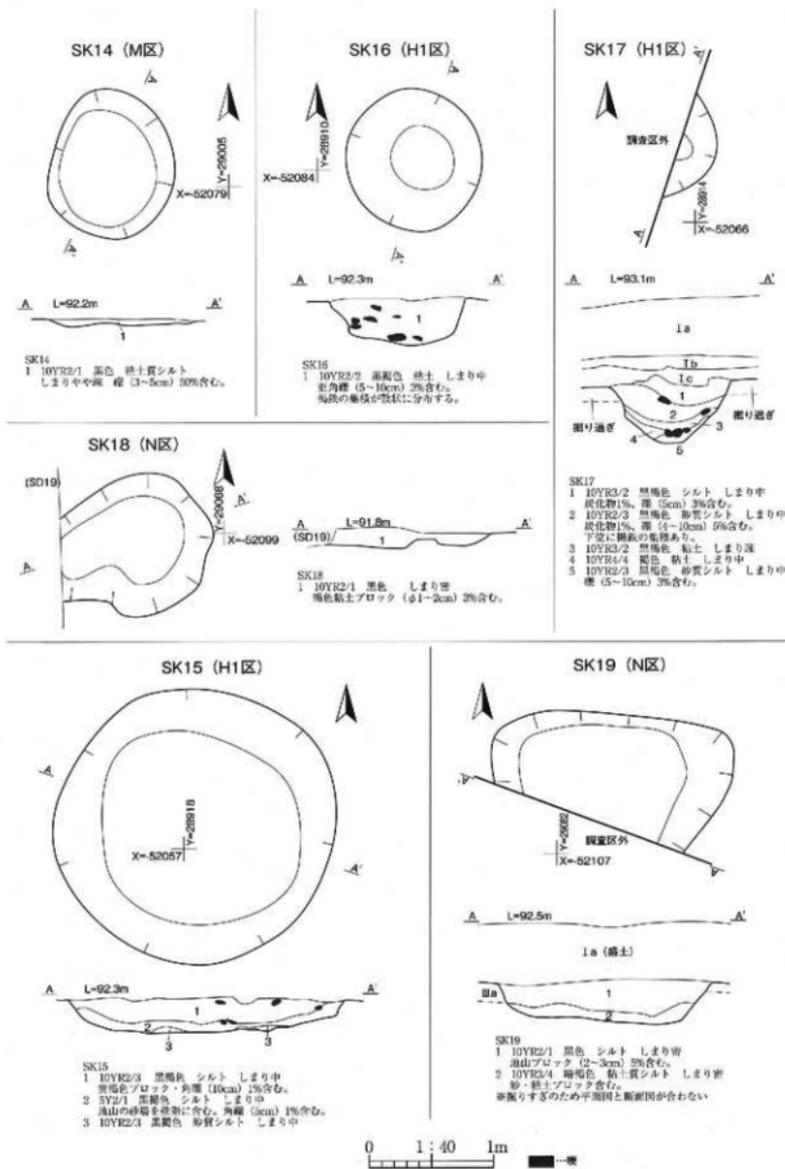
SK13 (M区)



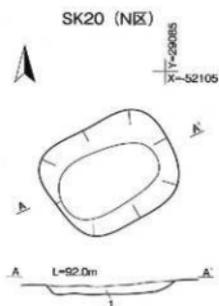
SK13

- 1 10YR2/1 黒色 シルト  
黄褐色土ブロック (φ1-2cm) 10%含む。

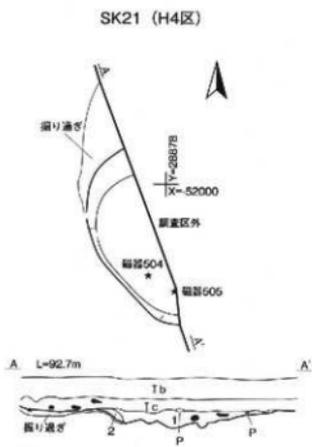
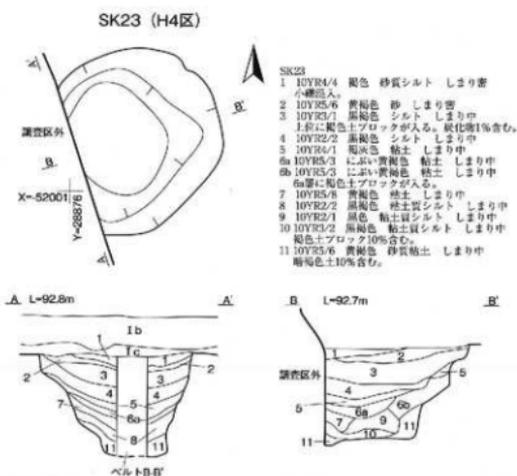




第31図 SK14~19



SK20  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
にぶい黄褐色砂ブロック (3-5cm) 3%含む。

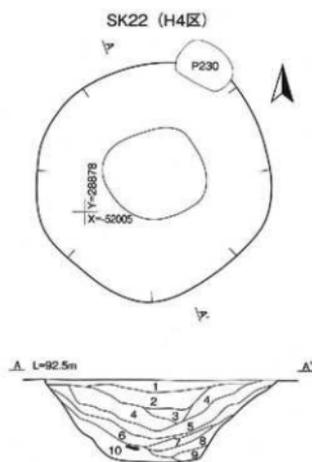


SK21  
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
褐色土ブロック20%含む。礫 (φ30mm) 燻硝石片含む。  
2 10YR3/4 黒褐色 粘土 しまり中 褐色土30%含む。

0 1:40 1m

\* 遺物出土地点

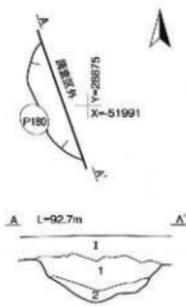
■ 燻硝石



SK22  
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 炭化物1%含む。  
2 10YR1/3 暗褐色 シルト しまり密 褐色土1%含む。  
3 10Y7/14 暗褐色 シルト しまり密  
4 10YR3/2 黒褐色 シルト しまり密  
5 10YR1/2 黒褐色 シルト しまり密  
6 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト しまり中  
7 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト  
8 10YR5/6 黄褐色 砂 にぶい黄褐色砂 (10YR5/4)との混土  
9 10YR5/6 黄褐色 砂  
10 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土 黒褐色土5%含む。

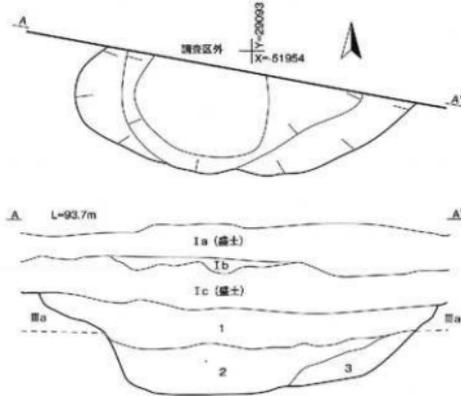
第32図 SK20～23

SK24 (H4区)



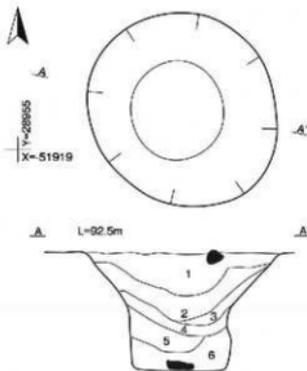
- SK24  
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
 褐色土5%含む。  
 2 10YR2/2 黒褐色 シルト質粘土 しまり中

SK25 (L区)



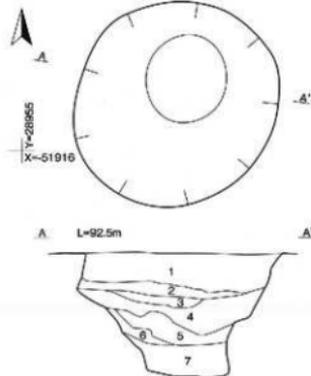
- SK25  
 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
 2 10YR1/1 黒色 粘土質シルト しまり密  
 3 10YR1/1 黒色 粘土質シルト しまり密 地山ブロック (φ3-5cm) 30%含む。  
 ※掘りすぎのため、平面図と断面図が合わない。

SK26 (Q2区)

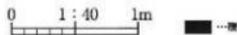


- SK26  
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密  
 二酸化・炭化物質 (φ<1cm) 1%含む。  
 2 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり密  
 黒褐色砂質土ブロック10%含む。  
 3 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 粗集土。  
 4 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト  
 3割の砂ブロック5%含む。  
 5 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや疎  
 薄い層状の砂含む。  
 6 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎  
 薄い層状の砂 5割より少ない含む。

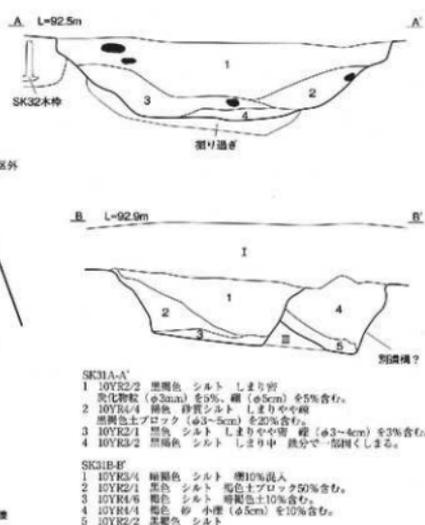
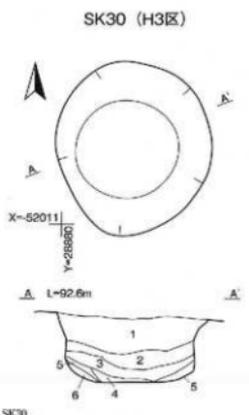
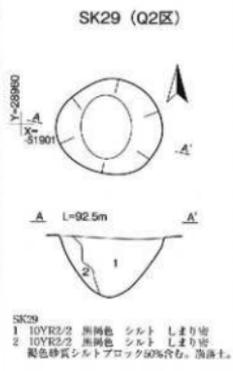
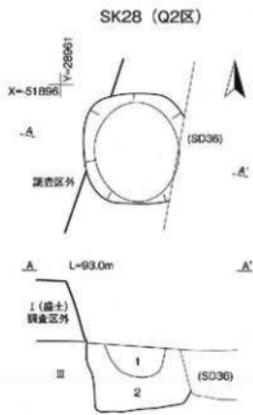
SK27 (Q2区)



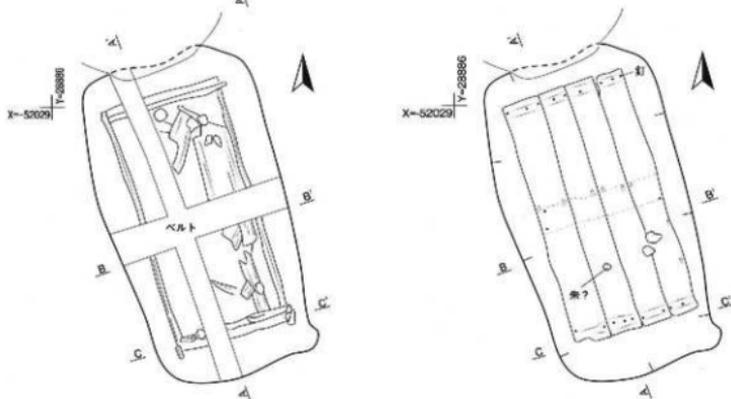
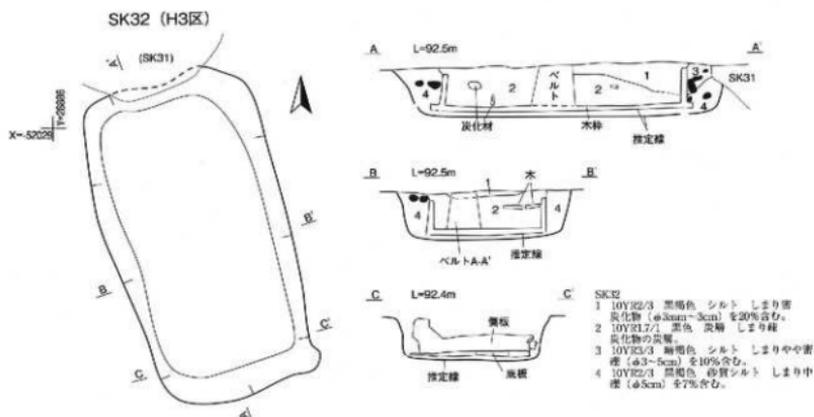
- SK27  
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密  
 黄褐色土ブロック (磁器が多い)・土器破・炭化物粒1%含む。  
 2 10YR3/4 黄褐色 砂  
 3 10YR4/6 褐色 砂質シルト  
 黒褐色土粒10%含む。  
 4 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
 砂ブロック (φ3cm) 10%含む。  
 5 10YR4/4 褐色 シルト 粗集土。  
 6 砂  
 7 10YR4/6 褐色 粘土質シルト 粗集土。



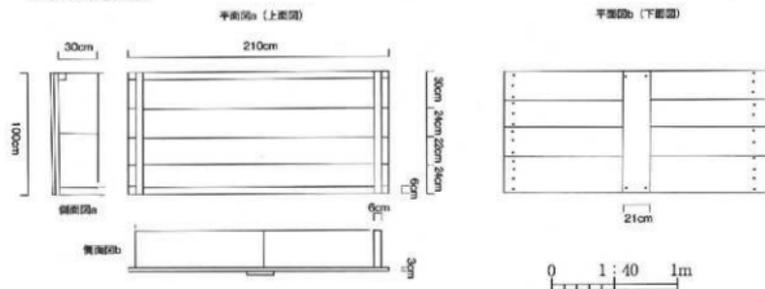
第33図 SK24～27



第34図 SK28～31

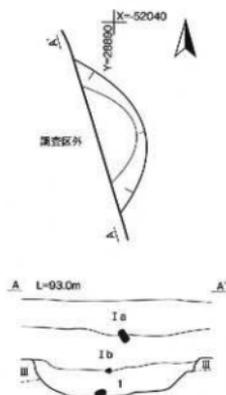


SK32木枠模式図



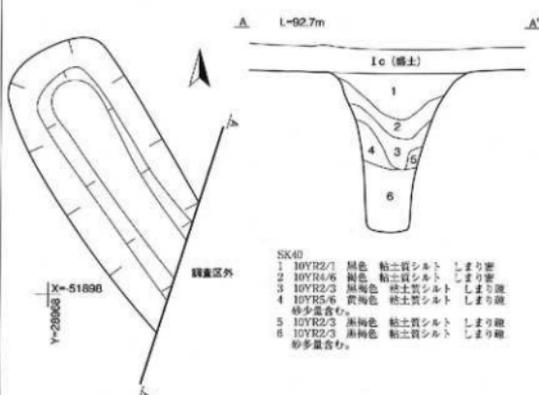
第35図 SK32

SK33 (H3区)



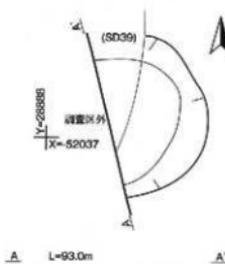
SK33  
1 10YR2/7 暗褐色 シルト しまり中  
 礫3%含む。

SK40 (Q2区)



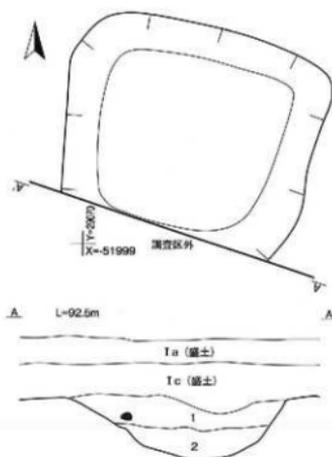
SK40  
1 10YR2/7 褐色 粘土質シルト しまり密  
2 10YR4/6 褐色 粘土質シルト しまり密  
3 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり疎  
4 10YR5/6 黄褐色 粘土質シルト しまり疎  
 砂多量含む。  
5 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり疎  
6 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり疎  
 砂多量含む。

SK39 (H3区)

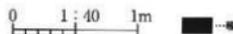


SK39  
1 10YR2/4 暗褐色 粘土質シルト しまり中  
 褐色土塊1%混入。  
2 10YR2/3 暗褐色 粘土 しまり中  
3 10YR2/3 紫色 シルト しまり中  
4 10YR2/3 紫褐色 シルト しまり中  
5 10YR1/1 黒色 シルト しまり中  
 礫6%含む。

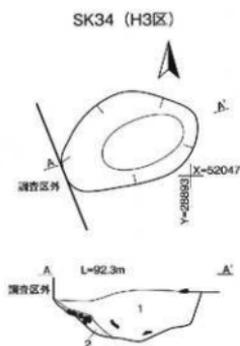
SK41 (R3区)



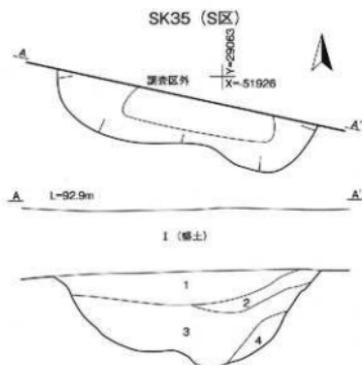
SK41 (HSD20)  
1 10YR2/1 黒色 粘土 しまり密  
 白色粘土ブロック (φ5~6cm) 10%含む。  
2 10YR3/1 黒褐色 粘土 しまりやや疎



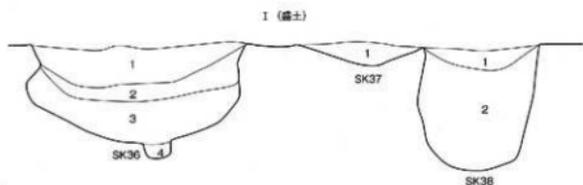
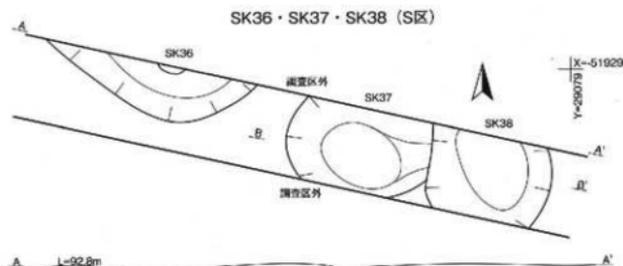
第36図 SK33・39～41



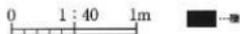
- SK34  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりや中  
 径(φ5~10cm)を3%含む。  
2 10YR2/1 黒色 粘質シルト しまりや中  
 灰褐色土5%含む。(SL380の裡上) SK39→SK39



- SK35  
1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密  
2 10YR4/6 褐色 粘土質シルト しまりやや密  
3 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密  
4 10YR4/6 褐色 粘土質シルト しまりやや密

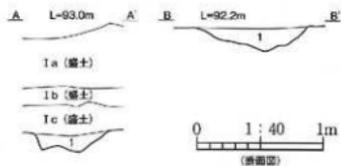


- SK36  
1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや疎  
2 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや疎  
 黄褐色土ブロック3%含む。  
3 10YR4/6 褐色 粘土 しまり密  
4 10YR2/1 黒色 粘土 しまりやや密
- SK37  
1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密
- SK38  
1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密  
2 10YR2/2 黒褐色 粘土 しまり密  
 灰褐色土ブロック・径(φ3~5cm)5%含む。埋め戻し。



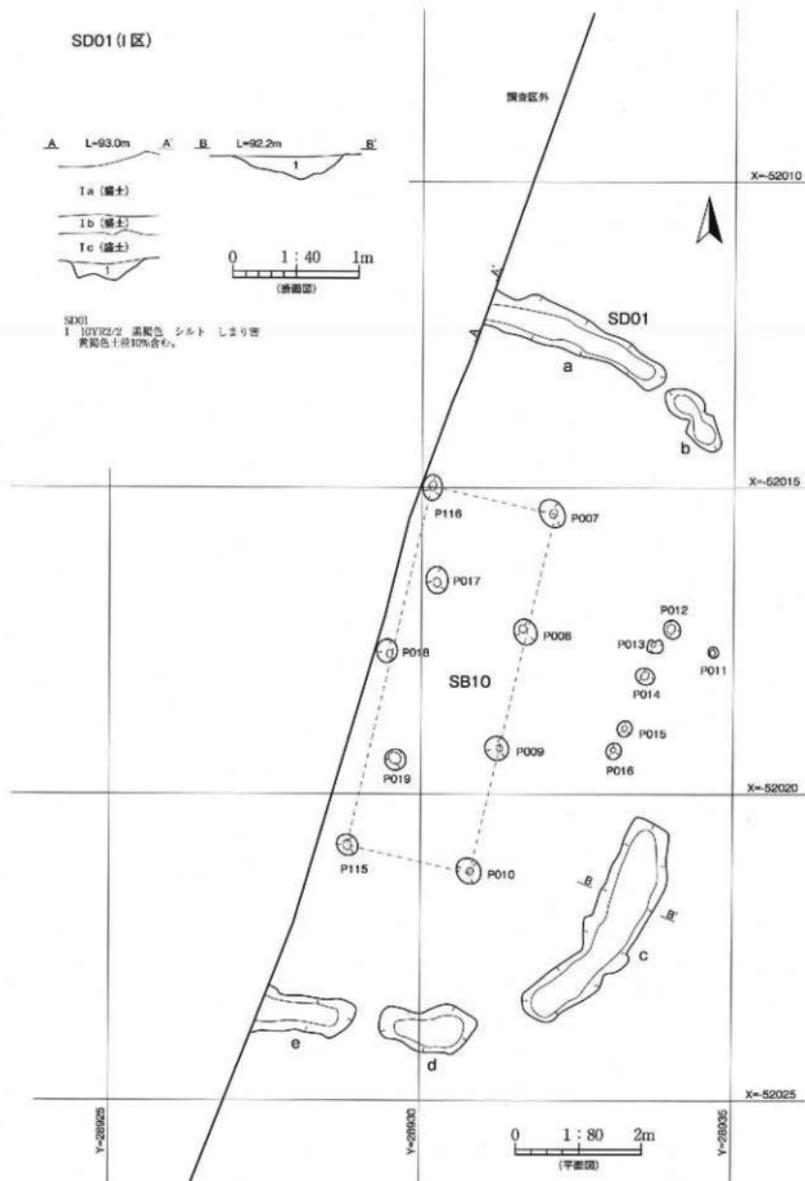
第37図 SK34~38

SD01 (I 区)

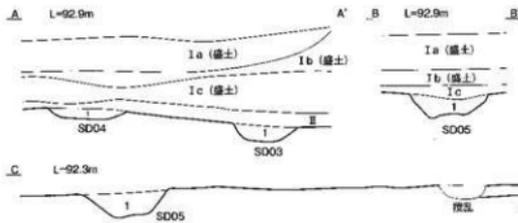
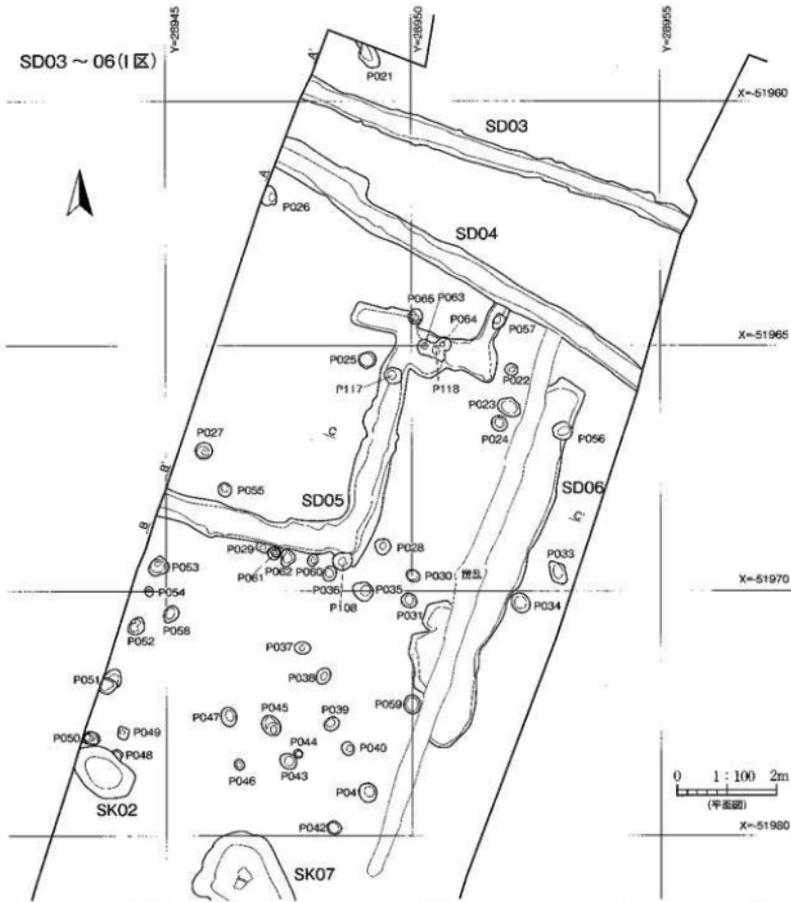


SD01

I 10YR2/2 黄褐色 シルト しまり密  
黄褐色土粒10%含む。



第38図 SD01



SD03  
1 10YR2/1 褐色 シルト、しまり密  
に赤い黄褐色粘土ブロック20%含む。

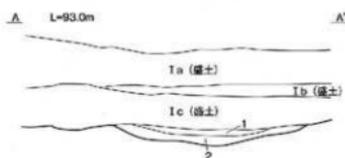
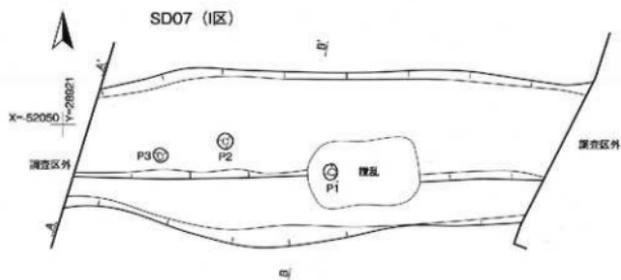
SD04  
1 10YR2/1 褐色 シルト、しまり密  
に赤い黄褐色粘土ブロック10%含む。

SD05  
1 10YR2/1 褐色 シルト、しまり密  
に赤い黄褐色粘土ブロック20%含む。

SD06  
1 10YR2/3 黒褐色 シルト、しまり密  
黒山ブロック多量含む。

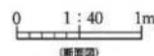
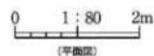


第39図 SD03~06

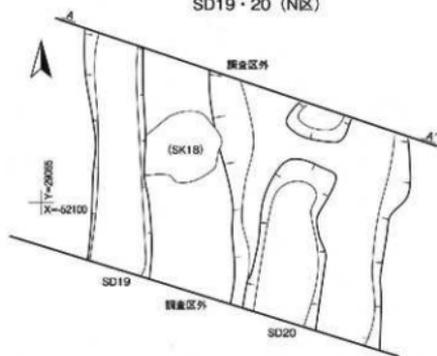


SD07  
 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト・しまり密  
 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト・しまりやや密  
 砂子ロツク (φ3~5cm) 30%含む。

■ 溝

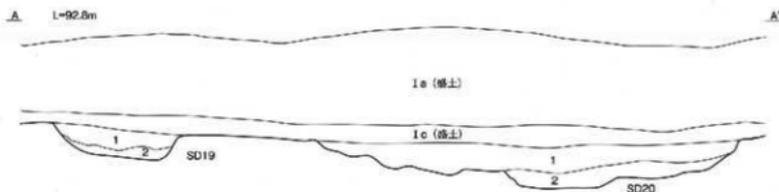


SD19・20 (NE)



SD19  
 1 10YR2/1 黒色 粘土質シルト・しまり密  
 酸化鉄粒少量含む。  
 2 10YR2/2 灰黄褐色 粘土・しまり密  
 黒色土灰 (1~2cm) 5%含む。

SD20  
 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト・しまり密  
 黄褐色土灰 (2~5cm) 10%含む。  
 2 10YR2/1 黒色 粘土・しまり密  
 崩山ノロツク30%・砂子ロツク30%含む。



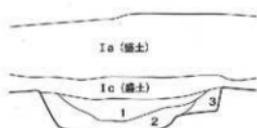
第40図 SD07・19・20







A L=93.0m A'



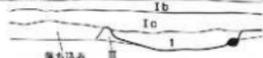
SD12

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
- 2 黄褐色土ブロック (φ1-2cm) 2%・酸化鉄粒10%含む。
- 3 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
- 3 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
- 黄褐色土ブロック (φ1-2cm) 10%含む。

SD18 (H2区)



A L=92.5m A'



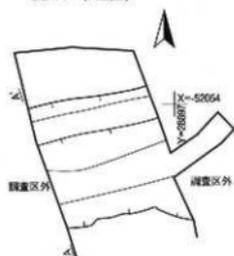
B L=92.5m B'



SD18

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中

SD17 (H2区)



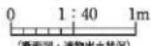
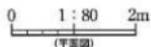
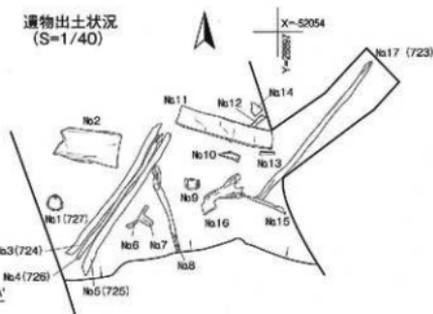
A L=92.5m A'



SD17

- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 褐色土ブロック10%含む。
- 2 10YR3/2 黒褐色 粘土 しまり中 粘性强 酸化鉄粒状に入る。グライ化土層。
- 3 10YR3/2 黒褐色粘土 しまり中 粘性强 グライ化土層。

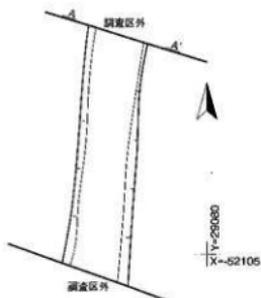
遺物出土状況 (S=1/40)



(断面図・遺物出土状況)

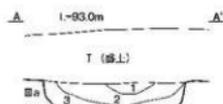
■ 一層

### SD21 (N区)



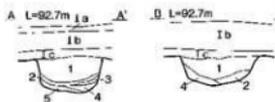
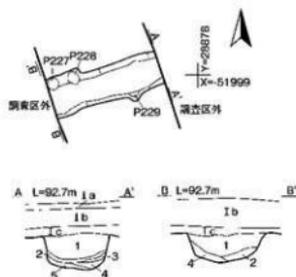
- SD21
- 1 10YR2/1 栗褐色 シルト しまり密  
厚山ブロック (2~3cm) 10%含む。
  - 2 10YR2/1 栗色 粘土質シルト しまり密
  - 3 10YR4/3 濃い灰黄色 粘土 しまり密  
灰色土ブロック30%・砂ブロック30%含む。

### SD22 (N区)



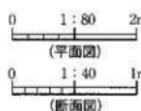
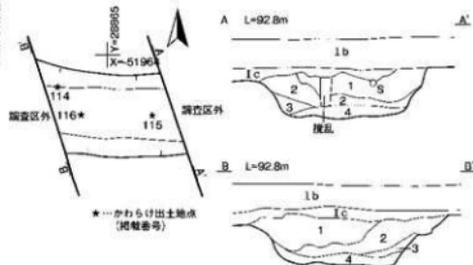
- SD22
- 1 10YR2/1 栗色 シルト しまり密  
厚山ブロック (2~3cm) 50%含む。
  - 2 10YR2/1 栗色 シルト しまり密
  - 3 10YR2/2 栗褐色 シルト しまり密  
厚山砂 (1~2cm) 10%含む。
- ※横断図下げるための、T'間道とX'間道が合わない。

### SD23 (H4区)

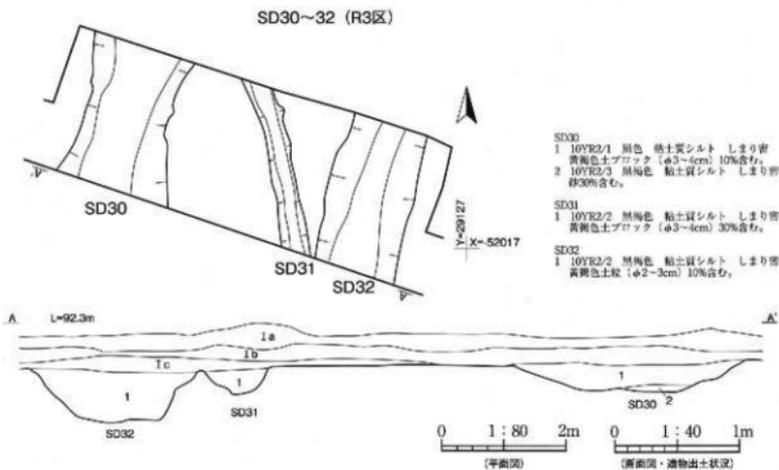
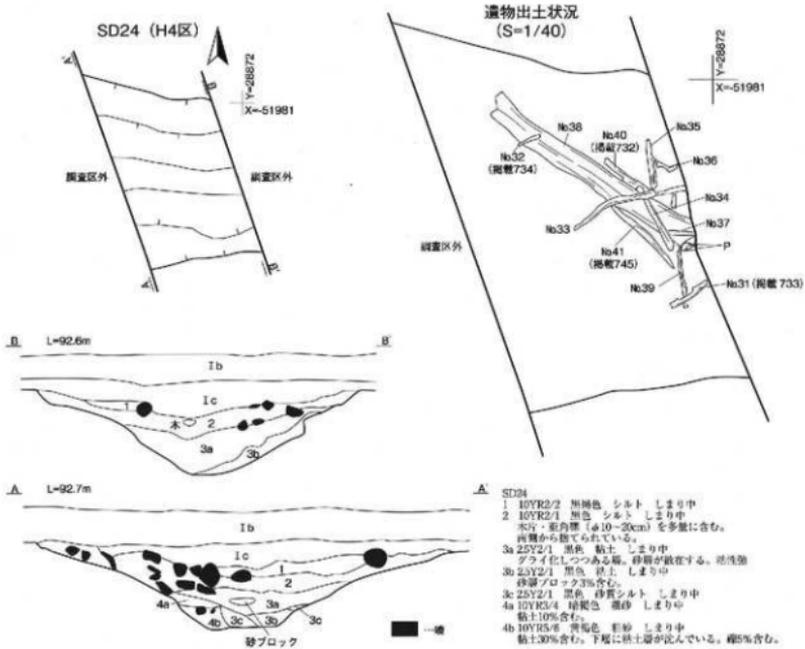


- SD23
- 1 10YR2/3 栗褐色 シルト しまり中
  - 2 10YR2/2 栗褐色 シルト しまり中
  - 3 10YR4/4 無色 砂質シルト しまり中  
無機炭 粘土質シルト しまり中  
腐炭 2.5%含む。
  - 4 10YR5/4 無機炭 粘土質シルト しまり中
  - 5 10YR5/6 栗褐色 砂 しまり中

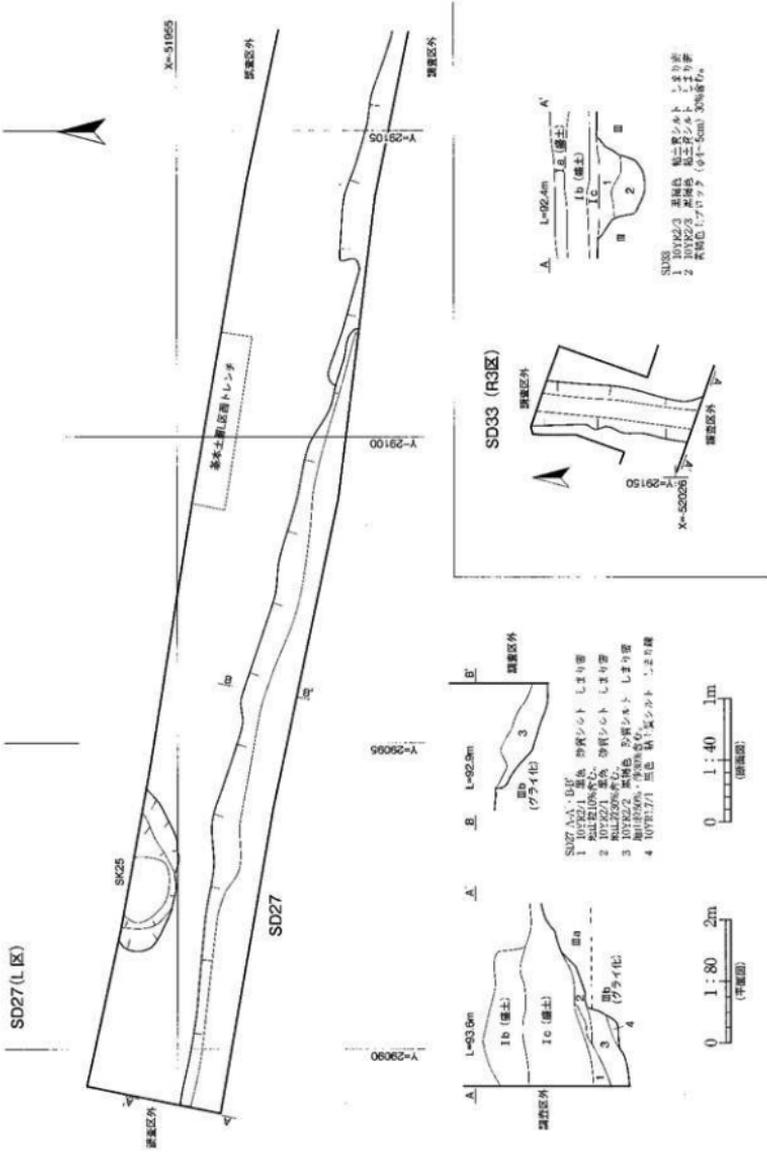
### SD25 (H4区)



- SD25
- 1 10YR2/3 栗褐色 シルト しまり中
  - 2 10YR2/3 暗褐色 シルト しまり中  
灰色土粒10%含む。
  - 3 10YR2/2 栗褐色 シルト しまり中  
腐炭土粒1%含む。
  - 4 10YR2/1 栗色 粘土質シルト しまり中



第45図 SD24・30~32



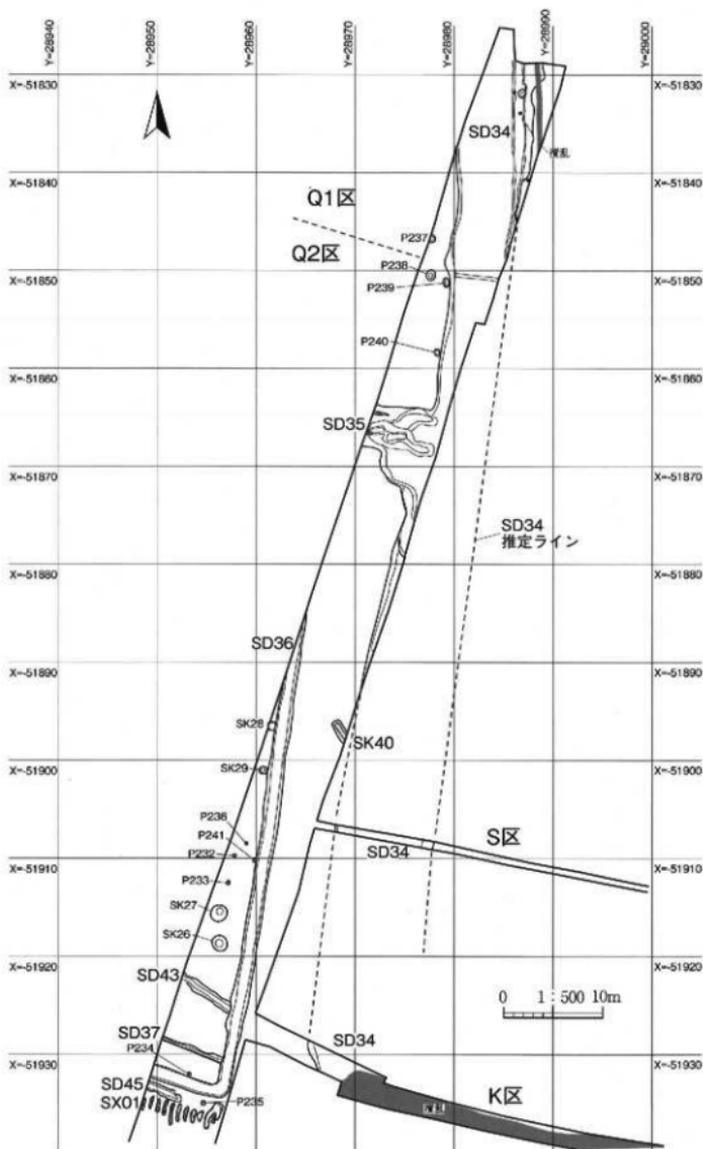
SD27 A.A.: B1  
 1. 10YK21 土留  
 2. 10YK21 土留  
 3. 10YK21 土留  
 4. 10YK21 土留

SD33  
 1. 10YK23 土留  
 2. 10YK23 土留  
 3. 10YK23 土留

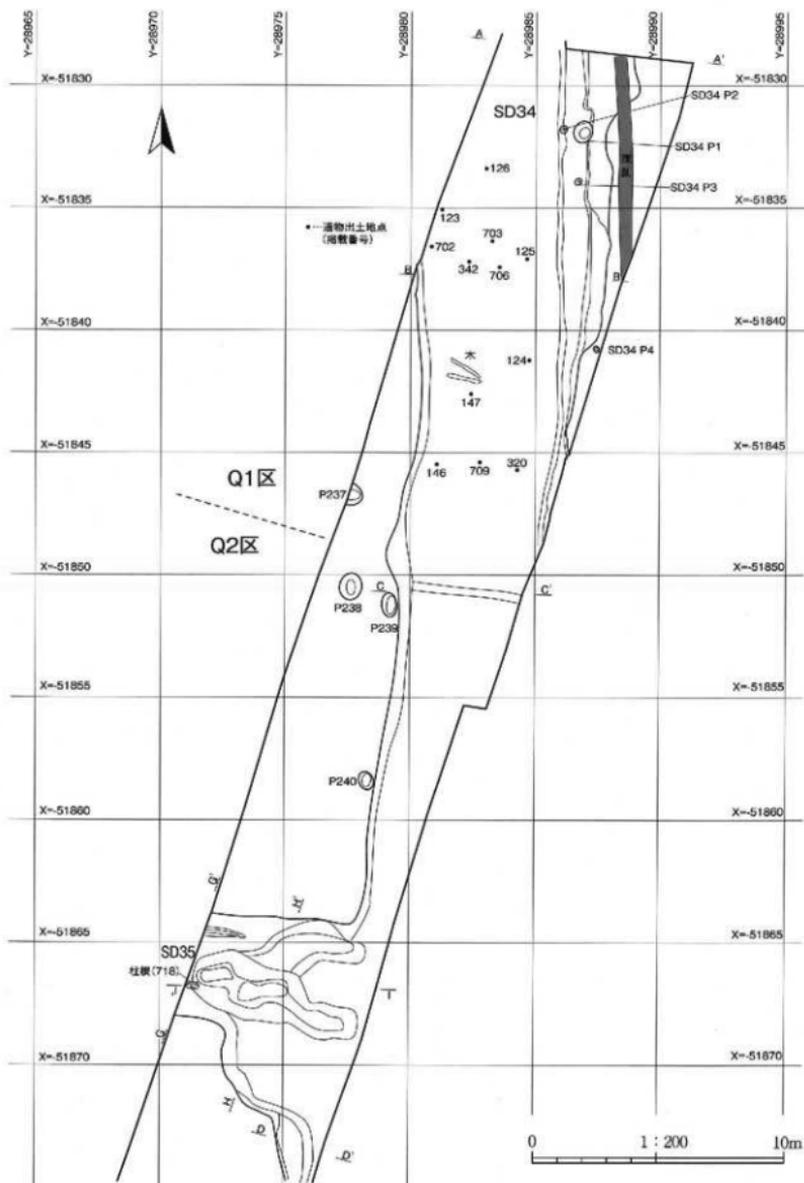


第 46 図 SD27・33

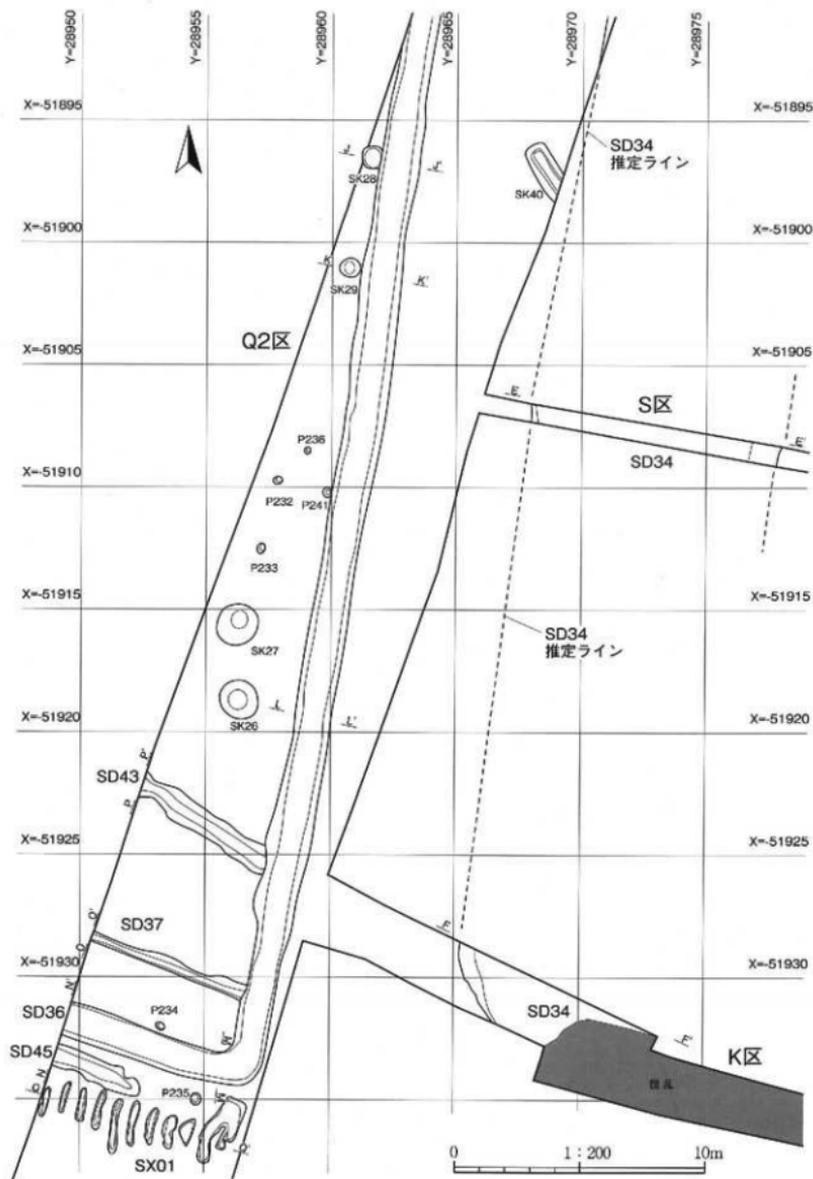




第48図 SD34平面図 (Q区全体)



第49図 SD34・35平面図(Q区北側)

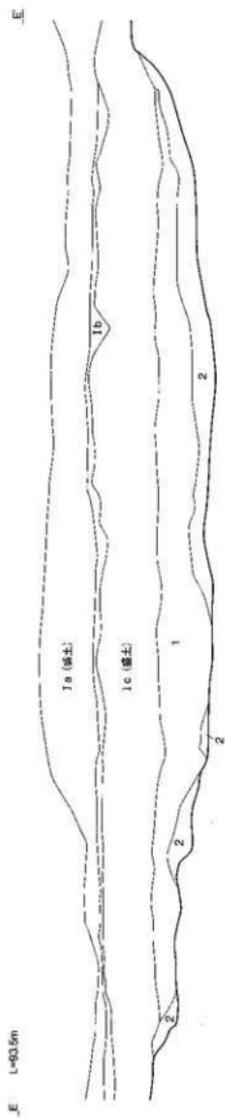


第50図 SD34・36平面図 (Q区南側)



SD34 (断面E)

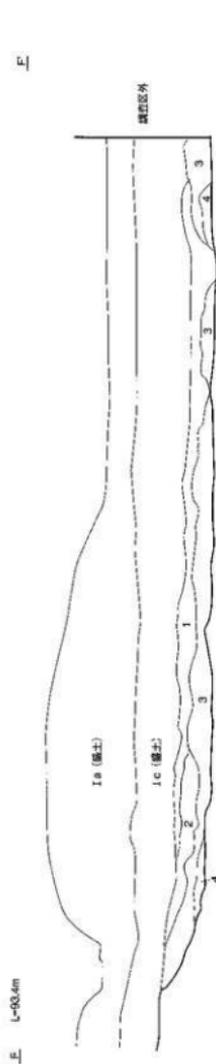
L=93.5m



SD34 断面E  
 1 107E274 埋設品 砂土層 (砂-10%)、土砂小片、炭は埋設品を含む。  
 2 107E272 埋設品 粘土層 (粘土層) 土砂小片、炭は埋設品を含む。  
 3 107E272 埋設品 粘土層 (粘土層) 土砂小片、炭は埋設品を含む。  
 4 107E274 埋設品 砂土層 (砂-10%)、土砂小片、炭は埋設品を含む。

SD34 (断面F)

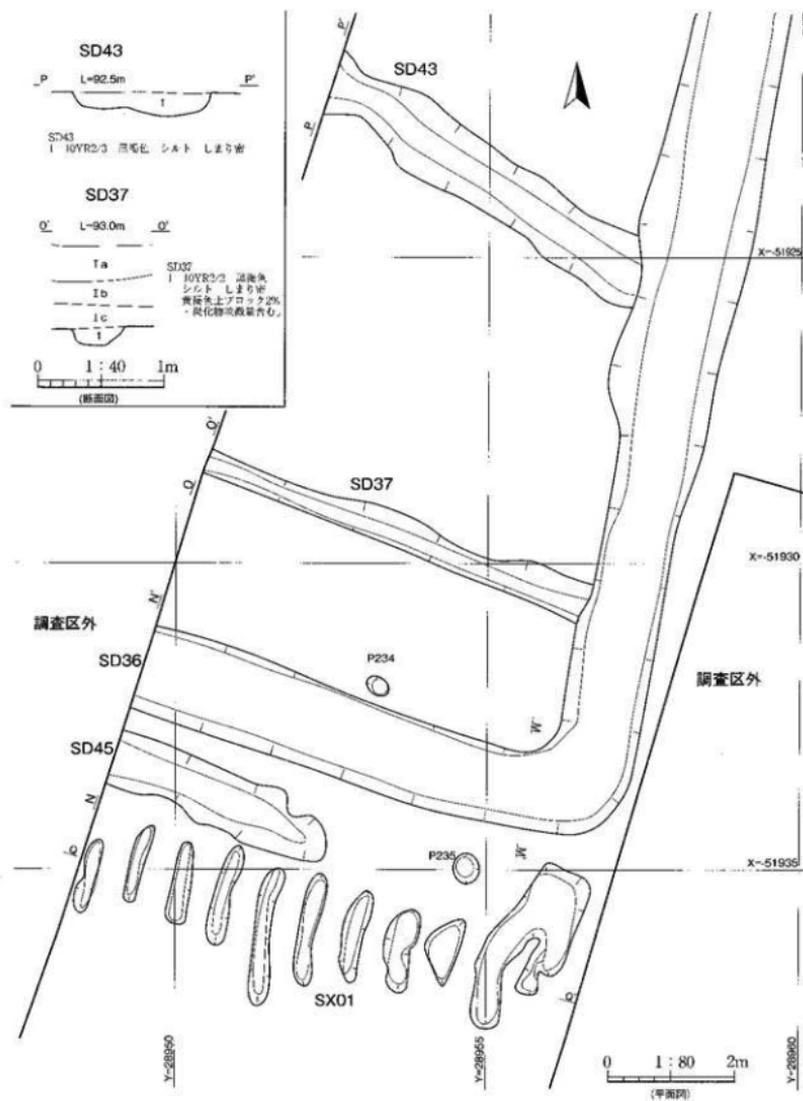
L=93.4m



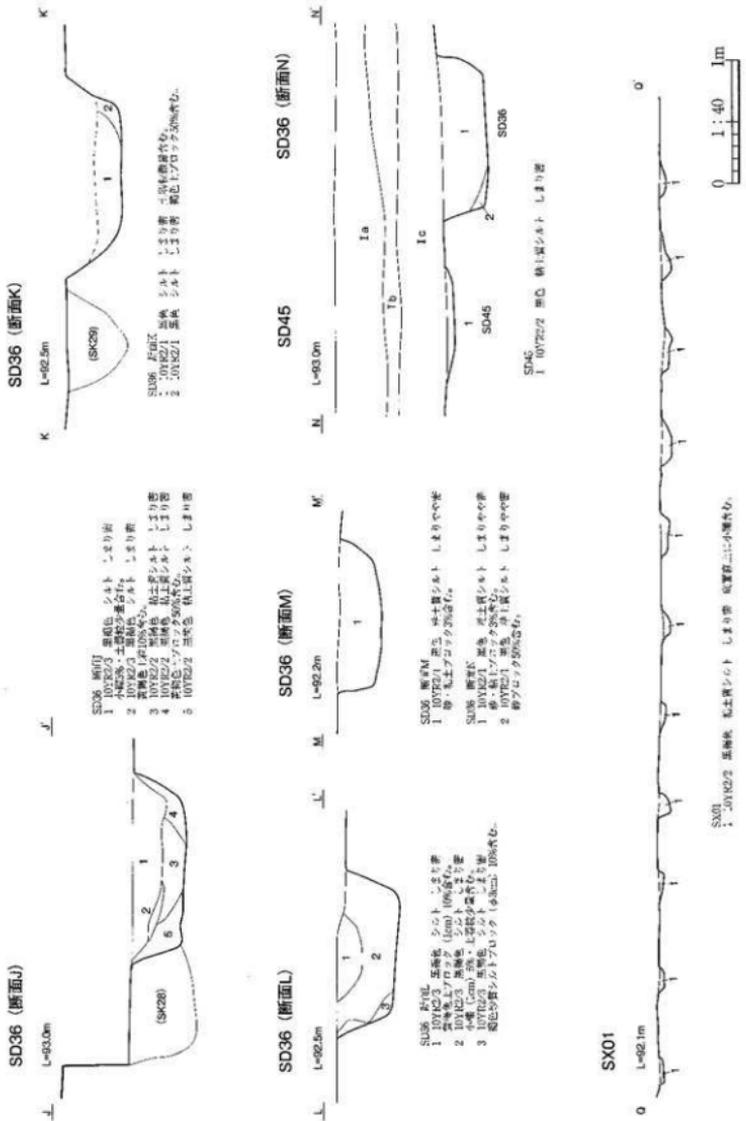
SD34 断面F  
 1 107E274 埋設品 砂土層 (砂-10%)、土砂小片、炭は埋設品を含む。  
 2 107E272 埋設品 粘土層 (粘土層) 土砂小片、炭は埋設品を含む。  
 3 107E272 埋設品 粘土層 (粘土層) 土砂小片、炭は埋設品を含む。  
 4 107E274 埋設品 砂土層 (砂-10%)、土砂小片、炭は埋設品を含む。

第 52 図 SD34 断面図 (2)



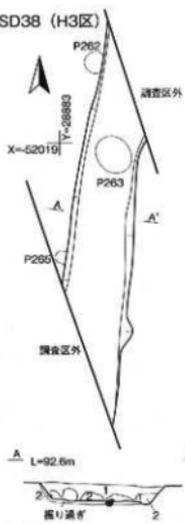


第54図 SD37・43・45、SX01平面図(Q区南端)



第 55 図 SD36・45、SX01 断面図

SD38 (H3区)



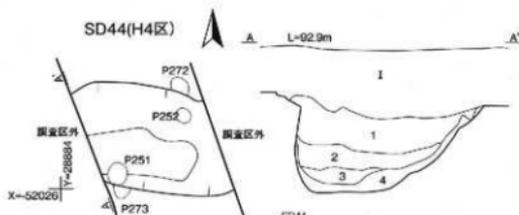
SD38  
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
 2 10YR3/4 褐色 粘土 しまり中  
 高粘性土3%含む。

SD41 (H3区)



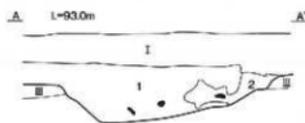
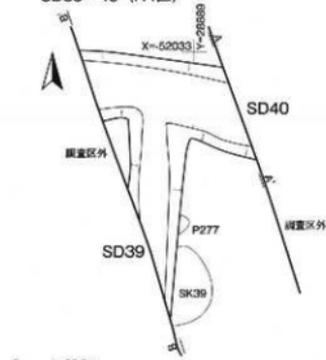
SD41  
 1 10YR4/6 藍色 砂質シルト しまり中  
 高粘性土(10YR3/4)との混土

SD44(H4区)

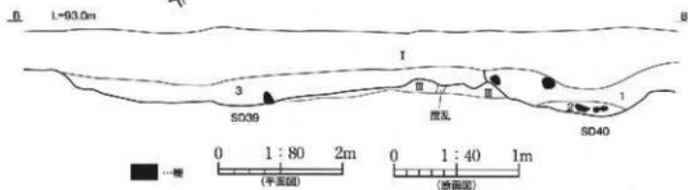


SD44  
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
 2 10YR2/2 黒褐色 粘土 褐色土10%含む  
 3 10YR2/1 灰色 シルト質粘土 しまり中  
 4 10YR5/6 黄褐色 粘土 しまり中

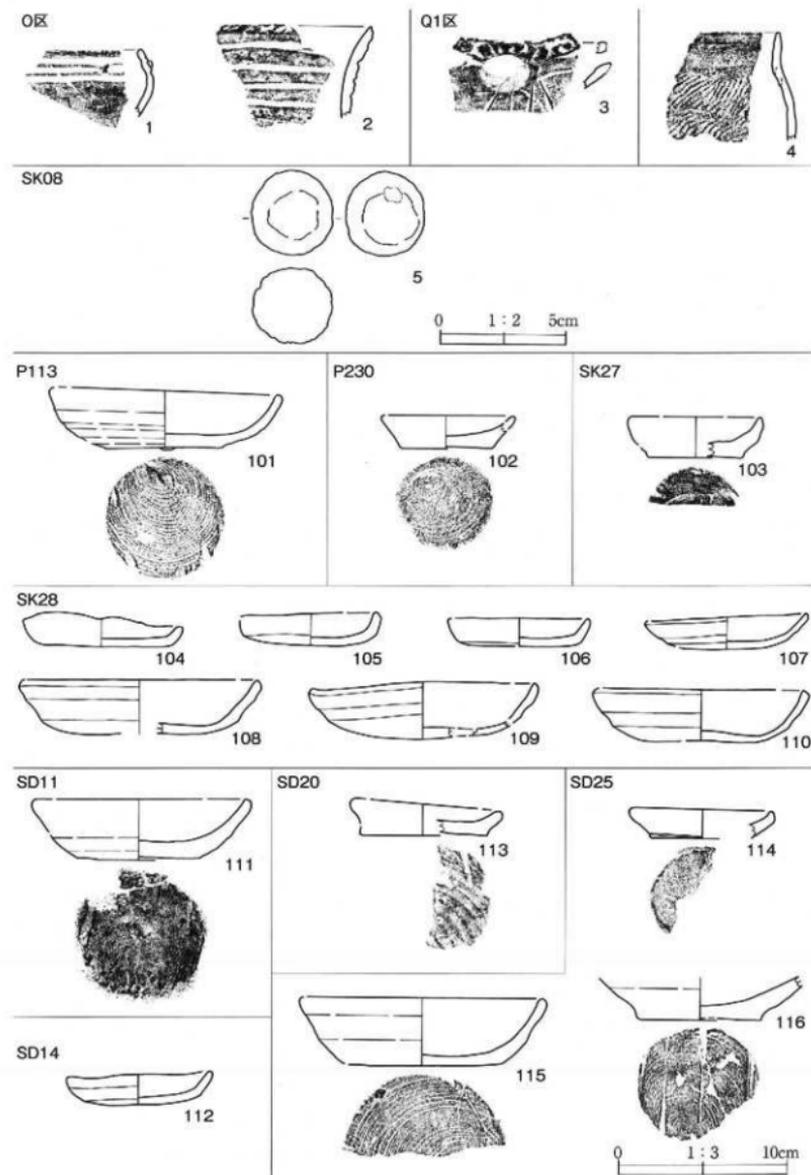
SD39・40 (H4区)



SD39・40  
 1 10YR3/1 黒褐色 粘土 しまり強 礫(φ5cm)を2割との境界に多く含む。  
 2 10YR4/6 褐色 砂 しまり中  
 3 10YR4/1 褐色色 シルト しまり中 炭化物1%、礫(φ5cm)を5%含む。

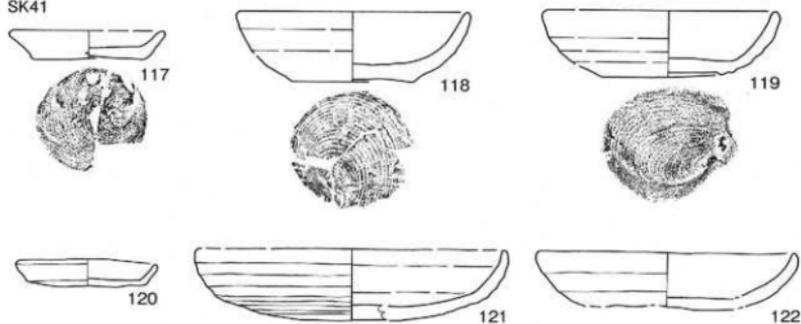


第56図 SD38～41・44

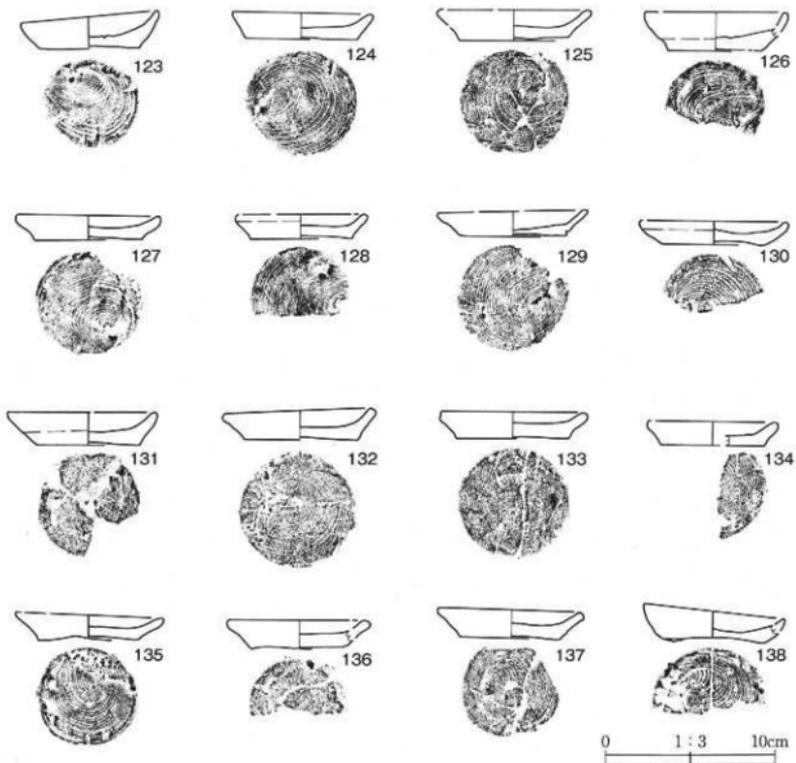


第57図 縄文土器、石製品、かわらけ(1)

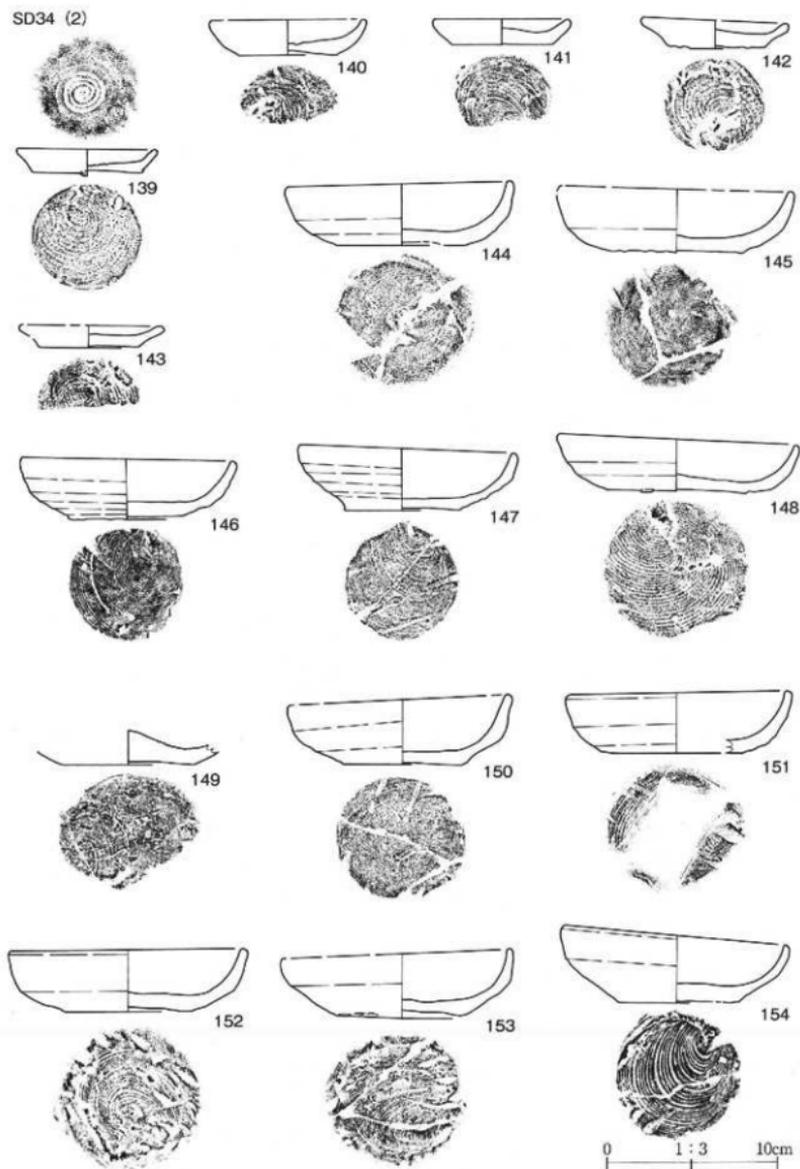
SK41



SD34(1)

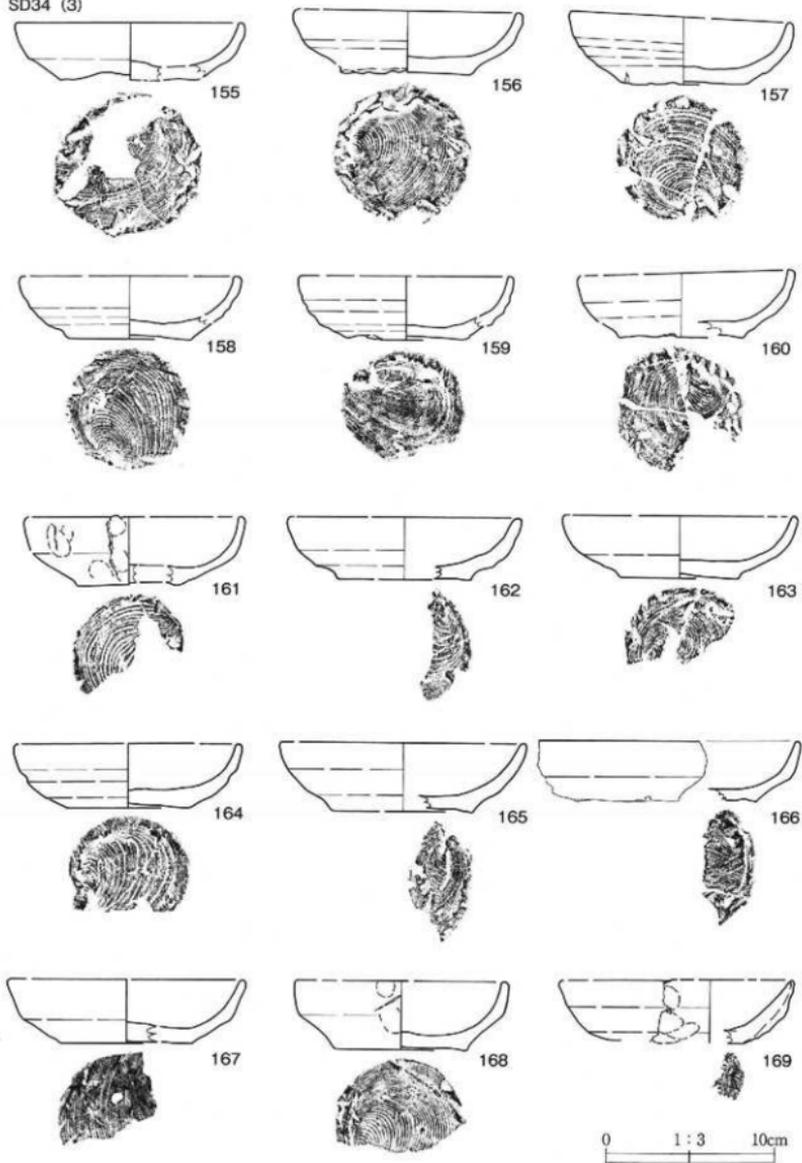


第58図 かわらけ(2)



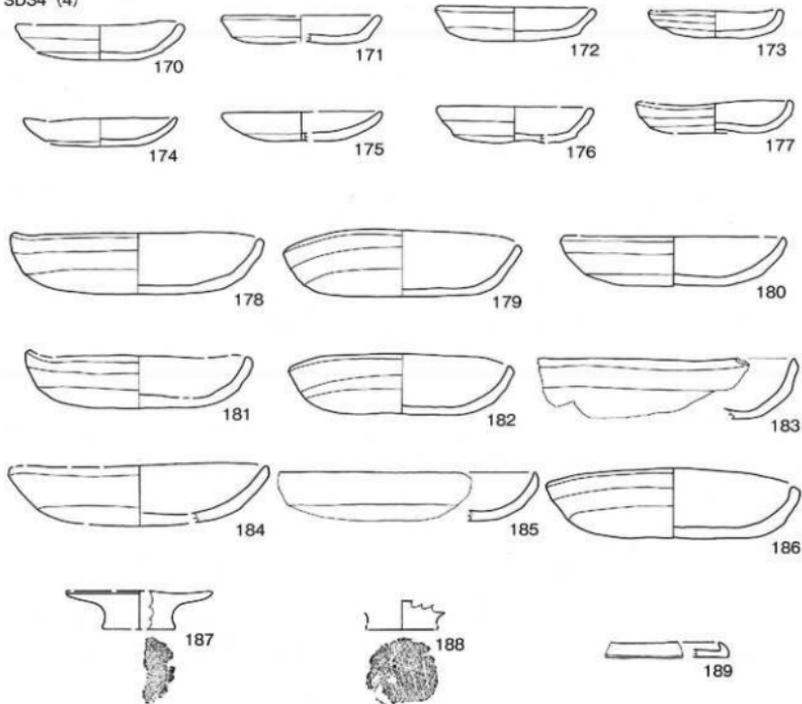
第59図 かわらけ(3)

SD34 (3)

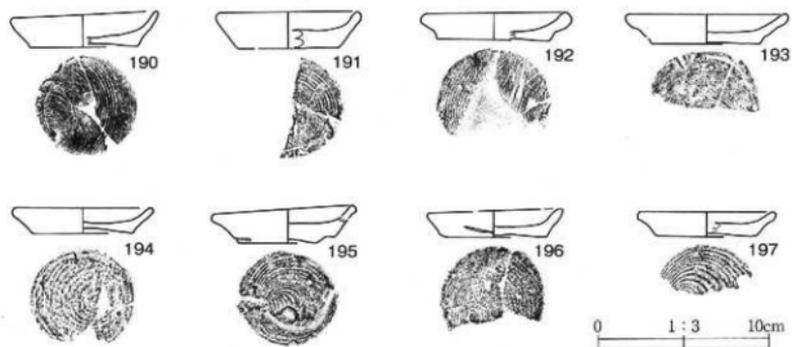


第60図 かわらけ(4)

## SD34 (4)

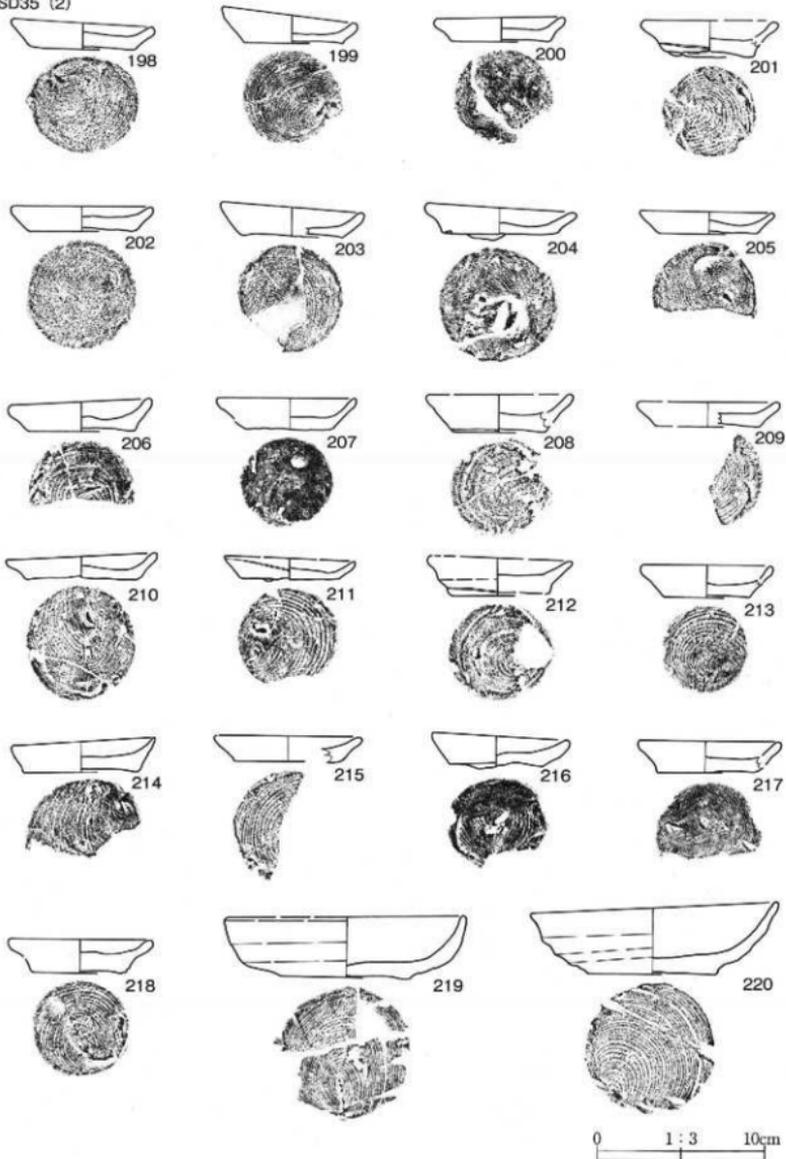


## SD35 (1)



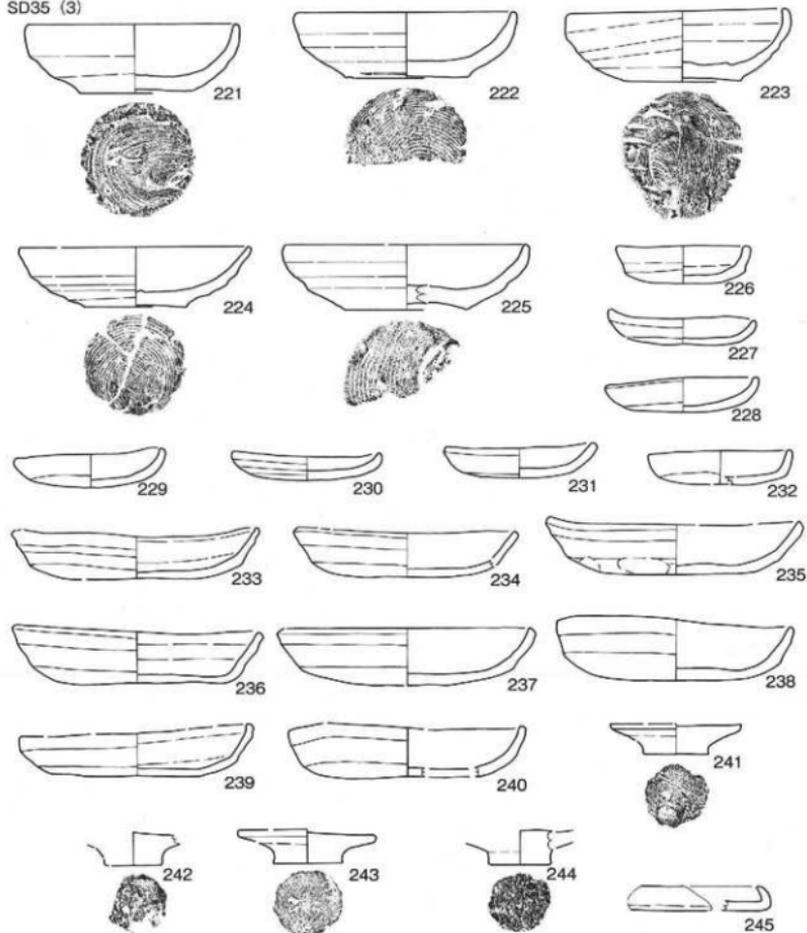
第61図 かわらけ (5)

SD35 (2)

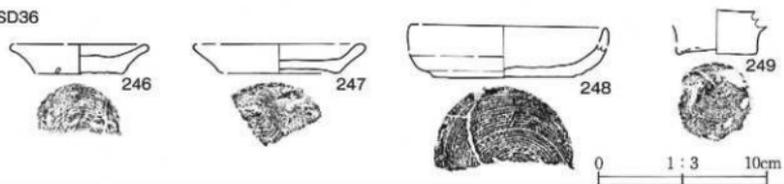


第62図 かわらけ(6)

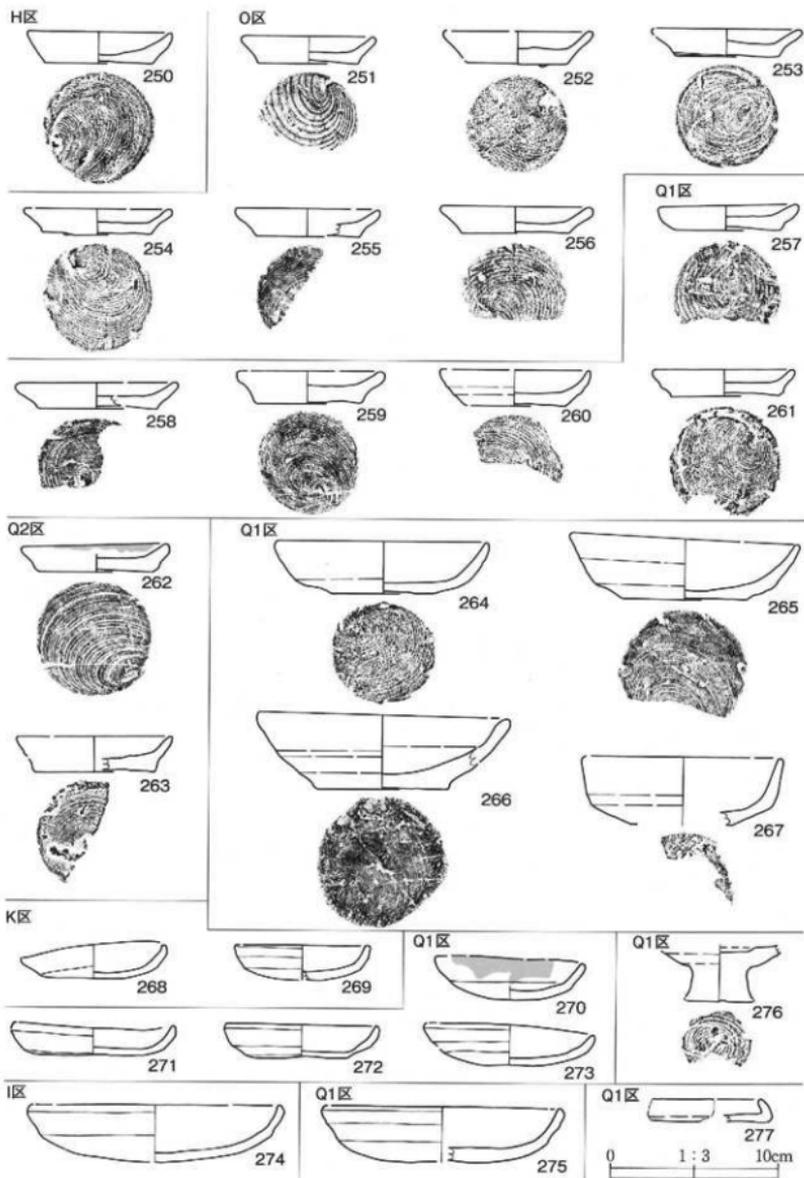
SD35 (3)



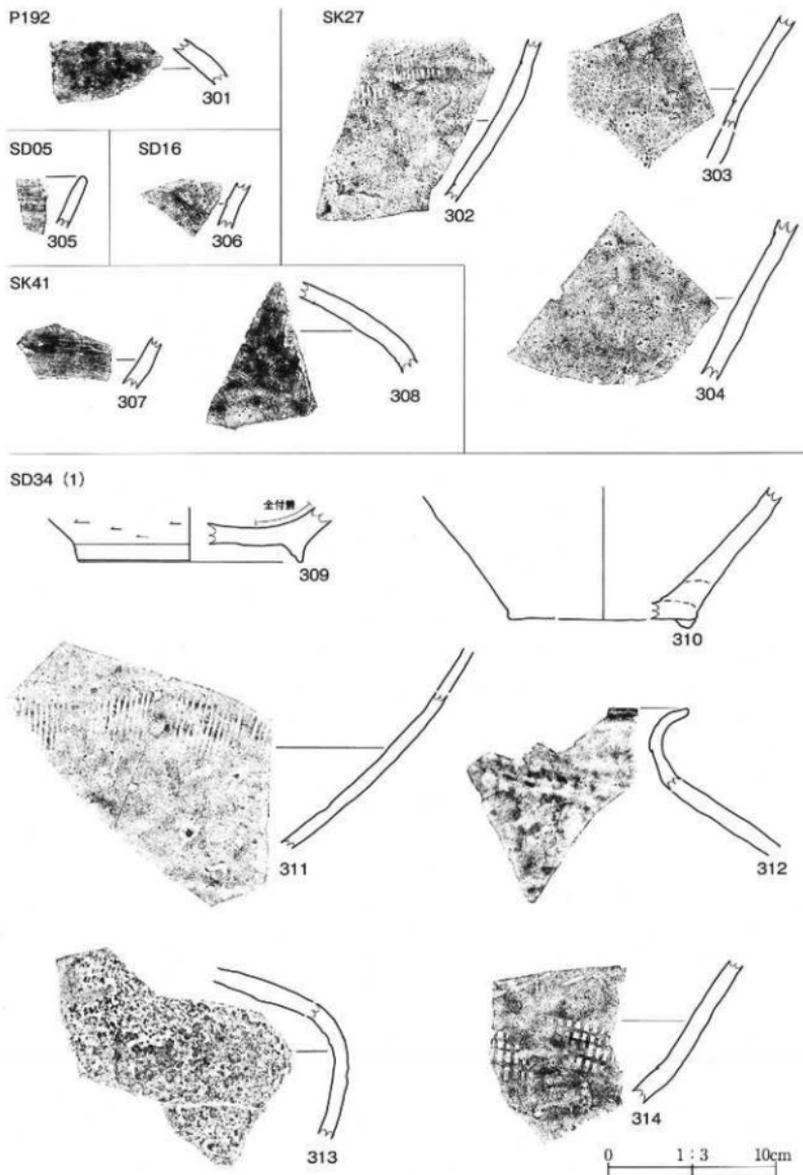
SD36



第63図 かわらけ(7)

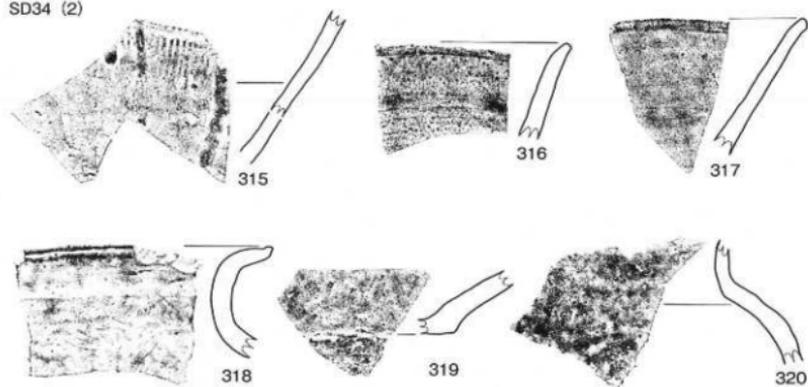


第64図 かわらけ(8)



第 65 図 国産陶器：常滑（1）

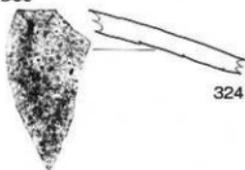
SD34 (2)



SD35



SD36



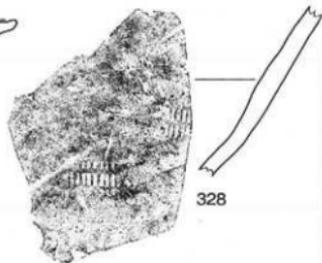
SD44



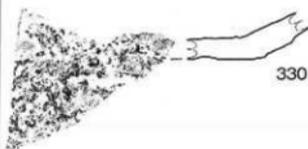
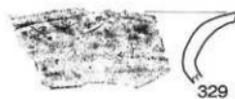
I区



Q1区



R1区



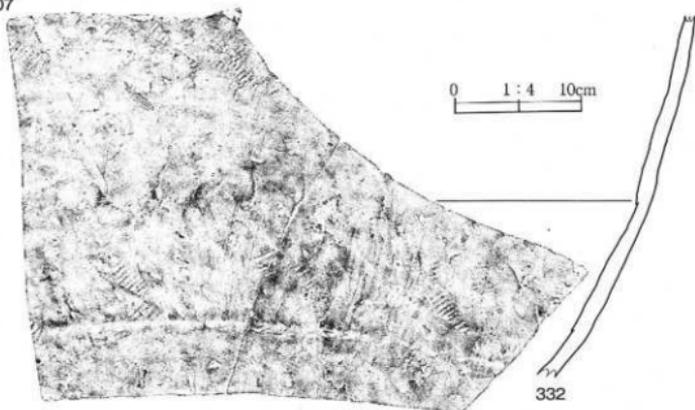
0 1:3 10cm

第66図 国産陶器：常滑（2）

P202



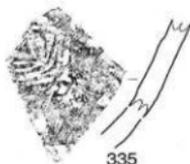
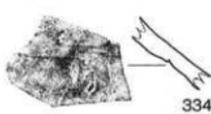
SK07



SD07



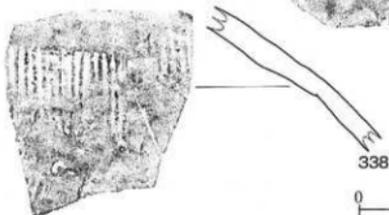
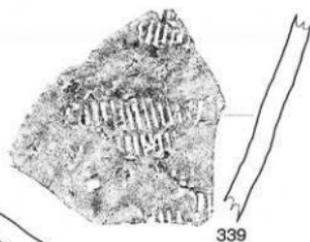
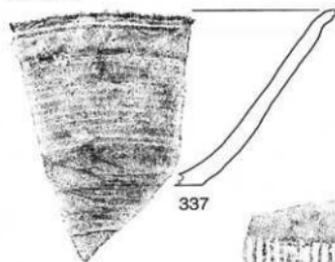
SD08



SD27



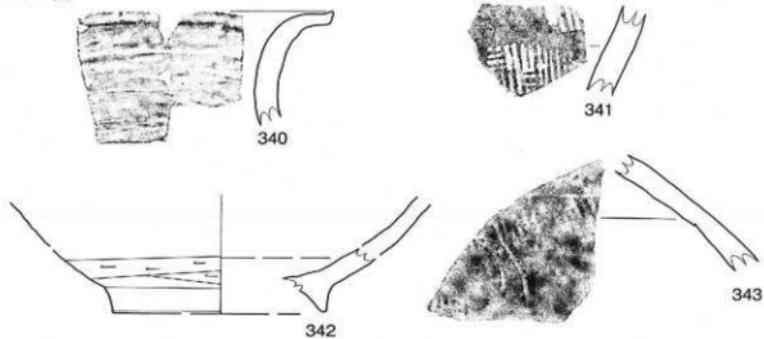
SD34 (1)



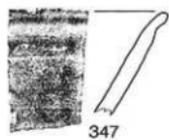
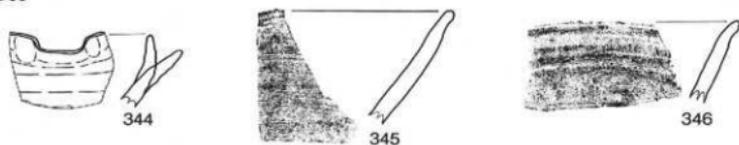
0 1:3 10cm

第67圖 国産陶器：瀬美（1）

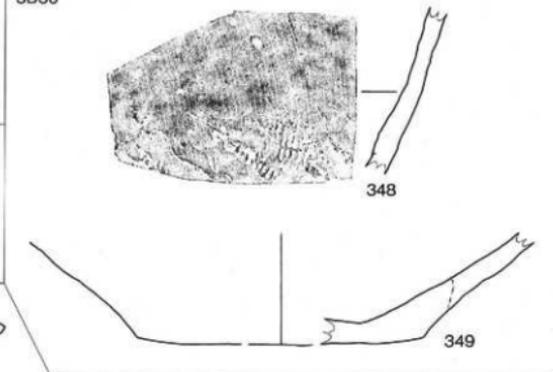
SD34 (2)



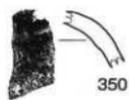
SD35



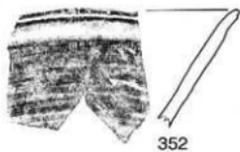
SD36



I区

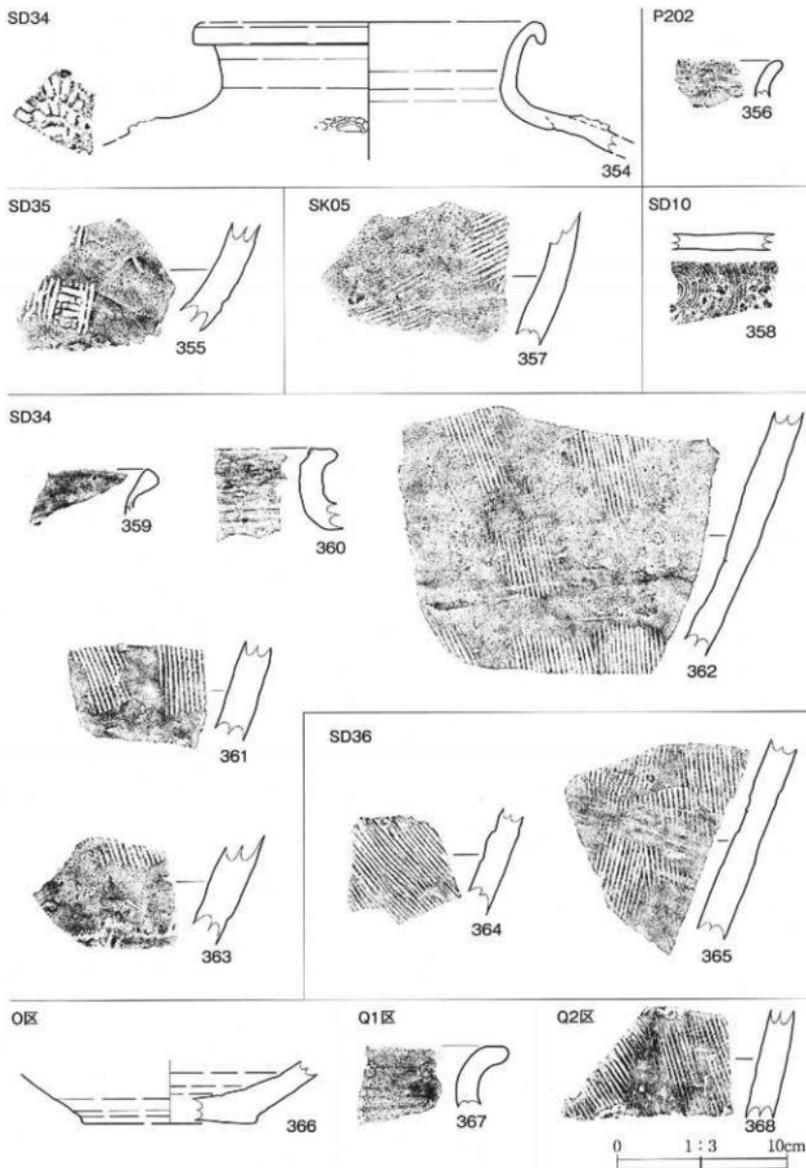


Q1区

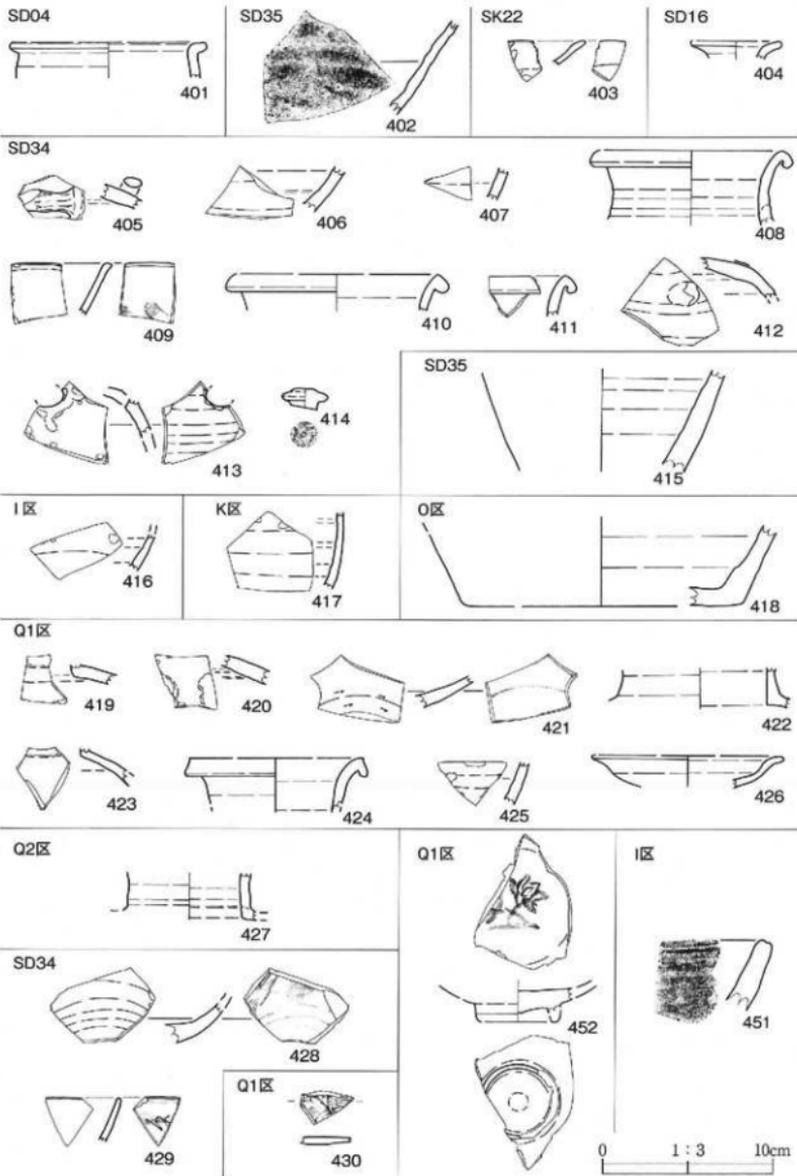


0 1:3 10cm

第68図 国産陶器：瀬美(2)

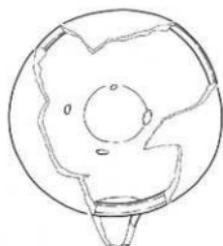


第 69 図 国産陶器：水沼・須恵器系



第70図 中国産陶磁器：白磁・青磁・青白磁、中世の陶磁器

SD24

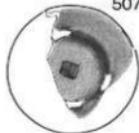


503

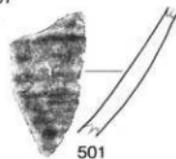
SD07



507

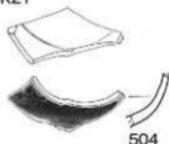


SD07



501

SK21



504



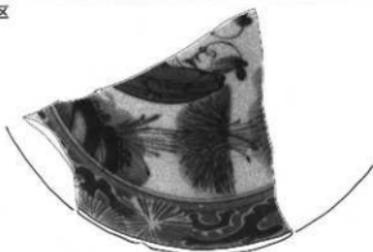
505

SK31

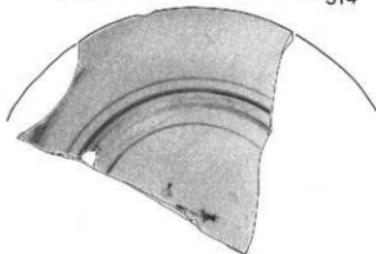


506

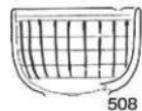
H3区



514



SD24



508



509



511



510



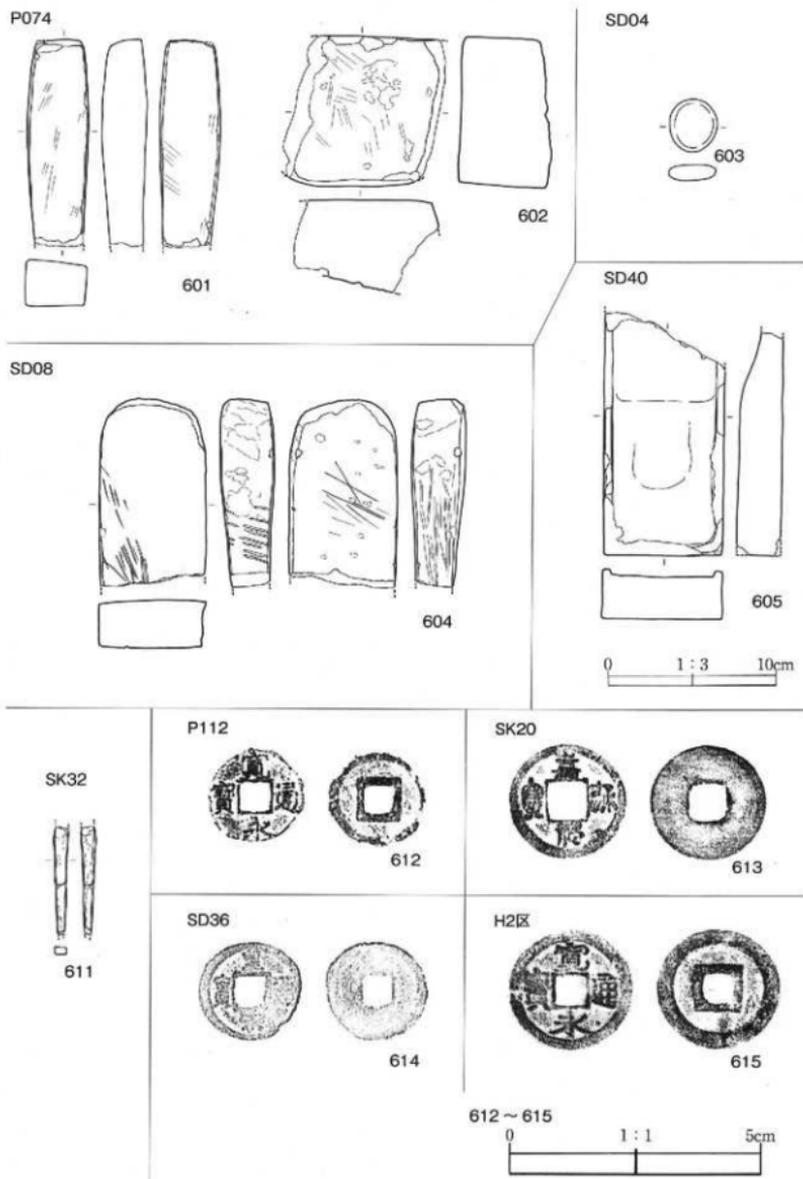
512



513

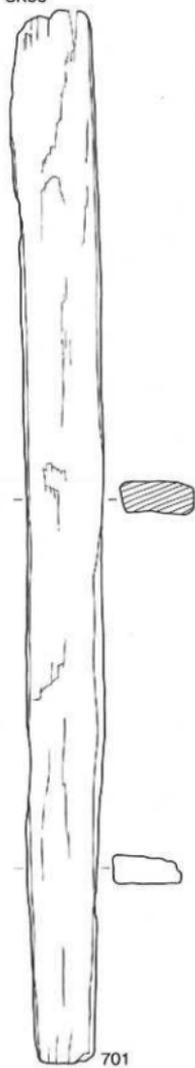
0 1:3 10cm

第71図 近世・近代の陶磁器



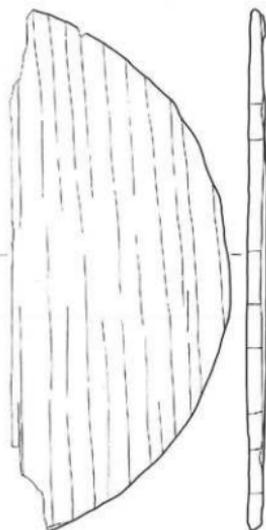
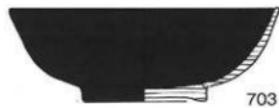
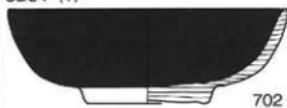
第72図 石製品、金属製品

SK06

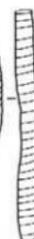
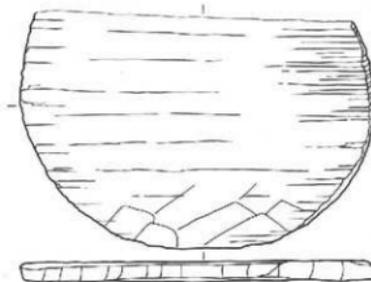


0 1:4 10cm

SD34 (1)



706

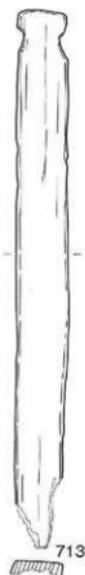
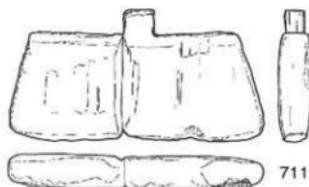
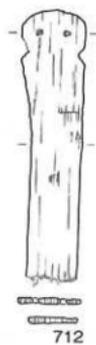


708

0 1:3 10cm

第73図 木製品 (1)

SD34 (2)



SD35 (1)



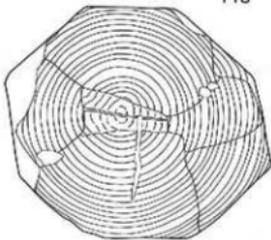
0 1:3 10cm

第74図 木製品(2)

SD35 (2)



718



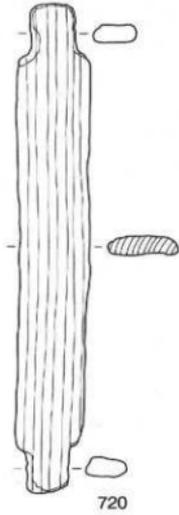
0 1:5 20cm

SD39



719

J2区



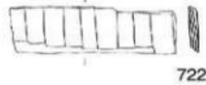
720

L区



721

Q1区

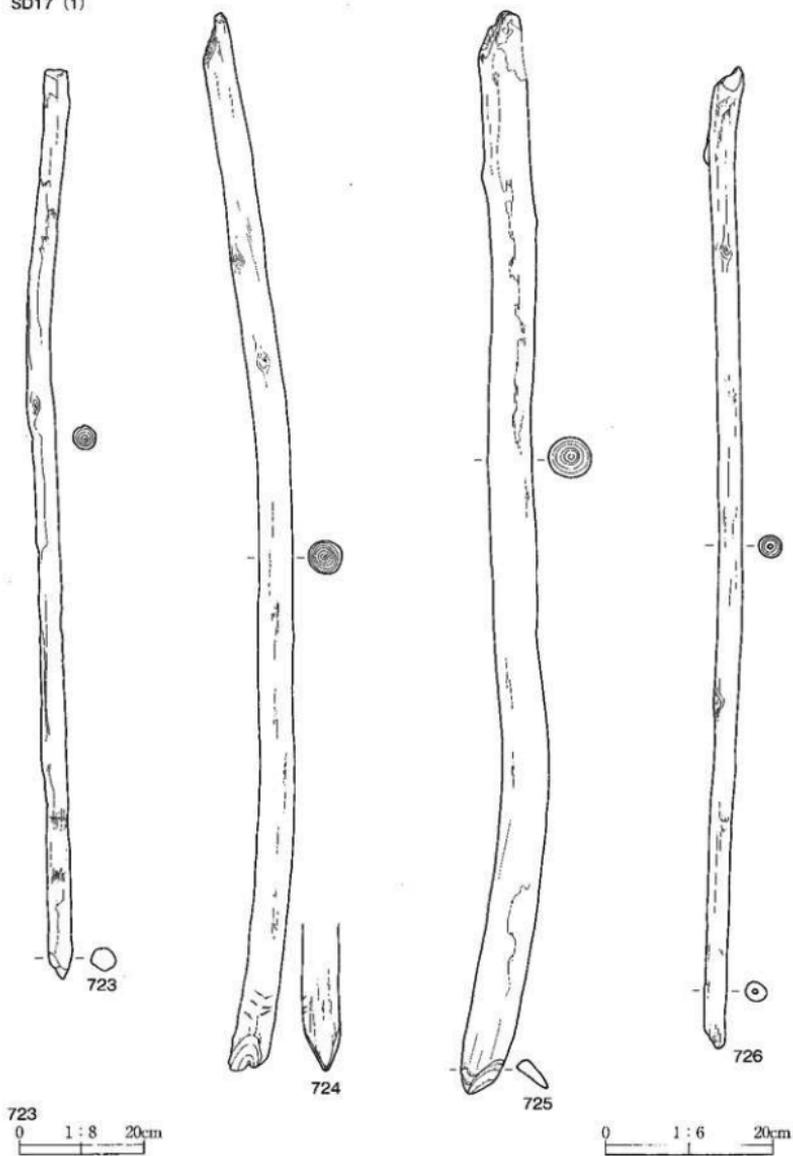


722

0 1:3 10cm

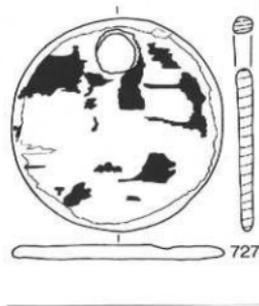
第75図 木製品(3)

SD17 (1)

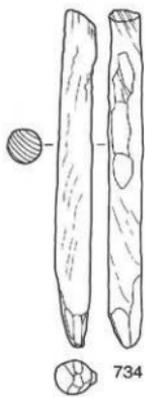
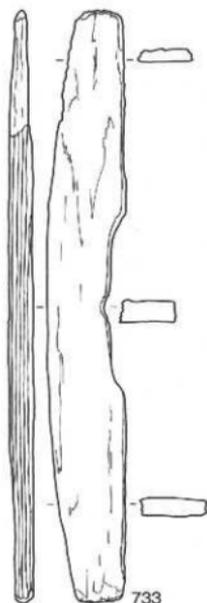
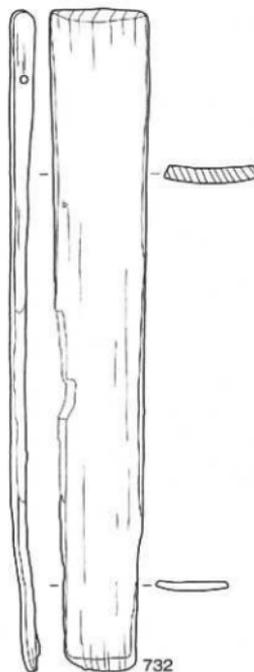


第76図 木製品(4)

SD17 (2)



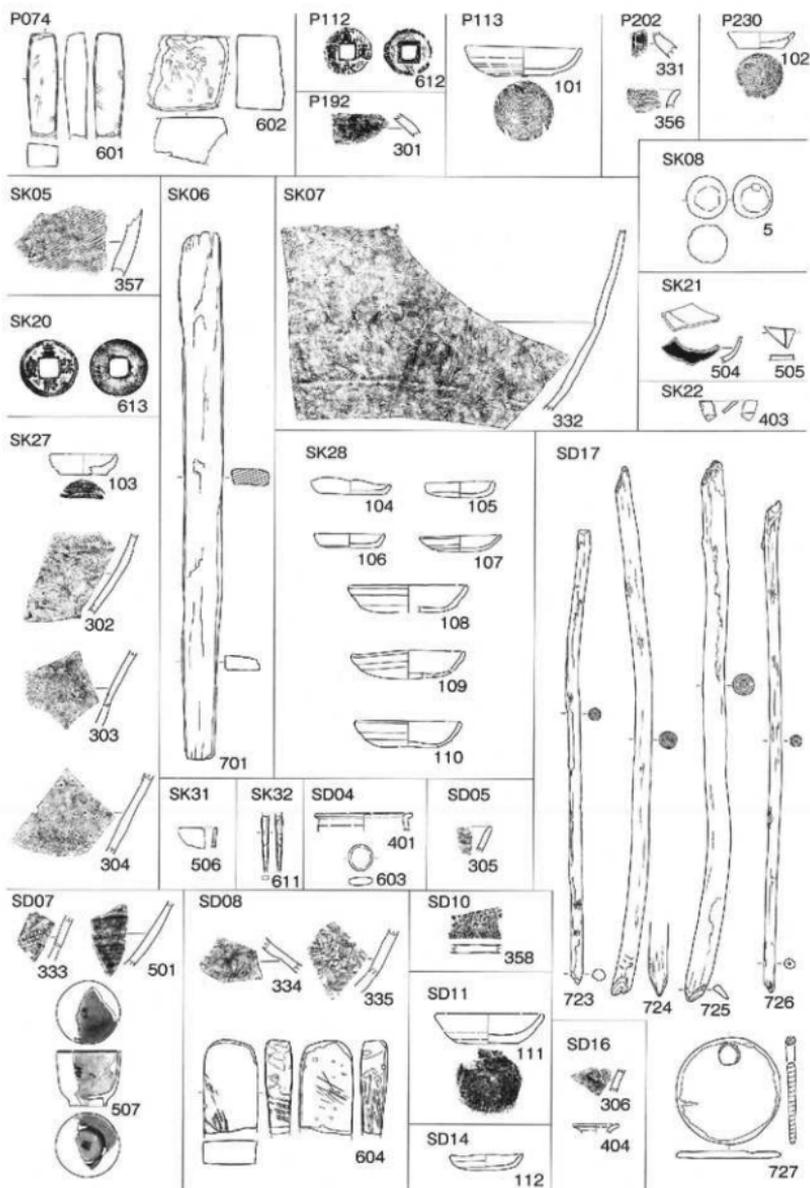
SD24



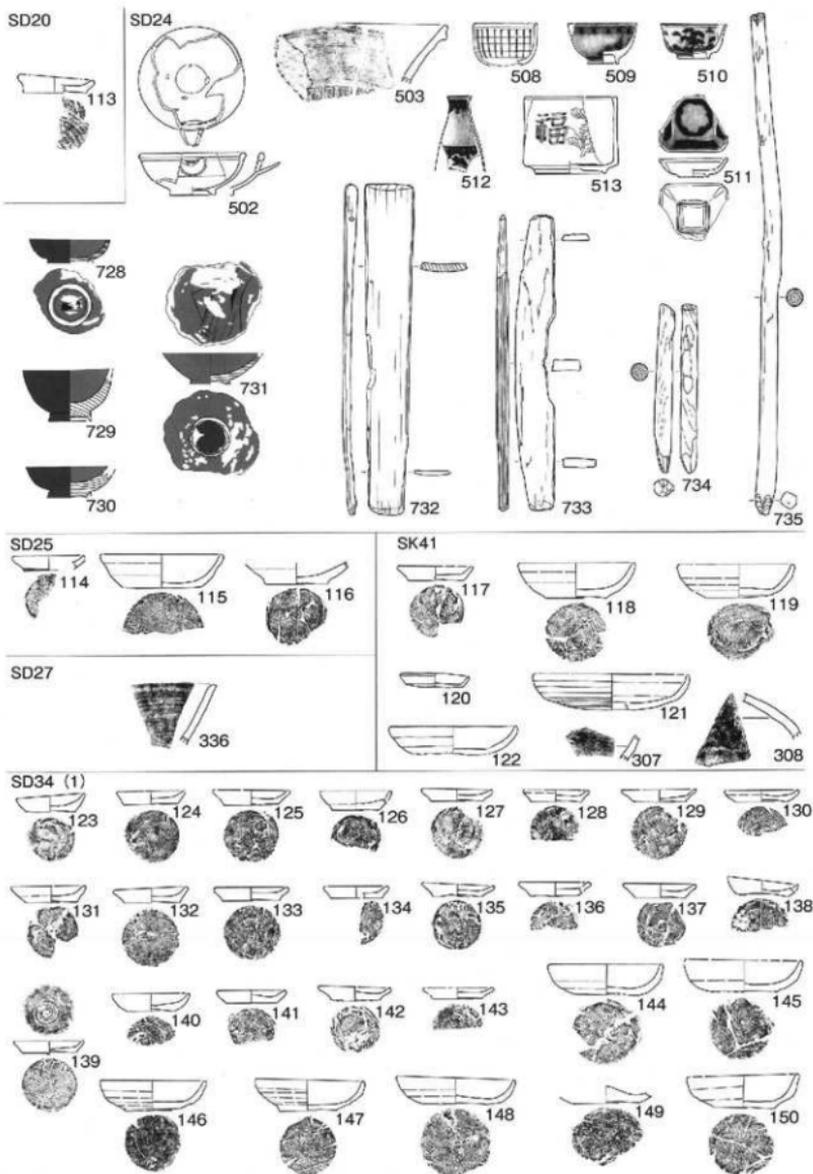
0 1:3 10cm

0 1:6 20cm

第77圖 木製品 (5)

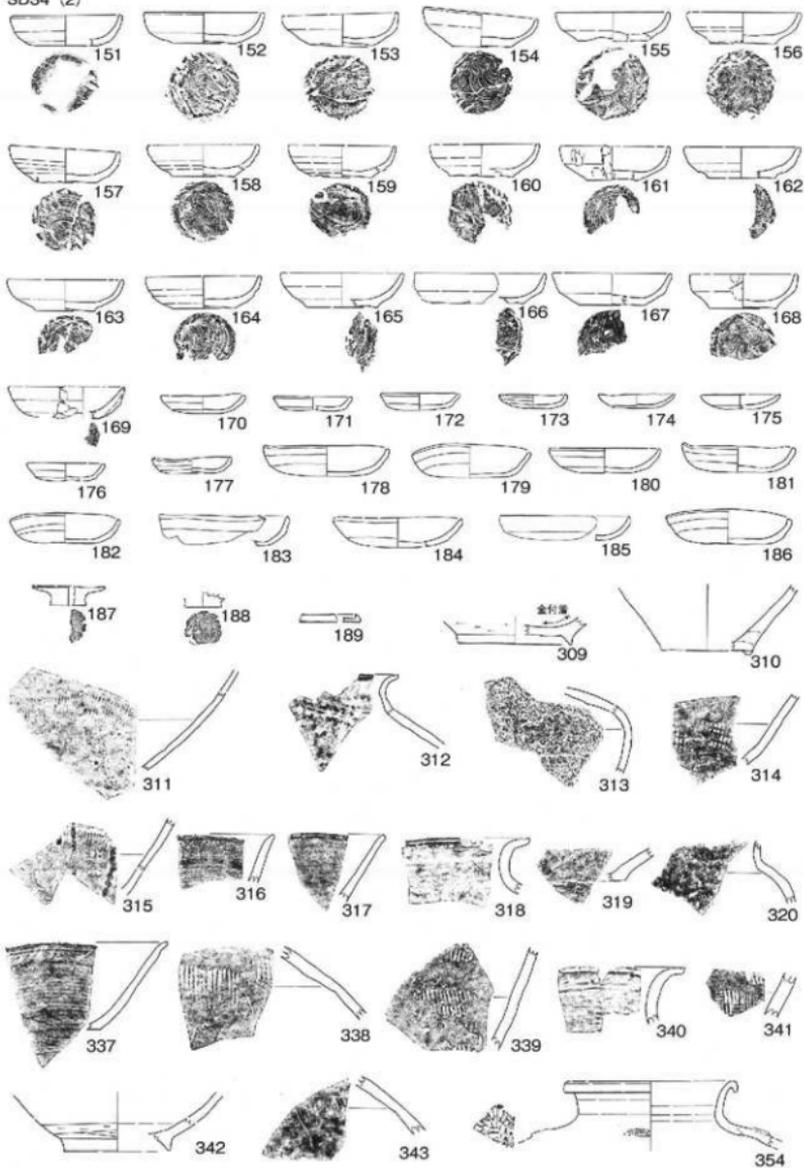


第78図 遺構別出土遺物集成図(1)

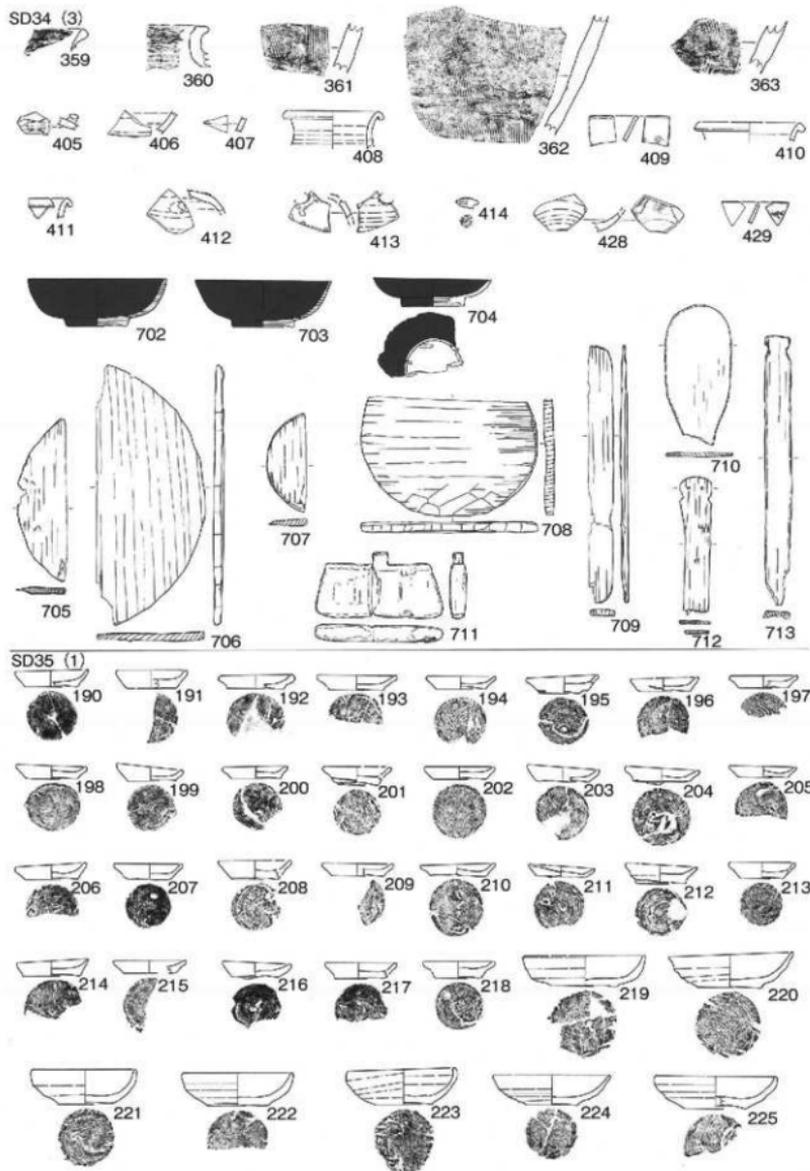


第 79 図 遺構別出土遺物集成図 (2)

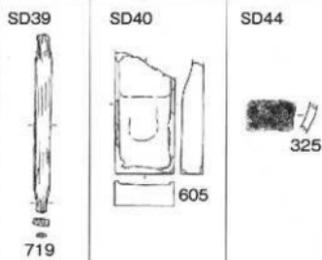
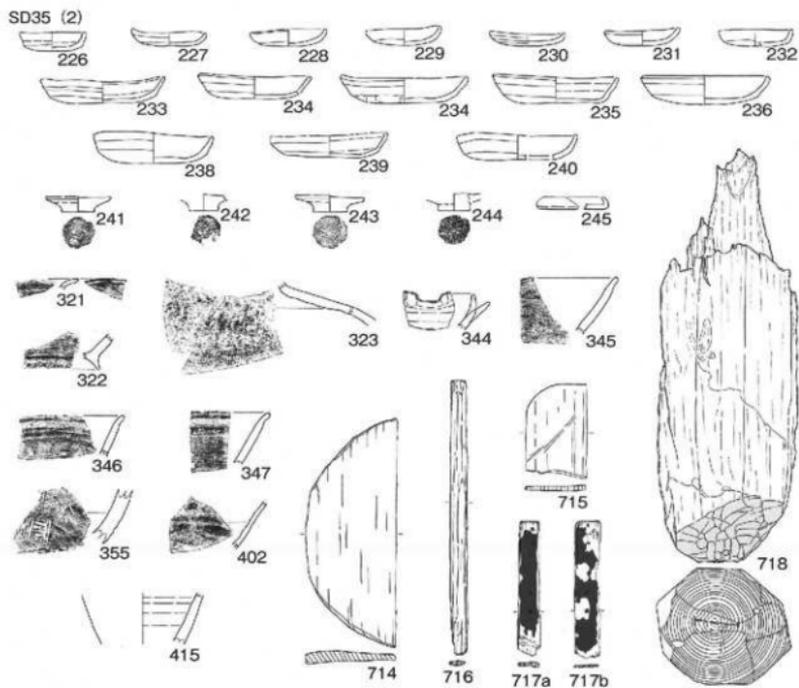
SD34 (2)



第80图 遺構別出土遺物集成图(3)



第 81 圖 遺構別出土遺物集成圖 (4)



遺構別出土遺物集成図(1)~(5) 縮尺：個別図×½

第 82 図 遺構別出土遺物集成図 (5)

## V 南日詰小路口Ⅱ遺跡

### 1 検出遺構

#### (1) 検出遺構の概要

検出された遺構は、古代の竪穴住居跡3棟、建物跡・柱列跡13棟、柱穴317個（建物を構成する柱を舎）、土坑・井戸跡28基、溝跡27条、土器埋設遺構1基である。時代的には、古代、12世紀、近世・近代、所属時期不明に大別される。記載にあたっては、遺構の種類ごとに記述することとする。

#### (2) 竪穴住居跡

古代の竪穴住居跡は3棟確認された。C区から2棟。E区から1棟である。いずれもカマド・煙道部周辺が確認されたもので、部分的な調査にとどまっており、住居跡の全体像は不明である。

#### S I 101 竪穴住居跡

遺構（第83図、写真図版73）

〔位置・検出状況〕C区。Ⅲ層で焼土と黒褐色土の煙道部分を検出した。水田整備の際に竪穴住居跡の床面まで削平が及んだものと判断される。遺構の広がりには調査区北側に延びると思われる。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕住居跡全体の規模・形状は不明である。南側にカマド・煙道を持つ住居である。

〔埋土・堆積状況〕不明である。

〔壁・床面〕不明である。

〔柱穴・配置〕カマド周辺に柱穴を数個確認しているが、住居跡に伴う柱穴は不明である。

〔カマド〕径約50cmの焼土を確認した。燃焼部と思われる。焼土の厚さは8cmである。焼土上とその周辺から土師器・須恵器片が出土している。煙道は、南向きにつくられている。径30cm、長さ160cmで、煙出部直下が最も低くなるように削り抜いて掘り込まれている。

〔その他の付属施設〕焼土の西側に径70×60cm、深さ3～4cmの浅い土坑がある。埋土内から土師器・須恵器片が出土しており、住居跡に伴う施設と判断される。

遺物（第113・115図、写真図版97・98）

〔出土状況〕カマド燃焼部とカマド脇の土坑から土師器・須恵器が出土している。

〔土師器・須恵器〕土師器の甕（1011）・須恵器の甕（1023）。

時期 出土遺物と遺構の状態から平安時代（9世紀前半）と推測される。

#### S I 102 竪穴住居跡

遺構（第83図、写真図版73）

〔位置・検出状況〕C区。Ⅲ層で極暗褐色土の広がりとして検出した。南側の調査区域外に延びる。20cmほどの耕作土を除去しての検出であり、大方は削平されたものと判断された。

〔重複関係〕SK104土坑と重複し、SK104土坑に切られている。

〔規模・平面形〕煙道の一部の検出であり、住居跡全体の規模・形状は不明である。

〔埋土・堆積状況〕不明である。

[壁・床面] 不明である。

[柱穴・配置] 不明。

[カマド] 不明。煙出部が北側にある。煙道の一部を検出したのみである。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明だが、S I 101竪穴住居跡と同時期と推測される。

### S I 103竪穴住居跡

遺構 (第84・85図、写真図版74・75)

[位置・検出状況] G 2区。Ⅲ層上面から方形基調の黒色土の広がりを検出した。大半が調査区外に続くが、カマドとみられる部分に粘土が残存していたため、住居跡を想定して調査を開始した。

[重複関係] P1198・P1199が住居跡を切って構築されていた。

[規模・平面形] 残存部で径(6.6)×(2.73)mを測る。一辺6.6m前後の正方形もしくは長方形と考えられる。主軸方位はN-54°-Eを測る。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。壁際は三角堆積が認められ、自然に埋没したと考えられる。

[壁・床面] 後世の耕作により削平されたためか、壁は5~7cm程しか残存していなかった。床面は一部に貼床が施された形跡があった。また床面上に3箇所の焼土のまとまりがみられた。このうちカマド周辺のものカマドから掻き出された焼土と考えられる。

[柱穴・配置] ピットは7基検出したが、主柱穴となりうるのは、P1のみである。P1は径39×34cm、深さ61cmを測る。配置は不明であるが、P1の位置から4本柱の可能性が考えられる。

[カマド] 住居跡の東側の壁、中央よりやや南側に設けられていた。煙道は割り貫き式で、先に向かって徐々に深くなるように掘り込まれており、煙出し部の深さは125cmを測る。袖部は鎌8個を芯材として用い、そのまわりに粘土を貼り付けて構築されていた。燃焼部は径112×90cm、焼土の厚さは5~8cmを測る。燃焼部の奥に小型の甕が逆位に設置されており、支脚として用いられたものと考えられる。また、崩落した天井部の粘土から土師器甕1個体(1022)が横倒した状態で出土した。

[その他の付属施設] P5・P6は貯蔵穴と考えられる。埋土は焼土を多く含んでおり、土器片が多数出土した。規模はP5で径72×56cm、深さ13cmを測る。

遺物 (第113~115図、写真図版97・98・112)

[出土状況] カマド内とその周辺の床上から土師器・須恵器、焼土中から動物遺体が出土した。

1021は支脚として設置されていたもの。1022はカマドに設置された甕と推測される。

[土師器・須恵器] 土師器の甕11点(1012~1022)・須恵器の甕1点(1024)・坏2点(1025・1026)・蓋1点(1027)。

[動物遺体] 動物遺体1点(1511)。

時期 出土遺物と遺構の状態から平安時代(9世紀前半)と考えられる。

### (3) 建物跡・柱列跡・柱穴群

柱穴群347個を確認した。そのなかから、建物跡あるいは柱列跡を構成するもの13棟について、建物跡・柱列跡として報告する。調査区の制約から、柱列としたものでも建物跡の一部の可能性があるので名称は一連の遺構名を付した。時間的には、12世紀のものと近世以降のものに大別される。

## SB101掘立柱建物跡

遺構 (第95図、写真図版76)

[位置・検出状況] G 3区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 1間×3間以上の掘立柱建物跡である。規模(4.78)×(2.15)m以上。6個の柱穴(P1205・1206・1207・1208・1216・1217)から構成される。庇の有無は不明である。

[建物方位] N-0°-E(梁)。N-90°-E(桁)。

[柱間寸法] 柱間1.3~2.1mである。梁方向1.3~1.7m、桁方向2.1m。

[付属施設] SD122溝跡の内部に位置する。溝跡内に建てられた建物跡の可能性がる。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀の可能性がある。

## SB102掘立柱建物跡

遺構 (第95図、写真図版76)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。掘り方はどれも浅く、かなり削平されたものと思われる。

[重複関係] SD127溝跡に切られている。

[平面形式] 1間×2間以上の掘立柱建物である。規模(7.18)×(2.53)m以上。7個の柱穴(P1330・1331・1332・1333・1334・1346・1350)から構成される。P1330・1346間の柱穴は確認できなかった。建物跡は西側に展開する可能性があり、全体の平面形式は不明である。P1350は庇に関連する柱穴の可能性もある。

[建物方位] N-85°-E(梁)。N-5°-W(桁)。

[柱間寸法] 柱間2.5mである(梁・桁とも)。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀と推測される。

## SB103掘立柱建物跡

遺構 (第95図、写真図版76)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は東西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] P1323がSD127溝跡に切られていた。P1337がSK127土坑に切られていた。また、建物内部にS Z101土器埋設遺構が位置するが、関係は不明である。

[平面形式] 1間×3間以上の掘立柱建物である。規模(7.54)×2.32m以上。7個の柱穴(P1318・1319・1320・1321・1322・1323・1337)から構成される。P1323の北側に柱穴は確認できなかった。SD127溝跡に切られて消滅した可能性がある。

[建物方位] N-1°-W(梁)。N-89°-E(桁)。

[柱間寸法] 柱間2.3m(梁)2.5m(桁)である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀と推測される。

### SB104掘立柱建物跡

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びるものと推測される。

[重複関係] なし。

[平面形式]  $2 \times 3$  間以上の掘立柱建物跡である。5.81 $\times$ 3.23m以上。9個の柱穴 (P1235・1236・1242・1248・1249・1252・1256・1315・1316) から構成される。

[建物方位] N-84° -W (梁)。N-6° -E (桁)。

[柱間寸法] 柱間1.5~1.7m (梁)・1.0~1.5m (桁)である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### SB105柱列

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴 (P1229・1226・1317) から構成される。西側に展開する建物跡の東端を構成している可能性がある。

[建物方位] N-10° -E。

[柱間寸法] 柱間1.8~2.0mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### SB106掘立柱建物跡

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴 (P1221・1223・1224) から構成される。東側に展開する建物跡の西端を構成している可能性がある。

[建物方位] N-4° -E。

[柱間寸法] 柱間1.8~2.0mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### SB107柱列

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴 (P1271・1274・1277) から構成される。東側に延びる建物跡の西端を構成している可能性がある。

[建物方位] N-2° - E。

[柱間寸法] 柱間1.7 ~ 1.8m。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

#### SB108柱列

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 4個の柱穴 (P1264・1267・1269・1309) から構成される。西側に展開する建物跡の東端を構成する可能性がある。

[建物方位] N-5° - E。

[柱間寸法] 柱間1.6 ~ 1.7mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

#### SB109柱列

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。東西方向に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴 (P1271・1274・1277) から構成される。

[建物方位] N-85° - W。

[柱間寸法] 1.8mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

#### SB110掘立柱建物跡

遺構 (第97図、写真図版77)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。西側は調査区域外になり、東側・南側は攪乱を受けている。構成建物は北側を除く方向に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 1 × 2間の掘立柱建物跡である。(1.89) × (0.75) m以上。4個 (P1282・1284・1286・1287) の柱穴から構成される。P1282・1287の間に柱穴は確認できていない。P1285・1288の柱列も一連のものか別ものか不明である。複数の柱列が混在する可能性がある。

[建物方位] N-90° - E (梁)、N-0° - W (桁)。

[柱間寸法] 0.75m (梁)、2m (桁) である。

遺物 なし。

時期 不明だが、近世以降と推測される。

### SB111柱列

遺構（第97図、写真図版77）

〔位置・検出状況〕 G4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。西側と北側はカクランを受けている。柱列と考えた場合でもさらに北側に延びる可能性がある。

〔重複関係〕 なし。

〔平面形式〕 4個の柱穴（P1292・1305・1306・1307）から構成される柱列である。並びは4個だが、掘り方が浅いP1305と1307、掘り方が深いP1292・1306の組み合わせとなる可能性もある。その場合の柱間は2.5mとなる。また、東西方向に展開して建物跡を構成する可能性もある。

〔建物方位〕 N-0° - E。

〔柱間寸法〕 柱間1.2mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明である。

### SB112掘立柱建物跡

遺構（第97図、写真図版77）

〔位置・検出状況〕 G4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。東側に延びる可能性はある。

〔重複関係〕 位置的にはSD126溝跡と重なるが、新旧関係は不明である。

〔平面形式〕 1間×1間の掘立柱建物跡である。規模は1.61×1.43m、4個の柱穴（P1295・1298・1299・1300）から構成される。

〔建物方位〕 N-10° - E。

〔柱間寸法〕 1.61～1.41mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と考えられる。

### SB113掘立柱建物跡

遺構（第97図、写真図版77）

〔位置・検出状況〕 G6区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。〔重複関係〕 なし。

〔平面形式〕 1×2間の掘立柱建物跡である。規模3.10×1.79m。6個の柱穴（P1127・1128・1129・1130・1131・1132）から構成される。

〔建物方位〕 N-15° - W（梁）。N-75° - E（桁）。

〔柱間寸法〕 柱間1.5～1.7m、1.7m（梁）。1.5～1.8m（梁）。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明である。近世以降の可能性はある。

#### （4）土坑・井戸跡

用途不明のものを含む穴を一括した。28基ある。このなかには、非戸跡9基も含まれている。時期は、古代、12世紀、近世・近代、時期不明に大別される。

## S K101土坑

遺構（第98図、写真図版80）

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部0.77×0.72m、底部0.55×0.54m、平面形は円形を呈する。深さ0.26m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

## S K102土坑

遺構（第98図、写真図版80）

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部（1.85×0.8）m以上、底部（0.9×0.2）m以上、平面形は円形基調と推定される。深さ0.39m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

## S K103土坑

遺構（第98図、写真図版80）

[位置・検出状況] A区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.81×1.08m、底部1.10×0.53m、平面形は楕円形である。深さ0.48m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられ、底面は湾曲する。壁を一部削り過ぎている。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

## S K104土坑

遺構（第98図、写真図版80）

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側が調査区域外にかかる。

[重複関係] S I102竪穴住居跡と重複する。S K104土坑が切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.00×（0.45）m、底部0.40×（0.20）m、平面形は円形基調である。深さ0.87m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### SK105井戸跡

遺構（第99図、写真図版81）

〔位置・検出状況〕C区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。検出の段階では、平面形から二つの土坑が重複している可能性を考えて精査を開始したが、精査中に土坑のほぼ中央から井戸枠と判断される材を確認したことから、以後、井戸の掘り方として精査を行った。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕規模は、開口部2.05×1.51m、底部1.90×1.30m、平面形はやや不整な楕円形である。深さ1.00m。底面に一部掘り過ぎがあるが、井戸枠が設けられた北東側がやや低くなる。井戸枠の位置は、掘り方の北西側に寄っており、軸方向も一致していないが、掘り方はひとつと思われる。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土で構成される。

〔壁・底面〕壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。底部付近の壁がやや扶れている。

〔その他の付属施設〕埋土中から井戸枠の材が出土した。

遺物（第126・127図、写真図版108・109・112）

〔出土状況〕井戸枠の材が出土した。検出面から10cm下位で、井戸枠と考えられる材が出土した。それより上部は腐食したと判断される。井戸枠の平面形は方形で四方に縦板があり、内側に横板がある。縦板上部は内側に倒れ、横板は南東側に傾き、下がった状態で確認された。材の樹種は、縦板がアスナロ、横板がクリとの鑑定結果を得ている（第Ⅶ章第1節）。植物遺体はモモとの鑑定結果を得ている。

〔木製品〕井戸枠の縦板2点（1431・1432）、井戸枠の横板4点（1433～1436）。

〔植物遺体〕モモの種子（1521）。

時期 時期を判断できる出土遺物が無く、詳細は不明である。出土した材について年代測定を行った結果、910±30yrBPとの結果を得ている（第Ⅶ章第3節）。古代の井戸跡と判断される。

### SK106井戸跡

遺構（第100図、写真図版82）

〔位置・検出状況〕E2区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕規模は、開口部径1.47×1.41m、底部径1.08×0.88m、平面形は円形。深さ1.39m。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色土・黒色土で構成される。4層から下はグライ化した土層である。

〔壁・底面〕壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物（第116・128図、写真図版99・109）

〔出土状況〕埋土4層から、かわらけ・木製品が出土している。

〔かわらけ〕手づくねかわらけ大2点（1102・1103）。

〔木製品〕板状の木製品2点（1437・1438）。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の井戸跡と考えられる。

### SK107井戸跡

遺構（第100図、写真図版82）

〔位置・検出状況〕E2区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕なし。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.25×1.16m、底部径0.92×0.77m、平面形は円形。深さ1.09m。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土・暗褐色土・黒色土で構成される。5層から下はグライ化している。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は外傾する。

遺物 (第116・117・128・129図、写真図版99・100・109・110)

〔出土状況〕 5層から陶磁器類・木製品などがまとまって出土した。廃棄されたものと判断される。

〔かわらけ〕 ロクロかわらけ小 (1104)・ロクロかわらけ大3点 (1105～1107)。

〔国産陶器〕 常滑窯座の甕1点 (1203)、片口鉢2点 (1204・1205)

〔木製品〕 漆器椀3点 (1439～1441)・曲物蓋? (1442)・折敷 (1443)・棒状の製品 (1444)・部材3点 (1445～1447) など計9点。

時期 遺構の状態と出土遺物から、12世紀の井戸跡と考えられる。

### SK108井戸跡

遺構 (第100図、写真図版82)

〔位置・検出状況〕 E2区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.51×1.47m、底部径0.76×0.61m、平面形は円形。深さ1.13m。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土・黒色土で構成される。3層から下はグライ化している。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀の井戸跡の可能性がある。

### SK109井戸跡

遺構 (第100図、写真図版83)

〔位置・検出状況〕 E3区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.58×1.47m、底部径1.31×1.14m、平面形は円形。深さ1.19m。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土・黒色土・黄褐色土で構成される。6層から下位はグライ化しているが、湧水のために底面まで明確に掘り上げることができず、大まかな形状を把握するにとどまった。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で壁は直立きみに立ち上がる。

遺物 (第119図、写真図版101)

〔出土状況〕 国産陶器が埋土上位から出土している。

〔国産陶器〕 深美窯座の甕1点 (1214)。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の井戸跡と判断される。

### SK110井戸跡

遺構 (第101図、写真図版83)

〔位置・検出状況〕 F1区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.93×1.75m、底部径1.32×1.25m、平面形は円形。深さ1.19m。湧水のため底面まで掘りあげていない。南東側に張り出しがあるが、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土・暗褐色土で構成される。6層から下はグライ化している。

西側5層中に径20～30cmの角礫・単角礫50個ほどが廃棄された状態で確認された。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。壁は直立ぎみに立ち上がる。

[その他の付属施設] 南側に幅40cm、長さ80cmの張り出しがあり、内側に向かって傾斜している。埋土の状態をみると、埋没する段階では穴と一体化していたようである。貼り出し部の両側に15×10cmほどの小さな掘り込みがある。

遺物 (第119図、写真図版101)

[出土状況] 5層から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 渥美窯産の甕1点(1215)。

時期 遺構の状態と出土遺物から、12世紀の井戸跡と判断される。

### SK111土坑

遺構 (第98図、写真図版83)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径0.80×(0.47)m、底部径0.25×(0.13)m、平面形は円形基調と推定される。0.4m。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### SK112土坑

遺構 (第98図、写真図版83)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径0.83×0.76m、底部径0.41×0.34m、平面形は円形。深さ0.48m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### SK113土坑

遺構 (第98図、写真図版84)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。東側が調査区外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.05×(0.7)m、底部径0.5×(0.5)m、平面形は円形基調である。深さ0.4m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦である。

## 遺物 (第130図、写真図版110)

[出土状況] 2層から木製品が出土している。

[木製品] 杵? (1448)。

時期 時期を判断できる出土遺物がなく、詳細は不明である。

## SK114土坑

遺構 (第101図、写真図版84)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。東側が一部調査区外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.4×1.4m、底部径0.6×0.5m、平面形は円形。深さ0.54m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗褐色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

## SK115井戸跡

遺構 (第101図、写真図版84)

[位置・検出状況] G2区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.44×1.40m、底部径1.31×1.29m、平面形は円形。深さ1.29m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。3層より下位がグライ化している。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物 (第116・119・130図、写真図版99・101・110～112)

[出土状況] 埋土から、かわらけ・国産陶器・木製品・土製品など多くの遺物が出土した。

[かわらけ] ロクロかわらけ大2点 (1108・1109)・手づくねかわらけ3点 (1110～1112)。

[国産陶器] 歪美窯産の甕1点 (1216)・須恵器系陶器の甕1点 (1228)

[木製品] 曲物底板? 1点 (1449)、木錘1点 (1450)、不明木製品3点 (1451～1453)。1453は題箋?

[土製品] 羽口? 1点 (1501)、土壁? 1点 (1502)。

[植物遺体] 種子: モモ (1522)、トチノキ (1523)、オニグルミ (1524)。

時期 遺構の状態と出土遺物から、12世紀の井戸跡であると推測される。

## SK116井戸跡

遺構 (第101図、写真図版85)

[位置・検出状況] G2区。Ⅲ層で黄褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.58×1.36m、底部径1.14×1.00m、平面形は円形。深さ1.32m。

[埋土・堆積状況] 黄褐色土・黒褐色土・褐色土・黒色土で構成される。4層より下位がグライ化している。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物 (第119・130・131図、写真図版101・111・112)

[出土状況] 埋土4層から下駄・容器などの遺物が出土している。

[中国産磁器] 白磁の甕1点 (1229)

[木製品] 漆塗?の容器(1454)、下駄(1455)、編物(1456)。

[植物遺体] 種子:オニグルミ(1526)。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の井戸跡であると推測される。

### SK117土坑

遺構(第98図、写真図版85)

[位置・検出状況] G3区。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.0×(0.4)m、底部径0.6×(0.26)m、平面形は円形基調。深さ0.20m。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### SK118土坑

遺構(第98図、写真図版85)

[位置・検出状況] G4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.20×0.81m、底部径0.65×0.38m、平面形は楕円形。深さ0.16m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

### SK119土坑

遺構(第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G4区。Ⅲ層で黄褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外である。

[重複関係] P1311・1312・1329・1310と重複している。SK119土坑が柱穴に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径(2.20)×1.60m、底部径2.0×1.0m、平面形は楕円形と推定される。深さ0.20m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

### SK120土坑

遺構(第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G4区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。

[重複関係] P1308に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径2.14×1.39m、底部径1.99×1.26m、平面形は長方形。深さ0.21m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・灰色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

#### S K 121土坑

遺構 (第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] P 1319・1318、S Z 01土器埋設遺構と重複し、それらを切っている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径3.43×1.68m、底部径3.24×1.51m、平面形はやや不整な長方形。深さ0.11m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物 (第120図、写真図版102)

[出土状況] 埋土から近世の陶器が出土した。また、重複するS Z 01土器埋設遺構に埋設された陶器片も埋土から出土している。

[陶磁器] 陶器の碗1点 (1301)。

時期 出土遺物と遺構の状態から近世以降と判断される。

#### S K 122土坑

遺構 (第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

[重複関係] P 1255に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径 (2.15) × 1.20m、底部径 (2.00) × 0.8m、平面形は不整な楕円形。深さ0.16m。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦で、壁は緩く立ち上がる。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

#### S K 123土坑

遺構 (第103図、写真図版87)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.13×0.75m、底部径0.98×0.88m、平面形は長方形。深さ0.08m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

### SK124土坑

遺構 (第103図、写真図版87)

〔位置・検出状況〕 G4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外にかかる。  
〔重複関係〕 SK121と重複し、SK121に切られている。また、木精査だが、SK124土坑に切られる土坑がある。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.9×(1.7)m、底部径1.3×(1.5)m、平面形は長方形基調と推定される。深さ0.25m。

〔埋土・堆積状況〕 亜角礫を多量に含む黒褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 (第122図、写真図版108)

〔出土状況〕 近世の磁器が出土している。

〔陶磁器〕 磁器の皿? 1点 (1317)。

時期 出土遺物と遺構の状態から、近世以降と判断される。

### SK125土坑

遺構 (第103図、写真図版87)

〔位置・検出状況〕 G4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〔重複関係〕 SD126溝跡と重複する。P1302・1304と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径(2.2)×1.5m、底部径(1.8)×1.0m、平面形は長方形基調と推定される。やや不整形である。深さ0.4m。

〔埋土・堆積状況〕 黒色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立して立ち上がる。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

### SK126土坑

遺構 (第103図、写真図版87)

〔位置・検出状況〕 G4区。SD127溝跡の底面Ⅳ層で黒色土の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 SD127溝跡に切られている。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.35×0.74m、底部径1.07×0.54m、平面形は楕円形。深さ0.65m。

〔埋土・堆積状況〕 黒色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅣ層の礫層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物 (第120・122・125図、写真図版102・106・107)

〔出土状況〕 埋土から陶磁器類・石製品がまとめて出土している。

〔陶磁器〕 陶器：権鉢(1302)、磁器の碗3点(1318～1320)・皿2点(1321・1322)。

〔石製品〕 硯1点(1401)。

時期 出土遺物と遺構の状態から近世以降と判断される。

## SK127井戸跡

遺構（第104図、写真図版88）

〔位置・検出状況〕 G4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 P1337を切っている。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.71×1.63m、底部径0.74×0.70m、平面形は円形。深さ0.77m。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土・黒色土・にぶい黄褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾して立ち上がる。

遺物（第116・117・119図、写真図版99～101）

〔出土状況〕 埋土1・2層から、かわらけ、国産陶器が出土している。

〔かわらけ〕 ロクロかわらけ3点（1113～1115）

〔国産陶器〕 常滑窯産の壺1点（1206）・深美窯産の壺1点（1217）。

時期 出土遺物と遺構の状態から12世紀の井戸跡と判断される。

## SK128土坑

遺構（第104図、写真図版88）

〔位置・検出状況〕 G4区。SD127底面のⅢ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 SD127溝跡に切られている。

〔規模・平面形〕 規模は、開口部径1.02×0.94m、底部径0.45×0.42m、平面形は円形。深さ0.53m。

〔埋土・堆積状況〕 黒色土・暗褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅣ層礫層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

## (5) 溝 跡

溝状を呈する遺構で27条検出した。各区域で検出されているが、調査区の制約から遺構が調査区域外に延びるものが多く、調査箇所が部分に留まったものが多い。また、同一の溝跡を別々の調査区で調査している場合もあるが、調査時には調査の便を図って、それぞれに名称を付した。報告にあたっては、命名が異なる溝跡でも同一遺構の可能性がある場合は、その旨を記載することとした。

## SD101溝跡

遺構（第105図、写真図版89）

〔位置・検出状況〕 B区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。南北両側が調査区域外に続く。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 開口部の長さ（1.56）m、幅1.12m、底面の幅0.85m、深さ0.38mである。南北に直線的に延びる。SD102溝跡と平行して走っている。

〔埋土・堆積状況〕 黒色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物（写真図版112）

〔出土状況〕 埋土から動物遺体が出土している。

〔動物遺体〕 ウマの臼歯片1点（1513）。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明である。

#### S D 102溝跡

遺構 (第105図、写真図版89)

[位置・検出状況] B区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。南北両側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.58)m、幅0.56m、底面の幅0.40m、深さ0.25mである。南北に直線的に延びる。S D 101溝跡と平行して走っている。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### S D 103溝跡

遺構 (第105図、写真図版89)

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(8.04)m、幅0.76m、底面の幅0.39m、深さ0.32mである。東西方向に直線的に伸びている。S D 104溝跡と並行して走っている。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### S D 104溝跡

遺構 (第105図、写真図版89)

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(5.15)m、幅1.07m、底面の幅0.85m、深さ0.25mである。東西方向に直線的に伸びているようである。S D 103溝跡と並行して走っている。溝跡は短軸方向に段差があり、2条の溝跡が並行しているようにも見えるが、ほとんど時間差なく、つくりかえられた溝跡の可能性もある。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 (第116・119図、写真図版99・101)

[出土状況] 埋土から№1～7の遺物が出土している。

[かわらけ] ロクロかわらけ1点(1116)・手づくねかわらけ1点(1117)。

[国産陶器] 渥美産産の甕2点(1218・1219)。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の溝跡であると考えられる。

## SD105溝跡

遺構 (第105図、写真図版89)

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。  
[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ (3.14) m、幅1.71m、底面の幅0.91m、深さ0.80mである。南北方向に延びるようであるが、南側の様子は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。自然の落ち込みであった可能性もある。

## SD106溝跡

遺構 (第106図、写真図版89)

[位置・検出状況] A区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ4.15m、幅0.99m、底面の幅0.44m、深さ0.46mである。東西方向に延びる溝跡のようである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。自然の落ち込みの可能性もある。

## SD107溝跡

遺構 (第106図、写真図版90)

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。  
[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ (2.60) m、幅1.75m、底面の幅1.04m、深さ0.30mである。南側に向かって延びているが、全体の形状は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・赤灰色で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

## SD108溝跡

遺構 (第106図、写真図版90)

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。  
[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ (2.04) m、幅0.62m、底面の幅0.31m、深さ0.28mである。南側に向かって直線的に延びるようにみえるが、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

## 1 検出遺構

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

### SD109溝跡

遺構 (第106図、写真図版91)

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(0.76)m、幅0.42m、底面の幅0.26m、深さ0.28mである。確認できた範囲が部分的であるため、詳細は不明であるが、溝跡の可能性はある。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

### SD110溝跡

遺構 (第107図、写真図版91)

[位置・検出状況] C区・F3区に分かれて確認した。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。北側・東側で調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(8.8)m、幅1.15m、底面の幅0.91m、深さ0.14mである。北西から南東方向に向かって曲線的に延びている。全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

### SD111溝跡

遺構 (第107図、写真図版91)

[位置・検出状況] E1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ4.61m、幅0.57m、底面の幅0.27m、深さ0.35mである。ほぼ東西方向に直線的に延びている。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

### SD112溝跡

遺構 (第107図、写真図版92)

[位置・検出状況] E1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

調査条件の制約から、2回に分けて調査している。

[重複関係] N T Tの電柱の掘り方に切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(6.51)m、幅0.78m、底面の幅0.29m、深さ0.40mである。南北方向に直線的に延びているが、全体の規模は不明である。南側に向かって低くなっている。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD113溝跡

遺構(第108図、写真図版92)

[位置・検出状況] E 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(3.34)m、幅0.67m、底面の幅0.60m、深さ0.10mである。南側に向かって低くなり、一部消滅しているため、全体の規模・形状は不明瞭である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD114溝跡

遺構(第108図、写真図版92)

[位置・検出状況] F 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ3.65m、幅1.10m、底面の幅0.49m、深さ0.69mである。ほぼ南北方向に長軸がある。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD115溝跡

遺構(第108図、写真図版93)

[位置・検出状況] D 2区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西方向の調査区域外に続く。風倒木痕と重複しているため、平面形が明確に認識できない箇所があった。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(4.20)m、幅1.12m、底面の幅0.51m、深さ0.40mである。東西方向に延びているようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD116溝跡

遺構 (第108図、写真図版93)

[位置・検出状況] G6区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。大部分が調査区域外に続くため全体像は不明である。遺構の状態から溝跡の可能性があると判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.00)m、幅(0.58)m、底面の幅0.30m、深さ0.23mである。全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD117溝跡

遺構 (第109図、写真図版93)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。調査区域外に続く。

[重複関係] SD118・119溝跡と重複しているようだが、重複関係は判然としない。

[規模・平面形] 開口部の長さ(5.44)m、幅1.39m、底面の幅1.25m、深さ0.18mである。東西方向に延びる溝跡のようであるが、全体の規模は不明である。平面形も歪んでおり、攪乱を受けている可能性がある。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。伴共関係は不明だが、溝内に杭跡が残る。

遺物 なし。

時期 近世以降の溝跡と推測される。

#### SD118溝跡

遺構 (第109図、写真図版93)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.04)m、幅0.45m、底面の幅0.32m、深さ0.09mである。東西方向に伸びているようであるが、西側が消滅しており、規模は明らかではない。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 (第119図、写真図版101)

[出土状況] 埋土から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 深美窯産の甕1点(1220)。

時期 12世紀の遺物が出土しているが、時期の詳細は不明である。

## SD119溝跡

遺構 (第109図、写真図版93)

[位置・検出状況] G 5区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD117溝跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.45)m、幅0.43m、底面の幅0.19m、深さ0.12mである。東西方向に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

## SD120溝跡

遺構 (第108図、写真図版93)

[位置・検出状況] G 2区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側は調査区域外に続く。

[重複関係] なし

[規模・平面形] 開口部の長さ(5.00)m、幅0.38m、底面の幅0.15m、深さ0.17mである。検出した範囲では湾曲して、東側は途中で消滅する。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

## SD121溝跡

遺構 (第109図、写真図版94)

[位置・検出状況] G 2区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側は調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.16)m、幅0.25m、底面の幅0.20m、深さ0.11mである。東西方向に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

## SD122溝跡

遺構 (第110図、写真図版95)

[位置・検出状況] G 3区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側は調査区域外に続く。

[重複関係] SD123溝跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(16.4)m、幅1.40m、底面の幅0.80m、深さ1.14mである。周溝状に屈曲し、西側は調査区域外となる。西辺の長さは12mほどであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・灰黄褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

[付属施設] 溝跡の内部にS B 101建物跡がある。同時に存在していた可能性がある。

遺物 (第116・119図、写真図版99・101)

[出土状況] 埋土から、かわらけ・国産陶器が出土している。

[かわらけ] ロクロかわらけ小2点 (1118・1119)。

[国産陶器] 国産陶器の渥美窯産の甕1点 (1221)。

時期 出土遺物と遺構の状態から12世紀と判断される。

### S D 123溝跡

遺構 (第110図、写真図版95)

[位置・検出状況] G 3区。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。東西方向で調査区域外に続く。

[重複関係] S D 122溝跡に切られている。重複する柱穴との関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ (423) m、幅210m、底面の幅1.23m、深さ0.46mである。S D 122溝跡と接する箇所には壁の立ち上がりがあったことから、溝跡としたが、部分的な調査のため、定かでない部分がある。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第119図、写真図版101)

[出土状況] 埋土から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 渥美窯産の片口鉢1点 (1222)・甕1点 (1223)。

時期 出土遺物と遺構の状態から12世紀と判断される。

### S D 124溝跡

遺構 (第111図、写真図版94)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東側が調査区域外に続く。位置的にⅡ区で検出されたS D 23溝跡と連の溝跡の可能性はある。

[重複関係] S D 127溝跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ (222) m、幅0.60m、底面の幅0.35m、深さ0.36mである。東西方向に延びる溝跡のようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀の溝跡と考えられる。

### S D 125溝跡

遺構 (第109図、写真図版94)

[位置・検出状況] G 5区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。東西方向で調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ (399) m、幅2.41m、底面の幅1.71m、深さ0.31mである。東西方向

に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

〔埋土・堆積状況〕 黒色土・暗オリーブ色土・オリーブ黒色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降の溝跡と判断される。

#### SD126溝跡

遺構（第109図、写真図版94）

〔位置・検出状況〕 G4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東側は調査区域外に続く。

〔重複関係〕 SK125土坑と重複する。新口関係は不明である。

〔規模・平面形〕 開口部の長さ（2.59）m、幅0.51m、底面の幅0.22m、深さ0.13mである。東西方向に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

#### SD127溝跡

遺構（第111図、写真図版96）

〔位置・検出状況〕 G4区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。南北方向が調査区域外に続く。

〔重複関係〕 SD124溝跡・SK126・128土坑を切っている。P1330～1335を切っている。

〔規模・平面形〕 開口部の長さ（17.04）m、幅3.39m、底面の幅0.87m、深さ0.67mである。ほぼ南北方向に伸びているが全体の規模は不明である。

〔埋土・堆積状況〕 黒色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物（第120～125図、写真図版102～107）

〔出土状況〕 埋土から近世・近代の陶磁器類21kg、金属製品、ガラス製品などが出土している。

〔陶磁器〕 陶器13点：土瓶の注口1点（1303）・土瓶の蓋1点（1304）・鉢2点（1305・1306）・摺鉢9点（1307～1315）・碗1点（1316）。磁器34点：碗15点（1323～1337）・猪口1点（1338）・壺1点（1339）・碗2点（1340・1341）・湯呑1点（1342）・蓋3点（1343～1345）・皿11点（1346～1356）。

〔金属製品〕 シャベル1点（1412）・寛永通寶1点（1413）・明治1銭銅貨1点（1414）。

〔ガラス製品〕 コップ1点（1421）・瓶1点（1422）。

時期 出土遺物と遺構の状態から近世以降の溝跡と判断される。また、遺構の状態や出土遺物、位置関係から、I遺跡のSD24溝跡も連続する一連の溝跡と推測される。これらの溝跡は、近世の尿敷地を囲んでいた区画溝で、SD127溝跡は、その区画溝の東側の一部と推測される。

#### （6）土器埋設遺構

土器埋設遺構は、G4区から1基検出された。出土した陶器から12世紀の遺構と判断されるものである。常滑窯の壺が倒立で埋設されていた遺構であったと推測される。

### S Z01土器埋設遺構

遺構 (第104図、写真図版88)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で陶磁器片を含む円形状の黒褐色土の広がりとして検出された。検出した時点でS K121土坑に切られていた。本遺構の陶器片はS K121土坑埋土にも含まれていた。

[重複関係] S K121土坑に切られている。

[掘り方の規模・平面形] 規模は、開口部径0.87×0.82m、底部径0.78×0.70m、平面形は円形で、深さ0.13m。上部はかなり削平されたものと推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦で、壁は外傾する。

[土器の埋設方法と土器内部の様子] 陶器は口縁部を下にした状態で確認された。破片は胴部から底部もあり、本来は倒立で埋設されていた可能性がある。その場合、S Z01土器埋設遺構は、近世以降の遺構 (S K121土坑やS D127溝跡など) 構築の際、本来の掘り込み面より大幅に削平されたと判断される。埋設土器内部からは、埋土以外に混入物は確認できていない。

[所属施設] S B103建物跡の内部に位置するが関係は不明である。単独の遺構と考えておきたい。

遺物 (第118図、写真図版100)

[出土状況] 掘り込み内に、口縁部を下にした陶器の破片が出土した。

[同産陶器] 常滑窯の甕1点 (1212a・b)。a・b同一個体である。器形の歪みが著しい。

時期 12世紀の遺構である。墓の可能性も考えられるが、性格については定かでない。

## 2 出土遺物

### (1) 出土遺物の概要

南日詰小路口Ⅱ遺跡の出土遺物には、縄文時代の土器、石器、古代の上師器、須恵器、石製品、12世紀のかわらけ、国産陶器、中国産磁器、中世の磁器、近世・近代の陶磁器、石製品、金属製品、ガラス製品、木製品、土製品、動物遺体、植物遺体などがある。図版は遺物の種別ごとに作成し、出土地点別に作成した。また、出土地点別に異なる種類の遺物の出土状況を把握するため、別に出土地点別の集成図を作成した。以下、遺物の種別ごとに詳述する。

### (2) 縄文時代の遺物

#### 縄文土器 (第112図、写真図版97、第33表)

縄文土器は188.7g出土した。1001は深鉢の口縁部破片で、時期は縄文時代中期頃と推測される。

#### 石器 (第112図、写真図版97、第34表)

石器は凹石2点、石鎌1点が出土した。凹石2点は、いずれも欠損品で、円磔・亜円磔を使用し、1002は両面、1003は片面に円錐状の窪みが形成されている。1004は先端部を欠損する有茎鎌である。時期の詳細は不明だが、縄文時代の石器と推測される。

### (3) 古代の遺物

#### 土師器・須恵器 (第113～115図、写真図版97・98、第35表)

土師器9.644.2g、須恵器3.383.4gが出土した。掲載した遺物は土師器12点、須恵器7点である。主な出土地点は古代の竪穴住居跡S I 101竪穴住居跡(1011・1023)・S I 103竪穴住居跡(1012～1022・1024～1027)である。いずれも土師器・須恵器の組み合わせである。S I 103竪穴住居跡は住居跡全体の1/3程度の範囲の精査であったが、カマド付近を中心とする範囲から、まとまって遺物が出土した。掲載した遺物は、土師器11点・須恵器4点である。1021はカマドの支脚に用いられた小型の甕である。1024は底部が丸みを帯びる大型の甕の底部片である。1025・1026は坏である。1027の須恵器は蓋と推測される破片である。

#### 石製品 (第115図、写真図版98、第36表)

1030は、表採資料だが、古代の石製品である紡錘車と推測されることから掲載した。

### (4) 12世紀の遺物

#### かわらけ (第116図、写真図版99、第37表)

かわらけは、22,198.7g出土した。掲載したのは22点(1294.8g)である。内訳はロクロかわらけの大小・手づくねかわらけの大小がある。ロクロかわらけは、全体に赤みがかかる色調で胎土に砂礫が混じる特徴がある。手づくねかわらけは、ロクロかわらけと比べると、胎土に比較的混入物が少なく、緻密で、薄手につくられている。手づくねかわらけは、口縁部を面取りしているものと面取りしていないものがあり、調整は2段などで1段などがある。SK106井戸跡からは手づくねかわらけ、SK115・127井戸跡からは、器高の高い碗形のかわらけが出土している。表中の法量は実測図上での計測値(口径・底径は推定値、器高は残存値)で、重量は残存値を示した。

#### 国産陶器 (第117～119図、写真図版99～101、第38表)

国産陶器は14,879.8g出土している。すべて破片である。内訳は常滑窯産・渥美窯産・須恵器系である。

常滑窯産陶器は12,609.3g出土した。12点(1201～1212)を掲載した。SK107井戸跡からは甕と片口鉢が出土した。1204・1205は同一個体の可能性があるが、片口鉢の内外面には黒色の遺物が付着し、特に内面には固形化して付着している。漆の可能性がある。すりこぎで漆を加工した容器であったと推測される。1206は底部片である。1207は、三筋文壺の破片と思われる。1212は、S Z101土器埋設遺構出土で、倒立で埋設されていたと推測される大型の甕である。口縁部から底部まで壺みが非常に大きい。外面には押印文が施され、内面に輪積痕がある。瀬美窯産陶器は2,234.6g出土した。14点(1213～1226)掲載した。常滑窯陶器に比べて比較的胎土が均一で、色調が灰白色である。器種には甕と片口鉢がある。須恵器系陶器は35.9g出土した。2点(1227・1228)すべて掲載した。

中国産磁器(第119図、写真図版101、第39表)

中国産磁器は130.4g出土した。すべて破片で、4点すべて掲載した。器種は壺(Ⅲ系)と碗(Ⅰ～Ⅴ)・皿(Ⅴ・Ⅵ)類である。1230は壺類の底部片である。1232は青磁の碗の破片で、蓮弁文が描かれている。

### (5) 中世の遺物

中世の磁器は18.1g出土した。出土した1点を掲載した(第119図、写真図版101、第40表)。1251は16世紀の染付の破片である。

### (6) 近世・近代の遺物

陶器・磁器がある。総量24,924.1gが出土した。うち59点(7,860.9g)を掲載した(第120～125図、写真図版102～106、第41表)。限られた時間のなかでの図化作業であったため、内容を十分に提示できていない可能性がある。主にSK121・126土坑・SD127溝跡からの出土したもので、いずれも近世の屋敷地に伴う遺構である。SD127溝跡から出土した陶磁器類は総量約21kgである。1301～1316は陶器である。1301は相馬産の腰折碗。1303は注口、1304は壺である。1307～1315は採掘で、卸目の状態から1315は古手のものと判断される。SK126土坑、SD127溝跡出土の陶磁器類をみると、時期差はほとんどないようである。器種は、碗・碗蓋・壺・湯呑・皿などがある。碗・皿ともに掲載したものの他に同一のものが2～5個体確認できたものがあり、複数からなるセットで購入・使用されたことがわかる。1322は霽文皿である。1343の壺は1324の碗とセットである。1344の蓋は1327の碗とセットである。これらの陶磁器類の時期は17世紀代から19世紀後半に属し、特に19世紀後半の明治時代に属するものが多い傾向がある。

### (7) 石製品

石製品は1点(487.6g)出土した(第125図、写真図版107、第42表)。1401は近世の屋敷地に伴うSK126土坑から出土した頁岩製の硯で、縁を一部欠くがほぼ完形品である。裏面に「明石組第三部大沼喜悦」の刻線がある。大沼喜悦氏は、大正から昭和初期に生存した大沼家の祖先であるとの聞き取りに元づけば、20世紀前半に使用された硯ではなかったかと判断される。

### (8) 金属製品

金属製品は4点出土した。鉄製品2点・銭貨2点である(第125図、写真図版107、第43表)。1411は、SK107井戸跡の検出時にその平面形とその周囲を跨いで出土したものである。よってSK107井戸跡より新しく、時期は近世以降の可能性がある。1412はSD127溝跡出土で、土砂・炭などをすくう際に使用したスコップと推測される。柄を差し込んだと推測される部分には留金具がある。1413は寛永

通寶(新寛永、初铸年1697年)。1414は不鮮明ながら龍1銭銅貨(明治6年(1873)～明治21年(1888)铸造)と推測される。

### (9) ガラス製品

ガラス製品はコップと瓶各1点である(第125図、写真図版107、第44表)。ともにS D127溝跡からの出土である。1421のコップは透明ガラス製である。1422の瓶の口縁部片でコルク栓と判断される。その他に不掲載としたが、ランプの破片と思われる白色ガラス片が出土している。

### (10) 木製品

木製品は27点出土している(第126～131図、写真図版108～111、第45表)。出土した遺構から12世紀に属するものと近世以降に属するものに大別される。1431・1432は、S K105井戸跡出土の井戸枠の縦板で一部を掲載した。縦板の厚さは5cm前後である。樹種はアスナロである。1433～1436は横板で、縦板の内側に凸部と凹部を組み合わせて方形に組まれていた。樹種はクリである。S K107井戸跡から出土した木製品は多く、9点(1439～1447)掲載した。1439～1441の漆器碗は、内外面とも黒漆である。部材はケヤキである。1443は折敷の破片か。樹種はアスナロである。1445～1447は部材と思われる。1445は中央付近に方形の穿があり、一端が炭化している。1450は木鍾と思われるが、表面がかなり風化している。樹種はクリである。1453は用途不明の木製品で一部が炭化している。題箋の可能性はあるか。樹種はアスナロである。S K116からは容器と下駄・編物片が出土した。1454は挽き物の漆容器と思われ、内外面に漆と思われる痕跡がある。樹種はケヤキである。1455は速歯の下駄で樹種はケヤキである。1456は竹製の編物片と推測される。外側に糞状の繊維が付着している。1457は速歯の下駄で樹種はクリである。樹種の同定結果については、第Ⅶ章第1節を参照されたい。

### (11) 土製品

土製品は、写真のみの掲載で2点(94.9g)を掲載した(写真図版112、第46表)。S K115井戸跡からの出土である。1501は羽巾、1502は土壁の可能性はあるが、小破片のため詳細は不明である。

### (12) 動物遺体

動物遺体は72.1g出土した(写真図版112、第47表)。確認できた種別は、シカ・ウマである。S I103堅穴住居跡のカマド付近から焼骨片が出土している。住居使用時に住人が食した動物の食べ滓と推測される。S D101溝跡からはウマの臼歯片が出土している。時期は不明である。

### (13) 植物遺体

植物遺体は種子83.6gが出土した。全点の観察表を掲載し、6点(1521～1526)を写真掲載した(写真図版112、第48表)。5点について鑑定を行った結果、モモ・トチノキ・オニグルミと同定された。S K115井戸跡からはオニグルミ38.8g・モモ6.8g・トチノキ4.1gなど、種子が比較的多く出土した。炭化材は209.6g出土した。6点(試料№496・498・504・507・511・701)について放射性炭素年代測定を行った。分析の結果では、第Ⅶ章第3節を参照されたい。

第23表 聖六住居跡観覧表

遺跡名	区域	北緯	東経	Y座標(m)	X座標(m)	標高(m)	遺構(m)	遺構方位(N, S, E)	有気候設	埋土の埋藏状況(上・下位)	土質	遺構	同図No	写真No
SI101	C	E	-	28662.47	92.50	-	-	-	なし	明小黒色土・黒褐色土・暗赤褐色土(カマド跡)	平土	カマド遺跡部分のみ	83	73
SI102	C	II	-	28686.29	92.24	-	-	-	なし	暗赤褐色土(カマド遺跡)	平土	カマド遺跡部分のみ	83	73
SI103	G	II	-	28814.17	92.45	(6.6)	0.24	東側	P1 ~ P7・相違	暗赤褐色土・白土	平土	西側露出部分	81・85	71・75

SI103ピット

遺構名	区域	X座標(m)	Y座標(m)	Z深(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)
SI103-P1	G2	-	28814.07	91.87	-	0.18	-	0.18	-	0.18	-	0.18	-	0.18	-	0.18
SI103-P2	G2	-	28814.67	92.16	-	0.21	-	0.21	-	0.21	-	0.21	-	0.21	-	0.21
SI103-P3	G2	-	28815.35	92.24	-	0.22	-	0.22	-	0.22	-	0.22	-	0.22	-	0.22
SI103-P4	G2	-	28814.52	92.13	-	0.24	-	0.24	-	0.24	-	0.24	-	0.24	-	0.24
SI103-P5	G2	-	28813.98	92.13	-	1.00	-	(1.50)	-	0.70	-	0.45	-	0.26	-	掘上げ外
SI103-P6	G2	-	28815.02	92.13	-	1.06	-	0.85	-	0.96	-	0.74	-	0.21	-	掘上げ外
SI103-P7	G2	-	28814.04	92.25	-	0.21	-	0.17	-	0.14	-	0.08	-	0.11	-	掘上げ外

第24表 建物跡・柱列跡観覧表

遺構名	区域	柱の出	X座標(m)	Y座標(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)	層位(N, S, E)	層厚(m)
SB101	無立木遺跡跡	G3	III	-5180.275	28838.896	-1	(4.78)	(2.13)	P1017	P1216-P1205-P1206-P1207-P1208	12世紀	SD1209跡	95	76		
SB102	無立木遺跡跡	G4	III	-5200.222	28851.561	-2	(7.18)	(2.53)	P1316-P1310-P1331-P1332-P1333-P1334	P1326-SH102-SD127	12世紀	SD1209跡	95	76		
SB103	無立木遺跡跡	G4	III	-5201.898	28854.729	-1	(7.54)	(2.32)	P1327-P1320	P1319-P1318-P1321-P1322-SH103-SD127	12世紀	SD1209跡	95	76		
SB104	無立木遺跡跡	G4	III	-5202.432	28859.542	6	(5.81)	(3.23)	P1216-P1205-P1206-P1207-P1208	P1213-P1212-P1211-P1210-P1209-P1208	12世紀	SD1209跡	95	76		
SB105	無立木遺跡跡	G4	III	-5201.968	28857.001	7	(4.01)	-	P1217-P1226-P1229	-	12世紀	SD1209跡	96	77		
SB106	無立木遺跡跡	G4	III	-5201.924	28854.900	5	(3.96)	-	P1217-P1226-P1229	-	12世紀	SD1209跡	96	77		
SB107	柱列跡	G4	III	-5201.533	28852.027	3	(3.60)	-	P1237-P1259-P1260	-	12世紀	SD1209跡	96	77		
SB108	柱列跡	G4	III	-5202.694	28850.780	4	(4.88)	-	P1238-P1264-P1267-P1269	-	12世紀	SD1209跡	96	77		
SB109	柱列跡	G4	III	-5200.896	28861.944	85	(3.55)	-	P1271-P1274-P1277	-	12世紀	SD1209跡	96	77		
SB110	無立木遺跡跡	G4	III	-5200.667	28862.663	0	(3.57)	0.75	P1267-P1296-P1285-P1284-P1282-P1288	-	12世紀	SD1209跡	97	77		
SB111	柱列跡	G4	III	-5201.4318	28865.520	0	(3.57)	-	P1267-P1296-P1285-P1284-P1282-P1288	-	12世紀	SD1209跡	97	77		
SB112	無立木遺跡跡	G4	III	-5205.4107	28868.900	11	(1.61)	(1.43)	P1298-P1299-P1300-P1295	-	不明	不明	97	77		
SB113	無立木遺跡跡	G6	III	-5205.041	28884.261	74	(3.10)	(1.79)	P1227-P1228-P1299-P1332-P1331-P1330	-	12世紀	SD1209跡	97	77		

第25表 柱穴観察表

(82/84)

表層地	区域	柱穴番	穴番号 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口径 (cm)	開口傾斜 (%)	底面傾斜 (%)	底面傾斜 (mm)	比高差 (m)	右側傾斜率 (%)	備考	建物
P1001	R	Ⅲ	-51991.09	28630.21	92.27	0.31	0.29	0.13	0.11	0.19			
P1002	R	Ⅲ	-51969.28	28620.05	92.18	0.29	0.32	0.14	0.12	0.26			
P1003	D	Ⅲ	-52049.96	28635.26	92.30	(0.20)	0.25	0.10	0.06	0.15			調査区外
P1004	D	Ⅲ	-52046.64	28638.57	92.23	0.29	0.29	0.11	0.09	0.09			
P1005	D	Ⅲ	-52044.41	28627.43	92.22	0.22	0.18	0.12	0.08	0.07			
P1006	D	Ⅲ	-52044.51	28627.18	92.10	0.18	0.15	0.08	0.06	0.16			
P1007	D	Ⅲ	-52044.01	28620.65	92.18	0.20	(0.20)			0.10			調査区外
P1008	D	Ⅲ	-52044.77	28623.95	92.16	0.22	0.26	0.19	0.12	0.13			
P1009	D	Ⅲ	-52045.31	28622.36	91.97	0.40	(0.30)	0.08	0.06	0.31			調査区外
P1010	D	Ⅲ	-52044.19	28620.33	92.18	0.36	0.31	0.17	0.14	0.10			
P1011	A	Ⅲ	-51866.26	28709.66	91.76	0.36	0.32	0.29	0.19	0.70			
P1012	A	Ⅲ	-51866.44	28710.23	92.27	0.41	0.30	0.29	0.14	0.26			
P1013	A	Ⅲ	-51865.37	28703.29	91.96	0.70	0.53	0.19	0.13	0.32			
P1014	A	Ⅲ	-51862.84	28690.06	92.03	0.21	0.22	0.20	0.16	0.21			
P1015	A	Ⅲ	-51893.94	28703.55	92.36	0.60	(0.45)	0.35	(0.30)	0.16			調査区外
P1016	A	Ⅲ	-51894.06	28701.77	92.28	0.70	0.60	0.50	(0.40)	0.19		P1016<トレン	
P1017	A	Ⅲ	-51893.15	28700.95	92.40	0.11	0.28	0.24	0.18	0.15			
P1018	A	Ⅲ	-51889.28	28707.48	92.34	0.42	0.25	0.19	0.14	0.19			
P1019	A	Ⅲ	-51889.48	28706.92	92.44	0.32	0.20	0.21	0.10	0.11			
P1020	A	Ⅲ	-51889.41	28706.07	92.25	0.30	0.23	0.13	0.10	0.31			
P1021	A	Ⅲ	-51889.69	28705.24	92.46	0.30	0.28	0.25	0.16	0.17			
P1022	A	Ⅲ	-51888.01	28704.04	92.22	0.84	0.52	0.70	0.32	0.30			
P1023	C	Ⅲ	-51994.15	28676.41	91.94	0.19	0.17	0.08	0.02	0.48			
P1024	C	Ⅲ	-51993.93	28676.77	92.36	0.23	0.21	0.12	0.12	0.20			
P1025	C	Ⅲ	-51993.58	28672.86	92.11	0.30	0.30	0.10	0.10	0.35		P1025<P1025	
P1026	C	Ⅲ	-51993.67	28672.95	92.09	0.40	0.25	0.20	(0.10)	0.35		P1026<P1025	
P1027	C	Ⅲ	-51993.70	28673.83	92.06	0.42	0.36	0.17	0.16	0.36			
P1028	C	Ⅲ	-51994.32	28674.15	92.14	0.26	0.20	0.17	0.13	0.28			
P1029	C	Ⅲ	-51993.88	28675.02	92.12	0.21	0.22	0.13	0.09	0.31			
P1030	C	Ⅲ	-51993.85	28676.23	92.06	0.40	0.25	0.17	0.15	0.38		P1030<P1081	
P1031	C	Ⅲ	-51993.58	28676.25	92.09	(0.45)	(0.30)	0.24	0.21	0.37		P1030<P1081	
P1032	C	Ⅲ	-51994.16	28676.61	92.14	0.33	0.26	0.20	0.12	0.28			
P1033	C	Ⅲ	-51994.33	28676.90	92.19	0.34	0.29	0.16	0.11	0.27			
P1034	C	Ⅲ	-51994.02	28678.85	92.13	0.20	0.35	0.30	0.23	0.28		P1034<P1085	
P1035	C	Ⅲ	-51994.24	28679.11	91.99	(0.45)	(0.30)	0.22	0.14	0.29		P1034<P1085	
P1036	C	Ⅲ	-51994.62	28678.87	92.22	0.21	0.19	0.16	0.14	0.25			
P1037	C	Ⅲ	-51995.04	28678.90	92.62	0.48	0.41	0.31	0.22	0.12			
P1038	C	Ⅲ	-51995.15	28678.71	92.25	0.31	0.25	0.13	0.09	0.19			
P1039	C	Ⅲ	-51995.16	28676.71	92.15	0.40	0.30	0.18	0.14	0.33		P1039<P1040	
P1040	C	Ⅲ	-51996.02	28676.58	92.37	0.30	0.30	0.23	0.15	0.27		P1040<P1039	東西に建
P1041	C	Ⅲ	-51995.15	28682.25	91.94	0.34	0.30	0.17	0.15	0.14			
P1042	C	Ⅲ	-51995.67	28683.69	92.05	0.38	0.37	0.18	0.14	0.34			
P1043	C	Ⅲ	-51996.08	28683.47	91.97	0.53	0.51	0.22	0.20	0.41			
P1044	C	Ⅲ	-51997.24	28683.78	92.43	(0.25)	0.15	0.15	0.10	0.30		P1044<P1045	
P1045	C	Ⅲ	-51997.04	28683.61	92.18	0.44	0.37	0.15	0.12	0.33		P1044<P1045	
P1046	C	Ⅲ	-51997.58	28684.44	92.42	0.23	0.21	0.15	0.11	0.13			
P1047	C	Ⅲ	-51998.15	28685.34	92.08	0.41	0.41	0.22	0.13	0.44			
P1048	C	Ⅲ	-51996.89	28686.21	92.36	(0.20)	0.20	(0.10)	0.10	0.10		P1048<P1049	
P1049	C	Ⅲ	-51996.68	28686.17	92.26	0.35	0.33	0.20	0.17	0.24		P1048<P1049	
P1050	C	Ⅲ	-51997.44	28687.20	92.36	0.21	0.21	0.13	0.12	0.16			
P1051	C	Ⅲ	-51997.73	28687.79	92.05	0.20	0.19	0.14	0.10	0.47			
P1052	C	Ⅲ	-51998.95	28688.39	92.27	0.48	0.37	0.31	0.24	0.26			
P1053	C	Ⅲ	-51998.71	28689.02	92.05	0.41	0.28	0.16	0.12	0.46			
P1054	C	Ⅲ	-51999.06	28689.34	92.14	0.31	0.30	0.20	0.18	0.43			
P1055	C	Ⅲ	-51999.52	28682.62	92.29	0.36	0.25	0.24	0.13	0.20			
P1056	C	Ⅲ	-51999.08	28693.47	92.29	0.30	0.25	0.23	0.16	0.22			
P1057	C	Ⅲ	-32000.74	28694.44	92.26	0.32	0.23	0.17	0.14	0.24			
P1058	C	Ⅲ	-32000.87	28693.64	92.18	0.31	0.29	0.15	0.10	0.32			
P1059	D	Ⅲ	-32036.12	28706.68	91.38	0.67	0.43	0.12	0.08	0.44			
P1060	D	Ⅲ	-32034.89	28707.98	91.43	0.43	0.31	0.24	0.21	0.28			
P1061	D	Ⅲ	-32034.03	28706.74	91.48	0.35	0.27	0.20	0.15	0.21			
P1062	C	Ⅲ	-51996.79	28691.25	92.28	0.27	0.22	0.20	0.11	0.11			
P1063	C	Ⅲ	-51996.08	28691.44	92.18	0.23	0.20	0.17	0.12	0.18			
P1064	C	Ⅲ	-51995.88	28691.81	92.00	0.47	0.39	0.31	0.18	0.27			
P1065	C	Ⅲ	-51996.09	28692.20	92.01	0.41	0.33	0.22	0.18	0.37			
P1066	C	Ⅲ	-51996.92	28692.62	92.36	0.25	0.16	0.15	0.12	0.06			
P1067	C	Ⅲ	-51998.15	28683.34	92.15	0.52	0.46	0.38	0.25	0.56			
P1068	欠少	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露
P1069	欠少	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露
P1070	欠少	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露	欠露
P1071	F2	Ⅲ	-51897.62	28603.44	92.39	0.26	0.25	0.14	0.12	0.18			
P1072	F2	Ⅲ	-51898.24	28604.25	92.36	0.28	0.22	0.17	0.11	0.20			

第25表 柱穴観察表

(続前頁)

調査区	区画	検出箇	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z深度 (m)	閉じ蓋材料 (m)	開口部材料 (m)	密着剤種類 (m)	成層厚輪 (m)	比尺差 (%)	土質調査等 (H・C・S・G・R)	備考	植物
P1023	E2	Ⅲ	-51897.57	28804.74	92.26	(0.30)	(0.20)	0.17	0.15	0.28	P1033->P1074		
P1074	E2	Ⅲ	-51897.33	28804.72	92.17	(0.30)	(0.30)	0.16	0.11	0.34	P1074->P1073		
P1075	E2	Ⅲ	-51896.75	28804.81	92.23	0.27	0.21	0.15	0.08	0.25			
P1076	E2	Ⅲ	-51898.53	28805.92	92.30	0.25	0.30	0.14	0.10	0.12			
P1077	E2	Ⅲ	-51896.78	28806.70	92.29	(0.30)	(0.30)	0.16	0.14	0.17	P1077->P1078		
P1078	E2	Ⅲ	-51896.59	28806.50	92.30	(0.30)	(0.30)	0.19	0.16	0.18	P1078->P1077		
P1079	E2	Ⅲ	-51896.86	28807.26	92.07	0.40	0.34	0.16	0.14	0.30			
P1080	E2	Ⅲ	-51896.69	28807.91	92.34	0.24	0.23	0.14	0.10	0.12			
P1081	E2	Ⅲ	-51897.85	28808.46	91.95	0.30	0.28	0.13	0.11	0.31			
P1082	E2	Ⅲ	-51896.58	28810.09	92.20	0.29	0.23	0.10	0.08	0.23			
P1083	E2	Ⅲ	-51895.86	28810.42	92.19	0.25	0.22	0.13	0.10	0.18			
P1084	E2	Ⅲ	-51898.30	28808.51	92.20	0.40	(0.30)	0.13	0.11	0.31	P1084->P1085		
P1085	E2	Ⅲ	-51898.22	28808.25	92.40	0.26	(0.30)	0.32	0.21	0.14	P1085->P1084		
P1086	E2	Ⅲ	-51894.34	28813.02	92.17	0.26	0.21	0.16	0.11	0.20			
P1087	E2	Ⅲ	-51899.51	28810.69	92.17	0.65	0.55	0.37	0.36	0.32			
P1088	E2	Ⅲ	-51894.73	28812.17	92.23	0.22	0.19	0.11	0.10	0.12			
P1089	E2	Ⅲ	-51896.22	28814.18	92.10	0.34	0.30	0.20	0.17	0.19			
P1090	E2	Ⅲ	-51897.08	28814.46	91.87	0.44	0.29	0.15	0.14	0.42			
P1091	E2	Ⅲ	-51896.40	28814.52	92.25	0.27	0.26	0.13	0.11	0.26			
P1092	E2	Ⅲ	-51896.15	28804.93	-	0.63	0.20	-	-	-		調査区外 掘出のみ	
P1093	E4	Ⅲ	-51897.55	28793.83	92.34	0.25	0.43	0.18	0.13	0.25			
P1094	E4	Ⅲ	-51898.89	28792.55	92.37	0.27	0.21	0.09	0.06	0.24			
P1095	E4	Ⅲ	-51888.68	28791.22	92.27	0.35	0.32	0.24	0.18	0.27			
P1096	F4	Ⅲ	-51898.37	28792.34	92.33	0.30	0.34	0.09	0.08	0.29			
P1097	F4	Ⅲ	-51898.03	28791.94	92.32	0.43	0.39	0.21	0.17	0.30			
P1098	F4	Ⅲ	-51896.71	28791.01	92.31	0.39	0.36	0.16	0.14	0.27		調査区外	
P1099	F4	Ⅲ	-51897.23	28790.88	92.34	0.43	0.36	0.19	0.09	0.25			
P1100	F4	Ⅲ	-51896.07	28790.68	92.38	0.39	0.33	0.15	0.11	0.23			
P1101	F1	Ⅲ	-51894.15	28780.38	91.99	0.63	0.50	0.42	0.28	0.58			
P1102	F1	Ⅲ	-51894.50	28776.16	92.52	0.67	0.61	0.43	0.28	0.68			
P1103	E3	Ⅲ	-51901.34	28802.96	92.29	0.28	0.24	0.20	0.10	0.26			
P1104	E3	Ⅲ	-51901.27	28802.12	92.28	0.34	0.31	0.17	0.11	0.24			
P1105	E3	Ⅲ	-51901.46	28801.87	92.26	0.30	0.23	0.20	0.14	0.27			
P1106	G6	Ⅲ	-52127.51	28893.32	91.87	0.25	0.22	0.13	0.08	0.29			
P1107	G6	Ⅲ	-52125.61	28895.04	91.97	(0.20)	(0.12)	0.08	0.10	0.27		調査区外	
P1108	G6	Ⅲ	-52125.15	28894.04	91.88	0.22	0.21	0.10	0.07	0.27			
P1109	G6	Ⅲ	-52125.43	28892.94	91.75	0.29	0.20	0.09	0.07	0.41			
P1110	G6	Ⅲ	-52124.05	28893.56	91.95	0.25	0.18	0.10	0.07	0.22	P1110-P1110		
P1111	G6	Ⅲ	-52124.33	28893.33	91.84	0.55	0.30	0.31	0.12	0.33	P1111-P1110		
P1112	G6	Ⅲ	-52122.82	28892.79	91.91	0.25	0.19	0.10	0.04	0.25			
P1113	G6	Ⅲ	-52121.17	28892.36	91.94	0.36	0.21	0.12	0.11	0.23			
P1114	G6	Ⅲ	-52121.80	28893.25	92.09	0.22	0.20	0.13	0.10	0.14			
P1115	G6	Ⅲ	-52121.08	28892.69	91.94	0.30	0.24	0.14	0.11	0.22			
P1116	G6	Ⅲ	-52120.65	28891.54	92.05	0.23	0.20	0.11	0.11	0.13			
P1117	G6	Ⅲ	-52118.92	28893.25	91.99	0.15	(0.10)	-	-	0.14		調査区外	
P1118	G6	Ⅲ	-52118.65	28893.01	91.91	0.21	0.19	0.11	0.08	0.19			
P1119	G6	Ⅲ	-52116.63	28890.55	92.00	0.24	0.21	0.14	0.12	0.12			
P1120	G6	Ⅲ	-52115.73	28888.67	91.77	0.57	0.53	0.16	0.08	0.23			
P1121	G6	Ⅲ	-52113.83	28889.77	92.04	0.19	0.16	0.13	0.11	0.09			
P1122	G6	Ⅲ	-52112.15	28888.16	91.73	0.47	0.29	0.14	0.10	0.28			
P1123	G6	Ⅲ	-52110.46	28889.97	91.80	0.30	0.26	0.11	0.07	0.26			
P1124	G6	Ⅲ	-52124.31	28891.86	91.99	0.26	0.25	0.14	0.11	0.18	P1110-P1124		
P1125	G6	Ⅲ	-52106.40	28889.39	91.99	0.57	0.46	0.44	0.26	0.13			
P1126	G6	Ⅲ	-52106.89	28889.97	91.72	0.46	(0.25)	-	-	0.46		調査区外	
P1127	G6	Ⅲ	-52098.58	28885.93	92.00	0.21	0.13	0.12	0.07	0.16		SD113	
P1128	G6	Ⅲ	-52099.00	28885.63	91.92	0.22	0.21	0.15	0.13	0.16		SD113	
P1129	G6	Ⅲ	-52099.40	28882.83	91.96	0.23	0.20	0.15	0.06	0.13		SD113	
P1130	G6	Ⅲ	-52096.77	28883.46	91.96	0.23	0.18	0.17	0.13	0.27		SD113	
P1131	G6	Ⅲ	-52097.26	28884.26	91.90	0.17	0.16	0.12	0.10	0.24		SD113	
P1132	G6	Ⅲ	-52097.70	28882.51	91.99	0.16	0.12	0.08	0.05	0.10		SD113	
P1133	G6	Ⅲ	-52096.65	28883.34	91.86	0.21	0.14	0.07	0.04	0.22			
P1134	G6	Ⅲ	-52100.36	28883.10	91.96	0.23	0.20	0.13	0.11	0.11			
P1135	G6	Ⅲ	-52126.23	28884.04	91.95	0.31	0.25	0.17	0.11	0.23			
P1137	G6	Ⅲ	-52121.25	28891.40	91.81	0.30	0.19	0.14	0.12	0.34			
P1138	G5	Ⅲ	-52081.20	28877.19	91.90	0.22	0.21	0.08	0.06	0.14			
P1139	G5	Ⅲ	-52078.78	28877.28	91.93	0.24	0.22	0.10	0.07	0.29			
P1140	G5	Ⅲ	-52078.51	28876.50	92.03	0.18	0.17	0.10	0.08	0.15			
P1141	E5	Ⅲ	-51900.29	28787.69	92.21	0.35	0.34	0.16	0.11	0.25			
P1142	E5	Ⅲ	-51899.62	28787.41	92.30	0.29	0.25	0.13	0.10	0.20			
P1143	E5	Ⅲ	-51896.76	28787.30	92.03	0.28	0.25	0.30	0.15	0.37			

第25表 柱穴観察表

(改存)

番号	区域	検出面	300深 (m)	500深 (m)	2層位 (m)	開口部支分 (m)	開口部埋積 (m)	底層(深) (m)	底層埋積 (m)	比高差 (m)	高低関係 (H<高、>は低)	備考	遺物
P1144	B5	凹	-51809.36	28786.26	92.30	0.11	0.32	0.25	0.30	0.16			
P1145	P5	凹	-51899.01	28788.71	92.30	0.43	0.25	0.18	0.12	0.18			
P1146	G2	凹	-51882.31	28812.87	92.17	0.27	0.23	0.09	0.05	0.23			
P1147	G2	凹	-51855.39	28813.66	92.05	0.40	0.33	0.09	0.08	0.38			
P1148	G2	凹	-51882.11	28811.09	92.22	0.28	0.30	0.14	0.11	0.17			
P1149	G2	凹	-51883.49	28813.06	91.97	0.37	0.33	0.12	0.12	0.41			
P1150	G2	凹	-51893.62	28813.39	92.09	0.28	0.26	0.12	0.10	0.30			
P1151	G2	凹	-51879.53	28813.13	92.20	0.31	0.28	0.11	0.09	0.23			
P1152	G2	凹	-51882.50	28813.81	92.26	0.24	0.20	0.14	0.12	0.11			
P1153	G2	凹	-51882.06	28814.61	92.27	0.21	0.21	0.12	0.08	0.14			
P1154	G2	凹	-51882.87	28815.52	92.07	0.38	0.31	0.11	0.10	0.35			
P1155	G2	凹	-51883.43	28815.63	91.98	0.27	0.25	0.12	0.11	0.45			
P1156	G2	凹	-51884.29	28816.07	92.32	(0.20)	0.20	0.12	0.05	0.16			調査区外
P1157	G2	凹	-51885.26	28816.36	92.16	0.59	(0.50)	0.30	0.10	0.28			調査区外
P1158	G2	凹	-51885.88	28816.55	92.25	0.40	(0.30)	0.14	0.12	0.23			調査区外
P1159	G2	凹	-51884.96	28814.76	92.15	0.29	0.29	0.11	0.09	0.27			
P1160	G2	凹	-51885.93	28814.69	92.33	0.28	0.19	0.16	0.11	0.06			
P1161	G2	凹	-51886.11	28816.50	92.23	0.32	0.30	0.18	0.09	0.26			
P1162	G2	凹	-51887.77	28816.59	92.13	0.27	0.24	0.10	0.00	0.33			
P1163	G2	凹	-51888.21	28815.62	91.92	0.33	0.30	0.10	0.00	0.33			
P1164	G2	凹	-51888.46	28815.33	92.00	0.24	0.17	0.06	0.04	0.23			
P1165	G2	凹	-51888.61	28815.13	92.22	0.24	0.22	0.15	0.11	0.22			
P1166	G2	凹	-51888.90	28815.80	91.80	0.30	0.38	0.17	0.13	0.36			
P1167	G2	凹	-51889.25	28816.37	92.35	0.26	0.19	0.16	0.13	0.11			
P1168	G2	凹	-51889.08	28817.19	92.11	0.33	0.28	0.12	0.10	0.31			
P1169	G2	凹	-51888.82	28817.64	92.16	0.45	(0.30)	0.11	0.08	0.28			調査区外
P1170	G2	凹	-51890.56	28817.46	92.07	0.28	0.23	0.12	0.10	0.37			
P1171	G2	凹	-51892.47	28814.10	92.23	0.24	0.33	0.08	0.08	0.19			
P1172	G2	凹	-51892.21	28814.39	92.10	0.23	0.21	0.12	0.08	0.33			
P1173	G2	凹	-51891.78	28815.35	92.22	0.30	0.19	0.06	0.06	0.22			
P1174	G2	凹	-51892.31	28817.03	92.32	0.27	0.23	0.18	0.16	0.15			
P1175	G2	凹	-51893.37	28816.05	92.13	0.36	0.34	0.15	0.13	0.30			
P1176	G2	凹	-51893.06	28817.73	92.10	0.38	0.36	0.15	0.12	0.36			
P1177	G2	凹	-51890.04	28812.22	92.06	0.25	0.24	0.11	0.08	0.34			
P1178	G2	凹	-51879.04	28810.47	92.08	0.49	0.39	0.11	0.09	0.28			
P1179	G2	凹	-51876.05	28812.26	91.92	0.42	0.34	0.18	0.10	0.51			
P1180	G2	凹	-51879.08	28810.89	92.27	0.20	0.19	0.11	0.09	0.08			
P1181	G2	凹	-51878.67	28812.92	92.33	0.33	0.36	0.12	0.09	0.21			
P1182	G2	凹	-51881.03	28812.84	92.13	0.21	0.23	0.12	0.08	0.23			
P1183	G2	凹	-51885.78	28812.82	92.01	0.36	0.23	0.09	0.08	0.39			
P1184	G2	凹	-51879.62	28813.72	92.05	0.24	0.20	0.13	0.09	0.37			
P1185	G2	凹	-51879.39	28814.37	91.98	0.33	(0.25)	0.11	0.09	0.41			
P1186	G2	凹	-51884.26	28814.73	92.26	0.25	0.23	0.13	0.10	0.16			
P1187	G2	凹	-51885.62	28814.88	92.21	0.40	0.34	0.27	0.21	0.22			
P1188	G2	凹	-51889.21	28815.56	92.13	0.30	0.22	0.16	0.13	0.33			
P1189	G2	凹	-51886.30	28818.90	92.12	0.38	0.32	0.13	0.07	0.35			
P1190	G2	凹	-51896.58	28815.79	92.08	0.31	0.27	0.11	0.07	0.33			
P1191	G2	凹	-51897.44	28818.88	92.11	0.36	0.36	0.11	0.11	0.34			
P1192	G2	凹	-51889.82	28814.39	92.16	0.30	0.19	0.12	0.08	0.25			
P1193	G2	凹	-51890.85	28810.95	92.27	0.27	0.23	0.15	0.13	0.14			
P1194	G2	凹	-51884.67	28811.79	92.19	0.39	0.20	0.10	0.05	0.19			調査区外
P1195	G2	凹	-51886.33	28813.87	92.19	0.42	0.37	0.14	0.05	0.25			
P1196	G2	凹	-51884.49	28811.99	92.12	0.22	0.16	0.12	0.09	0.32			
P1197	G2	凹	-51885.67	28816.19	92.15	0.36	0.30	0.10	0.07	0.30			
P1198	G2	凹	-51889.53	28813.11	92.14	(0.35)	(0.20)	(0.30)	(0.10)	0.17			S1/03-P1198 調査区外
P1199	G2	凹	-51891.25	28815.13	91.97	0.27	0.24	0.10	0.08	0.44			S1/03-P1199 調査区外
P1200	G5-1	凹	-52080.02	28862.61	91.80	(0.40)	0.40	0.30	0.15	0.44			調査区外
P1201	G5-1	凹	-52084.78	28877.14	91.87	0.29	0.26	0.09	0.09	0.29			
P1202	G5-1	凹	-52080.13	28862.01	91.75	0.27	0.25	0.13	0.10	0.50			
P1203	G2	凹	-51881.52	28810.67	92.28	0.22	0.18	0.11	0.08	0.14			
P1204	G3	凹	-51964.75	28837.71	91.72	0.14	0.36	0.26	0.21	0.33			
P1205	G3	凹	-51962.53	28837.87	92.25	0.33	0.29	0.14	0.14	0.17			P1205-SD122 SB101
P1206	G3	凹	-51961.28	28837.91	92.21	0.37	0.36	0.27	0.24	0.12			SR101
P1207	G3	凹	-51959.37	28837.99	92.15	0.12	0.42	0.32	0.30	0.16			SR101
P1208	G3	凹	-51957.75	28837.86	91.87	0.38	0.31	0.23	0.18	0.11			SR101
P1209	G3	凹	-51956.25	28837.26	91.95	0.23	0.19	0.13	0.11	0.18			
P1210	G3	凹	-51954.84	28837.32	91.83	0.24	0.19	0.12	0.10	0.20			
P1211	G3	凹	-51957.51	28836.46	91.83	0.26	0.23	0.15	0.12	0.29			
P1212	G3	凹	-51958.50	28837.33	92.13	0.26	0.22	0.11	0.10	0.21			
P1213	G3	凹	-51958.85	28837.18	92.08	0.24	0.19	0.16	0.12	0.24			
P1214	G3	凹	-51962.33	28838.77	91.86	0.24	0.21	0.15	0.12	0.44			
P1215	G3	凹	-51960.82	28838.86	91.96	0.40	0.25	0.14	0.11	0.34			

第25表 柱穴観察表

(残存数)

遺点名	区域	棟出京	X座標 (m)	Y座標 (m)	2番目 (m)	第1柱林輪 (m)	溝底付 (m)	表土層輪 (m)	杭部加幅 (m)	北向き (度)	基礎埋布率 (%) (0.5~1.0)	備考	遺物
P1716	G3	Ⅲ	-51962.41	28840.12	92.23	0.37	0.33	0.19	0.19	0.17			SR101
P1717	G3	Ⅲ	-51961.65	28839.99	92.25	0.41	0.29	0.25	0.16	0.11			SU101
P1718	G3	Ⅲ	-51959.86	28839.56	92.15	0.22	0.22	0.15	0.11	0.08			
P1719	G3	Ⅲ	-51967.31	28842.45	91.99	(0.40)	0.40	0.20	0.16	0.12		調査区外	
P1720	G3	Ⅲ	-52001.96	28838.70	91.96	0.90	(0.53)	0.95	0.40	0.37		調査区外	
P1721	G3	Ⅲ	-52017.41	28835.02	92.04	0.53	0.49	0.25	0.23	0.36			SR106
P1722	G3	Ⅲ	-52019.62	28835.20	91.96	0.75	(0.50)	0.46	0.31	0.43		P1722<P1723	
P1723	G3	Ⅲ	-52019.48	28834.65	91.94	0.44	0.41	0.30	0.19	0.41			SR106
P1724	G3	Ⅲ	-52021.22	28834.78	92.00	0.54	0.45	0.40	0.29	0.32			
P1725	G4	Ⅲ	-52017.32	28836.68	92.03	0.49	0.47	0.27	0.32	0.33			
P1726	G4	Ⅲ	-52017.91	28837.01	91.74	0.65	0.60	0.27	0.21	0.63			SR106
P1727	G4	Ⅲ	-52018.20	28837.00	92.03	(0.30)	0.30	(0.20)	0.20	0.33			
P1728	G4	Ⅲ	-52019.46	28837.30	92.14	0.35	0.30	0.21	0.19	0.21			
P1729	G4	Ⅲ	-52020.00	28836.72	91.79	0.48	0.46	0.28	0.20	0.55			SU106
P1730	G4	Ⅲ	-52020.65	28836.19	91.90	0.62	0.51	0.45	0.45	0.12			
P1731	G4	Ⅲ	-52021.38	28836.42	91.96	0.54	0.54	0.36	0.31	0.30			
P1732	G4	Ⅲ	-52021.25	28837.01	92.07	0.36	0.34	0.25	0.20	0.22			
P1733	G4	Ⅲ	-52021.63	28837.12	92.05	0.32	0.28	0.17	0.11	0.25			
P1734	G4	Ⅲ	-52021.16	28835.39	92.02	(0.40)	0.50	(0.40)	0.30	0.32		調査区外 敷内ノ礎	
P1735	G4	Ⅲ	-52021.34	28835.39	91.90	0.64	0.56	0.43	0.34	0.41			SR104
P1736	G4	Ⅲ	-52022.49	28836.36	91.95	0.47	0.46	0.36	0.32	0.36			SR101
P1737	G4	Ⅲ	-52023.39	28839.72	91.73	(0.50)	0.60	0.39	0.40	0.59		柱 調査区外	
P1738	G6	Ⅲ	-52022.80	28836.85	92.06	(0.70)	0.70	(0.80)	0.60	0.25		P1738<P1743	
P1739	G6	Ⅲ	-52023.12	28837.21	91.91	0.35	0.32	0.10	0.08	0.41			
P1740	G6	Ⅲ	-52022.71	28836.78	91.98	0.31	0.26	0.12	0.10	0.30			
P1741	G6	Ⅲ	-52023.21	28837.17	92.10	0.42	0.25	0.14	0.11	0.22			
P1742	G6	Ⅲ	-52021.09	28837.91	91.94	0.35	0.31	0.15	0.14	0.38			
P1743	G4	Ⅲ	-52021.30	28836.26	92.88	(0.50)	(0.50)	0.29	0.16	0.39		P1743<P1742、P1742	SU104
P1744	G4	Ⅲ	-52021.09	28836.85	92.10	0.29	0.20	0.18	0.15	0.21			
P1745	G4	Ⅲ	-52021.09	28836.36	92.04	0.43	0.38	0.21	0.15	0.24			
P1746	G4	Ⅲ	-52022.98	28836.20	91.84	0.71	0.65	0.47	0.44	0.33			P1747<P1746
P1747	G4	Ⅲ	-52021.49	28836.40	91.94	(0.70)	(0.60)	(0.60)	(0.50)	0.39			SU104
P1748	G4	Ⅲ	-52024.47	28838.00	91.52	1.09	0.44	0.37	0.19	0.75			SU104
P1749	G4	Ⅲ	-52025.81	28837.86	91.80	0.99	0.72	0.53	0.46	0.53			SR104
P1750	G4	Ⅲ	-52026.18	28837.74	91.89	(0.40)	0.35	0.20	0.20	0.41			P1750<P1749、 P1751<P1750
P1751	G4	Ⅲ	-52026.32	28837.95	91.96	(0.55)	(0.40)	(0.35)	0.35	0.31			SU104
P1752	G4	Ⅲ	-52027.34	28837.79	91.72	0.55	0.49	0.33	0.20	0.54			SK122<P1752
P1753	G4	Ⅲ	-52025.85	28839.41	91.79	0.78	0.67	0.58	0.46	0.45			
P1754	G4	Ⅲ	-52025.91	28838.60	92.00	0.51	0.41	0.24	0.15	0.22			
P1755	G4	Ⅲ	-52027.08	28838.49	92.07	0.50	0.40	0.32	0.27	0.16			P1755<SK122
P1756	G4	Ⅲ	-52027.47	28840.14	91.71	1.29	1.11	0.62	0.60	0.68			表層に礎 SR104
P1757	G4	Ⅲ	-52029.83	28832.13	91.78	0.59	0.55	0.49	0.43	0.29			SR107
P1758	G4	Ⅲ	-52030.50	28862.06	91.87	0.35	0.41	...	...	0.24			下層未計測 敷内ノ礎
P1759	G4	Ⅲ	-52031.42	28862.11	91.85	0.74	0.68	0.67	0.62	0.25			SR107
P1760	G4	Ⅲ	-52031.45	28861.95	91.97	0.33	0.32	0.25	0.22	0.15			SR107
P1761	G4	Ⅲ	-52031.36	28861.61	91.94	0.43	0.41	0.23	0.20	0.23			
P1762	G4	Ⅲ	-52031.05	28869.50	91.86	(0.20)	0.59	0.41	0.28	0.30			P1762<P1763
P1763	G4	Ⅲ	-52031.71	28869.41	91.89	(0.20)	0.45	0.30	0.25	0.28			P1763<P1762
P1764	G4	Ⅲ	-52031.79	28869.28	91.91	0.33	0.40	0.22	0.11	0.23			SR108
P1765	G4	Ⅲ	-52031.69	28869.44	92.03	(0.40)	0.30	0.21	0.11	0.11			調査区外
P1766	G4	Ⅲ	-52032.83	28868.96	91.91	0.32	0.25	0.22	0.20	0.17			
P1767	G4	Ⅲ	-52033.12	28869.67	92.00	0.29	0.19	0.22	0.11	0.05			SR108
P1768	G4	Ⅲ	-52034.59	28869.08	91.94	0.61	0.46	0.41	0.26	0.15			
P1769	G4	Ⅲ	-52035.18	28869.49	92.00	0.28	0.23	0.16	0.12	0.10			SR108
P1770	G4	Ⅲ	-52035.53	28869.38	91.91	0.57	0.40	0.46	0.43	0.18			
P1771	G4	Ⅲ	-52036.71	28869.14	91.88	0.41	0.31	0.21	0.13	0.24			SR109
P1772	G4	Ⅲ	-52035.76	28862.34	91.95	0.62	0.53	0.41	0.33	0.23			P1773<P1772
P1773	G4	Ⅲ	-52036.01	28862.37	91.97	0.35	(0.20)	0.24	0.10	0.25			P1773<P1772
P1774	G4	Ⅲ	-52036.67	28861.92	91.95	0.37	0.26	0.22	0.15	0.30			柱 SR109
P1775	G4	Ⅲ	-52036.73	28862.25	92.14	0.19	0.14	0.10	0.07	0.07			
P1776	G4	Ⅲ	-52036.69	28862.62	92.15	0.33	0.31	0.24	0.18	0.09			
P1777	G4	Ⅲ	-52036.97	28863.70	91.95	0.35	0.25	0.22	0.16	0.27			柱 SC109
P1778	G4	Ⅲ	-52037.30	28863.99	92.00	0.38	0.29	0.23	0.17	0.29			P1778<オクシラン
P1779	G4	Ⅲ	-52036.99	28864.35	92.09	(0.25)	0.30	(0.10)	(0.15)	0.13			調査区外
P1780	G4	Ⅲ	-52034.56	28862.25	91.93	0.31	0.31	0.20	0.19	0.23			
P1781	G4	Ⅲ	-52039.78	28861.14	91.88	(0.25)	0.45	(0.10)	(0.20)	0.15			調査区外
P1782	G4	Ⅲ	-52039.92	28861.60	91.92	0.65	0.51	0.45	0.31	0.25			調査区外 柱 SR110
P1783	G4	Ⅲ	-52039.95	28862.19	92.02	0.33	0.28	0.18	0.17	0.13			

第25表 柱穴観察表

(例全型)

調査区	区 域	物 出 面	天 候 作 (mm)	1 号 機 (mm)	2 号 機 (mm)	前 丁 機 具 (mm)	前 丁 機 具 (mm)	底 部 長 径 (mm)	底 部 長 径 (mm)	比 高 差 (mm)	発 見 品 類 等 (例: 土、石、瓦)	前 考	注 意
P1281	G1	Ⅱ	-53040.76	28861.66	91.90	0.59	0.57	0.41	0.38	0.24			SB110
P1282	G4	Ⅱ	-53040.71	28862.72	92.89	0.53	0.51	0.43	0.37	0.31			SB110
P1286	G4	Ⅱ	-53040.75	28863.51	91.95	0.53	0.53	0.41	0.39	0.30			SB110
P1287	G4	Ⅱ	-53040.66	28863.43	91.92	0.64	0.60	0.51	0.49	0.33			SB110
P1288	G4	Ⅱ	-53041.30	28862.66	91.91	0.53	0.53	0.45	0.40	0.31			SB110
P1289	G4	Ⅱ	-53043.56	28863.92	92.11	(0.20)	0.35	(0.10)	0.20	0.17			SB111
P1290	G4	Ⅱ	-53043.30	28863.30	91.76	(0.95)	0.80	0.58	0.51	0.37			SB111
P1291	G4	Ⅱ	-53043.83	28863.64	91.82	1.00	(0.70)	0.50	0.40	0.33			SB111
P1292	G4	Ⅱ	-53045.38	28865.49	91.84	0.60	0.60	0.50	0.45	0.37			SB111
P1293	G2	Ⅱ	-53045.96	28865.60	92.17	0.25	0.20	0.16	0.11	0.14			SB111
P1295	G1	Ⅱ	-53049.06	28864.57	92.08	0.31	0.27	0.21	0.12	0.24			SB112
P1295	G1	Ⅱ	-53053.28	28868.41	91.86	0.43	0.29	0.26	0.14	0.29			SB112
P1296	G1	Ⅱ	-53053.25	28868.88	91.90	0.72	0.51	0.38	0.33	0.21			SB112
P1297	G1	Ⅱ	-53052.71	28869.55	92.03	0.34	0.33	0.12	0.06	0.31			SB112
P1298	G4	Ⅱ	-53053.44	28869.81	91.95	0.57	0.49	0.17	0.11	0.26			SB112
P1299	G4	Ⅱ	-53055.03	28869.52	91.96	0.40	0.33	0.19	0.16	0.25			SB112
P1300	G4	Ⅱ	-53055.76	28868.13	91.88	0.47	0.36	0.24	0.15	0.35			SB112
P1301	G2	Ⅱ	-51887.31	28814.21	91.96	0.31	0.26	0.11	0.09	0.47			SB112
P1302	G4	Ⅱ	-53055.06	28867.21	91.78	0.33	0.32	0.16	0.13	0.24			SB112
P1303	G4	Ⅱ	-53056.25	28868.11	92.08	(0.25)	(0.30)	(0.20)	0.30	0.15			SB112
P1304	G4	Ⅱ	-53053.63	28867.29	91.77	0.36	0.34	0.23	0.17	0.23			SB112
P1305	G4	Ⅱ	-53041.33	28865.51	92.03	0.63	0.58	0.60	0.58	0.16			SB111
P1306	G4	Ⅱ	-53043.19	28865.54	91.84	0.74	0.71	0.69	0.59	0.34			SB111
P1307	G4	Ⅱ	-53042.00	28865.52	92.00	0.76	0.73	0.64	0.58	0.21			SB111
P1308	G5	Ⅱ	-53030.33	28859.91	92.07	0.35	(0.20)	(0.15)	(0.10)	0.06			SB108
P1309	G5	Ⅱ	-53030.31	28860.06	91.97	0.52	0.33	0.29	0.15	0.17			SB108
P1310	G4	Ⅱ	-53025.29	28857.35	91.99	0.37	0.25	0.26	0.14	0.29			SB108
P1311	G5	Ⅱ	-53024.30	28856.15	91.88	0.78	0.66	0.46	0.31	0.42			SB108
P1312	G4	Ⅱ	-53024.76	28857.23	91.90	0.55	0.45	0.37	0.31	0.23			SB108
P1313	G4	Ⅱ	-53027.11	28856.63	92.10	(0.30)	0.30	(0.25)	0.20	0.17			SB108
P1314	G4	Ⅱ	-53030.06	28859.05	91.77	0.75	0.38	0.47	0.23	0.21			SB104
P1315	G4	Ⅱ	-53027.59	28859.15	91.68	1.11	1.06	0.45	0.39	0.38			SB104
P1316	G4	Ⅱ	-53027.28	28860.98	91.94	(0.50)	0.63	(0.45)	0.50	0.26			SB104
P1317	G4	Ⅱ	-53015.99	28857.21	91.88	0.60	(0.40)	0.29	0.26	0.33			SB104
P1318	G4	Ⅱ	-53015.71	28857.77	92.97	0.67	0.59	0.51	0.41	0.41			SB104
P1319	G4	Ⅱ	-53013.56	28856.68	91.96	0.75	0.70	0.63	0.56	0.37			SB104
P1320	G4	Ⅱ	-53010.75	28856.72	91.84	0.78	0.58	0.43	0.30	0.56			SB103
P1321	G4	Ⅱ	-53015.68	28853.37	91.95	0.77	0.58	0.32	0.27	0.42			SB103
P1322	G4	Ⅱ	-53013.19	28853.39	92.02	0.67	0.59	0.51	0.43	0.35			SB103
P1323	G4	Ⅱ	-53010.79	28853.29	92.17	0.62	0.55	0.47	0.44	0.14			SB103
P1324	G4	Ⅱ	-53011.80	28853.66	91.96	0.39	0.36	0.21	0.19	0.40			SB103
P1325	G1	Ⅱ	-53012.60	28854.21	91.98	0.41	0.37	0.21	0.18	0.39			SB103
P1326	G5	Ⅱ	-53012.65	28854.68	91.95	(0.35)	(0.33)	0.11	0.10	0.15			SB103
P1327	G5	Ⅱ	-53010.93	28855.03	92.30	0.36	0.24	0.15	0.12	0.19			SB103
P1328	G5	Ⅱ	-53010.63	28854.81	92.11	0.59	0.42	0.16	0.14	0.33			SB103
P1329	G5	Ⅱ	-53023.86	28856.78	92.09	0.46	0.40	0.36	0.21	0.23			SB102
P1330	G5	Ⅱ	-53003.62	28852.87	91.83	0.82	0.75	0.66	0.63	0.52			SB102
P1331	G5	Ⅱ	-53003.67	28850.29	91.87	0.90	(0.50)	0.70	(0.40)	0.40			SB102
P1332	G4	Ⅱ	-53001.16	28850.29	91.93	0.76	0.72	0.60	0.58	0.40			SB102
P1333	G4	Ⅱ	-51998.70	28850.17	91.87	0.78	0.69	0.66	0.63	0.42			SB102
P1334	G4	Ⅱ	-51996.56	28850.06	92.22	0.57	0.47	0.40	0.29	0.20			SB102
P1335	G4	Ⅱ	-53024.41	28853.11	91.67	(1.10)	1.00	(0.60)	0.45	0.77			SB102
P1336	G4	Ⅱ	-53025.03	28850.31	91.81	0.36	0.32	0.28	0.24	0.31			SB102
P1337	G4	Ⅱ	-53006.21	28855.69	92.15	-	-	0.21	0.20	0.30			SB102
P1338	G4	Ⅱ	-53005.75	28851.06	91.88	0.11	0.36	0.27	0.14	0.36			SB102
P1339	G4	Ⅱ	-53010.06	28854.19	92.12	0.29	0.28	0.16	0.13	0.26			SB102
P1340	G4	Ⅱ	-53022.23	28853.82	91.88	0.43	0.33	0.29	0.22	0.37			SB102
P1341	G4	Ⅱ	-53021.73	28859.57	91.83	(0.50)	0.70	(0.20)	0.50	0.40			SB102
P1342	G1	Ⅱ	-53023.03	28858.00	91.90	(0.10)	(0.10)	-	-	0.36			SB102
P1343	G4	Ⅱ	-53006.95	28853.54	91.96	0.30	0.34	0.14	0.09	0.38			SB102
P1344	G4	Ⅱ	-53021.53	28859.48	91.34	(0.20)	1.30	0.58	0.51	0.90			SB102
P1345	G2	Ⅱ	-51887.49	28814.30	92.11	(0.20)	(0.30)	0.18	0.06	0.32			SB102
P1346	G1	Ⅱ	-51998.66	28852.63	92.10	0.77	0.70	0.60	0.49	0.21			SB102
P1347	G1	Ⅱ	-51999.82	28853.65	92.12	0.42	0.40	0.13	0.11	0.25			SB102
P1348	G1	Ⅱ	-53003.74	28854.02	92.16	0.38	0.34	0.19	0.16	0.25			SB102
P1349	G4	Ⅱ	-53003.70	28854.34	92.22	0.31	0.30	0.22	0.15	0.27			SB102
P1350	G4	Ⅱ	-53003.45	28853.84	92.07	0.53	0.42	0.14	0.12	0.36			SB102

第26表 土坑・井跡観察表

(続前表)

遺跡名	二期	土坑	坑口径 (m)	坑底径 (m)	深さ (m)	平面形	壁の傾斜 長軸方向 (°)	壁の傾斜 短軸方向 (°)	底面 長径 (m)	底面 短径 (m)	底面 積 (㎡)	坑土 量 (m <sup>3</sup> )	遺上の腐敗状況 (土色・土質)	付属 施設	参考 図録 (図・表・文)	時期	備考	図説 頁 次
SK101	土坑	D	-52034.09	28673.32	92.09	円形	20	0.77	0.72	0.53	0.51	0.26	黒褐色土	なし		不明		96
SK102	土坑	D	-52049.22	28652.14	91.69	円形	-	(1.85)	(0.80)	(0.60)	0.50	0.30	黒褐色土・褐色土	なし		不明	溝底を外	96
SK103	土坑	A	-51855.31	28724.98	92.05	円形	-80	1.83	1.08	1.10	0.83	0.48	黒褐色土・褐色土・灰褐色土	なし		不明	溝底を外	98
SK104	土坑	C	-51900.95	28690.99	91.64	円形	76	1.00	(0.42)	0.40	0.30	0.87	黒褐色土・褐色土	なし	SK102-SK104	不明	溝底を外	98
SK105	井跡	C	-52000.08	28696.37	91.86	円形	-43	2.05	1.51	1.00	1.30	1.19	黒褐色土・灰色土・褐色土	なし		不明	井跡	91
SK106	井跡	F2	-51699.85	28698.87	91.09	円形	69	1.47	1.41	1.08	0.88	1.39	黒褐色土・褐色土	なし		不明	12号記	100
SK107	井跡	E2	-51898.30	28699.82	90.98	円形	-33	1.25	1.16	0.92	0.77	1.09	黒褐色土・褐色土	なし		不明	12号記	100
SK108	井跡	E2	-51898.49	28614.09	91.25	円形	71	1.51	1.47	1.14	1.14	1.13	黒褐色土・褐色土	なし		不明	12号記	100
SK109	井跡	E3	-51922.06	28633.33	91.02	円形	51	1.58	1.47	1.31	1.14	1.19	黒褐色土・褐色土・褐色土	なし		不明	12号記	100
SK110	井跡	F1	-51933.05	28754.62	91.22	円形	45	1.66	1.75	1.32	1.25	1.19	黒褐色土・褐色土・褐色土	なし		不明	12号記	100
SK111	土坑	G3	-52079.51	28675.85	91.69	円形	-	0.80	0.47	0.25	0.13	0.40	褐色土	なし		不明	調査区外	95
SK112	土坑	G3	-52076.34	28676.92	91.71	円形	-24	0.83	0.76	0.41	0.34	0.45	褐色土	なし		不明	調査区外	95
SK113	土坑	G3	-52075.85	28675.83	91.70	円形	-	1.03	(0.70)	0.60	(0.60)	0.65	褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	95
SK114	土坑	G2	-52099.24	28676.07	91.60	円形	-	1.46	1.60	0.60	0.54	0.54	褐色土・褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	94
SK115	井跡	E2	-51901.15	28639.17	90.95	円形	27	1.41	1.40	1.31	1.29	1.29	黒褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	94
SK116	井跡	G2	-51902.01	28616.76	91.11	円形	70	1.68	1.36	1.14	1.00	1.32	黒褐色土・褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	94
SK117	土坑	G3	-51992.16	28845.73	92.26	円形	-	1.00	(0.60)	0.60	(0.26)	0.20	褐色土・褐色土	なし		不明	溝底を外	95
SK118	土坑	G4	-52018.07	28666.01	92.19	円形	-87	1.30	0.81	0.65	0.38	0.16	褐色土	なし		不明	溝底を外	95
SK119	土坑	G4	-52030.64	28666.59	92.10	円形	(2.20)	1.60	2.00	1.00	0.20	褐色土・褐色土	なし	SK119-17130 -3.32・3.29	不明	調査区外	102	
SK120	土坑	G4	-52030.60	28666.05	91.96	円形	-90	2.14	1.30	1.99	1.35	0.21	褐色土・褐色土	なし	SK120-13308	不明	溝底を外	102
SK121	土坑	G4	-52014.25	28655.42	92.25	円形	7	3.43	1.68	3.24	1.51	0.11	褐色土・褐色土	なし	SK121-1318・ 1319・52101	不明	溝底を外	102
SK122	土坑	G4	-52028.27	28658.22	91.93	円形	-	(2.15)	1.20	(2.00)	0.80	0.16	褐色土	なし	SK122-13252	不明	溝底を外	102
SK123	土坑	G4	-52017.16	28654.33	92.31	円形	90	1.13	0.75	0.98	0.68	0.68	褐色土	なし		不明	溝底を外	103
SK124	土坑	G4	-52011.61	28656.68	92.28	円形	90	1.80	1.70	1.30	(1.30)	0.11	褐色土	なし		不明	溝底を外	103
SK125	土坑	G4	-52033.69	28666.59	91.99	円形	-	(2.20)	1.20	(1.80)	1.00	0.10	褐色土	なし	SK124-SK122	不明	溝底を外	103
SK126	土坑	G4	-52007.06	28651.52	91.19	円形	2	1.35	0.74	1.07	0.56	0.65	褐色土	なし	SK126-SK125	不明	溝底を外	103
SK127	土坑	G4	-52009.08	28655.21	91.05	円形	-17	1.71	1.63	0.71	0.70	0.77	褐色土・褐色土・褐色土	なし	SK127-13337	不明	溝底を外	104
SK128	土坑	G4	-52032.47	28651.58	91.23	円形	-3	1.02	0.94	0.45	0.42	0.53	褐色土・褐色土	なし	SK128-SU127	不明	溝底を外	104



第29表 出土地点別かわらけ重量表  
竪穴住居層 (SI)

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G2	SK103	竪土1層	223
			合計	223

## 柱穴 (P)

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	A	P1006	竪土1層	8.6
2	C	P1026	竪土1層	2.3
3	G2	P1072 南下	竪土1層	2.5
4	G2	P1073 北下	竪土1層	2.8
5	B2	P1079 東平	竪土1層	16.2
6	B2	P1086 東平	竪土1層	6.9
7	B2	P1091 北下	竪土1層	4.4
8	P	P1091 北下	竪土1層	25.0
9	B4	P1094	竪土	13.0
10	B4	P1096	竪土	1.2
11	B4	P1097	竪土	2.1
12	P1	P1101 北下	竪土1層	8.5
13	P1	P1102 南下	竪土1層	7.6
14	B3	P1104 北下	竪土1層	11.5
15	G6	P1109	竪土	21.2
16	G6	P1110	竪土	3.5
17	G6	P1111	竪土	14.6
18	G6	P1111	竪土	9.9
19	G6	P1113	竪土	22.2
20	G6	P1120	竪土	46.8
21	B5	P1141 北下	竪土1層	1.3
22	G2	P1146	竪土	6.0
23	G2	P1147	竪土	38.3
24	G2	P1148	竪土	4.0
25	G2	P1151	竪土	3.2
26	G2	P1153	竪土	6.8
27	G2	P1154	竪土	30.1
28	G2	P1156	竪土	22.2
29	G2	P1156	竪土	37.7
30	G2	P1157	竪土	26.0
31	G2	P1159	竪土	4.8
32	G2	P1161	竪土	53.3
33	G2	P1163	竪土	44.7
34	G2	P1164	竪土	6.2
35	G2	P1165	竪土	1.1
36	G2	P1166	竪土	2.4
37	G2	P1167	竪土	7.6
38	G2	P1172	竪土	14.8
39	G2	P1178	竪土	2.7
40	G2	P1179	竪土	7.0
41	G2	P1182	竪土	15.9
42	G2	P1184	竪土	14.1
43	G2	P1186	竪土	13.1
44	G2	P1187	竪土	3.6
45	G2	P1189	竪土	22.8
46	G2	P1191	竪土	36.1
47	G2	P1192	竪土	5.9
48	G2	P1191	竪土	6.0
49	G2	P1196	竪土	13.1
50	G2	P1198	竪土	19.9
51	G2	P1200	竪土	4.9
52	G4	P1204	竪土	15.9
53	G4	P1201	竪土	4.3
54	G4	P1222 南下	竪土1層	133
55	G4	P1223 北下	竪土1層	16.7
56	G4	P1229 南下	竪土1層	19.9
57	G4	P1240	竪土	2.6
58	G1	P1432	竪土	19.3
59	G1	P1437	竪土	98.8
60	G4	P1301	竪土	4.7
61	G4	P1310	竪土	4.0
62	G4	P1317	竪土	28.6
63	G4	P1320	竪土	47.7
64	G4	P1301	竪土	3.7
65	G4	P1321	竪土	16.8
66	G4	P1327	竪土	5.1
67	G4	P1328	竪土	16.0
68	G4	P1330	竪土	11.6
69	G2	P1345	竪土	4.6
70	B2	竪土1層	竪土	5.5
			合計	1,013.3

## 土坑・井戸跡 (SK)

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	A	SK103 北下	竪土1層	16.2
2	C	SK103	竪土1層	9.3
3	C	SK103	竪土1層	63.9
4	C	SK105	竪土1層	1.3
5	C	SK105	竪土1層	30.1
6	C	SK105 北下	竪土1層	12.8
7	C	SK106 東平	竪土1層	47.3
8	C	SK106 西下	竪土1層	2.6
9	C	SK109	竪土1層	4.3
10	C	SK106	竪土1層	21
11	B2	SK106 東平	竪土1層	152.3
12	B2	SK106 東平	竪土1層	85.2
13	B2	SK106 東平	竪土1層	8.0
14	B2	SK106 東平	竪土1層	91.6
15	B2	SK106 東平	竪土1層	66.1
16	B2	SK106	竪土1層	17.8
17	B2	SK106	竪土	749.2
18	B2	SK107 東平	竪土1層	386.6
19	B2	SK107 東平	竪土1層	220.2
20	B2	SK107 東平	竪土1層	110.7
21	B2	SK107 北下	竪土1層	43.3
22	B2	SK107 北下	竪土1層	20.2
23	B2	SK107 北下	竪土1層	120.2
24	B2	SK107 東平	竪土1層	14.7
25	B2	SK107 北下	竪土1層	26.9
26	B2	SK107 北下	竪土1層	35.8
27	B2	SK107	竪土1層	168.7
			小計	1,383.3
28	B2	SK108 東平	竪土1層	35.3
29	B2	SK108 東平	竪土1層	2.2
30	B2	SK108 北下	竪土1層	53.1
31	B2	SK108 北下	竪土1層	30.1
32	B2	SK108 北下	竪土1層	11.0
33	F2	SK109 東平	竪土1層	157.5
34	F2	SK109 東平	竪土1層	288.8
35	F2	SK109 東平	竪土1層	226.2
36	F2	SK109 東平	竪土1層	24.1
37	F2	SK109 東平	竪土1層	364.1
38	F2	SK109 東平	竪土1層	41.0
39	F2	SK109 東平	竪土1層	27.1
			小計	1,717.7
40	F1	SK110 西下	竪土	6.8
			小計	6.8
41	G4	SK111	竪土	7.4
			小計	7.4
42	G2	SK112 東平	竪土1層	6.2
43	G2	SK112 北下	竪土1層	3.9
44	G2	SK112 北下	竪土1層	6.2
45	G2	SK112 北下	竪土1層	16.2
46	G2	SK112 北下	竪土1層	28.8
47	G2	SK112 北下	竪土1層	29.8
			小計	3.6
48	G2	SK115 北下	竪土1層	293.4
49	G2	SK115 北下	竪土1層	603.2
50	G2	SK115 北下	竪土1層	84.5
51	G2	SK115 北下	竪土1層	200.4
52	G2	SK115 北下	竪土1層	26.5
53	G2	SK115 北下	竪土1層	4.2
54	G2	SK115 北下	竪土1層	319.3
55	G2	SK115 北下	竪土1層	217.3
56	G2	SK115 北下	竪土1層	46.3
			小計	1,945.7
57	G2	SK116 東平	竪土1層	146.6
58	G2	SK116 東平	竪土1層	43.3
59	G2	SK116 東平	竪土1層	15.2
60	G2	SK116 東平	竪土1層	37.9
61	G2	SK116 東平	竪土1層	167.0
			小計	430.0
62	G2	SK118 北下	竪土1層	15.2
			小計	12.2
63	G4	SK119 東平	竪土1層	33.3
64	G4	SK119 東平	竪土1層	36.7
			小計	70.0
65	G4	SK120 北下	竪土1層	34.0
			小計	34.0
66	G4	SK121	竪土1層	39.0
			小計	39.0

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
67	G4	SK122 北下	竪土1層	19.1
68	G4	SK124 南平	竪土1層	19.2
69	G4	SK124 北下	竪土1層	14.3
			小計	33.5
70	G4	SK126	竪土	70.3
			小計	20.5
71	G4	SK127 東平	竪土1層	277.3
72	G4	SK127 東平	竪土1層	116.3
73	G4	SK127 東平	竪土1層	307.6
74	G4	SK127	竪土	78.5
			小計	1,309.7
			合計	9,260.9

## 溝跡 (SD)

No.	区	層位	層位	重量(g)
1	F1	SD103	竪土1層	3.3
2	D	SD108	竪土1層	2.3
3	D	SD101	竪土1層 (南)	20.4
4	D	SD104	竪土1層 (南)	82.1
5	D	SD104	竪土1層 (南)	36.7
6	D	SD104	竪土1層	58.7
			小計	2.42
7	C	SD108	竪土	33.3
			小計	20.3
8	F3	SD110	竪土	1.6
9	E1	SD113 東平	竪土1層	16.6
10	E1	SD113 東平	竪土1層	13.4
			小計	30.2
11	F1	SD112 南平	竪土1層	36.3
12	F1	SD112 北下	竪土1層	43.8
13	B1	ND112	竪土	125.6
			小計	263.9
14	F1	SD114	竪土	1.8
			小計	4.8
15	G5	SD117	竪土	17.9
			小計	17.9
16	G2	SD118 東平	竪土1層	9.3
			小計	9.3
17	G2	SD120	竪土	78.9
			小計	78.9
18	G2	ND121	竪土	11.6
			小計	11.6
19	G3	SD122 北下	竪土1層	70.9
20	G3	SD122	竪土	77.6
21	G3	SD122	竪土	1.6
22	G3	SD122 南平	竪土1層	131.7
			小計	281.8
23	G2	SD123 北下	竪土1層	1.0
24	G2	SD123	竪土1層	178.2
25	G2	SD123	竪土1層	66.6
26	G2	SD123	竪土1層	4.3
			小計	260.1
27	G2	SK121	竪土1層	14.8
			小計	14.8
			合計	1,333.9

## 土器埋設溝構 (SZ)

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G4	SZ101	竪土	8.8
			合計	8.8

## A区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	A	A区	竪土層	30.2
2	A	A区 西側	竪土層	61.4
3	A	A区 西側	竪土層	37.7
			合計	129.3

## B区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	B	B区 中台	竪土層	14.4
2	B	B区 西側	竪土層	61.6
3	B	B区 西側	竪土層	36.7
4	B	B区 西側	竪土層	3.4
			合計	115.9

C区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	C	中央	環状	497
2	C	中央	環状	908.1
3	C	中央	環状	1687
4	C	中央	環状	3228
5	C	中央	環状	351
6	C	中央	環状	446
7	C	中央	環状	387
8	C	中央	環状	113
			合計	16130

D区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	D	中央	環状	30.1
2	D	中央	環状	30
3	D	中央	環状	125
4	D	中央	環状	31.2
5	D	中央	環状	22
			合計	686

E1区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	E1	中央	環状	3.4
2	E1	中央	環状	15.3
3	E1	中央	環状	4.0
4	E1	中央	環状	6.0
5	E1	中央	環状	4.4
6	E1	中央	環状	30.4
7	E1	中央	環状	9.7
8	E1	中央	環状	9
			合計	108.1

E2区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	E2	中央	環状	8.5
2	E2	中央	環状	136.9
3	E2	中央	環状	49.6
4	E2	中央	環状	45.0
5	E2	中央	環状	179.8
6	E2	中央	環状	59
7	E2	中央	環状	62
8	E2	中央	環状	27.7
9	E2	中央	環状	51.2
10	E2	中央	環状	12.3
11	E2	中央	環状	21.6
12	E2	中央	環状	69.6
13	E2	中央	環状	19.5
			合計	982.1

E4区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	E4	中央	環状	3.6
			合計	3.6

E5区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	E5	中央	環状	32.5
			合計	32.5

E区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	E	中央	環状	46.9
2	E	中央	環状	6.5
			合計	53.4

F1区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	F1	中央	環状	11.6
			合計	11.6

F2区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	F2	中央	環状	139.0
2	F2	中央	環状	410.4
			合計	549.4

F3区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	F3	中央	環状	79.7
			合計	79.7

F4区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	F4	中央	環状	152.2
			合計	152.2

G2区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	G2	中央	環状	36.1
2	G2	中央	環状	143.2
3	G2	中央	環状	687.6
4	G2	中央	環状	1439.6
5	G2	中央	環状	1201.5
6	G2	中央	環状	255.3
7	G2	中央	環状	492.2
8	G2	中央	環状	500.0
9	G2	中央	環状	198.7
10	G2	中央	環状	22.6
11	G2	中央	環状	33.5
12	G2	中央	環状	78.8
13	G2	中央	環状	39.9
14	G2	中央	環状	142
15	G2	中央	環状	110.7
16	G2	中央	環状	14.8
17	G2	中央	環状	36.1
18	G2	中央	環状	11.9
19	G2	中央	環状	39.3
20	G2	中央	環状	39.0
21	G2	中央	環状	172.0
			合計	3538.2

G3区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	G3	中央	環状	122.3
2	G3	中央	環状	8.6
			合計	131.1

G4区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	G4	中央	環状	192.5
			合計	192.5

G5区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	G5	中央	環状	18.4
			合計	18.4

G6区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	G6	中央	環状	48.6
			合計	48.6

G区

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	G	中央	環状	130.2
			合計	130.2

トレンチ

No	区	出入口	種別	車線(m)
1	C	T17	環状	12.4
2	F2	T47	環状	37.8
3	F3	T48	環状	9.8
4	F4	T50	環状	39.0
5	F5	T51	環状	1.6
6	F6	T61	環状	118.1
7	F2	T62	環状	64.6
8	F2	T62	環状	11.5
9	F2	T63	環状	4.8
10	F2	T64	環状	7.9
11	G5	T68	環状	5.1
12	G4	T71	環状	22.5
13	G4	T72	環状	59.1
14	G4	T73	環状	44.6
15	G3	T76	環状	13.7
16	G2	T80	環状	36.0
17	G1	T81	環状	128.1
18	G1	T82	環状	99.7
19	G1	T83	環状	12.3

No	区	出入口	種別	車線(m)
20	G2	T84	環状	35.1
21	G2	T84	環状	62.0
			合計	1041.0
			車線数	22,987

道標種別ごと

No	区	道標名	車線(m)	比率(%)
1		第一次分岐 (S)	223	0.19%
2		右折 (P)	2,043	4.57%
3		左折・右折 (S)	9,195.6	41.42%
4		直進 (S)	1,164.8	5.24%
5		二次分岐 (S)	8.8	0.04%
6		A	1,193	5.67%
7		B	23.9	0.11%
8		C	1,613.0	7.27%
9		D	66.6	0.31%
10		E	880.7	3.97%
11		F	81.9	3.69%
12		G	6,092.3	27.44%
13		H	1,041.0	4.69%
		道標合計	22,987	100.0%

第30表 出土地点別土師器重量表  
甕穴住居跡(SI)

No	区	出土地点	部位	重量(g)
1	C	SI01	灰皿 (No.1)	216.1
2	C	SI01	埴輪 (No.5)	4.1
3	C	SI01	埴輪 (No.6)	17.8
4	C	SI01	埴輪 (No.7)	11.5
5	C	SI01	カマド内側	3.9
6	C	SI_01	埴土	5.4
			小計	160.7
7	G2	SI03	灰皿 (No.3)	74.0
8	G2	SI03	灰皿 (No.2)	54.8
9	G2	SI03	埴輪 (No.4)	8.2
10	G2	SI03	埴輪 (No.5)	10.8
11	G2	SI03	埴輪 (No.6)	41.3
12	G2	SI03	埴土 (No.9)	102.5
13	G2	SI03	埴土 (No.10)	54.0
14	G2	SI03	埴土 (No.11)	22.3
15	G2	SI03	埴土 (No.12)	13.4
16	G2	SI_03	埴土 (No.14)	15.9
17	G2	SI03	灰皿 (No.15)	16.0
18	G2	SI03	灰皿 (No.16)	26.3
19	G2	SI03	灰皿 (No.17)	45.2
20	G2	SI03	埴輪 (No.18)	58.6
21	G2	SI03	埴輪 (No.19)	21.6
22	G2	SI03	埴土 (No.20)	697.8
23	G2	SI03	埴土 (No.21)	131.6
24	G2	SI03	埴土 (No.24)	1,315.7
25	G2	SI03	埴土 (No.25)	150.8
26	G2	SI_03	埴土 (No.26)	362.6
27	G2	SI03	灰皿 (No.27)	95.7
28	G2	SI03	灰皿 (No.28)	19.7
29	G2	SI03	埴土 (No.29)	37.6
30	G2	SI03	埴土 (No.37)	14.4
31	G2	SI03	埴土 (No.38)	35.8
32	G2	SI03	埴土 (No.39)	86.3
33	G2	SI03	埴土 (No.40)	36.3
34	G2	SI03	埴土 (No.42)	41.2
35	G2	SI03	埴土 (No.43)	14.9
36	G2	SI03	灰皿 (No.44)	33.4
37	G2	SI03	埴輪 (No.44)	9.9
38	G2	SI03	埴土 (No.45)	255.5
39	G2	SI03	カマド内側	355.7
40	G2	SI03	カマド内側	161.6
41	G2	SI03	埴土積層	37.8
42	G2	SI03	埴土上壁	45.5
43	G2	SI03	G2_埴土	17.8
44	G2	SI03	G2_埴土	659.8
45	G2	SI03	G2_埴土	203.9
47	G2	SI03	G3_埴土	298.0
48	G2	SI03	P4_埴土	49.6
49	G2	SI03	P5_埴土	243.3
50	G2	SI03	P6_埴土	962.7
51	G2	SI_03	第二	36.7
52	G2	SI03	カマド本座	280.9
53	G2	SI03	カマド本座	180.7
54	G2	SI03	カマド外	42.0
55	G2	SI03	埴土	28.9
56	G2	SI03	カマド内側	56.8
57	G2	SI03	実室	2,100.
58	G2	SI03	灰皿	139.9
59	G2	SI03	灰土 (トレンチ)	457.1
			小計	9,134.0
			合計	9,314.0

柱穴(P)

No	区	出土地点	部位	重量(g)
1	C	P1043	埴土1層下壁	38.0
			合計	38.0

C区

No	区	出土地点	部位	重量(g)
1	C	C1045	灰皿	91.8
2	C	C1045	埴土1層上壁	110.5
3	C	C1045	埴土1層下壁	28.0
			合計	230.3

F4区

No	区	出土地点	部位	重量(g)
1	F4	F47	埴土	54.8
			合計	54.8

G2区

No	区	出土地点	部位	重量(g)
1	G2	G24	埴土上壁	6.1
			合計	6.1

遺構種別ごと

No	遺構名	重量(g)	比率(%)
1	甕穴住居跡(SI)	9,314.0	96.58%
2	柱穴(P)	38.0	0.39%
3	C区	230.3	2.03%
4	F4区	54.8	0.57%
5	G2区	6.1	0.06%
	総合計	9,644.2	100.00%

第31表 出土地点別須恵器重量表  
甕穴住居跡(SI)

No	区	出土地点	部位	重量(g)
1	C	SI01	灰皿 (No.2)	3.5
2	C	SI01	埴輪 (No.3)	9.9
3	C	SI01	埴輪 (No.4)	73.7
4	C	SI01	カマド内側	7.7
			小計	96.5
5	G2	SI03	灰皿	13.7
6	G2	SI03	埴土 (No.3)	203.3
7	G2	SI03	埴土 (No.12)	179.2
8	G2	SI03	埴土 (No.22、23、30)	2,834.7
9	G2	SI03	埴土 (No.45)	2.9
			小計	3,253.8
			合計	3,350.3

柱穴(P)

No	区	出土地点	部位	重量(g)
1	C	P1043	埴土上壁	6.1
			合計	6.1

遺構種別ごと

No	遺構名	重量(g)	比率(%)
1	甕穴住居跡(SI)	9,644.2	100.00%
2	柱穴(P)	6.1	0.06%
	総合計	9,650.3	100.00%

第32表 遺構別出土遺物一覽表(埋藏物)

No.	遺構名		層位		年代		位置		出土遺物		数量		出土地點		埋藏物		出土遺物		数量		出土地點		
	遺構名	層位																					
1	SK101	1031	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043
2	SK105	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065
3	F 060																						
4	F1063																						
5	F1103																						
6	F1111																						
7	F1194																						
8	F1227																						
9	F1256																						
10	F1305																						
11	F1317																						
12	F1327																						
13	SK108																						
14	SK106																						
15	SK107																						
16	SK109																						
17	SK110																						
18	SK113																						
19	SK115																						
20	SK116																						
21	SK12																						
22	SK121																						
23	SK125																						
24	SK126																						
25	SK127																						
26	SK201																						
27	SK206																						
28	SK218																						
29	SK212																						
30	SK215																						
31	SK227																						
32	SK210																						

第23表 縄文土器観察表

標記	1001	埋蔵地	A	A.S.区	1層	器種	土器	文様	口縁部+底面、散点ナ	出土	市野堂	時期	前期(人知不行)	図版No.	112	写真No.	97	採集者(観察者)	
----	------	-----	---	-------	----	----	----	----	------------	----	-----	----	----------	-------	-----	-------	----	----------	--

第24表 石器観察表

標記	区域名	出土層	層位	器種	形状(寸)	重量(g)	石種	産地	時代	備考	図版No.	写真No.
1002	C	P100	底面	石刀	長さ 10.5 幅 0.92	3673	安山岩	麻生峠	新石器前期三光	西側に球状の凹み、右端縁ナ	112	97
1003	C	P127	底面	石刀	長さ 8.1 幅 0.5	3442	安山岩	麻生峠	新石器前期三光	一面に球状凹み	112	97
1004	C	C区	砂出層-5m、黒色土上層	石鏃	長さ 1.35 幅 0.4	06	比羅賀片	土橋田	新石器前期三光	片断有蓋、先端部欠損	112	97

第25表 土師器・須恵器観察表

標記	土器名	産地	層位	器種	形状(寸)	容量	色澤	成分	土質	加工	重量(g)	土師器	須恵器	器種	形状	備考	図版No.	写真No.
1011	C2	SL101	井原 (No.1)	甕?	口径 115.2 底径 81.0 高さ 105.0	-	明黄褐色	硬砂合	口縁部+口下リナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1012	C2	SL102	井原 (No.2)	甕?	口径 25.0 底径 16.0 高さ 7.0	-	灰白色	砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1013	C2	SL103	井原 (No.3)	甕?	口径 20.0 底径 13.0 高さ 6.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1014	C2	SL104	井原 (No.4)	甕?	口径 26.0 底径 17.0 高さ 7.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1015	C2	SL105	井原 (No.5)	甕?	口径 26.0 底径 17.0 高さ 7.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1016	C2	SL106	井原 (No.6)	甕?	口径 26.0 底径 17.0 高さ 7.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1017	C2	SL107	井原 (No.7)	甕?	口径 26.0 底径 17.0 高さ 7.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1018	C2	SL108	井原 (No.8)	甕?	口径 26.0 底径 17.0 高さ 7.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1019	C2	SL109	井原 (No.9)	甕?	口径 26.0 底径 17.0 高さ 7.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1020	C2	SL110	井原 (No.10)	甕?	口径 26.0 底径 17.0 高さ 7.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	113	97	98	98	98	113	97	
1021	C2	SL103	井原 (No.7)	小甕	口径 13.0 底径 6.7 高さ 10.1	332	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	21	97	98	98	98	21	97	
1022	C2	SL103	井原 (No.7)	長脚甕	口径 22.0 底径 10.8 高さ 10.8	332	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	114	98	98	98	98	114	98	
1023	D	SL101	井原 (No.1)	甕	口径 79.7 底径 53.0 高さ 40.0	-	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	
1024	C2	SL103	井原 (No.3)	甕	口径 30.0 底径 16.0 高さ 6.0	423	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	
1025	C2	SL103	井原 (No.3)	甕	口径 30.0 底径 16.0 高さ 6.0	423	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	
1026	C2	SL103	井原 (No.3)	甕	口径 30.0 底径 16.0 高さ 6.0	423	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	
1027	C2	SL103	井原 (No.3)	甕	口径 30.0 底径 16.0 高さ 6.0	423	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	
1028	C3	P1063	井原 (No.11)	甕	口径 42.7 底径 26.0 高さ 36.6	427	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	
1029	C	SL103	井原 (No.7)	甕	口径 36.6 底径 22.0 高さ 36.6	332	灰白色	硬砂合	口縁部ナシハナケムナ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	

第26表 土師器観察表

標記	土器名	産地	層位	器種	形状(寸)	容量	色澤	成分	土質	加工	重量(g)	土師器	須恵器	器種	形状	備考	図版No.	写真No.
1030	E	井原 (No.1)	井原	甕	口径 47.5 底径 27.0 高さ 47.5	47	灰白色	硬砂合	口縁部ナシ	口縁部ナシ	115	98	98	98	98	115	98	

第37表 かわらけ観象表

(調査地(発着地))

発着地 No.	区域 No.	出土地点	層位	種類	分類	形状	寸法 口径 底径 高さ	重量 (g)	備考	時期 No.	文化 No.		
1101	G4	P1191	壇上	手づくね大	手づくね大	(8.2) 3.4 2.1	490	7.5YR6/6焼成	60%	2	110	99	
1102	E2	SK105 東土	壇上2層	手づくね大	手づくね大	— (3.6)	225	7.5YR7/6白	25%	1	2段まで、11層目取	116	99
1103	E2	SK106 東土	壇上2層	手づくね大	手づくね大	(14.9) — 2.7	303	2.5YR6/2焼成白	25%	1	2段まで、11層目取	116	99
1104	E2	SK107 東土	壇上2層	手づくね大	手づくね大	(9.0) (6.0) 2.15	353	7.5YR7/4焼成白	50%	2	—	116	99
1105	E2	SK107 東土	壇上2層	手づくね大	手づくね大	— — 3.6	355	10YR6/4焼成白	15%	2	—	116	99
1106	E2	SK107 東土	壇上1層	手づくね大	手づくね大	— — (3.2)	241	10YR6/4焼成白	20%	1	3段まで、11層目取	116	99
1107	E2	SK107 東土	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(16.2) — (3.2)	639	10YR6/1灰白	50%	1	3段まで	116	99
1108	G2	SK115 北平	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(13.8) 6.6 4.2	1166	7.5YR8/4焼成	50%	3	—	116	99
1109	G2	SK115 北平	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(13.5) 6.15 4.1	1066	7.5YR8/4焼成	30%	3	—	116	99
1110	G2	SK115 北平	壇上1層	手づくね大	手づくね大	— — (3.5)	394	10YR8/4焼成	10%	1	2段まで、11層目取	116	99
1111	G2	SK115 北平	壇上2・3層	手づくね大	手づくね大	(14.6) — 3.1	904	10YR8/4焼成	40%	1	3段まで、11層目取	116	99
1112	G2	SK115 北平	壇上1層	手づくね大	手づくね大	— — (3.0)	371	10YR8/1灰白	25%	1	2段まで、11層目取	116	99
1113	G4	SK127 東土	壇上2層	手づくね大	手づくね大	(14.2) 6.6 4.7	1220	7.5YR7/4焼成	50%	3	—	116	99
1114	G4	SK127 東土	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(5.3) 6.80 4.1	644	7.5YR8/4焼成	30%	3	—	116	99
1115	G4	SK127 東土	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(14.1) (7.8) 4.1	631	7.5YR8/4焼成	25%	3	—	116	99
1116	D	SD104 壇上1層	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(9.5) (6.8) 2.1	337	10YR8/2焼成	25%	2	—	116	99
1117	D	SD104 壇上1層	壇上1層	手づくね大	手づくね大	— — (2.5)	302	10YR8/2焼成	15%	1	1段まで	116	99
1118	G4	SD122 東土	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(7.7) (5.2) 1.8	244	10YR7/4焼成	40%	2	—	116	99
1119	G3	SD122 東土	壇上1層	手づくね大	手づくね大	9.3 7.0 2.0	771	7.5YR6/6焼成	95%	4	—	116	99
1120	G2	G2R 壇上1層	壇上1層	手づくね大	手づくね大	8.4 5.2 2.4	589	7.5YR7/6焼成	100%	4	—	116	99
1121	G2	G2R 壇上1層	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(14.0) 6.8 3.8	1003	7.5YR8/4焼成	100%	3	—	116	99
1122	G2	G2R 壇上1層	壇上1層	手づくね大	手づくね大	(13.6) — 3.4	900	7.5YR6/6焼成	30%	2	2段まで	116	99

粘土: 1: 数量である。2: 約割を含まず砂を含有。3: 増粘。砂粒を若干含む。4: 増粘。砂を含有。

第38表 国産陶器観象表

(調査地(発着地))

発着地 No.	区域 No.	出土地点	層位	種類	分類	形状	寸法 口径 底径 高さ	重量 (g)	備考	時期 No.	文化 No.	
1201	G4	P1266	壇上1層	常滑 壺	常滑 壺	体部	— — —	89.3	12世紀	117	99	
1202	G4	P1317	壇上1層	常滑 壺	常滑 壺	体部	— — —	15.8	12世紀	117	99	
1203	E2	SK107 東土	壇上3層 (No.4)	常滑 壺	3型式 1層目-体部	(36.4) — (22.2)	14192	—	11世紀末 12世紀初	117	99	
1204	E2	SK107 東土	壇上5層 (No.7)	常滑 ドロ	胴部-体部	(31.2) (13.8)	(11.8)	3229	外土ス 内漆	12世紀	117	99
1205	E2	SK107 東土	壇上1層	常滑 片持	口縁部	(30.4) — (9.6)	2000	—	12世紀	117	100	
1206	G4	SK127 東土	壇上2層	常滑 壺	体部	— — —	311.3	—	12世紀	117	100	
1207	C	C区東土1層	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	13.3	12世紀	117	100	
1208	C	C区東土1層	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	28.5	12世紀	117	100	
1209	E2	SK107 東土	壇上1層 (No.1)	常滑 壺	体部	— — —	—	69.9	12世紀	117	100	
1210	G2	G2R(b) 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	11.7	12世紀	117	100	
1211	G4	G4L 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	119.9	12世紀	117	100	
1212a	G4	Sz101 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	2型式 口縁部-体部	(40.6) (16.0) (61.0)	97400	—	12世紀 13世紀	118	100	
1213	G4	P1305	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	35.3	12世紀	119	101	
1214	E3	SK109 西土	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	357.2	12世紀	119	101	
1215	F1	SK110 西土	壇上1層	常滑 壺	体部	— (14.6) (4.2)	2100	—	12世紀	119	101	
1216	G2	SK115 北平	壇上1層	常滑 壺	口縁部	(54.2) — (5.7)	4439	—	12世紀	119	101	
1217	G4	SK127 東土	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	308.1	12世紀	119	101	
1218	D	SD104 壇上1層 (No.4)	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	75.8	12世紀	119	101	
1219	D	SD104 壇上1層 (No.2)	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	87.7	高瀬川 利用?	12世紀	119	101
1220	G5	SD118 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	41.0	12世紀	119	101	
1221	G3	SD122 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	192.8	12世紀	119	101	
1222	G3	SD123 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	口縁部	— — —	—	52.9	12世紀	119	101	
1223	G3	SD123 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	36.3	12世紀	119	101	
1224	B	坂内4層	壇上1層	常滑 壺	口縁部	— (13.3) (2.6)	57.7	—	高瀬川 利用?	12世紀	119	101
1225	F3	E2R 西土	壇上下段 (東土1層)	常滑 壺	体部	— — —	—	88.5	12世紀	120	101	
1226	G2	G2R 壇上1層 (No.7)	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	73.8	12世紀	120	101	
1227	G4	P1327	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	23.5	12世紀	119	101	
1228	G2	SK115 北平	壇上3層	常滑 壺	体部	— — —	—	12.4	12世紀	119	101	
—	G4	P1072 南土	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	8.5	12世紀	—	—	
—	G2	G2R区間d	壇上1層	常滑 壺	体部	— — —	—	9.8	12世紀	—	—	
—	G4	SD127 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	2型式 体部	— — —	—	54.0	12世紀	—	—	
—	G4	SD127 壇上1層	壇上1層	常滑 壺	口縁部	— — —	—	68.1	12世紀	—	—	
—	D	D区東土1層 (No.1)	壇上1層	常滑 壺	口縁部	— — —	—	105.5	12世紀	—	—	

第39表 中国産磁器観察表

(鑑定者) (保存者)

調査No	区域名	出土地点	層位	器種	器名	分類	部位	計測値 (cm)		重量 (g)	備考	時期	調査No	写真No
								口径	高さ					
1229	G2	SK116	埋土中層	白磁	蓋	皿蓋	底部	-	-	21.4	器蓋部	19世紀後半	119	101
1230	G	C1(中火)	埋土上層	白磁	蓋	皿蓋	底部	(0.5)	(5.5)	97.8	陶器蓋	19世紀後半	119	101
1231	G	T80	1-1且層	白磁	皿	V-V型	底部	-	-	1.2	-	19世紀後半	119	101
1232	G	T74	1層	白磁	皿	V-V型	底部	-	-	10.0	底面文意蓋文	19世紀後半	119	101

第40表 中世の磁器観察表

(鑑定者) (保存者)

調査No	区域名	出土地点	層位	器種	器名	分類	部位	計測値 (cm)		重量 (g)	備考	時期	調査No	写真No
								口径	高さ					
1251	E1	T101	北平	埋土3層	瓶	体部	底部	-	-	12.6	明、内外面染付	16世紀	119	101
	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	-	-	53	明、内外面染付	16世紀	-	-

第41表 近世・近代の陶磁器観察表

(鑑定者) (保存者)

調査No	区域名	出土地点	層位	器種	器名	産地	分類	計測値 (cm)		重量 (g)	備考	時期	調査No	写真No		
								口径	高さ							
1301	G3	SK121	埋土1層	陶	大瓶形高	大瓶形高	口縁部	(9.7)	(3.9)	59.8	49.4 灰白色 灰濁	濠洲焼	明治	120	102	
1302	G4	SK126	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	-	-	452.7	31.8 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1303	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	-	-	-	31.8 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1304	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	7.5	3.1	1.5	31.5 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1305	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	22.7	12.1	12.3	77.4 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1306	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	17.6	7.2	9.1	42.3 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1307	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	(13.7)	(6.0)	6.1	106.5 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1308	G1	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	(19.0)	(7.5)	8.7	155.5 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1309	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	(19.0)	(8.6)	7.8	139.0 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1310	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	-	-	-	135.0 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1311	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	-	-	-	248.1 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	120	102	
1312	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	-	-	-	243.8 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	121	103	
1313	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	(17.4)	(10.7)	10.5	370.5 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	121	103	
1314	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	-	-	-	116 (16.2)	瀬川焼	明治	121	103	
1315	G4	SD127	埋土	磁	大瓶形高	西宮	口縁部	-	-	-	(14.6)	(5.7)	312.2 瀬川焼	明治	121	103
1316	G	T72	1層	陶	大瓶形高	西宮	口縁部	-	-	-	4.1 (3.2)	71.3 灰白色 灰濁	瀬川焼	明治	121	103
1317	G4	SK124	埋土1層	磁	花瓶	西宮	口縁部	-	-	-	5.4 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1318	G4	SK126	埋土1層	磁	花瓶	西宮	口縁部	(9.6)	3.4	3.4	28.6 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1319	G4	SK126	埋土1層	磁	花瓶	西宮	口縁部	(10.7)	(7.0)	2.1	28.5 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1320	G4	SK126	埋土1層	磁	花瓶	西宮	口縁部	4.4	3.5	4.5	104.3 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1321	G4	SK126	埋土1層	磁	花瓶	西宮	口縁部	(10.7)	(7.0)	2.1	28.5 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1322	G4	SK126	埋土1層	磁	花瓶	西宮	口縁部	9.8	3.2	1.8	31.4 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1323	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	-	-	-	60 (50.0)	81.0 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104
1324	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(10.2)	(1.2)	5.7	50.1 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1325	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.7)	-	(5.3)	113.9 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1326	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(9.6)	3.6	4.8	50.7 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1327	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.0)	(4.2)	3.7	52.9 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1328	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.4)	3.9	5.2	49.6 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1329	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.2)	3.8	5.1	118.1 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1330	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.2)	(1.9)	5.1	72.5 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1331	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	11.2	4.2	5.8	173.1 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1332	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.2)	(4.2)	5.5	97.4 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1333	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.4)	(3.9)	4.8	73.9 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1334	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(12.2)	3.6	4.5	42.0 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1335	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(11.2)	(1.9)	4.6	48.6 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1336	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	8.7	3.6	4.0	31.3 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1337	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(12.8)	10	34.4	白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1338	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	7.6	3.7	4.0	45.3 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1339	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(6.9)	(2.3)	3.0	21.0 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1340	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	7.3	(7.0)	4.8	29.1 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1341	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(12.4)	(8.2)	6.3	154.9 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1342	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(6.9)	4.2	7.1	70.1 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1343	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	19.0	(3.3)	2.4	25.4 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1344	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(8.4)	3.4	2.7	48.2 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1345	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	10.2	4.0	3.9	64.9 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1346	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	4.2	2.0	5.6	56.3 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1347	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	8.0	(1.2)	2.5	90.0 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1348	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(14.6)	(9.0)	4.0	129.2 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1349	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	11.0	6.3	2.9	120.5 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1350	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(10.6)	5.6	2.0	71.9 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1351	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	-	-	-	78.9 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1352	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	12.1	6.8	2.3	133.2 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1353	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(10.6)	6.1	1.9	42.6 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1354	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	10.2	3.2	1.9	67.4 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1355	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	(14.0)	(8.2)	4.1	74.6 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1356	G4	SD127	埋土	磁	花瓶	西宮	口縁部	22.7	13.3	3.7	390.5 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1357	G	T75	1層	陶	花瓶	西宮	口縁部	(9.0)	4.6	4.8	53.6 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1358	G	T75	1層	陶	花瓶	西宮	口縁部	(7.7)	7.9	4.6	95.2 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	
1359	G	T74	1層	陶	花瓶	西宮	口縁部	9.3	3.7	3.0	61.7 白色 灰濁	瀬川焼	明治	122	104	

第42表 石製品観察表

(鑑定者) (保存者)

調査No	区域名	出土地点	層位	器種	器名	分類	部位	計測値 (cm)	重量 (g)	石材	産地	時代	備考					
													口径	高さ	経緯	写真No		
1401	G4	SK126	埋土	硯	硯	硯	口縁部	13.05	8.0	23	487.6	白雲(スレート)	北上山塊	古・代	表面に染付 赤石筋等二部大混雑焼	石製品	126	107

第43表 金属製品観察表

(鑑定員: 長谷川)

掲載No	区域名	出土地点	層位	製品名	計測値 (cm)			重量 (g)	備考	図版No	写真No
					長さ	幅	厚さ				
1411	E2	SK107村政	狭田南 (No.1)	楕円板状製品	47.3	-	0.9	13.2	楕円形、表面に平目で一周が深まる。	125	107
1412	G4	SD127	塚上	シヤベル?	161	15.9	4.2	543.3	-	125	107
1413	G4	SD127	塚上	定規通貫	外径: 2.35×2.35	内径: 0.66×0.68	0.14	21	新渡木 (高津年1697) 型有	125	107
1414	G4	SD127	塚上	水鏡銅貨	外径: 2.70×2.60	-	0.14	48	明治6(1873)-明治22(1888)、一番を欠く。	125	107

第44表 ガラス製品観察表

(鑑定員: 長谷川)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	産地	計測値 (cm)			重量 (g)	備考	図版No	写真No
						長さ	幅	高さ				
1421	G4	SD127	塚上	コップ	ガラス製品	5.2	3.2	6.0	42.3	透明、コップガラス製品	125	107
1422	G4	SD127	塚上	瓶	ガラス製品	2.3	-	(1.6)	14.0	透明、1906年製コップ栓	125	107

第45表 木製品観察表

(鑑定員: 長谷川)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			器種	備考	時代	図版No	写真No
					長さ	幅	厚さ					
1431	C	SK103	塚上 (No.1)	井戸杓(原状)	(68.0)	26.6	4.8	アスナロ	柄杓(木片)を欠く、C14年代測定(木片)	古代	126	108
1432	C	SK103	塚上 (No.2)	井戸杓(原状)	(62.9)	31.9	5.1	アスナロ	上端を欠く	古代	126	108
1433	C	SK103	塚上 (No.17)	井戸杓(板状)	67.5	7.2	5.4	クリ	横板、両端凸部	古代	127	108
1434	C	SK103	塚上 (No.18)	井戸杓(板状)	65.9	8.1	5.1	クリ	横板、両端凹部	古代	127	108
1435	C	SK103	塚上 (No.11)	井戸杓(板状)	61.1	7.1	4.8	クリ	横板、両端凹部	古代	127	108
1436	C	SK103	塚上 (No.5)	井戸杓(板状)	66.5	7.5	5.4	クリ	横板、両端凹部	古代	127	108
1437	E2	SK106 高平	塚上2層	板状	(33.3)	24	0.6	アスナロ	両端、板状を欠く	121a	128	109
1438	E2	SK106 高平	塚上3層 (No.1)	板状の破片	(25.2)	2.9	0.7	アスナロ	一端を欠く	121b	128	109
1439	E2	SK113 高平	塚上	漆器残	-	-	(3.1)	ケヤキ	内外両面漆	121c	128	109
1440	E2	SK107 高平	塚上中位赤褐色土	漆器残	-	(8.0)	(3.2)	ケヤキ	内外両面漆、裏面漆剥	121d	128	109
1441	E2	SK107 高平	塚上中位赤褐色土	漆器残	-	-	(4.8)	ケヤキ	内外両面漆	121e	128	109
1442	E2	SK107 高平	塚上5層 (No.17)	曲物等?	21.9	5.0	1.0	スギ	-	121f	128	109
1443	E2	SK107 高平	塚上5層 (No.19)	打釘?	(9.6)	36.7	0.5	アスナロ	2箇所を線で穿る	121g	128	109
1444	E2	SK107 高平	塚上3層 (No.16)	棒状の製品	(39.3)	3.1	1.8	コナラ属コナラ 赤黒コナラ属	一端を欠く	121h	128	109
1445	E2	SK107 高平	塚上5層 (No.11)	漆材	85.1	134	7.4	クリ	割欠あり、径7.5cm	121i	129	110
1446	E2	SK107 高平	塚上5層 (No.10)	漆材	(72.9)	(6.7)	5.1	クリ	欠損あり	121j	129	110
1447	E2	SK107 高平	塚上3層	漆材	(56.0)	6.7	2.7	アスナロ	片断を欠く	121k	129	110
1448	G5	SK113	塚上2層	杓?	36.1	7.8	7.0	ミズキ属	柄11.0×3.8cm 上端を側面に使用痕	121l	130	110
1449	G2	SK115	塚上2層	漆器破片	30.9	(5.7)	0.8	スギ	端部に穿孔あり	121m	130	110
1450	G2	SK115 北平	塚上3層	木鉢	12.2	3.2	3.9	クリ	形状がかなり崩れている	121n	130	110
1451	G2	SK115	塚上4層	板状木製品	(12.3)	3.5	0.5	アスナロ	一端を欠く	121o	130	111
1452	G2	SK115 北平	塚上3層	不明木製品	(18.7)	2.0	0.5	スギ	端部に1対穿孔あり	121p	130	111
1453	G2	SK115	塚上3層	不明木製品	3.9	2.0	1.0	アスナロ	先端6.3×2.0の長五角形 断面の一部が変化した	121q	130	111
1454	G2	SK116	塚上3層	漆器等	16.0	19.4	10.4	ケヤキ	内外両面漆(残部)、内面に漆剥文	121r	130	111
1455	G2	SK116 西平	塚上	漆器下駄	23.6	11.7	5.5	ケヤキ	漆剥	121s	131	111
1456	G2	SK116	塚上3層	漆器	(9.9)	(13.7)	(6.1)	-	6本型欠、6本型あり、2本型あり、欠損不明	121t	131	111
1457	G4	SK123 北平	塚上1層	漆器下駄	22.4	12.5	6.3	クリ	漆剥	121u	131	111

第46表 土製品観察表

(鑑定員: 長谷川)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	備考	図版No	写真No
					長さ	幅	高さ				
1501	G2	SK115	1層	羽子?	(3.0)	(2.5)	(2.4)	5.5	スチ入る	-	112
1502	G2	SK115 北平	塚上2層	土器?	(6.3)	(6.9)	3.3	89.4	褐色	-	112

第47表 動物遺体観察表

(鑑定員: 長谷川)

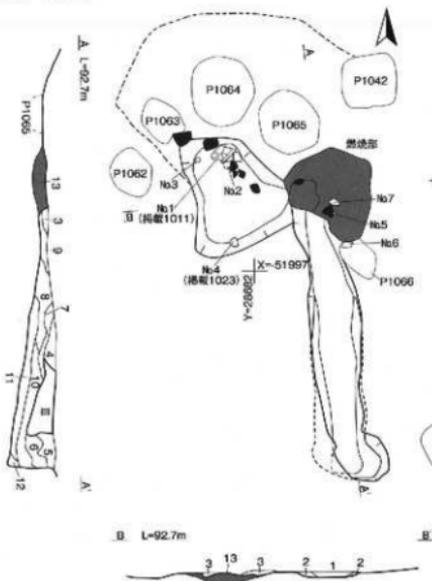
掲載No	区域名	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	近・遠	焼付	重量 (g)	備考	図版No	写真No
1512	G6	T1111	塚上	シカ	鹿角	RP?	-	×	48.1	-	-	112
1513	B	SD101	塚上	ウサギ	臼歯片	-	-	×	23.0	-	-	112

第48表 植物遺体観察表

(続前表)(西台遺)

採取No	区域名	出土地点	層位	種名	重量(g)	備考	図版No	写図No
1521	C	SK105 南半	埋土下位 (黒腐土)	毛毛	21	分析21g 1	-	112
1522	G2	SK115	埋土2層	毛毛	2.7		-	112
1523	G2	SK115	埋土3層	トチ	4.1	分析2.0g 1	-	112
1524	G2	SK115	埋土3層	クルミ	2.7		-	112
1525	G2	SK115 北半	埋土2層	毛毛	2.7	分析2.7g 1	-	112
1526	G2	SK116 西半	埋土3層	クルミ	2.8	分析2.8g 1	-	112
-	G4	P1319 北半	埋土1層	毛毛	1.3		-	-
-	G4	P1330	埋土	苧苧	1.5		-	-
-	G6	P1111	埋土	クルミ	0.3		-	-
-	G6	P1111	埋土2層	毛毛	3.8		-	-
-	C	SK105 北半	埋土1層	苧苧	2.8		-	-
-	E	SK107	埋土5層	毛毛	1.1		-	-
-	E3	SK109	埋土	クルミ	3.2		-	-
-	G5	SK112	埋土1層	苧苧	1.7		-	-
-	G2	SK115	埋土	クルミ	12.3		-	-
-	G2	SK115	埋土2層	苧苧	1.4		-	-
-	G2	SK115	埋土2層	不明	0.2		-	-
-	G2	SK115	埋土2層	クルミ	7.9		-	-
-	G2	SK115 北半	埋土2層	クルミ	3.5		-	-
-	G2	SK115 北半	埋土3層	クルミ	9.2	分析2.3g 1	-	-
-	G2	SK115 北半	埋土4層	クルミ	2.2		-	-
-	G2	SK115 北半	埋土4層	クルミ	1.0		-	-
-	G5	SK121	埋土1層	毛毛	1.1		-	-
-	G4	SK124 南半	埋土1層	苧苧	2.8		-	-
-	G4	SK124 北半	埋土1層	毛毛	2.8		-	-
-	G5	SD117	埋土	毛毛	2.0		-	-
-	G5	SD117	埋土	クルミ	2.4		-	-
-	G5	SD117	埋土1層	毛毛	0.5		-	-
-	F2	F2区	II層	クルミ	0.4		-	-
-	F4	F4区	II層	毛毛	0.5		-	-
-	G6	G6区	II層	クルミ	2.6		-	-

SI101 (C区)



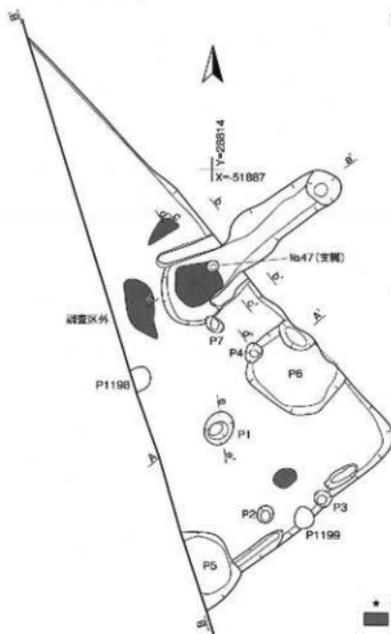
- SI101サマド
- 1 5YR2/3 明赤褐色 シルト しまり中  
黒褐色土(φ1mm)を3%含む。
  - 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
焼土ブロック(φ~1mm)を15%含む。
  - 3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密  
焼土ブロック、焼土ブロック(φ~1cm)を10%、  
炭化物(φ1~3mm)を2%割合に含む。
  - 4 10YR2/3 黒褐色 シルト(やや砂質) しまり密  
焼土ブロック30%、焼土ブロック5%、  
焼土ブロック5%(φ~1cm)を含む。
  - 5 10YR2/3 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密  
焼土ブロック60%を細かく含む。焼土が汚れた感じ。
  - 6 5YR3/3 暗赤褐色 シルト しまりやや密 微炭素、  
焼土ブロック跡
  - 7 10YR2/3 黒褐色 シルト  
焼土ブロック1%、炭化物2%、  
焼土ブロック5%(φ1~2mm)を含む。
  - 8 5YR3/3 暗赤褐色 シルト しまり密  
6層より明るい。焼土ブロックが散布したものが主体。  
焼土ブロック(φ~1cm)を20%、  
黒褐色土ブロック(φ1~2mm)を2%含む。
  - 9 5YR3/3 暗赤褐色 シルト しまり密  
8層と同じ主体だが、焼土ブロックを3%程度含む。
  - 10 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
焼土ブロック10%、焼土ブロック5%、  
炭化物2%(φ~3mm)を塊状に含む。
  - 11 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
焼土ブロック(φ1mm)を2%、  
焼土ブロック(φ~3mm)を5%を塊状に含む。
  - 12 焼土砂質シルト層赤褐、やや汚れ、黒味あり。
  - 13 5YR4/8 赤褐色 シルト 焼土、  
焼土シルト(やや砂質)層が混入したもの。塊状あり。

SI102 (C区)

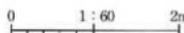
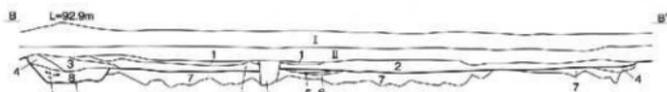
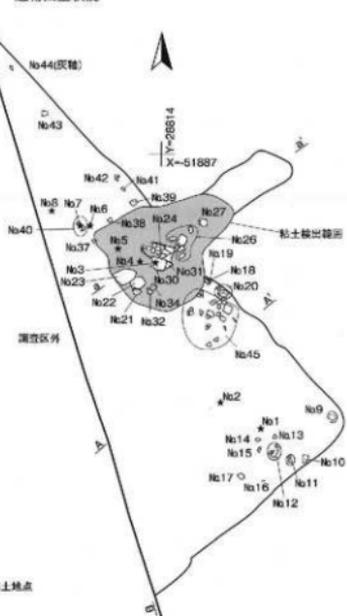


- SI102
- 1 7.5YR2/3 暗赤褐色 シルト しまりやや密  
深次の地山(φ<0.5cm)5%、炭(0.5~1cm)1%、焼土粒(1mm)1%含む。
  - 2 7.5YR2/3 暗赤褐色 シルト しまり中  
1層よりやや明るい。塊状した焼土ブロック30%含む。
  - 3 7.5YR2/3 暗赤褐色 シルト しまり中  
塊状の焼土ブロック10%、黒褐色土ブロック10%含む。

SI103 (G2区)



遺物出土状況



SI103

- 1 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり地 黒色シルト (10YR2/1)との混土。
- 2 10YR1/7 棕色 シルト しまり地 炭化粒が5%含む。
- 3 10YR2/1 棕色 シルト しまり地 褐色砂質土ブロック (φ1~2cm) を5%含む。
- 4 10YR2/1 棕色 シルト しまり地や砂
- 5 10YR5/6 灰褐色 シルト しまり地
- 6 5Y7.5/4 暗褐色 シルト しまり地 焼土
- 7 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり地 褐色砂質土 (10YR5/6)との混土。炭R
- 8 10YR3/4 暗褐色 砂質土 しまり地 焼土ブロック (φ1cm) を5%、炭化粒 (φ3~5mm) を3%含む。(P5・P6)
- 9 10YR2/1 黒色 シルト しまり地 焼土ブロック (φ1cm) を3%含む。(P6)
- 10 10YR3/3 暗褐色 砂 しまり地 焼土ブロック (φ1cm) を3%含む。(P6)

SI103 P1

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり地や砂 褐色砂粒 (φ5mm) を3%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり地
- 3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり地 黒褐色土ブロック (φ3cm) を3%含む。

SI103 P2

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり地や砂 褐色土粒 (φ5~7mm) を3%含む。

SI103 P3

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり地や砂

SI103 P4

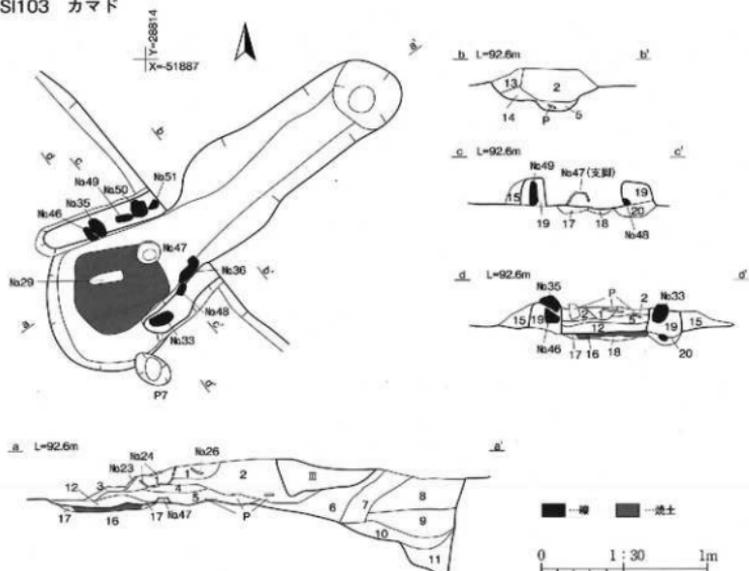
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり地

SI103 P5

- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまり地 焼土ブロック (φ1cm) を5%含む。炭化粒 (φ3~5mm) を1%含む。

第84図 SI103 (1)

## SI103 カマド

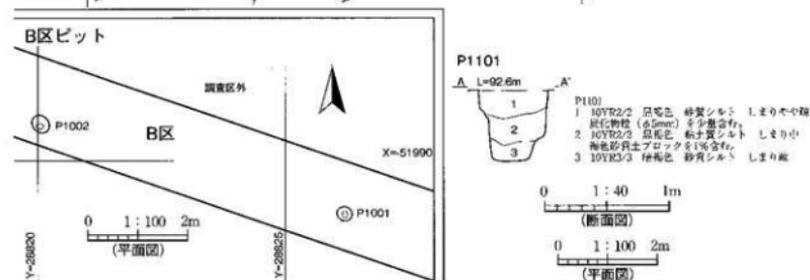
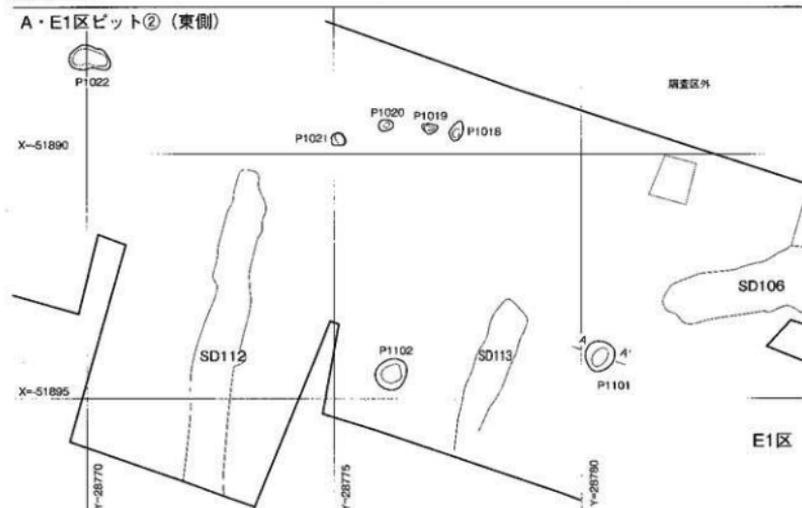
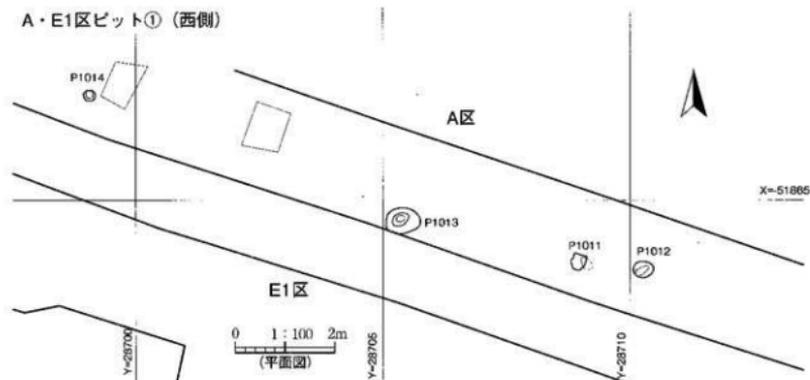


## SI103 カマド

- 1 10YR17/1 黒色 シルト しまり密 濃い黄褐色粘土ブロック(φ2~3cm)を5%含む。  
 2 10YR2/3 暗褐色 粘土質シルト しまり密 粘土ブロック(φ1cm)を3%含む。(天井部黒粘土)  
 3 10YR2/6 濃い黄褐色 粘土質シルト しまり中 黒色土ブロック(φ1cm)、黄土(φ5~7mm)を30%含む。(天井部黒粘土)  
 4 10YR3/4 暗褐色 シルト しまりやや密  
 5 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 黄土塊-ブロックを10%含む。  
 6 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 粘土ブロック(φ1~2cm)を3%、灰ブロック(φ1~2cm)を3%含む。  
 7 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり細 粘土ブロック(φ3~4cm)を15%含む。  
 8 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり細 粘土ブロック(φ1~2cm)を3%含む。  
 9 10YR2/3 暗褐色 シルト しまりやや密 黄土(φ5~7mm)を10%含む。  
 10 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 黄土(φ5~7mm)を5%含む。  
 11 10YR17/1 黒色 シルト しまり中 暗褐色質土(塊状)ブロック(φ1cm)を3%含む。  
 12 7.5YR2/3 暗褐色 砂質シルト しまり細 黄土(φ5~7mm)を30%含む。  
 13 10YR2/2 暗褐色 シルト しまり密 濃い黄褐色粘土ブロック(φ1cm)を3%含む。  
 14 10YR2/3 暗褐色 シルト しまり中 暗褐色土ブロック(φ3~4cm)を5%含む。  
 15 10YR2/4 濃い黄褐色 粘土 しまりやや密 塊状に含む。(天井部黒粘土)  
 16 10YR2/2 暗褐色 シルト しまりやや密 黄土(φ2~3mm)を3%含む。  
 17 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト しまり密 黄土を10%含む。  
 18 10YR4/4 褐色 粘土 しまり密 黄土(φ3mm)を1%含む。(局部)  
 19 10YR4/4 褐色 粘土 しまり密 黄土(φ3~7mm)を7%含む。(部材の設置部?)  
 20 7.5YR3/4 暗褐色 シルト しまり中 黄土(φ5~7mm)を7%含む。(部材の設置部?)

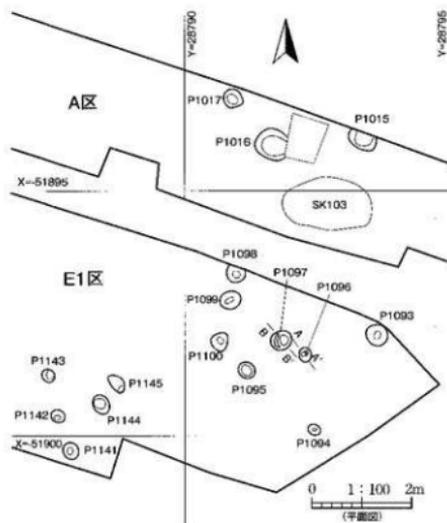
## SI03 出土遺物一覧

遺物No.	品名	層位	備考	造形No.	種類	部位	備考	遺物No.	種類	層位	備考
1	土師器 甕	床直		18	土師器 甕	天井		35	甕	カマド基部	礎石
2	土師器 甕	床直		19	土師器 甕	天井		36	甕	カマド基部	礎石
3	瓦片器 甕	床直	陶製103A	20	土師器 甕	天井	陶製1017	37	土師器 甕	床土	
4	土師器 甕	床直		21	土師器 甕	カマド天井部		38	土師器 甕	床土	
5	土師器 甕	床直	陶製1015	22	陶器 甕	カマド天井部	陶製1024	39	土師器 甕	床土	
6	土師器 甕	床直		23	陶器 甕	カマド天井部	陶製1024	40	土師器 甕	床土	
7	土師器 甕	床直		24	土師器 甕	カマド天井部		41	土師器 甕	床土	
8	土師器 甕	床直		25	土師器 甕	カマド天井部	陶製1016	42	土師器 甕	床土	
9	土師器 甕	床直		26	土師器 甕	礎石		43	土師器 甕	床土	
10	土師器 甕	床直		27	土師器 甕	礎石	陶製1014	44	土師器 甕	床土	陶製1027
11	土師器 甕	床直		28	土師器 甕			45	土師器 甕	床土	陶製1012・1013
12	瓦片器 甕	床直		29	甕	礎石部直上		46	甕	床土	
13	土師器 甕	床直		30	須恵器 甕	カマド天井部	陶製1024	47	土師器 小甕	惣洗部直上	支脚・陶製1021
14	土師器 甕	床直		31	甕	惣洗部直上	礎石?	48	甕	カマド基部	礎石
15	瓦片器 甕	床直	陶製1026	32	土師器 甕	カマド天井部		49	甕	カマド基部	礎石
16	土師器 甕	床直		33	甕	カマド基部	礎石	50	甕	カマド基部	礎石
17	土師器 甕	床直		34	甕	カマド天井部		51	甕	カマド基部	礎石



第86図 A・E1区ビット①・②、B区ビット

## A・E1区ビット③(東端)



## A・E1区ビット③断面図

P1096

A. L=92.7m A'



P1097

B. L=92.7m B'



P1096

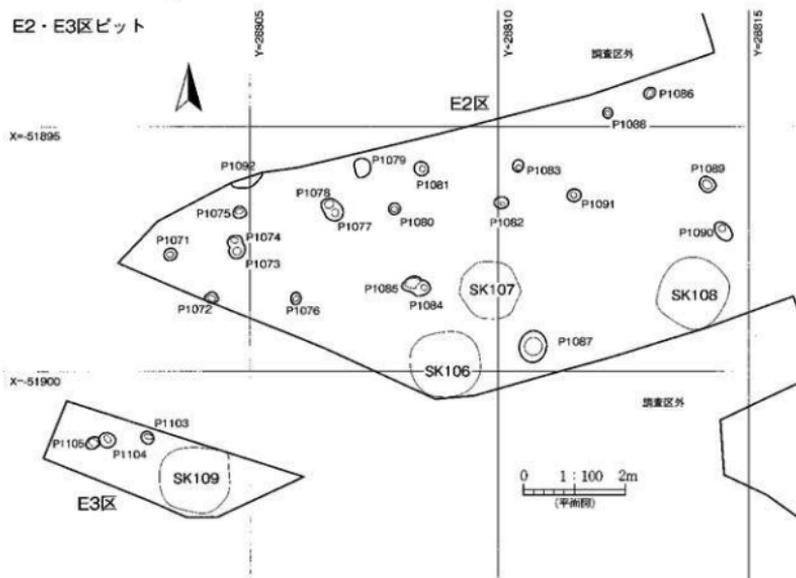
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト しまり少  
褐色砂アロック (φ=2cm) を3%含む。約1割が砂
- 2 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり少  
黒褐色土アロック (φ=1cm) を3%含む。

P1097

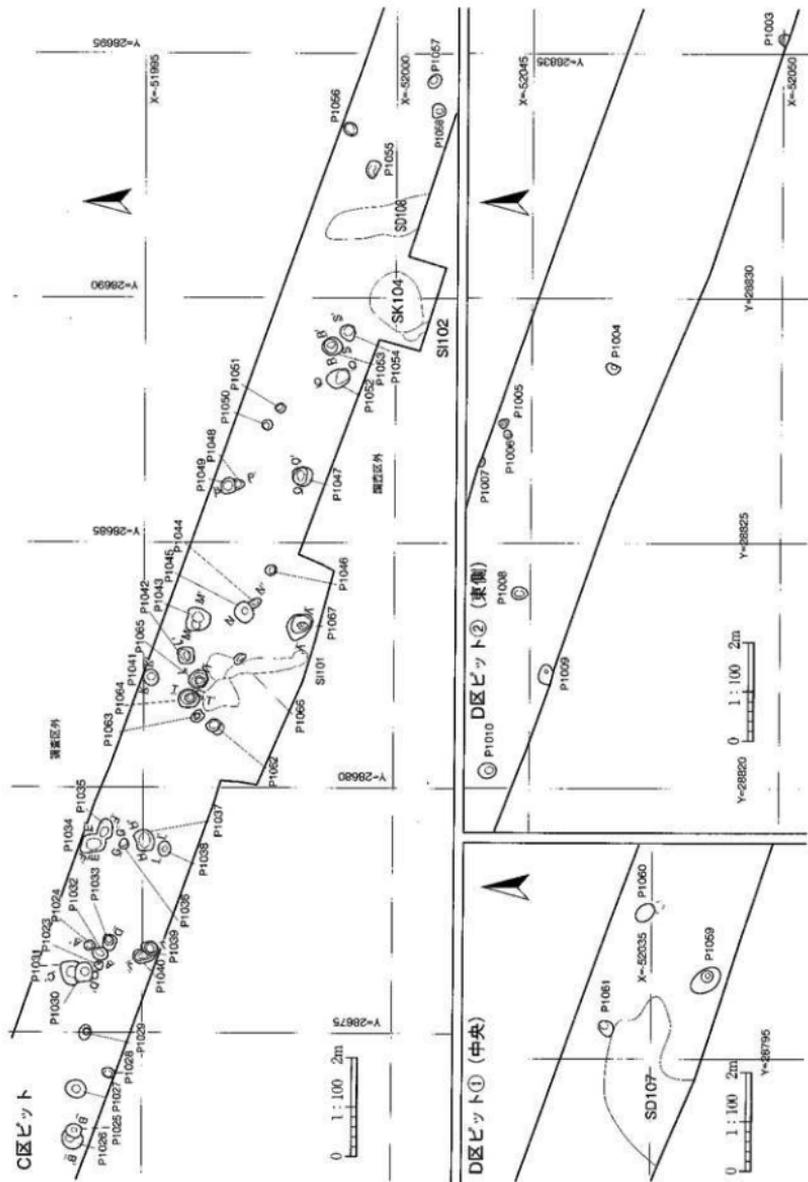
- 1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまりやや強  
褐色砂土アロック (φ=3cm) を10%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまり中  
褐色砂土アロック (φ=2cm) を3%含む。



## E2・E3区ビット

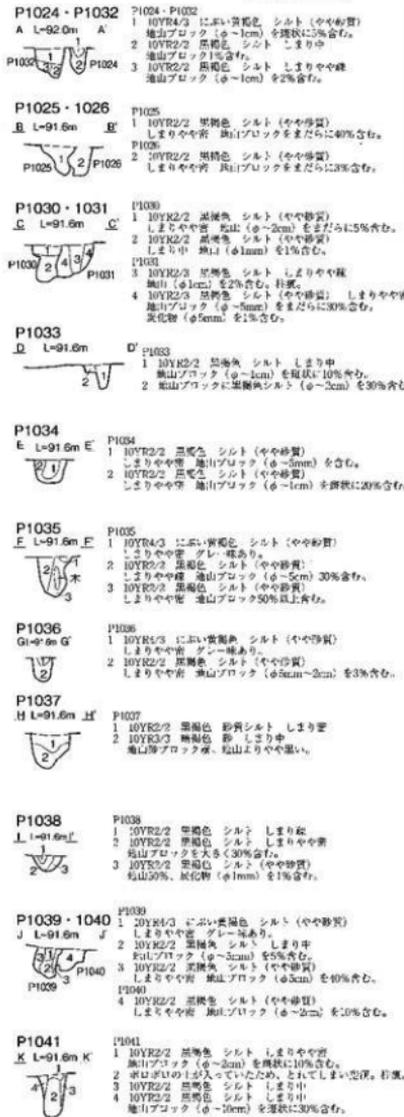
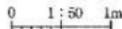


第 87 図 A・E1 区ビット③、E2・E3 区ビット

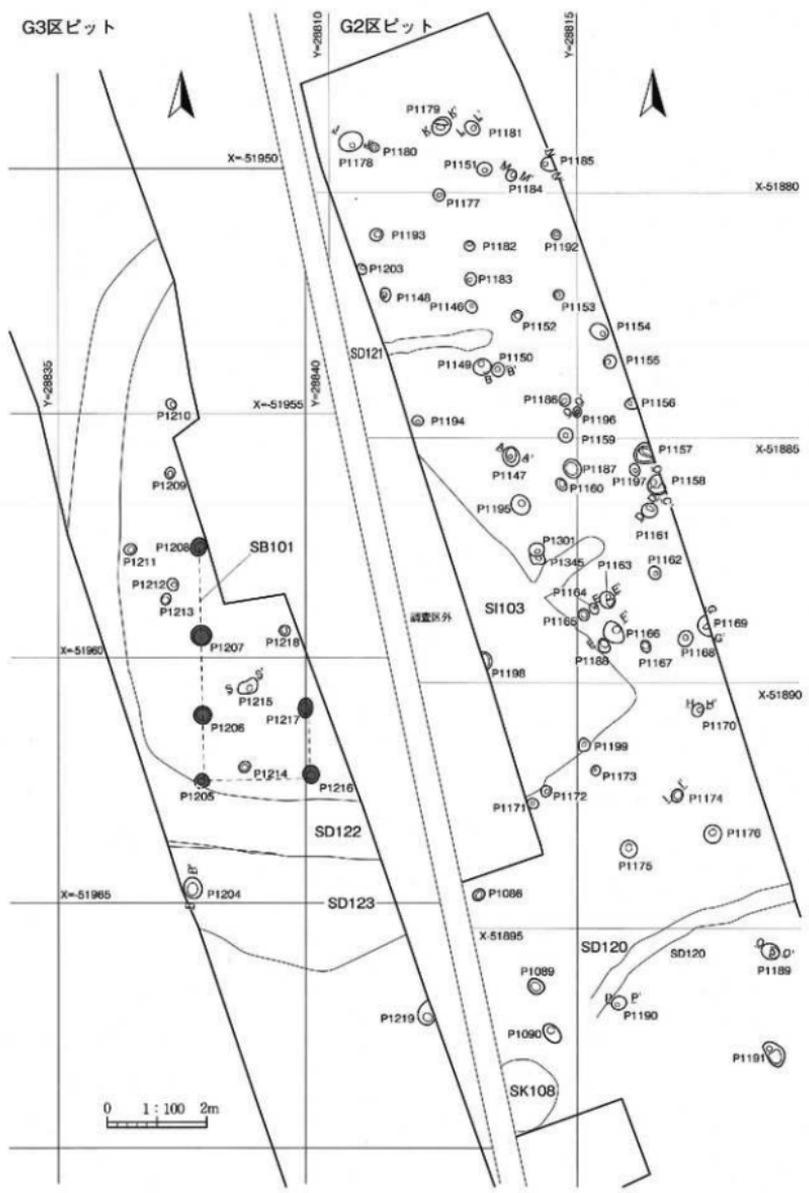


第 88 図 C・D 区ビット区画平面図

C区ピット断面図



第 89 図 C 区ピット断面図



第 90 図 G2・G3 区ビット平面図

## G2区ビット断面図

P1147

A L=92.5m A'



- P1147
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色土粒 (φ5mm) を5%含む。
  - 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
褐色砂質土ブロック (5cm) を30%含む。

P1150

B L=92.5m B'



- P1150
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中  
褐色土ブロック (φ1m) を5%含む。
  - 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり稀  
褐色土ブロック (φ3-4cm) を5%含む。

P1158

C L=92.5m C'



- P1158
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
かわかけ微細片を含む。
  - 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
褐色砂質土ブロック (5cm) を30%含む。

P1161

D L=92.5m D'



- P1161
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色土粒 (φ5mm) を5%含む。
  - 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
褐色土ブロック (φ2-3cm) を10%含む。

P1163

E L=92.5m E'



- P1163
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色土ブロック (φ3cm) を5%含む。
  - 2 10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまりやや密

P1166・P1188

F L=92.5m F'



- P1166
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
褐色砂ブロック (φ1-2cm) を3%含む。柱状かた
  - 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中  
褐色砂ブロック (φ2-3cm) を5%含む。
- P1188
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
褐色砂ブロック (φ1-3cm) を3%含む。

P1169

G L=92.9m G'



- P1169
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色土粒 (φ5mm) を1%含む。
  - 2 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり稀  
褐色砂ブロック (φ3-4cm) を20%含む。

P1170

H L=92.5m H'



- P1170
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密  
褐色砂質土ブロック (3mm-3cm) を10%含む。
  - 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密

P1174

I L=92.5m I'



- P1174
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
  - 2 10YR3/3 褐色色 シルト しまり密  
褐色砂質土粒 (φ5mm) を20%含む。

P1178

J L=92.4m J'



- P1178
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密  
褐色砂質土ブロック (φ5mm-3cm) を25%含む。
  - 2 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり稀  
黒褐色土ブロック (φ3-4cm) を5%含む。

P1179

K L=92.5m K'



- P1179
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色砂ブロック (φ2-3cm) を10%含む。
  - 2 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり稀  
黒褐色土ブロック (φ3-4cm) を5%含む。

P1181

L L=92.5m L'



- P1181
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色土粒 (φ5mm) を3%  
炭化砂粒 (φ2-3mm) を1%含む。
  - 2 10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまりやや密  
褐色土ブロック (φ4-5cm) を10%含む。

P1184

M L=92.5m M'



- P1184
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
  - 2 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり稀  
褐色土粒 (φ3-4cm) を5%含む。

P1185

N L=92.5m N'



- P1185
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
褐色土粒 (φ3mm) を3%含む。
  - 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
褐色土ブロック (φ5cm) を10%含む。

P1189

O L=92.5m O'



- P1189
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中  
褐色土ブロック (φ5cm) を3%含む。
  - 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
褐色砂ブロック (φ5cm) を10%含む。

P1190

P L=92.5m P'



- P1190
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
褐色土粒 (φ3cm) を3%含む。
  - 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
褐色土ブロック (φ5cm) を10%含む。

P1196

Q L=92.9m Q'



- P1196
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密  
褐色土粒 (φ1cm) を5%含む。

## G3区ビット断面図

P1204

R L=92.1m R'



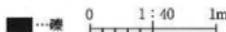
- P1204
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色砂粒 (φ7mm) を3%含む。
  - 2 10YR4/4 褐色 砂 しまり中  
褐色土ブロック (φ3cm) を3%含む。

P1215

S L=92.5m S'

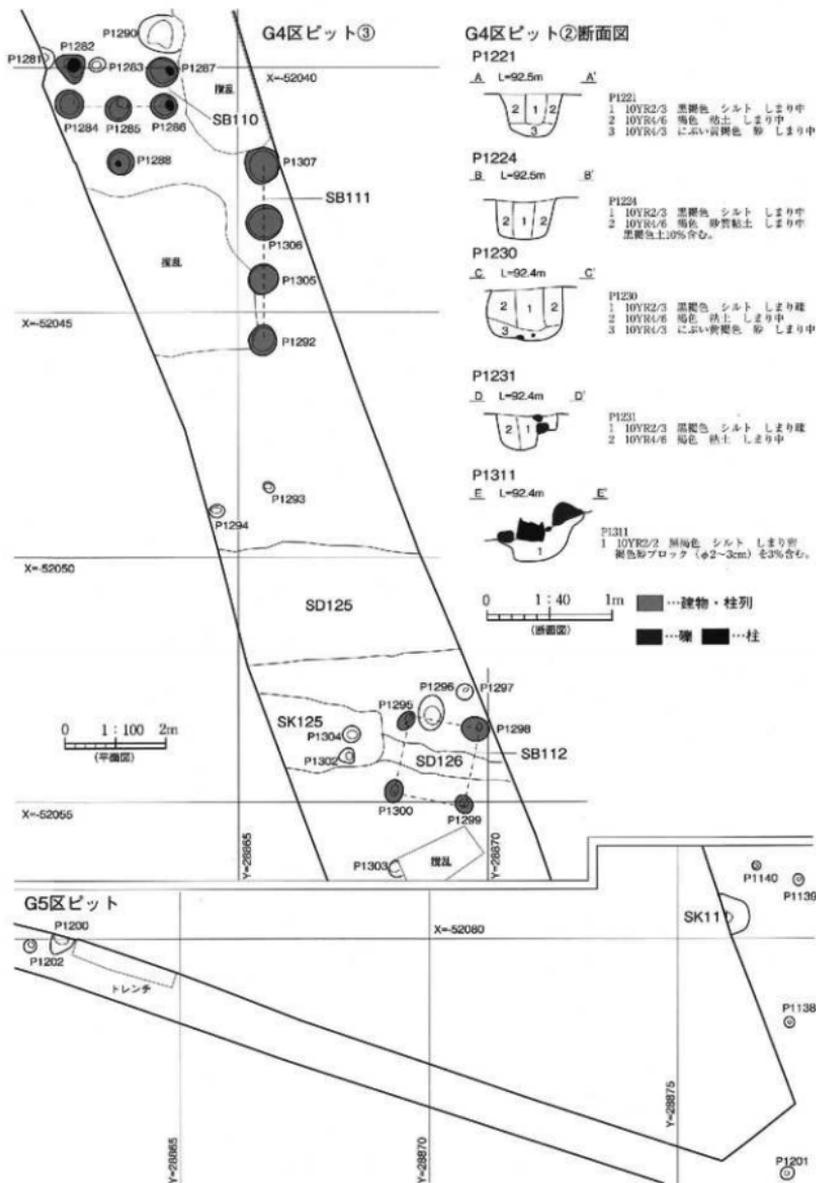


- P1215
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密  
褐色砂ブロック (φ5cm) を5%含む。
  - 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中

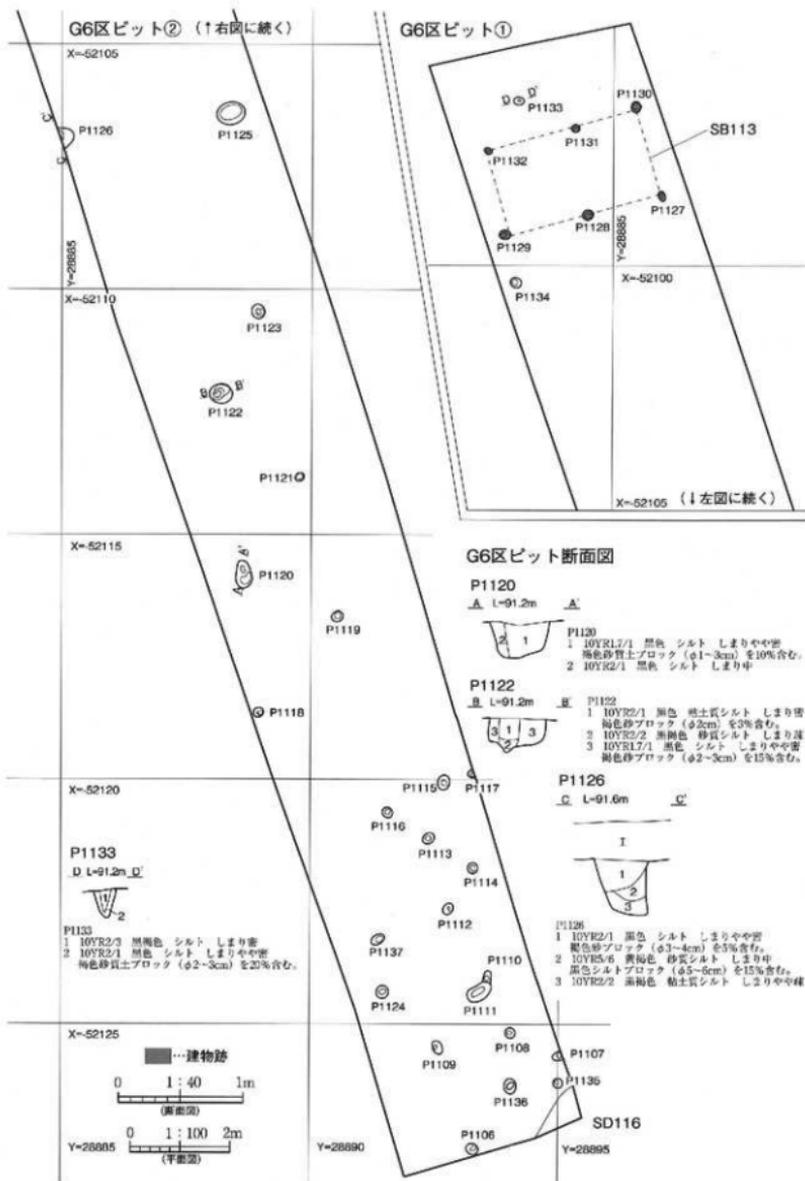


第91図 G2・G3区ビット断面図



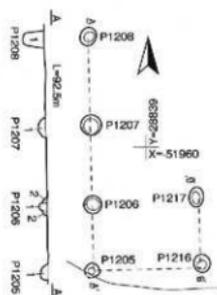


第93図 G4区ビット③・G5区ビット



第94図 G6区ビット

## SB101 (G3区)



P1205  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 褐色砂質土ブロック (φ1cm) を3%含む。

P1206  
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 粘土ブロック (φ1cm) を3%含む。  
2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中

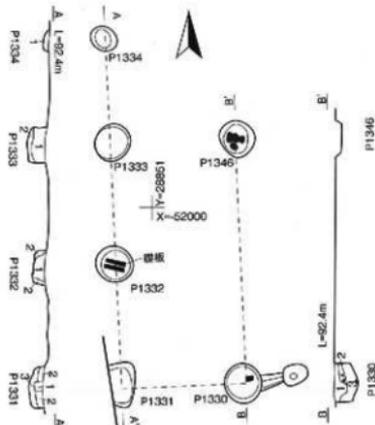
P1207  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色土ブロック (φ1cm) を20%含む。

P1208  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物粒 (φ5mm) を1%含む。

P1216 - P1217  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色砂粒 (φ3-7mm) を10%含む。

0 1 : 100 2m

## SB102 (G4区)



P1330  
1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 炭化物粒 (φ3mm) を3%含む。  
2 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
褐色砂質土ブロック (φ3-4cm) を10%、小礫 (φ4-5cm) を3%含む。  
3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密  
粘土ブロック (φ3-4cm) を20%含む。

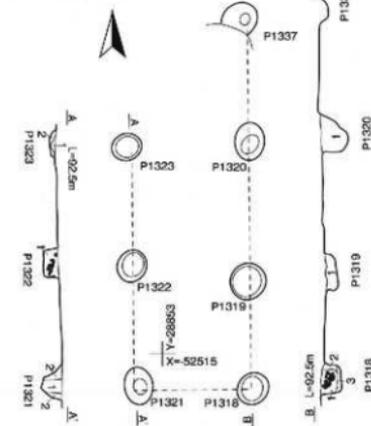
P1331  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物粒 (φ3mm) を1%含む。  
2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密  
褐色粘土ブロック (φ3-7cm) を10%含む。  
3 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト しまり中  
黒褐色シルトブロック (φ2-3cm) を3%含む。

P1332  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
2 10YR2/4 暗褐色 砂質シルト しまりやや密  
粘土ブロック (φ1cm) を1%、黒色シルトブロック (φ1cm) を3%含む。

P1333  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
2 10YR2/4 暗褐色 砂質シルト しまりやや密  
粘土ブロック (φ1cm) を1%、黒色シルトブロック (φ1cm) を3%含む。

P1334  
1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂質土を層状に含む。

## SB103 (G4区)



P1328  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 礫 (φ5-20cm) を30%含む。  
2 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト しまりやや密 小礫 (φ2-3cm) を3%含む。  
3 10YR2/4 暗褐色 砂質シルト しまり中

P1329  
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 小礫 (φ3-4cm) を3%含む。

P1330  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密  
輝化鉄粒3%含む、小礫 (φ2-3cm) を1%含む。

P1331  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密  
炭化物粒 (φ2-3mm) を1%、小礫 (φ2-3cm) を1%含む。  
2 10YR2/4 褐色 砂質シルト しまり密  
黒褐色シルトブロック (φ3-4cm) を10%含む。

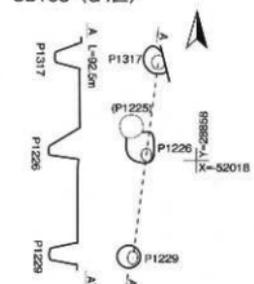
P1332  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密  
礫 (φ2-10cm) を30%含む、褐色シルトブロック (φ3cm) を3%含む。

P1333  
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
粘土ブロック (φ3cm) を3%含む、炭化物粒 (φ5mm) を1%含む。  
2 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト しまりやや密

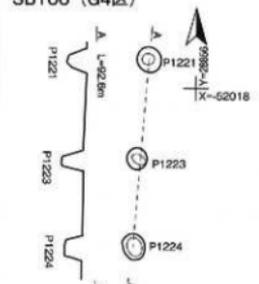
SB104 (G4区)



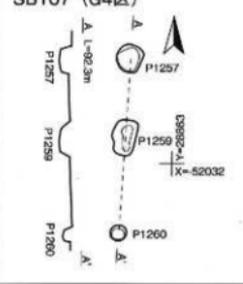
SB105 (G4区)



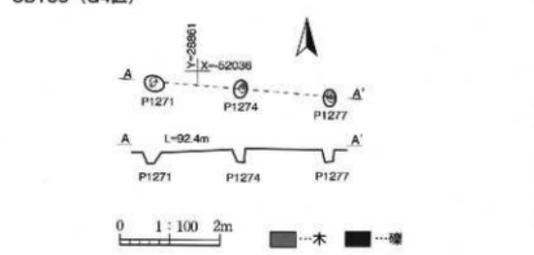
SB106 (G4区)



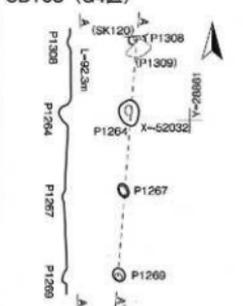
SB107 (G4区)



SB109 (G4区)



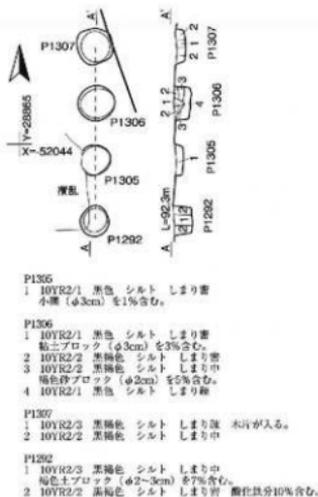
SB108 (G4区)



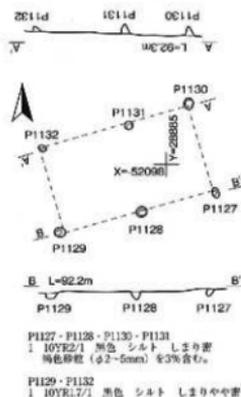
SB110 (G4区)



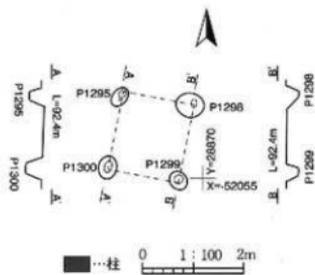
SB111 (G4区)



SB113 (G6区)



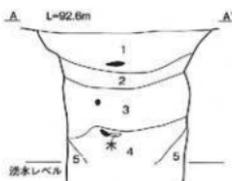
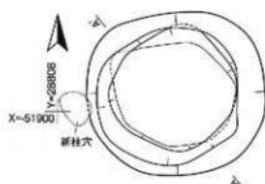
SB112 (G4区)







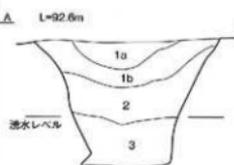
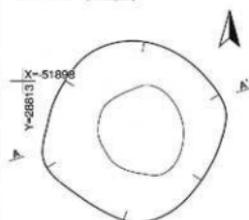
SK106 (E2区)



SK106

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
赤褐色土ブロック2%、礫 (φ10cm) 3%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中
- 3 10YR1/1 黒色 シルト しまり中
- 4 2.5Y2/1 黒色 粘土 しまり中  
植物茎の残骸を含む。
- 5 10YR2/1 黒色 粘土 しまり中  
グライ化した土層。

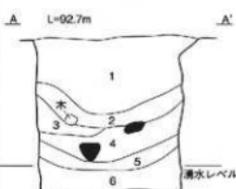
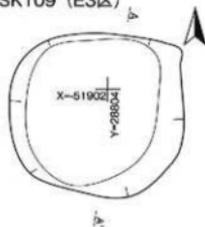
SK108 (E2区)



SK108

- 1a 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
- 1b 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中  
褐色土ブロック10%含む。(岡山海浜の土)
- 2 10YR2/1 黒色 シルト質粘土 しまり中  
褐色土ブロック20%含む。腐化酸の臭気あり。
- 3 N2/ 黒色 粘土 しまり密 グライ化二層

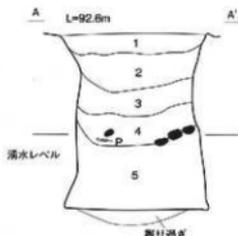
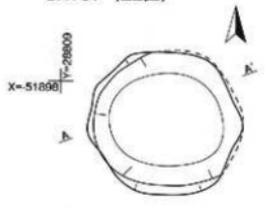
SK109 (E3区)



SK109

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
灰化物1% (厚の上段に多量)。  
黄褐色土ブロック3%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中  
灰質褐色土の粗目ブロック1%含む。
- 3 10Y28/4 に近い黄褐色 砂 しまり中  
礫に砂質の上。礫土層が礫柱に入る。
- 4 2.5Y2/1 黒色 粘土 しまり密
- 5 10Y25/6 黄褐色 砂 しまり密
- 6 記録なし

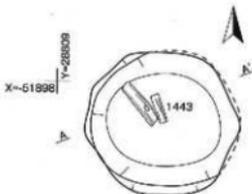
SK107 (E2区)



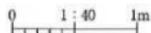
SK107

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 黄褐色土ブロック2%、灰化物1%を含む。かわらけ多く混入。
- 2 10YR3/4 緑褐色 シルト しまり中 黄褐色土ブロック3%含む。
- 3 10YR2/1 黒色 粘土 しまり中
- 4 10YR2/1 黒色 粘土 しまり中 褐色土ブロック3%含む。遺物多量に含む。
- 5 10YR2/2 黒褐色 粘土 しまり中や浅

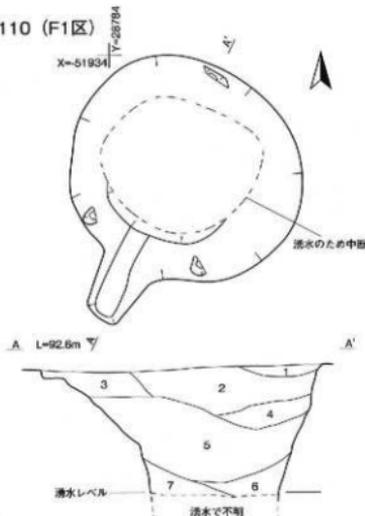
遺物出土状況



- ※数字は遺物番号  
1203・1204→常滑瓦片器  
1442→1440→木製品  
■→土

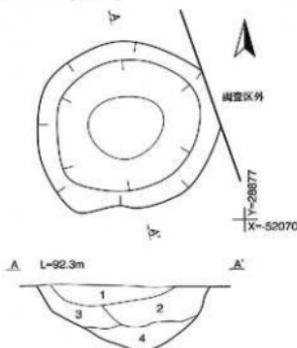


SK110 (F1区)

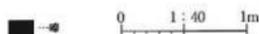


- SK110
- 1 75YR2/2 黒褐色 シルト しまり砂 量不明
  - 2 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまり砂 褐色粘土ブロック(φ2~3cm)を15%含む。
  - 3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色砂ブロック(φ1~2cm)を5%含む。
  - 4 10YR4/2 黒褐色 砂質シルト しまり中 褐色粘質土ブロック(φ3~4cm)を10%含む。
  - 5 25Y2/2 黒褐色 粘質シルト しまり強 黒粘質土ブロック(φ3~4cm)、褐色粘土ブロック(φ2cm)を5%含む。
  - 6 10YR2/2 黒褐色 粘土 しまり強
  - 7 10YR3/3 暗褐色 砂 しまり強

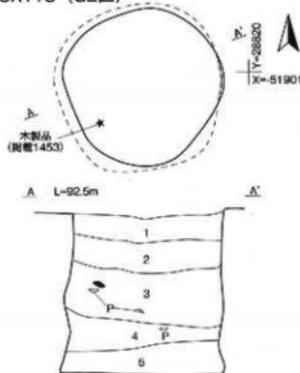
SK114 (G5区)



- SK114
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり強 褐色砂ブロック(φ10cm)を30%含む。
  - 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり強 褐色砂ブロック(φ3~4cm)を10%含む。
  - 3 10YR3/3 暗褐色 粘質シルト しまりやや強 褐色粘質土を含む。
  - 4 10YR5/1 黒褐色 粘土質シルト しまり中 褐色粘質土を弱状に含む。

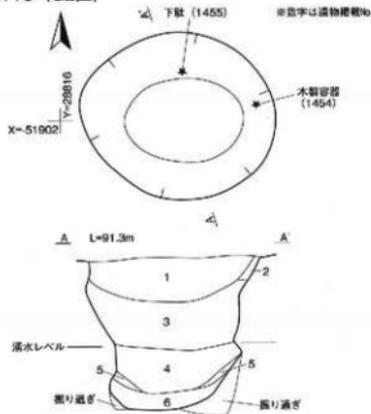


SK115 (G2区)



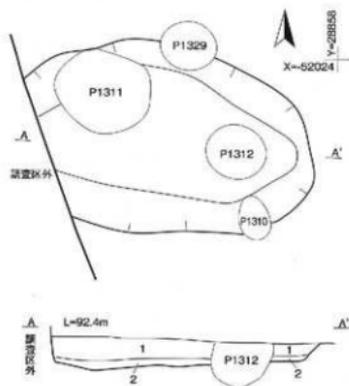
- SK115
- 1 75YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 灰化物ブロック(φ1~2cm)3%含む。酸化鉄分3%含む。
  - 2 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや強 褐色土ブロック(φ1~2cm)3%含む。
  - 3 10YR2/1 黒色 シルト しまり強 粘脚質を多く含む。
  - 4 10YR1/1 黒色 シルト しまりやや強 褐色土質(φ2~3mm)を3%含む。
  - 5 25Y2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや強 暗灰黄色砂(灰山)ブロック(φ5~7cm)を30%含む。

SK116 (G2区)



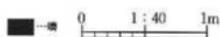
- SK116
- 1 10YR5/8 暗褐色 砂質シルト しまり強 黒褐色粘質土を弱状に含む。
  - 2 10YR2/2 暗褐色 シルト しまり中 褐色粘土(φ3~5mm)を3%含む。
  - 3 10YR2/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや強 褐色土ブロック(φ1cm)を1%含む。植物質の殻。
  - 4 10YR2/3 暗褐色 シルト しまり強
  - 5 25YR4/6 褐色 砂 しまり強 酸化して赤化する。硬くしまった層。
  - 6 10YR2/1 黒色 シルト しまり強 褐色粘質土ブロックを(φ3~4cm)を3%含む。

SK119 (G4区)



SK119

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
2 5Y2/1 黒色 シルト しまり中 グライ化層



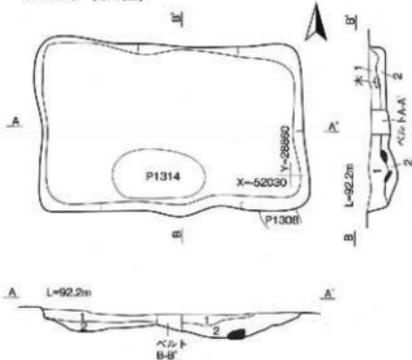
SK121 (G4区)



SK121

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中  
2 10YR3/4 暗褐色 粘土 しまり中 P1319

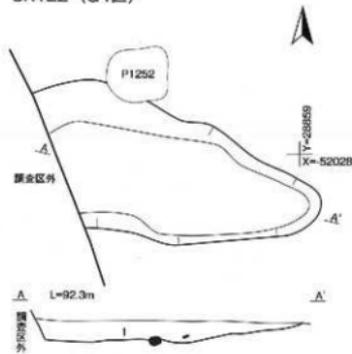
SK120 (G4区)



SK120

- 1 5Y2/1 黒色 粘土 しまり中 礫 (φ10~20cm) 混入。灰褐色土層を含む。  
2 5Y5/1 灰褐色 砂 しまり中 褐色土10%含む。

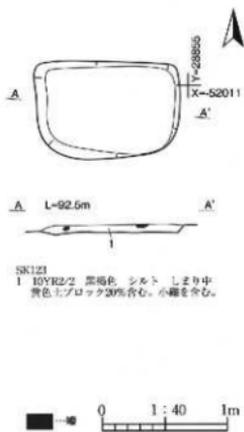
SK122 (G4区)



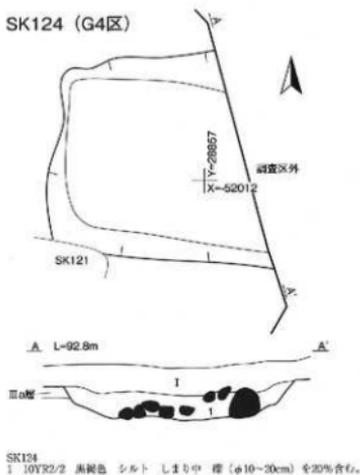
SK122

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 円礫 (φ10~30cm) を含む。

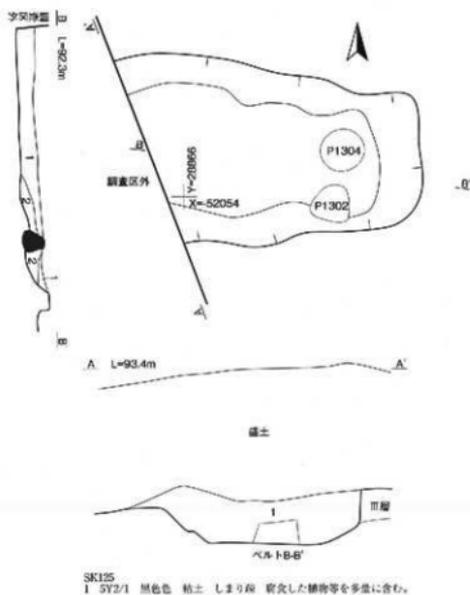
SK123 (G4区)



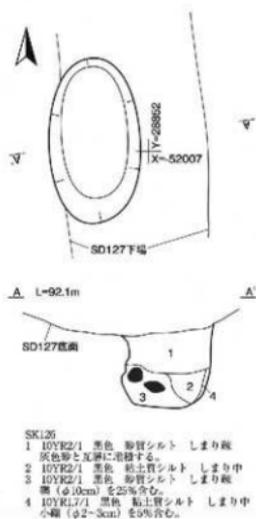
SK124 (G4区)



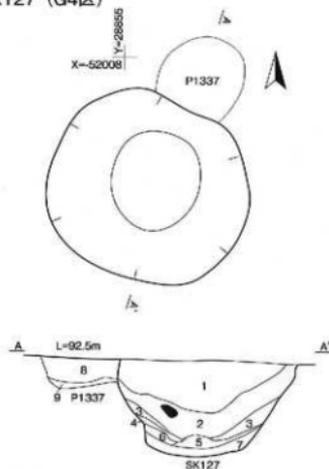
SK125 (G4区)



SK126 (G4区)



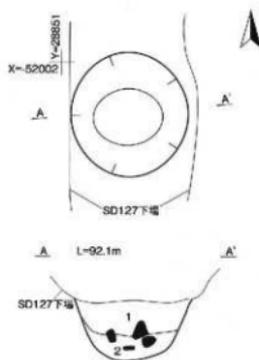
SK127 (G4区)



SK127

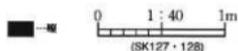
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物、土器片を5%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 黒色粘質土を含む。
- 3 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂 しまり中
- 4 10YR3/2 暗褐色 粘土 しまり中
- 5 10YR3/2 黄褐色 シルト しまり中
- 6 10YR4/6 藍色 砂 しまり中
- 7 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり中
- 8 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 P1337
- 9 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂 しまり中 P1337

SK128 (G4区)

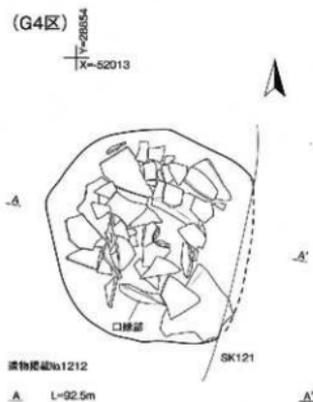


SK128

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中や硬
  - 2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり粗
- 塵 (φ5-10cm) を30%含む。



SZ101 (G4区)



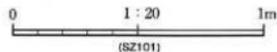
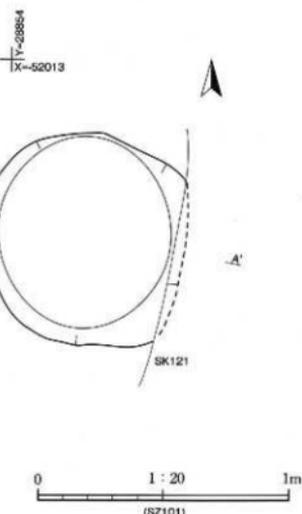
遺物総数1212

A L=92.5m

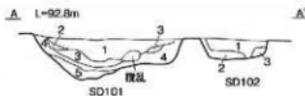
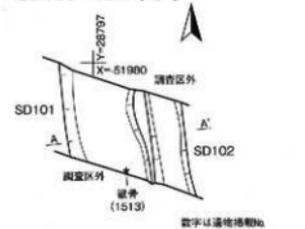


SZ101

- 1 10YR2/3 黄褐色 シルト しまり中 褐色土粒5%含む。塵を混在に埋設する。

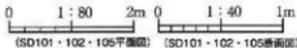


SD101・102 (B区)

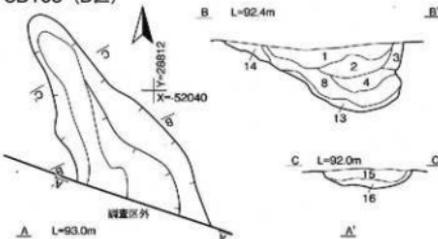


SD101・102

- 1 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) しまりやや密 堆山ブロック (φ5mm~1cm) を2%含む。面が直上。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) 堆山ブロック (φ~1cm) を20%含む。
- 3 黒く砂質。砂質シルト しまりやや密 黒色土粒 (φ1mm) を1%、炭化物を1%含む。
- 4 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) 堆山土層に厚く (4cm) 入る。
- 5 黒く砂質 シルト (やや砂質) しまり中 黒褐色土やや砂状に10%含む。



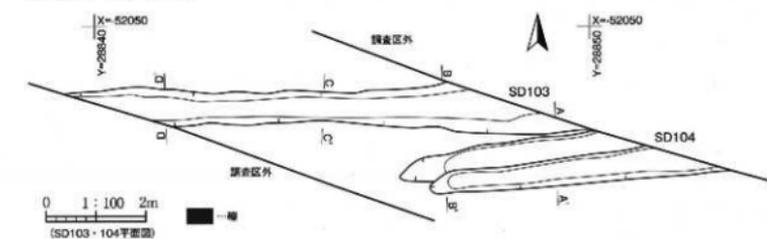
SD105 (D区)



SD105

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 堆山ブロック (φ~5cm) を2%含む。白っぽい。
- 2 シルト しまりやや密 1層に限るが、黒褐色。堆山ブロック (φ~1cm) を1%含む。
- 3 堆山ブロック層 しまりやや密 黒褐色 シルト (φ~5cm) を数粒に10%含む。
- 4 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中 堆山ブロックを含まないきれいな層。
- 5 堆山ブロックやや少ない (30%)。
- 6 3層に砂粒。
- 7 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 堆山ブロックが全体に5%含む。
- 8 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) しまり中 堆山ブロックを全体に数粒に10%含む。
- 9 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中 4層に限るが、堆山ブロック (φ~1cm) を1%含む。
- 10 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや密 堆山ブロックを含まないきれいな層。
- 11 5層に砂粒。
- 12 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 堆山ブロックを20%含む。
- 13 シルト しまり中 黒褐色シルトを30%含む。
- 14 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 堆山を全体に6%含む。
- 15 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 14層に限るが、黒色土ブロック (φ~5cm) を2%含む。
- 16 10YR5/3 暗褐色 シルト しまりやや密 堆山がやや汚れた感じ。

SD103・104 (D区)

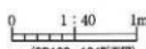


SD103

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト 質粘土 しまり中 グレー味強い。灰本層中目層より黒く、これに知られる。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト 質粘土 しまり中 1層に堆山ブロック (φ~5cm) を3%含む。
- 3 10YR1/1 黒色 シルト しまり中 堆山 (砂質シルト) ブロック (φ~3cm) を2%含む。
- 4 堆山砂質ブロック層 砂質シルト しまり中 黒色土が全体に30%混入。
- 5 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 堆山ブロック (φ1~2mm) を1%含む。
- 6 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 2層に限るが、堆山ブロック (φ~5cm) が多し、3%程度。
- 7 砂質シルト 4層に限る。

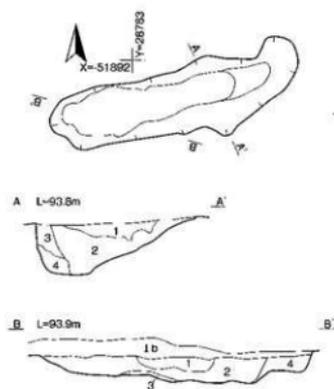
SD104

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 白っぽい堆山ブロック (φ~1cm) を1%含む。濃褐色を帯。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 白味少ない。1層より深い層。侵入物なし。
- 3 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) しまりやや密 堆山砂がうみ状に30%入る。
- 4 10YR2/1 黒褐色 シルト しまりやや密 堆山ブロック (φ~2cm) をやや砂状に15%含む。
- 5 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 1層に限るが、ブロック丸み強い。
- 6 堆山シルト (砂質ブロック) 層 シルト しまりやや密 黒褐色ブロック (φ~2cm) を数粒に15%含む。



第105図 SD101~105

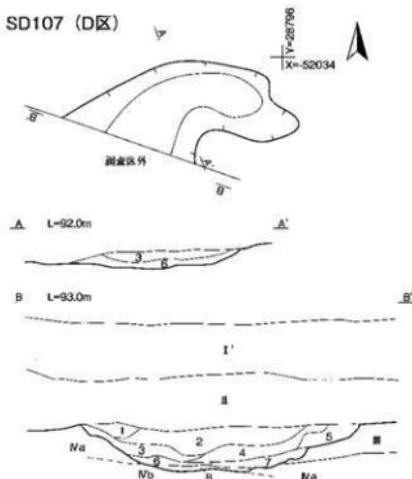
## SD106 (A区)



SD106

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりや礫  
融化石が塊状に入る。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまりや礫  
融化石が塊状に入る。
- 3 10YR2/3 黒褐色 シルト しまりや礫
- 4 10YR2/3 黒褐色 シルト しまりや礫  
融化石が木にやが塊状に入る。

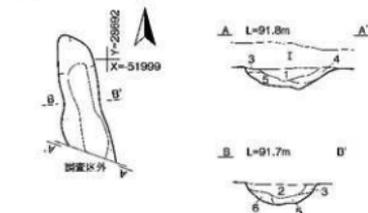
## SD107 (D区)



SD107

- 1 10YR2/2 黒褐色 粘り質シルト しまりや 白色砂子含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 粘り質シルト しまりや 白色砂子や礫に多く含む。
- 3 10YR2/1 黒色 粘り質シルト しまりや  
炭化層 (φ1cm) を7%、焼土塊 (1-3mm) を1%含む。
- 4 25YR1/1 赤褐色 粘土質シルト しまりや  
アイ化した地山砕石ブロック層、やや含む。
- 5 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりや  
アイ化した地山ブロックを層状 (10mm-3cm) を20%含む。
- 6 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりや  
炭化層 (φ1mm) を5%、粘土ブロック (φ1cm) を5%、  
焼土ブロック (φ1cm) を1%含む。
- 7 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりや  
炭化層 (φ1mm) を5%、焼土ブロック (φ1cm) を10%含む。
- 8 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト しまりやや礫  
黒褐色粘り質シルトを全体に含む。

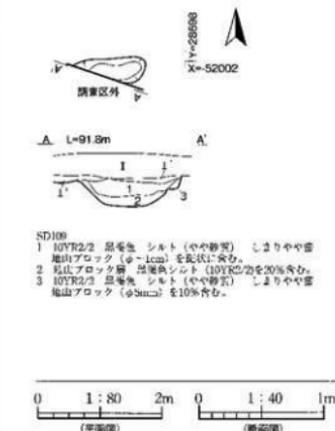
## SD108 (C区)



SD108

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや礫  
焼土ブロック (φ1mm) を1%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや礫  
焼土ブロックをマ・フル状に10%含む。
- 3 粘り砂質シルトブロック層 しまりやや礫
- 4 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや礫  
地山砂質シルトブロック層と黒褐色土 (10YR2/2)の混入。
- 5 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや礫  
焼土ブロック (φ1-3mm) を3%含む。
- 6 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや礫 4層に入る。

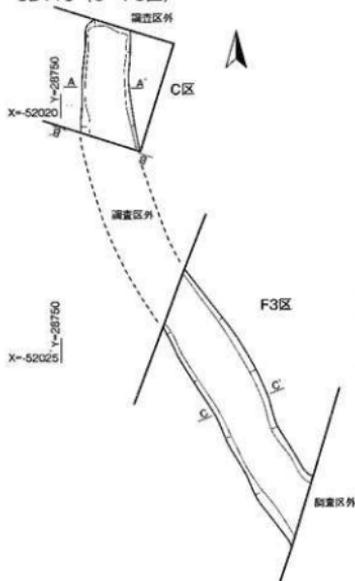
## SD109 (C区)



SD109

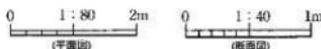
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや礫  
焼土ブロック (φ1cm) を長径に含む。
- 2 粘りブロック層 黒褐色シルト (10YR2/2)を20%含む。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや礫  
焼土ブロック (φ3mm) を10%含む。

SD110 (C・F3区)

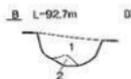
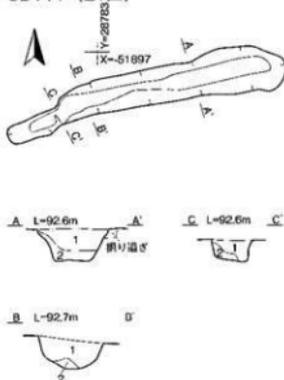


- SD110 A A' 2-5  
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや菅  
 粘土をブロック状 (φ2-3cm) を7%, マルブル状に焼く(0%含む)  
 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや菅  
 粘土ブロックをマール状に10%含む  
 3 黒い砂質シルトブロックを堆山砂質ブロック しまりや  
 菅褐色シルトブロック (φ2cm-3cm) を塊状に40%含む  
 4 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや菅  
 粘土塊をシルトブロックを50%, 黒褐色シルトブロック (φ2cm) を薄板に5%入る  
 5 シルト しまりやや菅 粘土質シルト、ブロック20%  
 灰褐色シルトブロック (φ2cm) を塊状に含む

- SD110 C C'  
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりや 炭灰砂ブロック (φ1cm) を3%含む

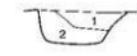
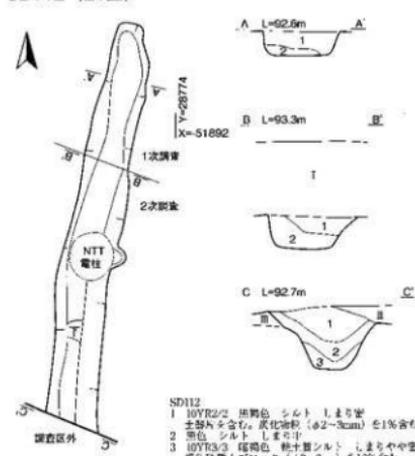


SD111 (E1区)



- SD111  
 1 10YR2/3 黒褐色 粘上質シルト しまりやや菅  
 褐色砂質土ブロック (φ2-3cm) を1%含む  
 2 10YR2/3 黒褐色 粘上質シルト しまりや  
 褐色砂質土 (10YR4) の混入

SD112 (E1区)

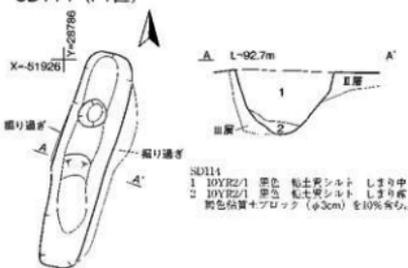


- SD112  
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりや菅  
 土塊を含む、炭化塊 (φ2-3cm) を1%含む  
 2 褐色 シルト しまりや菅  
 3 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや菅  
 褐色砂質土ブロック (φ2-3cm) を10%含む

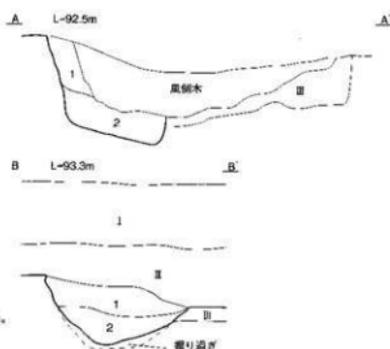
SD113 (E1区)



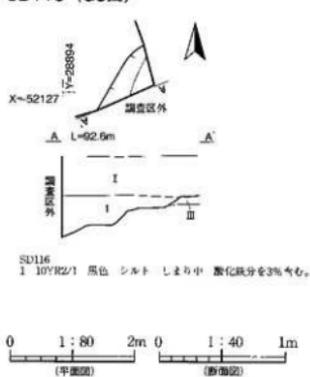
SD114 (F1区)



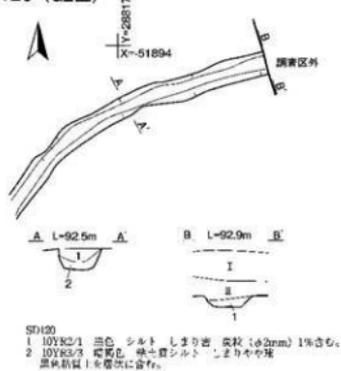
SD115 (F2区)



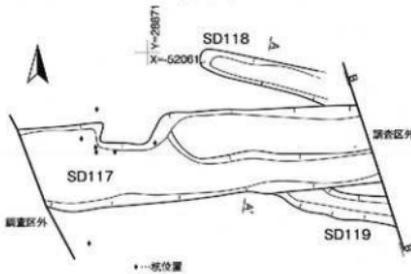
SD116 (G6区)



SD120 (G2区)



SD117・118・119 (G5区)



SD117

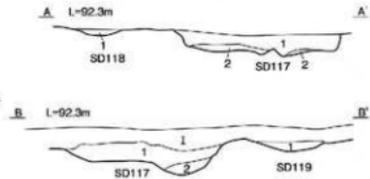
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂ブロック(φ1cm)を3%含む。  
2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂(10YR2/4)の混上

SD118

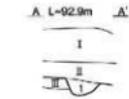
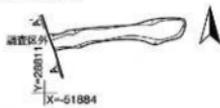
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂ブロック(φ1cm)を3%含む。

SD119

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂ブロック(φ2cm)を3%含む。

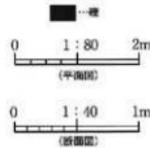


SD121 (G2区)

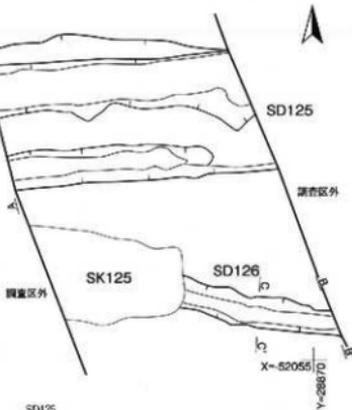


SD121

- 1 10YR2/1 褐色 シルト しまりやや密 褐色土粒(φ3mm)を1%含む。



SD125・126 (G4区)

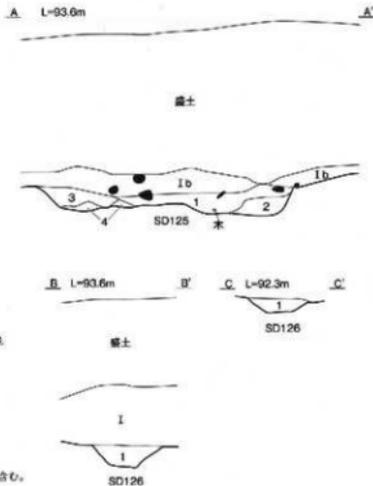


SD125

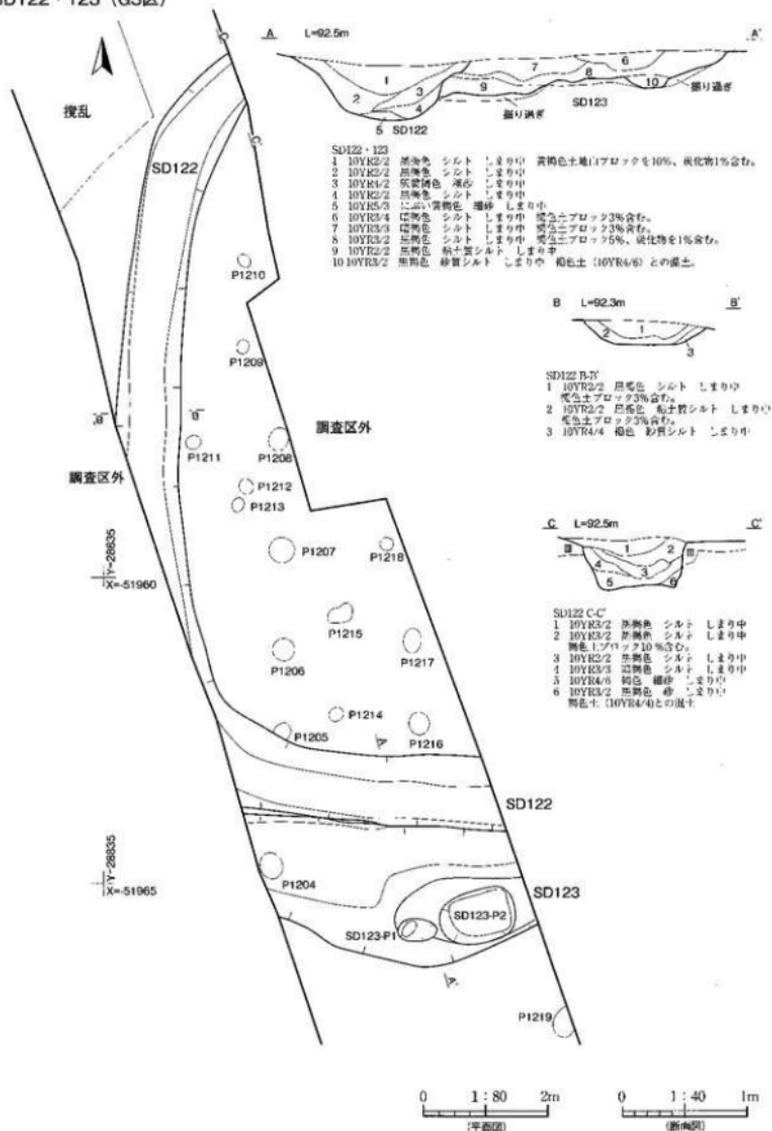
- 1 5Y2/1 黒褐色 粘土 しまり中 小礫・木片を含む。  
2 5Y4/4 暗オリーブ色 砂 埴山松原の土  
3 5Y2/2 オリーブ褐色 粘土 しまり中  
4 5Y4/4 暗オリーブ色 砂 埴山松原の土

SD126

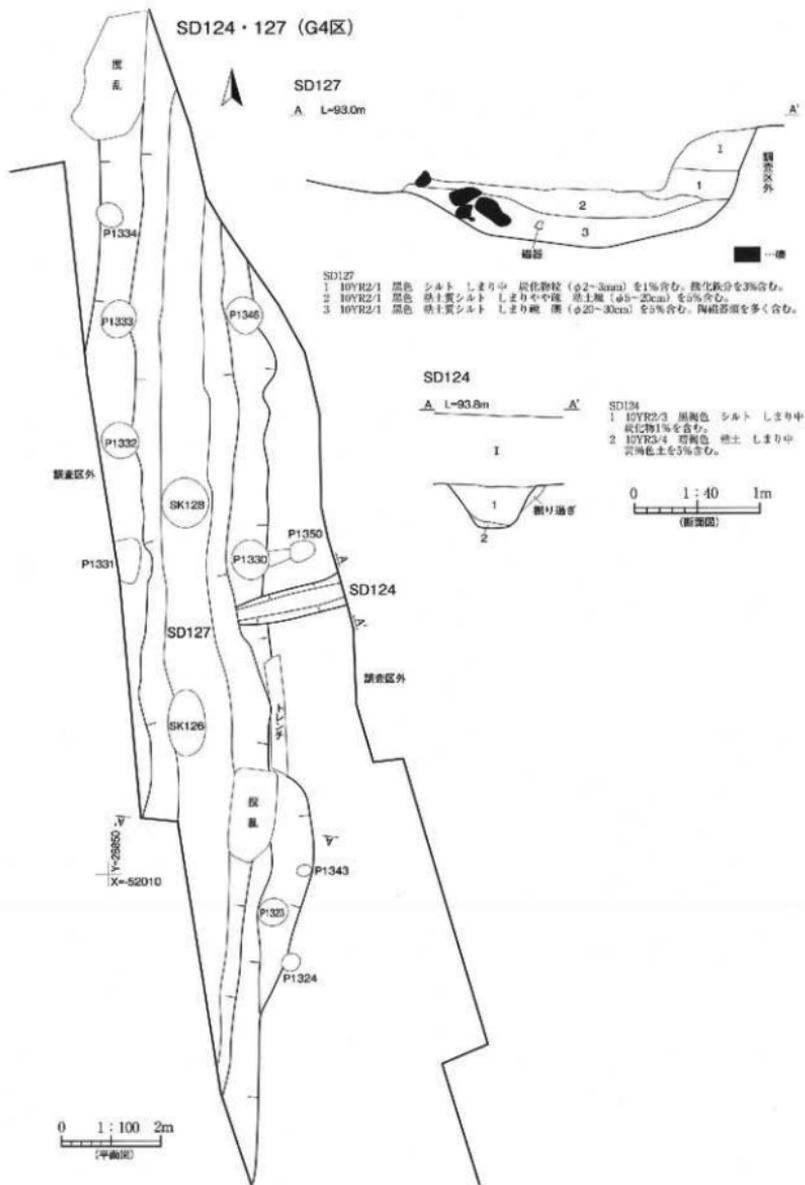
- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 酸化鉄を含む。褐色土3%含む。



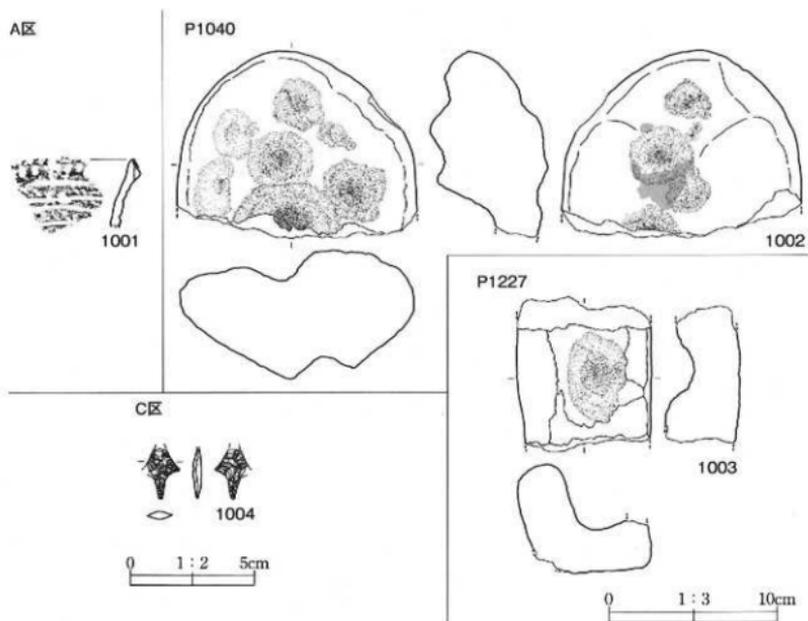
SD122・123 (G3区)



第110図 SD122・123

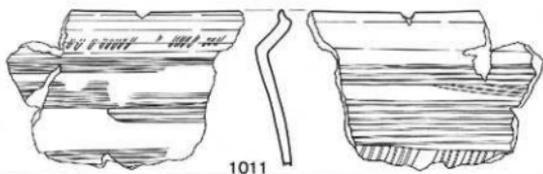


第111図 SD124・127



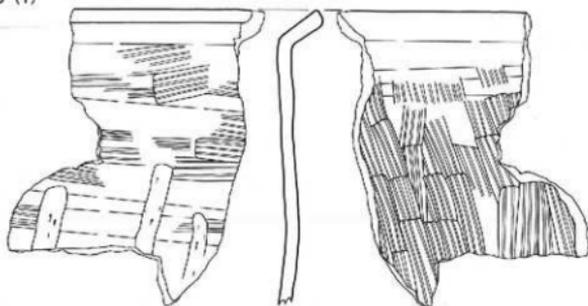
第112図 縄文土器、石器

SI101

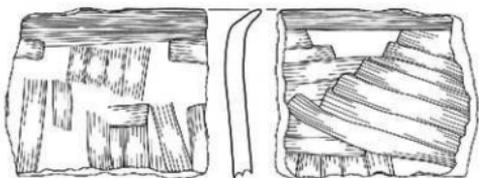


1011

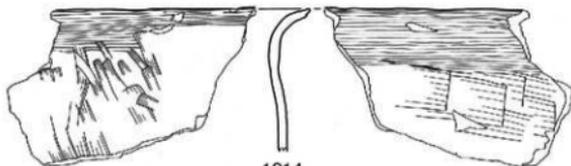
SI103 (1)



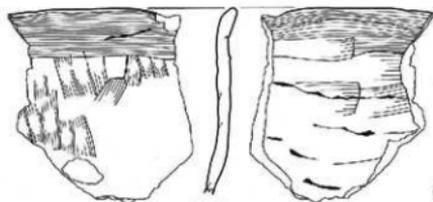
1012



1013



1014

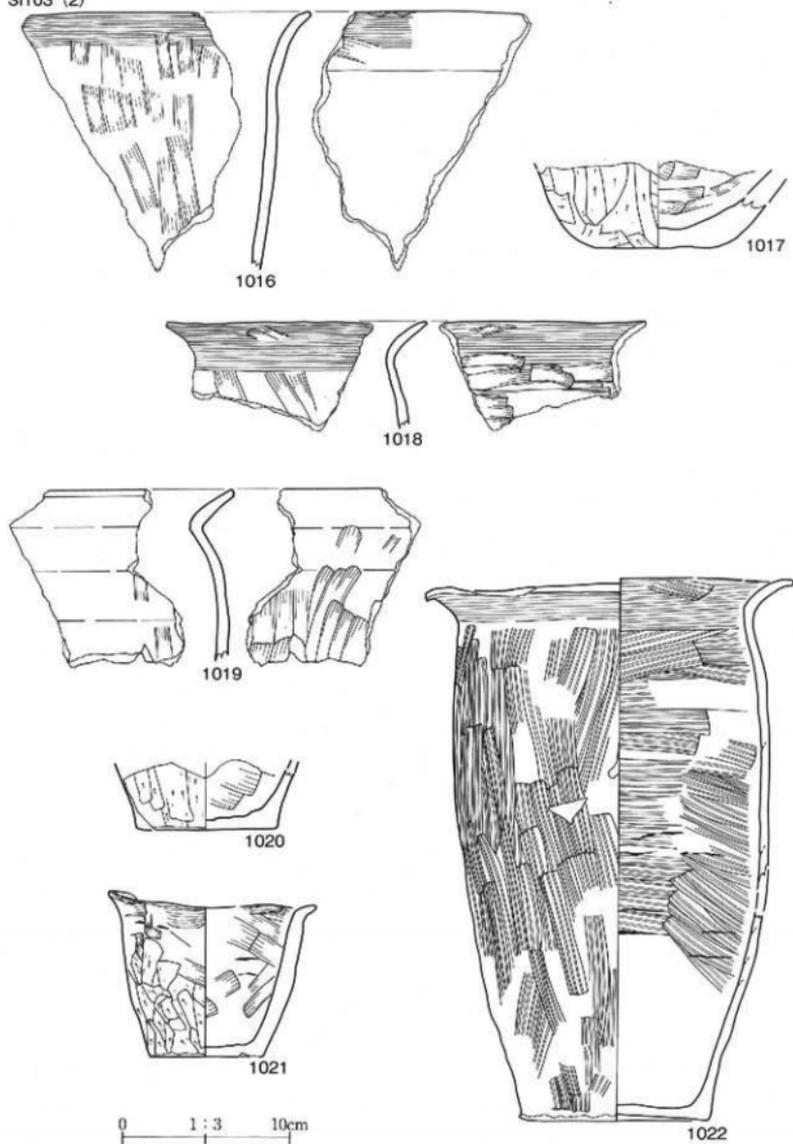


1015

0 1:3 10cm

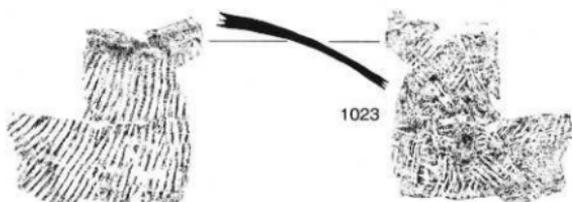
第113圖 土師器(1)

SI103 (2)

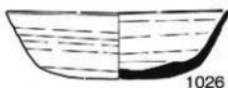
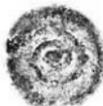
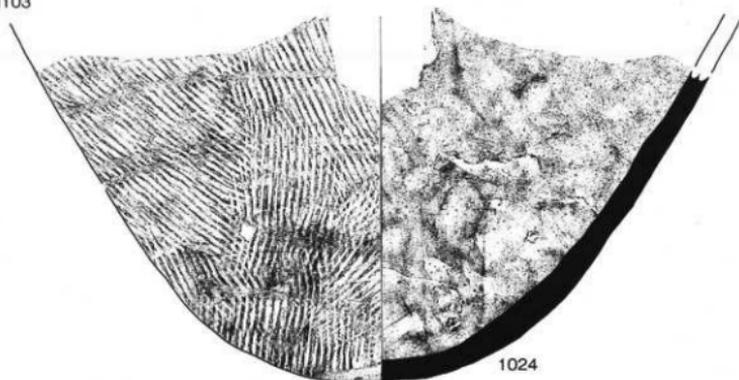


第 114 図 土師器 (2)

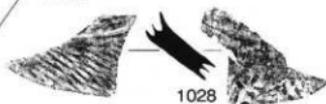
SI101



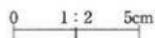
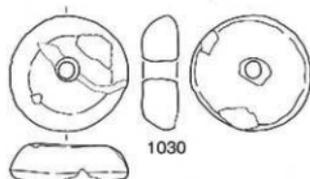
SI103



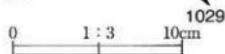
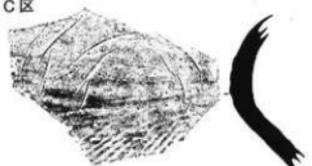
P1063



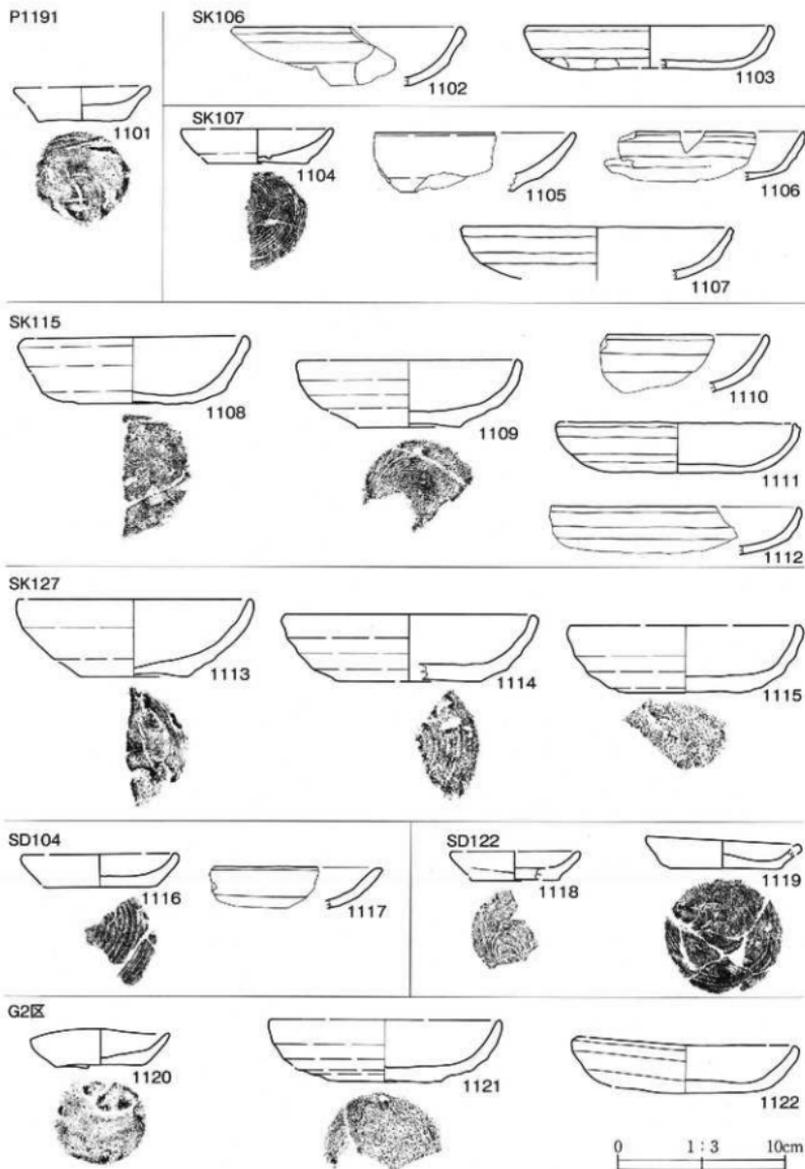
E区



C区

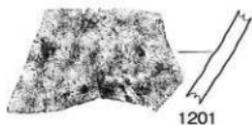


第115図 須恵器、石製品



第116図 かわらけ

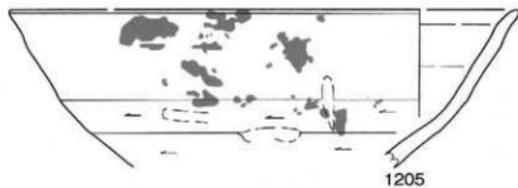
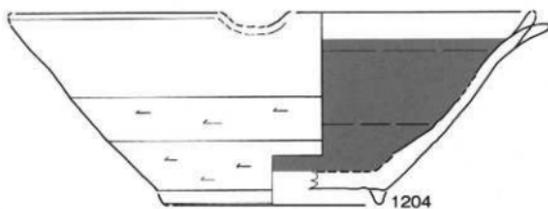
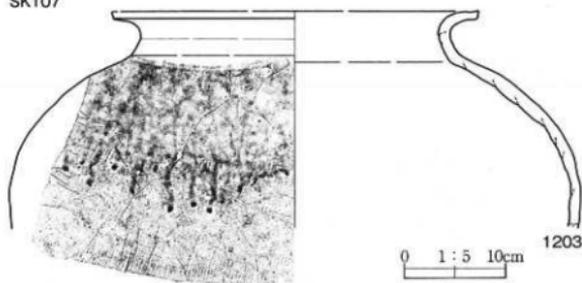
P1266



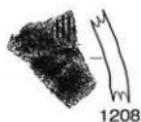
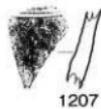
P1317



SK107



C区



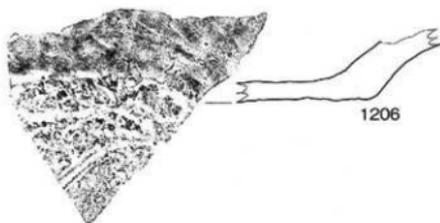
E2区



G2区



SK127

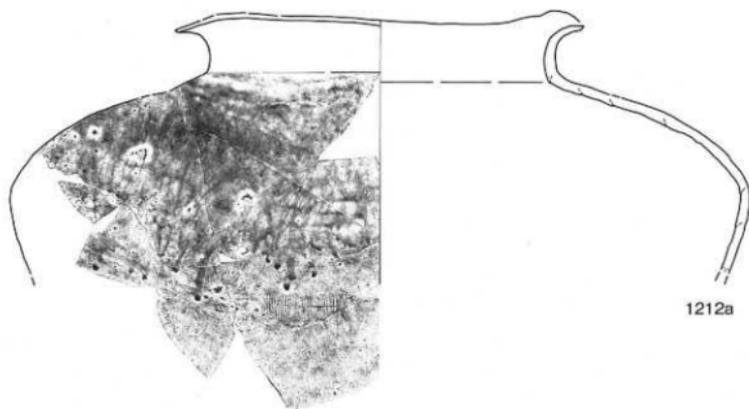


G4区

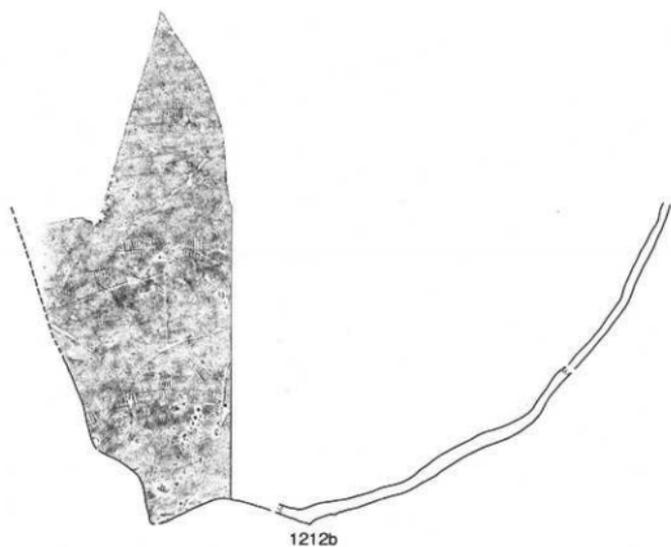


0 1:3 10cm

SZ101

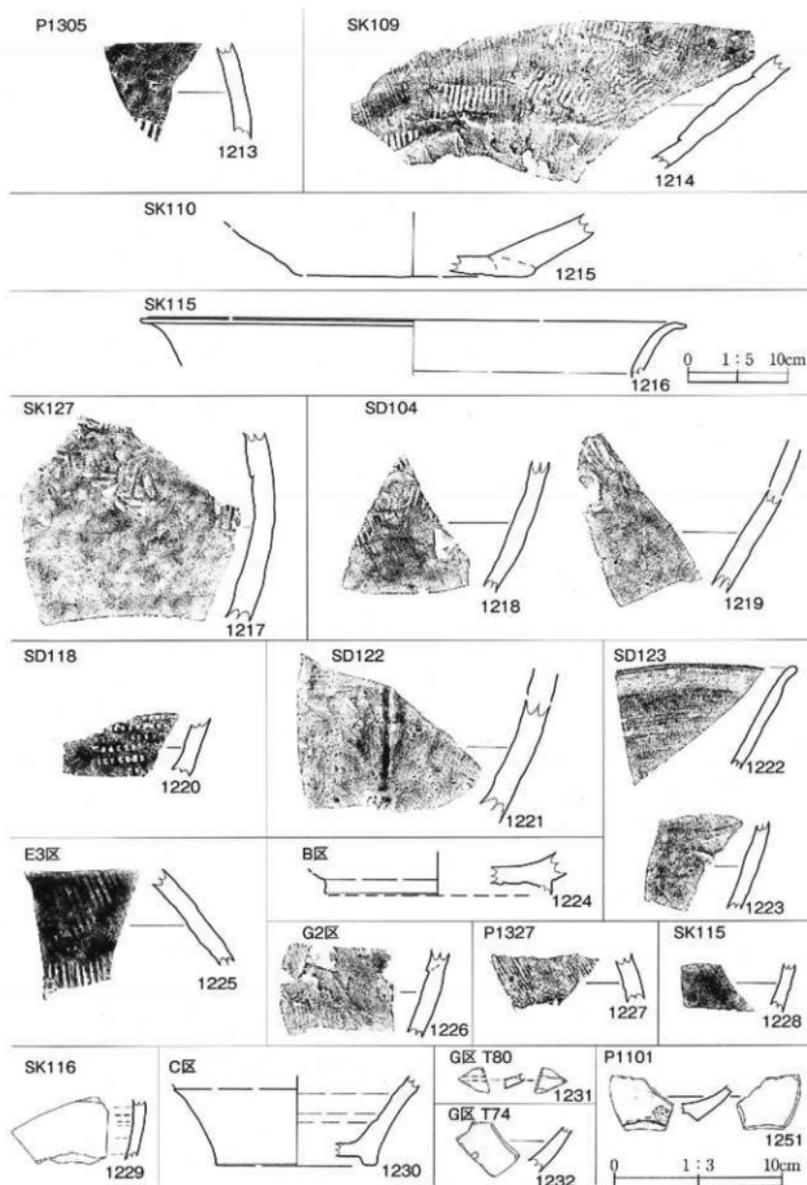


1212a



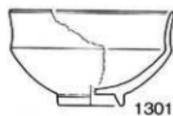
1212b

0 1:5 20cm



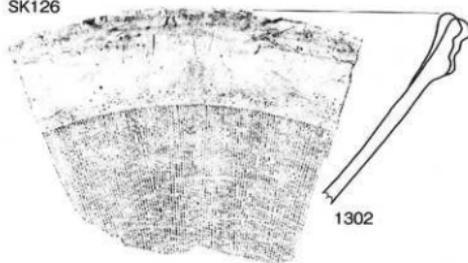
第119図 国産陶器：瀬美・須恵器系、中国産磁器：白磁・青白磁、中世の磁器

SK121



1301

SK126



1302

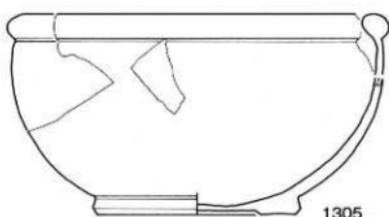
SD127 (1)



1303



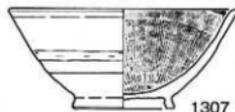
1304



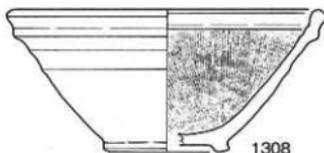
1305



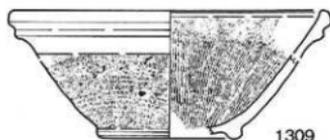
1306



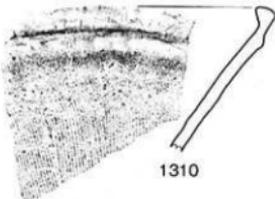
1307



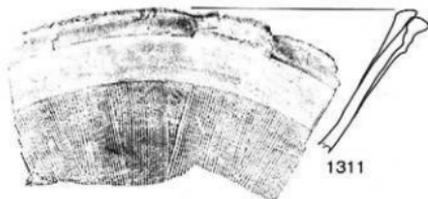
1308



1309



1310

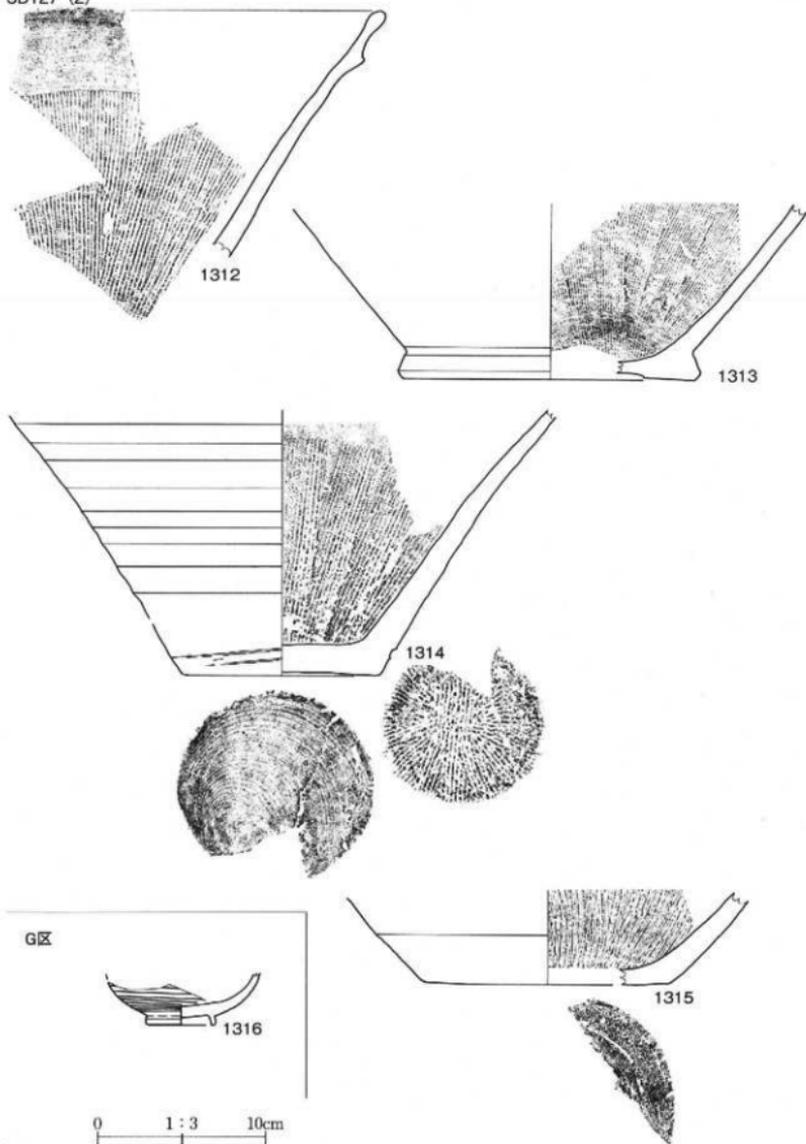


1311

0 1:3 10cm

第120図 近世・近代の陶磁器(1)

SD127 (2)



第 121 図 近世・近代の陶磁器 (2)

SK124



1317

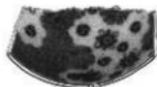
SD127 (1)



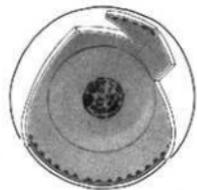
1323



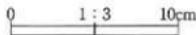
1324



1328



1329



SK126



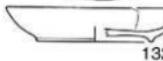
1318



1325



1319



1321



1326



1320



1322



1327



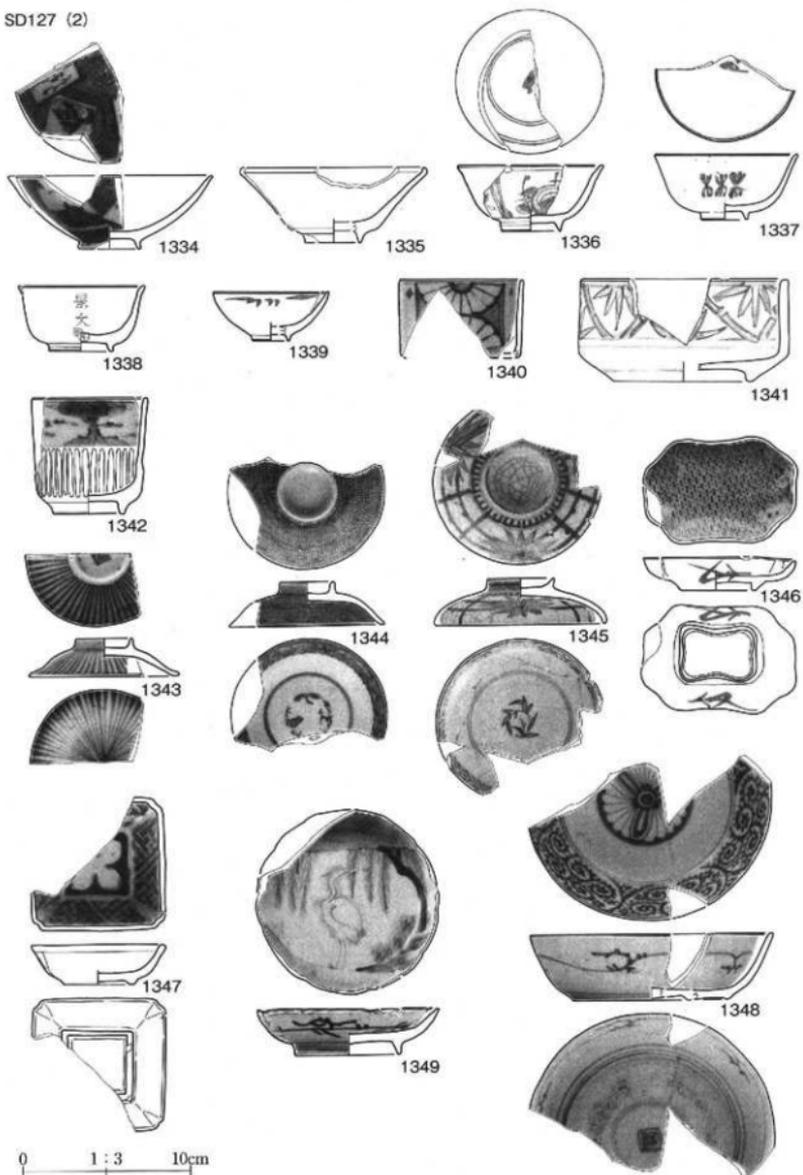
1332



1333

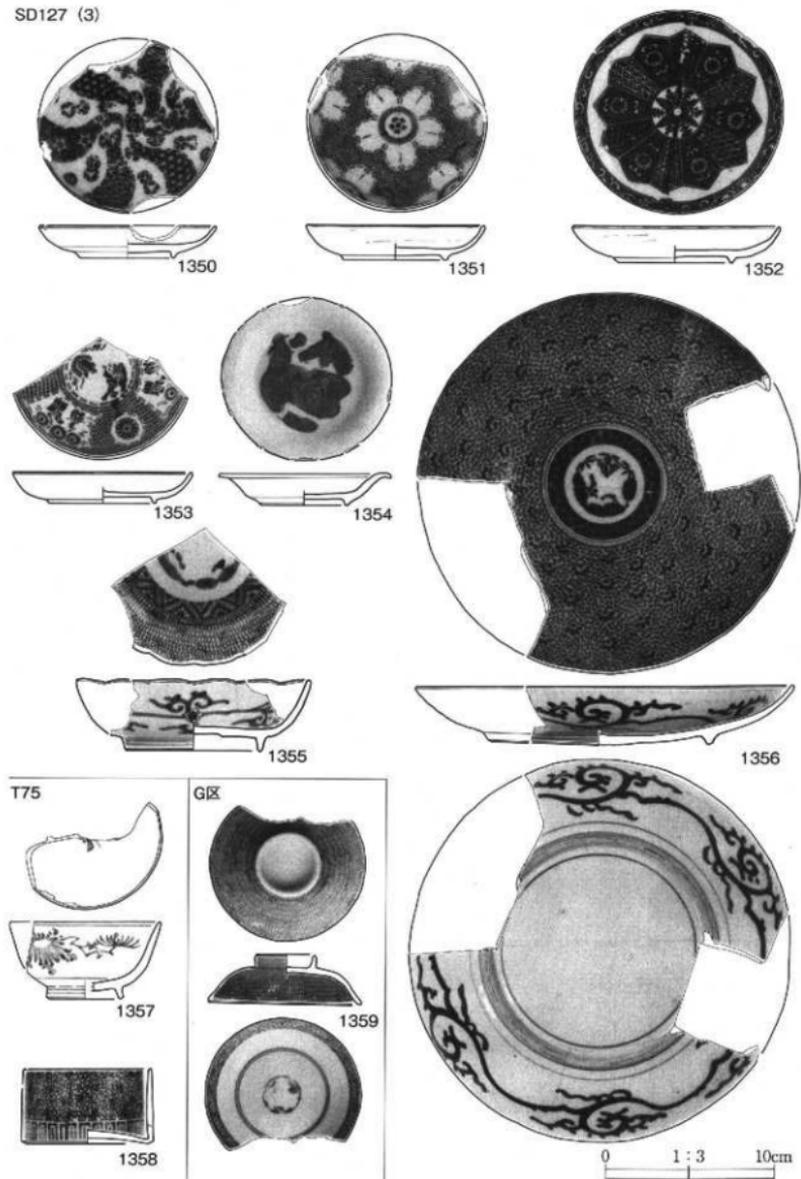
第 122 図 近世・近代の陶磁器 (3)

SD127 (2)



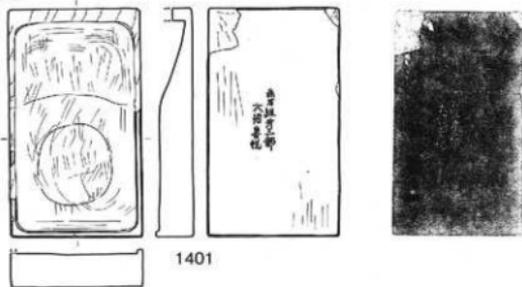
第123図 近世・近代の陶磁器 (4)

SD127 (3)



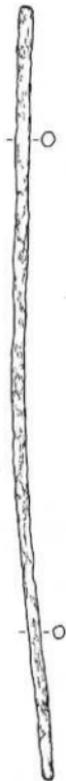
第124図 近世・近代の陶磁器 (5)

SK126



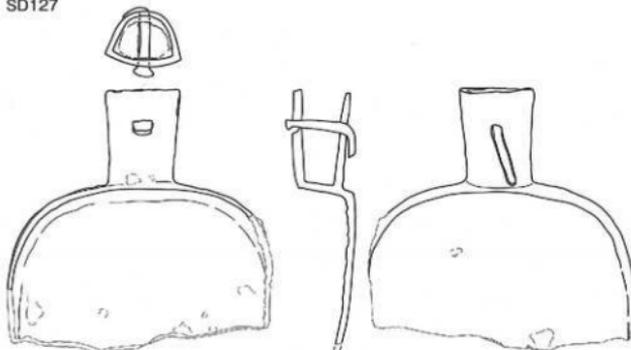
1401

E2区



1411

SD127



1412



1413



1414

※1413・1414

1:1



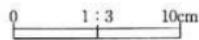
SD127



1421

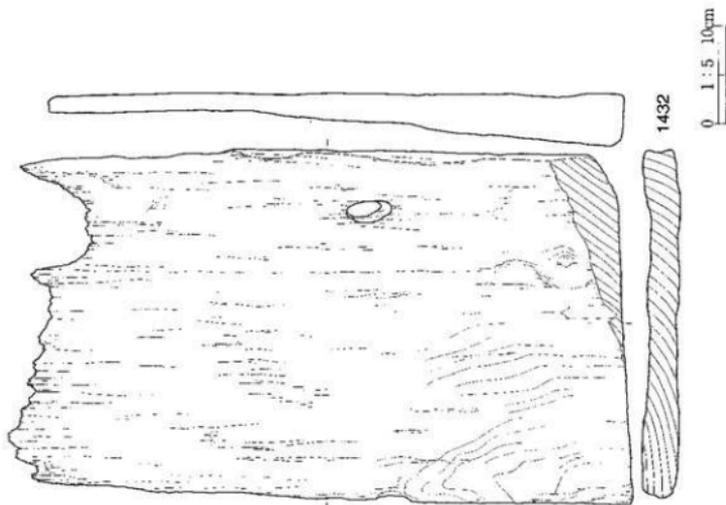
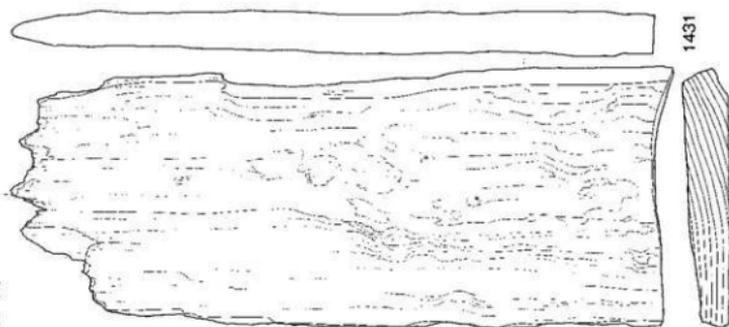


1422



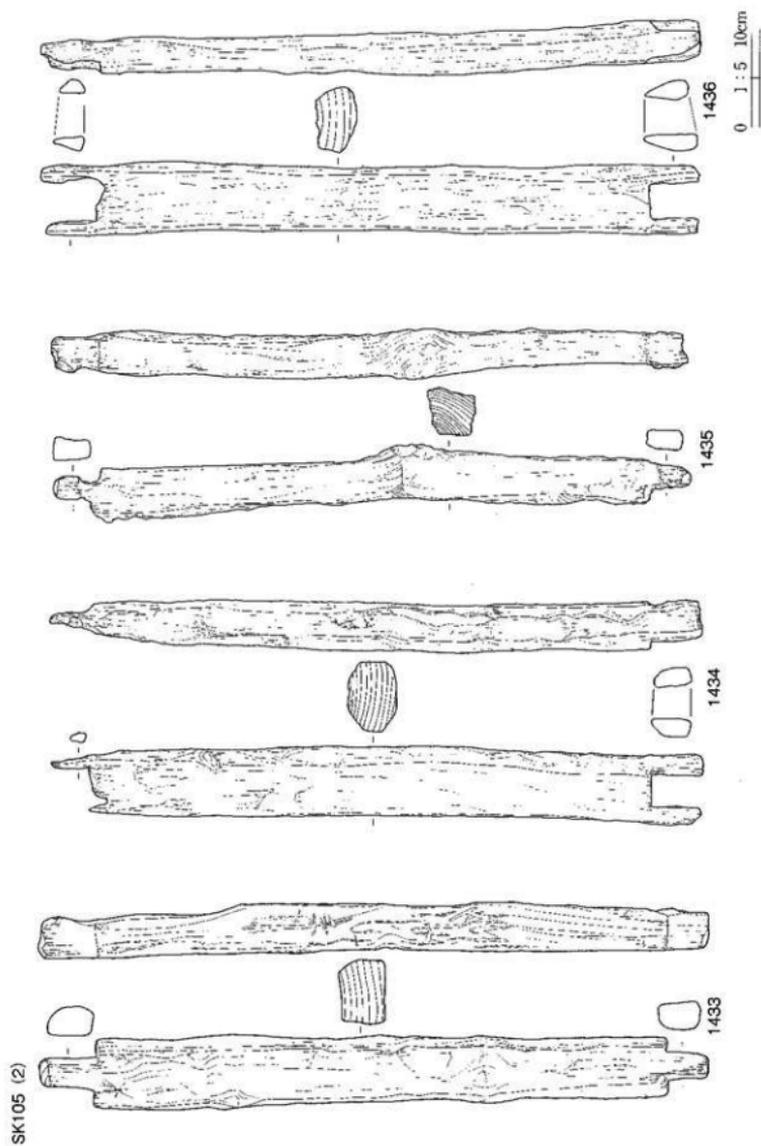
第125図 石製品、金属製品、ガラス製品

SK105 (1)



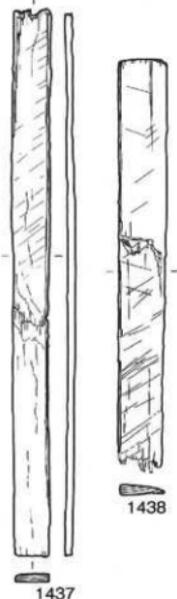
0 1:5 10cm

第126図 木製品(1)

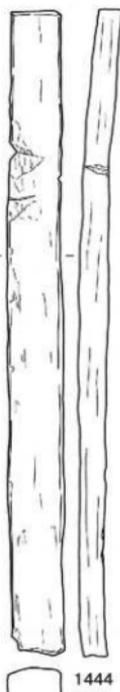
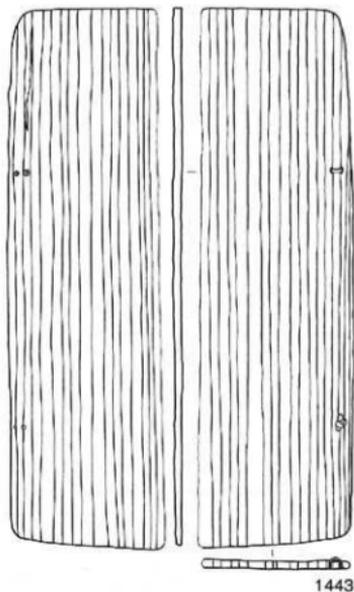
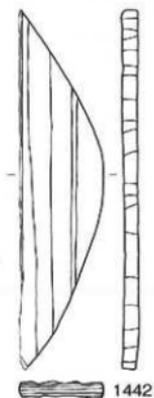
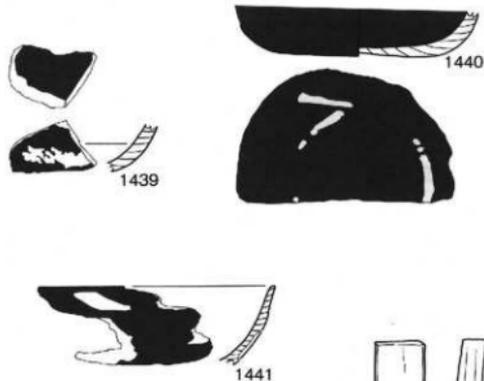


第 127 図 木製品 (2)

SK106



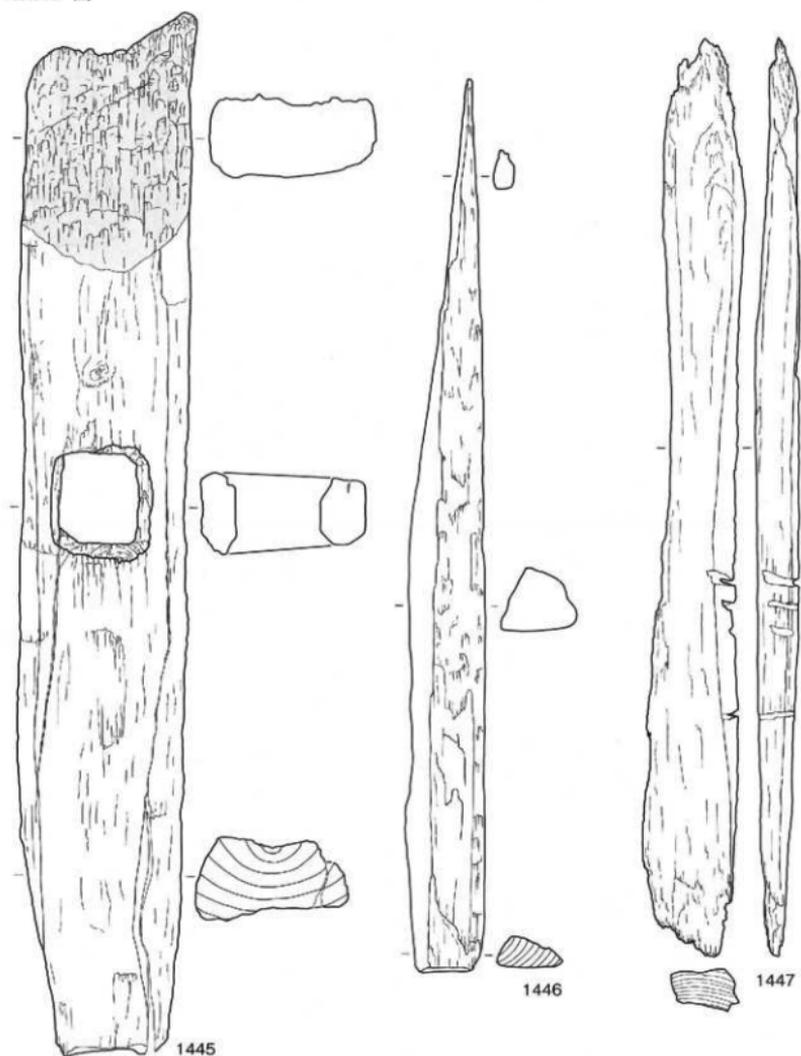
SK107(1)



0 1:3 10cm

第128図 木製品(3)

SK107 (2)

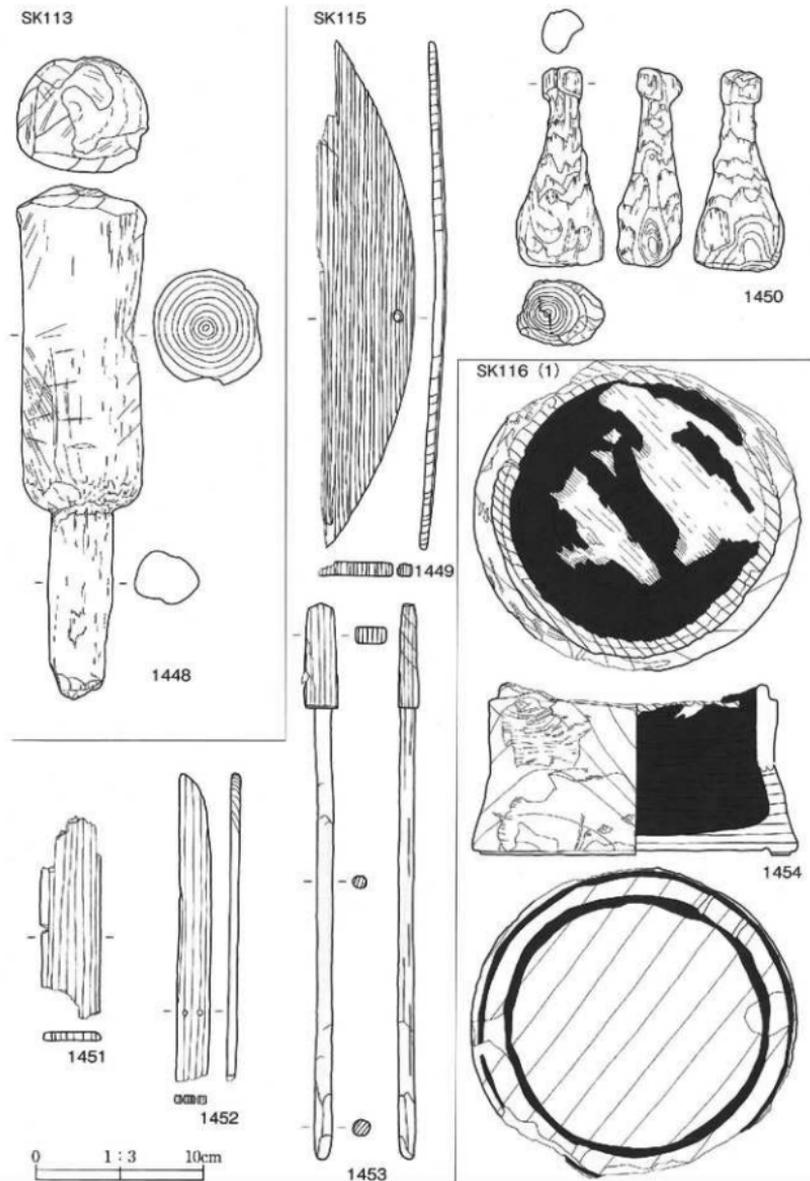


※1445・1446

0 1:4 10cm

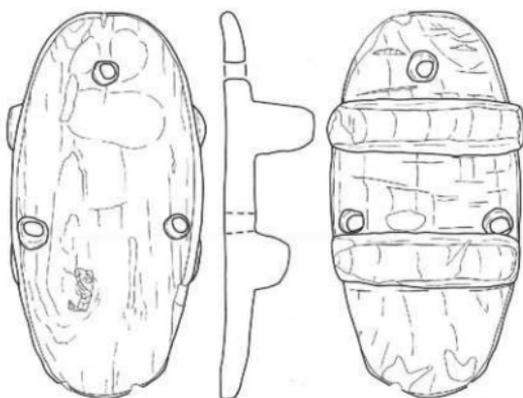
0 1:3 10cm

第129図 木製品(4)



第130図 木製品(5)

SK116 (2)

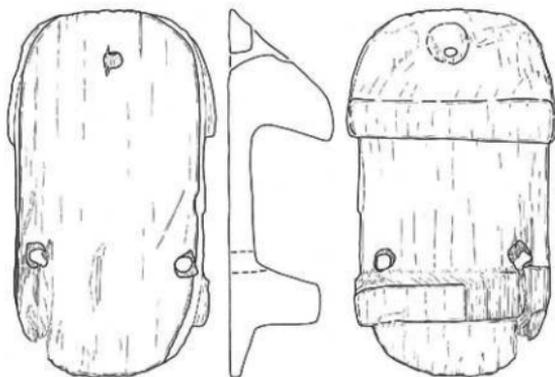


1455

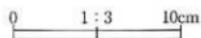


1456

SK125



1457

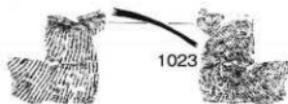


第131圖 木製品(6)

SI101

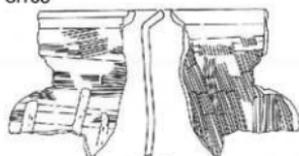


1011



1023

SI103



1012

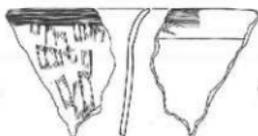
1013



1015



1014

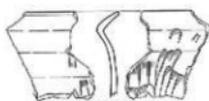


1016

1017



1018



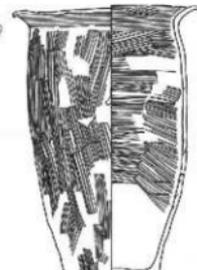
1019



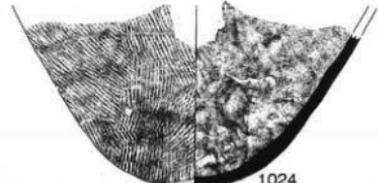
1020



1021



1022



1024



1025



1027



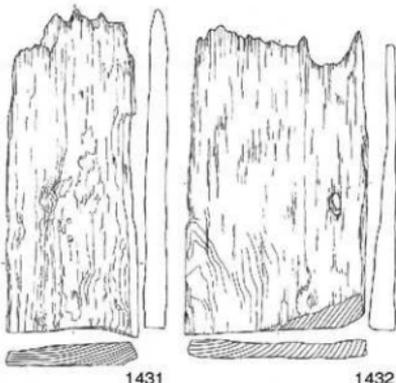
1026

P1040



1002

SK105 (1)



1431

1432

P1063



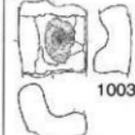
1028

P1191



1101

P1227



1003

P1101



1251

P1266



1201

P1305



1213

P1317



1202

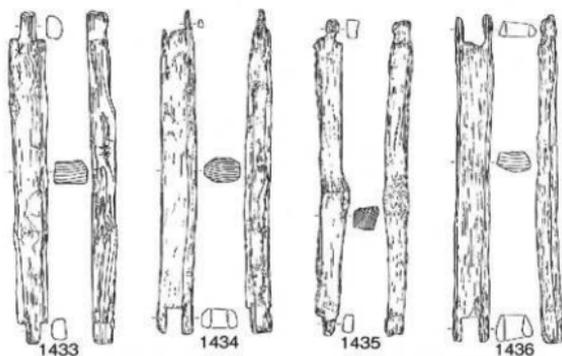
P1327



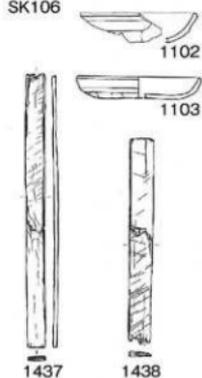
1227

第 132 图 遺構別出土遺物集成图 (1)

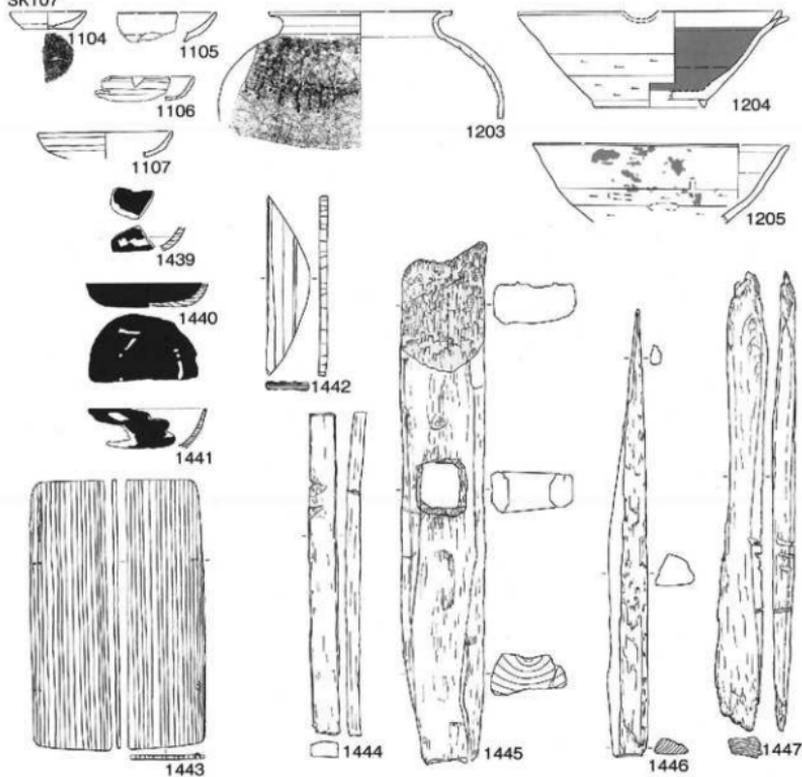
SK105 (2)



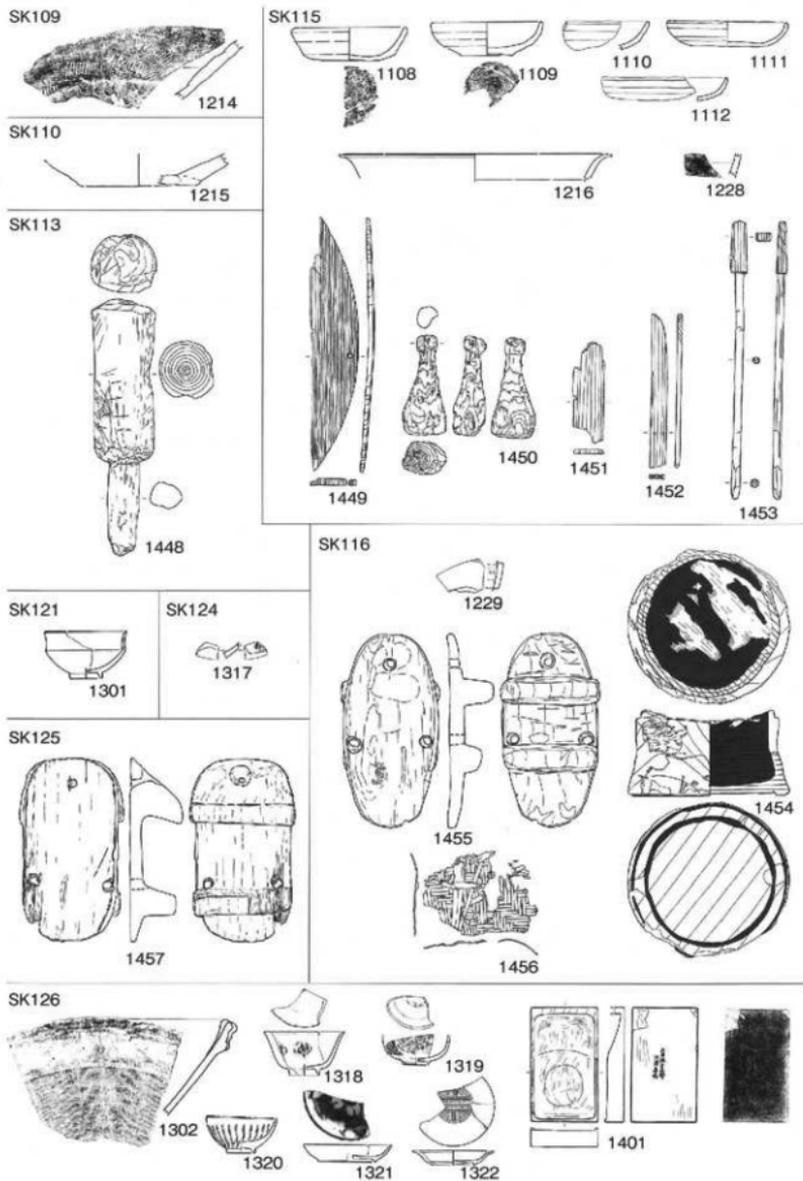
SK106



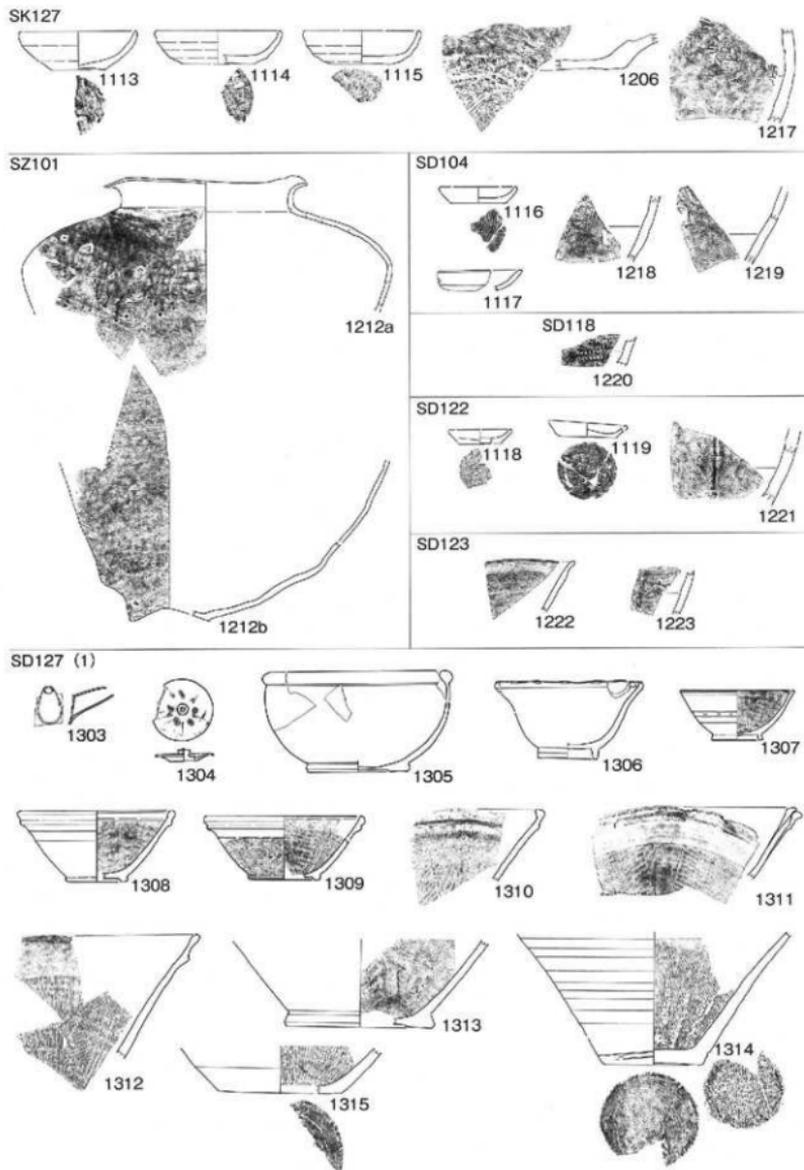
SK107



第 133 圖 遺構別出土遺物集成圖 (2)

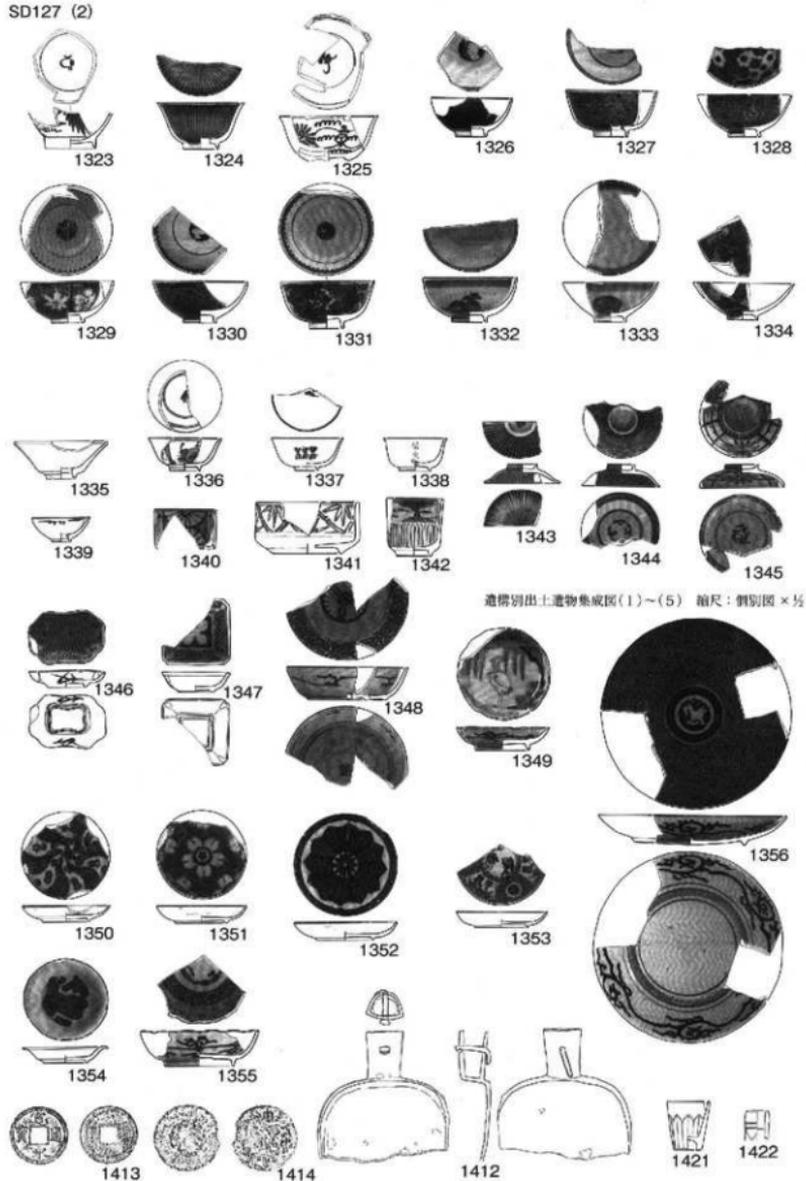


第134図 遺構別出土遺物集成図(3)



第 135 図 遺構別出土遺物集成図 (4)

SD127 (2)



遺構別出土遺物集成図(1)~(5) 縮尺：個別図×1/5

第136図 遺構別出土遺物集成図(5)

## VI 総 括

遺跡がⅠ・Ⅱ遺跡に分かれているために、業務上、各遺跡の調査成果を分けて報告した。しかし、Ⅰ・Ⅱ遺跡は、調査成果からも、地形的にも性格的にも連続する遺跡である。ここでは、Ⅰ・Ⅱ遺跡を併せて、今回の主な調査成果となった12世紀と、近世から近代の遺構・遺物についてまとめる。

### 1 12世紀の遺構と遺物

#### (1) 遺 構

建物跡・井戸跡・溝跡・道路状遺構・土器埋設遺構などがある。

##### a 建物跡

3棟確認された。掘立柱建物跡である。いずれも部分的な調査で平面形式は不明だが、S B102・I03建物跡については、柱間2.5m、柱穴の規模は径67～68cm、77～82cmと大きく、礎盤を伴っていた柱穴もある。大型建物の可能性がある。

##### b 井戸跡

E2区付近で6基がまとまって分布していた。井戸跡の特徴は、平面形は円形で、径1.63～1.43m、深さ1.16m。断面形状は部分的に袋状の膨みをもつものもあるが、概ね円筒形や逆台形状である。内部構造は、枠などの施設を伴わない掘り方だけの井戸跡である。比瓦跡でも類似する規模・形状の当該期の井戸跡が見つかっており、後世に削平を受けたことを考慮しても、本来の掘り方は、それほど深くはなかったものと推測される。遺物の出土状況は個々の井戸跡で異なる。S K107・116井戸跡では、陶磁器類や木製品など比較的多くの遺物が出土している。

##### c 土器埋設遺構

常滑窯産の陶器の甕が倒立て埋設されていたS Z101土器埋設遺構がある。掘り方の大きさは、0.87×0.82mの円形基調で、確認できた掘り方の深さは0.13mである。後世の削平を受けた影響が考えられる。遺構の性格としては墓塚の可能性も考えられるが、詳細は不明である。

##### d 溝跡

Q区で確認されたS D36溝跡は、南東隅では直角に折れ曲がる大きな溝跡である。溝内部の詳細な区画は不明だが、S D37・43溝跡などの小規模な溝跡や、S K26・27井戸跡、土壁が廃棄されていたS K28土坑などが、溝内部域から確認されていることから、S D36溝跡は12世紀の屋敷地の区画溝の一部と推測される。また、その東側にはS D34溝跡がある。北側の始点は不明だが、南側は低地に向かって消滅しており、長さ105m以上、幅5.37m以上と推測される。概ね南北方向に走る大きな溝跡である(註1)。時期は12世紀と推測されるが、S D36溝跡と同時に機能していたか否かは不明である。なお、S D35溝跡の埋土中からは、橋脚痕と思われる大型の柱材が出土している。

##### e 道路状遺構

S D36溝跡の南側に沿って畝間状の遺構が確認された。波板状円凸といわれるものである。個々の畝間の大きさには差があるが、長さ1.2～2.3m、幅0.2～0.6mの掘り方が、S D36溝跡の南側に沿って約8mの範囲で続いている。深さは約4～10cmで、掘り方内は雑泥じりの黒褐色土が充填され、堅く締まっていた。類似する遺構は、矢巾町徳丹城跡や平泉町無量光院跡の調査で確認されており(註2)、遺構の状態と類例から、当該遺構(S X01)は道路状遺構と判断される。時期を判断できる出土遺物はないが、S D36溝跡と同時期に存在した可能性がある。道路状遺構の用途(作られた目的)

としては、①路面舗装のための路面下基礎部（路床）、②泥濘等の修治、③重量を運ぶ修羅を動かすための枕木の痕跡、などが想定されているが、SX01道路状遺構が確認された場所は南東側の低地向かって落ち込んでいく場所に相当することから、②の可能性を考えておきたい（註3）。

## (2) 遺物

かわらけ・国産陶器・中国産陶磁器・石製品・木製品・土製品・植物遺体などがある。

### a かわらけ

種別では、ロクロかわらけ大小・手づくねかわらけ大小・柱状高台・内折れかわらけがある。溝跡からの出土量が多い。一定の基準で選別された掲載遺物199点から導かれる内訳は、12世紀中の細分を無視すれば、ロクロかわらけ大（52点：26%）、ロクロかわらけ小（77点：38%）、手づくねかわらけ大（32点：16%）、手づくねかわらけ小（27点：14%）、柱状高台（8点：4%）、内折れかわらけ（3点：2%）である。ロクロの比率が高い傾向がうかがえる。ただし、器壁の薄い手づくねかわらけと器壁の厚いロクロかわらけでは、単純に残存率から算出した比率が、本来の組成の状況を反映しているかは不確かである。当遺跡出土のかわらけは、概ね色調は赤みが強く、胎土は砂礫の混入物が多い。個々のかわらけを見ると、製作段階の粘土紐の痕跡を残した状態の手づくねかわらけがあり、また、燈明皿としての使用の痕跡を残すかわらけもある。

### b 国産陶器

種別には常滑窯産・瀬美窯産・水沼窯産・須恵器系陶器がある。すべて破片資料である。常滑窯産の器種は甕・壺（三筋文壺）・片口鉢がある。瀬美窯産の器種は甕・壺・片口鉢がある。水沼窯産の器種は縦耳付きの壺である。須恵器系陶器の器種は、甕・壺である。内訳の比率は、12世紀中の細分を無視すれば常滑窯産（44%）・瀬美窯産（39%）・須恵器系（15%）、水沼窯産（2%）である。個々の資料では、内面に漆・金が附着していた片口鉢がある。当外地に於いて手工業者が活動していたことを示す資料と思われる。また、倒立て埋設されていたと推測される常滑窯産の甕がある。

### c 中国産陶磁器

種別には白磁・青磁・青白磁、陶器がある。時期の細分を無視すれば、内訳の比率は白磁（79%）・青磁（7%）・青白磁（14%）である。白磁の器種は壺・碗・皿などがあり、四耳壺・水注など壺類の比率が高い（白磁78%）。青磁の器種は碗である。青白磁の器種には合子がある。時期は12世紀後半を主体とするが、少量ながら12世紀前半の遺物もある。注日される個々の遺物では小壺の蓋が完形品で出土した。

### d 石製品

石製品には砥石・碁石がある。

### e 木製品

漆器碗・折敷・形代・ちゅう木・下駄・容器・木鍾・用途不明の木製品などがある。多くは破片資料で完形品は稀であり、器種も推測の域を出ないものもある。溝跡・井戸跡からの出土が多い。漆器碗は内外面黒漆で、材はケヤキである。法量を復元できるものでは口径16.7cm、器高5.8cm、底径7.2cmである。形代は一端に括れがあり、小さな二か所の穿孔がある。ちゅう木とした資料はやや大きく、異なる用途も考えられるかもしれない。下駄は連歯で材はケヤキである。容器はロクロ使用の痕跡と、黒漆の痕跡が残る。木鍾としたものは腐蝕が著しい。用途不明の木製品がある（註4）。橋脚痕と推測される柱材は、マツ属複雑維管束属で、断面形が八角形に整形されている。

### f 土製品

土製品には土壁がある。木舞が確認できた資料はない。

### g 植物遺体

モモ・トチノキ・オニグルミ・アサ・カナムグラなどが出土した。

## 2 近世から近代にかけての屋敷地

今回の調査では、近世から近代にかけての遺構・遺物を確認した。特にH・G区を中心に確認された遺構・遺物は、いわゆる小路口屋敷に関連する遺構・遺物と推定される。ここでは、確認された遺構・遺物、その他の諸記録から、当地にあったとされる屋敷についてまとめておきたい。

### (1) 遺 構

近世から近代にかけての遺構としては、柱穴からなる建物跡・柱列跡、溝跡、土坑などの遺構があり、特にII 4区、G 4区でまとめて確認された遺構群は、屋敷地を構成する諸施設と推定される。

#### a 建物跡・柱列跡

H 3・G 4区で確認された柱穴は約150個である。そのなかで建物跡・柱列は12棟が想定された。調査区の制約もあり全体構成を把握できていないが、区画溝と同方向に軸線があるものが多い。柱穴には、礎盤や根がため石が確認できたものもあり、規模の大きな建物もあったことが想定される。

#### b 土坑

土坑は、円形基調のものが多いが、H 3・G 4区では方形基調の土坑が多い。SK120・121・124・125土坑などで、用途などは不明だが、遺構の状態から当該時期に属すると推定される。近世以降に属する方形基調の土坑のなかで、特殊な用途を類推させるものとしてSK32土坑がある。土坑の大きさは、2.65×1.48×0.42m以上である。上部は削平されている。木枠の大きさは、1.9×1.0×0.3m、側板の厚さ0.06m、底板は厚さ0.03mで、幅0.3m前後の板4枚を並べて、下部中央に横木を渡して留めていた。側板と底板は、要所を鉄釘で留めていた。掘り方内に木枠を伴い、木枠内に炭化材（粉炭）がびっしり詰まっていたことに特徴がある。炭化材の樹種はマツ複雑管束東亜属である。また、炭化物中に混じって、焼けた小型の魚骨片、小型の漆器碗の一部と推測される漆膜片が出土した。今回の調査成果から用途は断言しかねるが、類似する木枠を伴う土坑の調査事例などから次のことが指摘できる。①木枠を伴う方形基調の土坑は近世の民家の付属施設と考えられる（註5）。②木枠自体は民俗事例から、近世農家に広範に使用されていた民具の範疇で考えられる（註6）。③当該資料については、地下に炭化材を収蔵することにより、除湿・脱臭などの効果を意図した施設の可能性が考えられる。なお、近世の小路口家は、19世紀中頃に麹屋を営んでいた記録が残されており、その生産工程に関わる施設の可能性も考えられたが、直接的に結び付けることができる証拠は得られていない（註7）。

#### c 溝跡

SD24・118・119・125・127溝跡などが該当する。特にSD24・127溝跡は、屋敷地の北側から西側を区画していた一連の溝跡と推測される。比較的遺存状態の良い部分で判断すると、断面が逆台形状で底部幅0.87mである。出土遺物が多く、溝跡と近接して多くの遺構が見つまっていることから、建物などの施設に比較的近い地点を調査したのだと考えられる。

#### d 屋敷地の土地利用

屋敷地の北側から西側にかけて巡るSD24・127溝跡が確認された。屋敷地への入口や通路などは明確に把握できていない。面的に調査できていないため十分に把握できていないが、想定される区画の北東側に遺構・出土遺物が集中しており、南側では遺構・遺物の密度が低い。このことから、周囲を溝に囲まれた敷地内の土地利用は、北側に建物、南側に庭のような空間があったと推定される。

### (2) 遺 物

陶磁器類・石製品・金属製品・銭貨・ガラス製品・木製品・動物遺体・植物遺体が出土している。

a 陶磁器

陶器・磁器がある。年代親としては江戸時代から明治時代にかけて、およそ17世紀から20世紀である。主体は19世紀後半にあるように思われる。溝跡の調査が一部に留まったことを考えると、かつての屋敷には、膨大な量の陶磁器・木製品など食器類が保有されていたと推測される。

b 石製品

硯がある。裏面に「赤石組第三部 大沼喜悦」の線刻がある。「赤石村」の存在した1889～1953年頃のものか。大沼喜悦氏は、大正から昭和（20世紀初頭）に生きた人物らしい（聞き取り調査）。

c 金属製品

鉄製品と銭貨がある。鉄製品はスコップである。銭貨は、寛永通寶（新寛永：初铸年1697年）・明治の一銭銅貨（1873～1888年）がある。

d ガラス製品

ガラス製品には、コップ・コルク栓の瓶・ランプなどがある。いずれも破片資料である。

e 木製品

木製品には、漆器椀・樽などがある。漆器椀の材はブナ属である。内面赤漆・外面黒漆である。

f 動物遺体

動物遺体には、焼けた魚骨がある。SK32「坑内の炭化材中から出土した骨片である。

g 植物遺体

植物遺体には、マツボックリがある。かつて屋敷地内に大きな松の木があったとする記録の傍証である。

(3) 文書・絵図・地籍図・航空写真

小路口屋敷を類推する関連資料として、文書、絵図、地籍図、航空写真などがある。これらの資料を手がかりとして小路口屋敷のおおよその変遷をたどってみたい。

a 文書—小路口家文書・喜右衛門・麴屋・小路口の松—

『紫波町史 第1巻』に次の記載がある。長文になるが可]用する。「同家は、鎌倉時代以来の存在が確認される旧家であり、この時代（江戸時代？）の中期には「持高二百石余、手廻三十九人、馬十二疋」という豪農であった。それが、天明期以降になると、大凶作の影響を受けてそのまま経営を維持することが困難な状態となった。このため、次第に土地を手放すようになり、弘化三年（1846年）の検地時には八十七石余を残すのみとなった。その同家が、麴屋の経営に着手したのは嘉永五年（1852年）のことであった。すなわち、この年の十月、金二分二朱と銭三十三貫ほどを投じて新規に麴屋を設置している」（P786）。

また、『紫波町史 第3巻』（註8）によれば、天明3年（1783年）に、同年の飢饉による影響で、分家「中之坊」へ物品を分け与え（小路口家文書）、寛政2年（1790年）より肝入役を勤めていた（小路口家文書「御村諸用書留帳」）。また、天保9年（1838年）の毛見帳に「肝煎 喜右衛門（小路口家当主）」の名が見え、弘化3年（1846年）の御検地時には、小路口において八十七石余を所持していた（「御検地名寄帳」）。

以上、『紫波町史』に提示されている諸記録の内容を総括すると、「鎌倉時代以来の存在」については、根拠資料は示されていないが、確実なところでは、18世紀末頃の文書記録が存在し、19世紀中頃の文書及び絵図の記録が存在し、19世紀中頃に麴屋を営んでいたことがわかる。

『紫波郡誌』大正15年（1926年）の「第七章 名蹟誌 二 天然記念物」の「小路口の松」（P384）の項に「赤石村大字南H諸大沼喜右衛門なるもの、元宅地内にあり、周囲七尺高さ三十尺、十三枝あり、五百年前のものなりと謂って居る。慶応元年藩主利恭来り覽て金三両及び「古松園」の額を賜は

る。]の記載がある。藩主利恭は南部藩16代藩主で、就任は明治元年(1868年)とされている。|かつて(慶応元年(1865年):19世紀後半頃)屋敷地内には大きな松の木があったとされている。その松の木がいつ頃まで当屋敷に在ったかは不明だが、今回の調査では、S D127溝跡埋土から、マツボックリが出土しており、かつて当地に松の木があったことの傍証になろう。また、「元宅地内」の記載から、「紫波郡誌」刊行の1926年(20世紀前半)に、屋敷地は空き屋または廃屋になっていた可能性がある。

#### b 絵図

弘化3年(1846年)の絵図「志和郡南日詰村小絵図拾七枚之内ぬ印 小路口」(紫波町教育委員会所蔵)に「四十一 喜右衛門 屋敷(絵)」の記載がある。当該箇所は小路口屋敷地付近に相当する。

#### c 地籍図

「岩手陸奥中国紫波郡南日詰村第十地割字小路口絵図向」の地籍図に「六十一番 一等 宅地」、その東側に「六十四番 墓地」の記載がある。小路口屋敷付近に相当すると思われる地点である。範囲・形状は、絵図に記された範囲とほぼ一致する。地籍図の作成年代は不明だが、絵図に「紫波郡南日詰村」とあることから、明治19年(1886年)から明治22年(1889年)の間、おおむね19世紀後半に作成されたものと推測される(註9)。

#### d 航空写真

昭和23年(1948年)の航空写真(航空写真a)に屋敷地の跡が見える。19世紀後半作成と推測される地籍図の「宅地」とほぼ同じ場所の範囲が屋敷地の範囲として撮影されている。19世紀中頃から20世紀中頃までの約100年間は小路口付近の景観は大きく変わっていないと推測される。大規模開発がなかったためと推測される。そして、1970年の航空写真(航空写真b)には、規模を縮小した屋敷地の範囲が撮影されている(註10)。

#### e 聞き取りから

「現在の土地の旧持主大沼家は、木家でないため、旧いことは不明である。本家は盛岡方面に移っており、新幹線の建設まで屋敷に住人が居て、年寄(姑)が一人住まいであった。屋敷地は昭和40年より前の耕地整理の際に周囲の堀部分が埋められ、建物を縮小して建て直して生活していた。新幹線の建設時にその屋敷も取り壊され、その際に住人は盛岡市の山岸に移った。山岸では、姑はすでに亡くなっており、現在は嫁が一人住まいなので、古いことはわからないと思う(O・K氏70歳前後)。屋敷の住人は、戦時中に満州に行っており、戦後に日本に戻ってきた(O・K氏60代)。かつて立派な松の木があり、すばらしい庭園があった(O・I氏80代)。新幹線建設までは屋敷に住人は居り、生活していた。大沼家(本家)では名前に代々「喜」の字が引き継がれてきた。江戸時代の記録には、小路口喜右衛門の名が見える。現に名が記された「大沼喜悦」氏は、大正末期から昭和前期に生きていた方で、詳しい生年月日などは不明である。喜悦氏は、大沼家の長男として生まれ、屋敷に住んでいたが、家は継がなかったらしい(O・D氏60代)。

### (4) 歴史的変遷

小路口家の屋敷の存続年代は、諸資料から17世紀から昭和までと判断される。その主体は19世紀中頃から後半であろう。そして、19世紀末(明治前半)から20世紀前半(戦前)の間に一度、空き家または廃屋となった可能性がある。戦後は、かつての屋敷地の規模が縮小されたようである。堀が埋められたのは、昭和38年(1963年)頃の農地整備の際と推定され、屋敷が最終的に廃絶された年代は、昭和57年(1982年)の新幹線工事の際と推測される。調査成果と残された諸記録から、小路口屋敷のおよその変遷をまとめると次のようになる。

18世紀後半(1790年)、同村の肝入役を勤めていた(「紫波町史」文書)。

19世紀中頃(1846年)、同村で87石余を所持していた(「紫波町史」文書)。

- 19世紀中頃（1846年）、屋敷地の記録が残されている（『絵図面』）。  
 19世紀中頃（1852年）、麹屋を営んでいた（『紫波町史』文書）。  
 19世紀中頃（1865年）、敷地内に大きな松の木があった（『紫波郡誌』）。  
 19世紀後半、屋敷地・墓地の記録が残されている（『地籍図』）。  
 20世紀前半（1928年）、「大沼喜右衛門なるもの・元宅地」の記録がある（『紫波郡誌』）。  
 20世紀中頃（1948年）、地籍図とはほぼ同じ範囲で屋敷地が撮影されている（航空写真a）。  
 20世紀後半（1970年）、縮小した屋敷地の範囲が撮影されている（航空写真b）。  
 20世紀後半（1975年）、東北新幹線建設に伴い、住人は移転し、建物は廃絶された（『大沼遺跡』）。

### 3 まとめ

#### （1）遺跡の位置と立地

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、比爪館跡との北上川との間に位置する遺跡で、日詰館跡の南東側、五郎沼の東側に位置する遺跡である。比爪館跡は北上川の東側に形成された段丘の端部に位置しており、その東側と南側に広がる低地に12世紀の遺跡が分布している。比爪館跡の立地は、地形的にも選択されたものであったことがわかる。

#### （2）検出された遺構

検出された遺構は、古代の堅穴住居跡（9世紀）、12世紀の建物跡、溝跡、井戸跡、道路状遺構、土器埋設遺構、近世から近代の屋敷地に伴う建物跡、溝跡や土坑などである。

#### （3）遺構の占地

調査した範囲では、検出された遺構の分布に疎密がある。現在は一帯が水田化して西から東に向かって緩く傾斜しているように見えるが、かつては随所に沢が入り込み、微高地が点在していた地形であったと推測される。遺構はかつての微高地につくられたものと推測される。なお、検出された遺構は、後世の改変により全般に削平されていることが確認された。

#### （4）出土遺物

12世紀の遺物としては、かわらけ・国産陶器・中国産磁器・石製品・木製品・土製品などが出土した。なかでも手づくねかわらけの皿、白磁の壺、常滑窯産の甕からなる、いわゆる平泉セットが出土したことは平泉との密接な関係を示している（註11）。加えて、破片資料ではあるが、水沼窯産の壺や、白磁水注、小壺の蓋、青白磁の合子片等、比爪館跡や平泉遺跡群と比べても、遜色無い希少な遺物が出土している。このことは、平泉藤原氏の一族比爪氏とその政治拠点であった「比爪」の地について考えるうえでの貴重な資料である。量は少ないが、12世紀前半の遺物が散見されることも注目される。また、小路口屋敷の跡地に関連して近世から近代の陶磁器類や木製品などの遺物が出土した。

#### （5）おわりに

今回の調査で、比爪館跡の東側に広がる12世紀の遺跡群の内容の一端を垣間見ることができた。南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、古代・12世紀・近世から近代の遺跡であることがわかった。また、縄文時代や中世の遺物も出土していることから、当該期の遺構の存在も想定される。今後は、周辺の遺跡群の調査成果と合わせて、当該地域の各時代の様相について検討していくことが課題である（註12）。

## 註

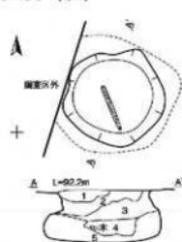
- (1) S D34の地点は、弘化3年の絵図及び19世紀後半の地圖図では、田と記されている範囲と推定される。
- (2) 無量光院跡第4次調査の「現状遺構」(平泉町教育委員会1995)、徳丹城跡第54次調査の「現状小遺構」(矢巾町教育委員会2003)。
- (3) 徳丹城跡第54次調査の「現状小遺構」については、「(5) 中世・近世遺跡状況遷移の変遷」で、「今回、準大の礎を含む周辺の土が含まれていた状況が確認された。(中略) いずれも敷路上の入れ替え工法と観られる。小遺構が、礎穴住居跡等が在って黒ボク土が厚い個所に限って施工されているのは、万年的な泥濘をこの工法によって解消させる効果を期待したからであろうし、場合によっては杭木を設置して敷材を渡し、部分的な木道を築いていた可能性も考えられる」(P.60)としている(矢巾町教育委員会2003)。徳丹城で同様の痕跡が見られた場所は、道路全域ではなく、礎穴住居跡の埋土上で、遺構が重複して地盤が比較的軟弱と思われる個所である。
- (4) Na1453は、『日本の美術12 Na115 平城宮跡』第79回「紙の文書を巻きつける遺構 丸い縁の面に平らな見出しを書く部分がついている。(中略) 長さ38.5センチ。として写真掲載されている資料に形状が類似する。当該資料の用途については検討の余地があるように思われる。
- (5) 木枠の箱を埋設した土坑の類例に平泉町の泉造遺跡16SK19がある。径185×145cm、礎石間からの深さ14cmほどの方形基壇の廻りに木枠が埋設されており、礎石民家内に設置された収納用の施設と報告されている(岩文振第339集)。また、掘り方の規模・形状が類似する土坑の類例に南日詰遺跡のS X01堅穴遺構がある。時期はS B01墓物塚と同時期の近世と報告されている。建物に近接して、建物と同じ長軸方向をもって設置されていることが特徴である(岩文振第463集)。
- (6) 類似する木枠の類例に農家で穀物貯蔵などに用いられる「ひろ」「セウロ」「キップ」などがある(『四国民具の基礎知識』ほか)。S K32土坑出土の木枠の構造も類似しており、木枠の構造は、その系統上のあると推測される。
- (7) 箱づくりの際に使用する類似の木箱では酸化防止のために鉄釘は使用しないとのことである(聞き取り調査より)。よって木箱は、近世には広く使用されていたとしても、本遺構の木枠を直接箱づくりに関連づけることは難しい。にこり酒を清酒にする工程でも葉の使用が考えられるが、本遺構については明確な根拠がない。
- (8) 『宗波町史 第3巻』には、小路口家文書及び小路口家の喜右衛門についての次の文書が収められている(掲載順)。
- ・毛分帳(南日詰の小路口家所蔵 天保9年(1838))
  - ・最終林地上における個別貯蓄高 南日詰村(岩手県立図書館蔵 弘化3年(1846))
  - ・高ノ日林書上帳(南日詰の小路口家所蔵 嘉永4年(1851))
  - ・大伝馬継立帳(南日詰の小路口家所蔵 安政4年(1857))
  - ・辛亥政2年(1855)・同5年(1858)・同6年(1859)・文久2年(1862)の帳書もあり。
  - ・小路口家「能登新規費請入用留帳」(南日詰の小路口家所蔵 嘉永5年(1852))
  - ・小路口家「熊村々江結借書抜帳(抜粋)」(南日詰の小路口家所蔵 嘉永6年(1853))
  - ・小路口家「米出入仕込米原料米留帳」(南日詰の小路口家所蔵 安政6年(1859))
  - ・小路口家「万書留帳」(南日詰の小路口家所蔵 天明3年(1783))
  - ・小路口家「借用手形」(南日詰の小路口家所蔵 寛政4年(1792))
  - ・小路口家「御村借書留帳」(南日詰の小路口家所蔵 寛政2年(1790))
  - ・寺跡状之書(南日詰の小路口家所蔵 天保9年(1838))
  - ・岩手県管轄地誌(岩手県立博物館蔵 明治10年(1877))
- (9) 「行政区画変遷・石巻一覧」(『日本歴史地名体系 第3巻 岩手県の地名』平凡社)。
- (10) 『大銀遺跡』の調査範囲には、縮小した屋敷(報告書掲載第2回と航空写真も参照)が含まれているが、報告では、この屋敷に関する調査所見は得られていない(岩手県文化財調査報告書35集)。
- (11) 八重樫忠郎2001「東北における中世初期陶磁器の分布」(『都市・平泉一成立とその構成—(研究発表要旨、古代木、中世初期陶磁器集成)』掲載)、八重樫忠郎2002「平泉藤原氏の支配領域」(『平泉の歴史』)掲載)。
- (12) 『新編』には、三つの「館」が記載されている。「平泉館」「衣河館」「比爪館」である(羽柴2006)。その意味で平泉研究において比爪館の存在は大きい。しかし、「平泉館」と推定される榊之御所跡が、現在国指定史跡として文化財保護法のなかで顕彰付けられていることに比べると、比爪館の評価は大きく異なっている。比爪館及びその周辺を含めた12世紀の比爪について、確かな評価をしていくために、今後さらなる調査・研究の蓄積が必要である。

## 引用・参考文献

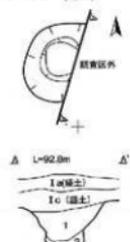
- 岩手県教育委員会紫波郡部会 1926 『宗波郡誌』
- 紫波町 1972 『宗波町史』第1巻
- 紫波町 1972 『宗波町史』第2巻
- 坪井清見郎 1975 『日本の美術12 Na115 平城宮跡』至文堂
- 宮本誓太郎編 1979 『国録民具の基礎知識』柏青房
- 岩手県教育委員会 1979 「東北新幹線関係重要文化財調査報告書Ⅱ」岩手県文化財調査報告書35集
- 紫波町 1988 『宗波町史』第3巻

- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1989 『南口跡遺跡発掘調査報告書』岩文振第136集
- 有限会社平凡社地方資料センター編集 1990 『日本歴史地名体系 第3巻 岩手県の地名』平凡社
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1991 『比爪館跡発掘調査報告書』岩文振第151集
- 紫波町教育委員会 1992 『比爪館跡第9・10次発掘調査報告書』紫波町文化財調査報告書第24集
- 紫波町教育委員会 1992 『新波町の遺跡 町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』岩手県紫波町文化財調査報告書第26集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1995 『柳之御所跡』岩文振第228集
- 平泉町教育委員会 1995 『平泉遺跡発掘調査報告書 無量光院跡第4次』岩手県平泉町文化財調査報告書第47集
- 永原肇二編 1995 『常陸城と中世社会』小学館
- 日本考古学協会2001年度盛岡大会実行委員会 2001 『日本考古学協会2001年度盛岡大会研究発表資料集【都市・平泉—成立とその構成—(研究発表要旨、古代末、中世初期陶磁器集成)』
- 名久井文明・名久井芳江著 2001 『山と生きる 内閣木安藏家のくらし』一光舎
- 盛岡市遺跡の学び館 2002 『岩手・新波の平泉文化』
- 人園出寛夫・木澤慎輔編 2002 『平泉の世界』高志書院
- 紫波町教育委員会 2002 『比爪館跡第11次～第18次発掘調査報告書—赤石小学校施設開通工事—』
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2003 『泉原遺跡第16・19・21次発掘調査報告書』岩文振第339集
- 岩手県教育委員会 2003 『柳之御所遺跡』岩手県文化財調査報告書第117集
- 久田町教育委員会 2003 『藤乃城跡第54・55・56次発掘調査』矢巾町教育委員会
- 紫波町教育委員会 2004 『比爪館跡第8次・19～22次発掘調査報告書』岩手県紫波町文化財調査報告書
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004 『下橋遺跡発掘調査報告書』岩文振第446集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004 『南口跡遺跡発掘調査報告書』岩文振第463集
- 川井村文化財調査委員会編 2004 『川井村北上山地区民俗誌 上巻』川井村教育委員会
- 羽柴直人 2006 『比爪館をめぐる諸問題』岩手考古学会第35回研究大会資料集
- 紫波町教育委員会 2007 『北口跡東ノ坊Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県紫波町文化財調査報告書2007
- 岩手県教育委員会 2008 『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成18年度)』岩手県文化財調査報告書第126集

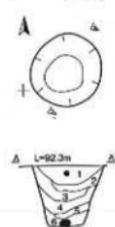
SK06 (I区)



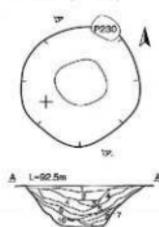
SK08 (I区)



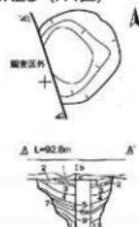
SK11 (M区)



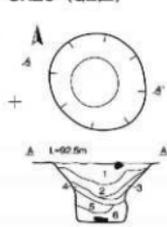
SK22 (H4区)



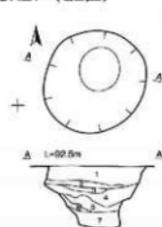
SK23 (H4区)



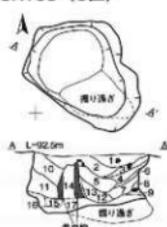
SK26 (Q2区)



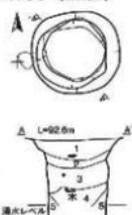
SK27 (Q2区)



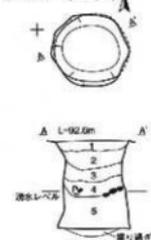
SK105 (C区)



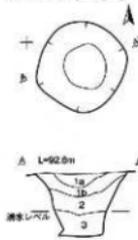
SK106 (E2区)



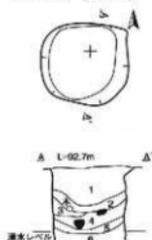
SK107 (E2区)



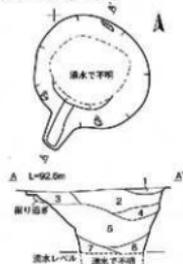
SK108 (E2区)



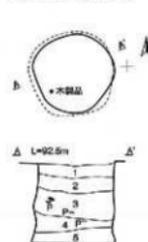
SK109 (E3区)



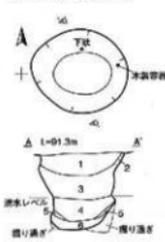
SK110 (F1区)



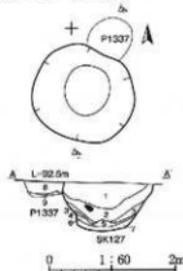
SK115 (G2区)



SK116 (G2区)



SK127 (G4区)

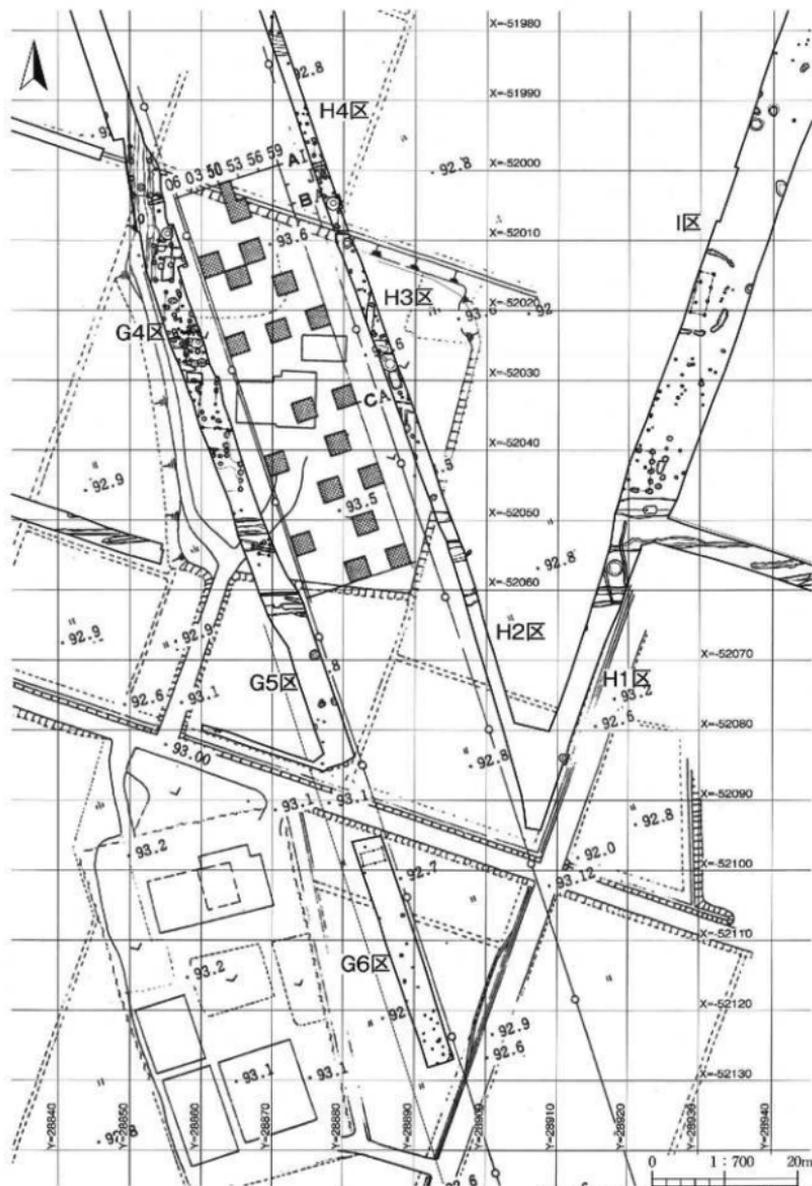


第 137 図 井戸跡集成図





第 139 圖 地籍圖



(網掛けは昭和50年度大銀遺跡の調査範囲)

第140図 近世から近代にかけての屋敷地の周辺図

## Ⅶ 分析・鑑定

### 1 木製品樹種同定 (紫波町南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡出土材の樹種)

高橋利彦 (木工舎「ゆい」)

#### (1) 試 料

試料は古代 (12世紀) と近世のものとする土坑・溝跡・柱穴などから検出された木製品・加工材で、古代の材51点、近世の材24点と炭化材3点の計78点である (表1・2)。

遺跡は北上川の西側に形成された低地上 (標高92~93m) に立地している。近世から近代にかけて存続した記録が残る屋敷地跡を囲う溝跡・掘立柱建物跡などや、平安時代末期 (12世紀) の集落とみられる建物跡や溝跡・井戸跡などが検出されている。遺跡の西側には『吾妻鏡』に記載のある12世紀の樋爪氏の居館と推定されている「比爪跡」がある。

#### (2) 方 法

材のプレパラートの作製には、調査担当者の立ち会いの下で筆者が遺物から採取した材片を用いた。剃刀の刃を用い試料の横断面・放射断面・接線断面3面の徒手切片を作製し、これをガムクロラールで封入したプレパラートを生物顕微鏡で観察し同定した。炭化材は3断面を走査型電子顕微鏡 (加速電圧15kV) で観察し同定した。併せて各分類群1点の顕微鏡写真図版を作成した (図版1~4)。なお、作製したプレパラートと残った炭化材片はすべて木工舎「ゆい」に保管されている。

#### (3) 結 果

試料は以下の10分類群に同定された。試料の主な解剖学的特徴や一般的な性質は次のようなものである。なお、学名と配列は「日本の野生植物 木本Ⅰ・Ⅱ」(佐竹ほか 1989) にしたがう。県内での自然分布については「岩手県植物誌」(岩手植物の会 1970) を参照した。また、一般的性質などについては「木の事典 第1・2・4・6・7巻」(平井 1979, 1980) も参考にした。

・マツ属複維管束亜属 (*Pinus* subgen. *Diploxyton* sp.) マツ科 1702, 1751, 1752, 1753, 1754, 1755, 1756, 1757, 1919, 1920

早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は広い。樹脂細胞はなく樹脂道が認められる。放射組織は仮道管と柔細胞、エビセリウム細胞よりなり、仮道管内壁には顕著な鋸歯状の突出が認められる。分野穿孔は窓状。放射組織は単列、1~15細胞高のものや樹脂道をもつ紡錘状のものがある。

複維管束亜属 (二葉松類) は国内に3種あり、県内にはクロマツ (*Pinus thunbergii*) とアカマツ (*P. densiflora*) が自生する。クロマツは沿岸部に点生するものの、全域で普通にみられるのはアカマツである。材は重硬で、強度は大きく、保存性は中程度であるが耐水性に優れる。建築・土木・建具・器具・家具材など広い用途がある。

・スギ (*Cryptomeria japonica*) スギ科 No. 711, 721, 726, 1708, 1710, 1718, 1719, 1720, 1736, 1737, 1740, 1742, 1743, 1744

早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に限って認められ樹脂道はない。放射組織は柔細胞のみよりなる。分野壁孔はスギ型で分野あたり2-4個。放射組織は単列、1-15細胞高。

スギは本州・四国・九州に自生する常緑高木で、また各地で植栽・植林される。国内では現在、植林面積第一位の重要樹種であり、長寿の木としても知られる。県内でも各地でみられる。材は軽軟で割裂性は大きく、加工は容易、保存性は中程度である。建築・土木・樽桶類・舟材など各種の用途がある。

・ヒノキ属 (*Chamaecyparis* sp.) ヒノキ科 No. 1707, 1733

早材部から晩材部への移行は緩やかで、樹脂細胞は晩材部に限って認められ、樹脂道はない。放射組織は柔細胞のみよりなる。分野壁孔はヒノキ型で分野あたり1-4個。放射組織は単列、1-15細胞高。

ヒノキ属にはヒノキ (*Chamaecyparis obtusa*) とサワラ (*C. pisifera*) の2種があるが、県内にはサワラのみが自生する。サワラは県中部以南に自生し、また植栽される高木で多くの園芸品種がある。材は軽軟で割裂性は大きく、加工も容易、強度的にはヒノキに劣るが耐水性が高いため、樽や桶にするほか各種の用途がある。

・アスナロ (*Thujaops dolabrata*) ヒノキ科 No. 701, 702, 708, 713, 714, 719, 722, 723, 734, 737, 739, 1701, 1709, 1729, 1730, 1735, 1738, 1739, 1745a, 1745b

早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は狭く、樹脂細胞はあるが樹脂道はない。放射組織は柔細胞のみよりなる。分野壁孔は小型のヒノキ型〜スギ型で分野あたり1-6個。放射組織は単列、1-15細胞高であるが5細胞高程度の低いものが多い。

アスナロは本州・四国・九州に自生する日本特産の常緑高木で時に植栽される。北海道（渡島半島以南）・本州北部には変種ヒノキアスナロ（ヒバ）(*T. dolabrata* var. *hondai*) がある。材はやや軽軟で保存性は高い。建築・土木・家具・器具材など各種の用途が知られている。

・ブナ属 (*Fagus* sp.) ブナ科 No. 1712, 1713, 1714, 1715

散孔材で管孔は単独または放射方向に2-3個が複合、横断面では多角形、分布密度は高い。道管はほぼ単穿孔をもつが、晩材部では段 (bar) 数が10前後の階段穿孔をもつものもある。放射組織は同性〜異性、単列、数細胞高のものから複合組織まである。柔組織は短接線状、散在状。年輪界は明瞭。

ブナ属はブナ (*Fagus crenata*) とイヌブナ (*F. japonica*) の2種がある。ブナは北海道南西部（黒松内低地帯以南）・本州・四国・九州に、イヌブナは本州（本県以南）・四国・九州の主として太平洋側に分布する。ブナの材はやや重硬で、強度は大きい加工はそれほど困難ではなく、耐朽性は低い。木地・器具・家具・薪炭材などの用途があったが、最近では各種の用途に用いられている。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus* sp.) ブナ科 No. 715, 1748, 1749, 1921

環孔材で孔部は1-3列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大管は横断面では円形〜楕円形、小管は横断面では多角形、ともに単独で配列する。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では櫛状となる。放射組織は同性、単列、1-20細胞

高のものと複合組織がある。柔組織は短接線状、周囲状。年輪界は明瞭。

コナラ節はコナラ亜属(落葉ナラ類)の中で果実(ドングリ)が開花の年に熟すグループで、カシワ(*Quercus dentata*)、ミズナラ(*Q. crispula*)、コナラ(*Q. serrata*)、ナラガシワ(*Q. aliena*)といくつかの変・品種がある。県内には4種とも自生するが、遺跡のある半野部に普通なのはコナラである。コナラは樹高20mになる落葉高木で、古くから薪炭材として利用され、植栽されることも多かった。材は重硬で、加工は困難、器具・機械・構材などの用途があり、薪炭材としては同属のクスギに次ぐ優良材である。

・クリ (*Castanea crenata*) ブナ科 No. 704, 705, 706, 707, 709, 710, 729, 731, 742, 1758

環孔材で孔部は1~多列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は単独、横断面では楕円形~円形、小道管は単独および2~3個が斜(放射)方向に複合、横断面では角張った楕円形~多角形。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では網状~網目状となる。放射組織は同性、単列、1~15細胞高。柔組織は周囲状、短接線状。年輪界は明瞭。

クリは北海道南西部から九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。県内各地で普通にみられる。材はやや重硬で、強度は大きく、耐朽性が高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材、柾木などに用いられる。

・ケヤキ (*Zelkova serrata*) ニレ科 No. 716, 717, 718, 725, 730, 1716, 1721, 1722, 1734

環孔材で孔部は1~2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減し、塊状に複合し接線・斜方向の紋様をなす。大道管は横断面では円形~楕円形、単独。小道管は横断面では多角形で複合管孔をなす。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1~10細胞幅、1~60細胞高で、しばしば結晶を含む。柔組織は周囲状。年輪界は明瞭。

ケヤキは本州・四国・九州の谷沿いの肥沃地などに自生し、また屋敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにもなる。材はやや重硬で、強度は大きい、加工は困難でなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途に用いられ、国産広葉樹材の中で最良のものの一つにあげられる。

・モクレン属 (*Magnolia* sp.) モクレン科 No. 1703, 1704, 1706, 1717

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形~多角形、単独および2~4個が放射方向に複合する。道管は単穿孔をもち、壁孔は階段状~対列状に配列、放射組織との間では網目状~階段状となる。放射組織は異性、1~2細胞幅、1~40細胞高。柔組織はターミナル状。年輪界は明瞭。

モクレン属は国内に6種あり、県内には高木性のホオノキ(*Magnolia obovata*)・コブシ(*M. praecoccissima*)と低木のタムシバ(*M. salicifolia*)が自生する。ホオノキの材は軽軟で、割裂性が大きく、加工はきわめて容易で欠点が少ないことから、器具・建築・家具・建具材などのほか、指物・木地・下駄歯・刃物鞘など特殊な用途も知られている。コブシの材はホオノキに似るがやや硬く、ホオノキに準じた使われ方をする。

・ミズキ属 (*Swida* sp.) ミズキ科 No. 720

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形、単独で配列する。道管は階段穿孔をもち、段は多数、壁孔は対列~交互状に配列する。放射組織は異性、1~5細胞幅、1~30細胞高。柔組織は散

在状。年輪界はやや不明瞭。

ミズキ属にはクマノミズキ (*Swida macrophylla*) とミズキ (*S. controversa*) がある。クマノミズキは本州・四国・九州に、ミズキは北海道から九州の丘陵地・平地に普通にみられる落葉高木である。ミズキの材はやや重硬で、加工は容易、旋作・木地・器具・薪炭材などに用いられる。クマノミズキの材はミズキより硬く、細工物にはあまり適さない。

以上の同定結果を検出遺構や推定されている用途などとともに一覧表で示す(表1・2)。

#### (4) 考 察

同定対象とされた試料からは上記の10分類群が認められたが、通覧するとアスナロ(20点)とスギ(14点)が多く、複雑管束亜属(10点)・クリ(10点)・ケヤキ(9点)がこれに次いでいる。試料数は限られているものの、用途ごとの用材には偏りがみられ、樹種が選択されていたことが窺える。また、古代と近世では用材に違いもある(表3)。

漆器は椀11点、板2点、容器1点が検討された。うち4点が近世、他は古代とされている。近世の椀4点はいずれもブナ属に、古代の椀と容器8点はすべてケヤキに同定された。板はアスナロ製であった。本遺跡の南方約8kmに位置する石島谷町島岡Ⅱ遺跡でも近世とされる漆塗椀はブナ属に同定されている(高橋 2003a)。一方、古代(12c)とされるものでは平泉町柳之御所遺跡などケヤキの例が多く知られている(能城 1995, 高橋 1995・2003bなど)。椀の用材は、これまで県内各地の遺跡からの報告例が最も多いケヤキと第2位のブナ属であり、また、ケヤキが近世試料の中には認められないのもこれまでの傾向(高橋 2003c)と同様であった。一方、板材は折敷など板状の木製品と同じアスナロ製であった。漆器といっても割り物と板で材料の使い分けが行われていたことの表れであろう。

山物は蓋と底板計7点が検討された。いずれも古代とされるもので、スギ(4点)とアスナロ(3点)に同定された。類例は平泉町志羅山遺跡第73次調査検出の山物・山物?がスギ(2点)とアスナロ(2点)に同定されている例(高橋 2001)など、各地・各時代の遺物で知られている。

この曲物と上記の漆塗板や折敷・形代など残存厚1cm以下の薄板は、用途不明のものを含め19点が検討された。すべて古代のものとして、用材はアスナロ(10点)、スギ(8点)、ヒノキ属(1点)であった。また、近世の薄板(残存厚1cm前後)にもヒノキ属(樽蓋?)とスギ(桶樽側板)が用いられている。いずれも木理が直道で割裂性に優れる針葉樹であり、「割技法」で薄板を作っていた時代の用材を示していると考えている。こうした技法と用材は現在まで受け継がれている(石村 1997, 岩井 1994)。

これに対し、近世の(半)地下遺構SK32から検出された木枠(用途は不明)の部材は、検討された7点すべてが複雑管束亜属に同定された。添付資料によると、この木枠は幅21~30cm、厚さ3~6cm、長さ100および210cmの長尺・幅広の厚板で構成されている大型の「箱」である。複雑管束亜属(現生種の自然分布からアカマツと考える)は、枝が一方所から四方に伸びる樹形をとるため節が集中する。節は割れにくいので、マツ材は「割技法」では製板が難しく、製板用縦旋盤の発達が十分ではなかった古代(吉川 1976)には、ある程度以上の長さの幅広板としては利用しにくかった材料である。上述の薄板とこの厚板の用材の違いは、時代とともに発達してきた利器の違いを反映していると思う。

下駄には一木作りの連歯下駄と台に別材の歯をつける差歯下駄があるが、対象となったのは連歯下駄が古代と近代のもの各1点と、差歯下駄の歯が古代のもの1点の計3点であった。用材は差歯がアスナロ、連歯下駄の古代のものはケヤキ、近世のものはクリであった。県内での出土例をみると、ア

スナロなどの軟質材は差歯下駄の割合が高く、ケヤキ・クリを含む硬質材は連歯下駄の割合が高い傾向にあるとの指摘（高橋 2003c）を補強する結果が得られた。

古代の井戸枠は同一遺構から検出された側板2点、組材4点が検討された。組材は角材を「ほぞ組」にした横棧で、これに支えられた縦板が側板であるが、組材はクリ、側板はアスナロに同定された。側板の一部しか検討していないため確言はできないが、角材と板で材料の使い分けが行われていたようである。

## 引用文献

- 平井信二 1979 「木の事典 第1・2巻」, かなえ書房。
- 平井信二 1980 「木の事典 第4・6・7巻」, かなえ書房。
- 石村貞 1997 ものと人間の文化史 82-I・II・III 稲・稗 I・II・III, 法政大学出版局。
- 岩井宏實 1994 ものと人間の文化史 75 曲物, 法政大学出版局。
- 岩手植物の会 1970 「岩手県植物誌」。
- 能城修一 1996 柳之御所跡から出土した木製品の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第228集 柳之御所跡・岡渡水池・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査〈分冊1 本文・図版〉」, 433-456, (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター。
- 佐竹茂輔・原 寛・豆理俊次・富成忠夫(編) 1989 「日本の野牛標物 木本 I・II」, 平凡社。
- 高橋利彦 1996 柳之御所跡第23次・31次調査出土材の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第228集 柳之御所跡・岡渡水池・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査〈分冊1 本文・図版〉」, 423-432, (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター。
- 高橋利彦 2001 志摩山遺跡第73次調査出土材の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第352集 志摩山遺跡発掘調査報告書(第47・56・67・73・80次調査) 都市計画街路毛越寺線整備事業関連発掘調査」, 535-540, (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター。
- 高橋利彦 2003a 石鳥谷町島岡Ⅱ遺跡出土材の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第407集 島岡Ⅱ遺跡発掘調査報告書 押い手育成基金整備事業八幡東部地区関連発掘調査」, 56-65, (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター。
- 高橋利彦 2003b 柳之御所遺跡第56次調査出土材の樹種, 「岩手県文化財調査報告書第117集 平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡 - 第56次発掘調査概報 -」, 84-99, 岩手県教育委員会。
- 高橋利彦 2003c 岩手県内の遺跡から出土した木質遺物の樹種 I - 下駄と棧板 -, 「岩手考古学」, 第15号, 39-45。
- 古川金次 1976 ものと人間の文化史 18 鋸, 法政大学出版局, 347pp。

表1 南日誌小路口I遺跡出土材の樹種

試料番号	掲載番号	検出 産 場 など	用 途	時 期	分 類 群
1701	701	SK06 埋土下位4層	部材	古代(12c)	アスナロ
1702	723	SD17 2層No.17	杭	近世	マツ属松葉節杵束系属
1703	724	SD17 2層No.3	杭	近世	モクレン属
1704	725	SD17 2層No.5	杭	近世	モクレン属
1706	726	SD17 2層No.4	杭	近世	モクレン属
1707	727	SD17 2層No.1	樽蓋?	近世	ヒノキ属
1708	732	SD24 2層No.40	橋桁の側板	近世	スギ
1709	731	SD24 1層No.32	棟杵木製品	近世	アスナロ
1710	733	SD21 2層No.31	把手	近世	スギ
1712	731	SD21 2層No.21	漆喰板	近世	ブナ属
1713	728	SD21 2層No.13	漆喰板	近世	ブナ属
1714	729	SD21 2層No.23	漆喰板	近世	ブナ属
1715	730	SD24 2層No.24	漆喰板	近世	ブナ属
1716	721	L区南側落ち込み 黒褐色土層	漆喰板	古代(12c)	ケヤキ
1717	735	SD24 2層No.41	杭	近世	モクレン属
1718	708	SD34 北側底面	曲物蓋?	古代(12c)	スギ
1719	722	T56 II層黒褐色土層	不明	古代(12c)	スギ
1720	720	T88 底面?	部材	古代(12c)	スギ
1721	702	SD34 底面No.17	漆喰板	古代(12c)	ケヤキ
1722	703	SD34 底面No.19	漆喰板	古代(12c)	ケヤキ
1729	706	SD34 底面No.20	曲物蓋	古代(12c)	アスナロ
1730	709	SD34 底面No.21	折敷?	古代(12c)	アスナロ
1733	713	SD34 北側底面	形代	古代(12c)	ヒノキ属
1734	704	SD34 北側底面	漆喰板	古代(12c)	ケヤキ
1735	705	SD34 中央2層~底面	曲物蓋	古代(12c)	アスナロ
1736	710	SD34 北ベルト2層~底面	杓子	古代(12c)	スギ
1737	712	SD34 北ベルト2層~底面	形代	古代(12c)	スギ
1738	711	SD34 北ベルト2層~底面	下駄塗塗	古代(12c)	アスナロ
1739	707	SD34 底面下(砂層)	曲物底板	古代(12c)	アスナロ
1740	715	SD35 ベルト南側黒褐色土	折敷?	古代(12c)	スギ
1742	719	SD39 北ベルト2層~底面	部材?	古代(12c)	スギ
1743	714	SD35 ベルト層上(砂礫層)	曲物底板	古代(12c)	スギ
1744	716	SD35 ベルト層上下位(砂礫層)	ちゅう木	古代(12c)	スギ
1745a	717a	SD35 ベルト層上下位(砂礫層)	漆喰板材	古代(12c)	アスナロ
1745b	717b	SD35 ベルト層土下位(砂礫層)	漆喰板材	古代(12c)	アスナロ
1748	-	SD34 底面No.22	部材	古代(12c)	コナラ属コナラ系属コナラ節
1749	-	SD34 底面No.23	部材	古代(12c)	コナラ属コナラ系属コナラ節
1751	-	SK32 木枠(底板横木)	木枠	近世	マツ属松葉節杵束系属
1752	-	SK32 木枠(底板西側よりNo.1)	木枠	近世	マツ属松葉節杵束系属
1753	-	SK32 木枠(底板西側よりNo.2)	木枠	近世	マツ属松葉節杵束系属
1754	-	SK32 木枠(底板西側よりNo.3)	木枠	近世	マツ属松葉節杵束系属
1755	-	SK32 木枠(底板西側)	木枠	近世	マツ属松葉節杵束系属
1756	-	SK32 木枠(底板西側よりNo.4)	木枠	近世	マツ属松葉節杵束系属
1757	-	SK32 埋土2層	木枠?	近世	マツ属松葉節杵束系属
1758	718	SD35 埋土2層~底面	柱根	古代(12c)	クリ

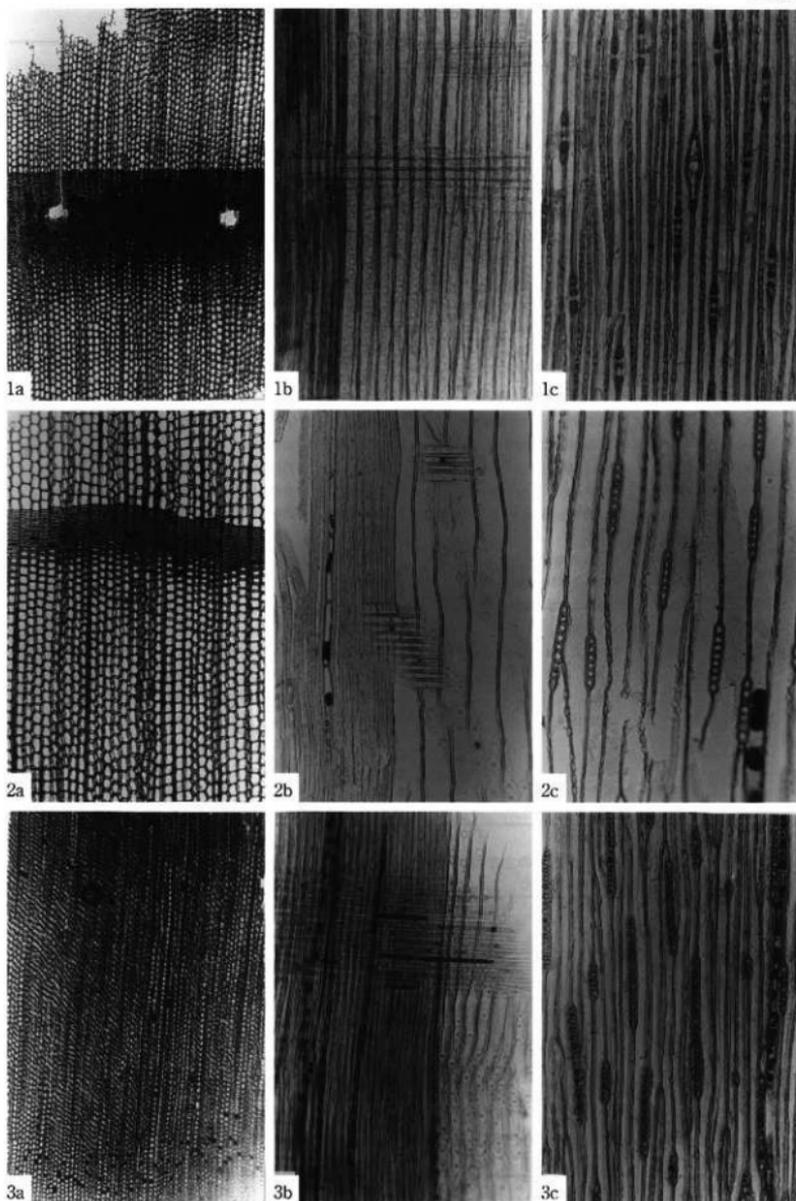
表2 南日誌小路口Ⅱ遺跡出土材の樹種

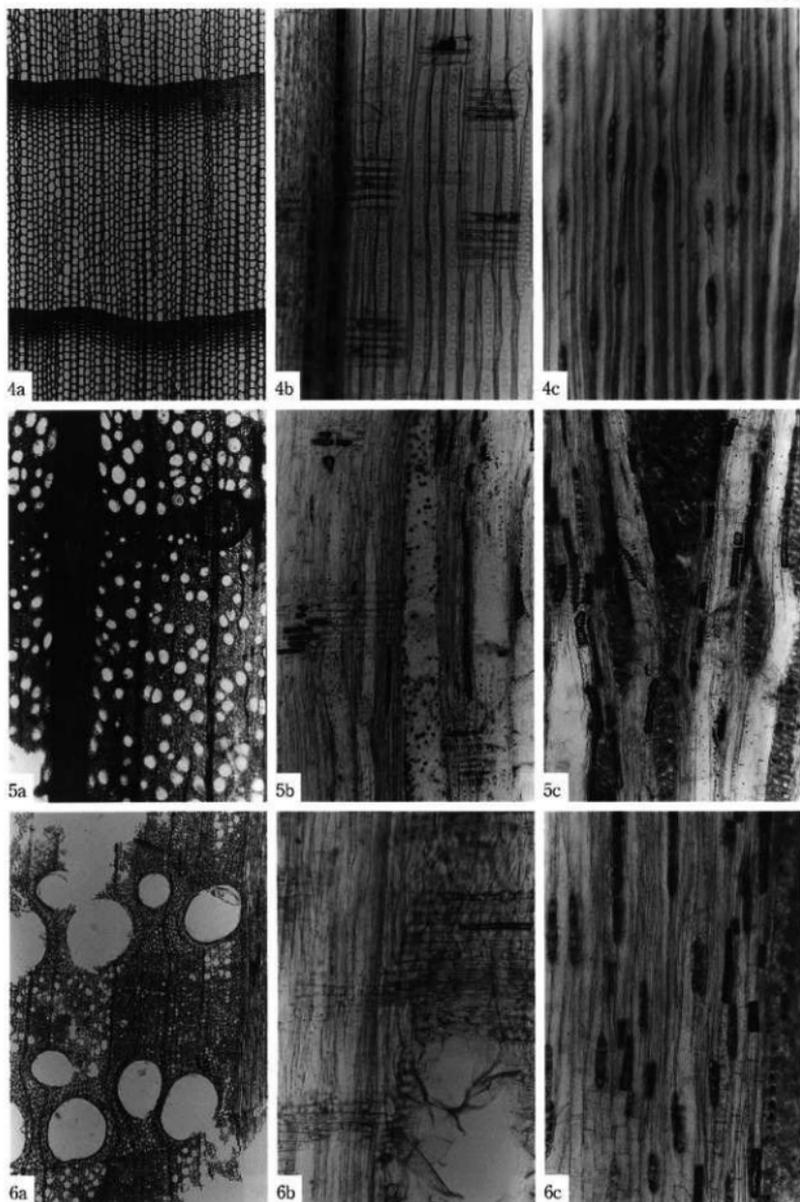
試料番号	附帯番号	検出遺構など	用途	時期	分類群
701	1431	SK105 No.1	井戸枠(側板)	古代(12c)	アスナロ
702	1432	SK103 No.2	井戸枠(側板)	古代(12c)	アスナロ
704	1436	SK105 No.5	井戸枠(組材)	古代(12c)	クリ
705	1435	SK105 No.11	井戸枠(組材)	古代(12c)	クリ
706	1433	SK105 No.17	井戸枠(組材)	古代(12c)	クリ
707	1434	SK105 No.18	井戸枠(組材)	古代(12c)	クリ
708	1437	SK106 西半堀14層	板材	古代(12c)	アスナロ
709	1416	SK107 南半堀15層No.10	部材	古代(12c)	クリ
710	1445	SK107 南半堀15層No.11	部材	古代(12c)	クリ
711	1412	SK107 南半堀15層No.17	曲物蓋?	古代(12c)	スギ
713	1443	SK107 南半堀15層No.19	折板?	古代(12c)	アスナロ
714	1447	SK107 南半堀14層	部材	古代(12c)	アスナロ
715	1444	SK107 南半堀15層No.16	板状木製品	古代(12c)	コナラ属:コナラ属:コナラ節
716	1439	SK107 南半堀土	漆塗桶	古代(12c)	ケヤキ
717	1441	SK107 南半堀土中位黒褐色土	漆塗桶	古代(12c)	ケヤキ
718	1440	SK107 南半堀土中位黒褐色土	漆塗桶	古代(12c)	ケヤキ
719	1438	SK106 南半堀土4層No.1	板状木製品	古代(12c)	アスナロ
720	1448	SK113 2層	竹?	古代(12c)	ミズキ属
721	1449	SK115 2層	曲物底板?	古代(12c)	スギ
722	1433	SK115 埋土3層	不明木製品	古代(12c)	アスナロ
723	1451	SK115 4層	板状木製品	古代(12c)	アスナロ
725	1455	SK116 西半堀土	通商ト趾	古代(12c)	ケヤキ
726	1452	SK115 北半堀土3層	不明木製品	古代(12c)	スギ
729	1450	SK115 北半堀土3層	木鉢	古代(12c)	クリ
730	1454	SK116 3層	漆塗容器	古代(12c)	ケヤキ
731	1457	SK125 北半堀土1層	透商ト趾	近世	クリ
734	-	P1236	柱根	近世	アスナロ
737	-	P1332	礎板	古代(12c)	アスナロ
739	-	P1270 1層	部材?	近世	アスナロ
742	-	P1286	柱根	近世	クリ
1919	-	SK32	炭	近世	マツ属:榎属:栎属:栗属
1920	-	SK32	炭	近世	マツ属:榎属:栎属:栗属
1921	-	SK32	炭	近世	コナラ属:コナラ属:コナラ節

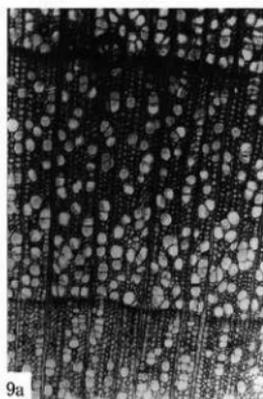
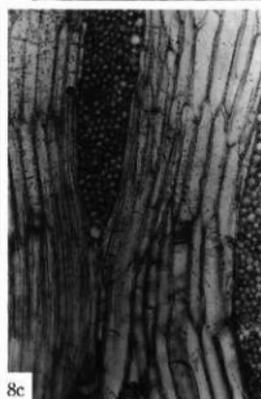
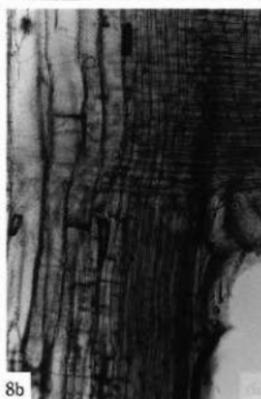
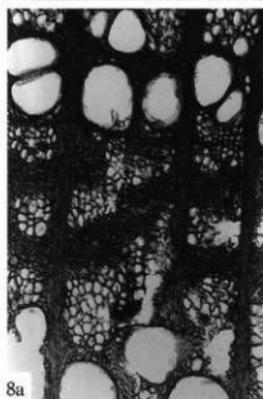
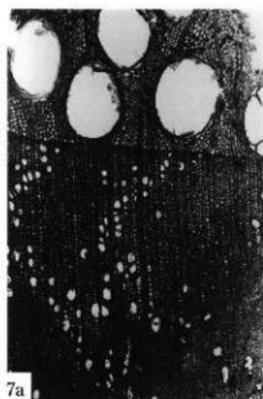
表3 南日誌小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡出土材の主な用途別樹種  
?の付いたものも各用途に含めた

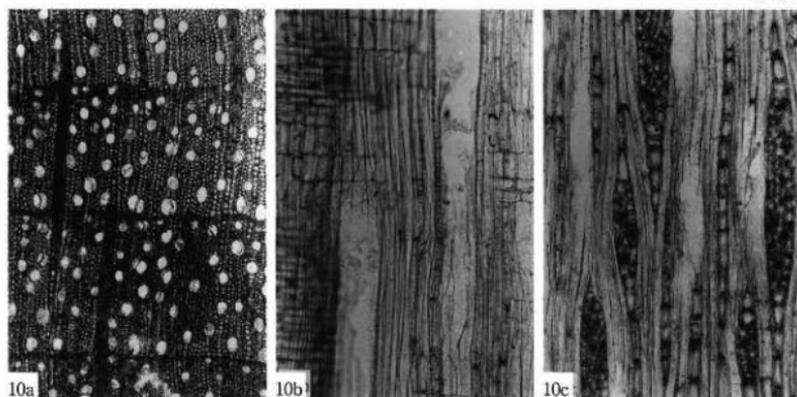
分類群	時期	用途										小計		合計		
		漆器	井戸枠	下駄			曲物	枕	木片	炭	その他		古		近	
		占	近	古	古	近	占	占	近	近	近	占	近	古	近	
榎属:栗属:栎属									1	7	2			10	10	
スギ							4					8	2	12	14	
ヒノキ属												1	1	1	2	
アスナロ		2		2			1	3				9	3	17	20	
ブナ属			4											4	4	
コナラ節											1	3		3	4	
クリ				4		1						4	1	8	10	
ケヤキ		8			1									9	9	
モクレン属									4					4	4	
ミズキ属												1		1	1	
計		10	4	6	1	1	1	7	6	7	3	26	7	51	27	78

古:古代(12c) 近:近世









図版 1 1. マツ属複維管束亜属 No1702

2. スギ No726

3. ヒノキ属 No1707

図版 2 4. アスナロ No702

5. ブナ属 No1715

6. コナラ属コナラ亜属コナラ節 No715

図版 3 7. クリ No1758

8. ケヤキ No1716

9. モクレン属 No1706

図版 4 10. ミズキ属 No720

a: 横断面 x40 b: 放射断面 x100 c: 接線断面 x100

## 2 種実同定 (南日詰小路Ⅰ・Ⅱ遺跡出土種実遺体の同定調査)

パリン・サーヴェイ株式会社

## はじめに

岩手県紫波郡紫波町南日詰小路Ⅰ・Ⅱ遺跡では、平安時代中頃とされる竪穴住居跡や、12世紀頃とされる井戸跡、建物跡、溝跡などの遺構や、かわらけ、陶磁器などの多量の遺物が出土していることから、比瓦館跡の東側の地域で樋爪氏に関連する集落が形成されていたことが指摘されている。今回の分析調査では、溝跡や土坑より出土した種実遺体の同定を実施し、周辺植生と植物利用に関わる資料を作成する。

## (1) 試料

試料は、S K32土坑 (No.1804) より出土した種実遺体1個、S D34溝跡 (No.1812,1813,1815,1817) より出土した種実遺体12個と、南日詰小路Ⅱ遺跡のS K105土坑 (No.802)、S K115土坑 (No.812,815,816)、S K116土坑 (No.819) より出土した種実遺体5個の計18個である。S K32土坑は近世、他は古代とされ、S K105,115,116土坑は井戸跡の可能性が指摘されている。

## (2) 分析方法

種実遺体を双眼実体顕微鏡下で観察し、現生標本および石川 (1994)、中山ほか (2000) 等との対照から、種類と部位を同定する。

## (3) 結果

結果を表1に示す。木本3分類群(落葉広葉樹のオニグルミ、モモ、トチノキ)8個、草本4分類群(アサ、カナムグラ、サナエタデ近似種、ヤナギタデ近似種)10個、計18個の種実が同定され、栽培種のモモの核4個 (No.1804,1812,802,815) とアサの果実2個 (No.1813) が確認された。以下に、形態的特徴等を記す。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura) クルミ科クルミ属

核が検出された。灰褐色、No.816は頂部が炭化しており黒色。核は頂部が尖る広卵体。大きさは、No.1817は長さ39.81mm、幅29.1mm、厚さ28.3mm。No.816,819は、縦に1周する縫合線に沿って割れた半分で、No.816は長さ31.58mm、幅32.07mm、No.819は長さ31.58mm、幅26.14mm。核は硬く緻密で、表面には縦方向の浅い影紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

・モモ (*Prunus persica* Batsch)バラ科サクラ属

核(内果皮)が検出された。灰褐色、やや扁平な広楕円体。大きさは、No.1804は表面が摩耗しており、長さ20.48mm、幅13.29mm、厚さ10.84mm。No.1812は長さ27.02mm、幅21.01mm、厚さ15.58mm。No.802は長さ28.18mm、幅21.36mm、厚さ16.41mm。No.815は長さ31.16mm、幅21.55mm、厚さ15.78mm。内果皮の頂部は尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。1本の明瞭な縦の縫合線が発達し、背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。内果皮は厚く硬く、表面は縦に流れる不規則な線状の深い窪みがあり、全体として粗いしわ状に見える。

・トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume) トチノキ科トチノキ属

種子が検出された。長さ21.62mm、径27.67mmの偏球体で、表面にはほぼ赤道面を蛇行して一周する特徴的なカーブを境に、不規則な流理状模様がある光沢の強い黒色の上部と、粗面で光沢のない灰褐色の下部の着点に別れる。

・アサ (*Cannabis sativa* L.) クワ科アサ属

果実が検出された。灰褐色、長さ4mm、幅3mm、厚さ2mm程度の歪な広倒卵体。基部は切形、頂部に径1mm程度の楕円形の突起がある。果皮表面は粗面で葉脈状網目模様がある。

・カナムグラ (*Humulus japonicus* Sieb. et Zucc.) クワ科カラハナソウ属

核が検出された。暗灰褐色、径4mm、厚さ1mm程度の側面観は円形、上面観は両凸レンズ形。基部はやや尖る。頂部は切形で、淡黄褐色、径1mm程度のハート形の窪点がある。表面は粗面。

・サナエタダ近似種 (*Polygonum cf. lapathifolium* L.) タデ科タデ属

果実が検出された。黒褐色、径2mm程度の偏平な円状二面体。頂部はやや尖り、2花柱を欠損する。基部には灰褐色の萼があり、先が2つに分かれ反り返る果長よりやや長い花被の脈が伸びる。果皮表面は平滑で光沢があり、両面中央はやや凹む。

・ヤナギタダ近似種 (*Polygonum cf. hydropiper* L.) タデ科タデ属

果実が検出された。黒褐色、長さ2.5mm、径1.5mm程度の背面正中線上に鈍縁のある広卵体。頂部は尖り、花柱を欠損する。基部は切形で灰褐色の萼がある。果皮表面には明瞭な網目模様がある。

#### (4) 考 察

古代とされるS D34溝跡、S K105土坑、S K115土坑と、近世とされるS K32土坑からはモモの核が確認され、S D34溝跡からはアサの果実が確認された。モモとアサは栽培のために持ち込まれた渡来種とされ、モモは觀賞用の他、果実や核の中にある仁(種子)などが食用、薬用等に、アサは果実が食用や油料に、繊維が衣料や縄用に利用されることから、当時の本遺跡周辺域で利用されていたことが推定される。

栽培種以外の分類群のうち、S D34溝跡、S K115土坑、S K116土坑から確認されたオニグルミ、S K115土坑から確認されたトチノキは、溪流沿いの肥沃地などに溪畔林を形成する落葉高木であることから、本遺跡周辺域の河畔林に由来すると考えられる。オニグルミは核内部の子葉が生食可能、トチノキは種子があく抜きすれば食用可能な有用植物で、長期保存可能で収量も多いことから、古くから植物質食糧として利用され、遺跡出土例も多い(渡辺1975など)。本遺跡で出土した種実には、人間による直接の利用痕跡は認められない完形個体も確認されるが、S K115出土オニグルミ核の破片は頂部が炭化していることから、中の子葉を取り出すために加熱した痕跡の可能性はある。すなわち当時の本遺跡周辺域の森林より採取し、集落内で食用利用されたことが想定される。

なお、S D34溝跡から確認された草本のカナムグラ、サナエタダ(近似種)、ヤナギタダ(近似種)は、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群であることから、調査地周辺域の草地環境に由来すると考えられる。

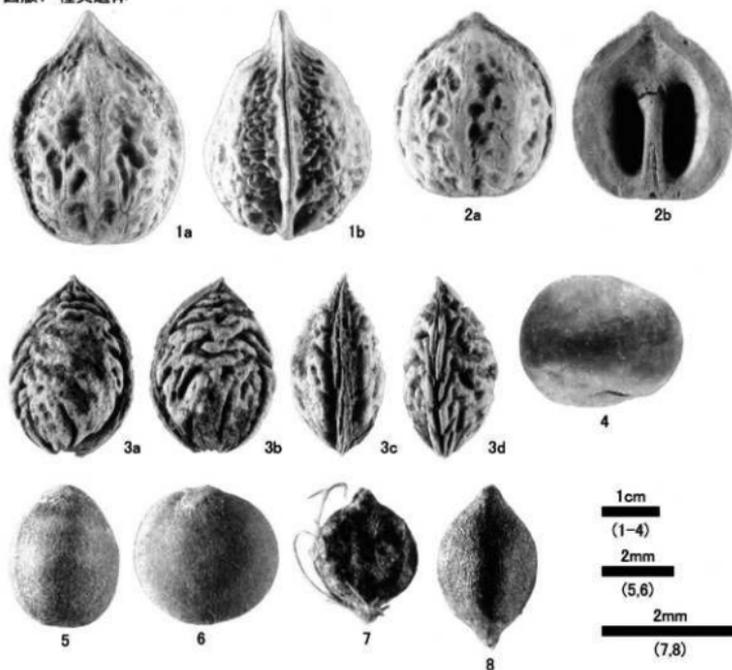
#### 引用文献

- 石川 茂雄 1994 原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会.328p.  
 中山 五大・井之川浩秀・南谷 忠志 2000 日本植物種子図鑑.東北大学出版会.642p.  
 渡辺 誠 1975 縄文時代の植物食糧.雄山閣出版.187p.

表1. 種実同定結果

試料 No	掲載 No	遺跡名	遺構名	層位	時期	分類群	部位	状態	個数	計測値(mm)			備考	
										長さ	幅	厚さ		
1804	-	MHS I	SK32	土坑	2層炭化層下位	近世	ナギ	核	完形	1	20.48	13.29	10.84	炭山産地
1812	954	MHS I	SD34	溝跡	南壁2層~底面	古代	モモ	核	完形	1	27.02	21.01	15.58	
1813	965	MHS I	SD94	溝跡	床面No.19	古代	アサ	果実	完形	2				
						木炭品No.46内の土	カナムグラ	核	完形	3				
1815	956	MHS I	SD34	溝跡	床面No.19	木炭品No.46内の土	古代	サナエタデ近似種	果実	完形	3			
							ヤナギタデ近似種	果実	完形	2				
1817	967	MHS I	SD94	溝跡	北壁2層~底面	古代	オニグルミ	核	完形	1	39.81	29.1	28.3	
802	1521	MHS II	SK105	土坑	南半壁土下位照掘土	古代	ナギ	核	完形	1	28.18	21.96	16.41	
812	1523	MHS II	SK115	土坑	北半壁土3層	古代	トチノキ	種子	完形	1	21.62	27.67	-	
815	1525	MHS II	SK115	土坑	北半壁土3層	古代	モモ	核	完形	1	31.16	21.55	15.78	
816	-	MHS II	SK115	土坑	北半壁土3層	古代	オニグルミ	核	半分	1	31.56	32.07	-	炭山産地
819	1526	MHS II	SK116	土坑	西半壁土3層	古代	オニグルミ	核	半分	1	31.58	26.14	-	

図版1 種実遺体



1. オニグルミ 核(No.1817;MHS I SD34 溝跡)      2. オニグルミ 核(No.819;MHS II SK116 土坑)  
 3. モモ 核(No.802;MHS II SK105 土坑)      4. トチノキ 種子(No.812;MHS II SK115 土坑)  
 5. アサ 果実(No.1813;MHS I SD34 溝跡)      6. カナムグラ 核(No.1813;MHS I SD34 溝跡)  
 7. サナエタデ近似種 果実(No.1815;MHS I SD34 溝跡)  
 8. ヤナギタデ近似種 果実(No.1815;MHS I SD34 溝跡)

### 3 放射性炭素年代測定 (南日詰小路口 I・II 遺跡における放射性炭素年代)

(株) 加速器分析研究所

#### (1) 測定対象試料

南日詰小路口 I・II 遺跡は、岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口26-2ほか(北緯39° 31' 51"、東経141° 10' 12")に所在する。北上川右岸の低地に立地し、標高は92~93mである。南日詰小路口 I 遺跡の測定対象試料は、S D34溝跡出土木炭(1896:IAAA-92068)、S D36溝跡出土木炭(1915:IAAA-92069)、S K32土坑出土木炭(1920:IAAA-92070)、S D35溝跡出土木片(1758:IAAA-92071)、南日詰小路口 II 遺跡の測定対象試料はS K107土坑出土木炭(496:IAAA-92072)、S I103住居跡出土木炭(498:IAAA-92073)、S K115土坑出土木炭(504:IAAA-92074)、S D122溝跡出土木炭(507:IAAA-92075)、S K127土坑出土木炭(511:IAAA-92076)、S K105土坑出土木片(701:IAAA-92077)、合計10点である。

#### (2) 測定の意義

遺情・遺物の前後関係、集落の継続機関を明らかにする。

#### (3) 化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- 2) 酸処理、アルカリ処理、酸処理(AAA: Acid Alkali Acid)により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では1Nの塩酸(80℃)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では1Nの水酸化ナトリウム水溶液(80℃)を用いて数時間処理する。なお、AAA処理において、アルカリ濃度が1N未満の場合、表中にAaAと記載する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では1Nの塩酸(80℃)を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- 3) 試料を酸化銅と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500℃で30分、850℃で2時間加熱する。
- 4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出(水素で還元)し、グラファイトを作製する。
- 6) グラファイトを内径1mmのカソードに詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着する。

#### (4) 測定方法

測定機器は、3MVタンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDII-2)を使用する。測定では、米国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOxII)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

#### (5) 算出方法

- 1) 年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。
- 2) 14C年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大気中14C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。この値は、 $\delta 13C$ によって補正された値である。

14C年代と誤差は、1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。また、14C年代の誤差 ( $\pm 1\sigma$ ) は、試料の14C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

- 3)  $\delta^{13}C$  は、試料炭素の $^{13}C$ 濃度 ( $^{13}C/^{12}C$ )を測定し、基準試料からのずれを示した値である。同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差(‰)で表される。測定には質量分析計あるいは加速器を用いる。加速器により $^{13}C/^{12}C$ を測定した場合には表中に(AMS)と注記する。
- 4) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の $^{14}C$ 濃度の割合である。
- 5) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の $^{14}C$ 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の $^{14}C$ 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 $^{14}C$ 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ( $1\sigma=68.2\%$ )あるいは2標準偏差 ( $2\sigma=95.4\%$ )で表示される。暦年較正プログラムに入力される値は、ドット桁を四捨五入しない $^{14}C$ 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal04データベース (Reimer et al 2004)を用い、OxCalv4.1較正プログラム (Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001)を使用した。

#### (6) 測定結果

南口詰小路口Ⅰ遺跡出土試料の $^{14}C$ 年代は、S D34溝跡出土の1896が $900 \pm 30$ yrBP、S D36溝跡出土の1915が $910 \pm 30$ yrBP、S K32土坑出土の1920が $270 \pm 30$ yrBP、S D35溝跡出土の1758が $920 \pm 30$ yrBPである。S D34～36の試料はいずれも古代に相当する年代値で、暦年較正年代 ( $1\sigma$ )は11世紀後半から12世紀頃の範囲を示す。S K32の試料の暦年較正年代 ( $1\sigma$ )は16世紀から18世紀で、17世紀頃の確率が高くなっている。

南日詰小路口Ⅱ遺跡出土試料の $^{14}C$ 年代は、S K107土坑出土の496が $860 \pm 30$ yrBP、S I103住居跡出土の498が $1190 \pm 30$ yrBP、S K115土坑出土の504が $920 \pm 30$ yrBP、S D122溝跡出土の507が $890 \pm 30$ yrBP、S K127土坑出土の511が $890 \pm 30$ yrBP、S K105土坑出土の701が $910 \pm 30$ yrBPである。いずれも古代の年代値で、暦年較正年代 ( $1\sigma$ )は、S I103の試料が8世紀末から9世紀頃、S K105、S K115、S K127、S D122の試料が11世紀後半から12世紀頃、S K107の試料が12世紀後半から13世紀前半頃の範囲を示している。

炭素含有率はすべて60%前後を越える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

#### 参考文献

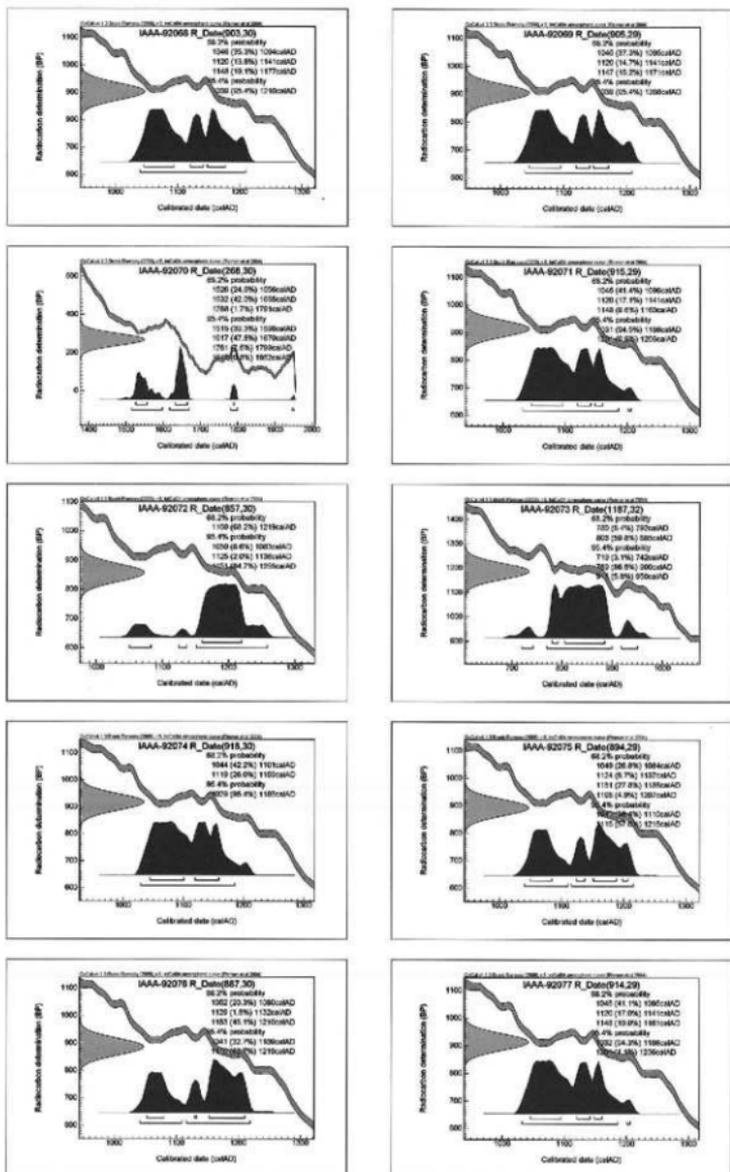
- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}C$  data, Radiocarbon 19, 355-363
- Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, Radiocarbon 37 (2) , 425-430
- Bronk Ramsey C. 2001 Development of the radiocarbon calibration program, Radiocarbon 43 (2A) , 355-363
- Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggly Matching' radiocarbon dates, Radiocarbon 43 (2A) , 381-389
- Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, Radiocarbon 46, 1029-1058

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-92068	1896	SD34南野 2層一底西	木炭	AAA	-25.54±0.67	900±30	89.36±0.34
IAAA-92069	1915	SD36溝跡 南側トレンチ	木炭	AAA	25.52±0.56	910±30	89.34±0.33
IAAA-92070	1920	SK32上坑 2層No.2	木炭	AAA	-26.50±0.54	920±30	89.71±0.36
IAAA-92071	1758	SD35溝跡 埋土7層一底西	小片	AAA	-27.01±0.49	270±30	89.22±0.33
IAAA-92072	496	SK107上坑 北半埋土5層	木炭	AAA	-21.50±0.70	860±30	89.88±0.34
IAAA-92073	498	SI103住居跡 運道部	木炭	AAA	-27.75±0.51	1,190±30	86.25±0.35
IAAA-92074	504	SK115土坑 北半5層	木炭	AAA	-25.86±0.53	920±30	89.19±0.33
IAAA-92075	507	SD122溝跡 南側埋土1層	木炭	AAA	-25.80±0.36	900±30	89.46±0.33
IAAA-92076	511	SK127上坑 室半埋土1層	木炭	AAA	-25.90±0.50	890±30	89.53±0.34
IAAA-92077	701	SK105土坑 埋土No.1	小片	AAA	-26.04±0.56	910±30	89.24±0.33

[#331.3315]

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年校正用 (yrBP)	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-92068	910±30	89.26±0.31	903±30	1046AD-1091AD (35.3%) 1120AD-1141AD (13.8%) 1148AD-1177AD (19.1%)	1089AD-1210AD (95.4%)
IAAA-92069	910±30	89.24±0.31	905±29	1045AD-1095AD (37.3%) 1120AD-1141AD (14.7%) 1147AD-1171AD (16.2%)	1089AD-1208AD (95.4%)
IAAA-92070	290±30	96.41±0.34	268±30	1526AD-1556AD (24.6%) 1632AD-1665AD (42.0%) 1788AD-1791AD (1.7%)	1515AD-1598AD (39.3%) 1617AD-1670AD (47.8%) 1781AD-1799AD (7.5%) 1947AD-1952AD (0.8%)
IAAA-92071	950±30	88.86±0.31	915±29	1045AD-1096AD (11.4%) 1120AD-1141AD (17.1%) 1148AD-1160AD (9.6%)	1031AD-1186AD (94.5%) 1201AD-1206AD (0.9%)
IAAA-92072	800±30	90.52±0.31	857±30	1160AD-1219AD (68.2%)	1050AD-1083AD (8.6%) 1125AD-1136AD (2.0%) 1151AD-1258AD (84.7%)
IAAA-92073	1,230±30	85.77±0.34	1,187±32	780AD-792AD (8.4%) 806AD-885AD (59.8%)	719AD-742AD (3.1%) 769AD-900AD (86.5%) 918AD-950AD (5.8%)
IAAA-92074	930±30	89.04±0.32	918±30	1044AD-1101AD (42.2%) 1119AD-1159AD (26.0%)	1029AD-1185AD (95.4%)
IAAA-92075	910±30	89.32±0.32	894±29	1049AD-1084AD (26.8%) 1124AD-1137AD (8.7%) 1151AD-1188AD (27.8%) 1198AD-1207AD (4.9%)	1040AD-1110AD (38.4%) 1116AD-1215AD (57.0%)
IAAA-92076	900±30	89.37±0.32	887±30	1052AD-1080AD (20.3%) 1129AD-1132AD (1.8%) 1153AD-1210AD (46.1%)	1041AD-1109AD (32.7%) 1116AD-1219AD (62.7%)
IAAA-92077	930±30	89.05±0.31	914±29	1045AD-1096AD (41.1%) 1120AD-1141AD (17.0%) 1148AD-1161AD (10.0%)	1032AD-1186AD (94.3%) 1201AD-1206AD (1.1%)

[#346]



【参考】暦年校正年代グラフ

写 真 图 版





航空写真（遺跡南方上空から）



かわらけ

写真図版1 航空写真、かわらけ



国産陶器



中国産磁器

写真図版2 国産陶器、中国産磁器



航空写真（道跡南方上空から）



航空写真（道跡直上から）



航空写真a (昭和23年撮影)



航空写真b (昭和45年撮影)

写真図版4 航空写真(2)



航空写真a (昭和23年撮影)



航空写真b (昭和45年撮影)



H3区全景 (南から)



H4区全景 (南から)



H1・H2区全景  
(南から)



I区全景（北から）



I区全景（南から）



I区中央  
(東から)



基本土層I区北側(東から)



基本土層I区南側(西から)



見学会(平成21年7月24日、H4区)



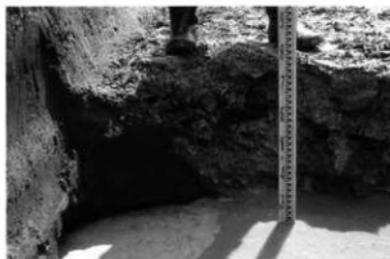
J区全景 (東から)



K区全景 (東から)



基本土層J区 (北から)



K区トレンチ (西から)



L区全景 (西から)



基本土層L区東(南から)



N区全景(東から)



M区全景(西から)



基本土層N区西(南から)



基本土層M区(南から)



基本土層N区東(南から)



O区全景 (北から)



南日通小路口1道路

基本土層O区南 (西から)



O区全景 (南から)



P区全景 (北から)



O区全景 (南から)



P区トレンチ65 (南から)



Q区全景（北から）



Q区全景（南から）



R1区全景 (西から)



南日精小路口1遺跡

基本土層R1区 (南から)



基本土層R2区西 (東から)



R2区全景 (東から)



基本土層R2区東 (北から)



R3区西側 (東から)



R3区全景 (西から)



S区全景 (東から)



S区全景 (西から)



SB01～03 (南から)



SB04～05 (南から)



SB07・08 (南から)



SB09 (南から)



SB11 (東から)



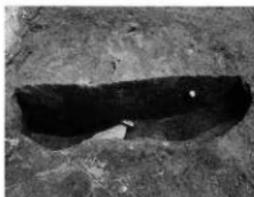
SB10 (北から)



SB12 (東から)



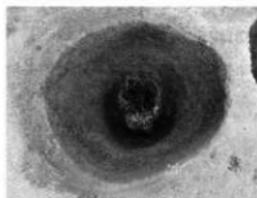
P68断面



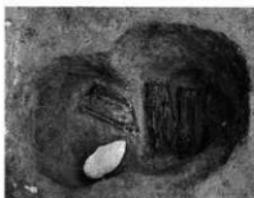
P97・P98 (SB11) 断面



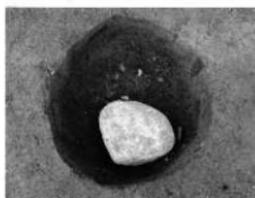
P103 (SB11) 断面



P68柱出土状況



P97・P98 (SB11) 礎板出土状況



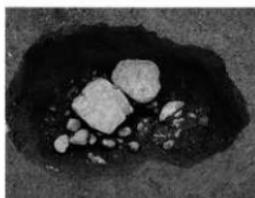
P103 (SB11) 礎盤出土状況



P104 (SB11) 断面



P105 (SB11) 断面



P105 (SB11) 礎出土状況



P106 (SB11) 断面



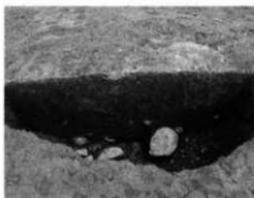
P109断面



P110断面



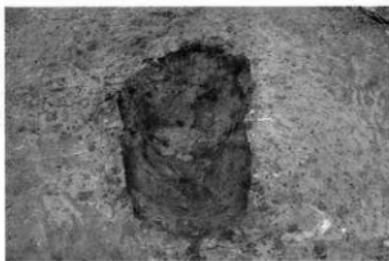
P111断面



P112 (SB11) 断面



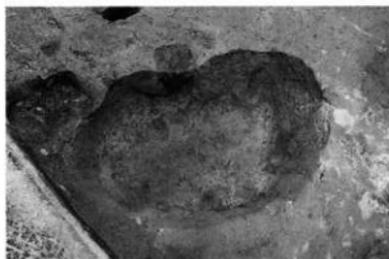
P113 (SB11) 断面



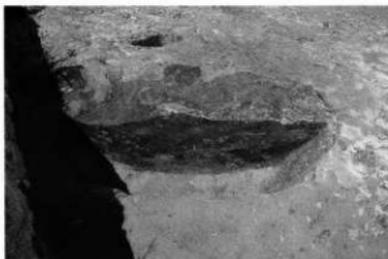
SK01完掘 (南から)



SK01断面 (南から)



SK02完掘 (南から)



SK02断面 (南から)



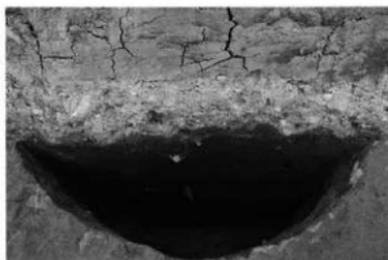
SK03完掘 (西から)



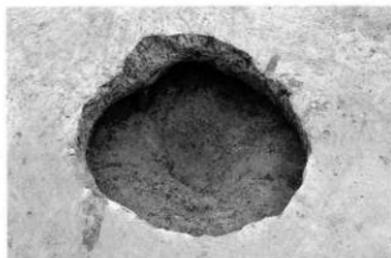
SK03断面 (東から)



SK04完掘 (西から)



SK04断面 (東から)



SK05完掘 (南から)



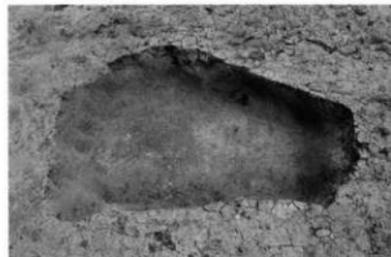
SK05断面 (南から)



SK07遺物出土状況 (南から)



SK05堀出土状況 (南から)



SK07完掘 (南から)



SK07断面 (東から)



SK06完掘 (東から)



SK06断面 (東から)



SK08完掘 (東から)



SK08断面 (西から)



SK09完掘 (東から)



SK09断面 (西から)



SK10完掘 (東から)



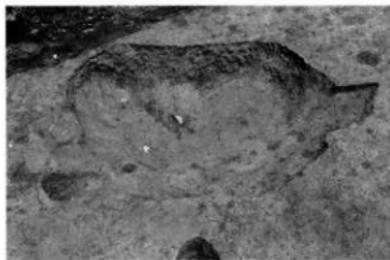
SK10断面 (東から)



SK11完掘 (西から)



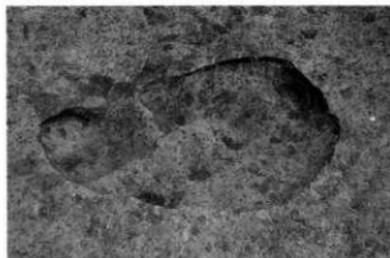
SK11断面 (西から)



SK12完掘 (南から)



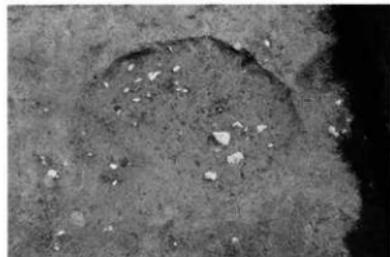
SK12断面 (南から)



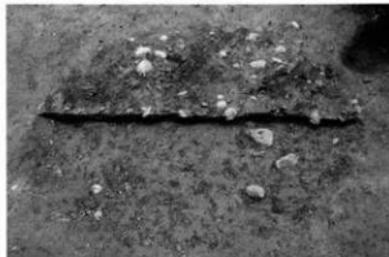
SK13完掘 (西から)



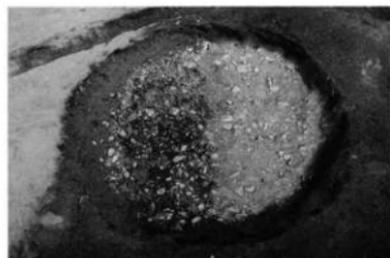
SK13断面 (西から)



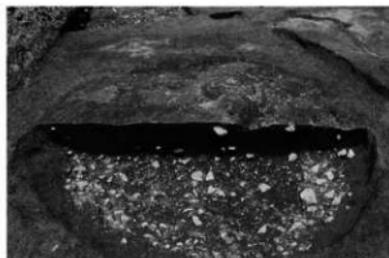
SK14完掘 (西から)



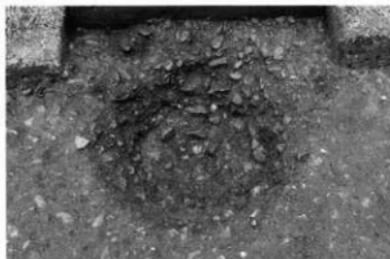
SK14断面 (西から)



SK15完掘 (西から)



SK15断面 (南から)



SK16完掘 (西から)



SK16断面 (西から)



SK18完掘 (南から)



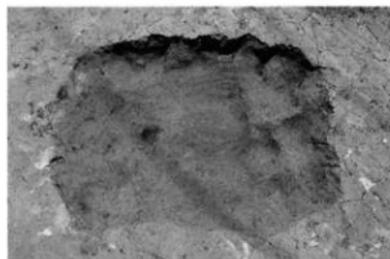
SK18断面 (南から)



SK19完掘 (南から)



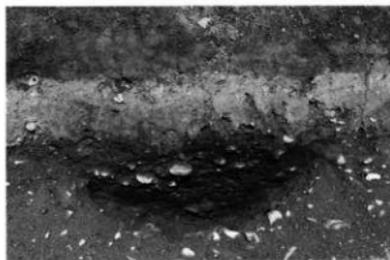
SK19断面 (北から)



SK20完掘 (南から)



SK20断面 (南から)



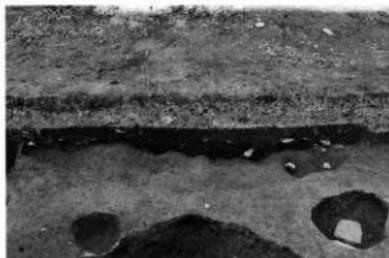
SK17完掘・断面(東から)



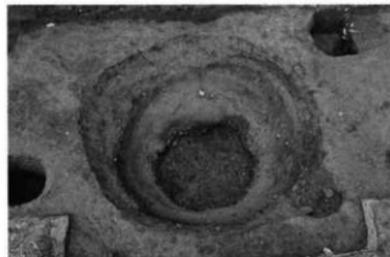
SK24完掘・断面(西から)



SK21完掘(東から)



SK21断面(西から)



SK22完掘(東から)



SK22断面(東から)



SK23完掘(東から)



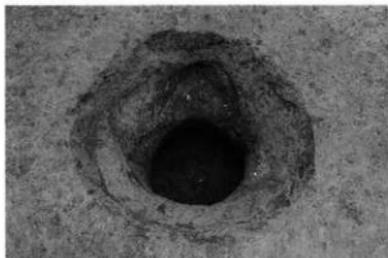
SK23断面(南から)



SK25完掘 (北から)



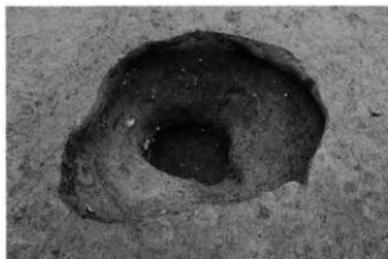
SK25断面 (南から)



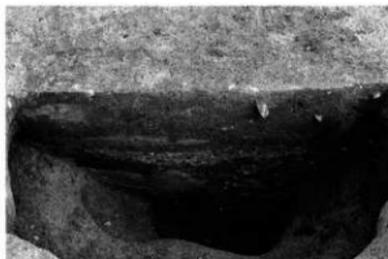
SK26完掘 (南から)



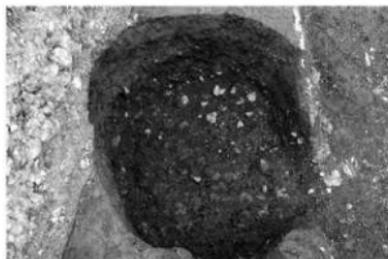
SK26断面 (南から)



SK27完掘 (西から)



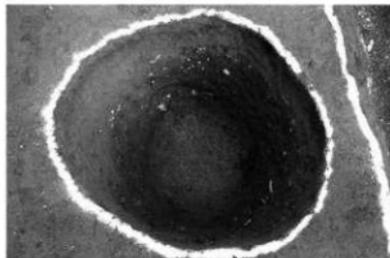
SK27断面 (南から)



SK28完掘 (南から)



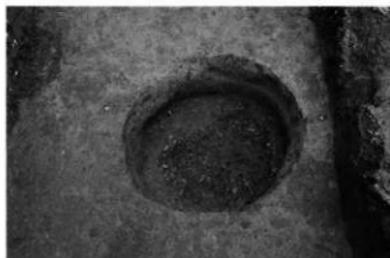
SK28断面・遺物出土状況 (南から)



SK29完掘 (南から)



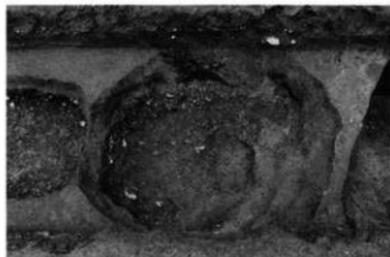
SK29断面 (南から)



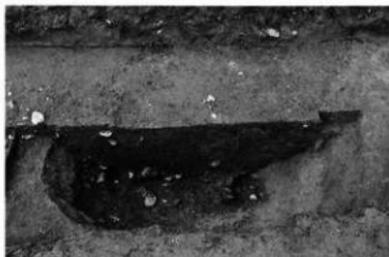
SK30完掘 (南から)



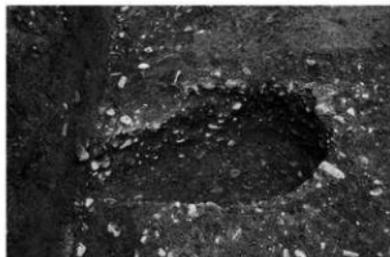
SK30断面 (南から)



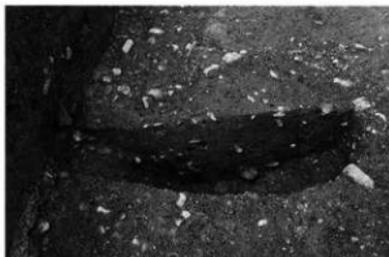
SK31完掘 (東から)



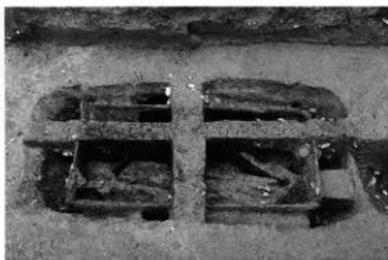
SK31断面 (東から)



SK34完掘 (南から)



SK34断面 (南から)



SK32断面 (東から)



SK32検出 (南から)



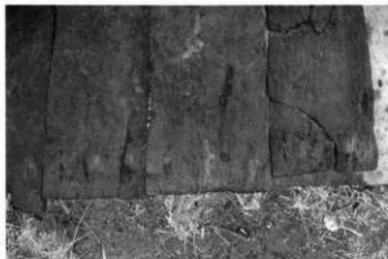
SK32材出土状況 (東から)



SK32断面 (南から)



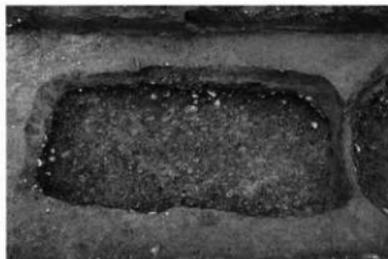
SK32底板出土状況 (東から)



SK32底板端部拡大



SK32横木出土状況 (東から)



SK32完掘 (東から)



SK32完掘 (南から)



SK35断面 (南から)



SK36完掘 (北から)



SK36断面 (南から)



SK33完掘・断面 (南から)



SK37断面 (南から)



SK37・38完掘 (南から)



SK38断面 (南から)



SK39完掘 (東から)



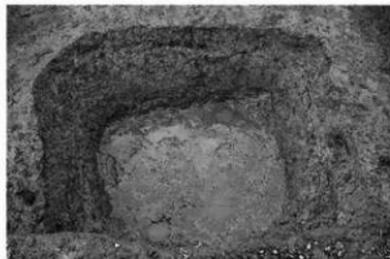
SK39断面 (東から)



SK40完掘 (東から)



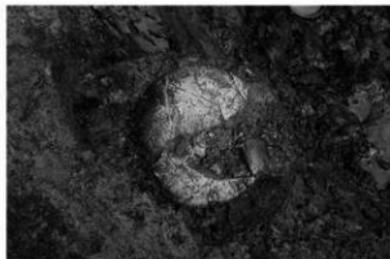
SK40断面 (西から)



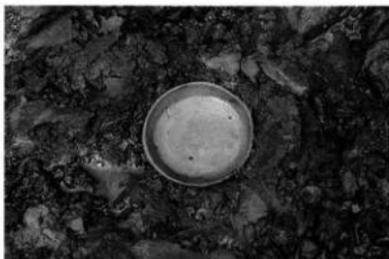
SK41完掘 (南から)



SK41断面 (北から)



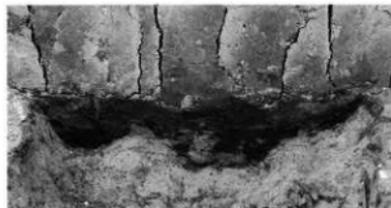
SK41遺物出土状況 (1)



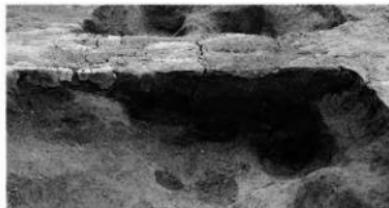
SK41遺物出土状況 (2)



SD01完掘 (東から)



SD01断面A (東から)



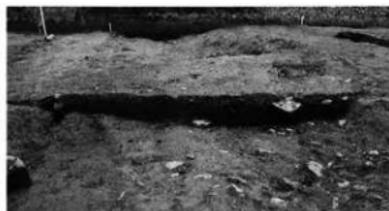
SD01断面B (東から)



SD07完掘 (東から)



SD07断面A (東から)



SD07断面B (東から)



SD03・04完掘 (東から)



SD03断面 (東から)



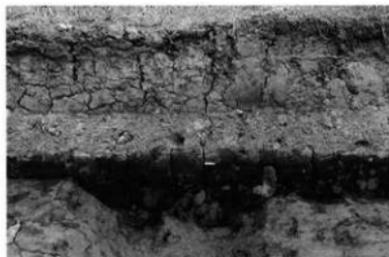
SD05完掘 (西から)



SD04断面 (東から)



SD06完掘 (南から)



SD05断面B (東から)



SD05断面C (南から)



SD08東側完掘（西から）



SD08西側断面（西から）



SD08西側完掘（西から）



SD08断面（東から）



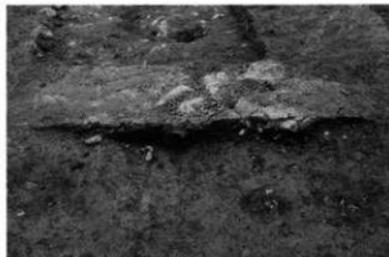
SD09先掘（西から）



SD09断面（西から）



SD10・11完掘（西から）



SD10断面（西から）



SD11・10遺物出土状況（東から）



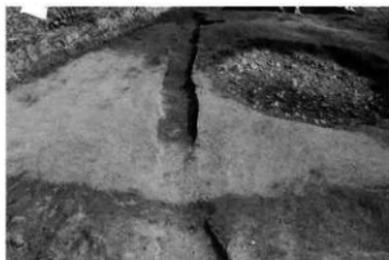
SD11断面（西から）



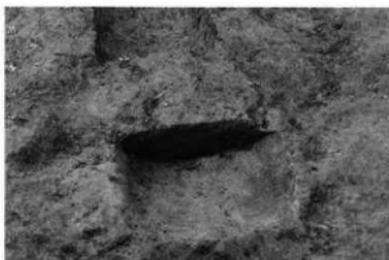
SD12完掘（南から）



SD12断面（南から）



SD13完掘（北から）



SD13断面（南から）



SD14・15・26完掘（西から）



SD13~15断面（西から）



SD16完掘 (西から)



SD16断面 (西から)



SD17完掘 (西から)



SD17断面 (西から)



SD17遺物出土状況 (西から)



SD17遺物出土状況 (南から)



SD18完掘 (西から)



SD18断面 (西から)



SD19完掘 (南から)



SD19断面 (南から)



SD20完掘 (南から)



SD20断面 (南から)



SD21完掘 (南から)



SD21断面 (南から)



SD22完掘 (北から)



SD22断面 (北から)



SD23完掘 (東から)



SD23断面 (東から)



SD24完掘 (東から)



SD24断面 (東から)



SD24遺物出土状況 (南から)



SD25遺物出土状況 (北から)



SD25完掘 (東から)



SD25断面 (西から)



SD27完掘 (西から)



SD27断面 (東から)



SD27断面 (西から)



SD28完掘 (東から)



SD27断面 (西から)



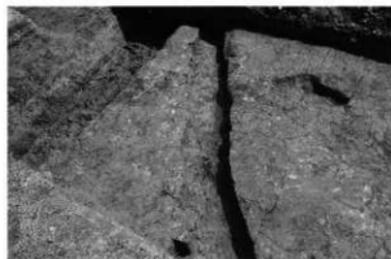
SD28断面 (西から)



SD30完掘 (北から)



SD30断面 (北から)



SD31完掘 (北から)



SD31断面 (北から)



SD32完掘 (北から)



SD32断面 (北から)



SD33完掘 (南から)



SD33断面 (南から)



SD34発掘（北から）



SD34断面A（南から）



SD34断面B（南から）



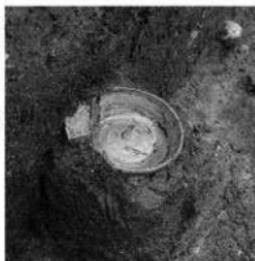
SD34断面C (南から)



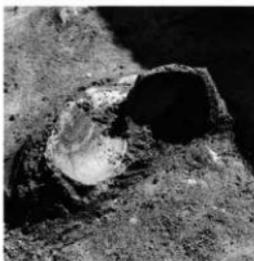
SD34断面E  
(東から)



SD34断面F  
(東から)



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD35完掘 (東から)



SD35完掘 (南から)



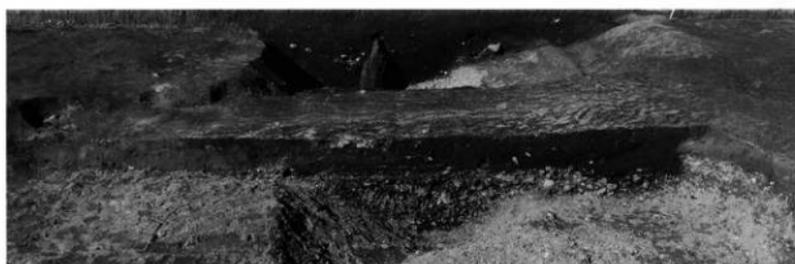
SD35断面 (北から)



SD35完掘（東から）



SD35断面G（東から）



SD35断面H（東から）



SD36・SX01発掘（南から）



SD36・SX01発掘（南から）



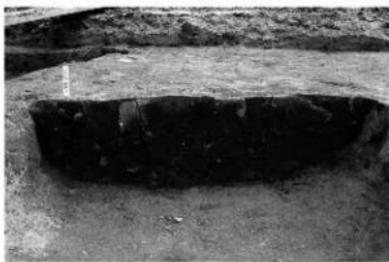
SD36断面（南から）



SD36断面（南から）



SD36発掘 (北から)



SD36断面 (西から)



SD36断面 (東から)



SX01発掘  
(東から)



SD37完掘（東から）



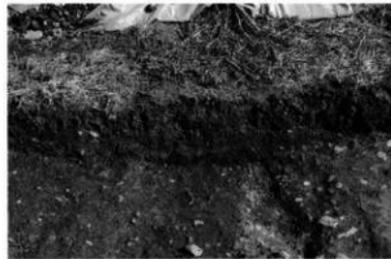
SD37断面（東から）



SD38完掘（北から）



SD38断面（南から）



SD41断面（西から）



SD41完掘（西から）



SD42完掘（北から）



SD42断面（北から）



SD39・40完掘 (東から)



SD39断面 (東から)



SD45完掘 (東から)



SD40断面 (東から)



SD43完掘 (東から)



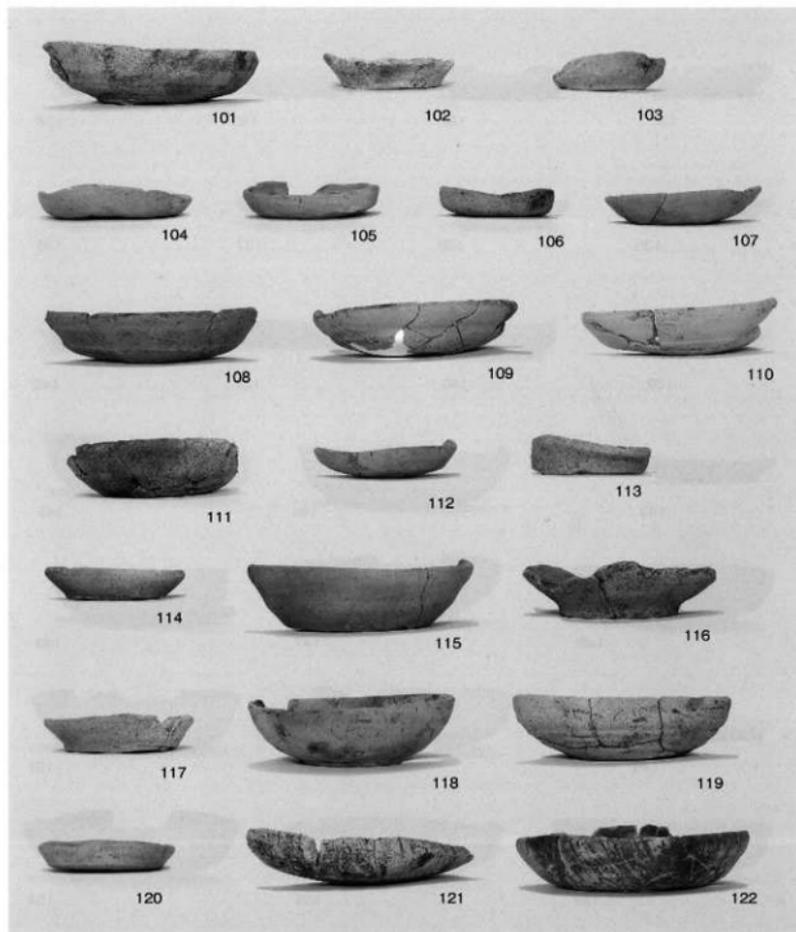
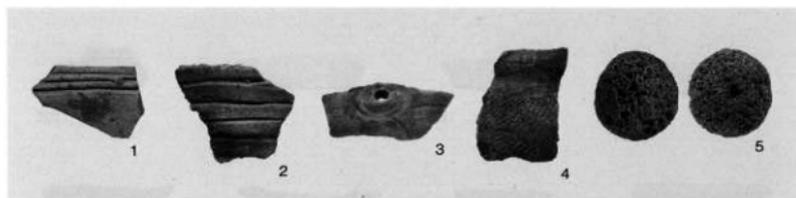
SD43断面 (東から)



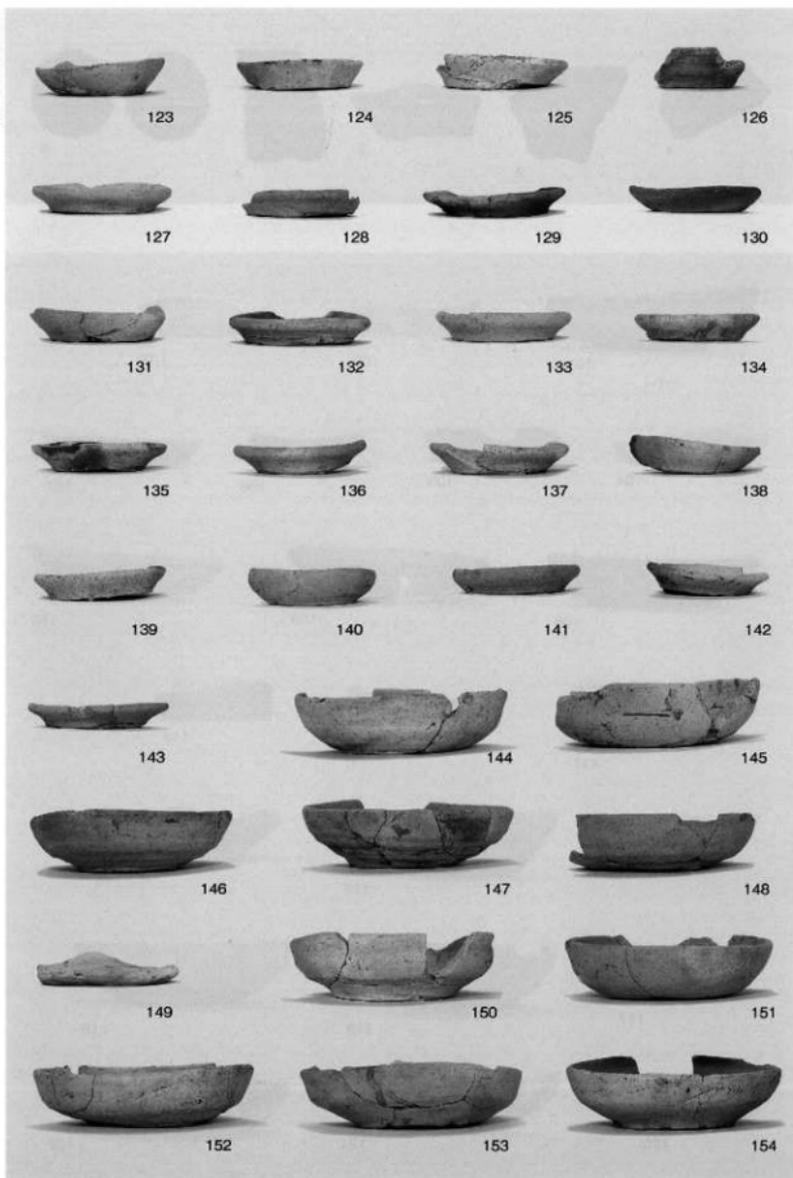
SD44完掘 (西から)



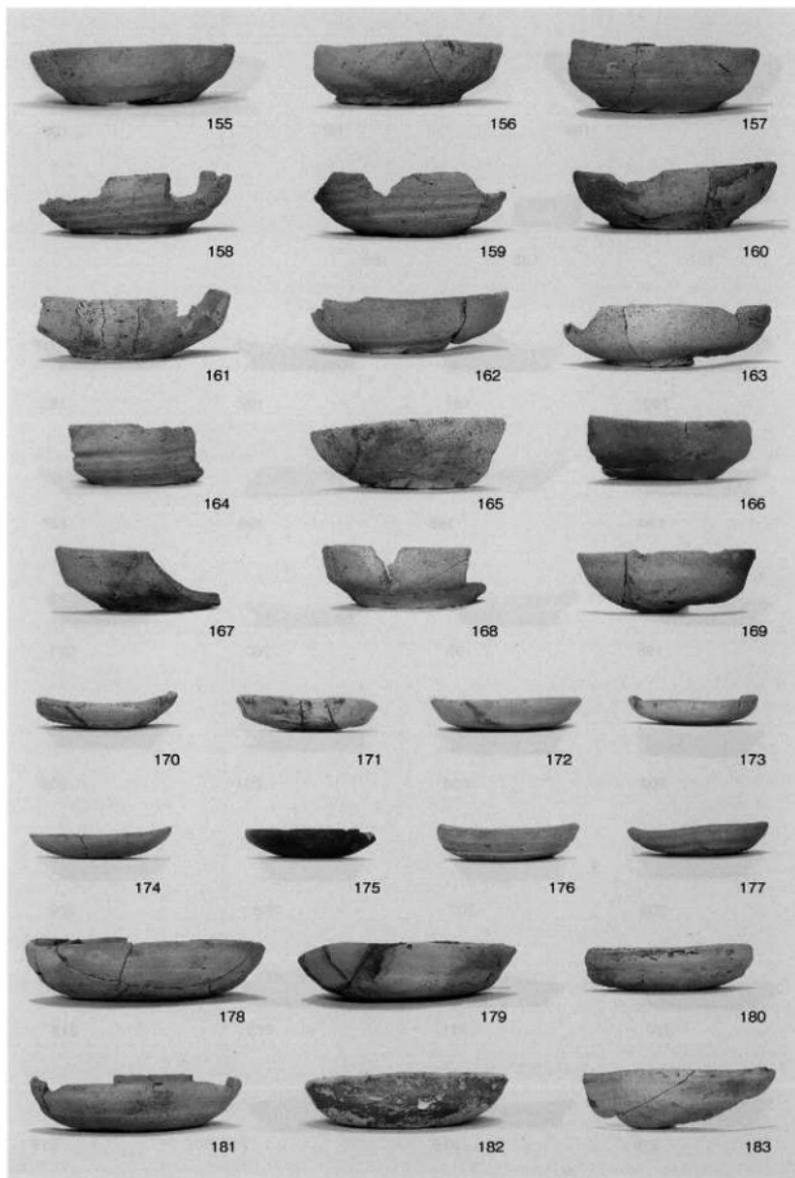
SD44断面 (西から)



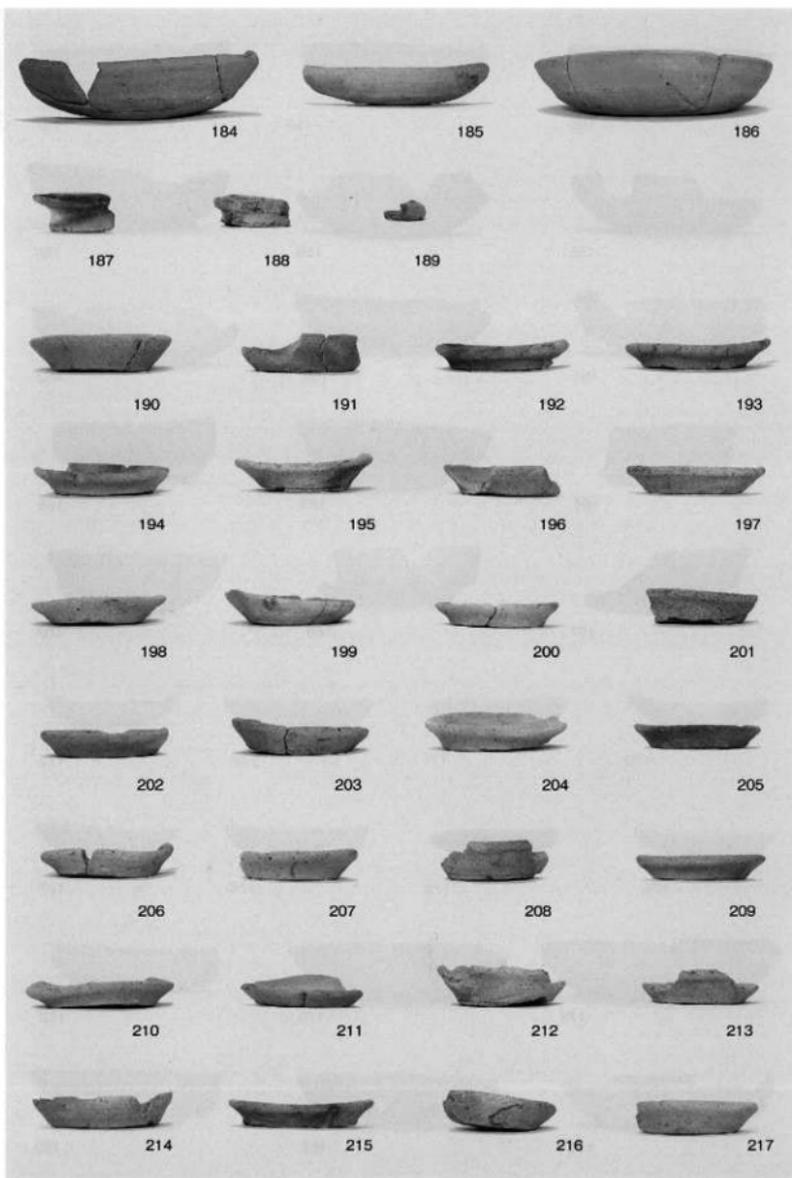
写真図版47 縄文土器、石製品、かわらけ(1)



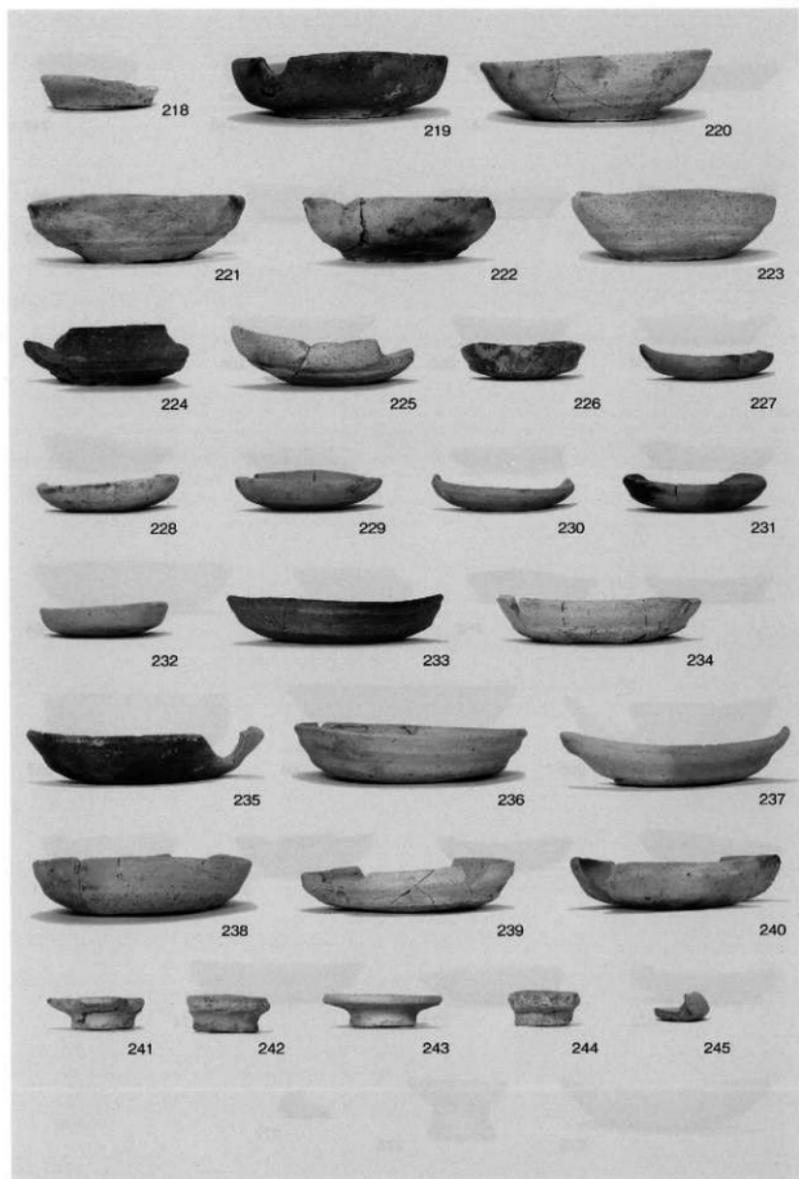
写真図版48 かわらけ (2)



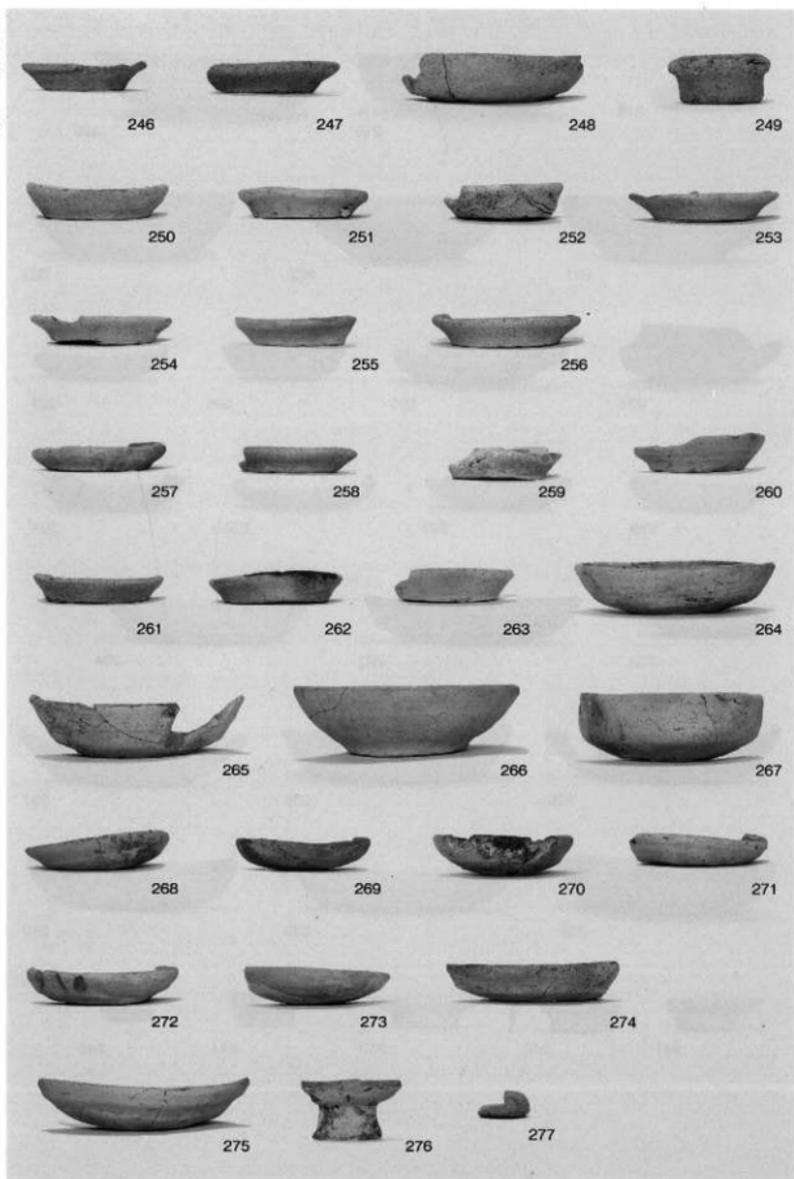
写真図版49 かわらけ (3)



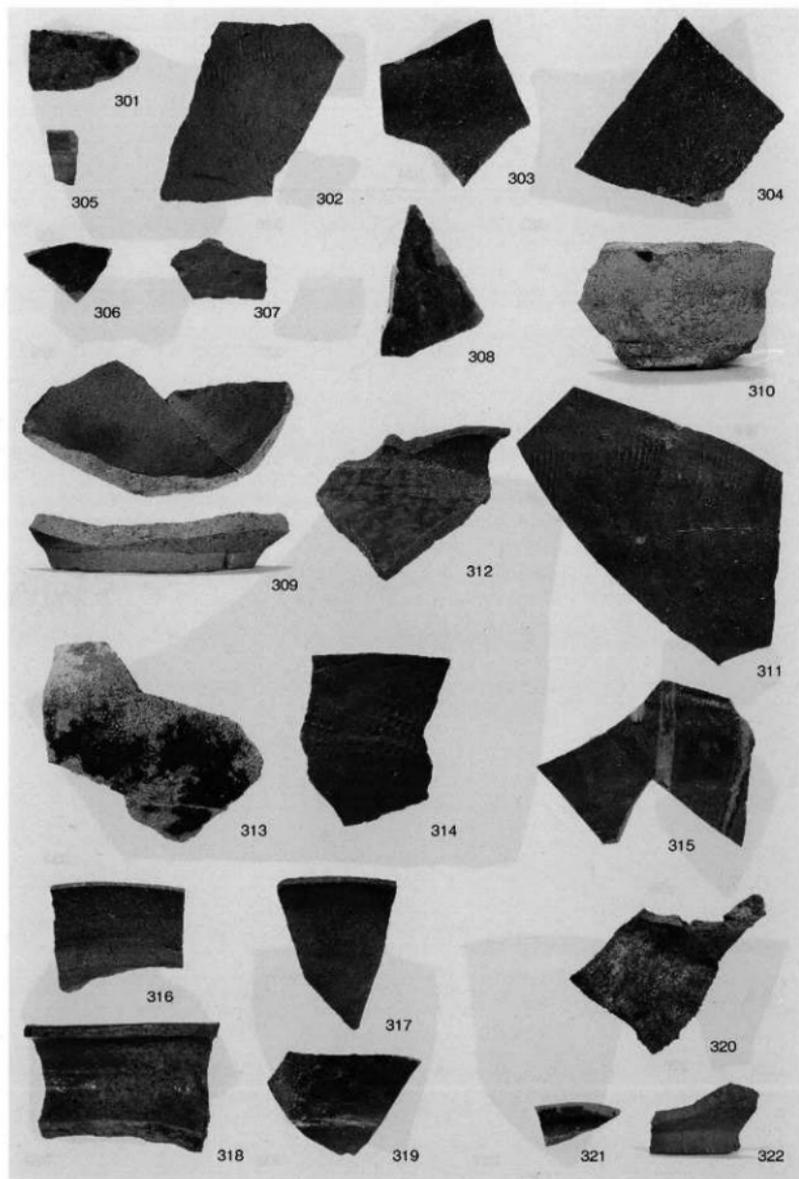
写真図版50 かわらけ(4)



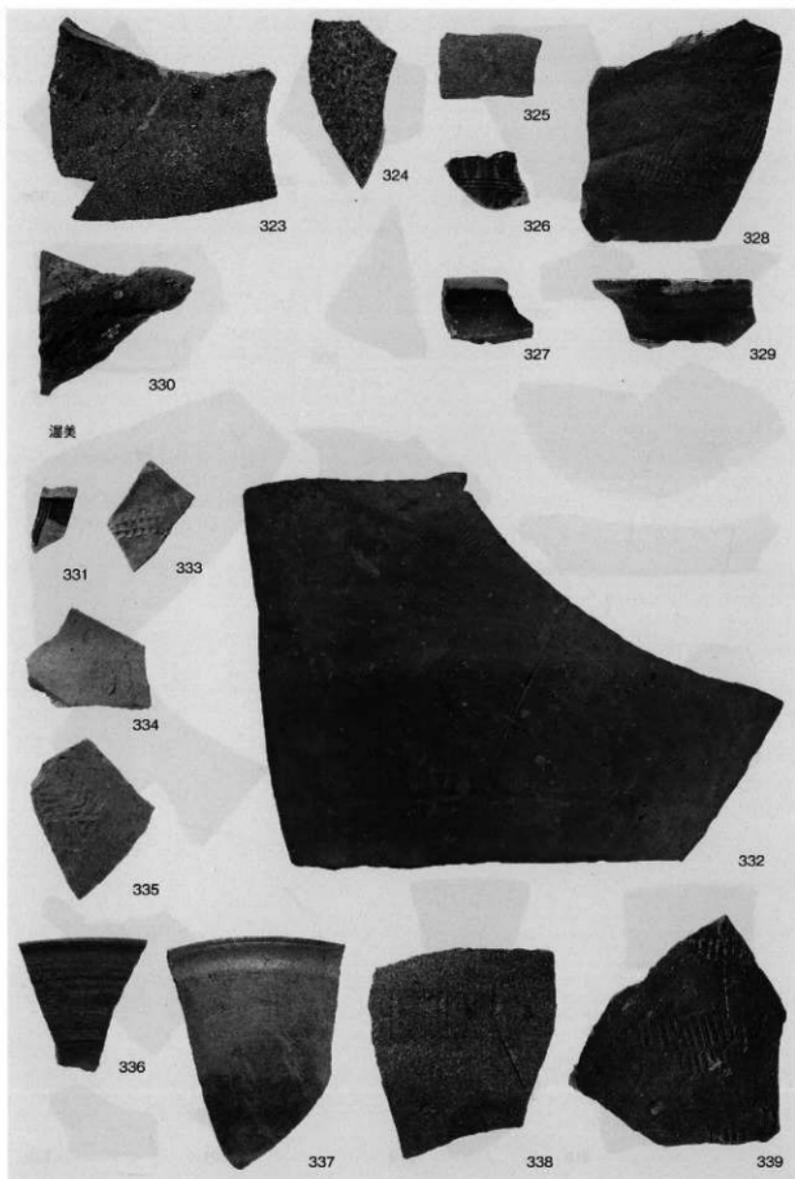
写真図版51 かわらけ (5)



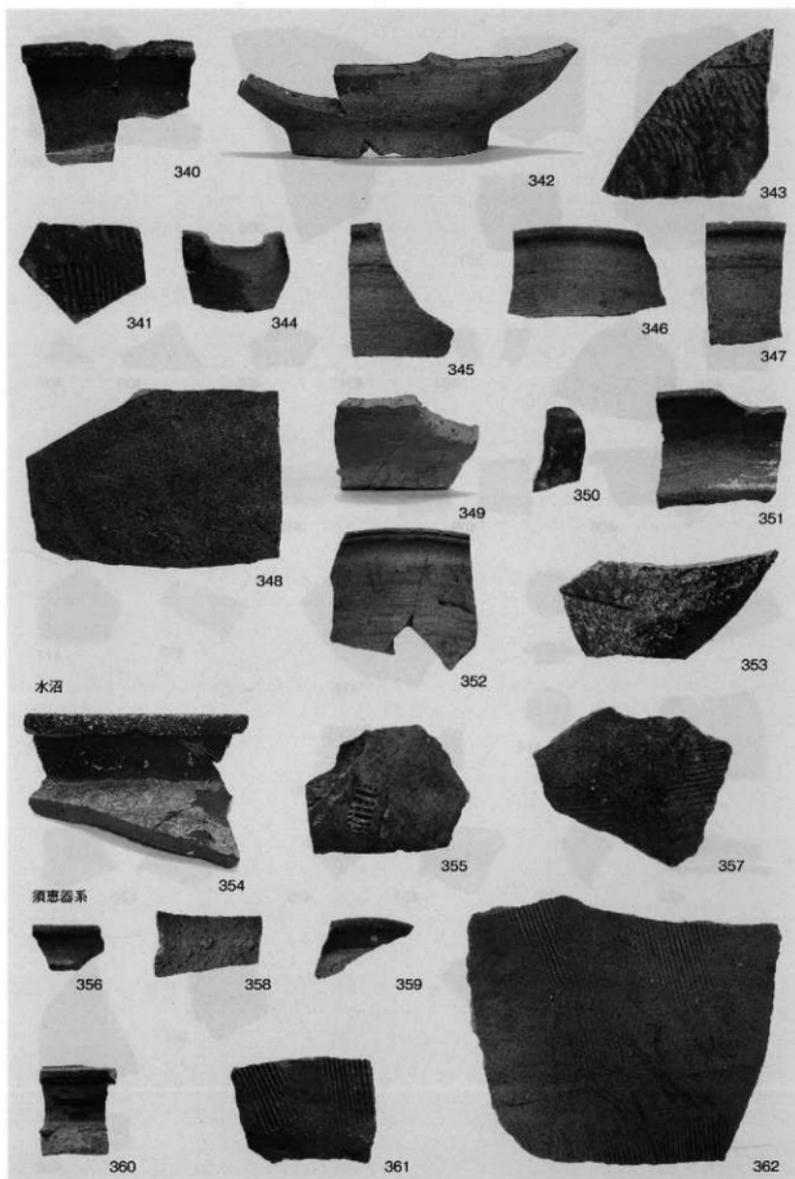
写真図版52 かわらけ (6)



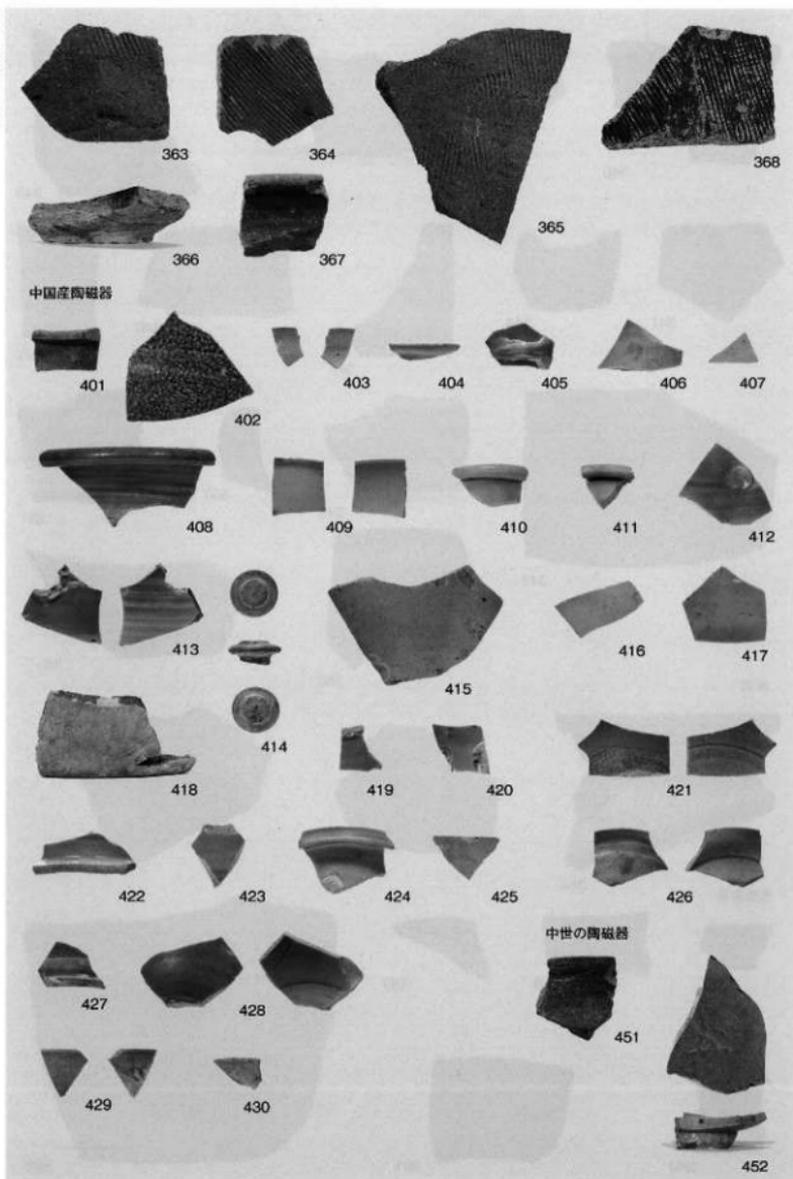
写真図版53 国産陶器：常滑（1）



写真図版54 国産陶器：常滑（2）、瀬美（1）



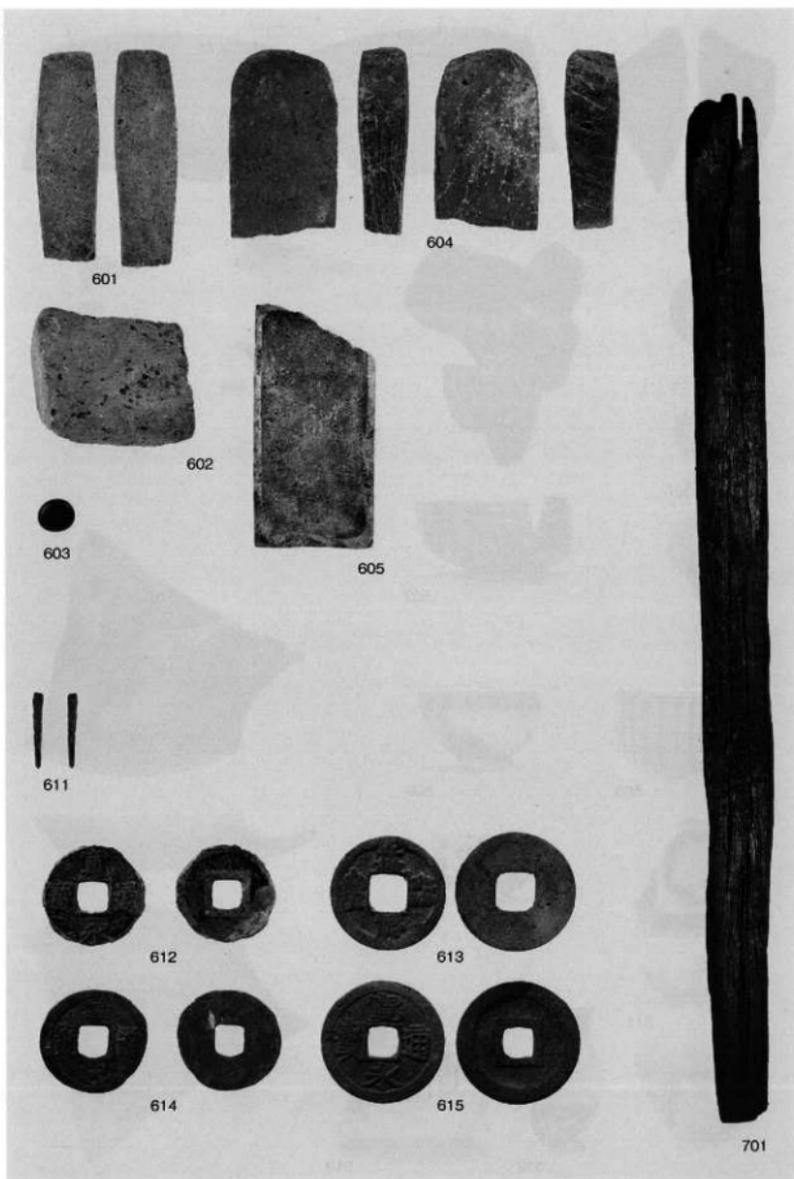
写真図版55 国産陶器：渥美(2)、水沼、須恵器系(1)



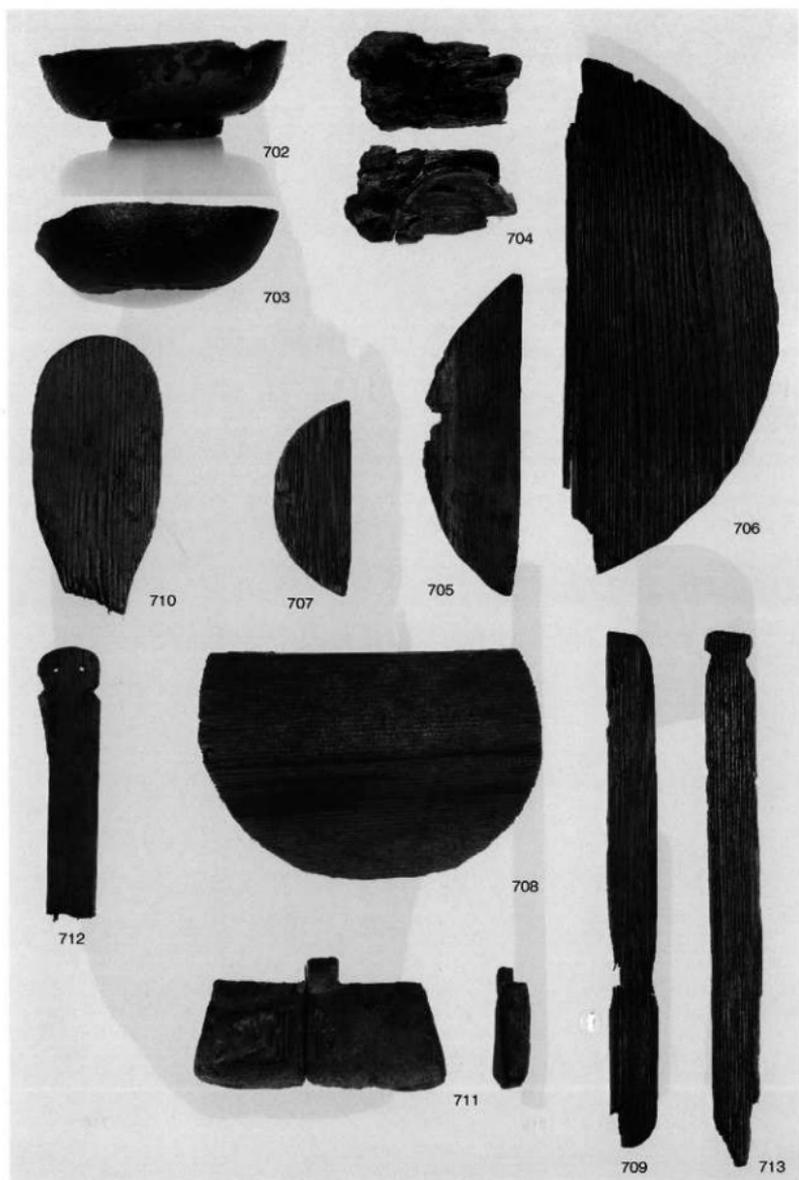
写真図版56 国産陶器：須恵器系（2）、中国産陶磁器、中世の陶磁器



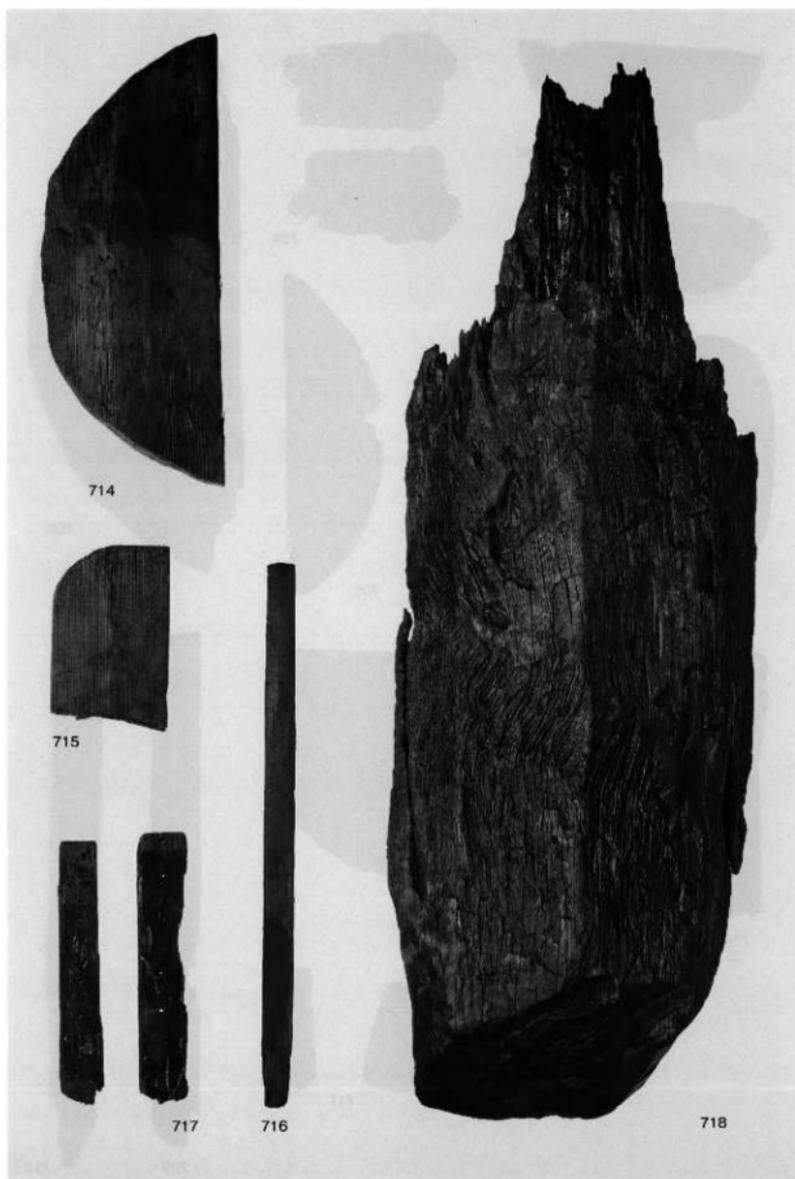
写真図版57 近世・近代の陶磁器



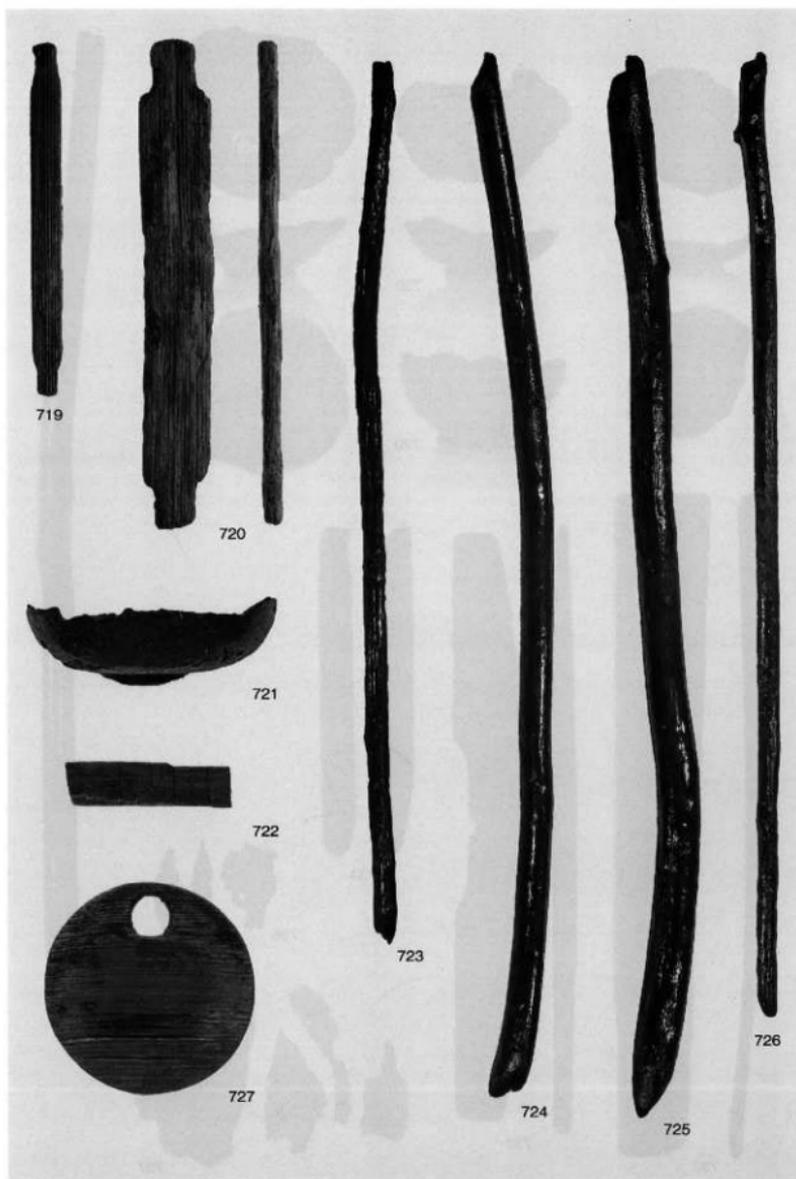
写真図版58 石製品、金属製品、木製品 (1)



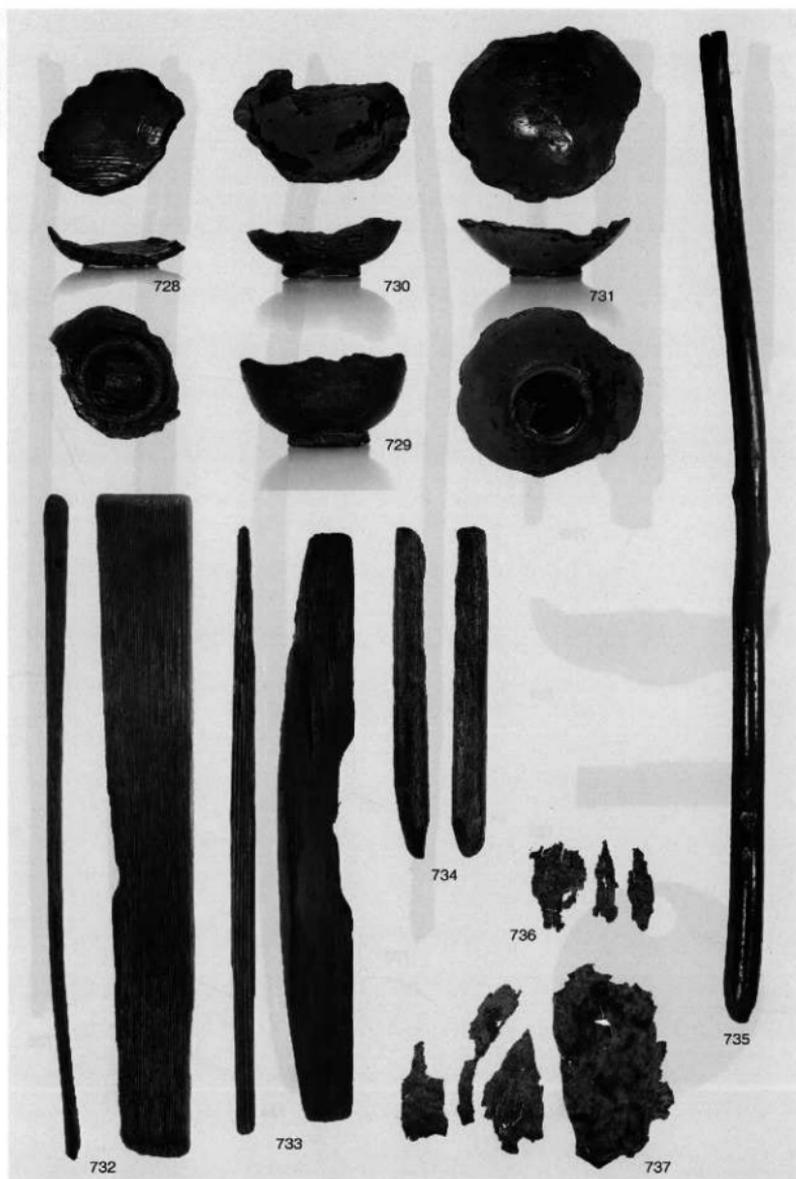
写真図版59 木製品 (2)



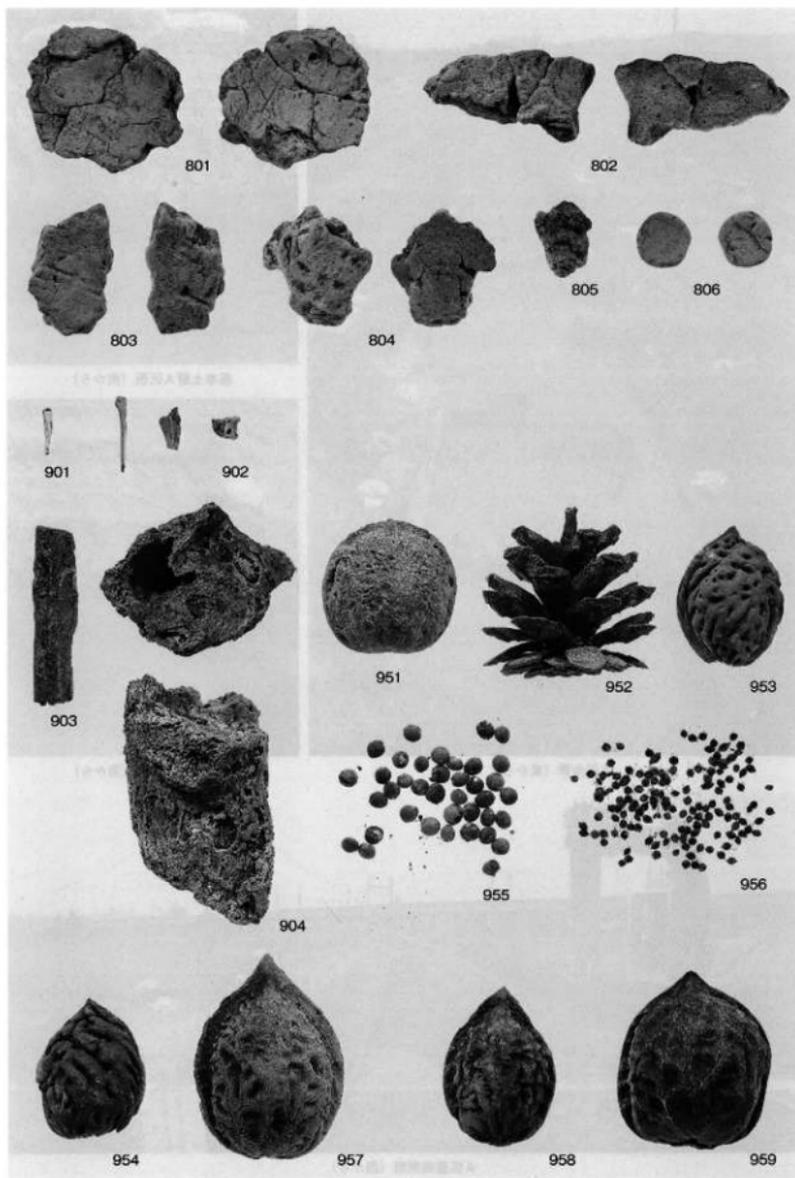
写真図版60 木製品 (3)



写真図版61 木製品 (4)



写真図版62 木製品 (5)



写真図版63 土製品、動物遺体、植物遺体



A区全景 (東から)



基本土層A区西 (南から)



基本土層A区東 (南から)



A区重機掘削 (西から)



B区全景 (西から)



基本土層B区西 (南から)



基本土層B区東 (南から)



B区松掘 (東から)



C区全景 (西から)



C区全景 (東から)



C区西側 (東から)



C区黒色土層 (西から)



D区全景(東から)



基本土層D区西(南から)



基本土層D区東(西から)



D区東側(西から)



D区西側(西から)



E1・E4区全景（東から）



E5区全景（東から）



E3区全景（西から）



E1区東側（東から）



E2区全景（西から）



F1区全景 (北から)



F2区全景 (北から)



F3区全景 (南から)



F4区全景 (南から)



G2区全景（北から）



G1区全景（北から）



G2区全景（南から）



現地公開（平成21年10月24日）



G3区全景 (南から)



G4区全景 (北から)



G4区全景 (南から)



G5区全景 (北から)



G5-1区全景 (東から)



基本土層G5区 (西から)



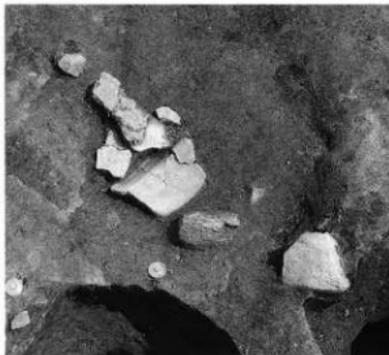
G6区全景 (北から)



G6区全景 (南から)



SI101全景 (北から)



SI101遺物出土状況 (北から)



SI101カマド煙道部断面 (西から)



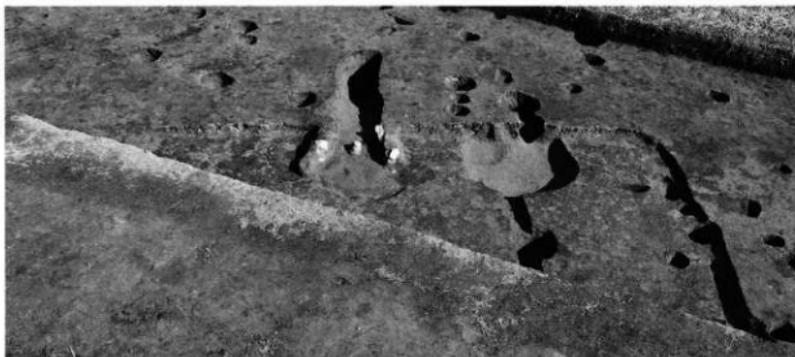
SI101カマド燃焼部焼土断面 (西から)



SI102カマド煙道部完掘 (北から)



SI102カマド煙道部断面 (東から)



SI103完掘（西から）



SI103断面（東から）



SI103検出（北から）



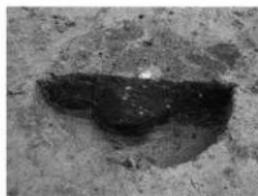
SI103カマド  
(西から)



SI103カマド遺物出土  
状況 (西から)



SI103カマド煙道部断面 (南から)



P1206 (SB101) 断面

SB101完掘 (南から)



SB102完掘 (南から)



SB103完掘 (南から)



P1321 (SB103) 断面



P1330 (SB102) 断面



P1331 (SB102) 断面



P1332 (SB102) 断面



P1332 (SB102) 板出土状況



P1333 (SB102) 断面

写真図版76 SB101～103、柱穴 (1)



SB104～106完掘（南から）



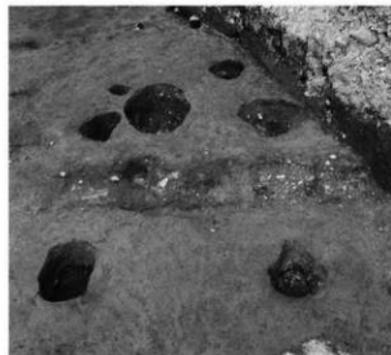
SB107～109完掘（南から）



SB110完掘（南から）



SB111完掘（南から）



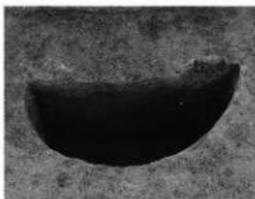
SB112完掘（南から）



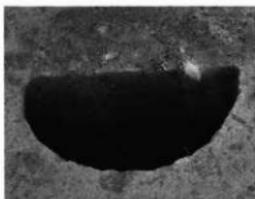
SB113完掘（西から）



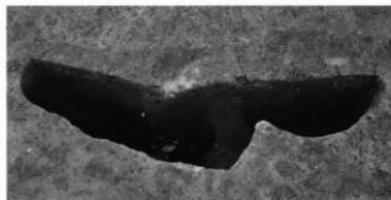
P1221 (SB106) 断面



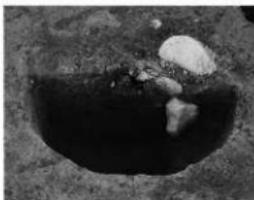
P1224 (SB106) 断面



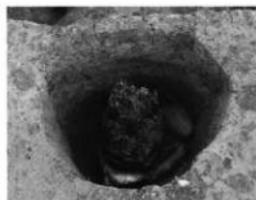
P1230断面



P1225 ~ 1227 (SB105) 断面



P1231断面



P1236 (SB104) 柱出土状況



P1249・P1250 (SB104) 断面



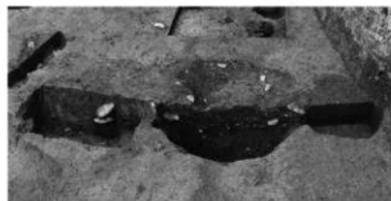
P1252 (SB104) 断面



P1253断面



P1256 (SB104) 断面



P1256・P1315・P1316 (SB104) 断面



P1313・P1335断面



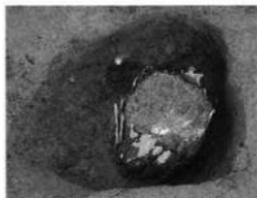
P1282 (SB110) 断面



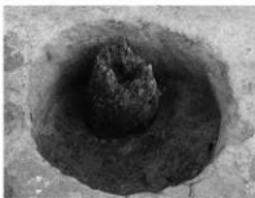
P1286 (SB110) 断面



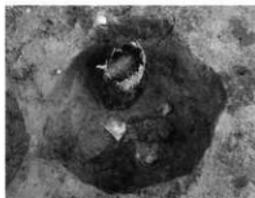
P1287 (SB110) 断面



P1282 (SB110) 柱出土状況



P1286 (SB110) 柱出土状況



P1287 (SB110) 柱出土状況



P1288 (SB110) 断面



P1290 (SB110) 断面



P1291断面



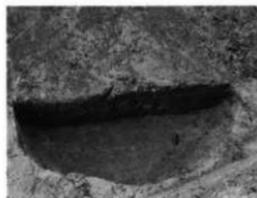
P1292 (SB112) 断面



P1305 (SB112) 断面



P1306 (SB112) 断面



P1307 (SB112) 断面

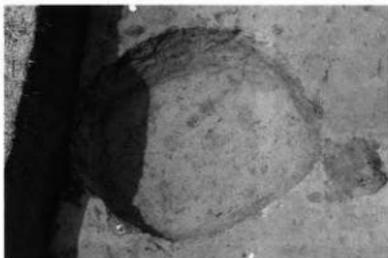


P1311断面



P1311柱出土状況

南日納小路口Ⅱ遺跡



SK101完掘 (東から)



SK101断面 (北から)



SK102完掘 (南から)



SK102断面 (南から)



SK103完掘 (西から)



SK103断面 (西から)



SK104完掘 (南から)



SK104断面 (北から)



SK105概出 (南から)



SK105井戸枠1 (東から)



SK105断面 (南から)



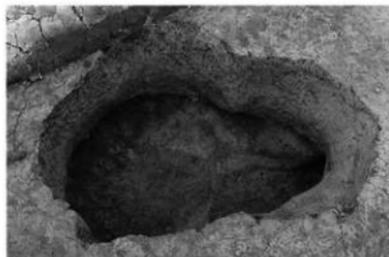
SK105井戸枠2 (東から)



SK105井戸枠1 (南から)



SK105井戸枠3 (東から)



SK105完掘 (南から)



SK105井戸枠4 (東から)



SK106完掘 (東から)



SK106断面 (東から)



SK107完掘 (南から)



SK107断面 (南から)



SK107遺物 1 (南から)



SK107遺物 2 (南から)



SK108完掘 (南から)



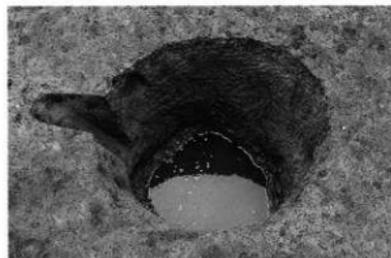
SK108断面 (南から)



SK109完掘 (西から)



SK109断面 (西から)



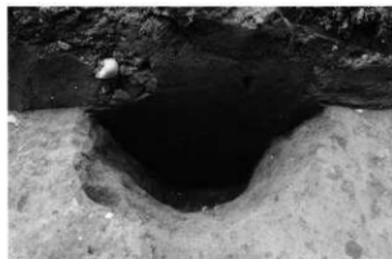
SK110完掘 (東から)



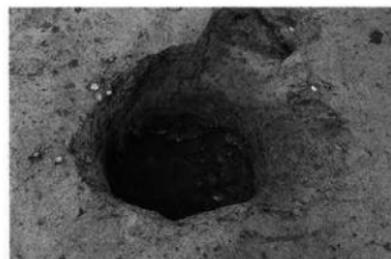
SK110断面 (東から)



SK110掘 (東から)



SK111完掘・断面 (東から)



SK112完掘 (南から)



SK112断面 (南から)



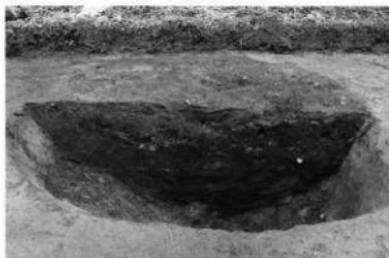
SK113完掘 (西から)



SK113横 (北から)



SK114完掘 (西から)



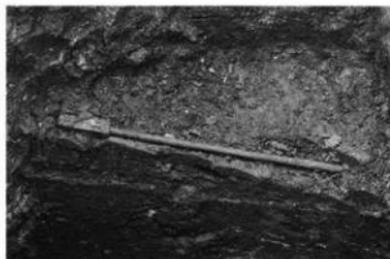
SK114断面 (西から)



SK115完掘 (南から)



SK115断面 (南から)



SK115遺物1 (南から)



SK115遺物2 (南から)



SK116完掘 (西から)



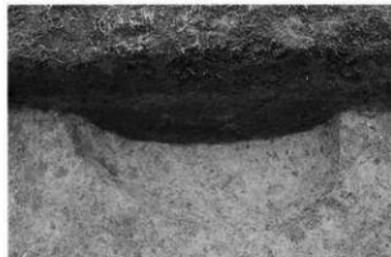
SK116断面1 (東から)



SK116遺物 (東から)



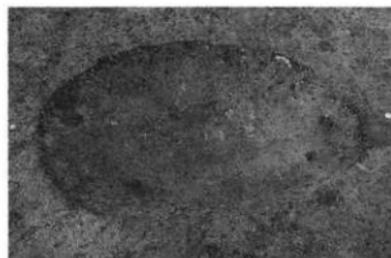
SK116断面2 (東から)



SK117完掘 (東から)



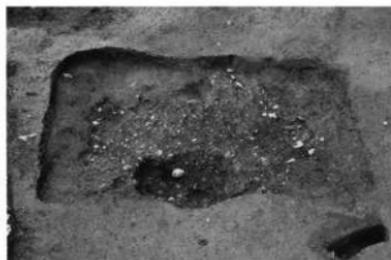
SK117断面 (東から)



SK118完掘 (南から)



SK118断面 (南から)



SK120完掘 (南から)



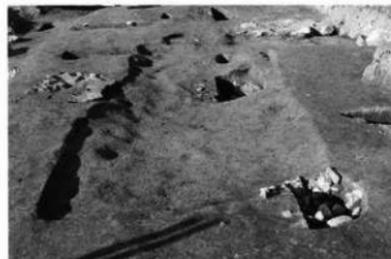
SK120断面 (南から)



SK120遺物 (南から)



SK119断面 (南から)



SK121完掘 (南から)



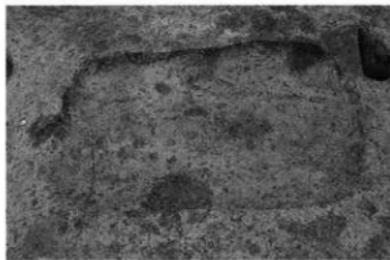
SK121断面 (南から)



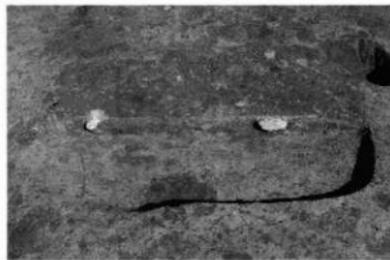
SK122完掘 (南から)



SK122断面 (南から)



SK123完掘 (南から)



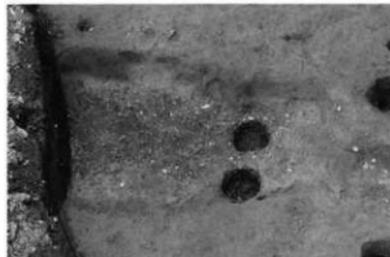
SK123断面 (南から)



SK124完掘 (西から)



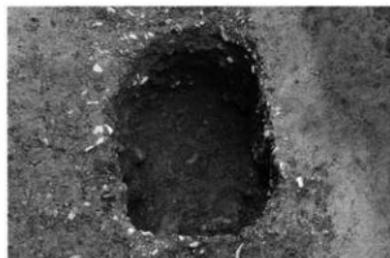
SK124断面 (南から)



SK125完掘 (南から)



SK125断面 (南から)



SK126完掘 (北から)



SK126断面 (北から)



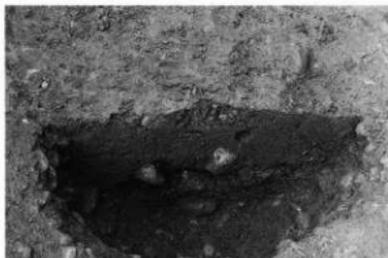
SK127完掘 (西から)



SK127断面 (西から)



SK128完掘 (南から)



SK128断面 (南から)



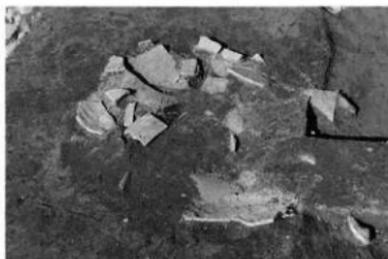
SZ101完掘 (南から)



SZ101断面 (南から)



SZ101遺物 (南から)



SZ101検出 (南から)



SD101・102完掘 (南から)



SD101断面 (南から)



SD101馬雷出土状況 (北から)



SD102断面 (南から)



SD103・104完掘 (西から)



SD103・104断面 (西から)



SD105完掘 (西から)



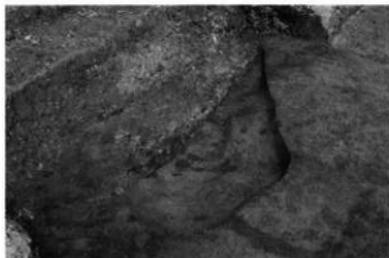
SD105断面 (西から)



SD106北側完掘 (東から)



SD106北側断面 (南から)



SD106南側完掘 (南から)



SD106南側断面 (南から)



SD107完掘 (西から)



SD107断面 (北から)



SD108完掘 (南から)



SD108断面 (北から)



SD109完掘 (南から)



SD109断面 (北から)



SD110西側完掘 (南から)



SD110西側断面 (南から)



SD110東側完掘 (東から)



SD110東側断面 (東から)



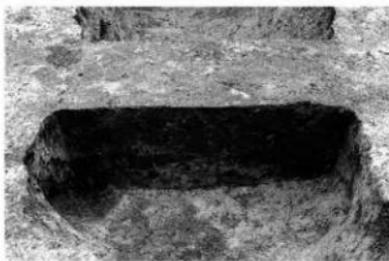
SD111完掘 (東から)



SD111断面 (東から)



SD112北側完掘（北から）



SD112北側断面（北から）



SD112南側完掘（北から）



SD112南側断面（北から）



SD113完掘（南から）



SD113断面（南から）



SD114完掘（南から）



SD114断面（南から）



SD115完掘 (西から)



SD115断面 (西から)



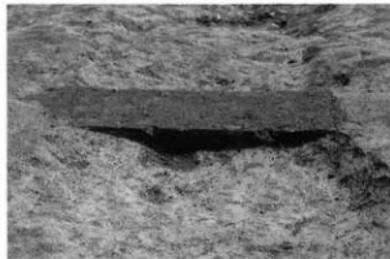
SD116完掘 (西から)



SD117断面 (西から)



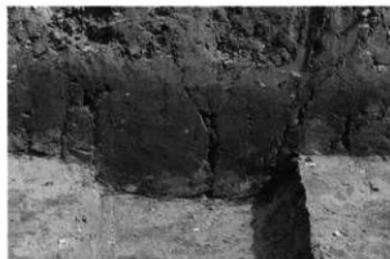
SD117～119完掘 (西から)



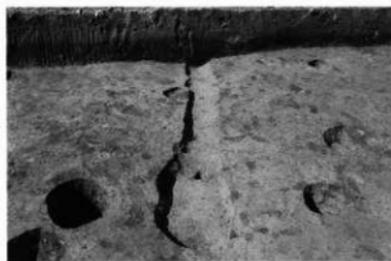
SD118断面 (西から)



SD120断面 (西から)



SD120断面 (西から)



SD121完掘 (東から)



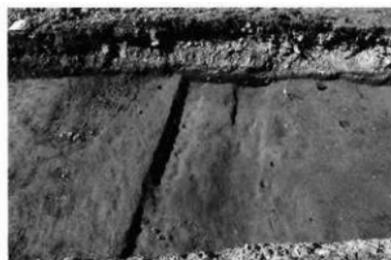
SD121断面 (東から)



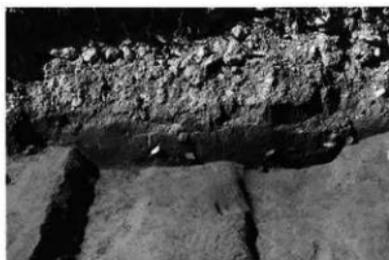
SD124完掘 (西から)



SD124断面 (西から)



SD125完掘 (東から)



SD125断面 (東から)



SD126完掘 (西から)



SD126断面 (西から)



SD122・123完掘  
(南から)



SD122・123完掘  
(西から)



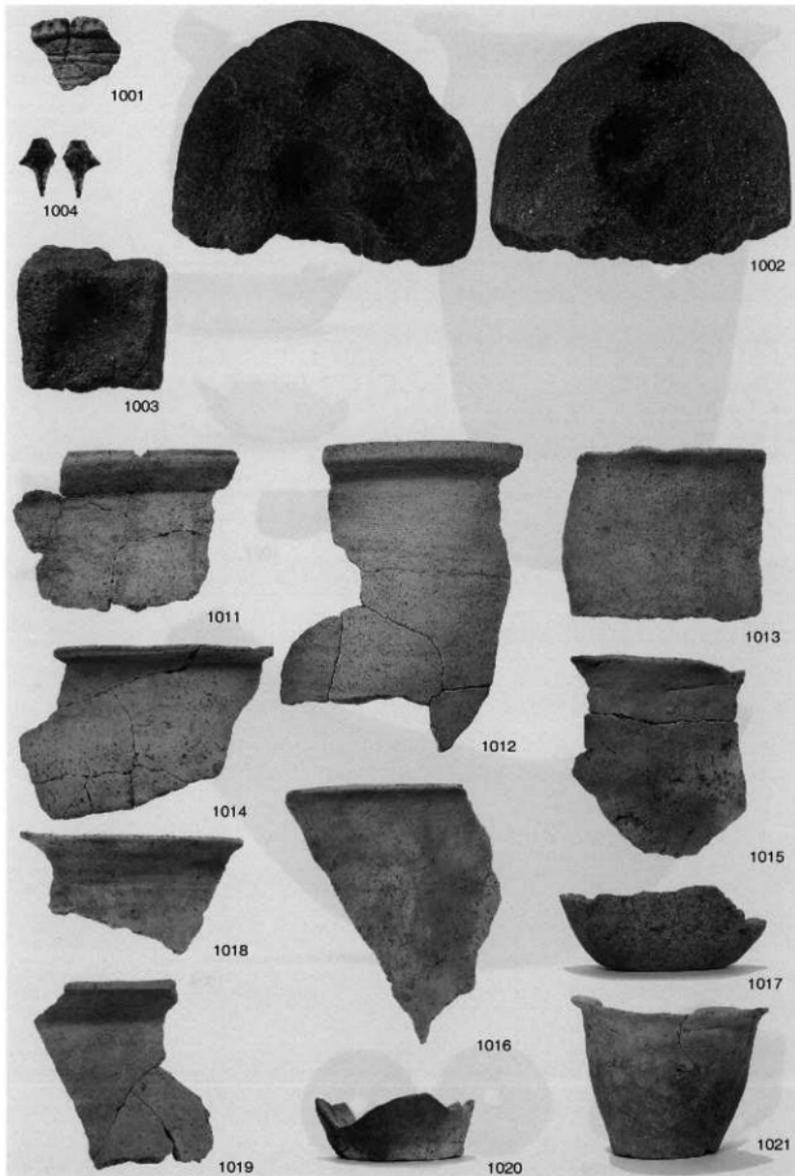
SD122・123断面  
(西から)



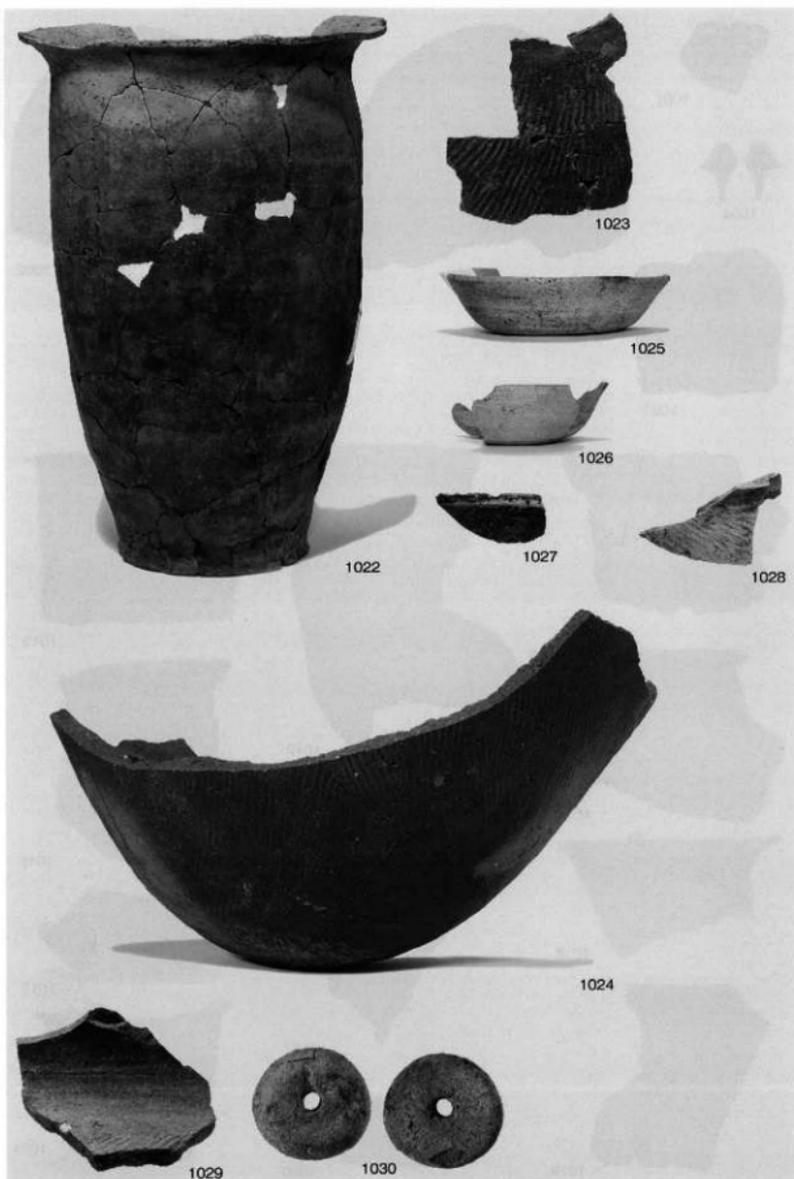
SD127完掘（北から）



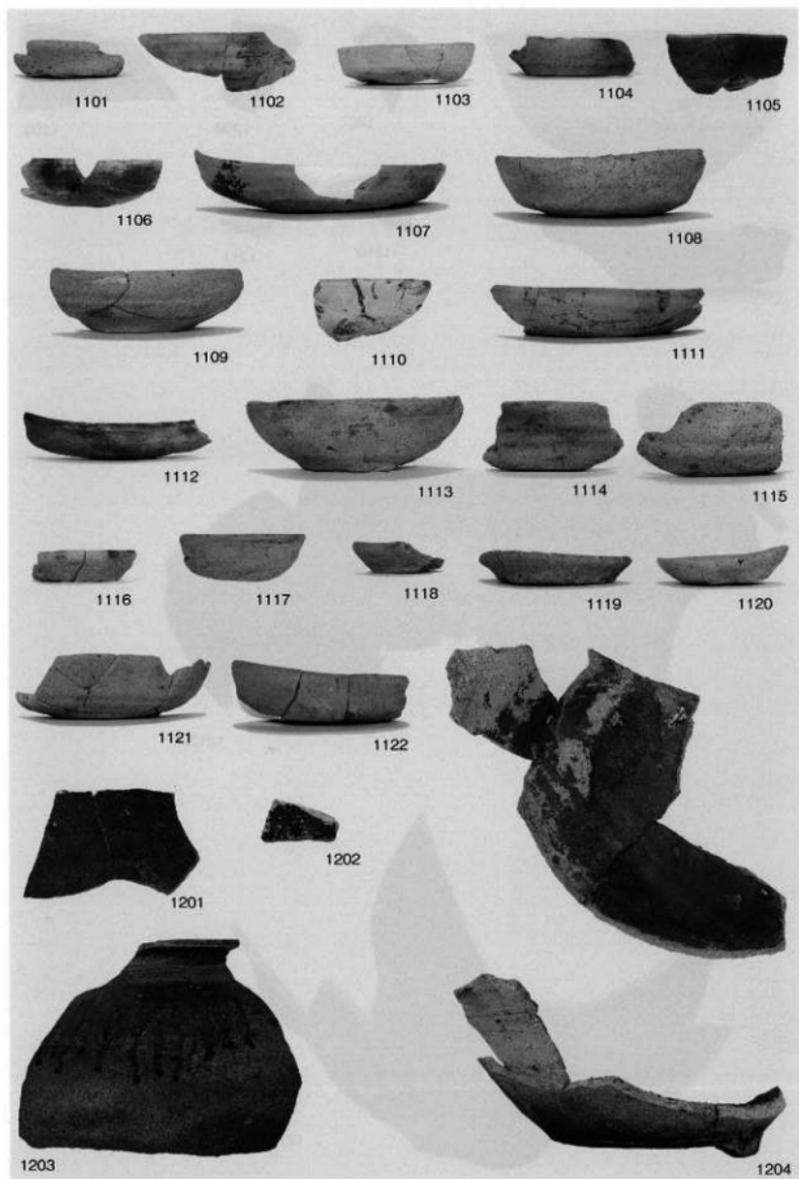
SD127断面（北から）



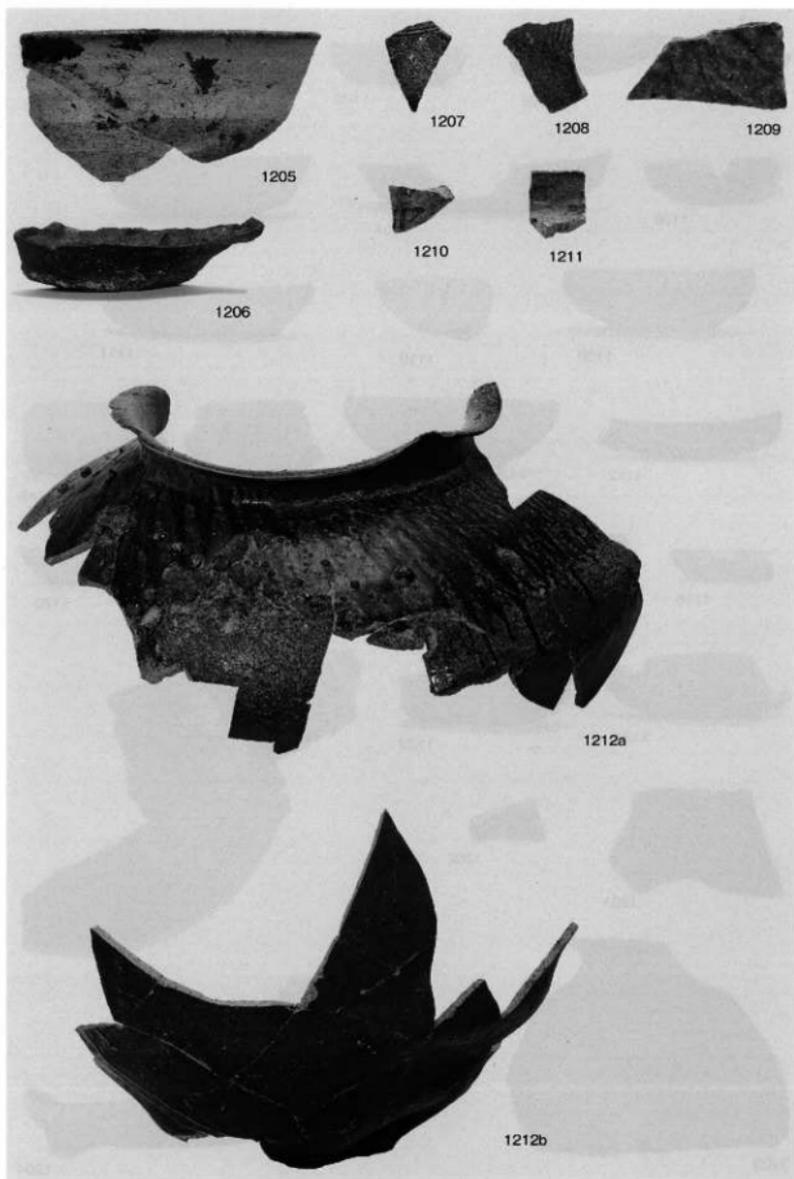
写真図版97 縄文土器、石器、土師器 (1)



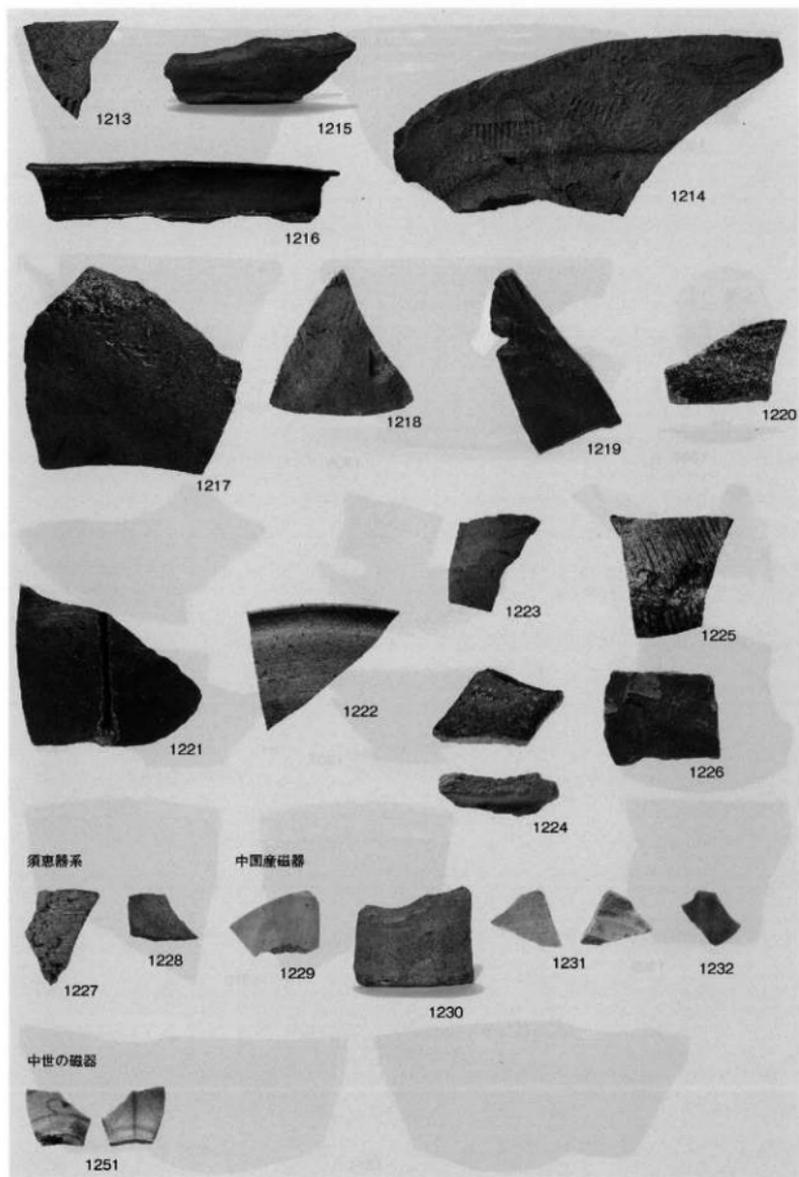
写真図版98 土師器 (2)、須恵器、石製品



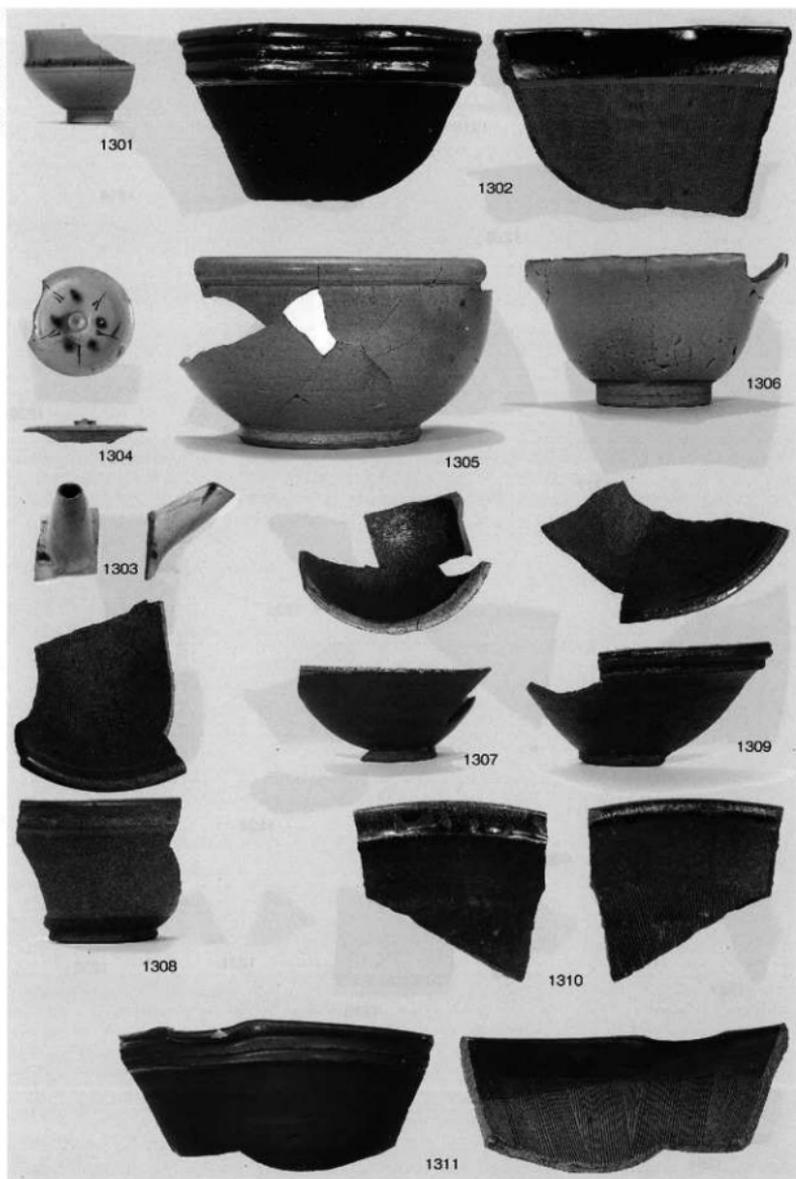
写真図版99 かわらけ、国産陶器：常滑（1）



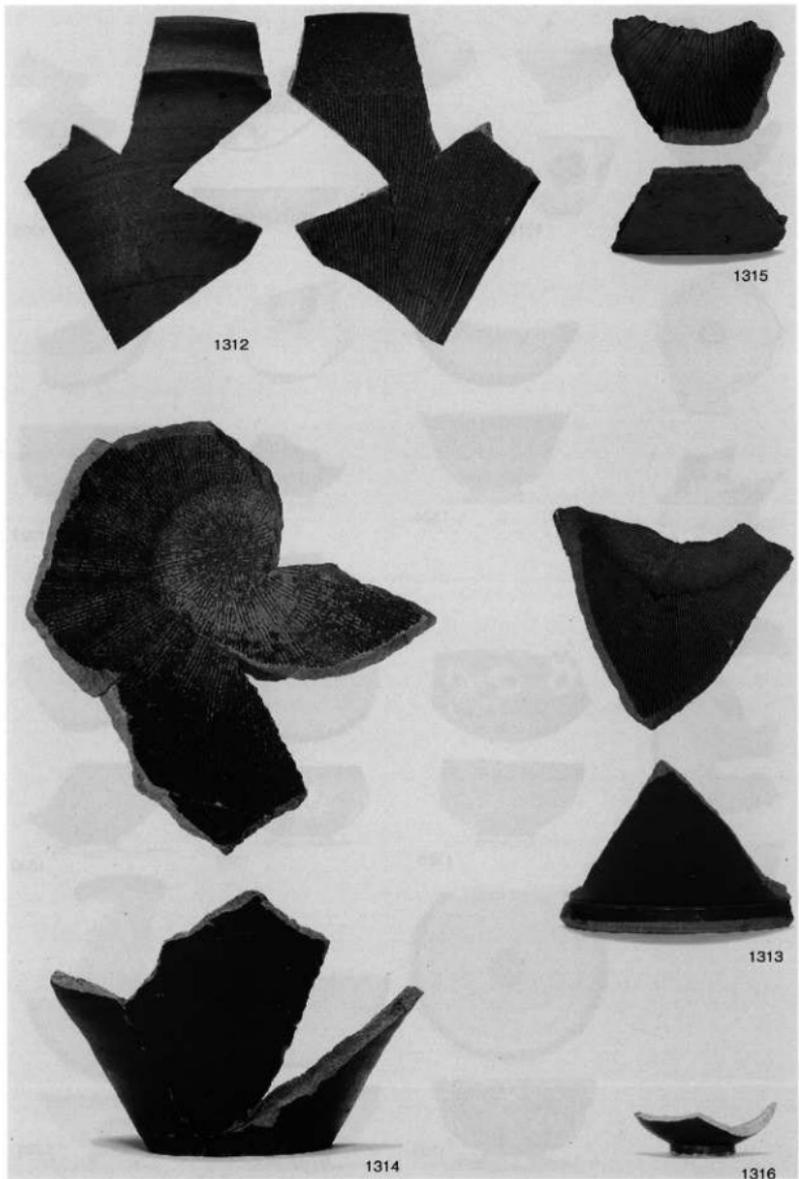
写真図版100 国産陶器：常滑（2）



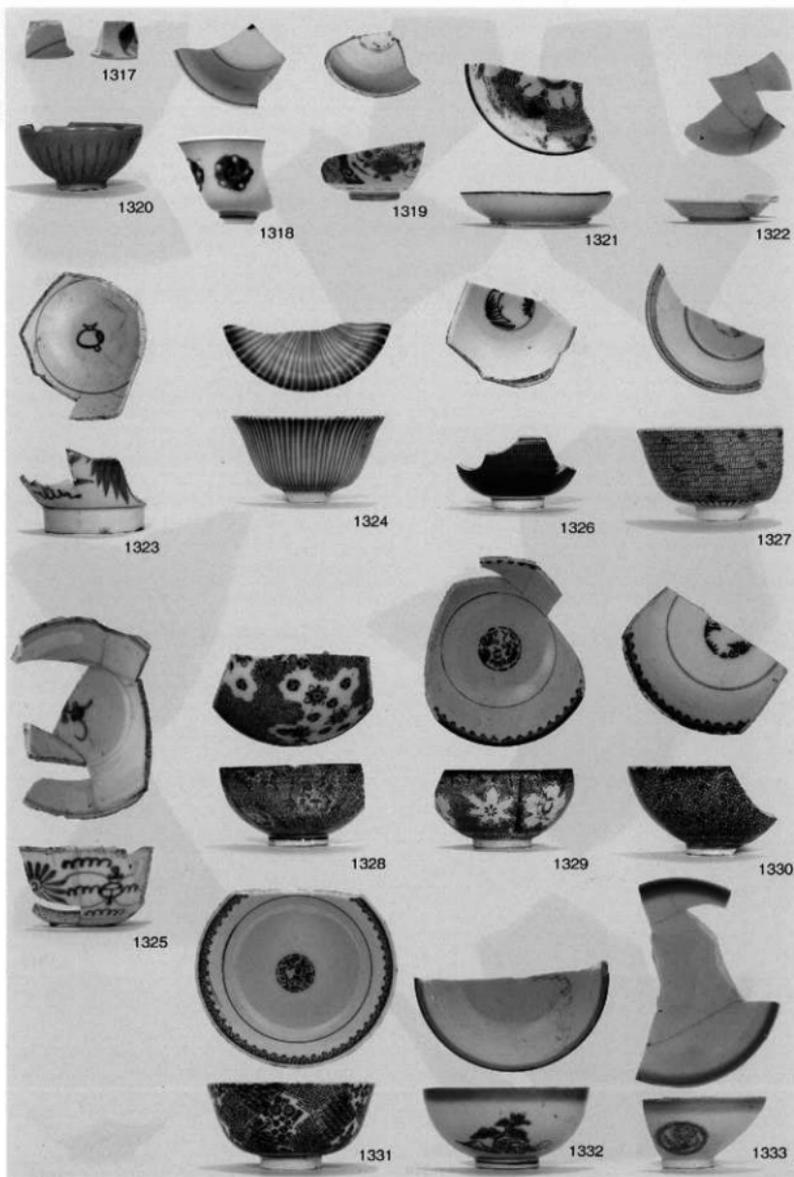
写真図版101 国産陶器：渥美、須恵系、中国産磁器、中世の磁器



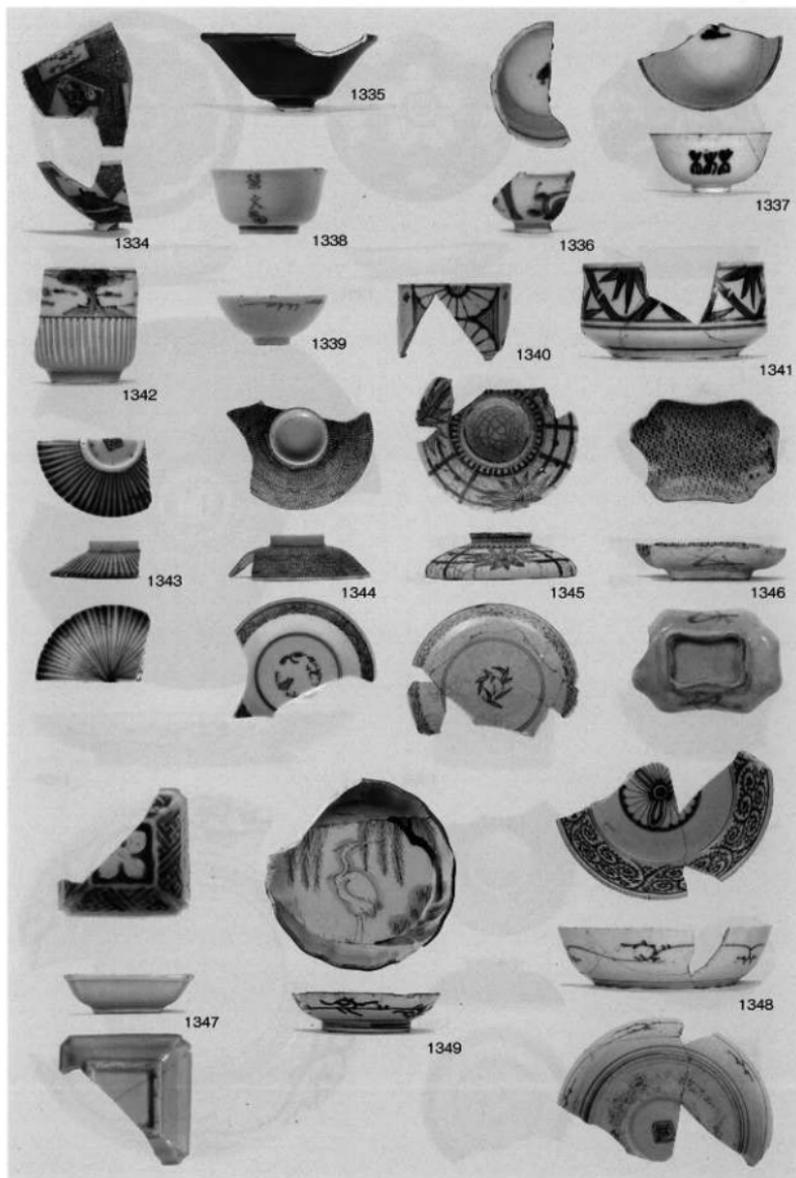
写真図版102 近世・近代の陶磁器 (1)



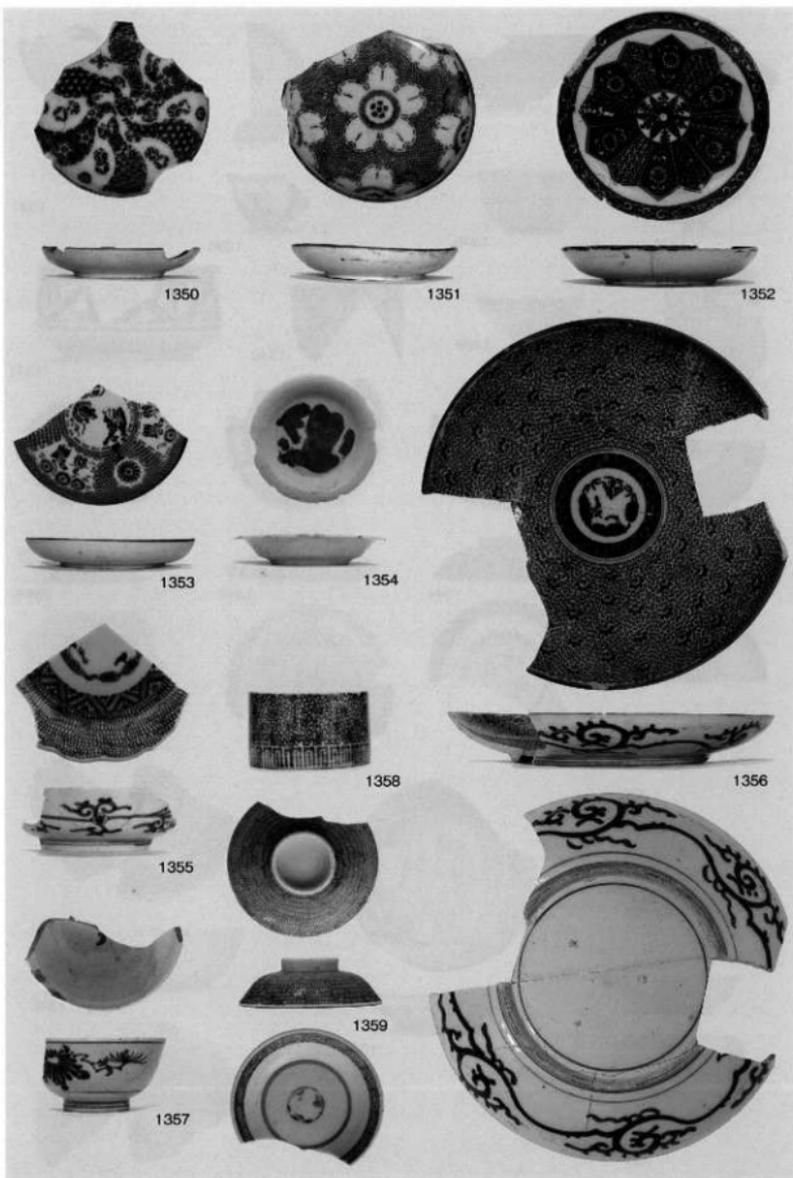
写真図版103 近世・近代の陶磁器 (2)



写真図版104 近世・近代の陶磁器 (3)



写真図版105 近世・近代の陶磁器 (4)

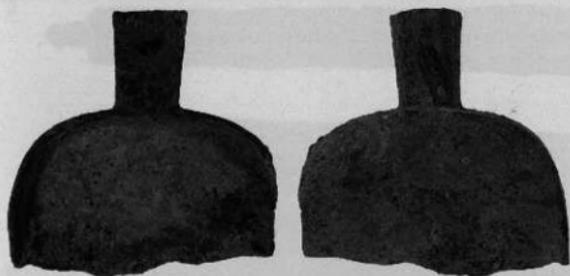


写真図版106 近世・近代の陶磁器 (5)



1401

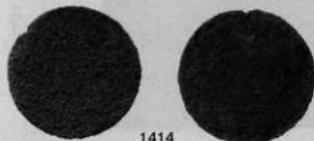
裏面拡大



1412



1413



1414

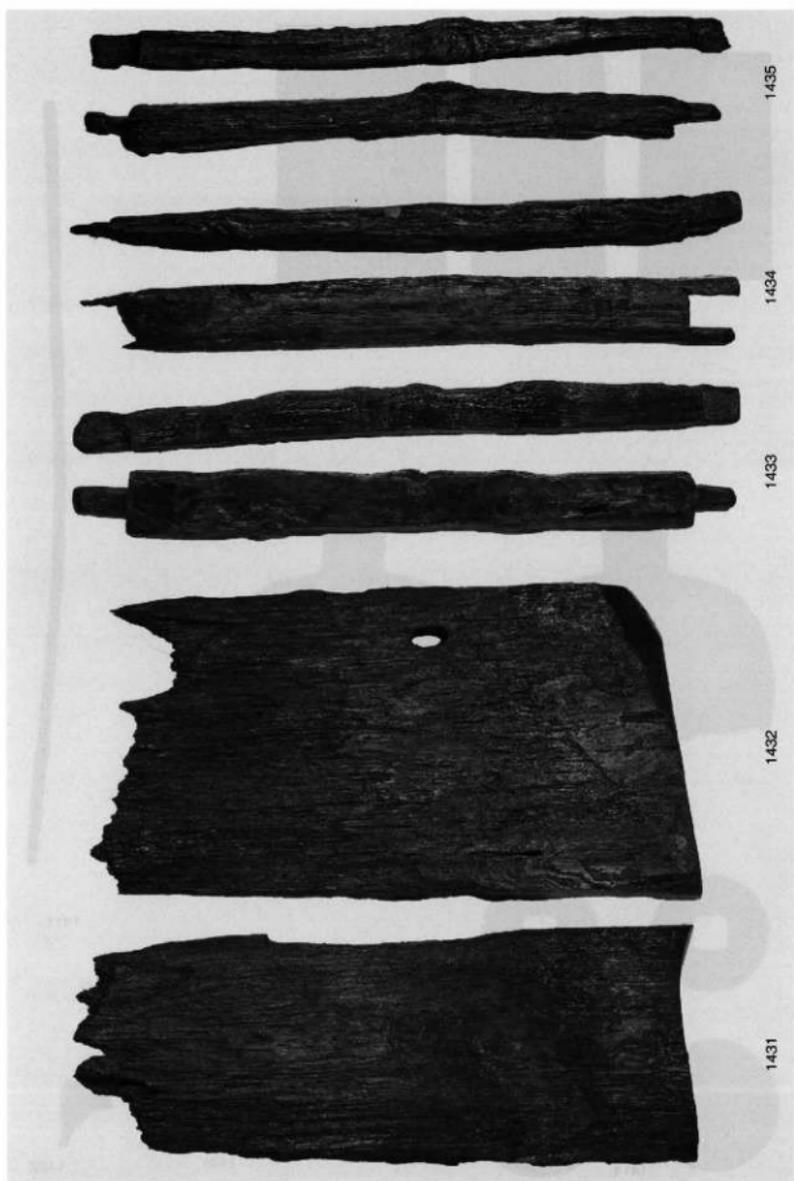


1421

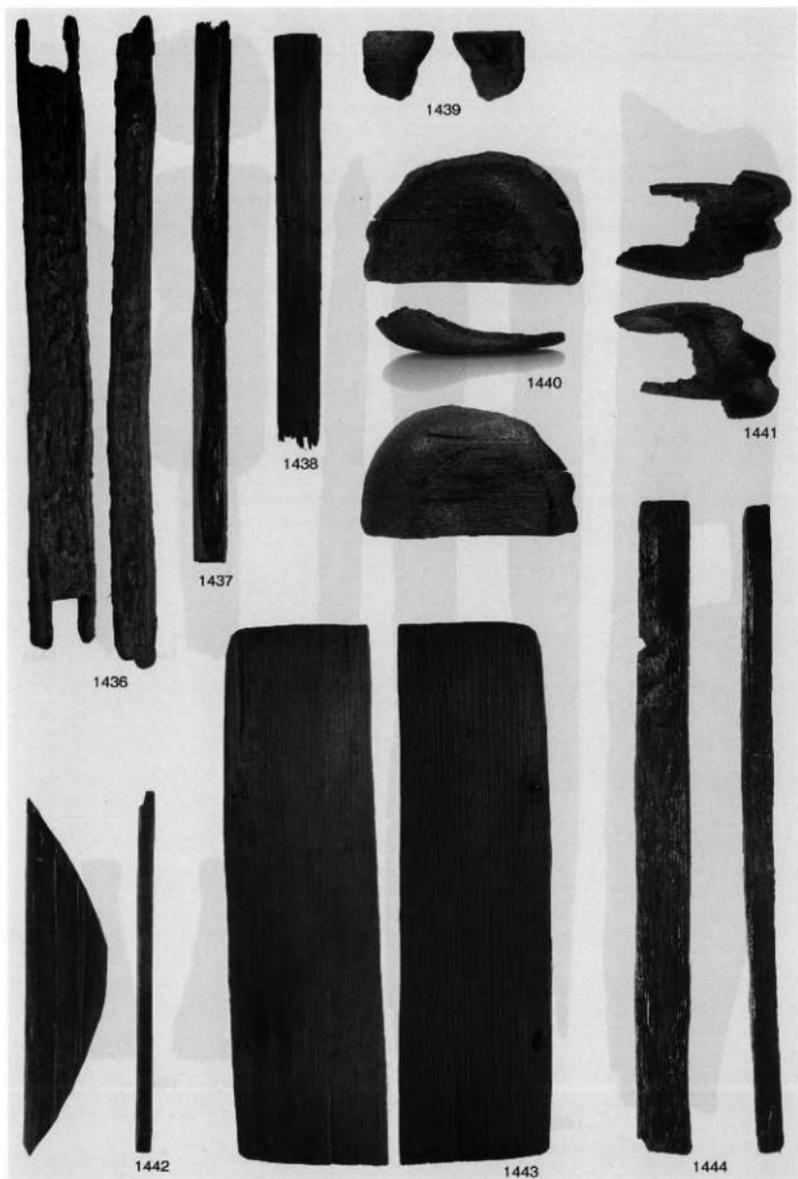


1422

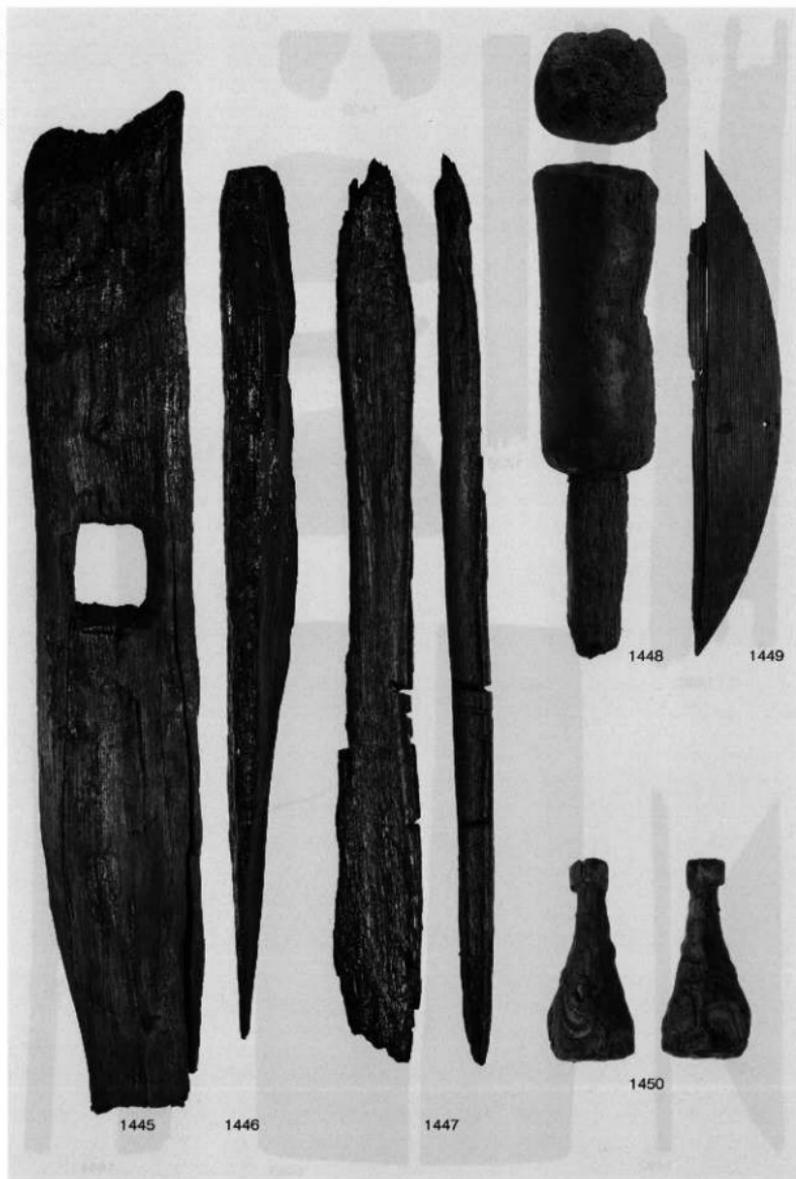
1411



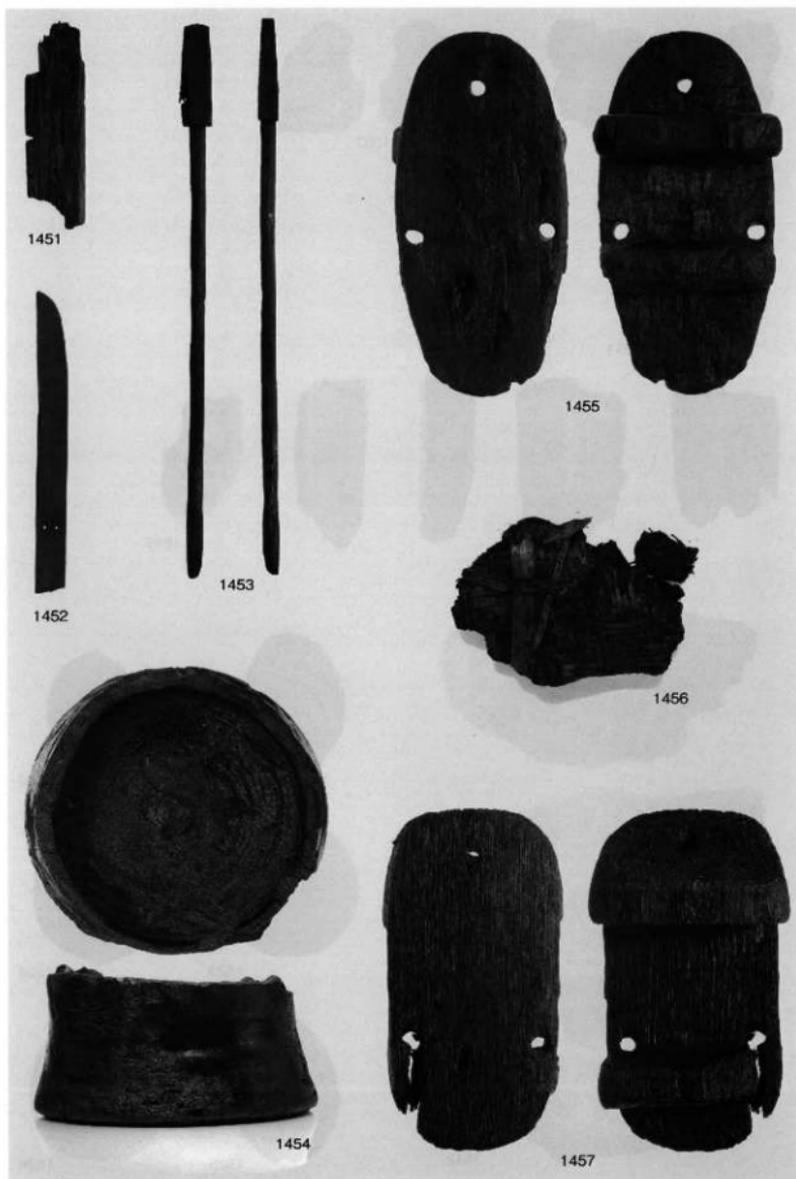
写真図版108 木製品(1)



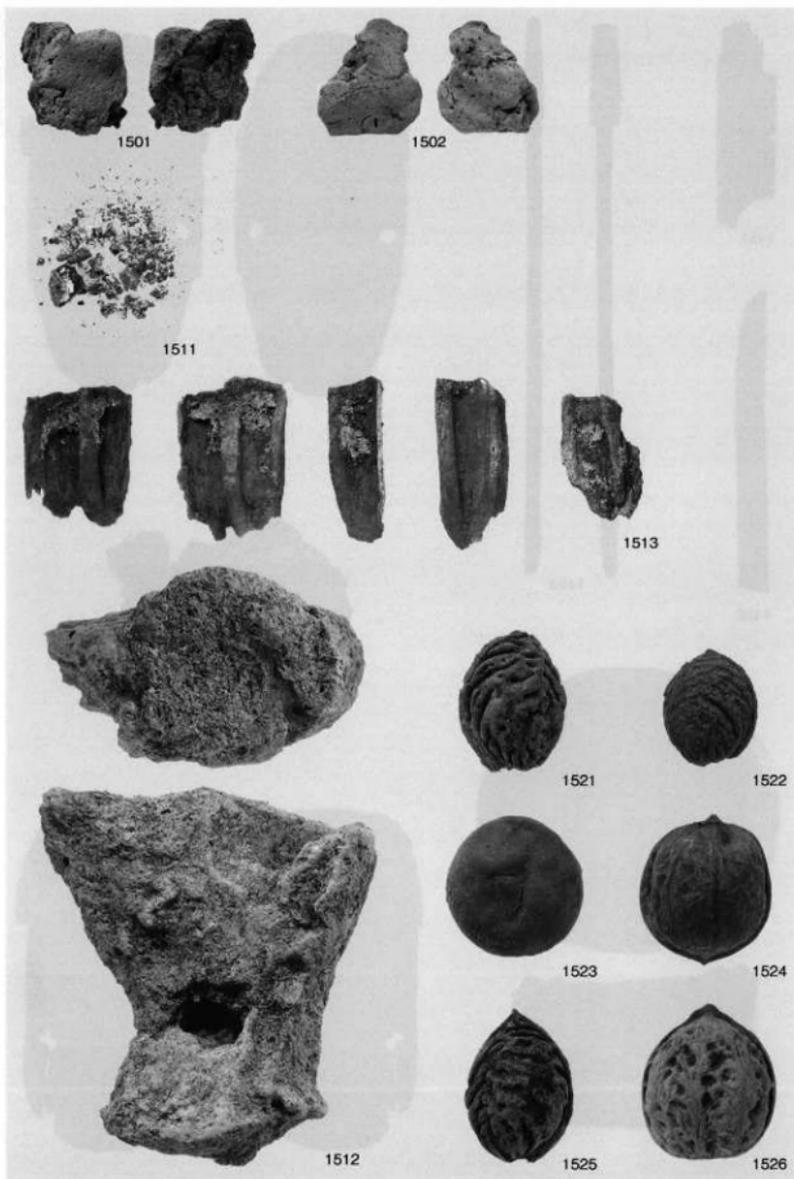
写真図版109 木製品(2)



写真図版110 木製品 (3)



写真図版111 木製品 (4)



写真図版112 土製品、動物遺体、植物遺体

## 報告書抄録

ふりがな	みなみひづめしょうじぐち1・2いせきはつつちょうさほうこくしょ						
書名	南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書						
副書名	経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査						
巻次							
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第584集						
編著者名	阿部勝則・川又 晋・八重畑ちか子						
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター						
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡第11地割185番地 TEL (019) 638-9001						
発行年月日	2011年3月24日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ ー ド		北緯 東経 °' " °' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号				
南日詰小路口 Ⅰ遺跡	岩手県紫波郡 紫波町南日詰 字小路126- 2ほか	03321	LE43-1123	39度 141度 31分 10分 53秒 12秒	2009.04.08 ～ 2009.11.17	5,825㎡	経営体育成 基盤整備事 業南日詰地 区に伴う緊 急発掘調査
南日詰小路口 Ⅱ遺跡	岩手県紫波郡 紫波町南日詰 字小路口54- 1ほか	03321	LE43-1131	39度 141度 31分 10分 52秒 5秒	2009.04.08 ～ 2009.11.17	6,461㎡	経営体育成 基盤整備事 業南日詰地 区に伴う緊 急発掘調査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項	
南日詰小路口 Ⅰ遺跡	集落跡	12世紀  近 世	建物跡 12棟 土坑・井戸跡41基 溝跡 43条 道路状遺構 1基 屋敷地関連の遺構	かわらけ 国産陶器 中国産磁器 木製品 近世陶磁器	20箱 30点 30点 31点 1箱	12世紀の大溝跡・区 画溝などの遺構、か わらけ、国産陶器・ 中国産磁器、木製品 などの遺物が多数確 認された。	
南日詰小路口 Ⅱ遺跡	集落跡	古 代 12世紀  近 世	竈穴住居跡 3棟 建物跡 13棟 土坑・井戸跡21基 溝跡 27条 土器埋設遺構1基 屋敷地関連の遺構	かわらけ 国産陶器 中国産磁器 木製品 近世陶磁器	1箱 20点 4点 25点 3箱	12世紀の区画溝・建 物跡・井戸跡などの 遺構、かわらけ、国 産陶器・中国産磁器、 木製品などの遺物が 多数確認された。	
要 約	南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、『丹妻鏡』に記載される、12世紀の平泉藤原氏の一族比爪(樋爪)氏の居館「比爪館」と推定される比爪館跡の南東側約0.6km付近に位置する。 今回の調査では、Ⅰ・Ⅱ遺跡から12世紀の遺構・遺物が数多く確認された。Ⅰ・Ⅱ遺跡は、比爪氏に関連する12世紀の重要な遺跡であるとともに、比爪館とその東側一帯に分布する遺跡群からなる12世紀の「比爪」の様子を知るうえで貴重な調査事例である。						

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第584集  
**南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書**

経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査

印刷 平成23年3月18日

発行 平成23年3月24日

- 編集 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地  
電話 (019) 638-9001
- 発行 岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室  
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11番1号  
電話 (019) 629-6699
- (財)岩手県文化振興事業団  
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号  
電話 (019) 654-2235
- 印刷 トーバン印刷株式会社  
〒020-0823 岩手県盛岡市門田町2-3  
電話 (019) 653-6333(代)

